

国分寺市高齢者保健福祉計画・
第9期国分寺市介護保険事業計画策定のための
高齢者福祉に関するアンケート
結果報告書

令和5年8月

国分寺市

国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画
策定のための高齢者福祉に関するアンケート 結果報告書
目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的.....	3
2 調査の種類.....	3
3 調査方法, 調査期間, 配布・回収状況.....	4
4 調査項目.....	5
5 調査結果についての注意事項.....	6
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	7
1 回答の属性.....	9
(1) 調査票の記入者.....	9
(2) 本人の年齢.....	9
(3) 本人の認定状況.....	9
(4) 本人の住所(地域包括支援センターごと).....	10
(5) 本人の住所(地域包括支援センター)別年齢構成.....	10
2 家族や生活状況.....	11
(1) 家族構成.....	11
(2) 介護・介助の必要性.....	13
(3) 介護・介助が必要になった主な原因.....	15
(4) 主な介護・介助者.....	16
(5) 主な介護・介助者の年齢.....	17
(6) 暮らしの状況.....	18
(7) 住まい.....	20
(8) エレベーター又はエスカレーターの設置状況.....	22
3 からだを動かすこと.....	23
(1) 階段を昇ること.....	23
(2) 椅子からの立ち上がり.....	23
(3) 15分程度の歩行.....	24
(4) 転倒の経験.....	24
(5) 転倒に対する不安.....	25
(6) 運動器機能の低下.....	26
(7) 転倒リスク.....	29
(8) 外出の頻度.....	32
(9) 閉じこもり傾向.....	33
(10) 外出回数の減少.....	36
(11) 外出を控えているか.....	37
(12) 外出を控えている理由.....	38

(13) 外出する際の移動手段	40
4 食べること	41
(1) 身長・体重から算出したBMI	41
(2) 体重減少	41
(3) 低栄養状態	42
(4) 固いものの食べにくさ	45
(5) お茶や汁物等でむせること	45
(6) 口の渇き	46
(7) 口腔機能の低下	47
(8) 毎日の歯磨き	50
(9) 歯の数と入れ歯の利用状況	50
(10) 噛み合わせ	51
(11) 入れ歯の手入れ	51
(12) 食事をともにする機会	52
5 毎日の生活	53
(1) 物忘れ	53
(2) 認知機能の低下	54
(3) 物忘れの指摘	57
(4) 電話をかけること	57
(5) 携帯電話やスマートフォンの利用	58
(6) 今日の日付	59
(7) 短期記憶	59
(8) その日の活動の判断	60
(9) 自分の考えの伝達	60
(10) 1人での外出	61
(11) 買物	61
(12) 食事の用意	62
(13) 請求書の支払い	62
(14) 預貯金の出し入れ	63
(15) IADL（手段的日常生活動作）の低下	64
(16) 書類作成	67
(17) 新聞を読むこと	67
(18) 読書	68
(19) 健康についての関心	68
(20) 知的能動性の低下	69
(21) 友人宅の訪問	72
(22) 家族や友人からの相談	73
(23) 見舞い	73
(24) 若い人への話しかけ	74
(25) 他者との関わり	75
(26) 趣味	78

(27) 生きがい	78
6 地域での活動	79
(1) 会・グループ等への参加	79
(2) 健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向	80
7 たすけあい	82
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	82
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	83
(3) 看病や世話をしてくれる人	84
(4) 看病や世話をしてあげる人	85
(5) 何かあったときの相談相手	86
(6) 友人・知人と会う頻度	87
(7) 1か月間に会う人数	87
(8) 友人・知人との関係	88
(9) 近所付き合いの状況	89
(10) 近所付き合いの必要性	89
8 健康等	90
(1) 主観的健康感	90
(2) 主観的幸福感	91
(3) うつ傾向	92
(4) 運動習慣	93
(5) 運動していない主な理由	94
(6) 栄養バランスの取れた食事	95
(7) 飲酒習慣	96
(8) 喫煙習慣	96
(9) 現在治療中又は後遺症のある病気	97
9 認知症にかかる相談窓口の把握	98
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無	98
(2) 認知症に関する相談窓口の認知度	98
(3) 認知症に関する相談先の認知度	99
10 その他	100
(1) 地域包括支援センターの認知度	100
(2) 認知症の知識	103
(3) 消費者被害等への対策	104
(4) 成年後見制度の認知度	105
(5) 成年後見制度の利用意向	106
(6) 成年後見制度を利用したくない理由	107
(7) 就労希望	108
(8) 人生最期の場所	109

第3章 在宅介護実態調査 111

1 調査票の記入者	113
-----------	-----

2	本人の状況（A票）	114
1	基本情報・サービス利用意向等	114
	（1）世帯類型	114
	（2）要介護度	114
	（3）入所・入居の検討状況	115
	（4）希望する部屋の種類	117
	（5）個室あるいは多床室を希望する理由	117
	（6）現在抱えている傷病	118
	（7）介護保険サービスの利用	119
	（8）介護保険サービスを利用したことでの経済的な負担の変化	119
	（9）介護保険サービスを利用していない理由	120
	（10）現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス	121
	（11）在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	122
	（12）訪問診療の利用	123
2	家族や親族からの介護	124
	（1）家族や親族からの介護の頻度	124
	（2）介護についての相談・連絡先	124
3	成年後見制度	125
	（1）成年後見制度の認知度	125
	（2）成年後見制度の利用意向	126
	（3）成年後見制度を利用したくない理由	127
3	主な介護者の状況（B票）	128
	（1）介護を理由とする退職	128
	（2）主な介護者	128
	（3）主な介護者の年齢	129
	（4）主な介護者が行っている介護等	129
	（5）主な介護者が不安に感じる介護等	130
	（6）主な介護者の勤務形態	131
	（7）主な介護者の働き方の調整	132
	（8）効果があると思う勤め先からの支援	133
	（9）就労継続の見込み	134
	（10）主な介護者の状態や気持ち	135

第4章 施設等利用者及び家族状況調査 137

1	施設等入所者自身の状況	139
	（1）記入者	139
	（2）記入者の続柄	139
	（3）年齢	140
	（4）現在入所（入居）している施設等	141
	（5）介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の居室のタイプ	142
	（6）施設等に入所（入居）した主な理由	143
	（7）施設等の所在地	144

(8) 施設等の入所（入居）期間	145
(9) 入所（入居）待機期間	147
(10) 入所（入居）以前の住まい	149
(11) 入所（入居）前の家族構成	152
(12) 現在の要介護度	155
2 施設等での生活	157
(1) 日常的な金銭管理	157
(2) 日頃の楽しみ	158
(3) 入所（入居）して良くなったと感じること	159
(4) 施設等での生活の満足度	160
(5) 最終的に暮らしたい場所	161
(6) 本人が希望する部屋の種類	164
(7) 個室あるいは多床室（大部屋）を希望する理由	165
3 施設等サービスで大切なこと	166
(1) 施設等サービスで大切なこと	166
4 意見・要望	167
(1) 意見・要望	167
5 家族の状況	169
(1) 家族の年齢	169
(2) 本人からみた続柄	169
(3) 家族の職業	170
(4) 経済的な負担の変化	170
(5) 虐待を受けた場合の連絡先	171
第5章 介護保険事業者調査	173
1 回答事業所の概要	175
(1) 事業種別	175
(2) 法人格の種類	176
(3) 事業所の所在地	177
(4) 職員体制	178
(5) 正規職員の勤務年数	178
(6) 定期健康診断の実施状況	179
(7) 採用・離職人数	180
2 利用者の人権の擁護	181
(1) 利用者の人権を擁護するために講じている取組	181
3 事故防止、感染予防の取組	182
(1) 事故防止のための取組	182
(2) 感染症の伝播に対する予防策	183
(3) 大規模災害の被害を最小限に止めるための取組	184
4 利用者からの苦情・相談内容とその対応	185

(1) 利用者やその家族からの苦情・相談内容	185
(2) 苦情や相談の対応体制の有無	186
5 サービスの質の向上に向けた課題	187
(1) 事業所での課題	187
(2) ボランティアに担ってもらいたいこと	188
6 報酬改定や処遇改善等の影響	189
(1) 処遇改善の取組状況	189
(2) 処遇改善を行う上での課題	190
(3) 令和4年と令和3年の収入額の差	191
(4) 収入額が増減した理由	192
7 人材の確保	193
(1) 職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組	193
(2) 人材確保に向けた取組	194
8 福祉サービス第三者評価の受審状況	195
(1) 受審状況	195
(2) 受審するための支援	196
9 意見・要望	197
(1) 意見・要望	197

第6章 介護支援専門員調査 199

1 介護支援専門員本人の状況	201
(1) 年齢	201
(2) 介護支援専門員としての業務経験年数	201
(3) 介護支援専門員を受験した際の基礎資格	202
(4) 就業業務形態	202
(5) 事業所の業務形態	203
(6) 健康診断受診状況	203
(7) 労働災害の経験	204
(8) 週の所定労働時間	204
(9) 賃金の支払形態	205
(10) 令和4年中の収入	205
(11) 現在働いている事業所での就労意向	206
(12) 介護支援専門員としての就労意向	206
(13) 労働条件・仕事の負担についての悩み、不安、不満等	207
(14) 働く中で満足感を得られたこと	208
2 利用者から望まれる事業者情報	209
3 サービスの供給	210
(1) 供給が不足していると感じられるサービス	210
(2) 不足しているサービスの代替方法	211
(3) 在宅生活を送る上で必要と思われるサービスや支援内容	213

4	苦情・相談事例	214
	(1) 苦情や相談	214
5	業務内容	215
	(1) 介護支援専門員の業務の負担	215
	(2) 仕事量の評価	216
	(3) サービスの質に関する履行確認の方法	217
	(4) 介護予防プランの作成の受託	218
	(5) 介護予防プランの作成受託上の問題点	218
6	業務上の悩みや問題点	219
	(1) 業務上の悩みや問題点の相談相手	219
	(2) 相談していない理由	220
7	ケアマネジメントの質の向上	221
	(1) 質の向上に向けて、必要な知識	221
	(2) 質の向上に向けて、さらに向上させたい知識	222
8	サービス担当者会議の開催状況	223
	(1) サービス担当者会議の適切な開催	223
	(2) サービス担当者会議の適切な開催ができない理由	224
9	保険者に対する評価	225
	(1) 保険者（国分寺市）に対する不満	225
10	介護支援専門員への支援	226
	(1) 希望する支援	226
	(2) 保険者（国分寺市）に相談したい内容	227
11	関係機関との連携	228
	(1) 関係機関との連携状況	228
	(2) 関係機関との連携内容	231
12	医療との連携	232
	(1) かかりつけ医や歯科医との連携状況	232
	(2) かかりつけ医や歯科医との連携方法	233
	(3) 医療との連携が図れていない理由	234
13	意見・要望	235
	(1) 意見・要望	235

第7章 介護職員等調査 237

1	介護職員本人の状況	239
	(1) 事業所の経営主体	239
	(2) 事業所の従業員規模	240
	(3) 事業所の主な介護サービス種類	241
	(4) 年齢	242
	(5) 介護に関する資格	243
	(6) 健康診断の受診状況	244

(7) 労働災害の経験	244
(8) 主たる生計維持者	245
2 現在の職場の状況	246
(1) 事業所を知ったきっかけ	246
(2) 現在の主な仕事	247
(3) 介護に関する仕事の経験年数	248
(4) 就業形態	249
(5) 週の所定労働時間	249
(6) 賃金の支払形態	250
(7) 令和4年中の収入	250
(8) 現在の仕事を選んだ理由	251
(9) 現在の仕事の満足度	252
(10) 現在の仕事で満足感を得られたこと	253
(11) 現在の仕事での不満	254
(12) 業務上の悩みや問題点の相談相手	255
(13) 相談していない理由	256
(14) 現在の事業所での就労意向	257
(15) 介護に関する仕事の就労意向	258
(16) 働く上での不安や悩み	259
(17) 利用者及び利用者の家族に関する不安や悩み	260
(18) 職場での人間関係等に関する不安や悩み	261
(19) 働く上で感じる不安や悩みに対するサポートについての意見・要望	262
(20) 介護保険以外のサービスについての意見・要望	263
3 報酬改定や処遇改善の状況	264
(1) 処遇改善の状況	264
(2) 仕事内容や職場環境の変化	265
4 以前に働いていた職場の状況	267
(1) 収入の伴う仕事の経験	267
(2) 以前の仕事での介護サービスとの関わり	267
(3) 以前の仕事の就業形態	268
(4) 以前の仕事をやめた理由	269
5 意見・要望	270
(1) 意見・要望	270
第8章 住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅調査	271
1 施設・住宅の概要	273
(1) 施設・住宅の種別	273
(2) 法人格の種類	273
(3) 職員体制	274
(4) 正規職員の勤務年数	274
(5) 定期健康診断の実施状況	275

(6) 居室形態	275
(7) 併設している介護保険サービス	276
(8) 提供可能なサービス	277
(9) 受入れ可能な医療行為	278
2 現在の利用者状況	280
(1) 入居状況や待機状況	280
(2) 入居者の年齢	280
(3) 入居者の介護度等	281
(4) 生活保護受給者の有無	281
3 事故防止, 感染予防, 虐待予防等の取組	282
(1) 事故防止のための取組	282
(2) 感染症の伝播に対する予防策	283
(3) 大規模災害の被害を最小限に止めるための取組	284
(4) 利用者の人権を擁護するために講じている取組	285
4 利用者からの苦情・相談内容とその対応	286
(1) 利用者やその家族からの苦情・相談	286
(2) 苦情・相談の対応体制	287
5 サービスの質の向上に向けた課題	288
(1) 施設・住宅での課題	288
(2) ボランティアに担ってもらいたいこと	289
6 人材の確保	290
(1) 職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組	290
(2) 人材確保に向けた取組	291
7 意見・要望	292
第9章 資料編	293
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票	295
2 在宅介護実態調査 調査票	311
3 施設等利用者及び家族状況調査 調査票	322
4 介護保険事業者調査 調査票	330
5 介護支援専門員調査 調査票	338
6 介護職員等調査 調査票	346
7 住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅調査 調査票	354

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

令和5年度末に「国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画」を策定するにあたり、高齢者の生活実態や介護サービスの利用状況、ニーズ等を把握するため。

2 調査の種類

高齢者福祉に関するアンケートは、以下の7調査からなります。

調査名	調査対象	目的
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	要介護1～5の認定を受けている方及び施設入所の方等を除く、令和4年12月1日現在、国分寺市内に住所を有する65歳以上の高齢者（無作為抽出）	要介護状態にない高齢者の心身の状況や、社会参加状況を把握し、地域の抱える課題を特定するための基礎調査として実施しています。 また、調査終了後、結果のうち必要なデータを「地域包括ケア「見える化」システム」に登録することで、経年比較や地域間比較が可能となっています。
2 在宅介護実態調査	施設入所の方を除く、令和4年12月1日現在、国分寺市内に住所を有する要支援1・2・要介護1～5の認定を受けている方及びその介護者（無作為抽出）	要介護者の在宅生活の継続や、介護者の就労の継続に有効な介護サービスの在り方を検討し、介護離職の観点も含めたサービス提供体制を検討するための基礎調査として実施しています。 調査結果については、対象者の要介護認定時の情報と併せて分析を行っています。
3 施設等利用者及び家族状況調査	令和4年12月1日現在、要介護1～5の認定を受けている65歳以上の施設等入所（入居）者（介護保険施設、特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護等の利用者）及びその家族（無作為抽出）	施設等に入所（入居）している方やその家族の状況、ニーズを把握し、今後の介護サービスの在り方や施設等整備計画を検討するための基礎調査として実施しています。
4 介護保険事業者調査	国分寺市とその周辺地域に所在し、国分寺市民にサービスを提供している事業者	国分寺市内や周辺地域の事業者の運営状況や取組を把握し、サービスを持続するために必要なことや人材確保のために必要な方策を検討するための基礎調査として実施しています。
5 介護支援専門員調査	国分寺市介護保険ケアマネジャー連絡会に所属している居宅介護支援事業所の介護支援専門員	介護支援専門員の方の勤務状況やニーズ等を把握し、不足するサービスや、国分寺市で働き続けてもらうために必要な方策を検討するための基礎調査として実施しています。

調査名	調査対象	目的
6 介護職員等調査	国分寺市とその周辺地域に所在し、国分寺市民にサービスを提供している事業者の介護職員等	介護に携わる方の勤務状況やニーズ等を把握し、不足するサービスや、国分寺市で働き続けてもらうために必要な方策を検討するための基礎調査として実施しています。
7 住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅調査	国分寺市内で開設している住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅	国分寺市内に開設している住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の運営状況や取組を把握し、サービスを持続するために必要なことや人材確保のために必要な方策を検討するための基礎調査として実施しています。

3 調査方法、調査期間、配布・回収状況

調査方法：調査票を郵送し、郵送又はインターネットで回答

調査期間：令和5年2月1日（水）～2月28日（火）（礼状兼勧奨通知を1回発送）

<配布・回収状況>

調査名	配布数	有効回収数	有効回収率
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,598 件	2,497 件	69.4%
2 在宅介護実態調査	1,198 件	542 件	45.2%
3 施設等利用者及び家族状況調査	297 件	128 件	43.1%
4 介護保険事業者調査	330 件	170 件	51.5%
5 介護支援専門員調査	88 件	70 件	79.5%
6 介護職員等調査	464 件	185 件	39.9%
7 住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅調査	9 件	4 件	44.4%
合計	5,984 件	3,596 件	60.1%

4 調査項目

調査名	調査項目
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1 回答の属性 2 家族や生活状況 3 からだを動かすこと 4 食えること 5 毎日の生活 6 地域での活動 7 たすけあい 8 健康等 9 認知症にかかる相談窓口の把握 10 その他
2 在宅介護実態調査	A票 1 基本情報・サービス利用意向等 2 家族や親族からの介護 3 成年後見制度 B票 1 主な介護者の状況
3 施設等利用者及び家族状況調査	1 施設等入所者自身の状況 2 施設等での生活 3 施設等サービスで大切なこと 4 意見・要望 5 家族の状況
4 介護保険事業者調査	1 回答事業所の概要 2 利用者の人権の擁護 3 事故防止、感染予防の取組 4 利用者からの苦情・相談内容とその対応 5 サービスの質の向上に向けた課題 6 報酬改定や処遇改善等の影響 7 人材の確保 8 福祉サービス第三者評価の受審状況 9 意見・要望
5 介護支援専門員調査	1 介護支援専門員本人の状況 2 利用者から望まれる事業者情報 3 サービスの供給 4 苦情・相談事例 5 業務内容 6 業務上の悩みや問題点 7 ケアマネジメントの質の向上 8 サービス担当者会議の開催状況 9 保険者に対する評価 10 介護支援専門員への支援 11 関係機関との連携 12 医療との連携 13 意見・要望
6 介護職員等調査	1 介護職員本人の状況 2 現在の職場の状況 3 報酬改定や処遇改善の状況 4 以前に働いていた職場の状況 5 意見・要望
7 住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅調査	1 施設・住宅の概要 2 現在の利用者状況 3 事故防止、感染予防、虐待予防等の取組 4 利用者からの苦情・相談内容とその対応 5 サービスの質の向上に向けた課題 6 人材の確保 7 意見・要望

5 調査結果についての注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数であり、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数です。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、数値の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、数値の合計が100%を超える場合があります。
- ・「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び「在宅介護実態調査」の中でクロス集計している設問がありますが、縦軸・横軸それぞれで無回答者がいる場合は、表の単純合計と総数が一致しない場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、参考値として傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。
- ・「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」では、地域包括支援センター別にクロス集計をしています。各センターの担当区域は次の表のとおりです。

<地域包括支援センターの担当区域>

地域包括支援センター名	担当区域
国分寺地域包括支援センターもとまち	東元町, 西元町, 南町
国分寺地域包括支援センターこいがくぼ	泉町, 西恋ヶ窪, 東戸倉
国分寺地域包括支援センターほんだ	本町, 本多, 東恋ヶ窪
国分寺地域包括支援センターひよし	戸倉, 日吉町, 内藤
国分寺地域包括支援センターひかり	光町, 高木町, 西町
国分寺地域包括支援センターなみき	富士本, 新町, 並木町, 北町

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 回答の属性

(1) 調査票の記入者

	回答数 (人)	割合 (%)
宛名のご本人が記入	2,319	92.9
ご家族が記入	91	3.6
その他	0	0.0
無回答	87	3.5
総数	2,497	100.0

(2) 本人の年齢

	回答数 (人)	割合 (%)
65～74 歳	1,177	47.1
65～69 歳	564	22.6
70～74 歳	613	24.5
75 歳以上	1,184	47.4
75～79 歳	502	20.1
80～84 歳	391	15.7
85～89 歳	216	8.7
90 歳以上	75	3.0
無回答	136	5.4
総数	2,497	100.0

(3) 本人の認定状況

	回答数 (人)	割合 (%)
一般高齢者	2,162	86.6
要支援者	134	5.4
要支援 1	80	3.2
要支援 2	54	2.2
無回答	201	8.0
総数	2,497	100.0

※ 本文・図表中では、高齢者のうち、要支援・要介護認定を受けていない方（非該当又は事業対象者の方）を一般高齢者と表記している

(4) 本人の住所（地域包括支援センターごと）

	回答数（人）	割合（%）
もとまち	405	16.2
こいがくぼ	419	16.8
ほんだ	394	15.8
ひよし	409	16.4
ひかり	413	16.5
なみき	409	16.4
無回答	48	1.9
総数	2,497	100.0

(5) 本人の住所（地域包括支援センター）別年齢構成

上段：人，下段：%

	65～74歳			75歳以上					年齢 無回答	総数
	65～ 69歳	70～ 74歳	計	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上	計		
もとまち	107 26.4	105 25.9	212 52.3	65 16.0	65 16.0	30 7.4	11 2.7	171 42.2	22 5.4	405 100.0
こいがくぼ	93 22.2	92 22.0	185 44.2	94 22.4	66 15.8	49 11.7	9 2.1	218 52.0	16 3.8	419 100.0
ほんだ	100 25.4	109 27.7	209 53.0	80 20.3	54 13.7	29 7.4	12 3.0	175 44.4	10 2.5	394 100.0
ひよし	84 20.5	108 26.4	192 46.9	80 19.6	76 18.6	37 9.0	11 2.7	204 49.9	13 3.2	409 100.0
ひかり	98 23.7	102 24.7	200 48.4	81 19.6	54 13.1	38 9.2	16 3.9	189 45.8	24 5.8	413 100.0
なみき	81 19.8	92 22.5	173 42.3	101 24.7	73 17.8	32 7.8	15 3.7	221 54.0	15 3.7	409 100.0
住所無回答	1 2.1	5 10.4	6 12.5	1 2.1	3 6.3	1 2.1	1 2.1	6 12.5	36 75.0	48 100.0
総数	564 22.6	613 24.5	1,177 47.1	502 20.1	391 15.7	216 8.7	75 3.0	1,184 47.4	136 5.4	2,497 100.0

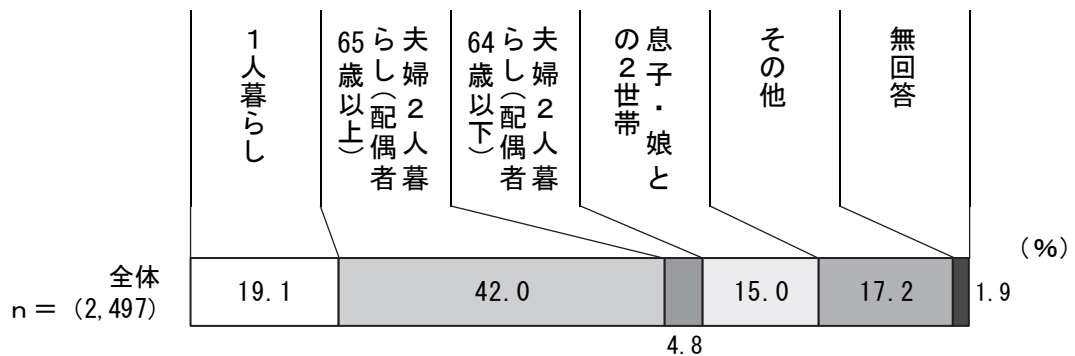
2 家族や生活状況

(1) 家族構成

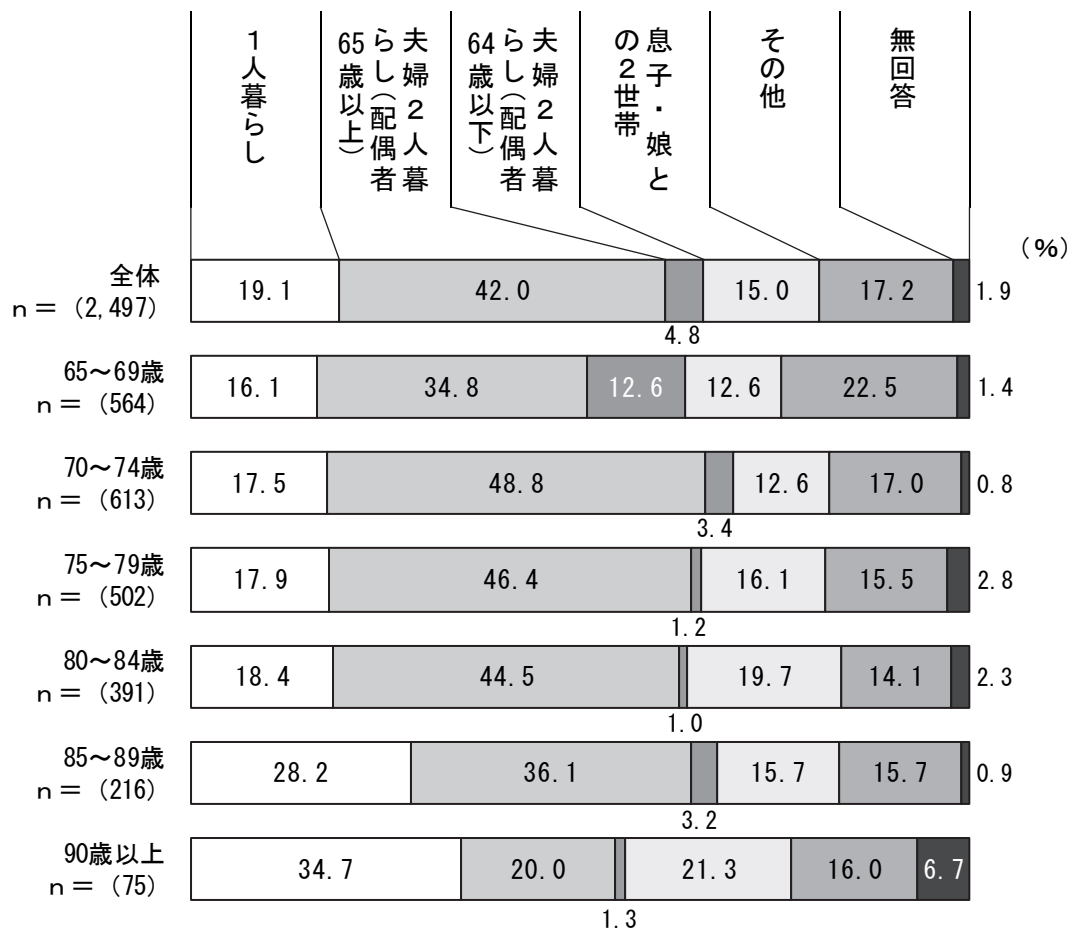
問1 (1) 家族構成を教えてください

本人の家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が42.0%で最も多く、次いで「1人暮らし」（19.1%）、「その他」（17.2%）、「息子・娘との2世帯」（15.0%）等が続いています。年齢別にみると、「1人暮らし」の割合は、90歳以上が34.7%で最も多くなっています。

【家族構成】



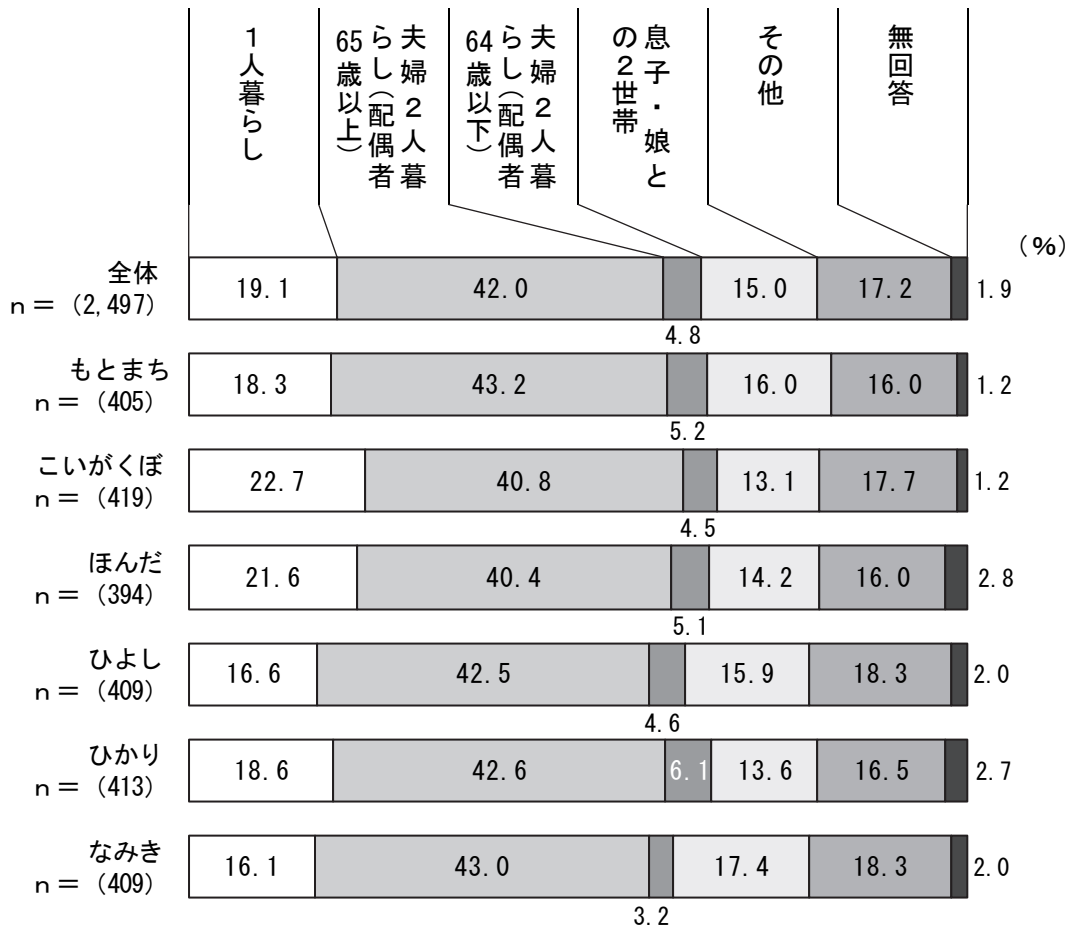
【家族構成：年齢別】



地域包括支援センター別にみると、「1人暮らし」の割合は、こいがくぼが22.7%で最も多く、ほんだ(21.6%)、ひかり(18.6%)、もとまち(18.3%)が続いています。

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」を合わせた割合は、ひかりが48.7%で最も多く、次いでもとまち(48.4%)、ひよし(47.1%)が続いています。

【家族構成：地域包括支援センター別】



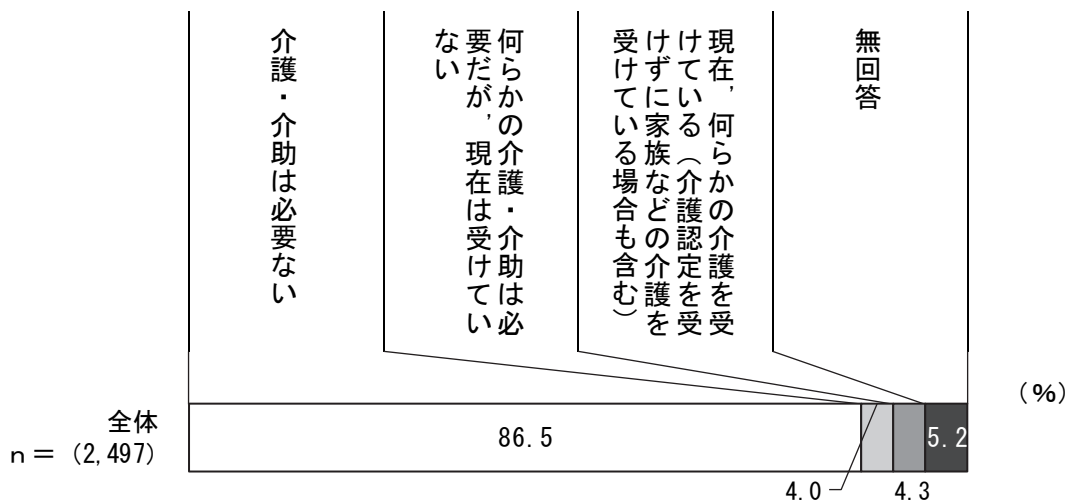
(2) 介護・介助の必要性

問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

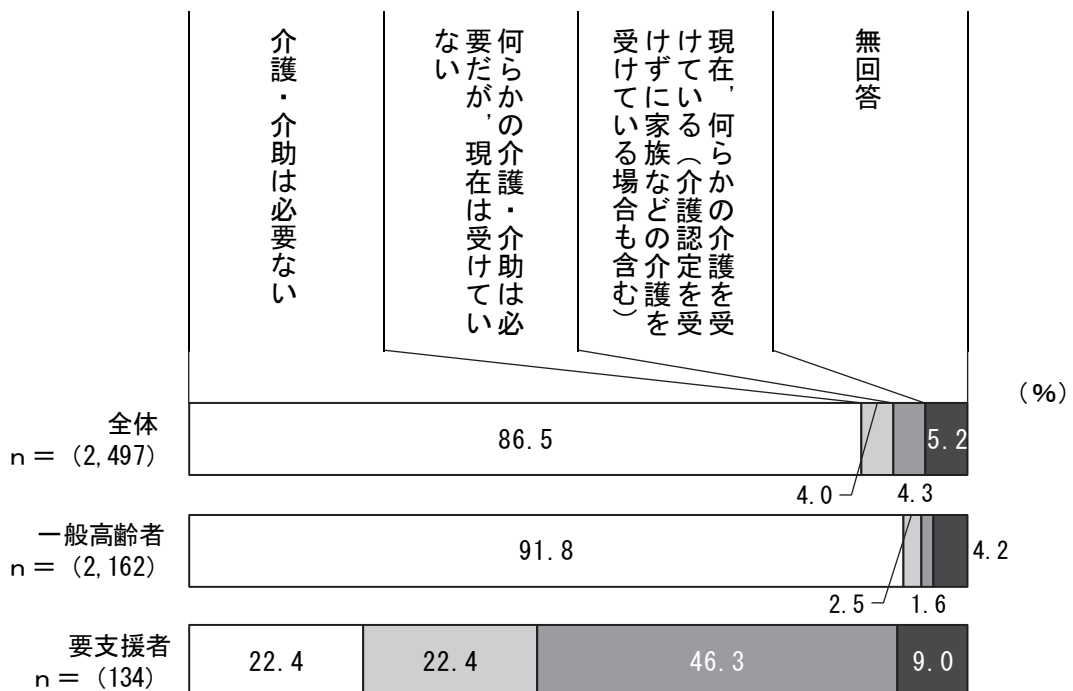
介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が86.5%で最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」（4.3%）、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」（4.0%）が続いています。

認定状況別にみると、要支援者では「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が46.3%で最も多く、次いで「介護・介助は必要ない」、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」（それぞれ22.4%）が続いています。

【介護・介助の必要性】



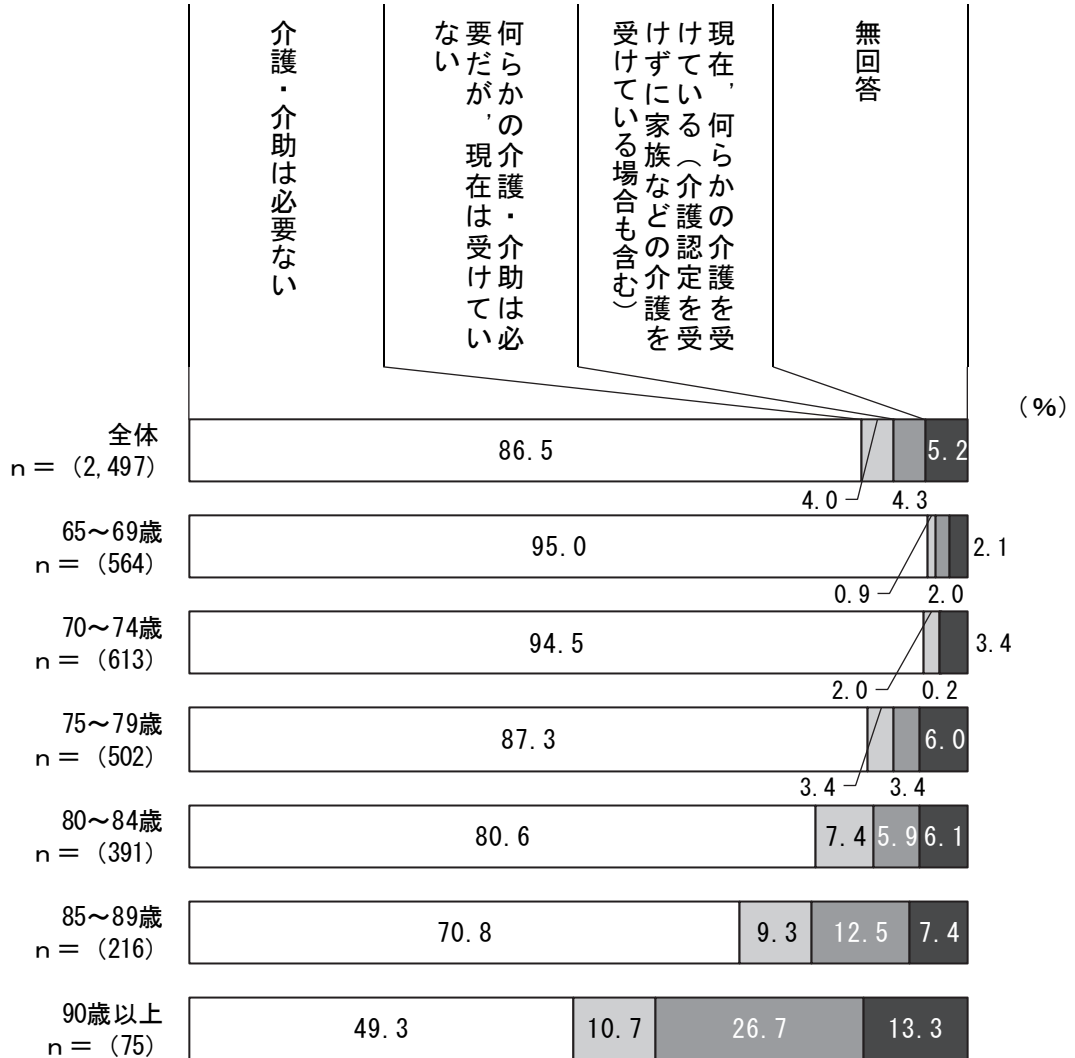
【介護・介助の必要性：認定状況別】



年齢別にみると、年齢が上がるとともに「介護・介助は必要ない」の割合が減少しています。

一方で、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合は増加しており、80歳～84歳で7.4%、85歳～89歳で9.3%、90歳以上で10.7%となっています。

【介護・介助の必要性：年齢別】



(3) 介護・介助が必要になった主な原因

【問1(2)において「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」を選択した方のみ】

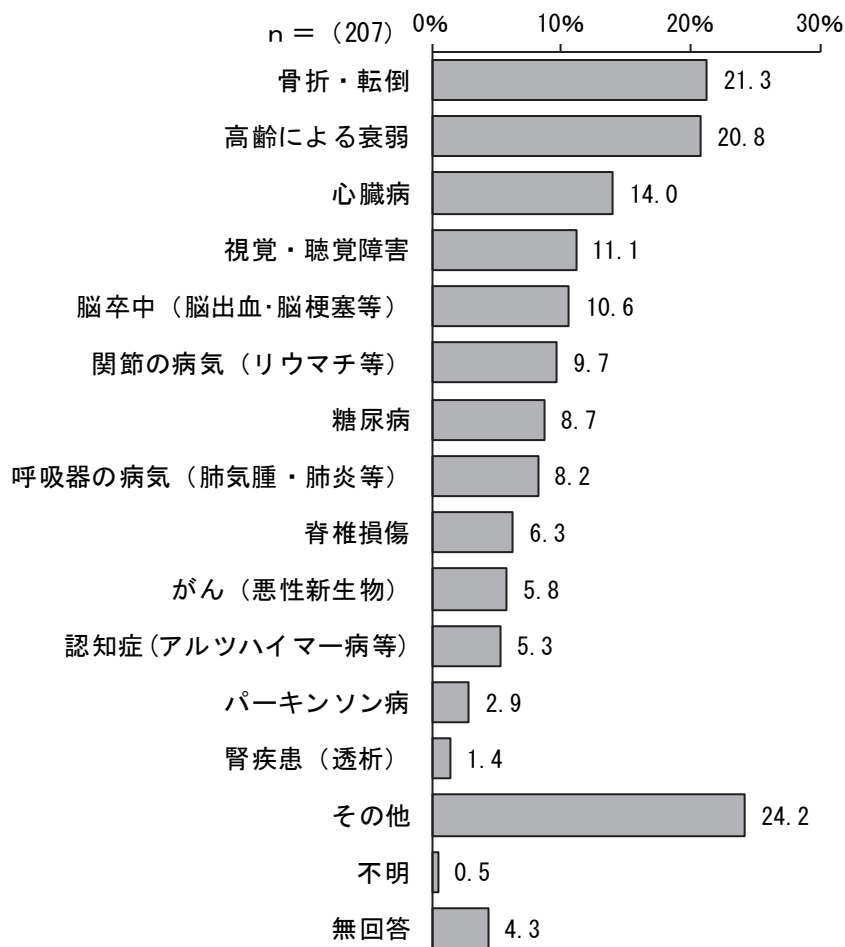
問1(2)①介護・介助が必要になった主な原因を教えてください

(あてはまるものすべてに○)

問1(2)において「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した方が、介護・介助が必要になった主な原因は、「骨折・転倒」が21.3%で最も多く、次いで「高齢による衰弱」(20.8%)、「心臓病」(14.0%)、「視覚・聴覚障害」(11.1%)、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」(10.6%)等が続いています。

「その他」の主な回答としては、「脊柱管狭窄症」、「変形性膝関節症」、「坐骨神経痛」、「高血圧」、「うつ病」、「甲状腺の病気」、「逆流性食道炎」、「パーキンソン症候群」、「腰痛」等となっています。

【介護・介助が必要になった主な原因】(複数回答)



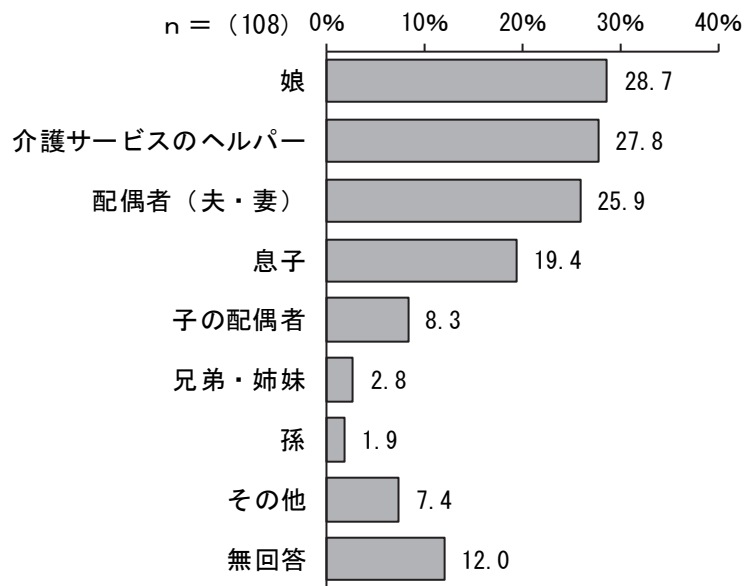
(4) 主な介護・介助者

【問1(2)において「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」を選択した方のみ】

問1(2)②主にどなたの介護、介助を受けていますか(あてはまるものすべてに○)

問1(2)において「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」と回答した方の主な介護・介助者は、「娘」が28.7%で最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」(27.8%)、「配偶者(夫・妻)」(25.9%)等が続いています。

【主な介護・介助者】(複数回答)



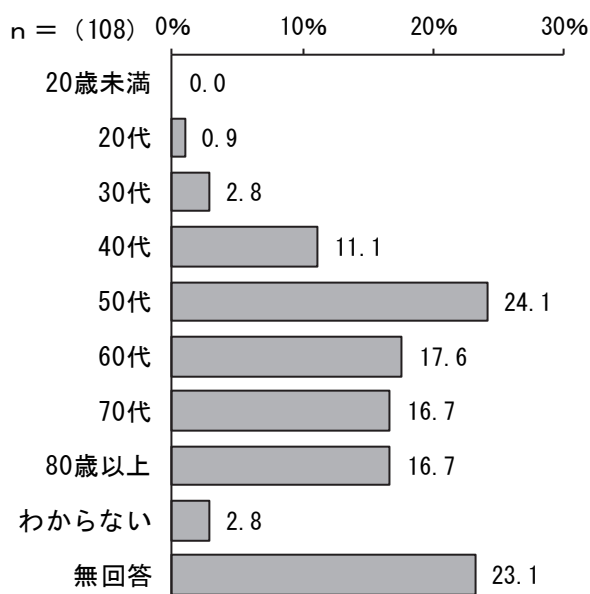
(5) 主な介護・介助者の年齢

【問1(2)において「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」を選択した方のみ】

問1(2)③主な介護・介助者の方の年齢を教えてください
(あてはまるものすべてに○)

問1(2)において「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した方の主な介護・介助者の年齢は、「50代」が24.1%で最も多く、次いで「60代」(17.6%)、「70代」,「80歳以上」(それぞれ16.7%)等が続いています。

【主な介護・介助者の年齢】(複数回答)



※ 今回調査から新たに追加された設問

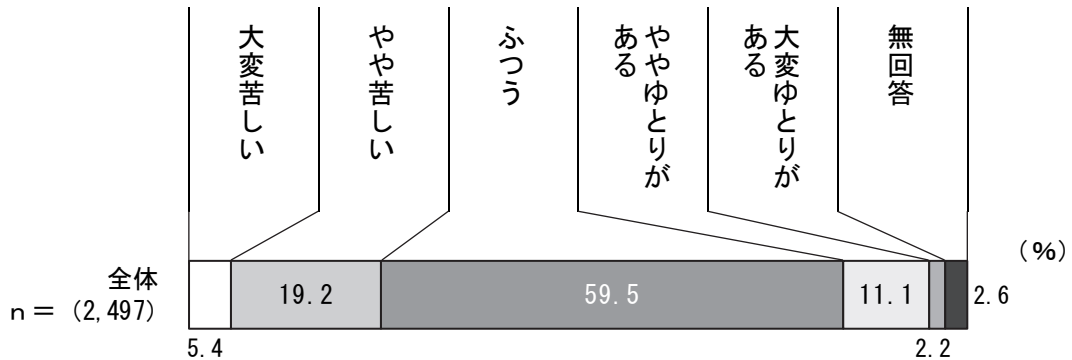
(6) 暮らしの状況

問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

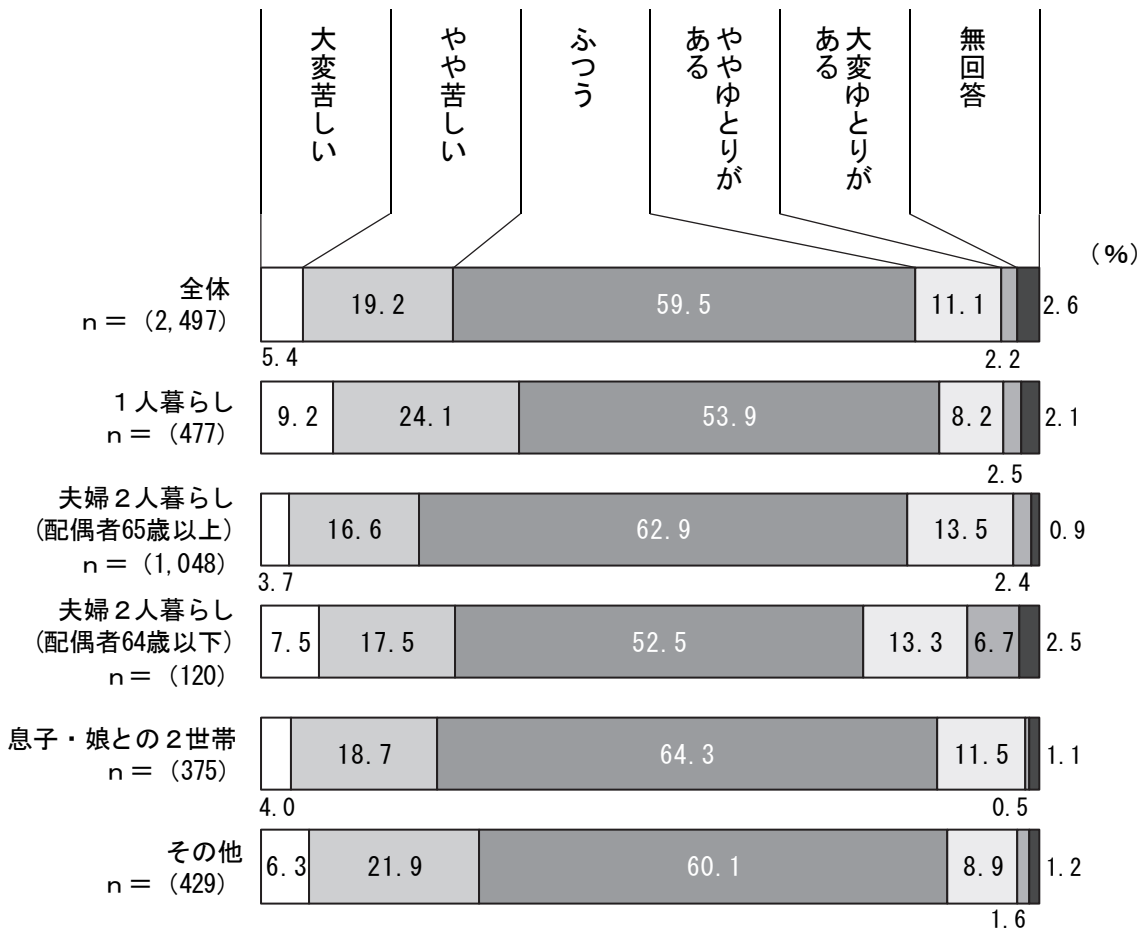
現在の経済的な暮らしの状況は、「ふつう」が 59.5%で最も多く、次いで「やや苦しい」(19.2%)、「ややゆとりがある」(11.1%)、「大変苦しい」(5.4%)、「大変ゆとりがある」(2.2%)が続いています。

家族構成別にみると、「(大変・やや) 苦しい」を合わせた割合は、1人暮らしで 33.3%と最も多くなっています。

【暮らしの状況】

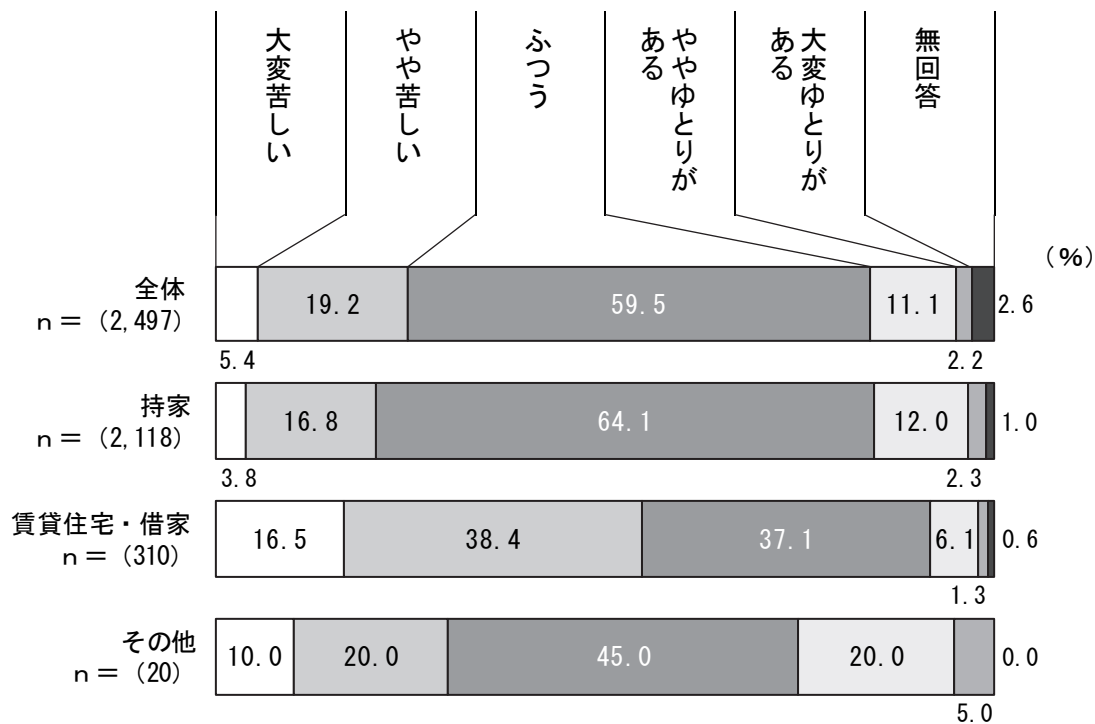


【暮らしの状況：家族構成別】



住まい別（次ページ参照）にみると、「(大変・やや) 苦しい」を合わせた割合は、賃貸住宅・借家で54.9%と持家等に比べて多くなっています。

【暮らしの状況：住まい別】



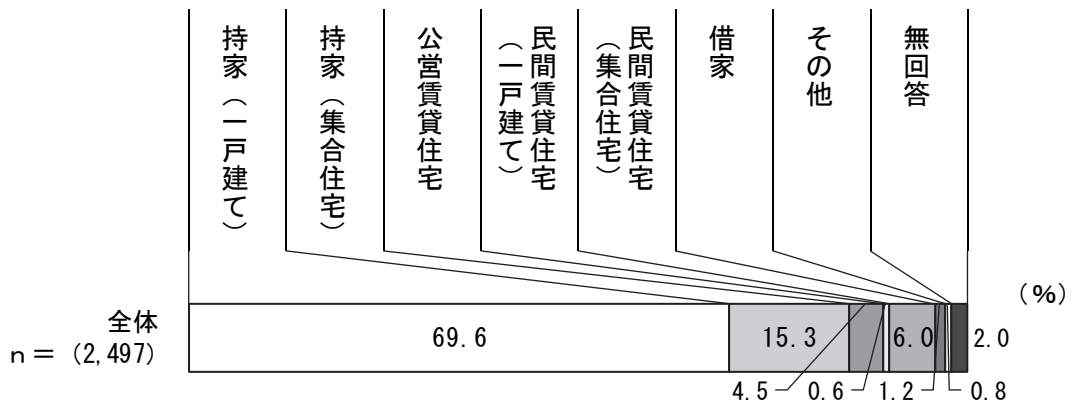
(7) 住まい

問1 (4) お住まいの種類を教えてください

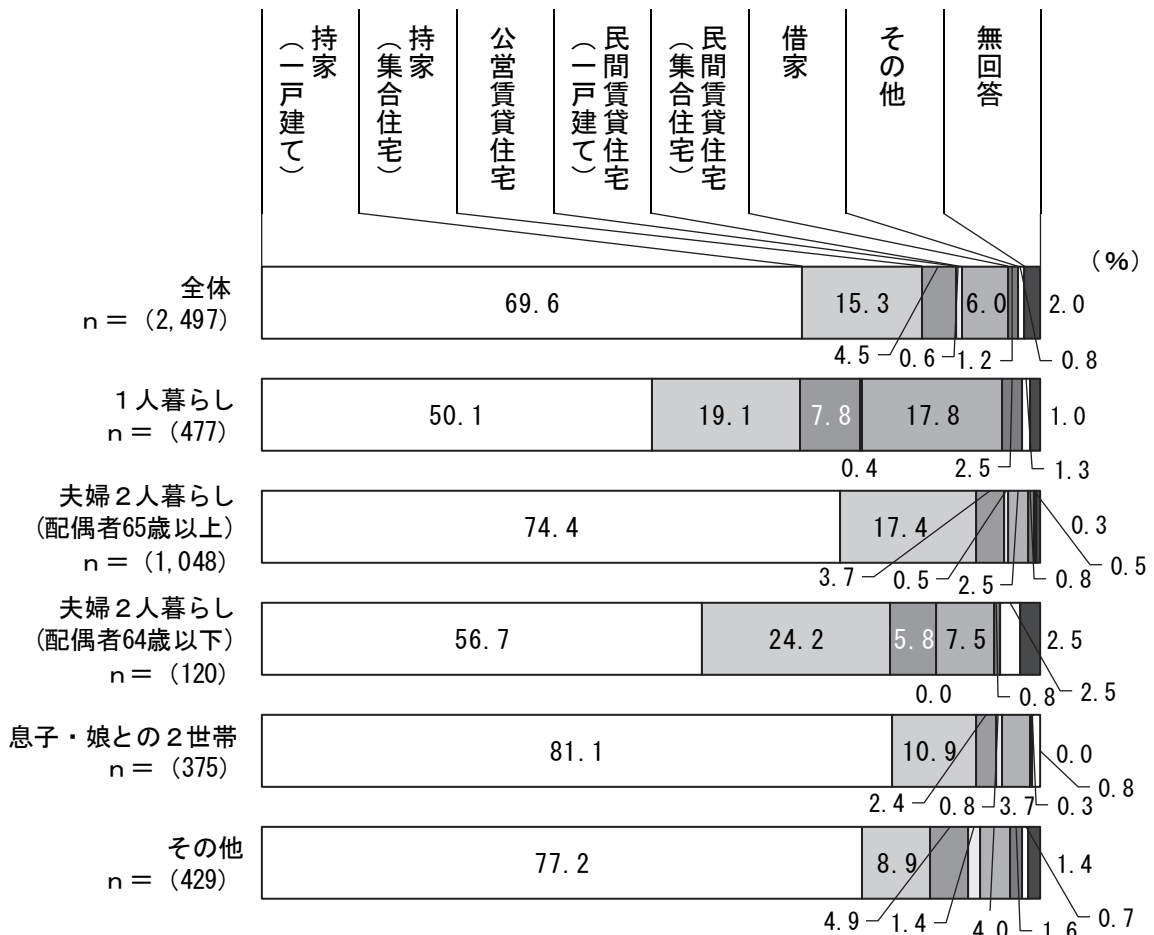
現在の住まいについては、「持家（一戸建て）」が 69.6%で最も多く、次いで「持家（集合住宅）」(15.3%), 「民間賃貸住宅（集合住宅）」(6.0%), 「公営賃貸住宅」(4.5%) 等が続いています。

家族構成別にみると、1人暮らしで「民間賃貸住宅（集合住宅）」(17.8%)と「公営賃貸住宅」(7.8%)の割合が他の家族構成に比べて多くなっています。

【住まい】

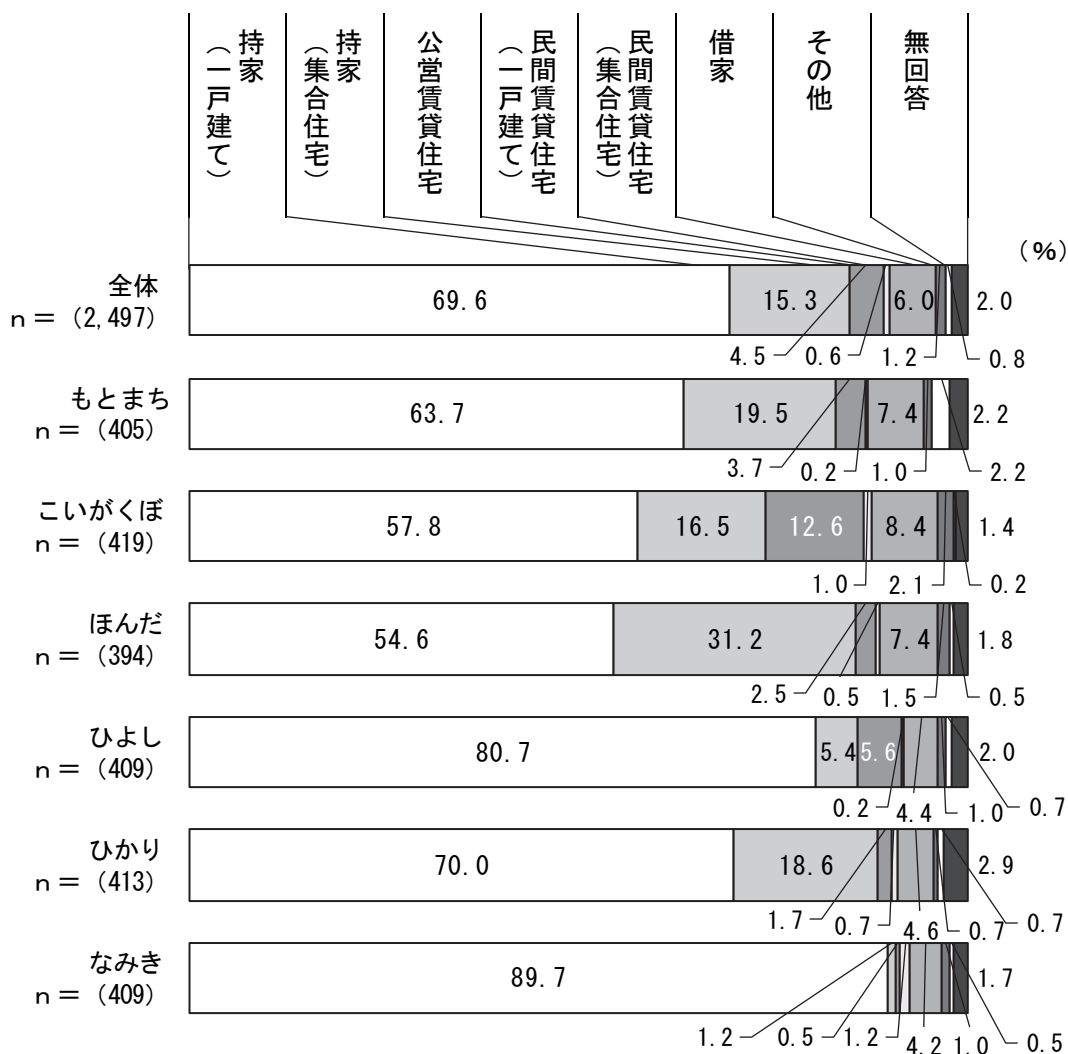


【住まい：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、なみきで「持家（一戸建て）」の割合が89.7%と、他の地域包括支援センターに比べて多くなっています。

【住まい：地域包括支援センター別】



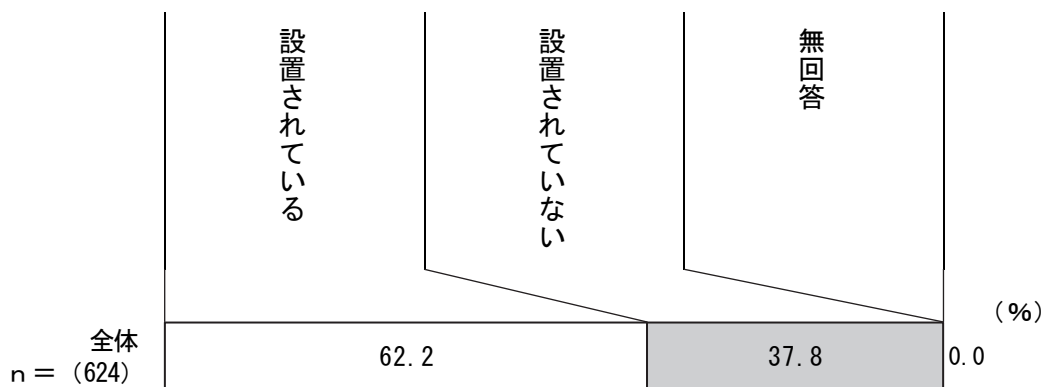
(8) エレベーター又はエスカレーターの設置状況

【問1(4)において「持家(集合住宅)」、「公営賃貸住宅」、「民間賃貸住宅(集合住宅)」を選択した方で、2階以上の階にお住まいの方のみ】

問1(4)①お住まいの集合住宅に、エレベーター又はエスカレーターは設置されていますか

問1(4)において「持家(集合住宅)」、「公営賃貸住宅」、「民間賃貸住宅(集合住宅)」で2階以上の階に住んでいる方にエレベーター又はエスカレーターの設置状況について聞いたところ、「設置されている」が62.2%となっています。

【エレベーター又はエスカレーターの設置状況】



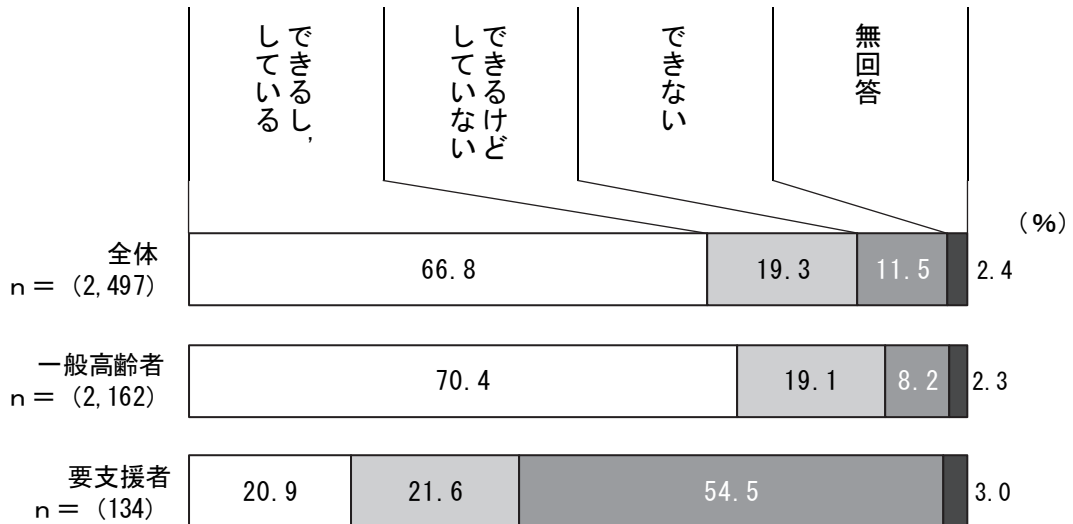
3 からだを動かすこと

(1) 階段を昇ること

問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」が 66.8%で最も多く、次いで「できるけど、していない」(19.3%) 等が続いています。

【階段を昇ること：認定状況別】

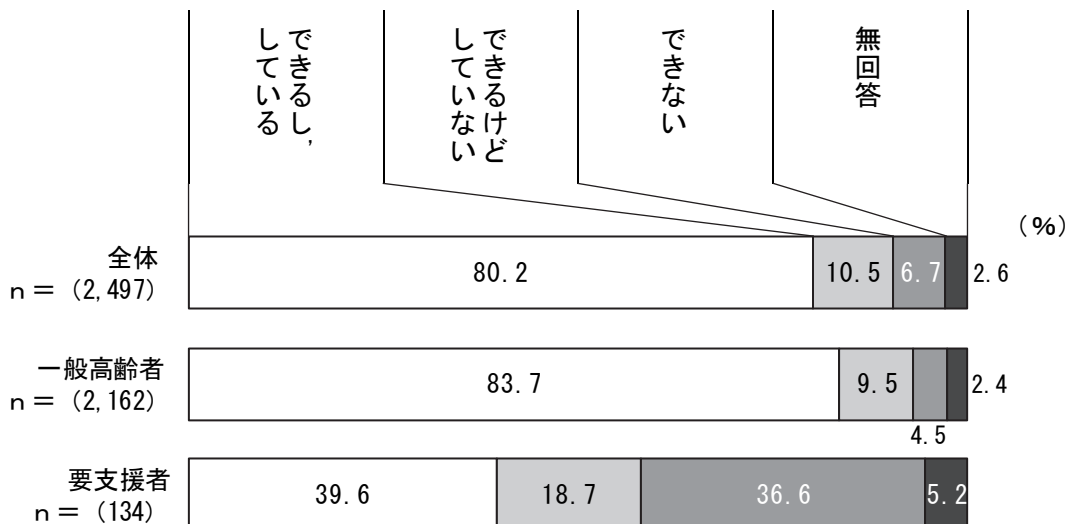


(2) 椅子からの立ち上がり

問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が 80.2%で最も多く、次いで「できるけど、していない」(10.5%) 等が続いています。

【椅子からの立ち上がり：認定状況別】

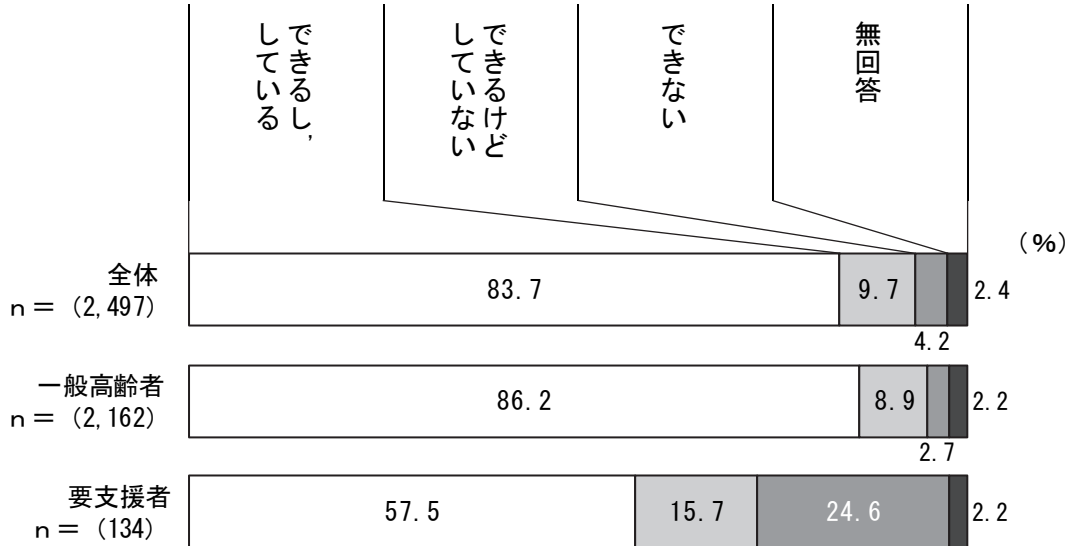


(3) 15分程度の歩行

問2 (3) 15分位続けて歩いていますか

15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」が83.7%で最も多く、次いで「できるけど、していない」(9.7%)等が続いています。

【15分程度の歩行：認定状況別】

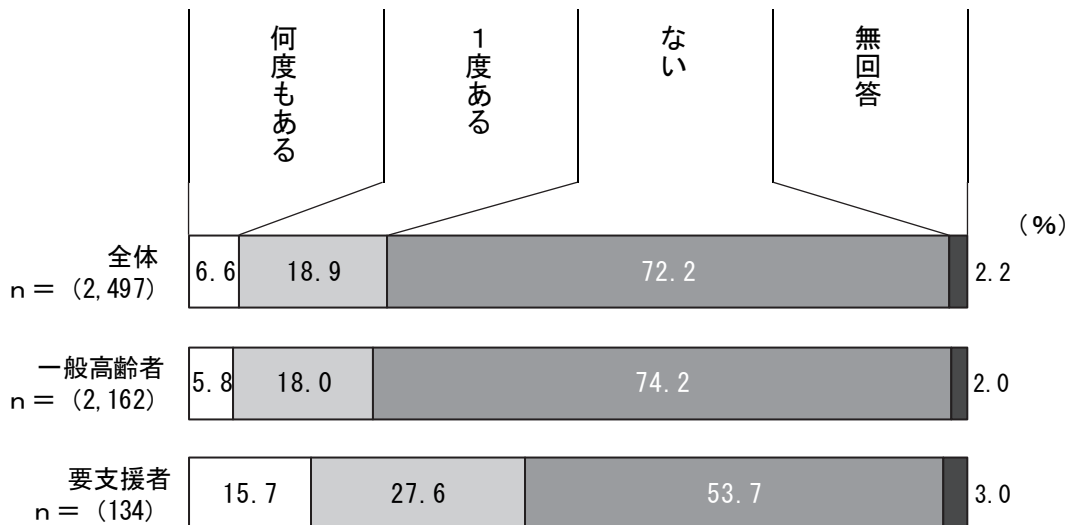


(4) 転倒の経験

問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

過去1年間の転倒経験については、「ない」が72.2%で最も多く、次いで「1度ある」(18.9%)等が続いています。

【転倒の経験：認定状況別】

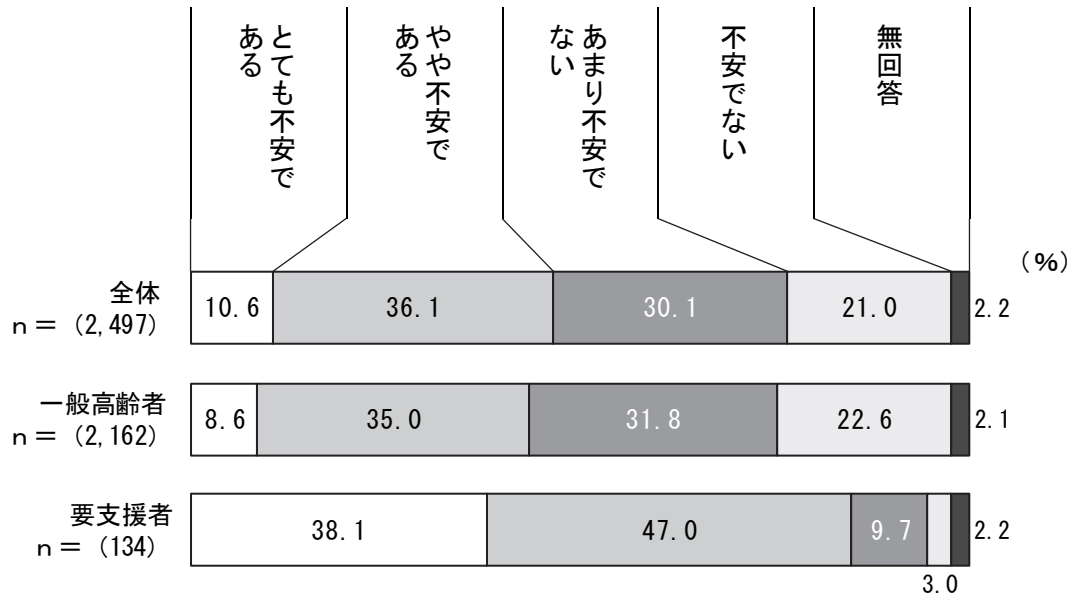


(5) 転倒に対する不安

問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか

転倒に対する不安については、「やや不安である」が36.1%で最も多く、次いで「あまり不安でない」(30.1%)等が続いています。

【転倒に対する不安：認定状況別】



(6) 運動器機能の低下

今回の調査票の問2(1)～(5)は、運動器の機能低下を問う設問です。3問以上、該当する選択肢(下表のとおり)を回答した場合は、運動器機能が低下している高齢者になります。

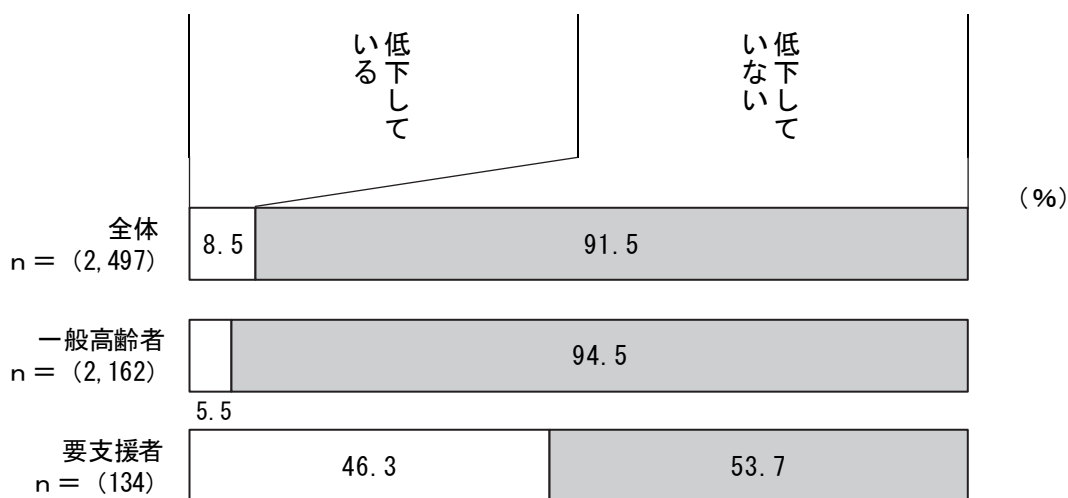
【運動器機能の低下に関する設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「できない」
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「できない」
問2(3)	15分位続けて歩いていますか	「できない」
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」「1度ある」
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「とても不安である」「やや不安である」

該当する選択肢の回答結果から、運動機能が低下している高齢者は8.5%となっています。

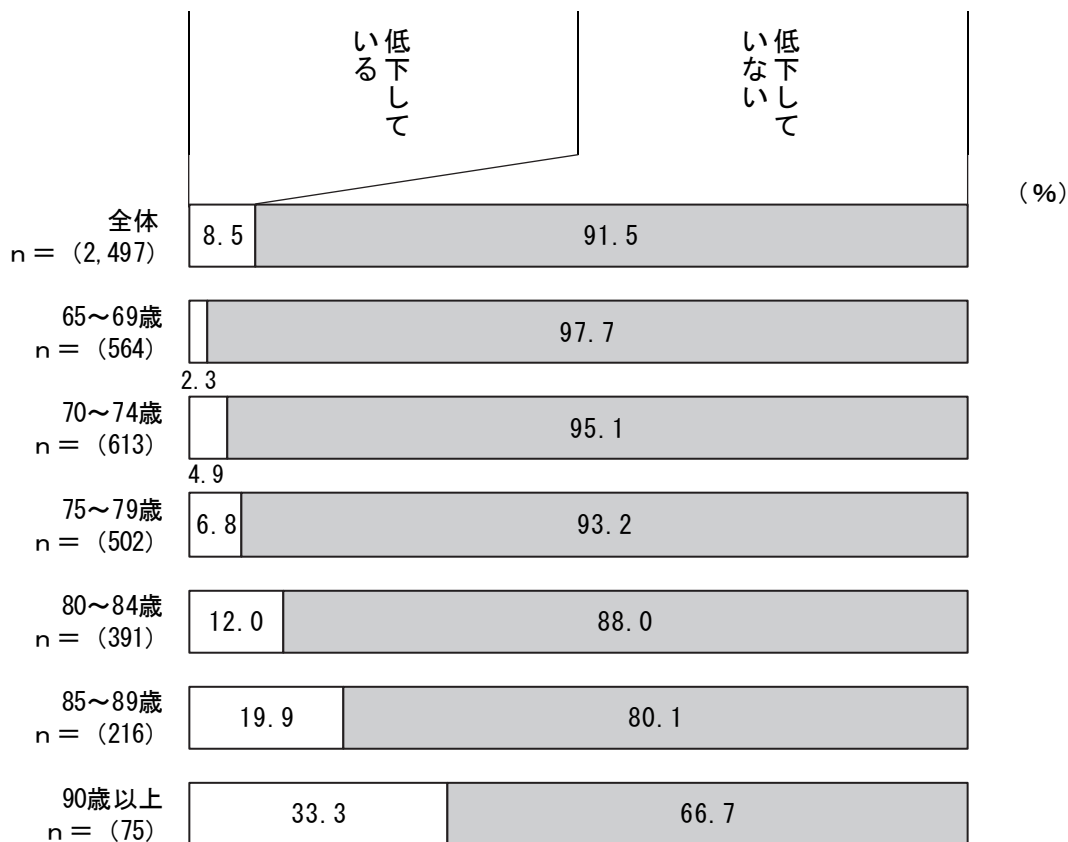
認定状況別にみると、要支援者が46.3%となり、一般高齢者に比べ運動器機能の低下した高齢者の割合が多くなっています。

【運動器機能の低下：認定状況別】



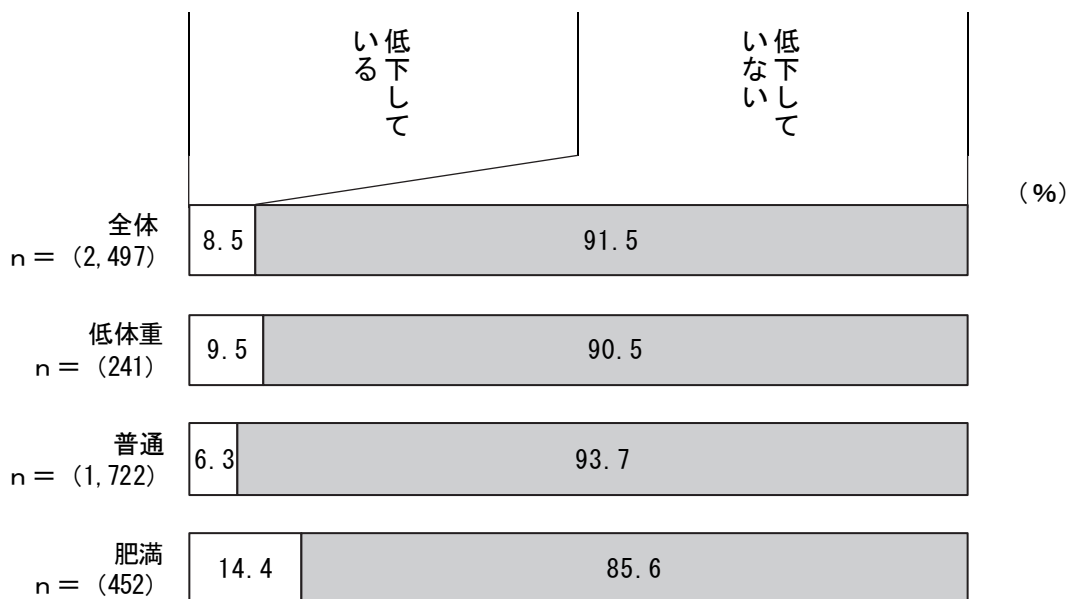
年齢別にみると、年齢が上がるとともに運動器機能の低下した高齢者の割合が多くなっています。

【運動器機能の低下：年齢別】



肥満度別にみると、肥満が14.4%と最も多くなっています。

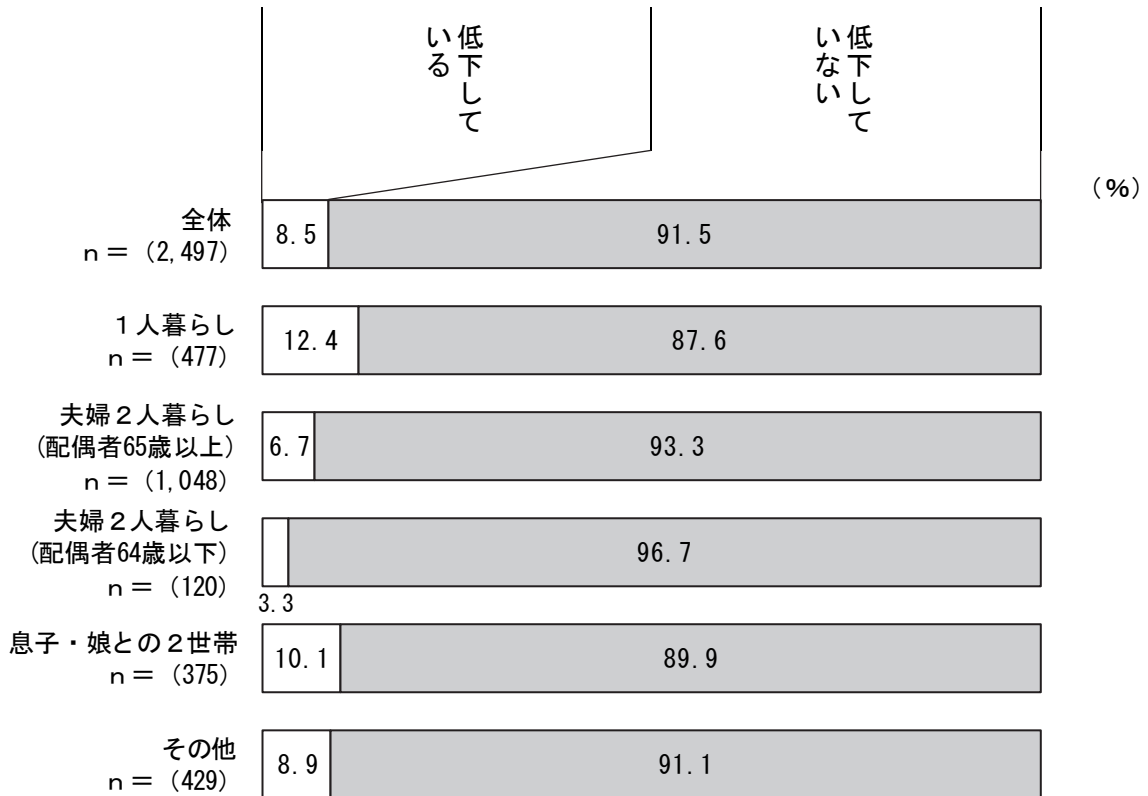
【運動器機能の低下：肥満度別】



※ 肥満度別は、問3（1）から算出したBMIが18.5未満を「低体重」、18.5以上25未満を「普通」、25以上を「肥満」として集計
 (BMI (体格指数) : 体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m)) によって求められる値)

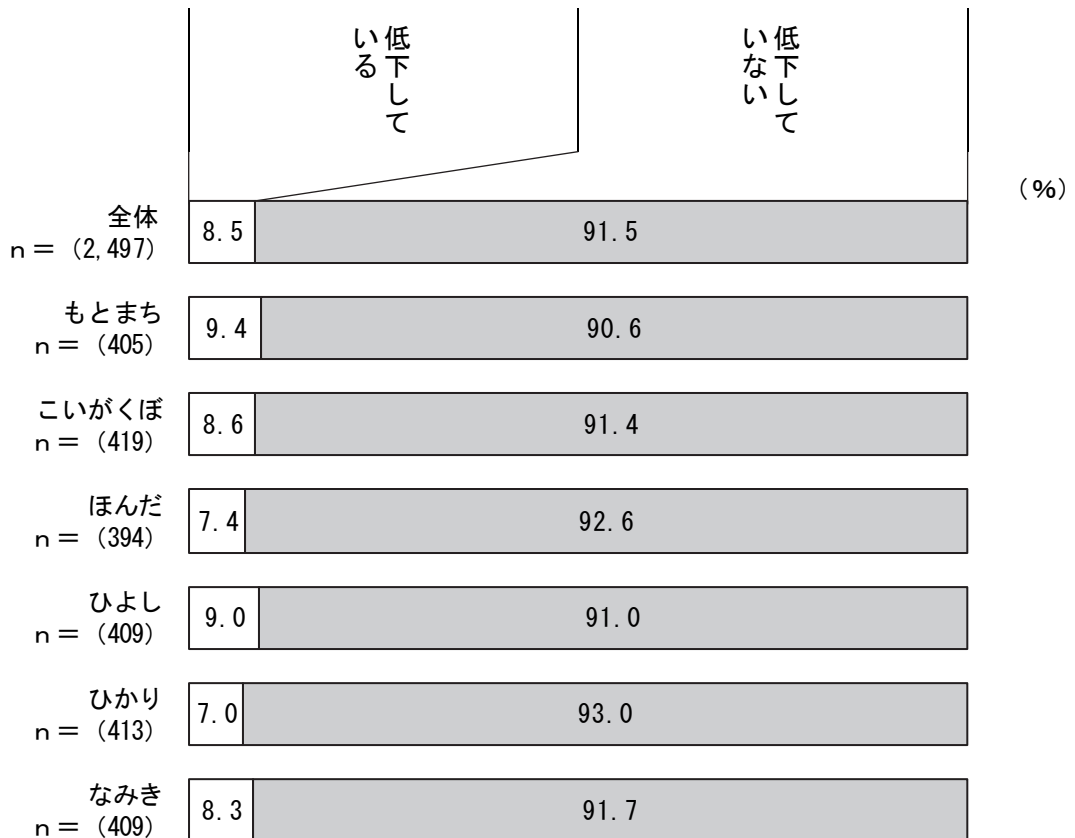
家族構成別にみると、1人暮らしが12.4%で最も多く、次いで息子・娘との2世帯(10.1%)等が続いています。

【運動器機能の低下：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、あまり大きな差はありません。

【運動器機能の低下：地域包括支援センター別】



(7) 転倒リスク

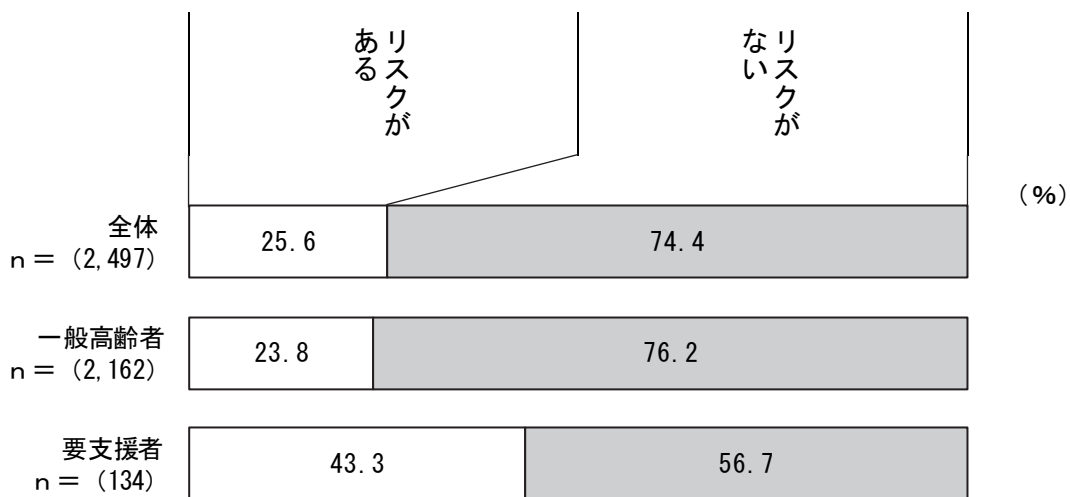
今回の調査票の問2(4)は、転倒リスクを問う設問です(調査結果は19ページ参照)。「何
度もある」又は「1度ある」を回答した場合は転倒リスクのある高齢者になります。

【転倒リスクに関する設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」「1度ある」

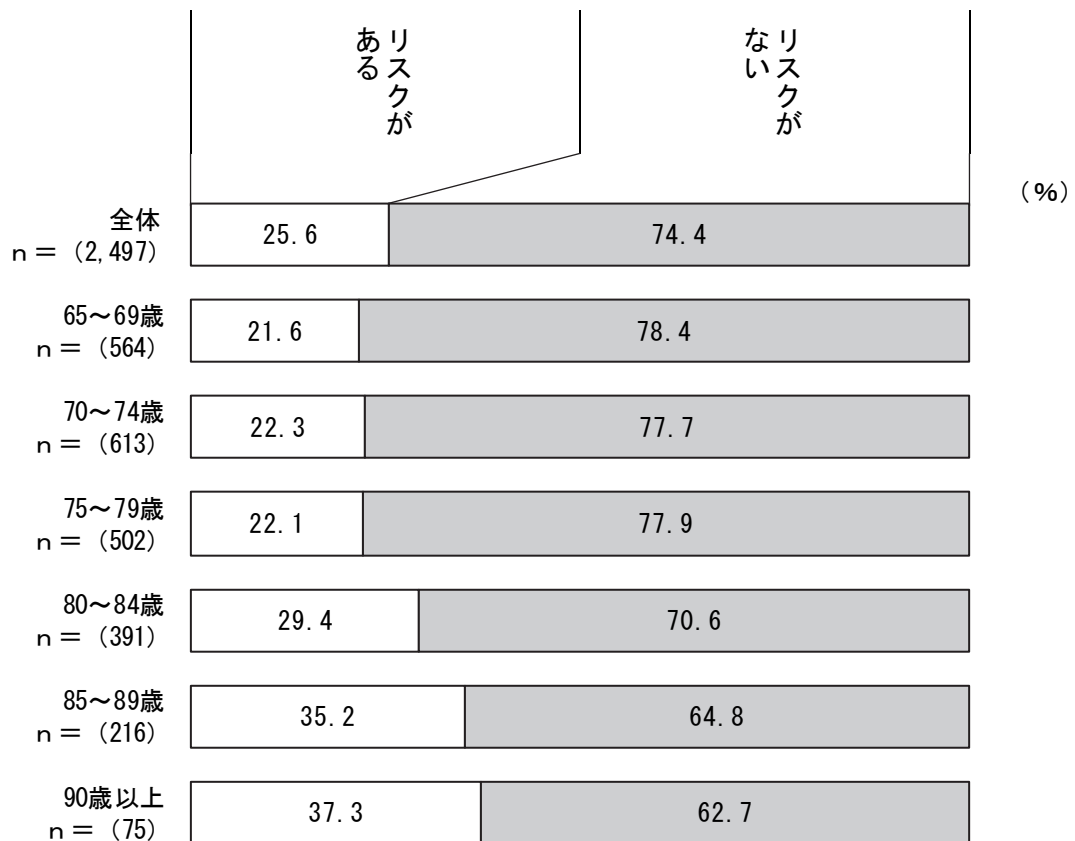
該当する選択肢の回答結果から、転倒リスクのある高齢者は25.6%となっています。
認定状況別にみると、要支援者が43.3%、一般高齢者が23.8%となっています。

【転倒リスク：認定状況別】



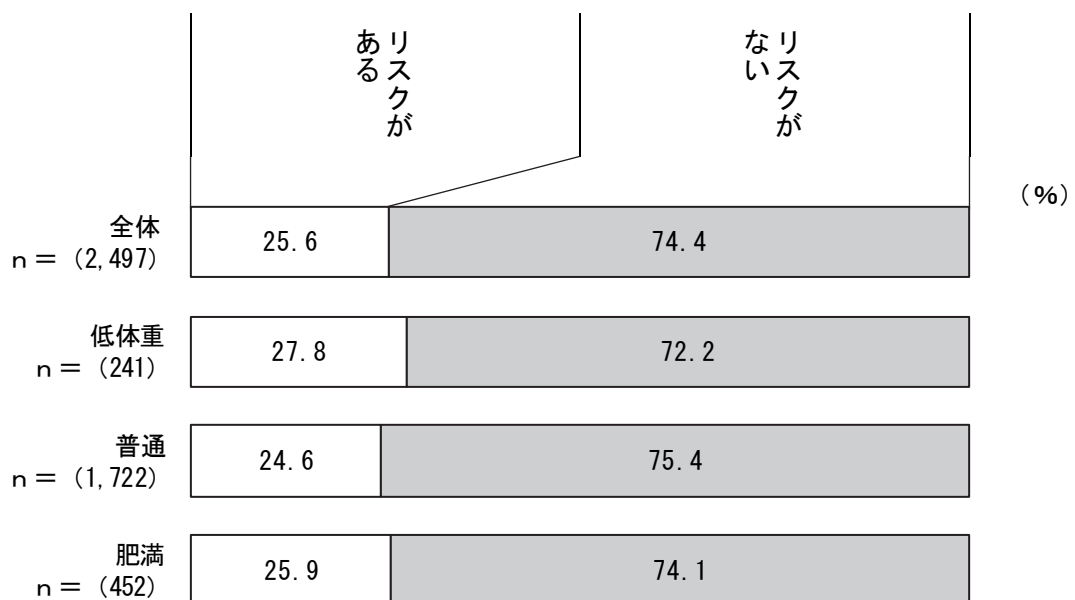
年齢別にみると、85歳以上では転倒リスクのある高齢者の割合が30%を超えています。

【転倒リスク：年齢別】



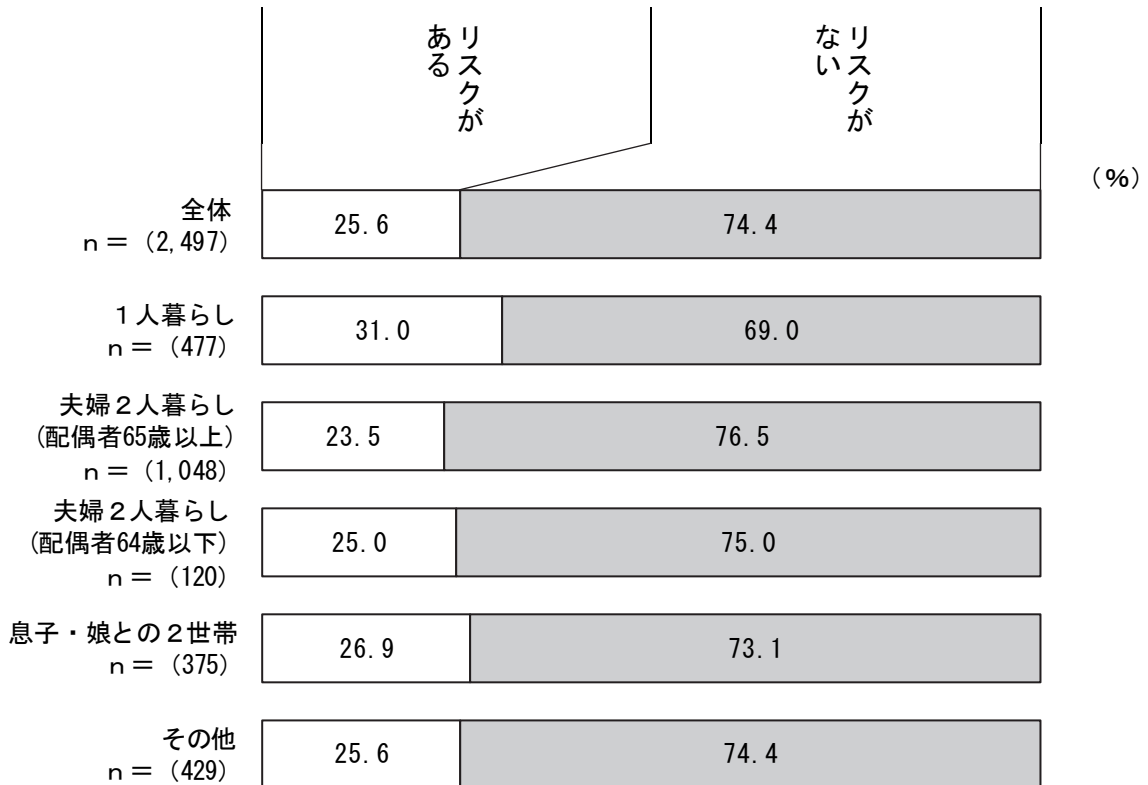
肥満度別にみると、あまり大きな差はありません。

【転倒リスク：肥満度別】



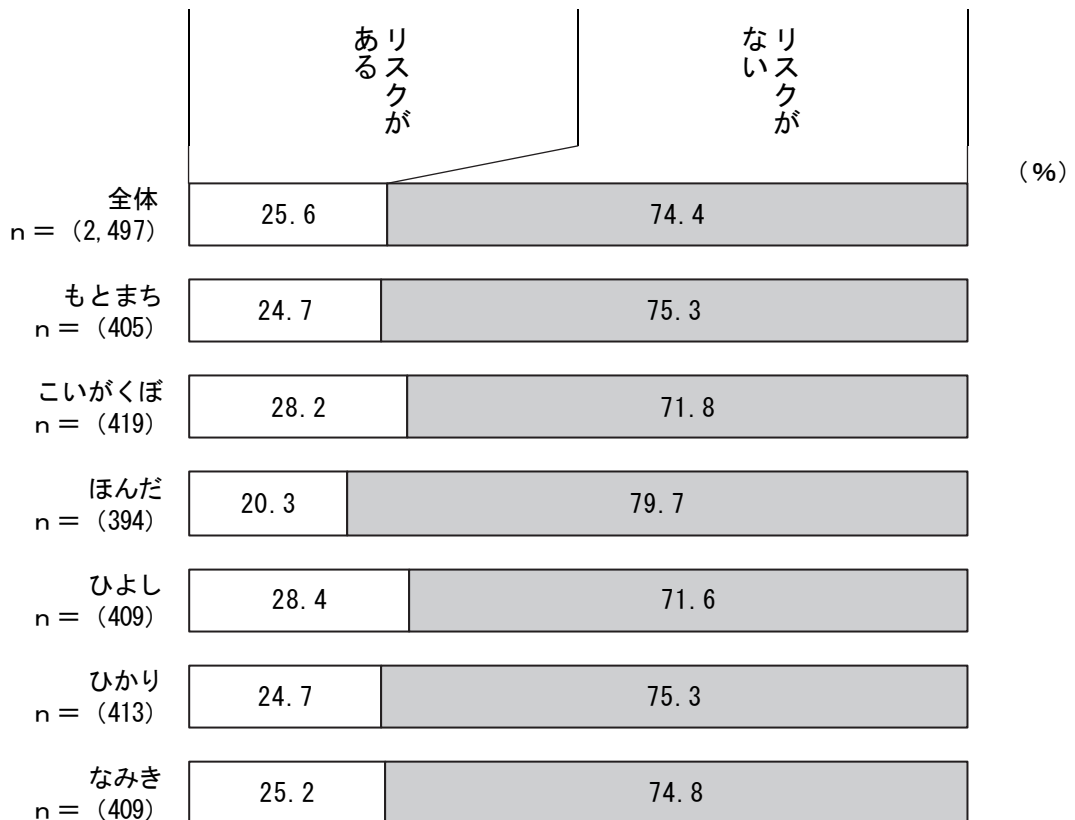
家族構成別にみると、1人暮らしが31.0%で最も多く、次いで息子・娘との2世帯(26.9%)等が続いています。

【転倒リスク：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、ひよしが28.4%で最も多く、次いでこいがくぼ(28.2%)等が続いています。

【転倒リスク：地域包括支援センター別】



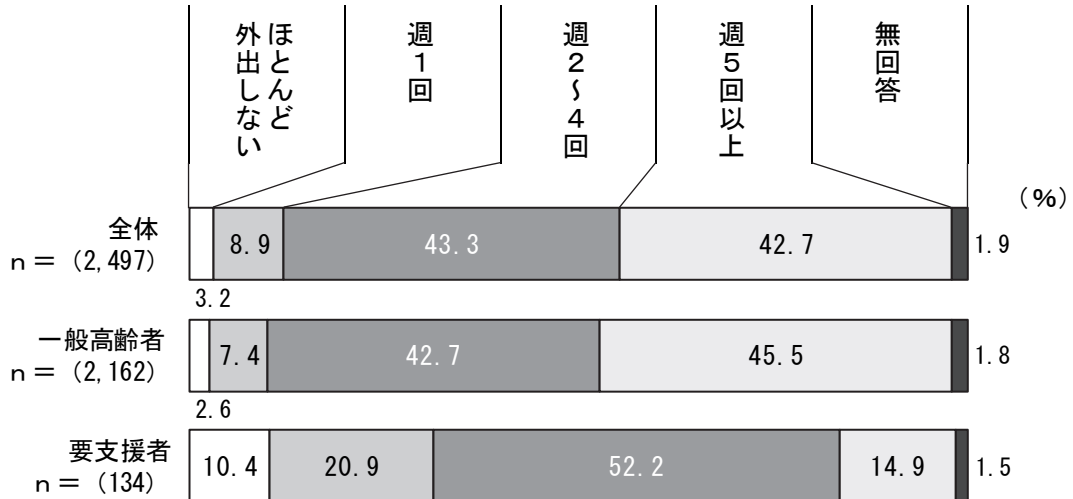
(8) 外出の頻度

問2 (6) 週に1回以上は外出していますか

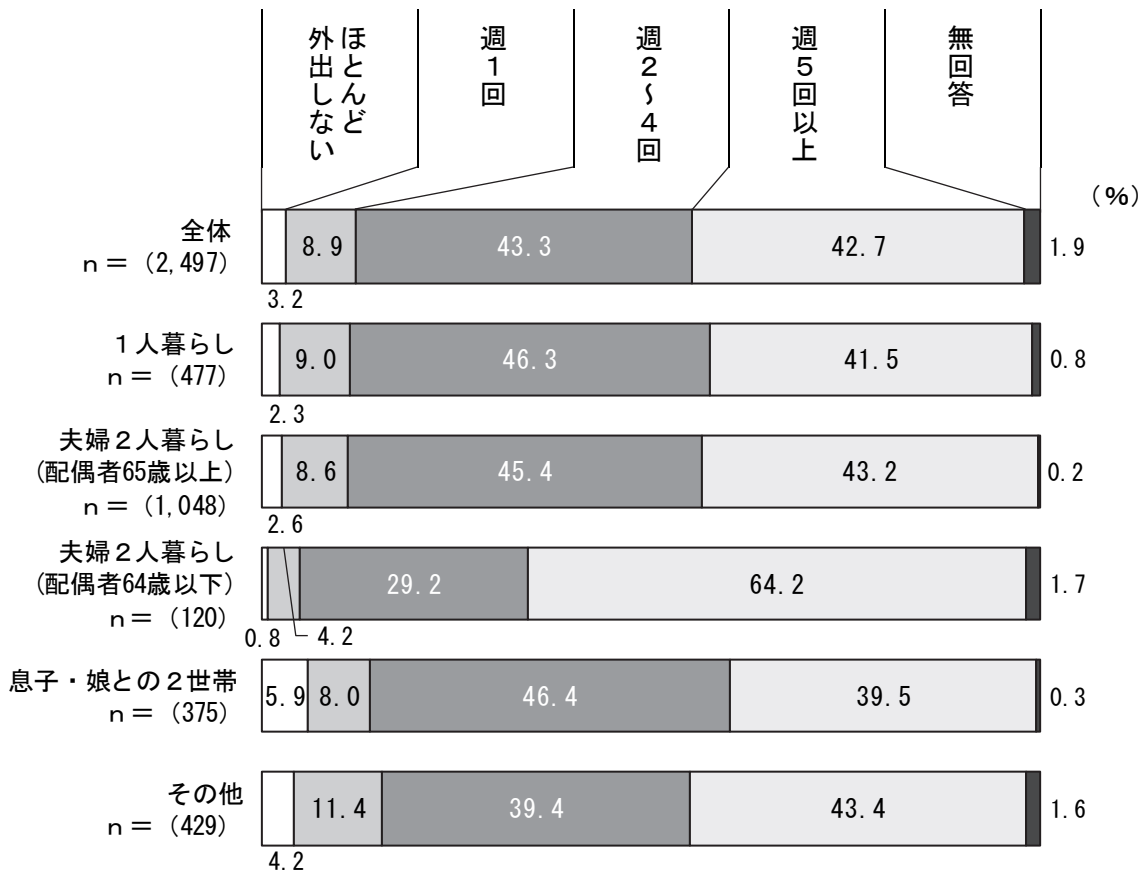
外出の頻度については、「週2～4回」が43.3%で最も多く、次いで「週5回以上」(42.7%)等が続いています。

認定状況別にみると、「ほとんど外出しない」、「週1回」を合わせた割合は、要支援者が31.3%、一般高齢者が10.0%となっています。

【外出の頻度：認定状況別】



【外出の頻度：家族構成別】



(9) 閉じこもり傾向

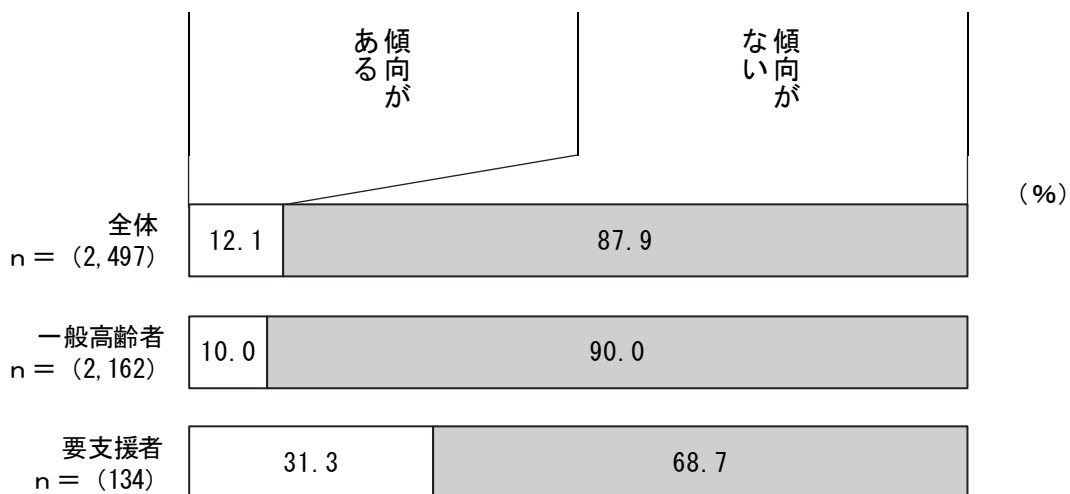
今回の調査票の問2(6)は、閉じこもり傾向を問う設問です。「ほとんど外出しない」又は「週1回」と回答している場合は閉じこもり傾向のある高齢者になります。

【閉じこもり傾向に関する設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2(6)	週に1回以上は外出していますか	「ほとんど外出しない」「週1回」

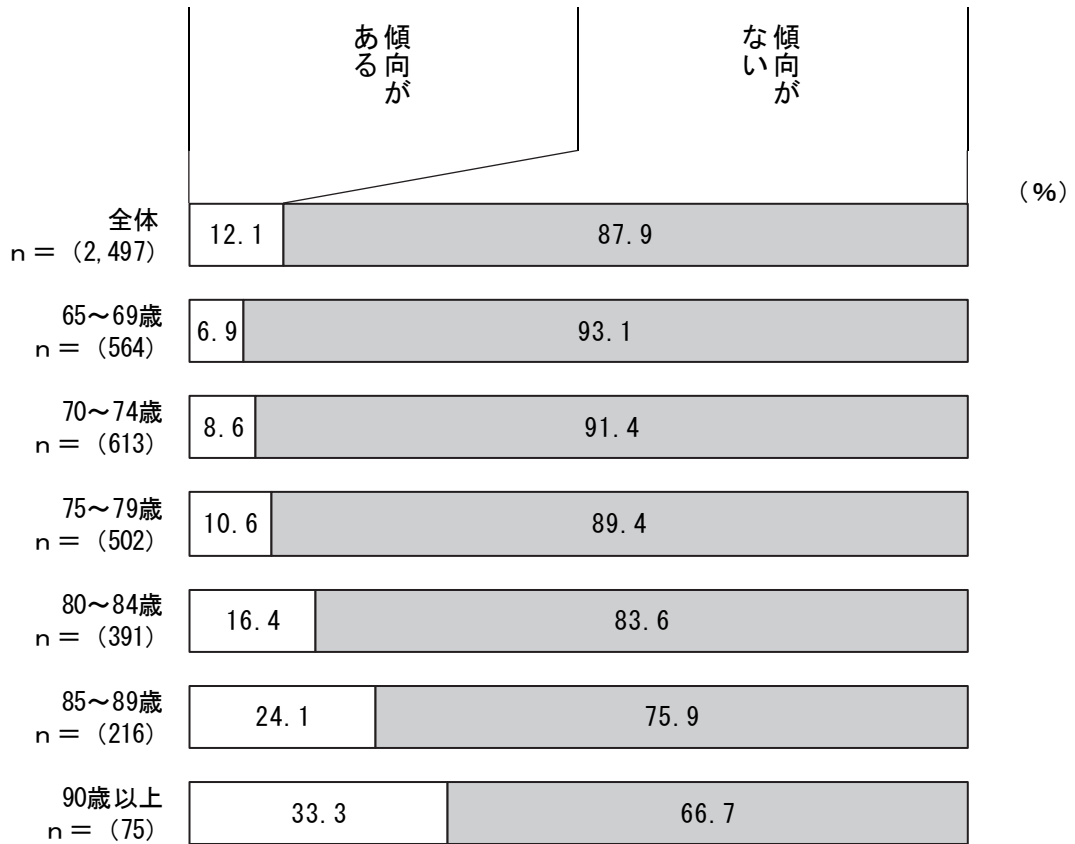
該当する選択肢の回答結果から、閉じこもり傾向のある高齢者は12.1%となっています。認定状況別にみると、要支援者が31.3%、一般高齢者が10.0%となっています。

【閉じこもり傾向：認定状況別】



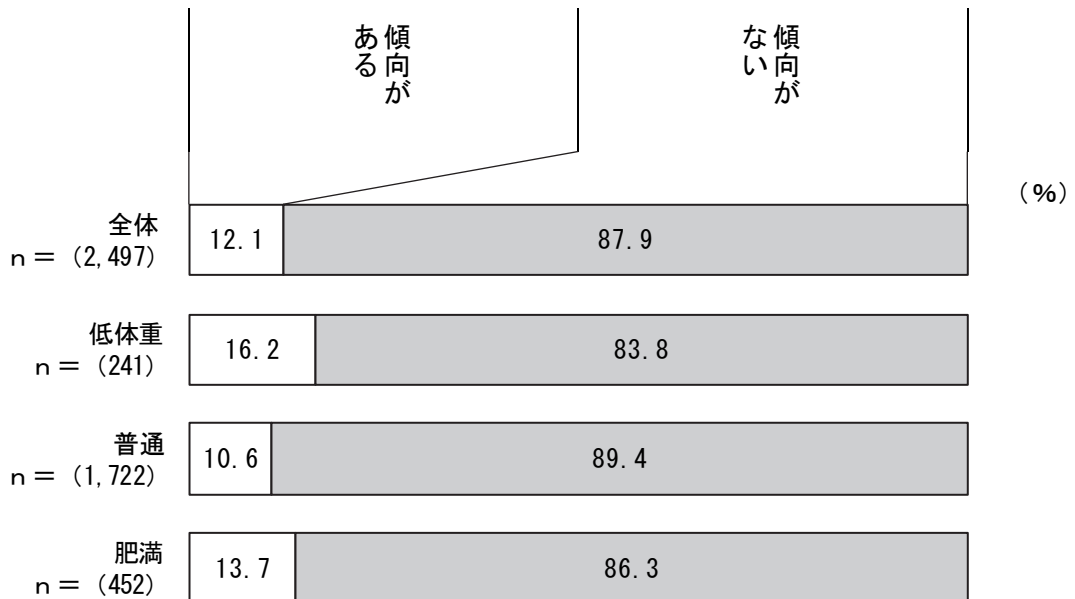
年齢別にみると、年齢が上がるとともに閉じこもり傾向のある高齢者の割合が多くなっています。

【閉じこもり傾向：年齢別】



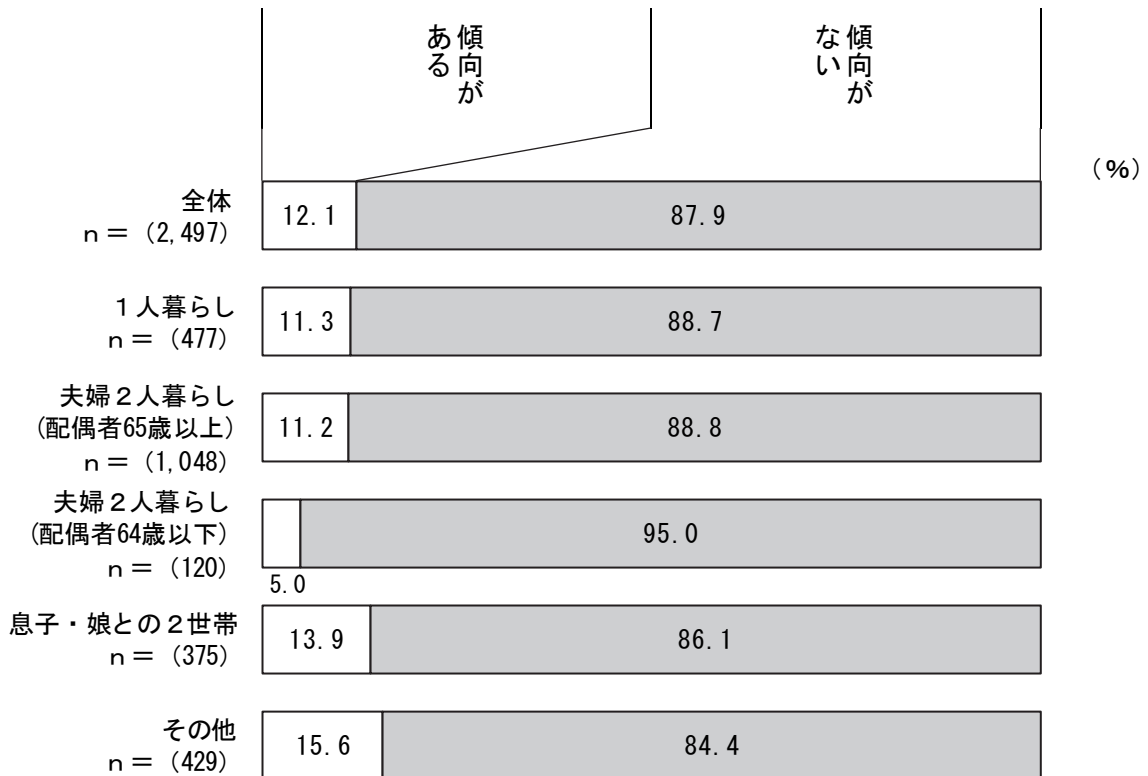
肥満度別にみると、あまり大きな差はありません。

【閉じこもり傾向：肥満度別】



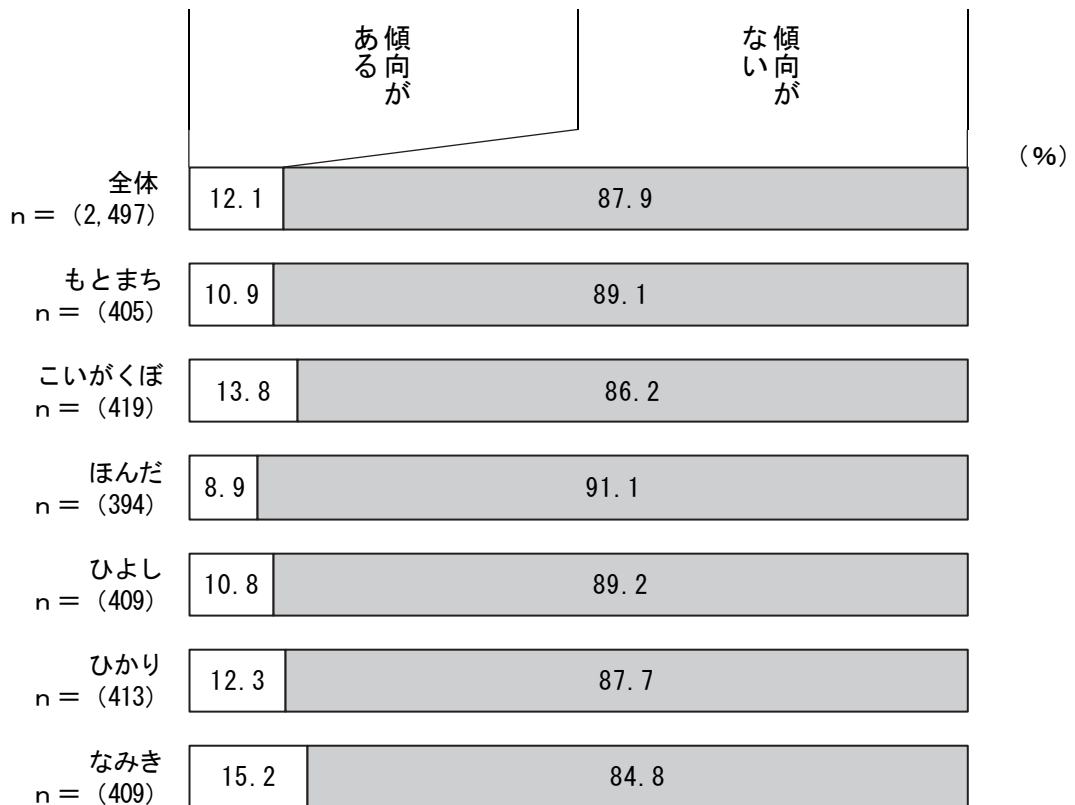
家族構成別にみると、その他が15.6%で最も多く、次いで息子・娘との2世帯(13.9%)等が続いています。

【閉じこもり傾向：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、なみきが15.2%で最も多く、次いでこいがくぼ(13.8%)、ひかり(12.3%)等が続いています。

【閉じこもり傾向：地域包括支援センター別】



(10) 外出回数の減少

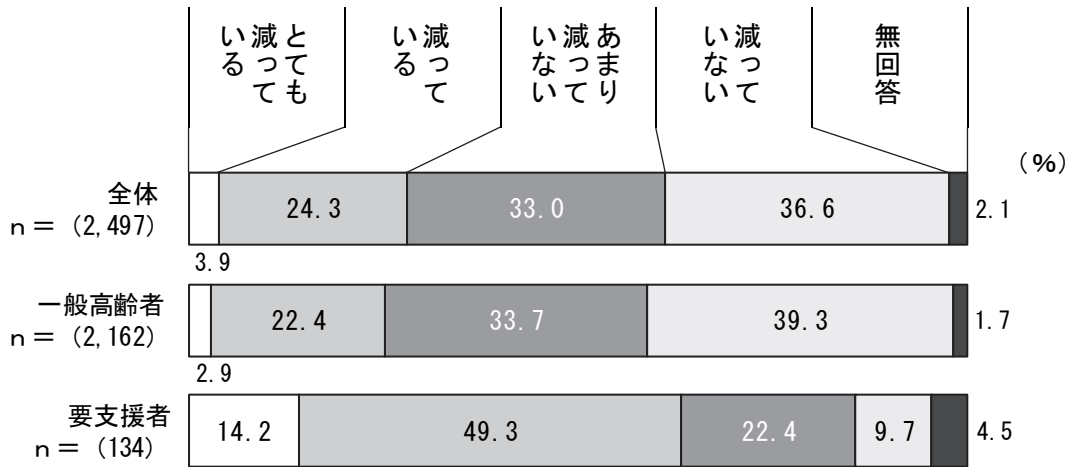
問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

昨年と比べて外出回数が減少しているかについては、「減っていない」が36.6%で最も多く、次いで「あまり減っていない」(33.0%)等が続いています。

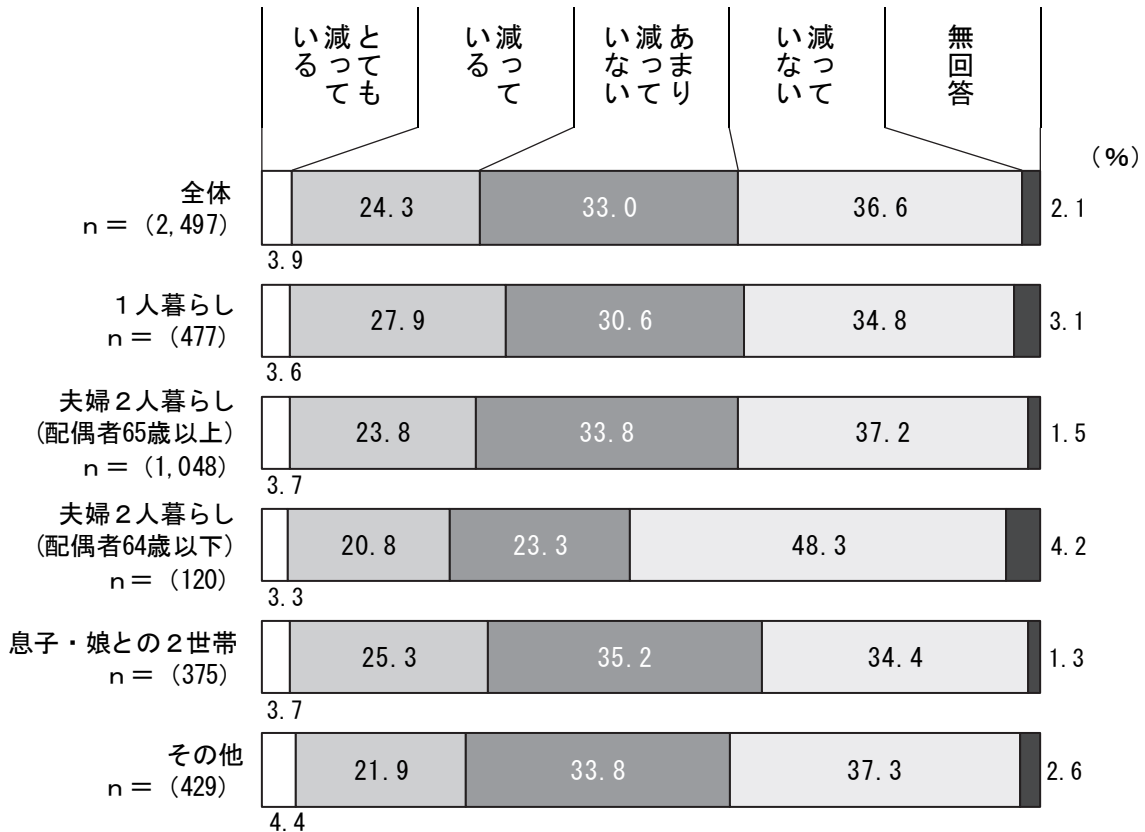
認定状況別にみると、「とても減っている」、「減っている」を合わせた割合は、要支援者が63.5%、一般高齢者が25.3%となっています。

家族構成別にみると、「とても減っている」、「減っている」を合わせた割合は、1人暮らしが31.5%で最も多く、次いで息子・娘との2世帯(29.0%)等が続いています。

【外出回数の減少：認定状況別】



【外出回数の減少：家族構成別】



(11) 外出を控えているか

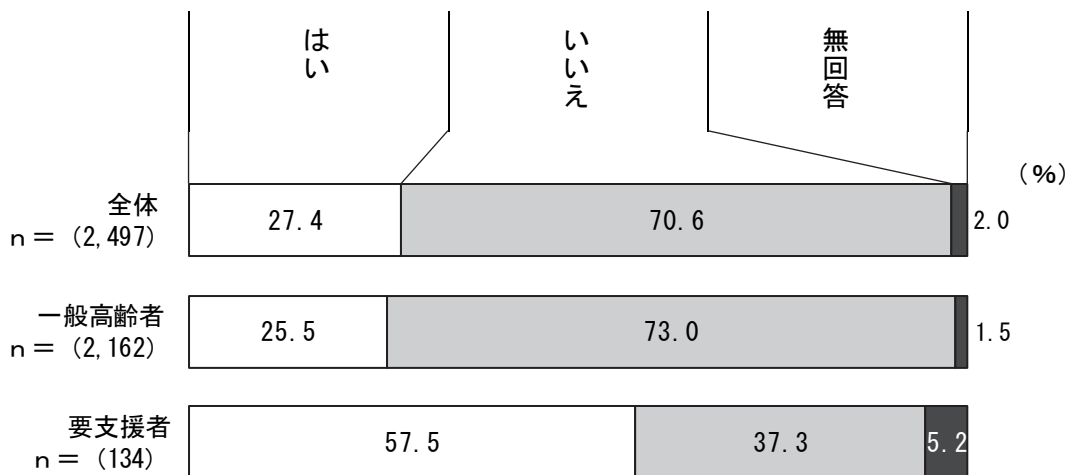
問2 (8) 外出を控えていますか

外出を控えているかについては、「はい」が27.4%、「いいえ」が70.6%となっています。

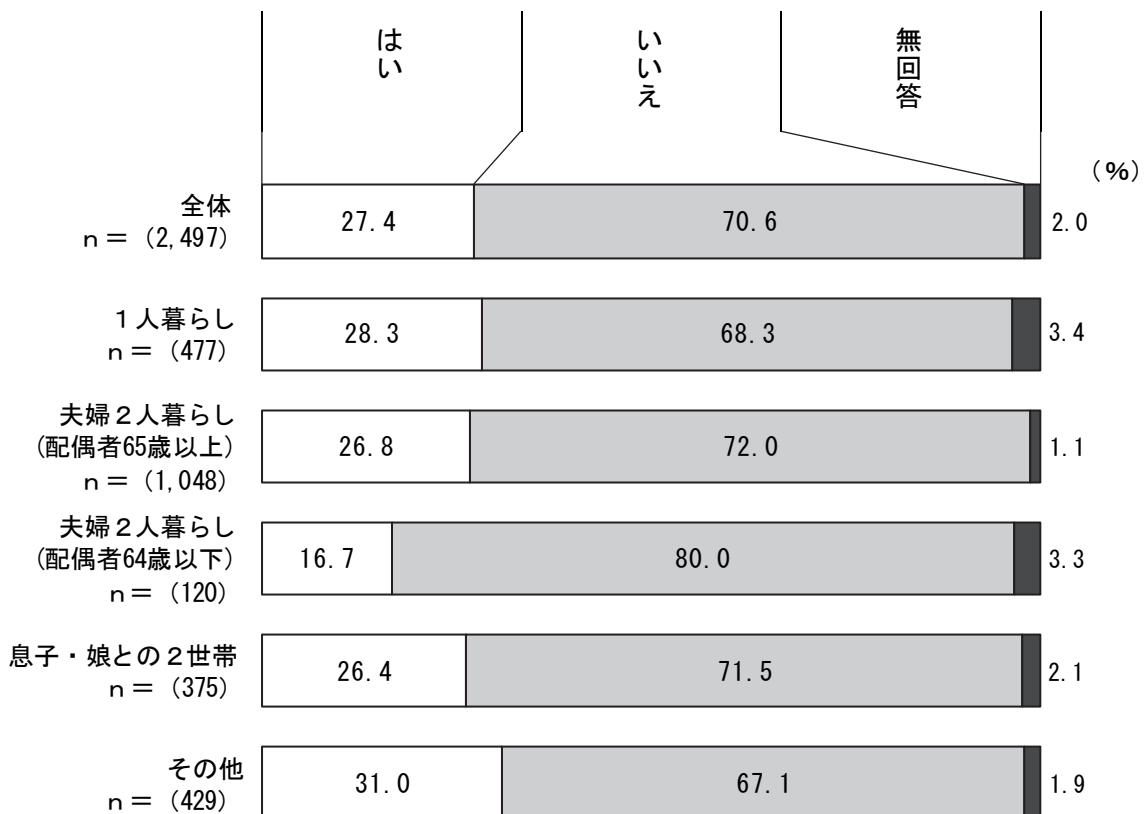
認定状況別にみると、「はい」の割合は、要支援者が57.5%、一般高齢者が25.5%となっています。

家族構成別にみると、「はい」の割合は、1人暮らしが28.3%で最も多く、次いで夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）（26.8%）等が続いています。

【外出を控えているか：認定状況別】



【外出を控えているか：家族構成別】



(12) 外出を控えている理由

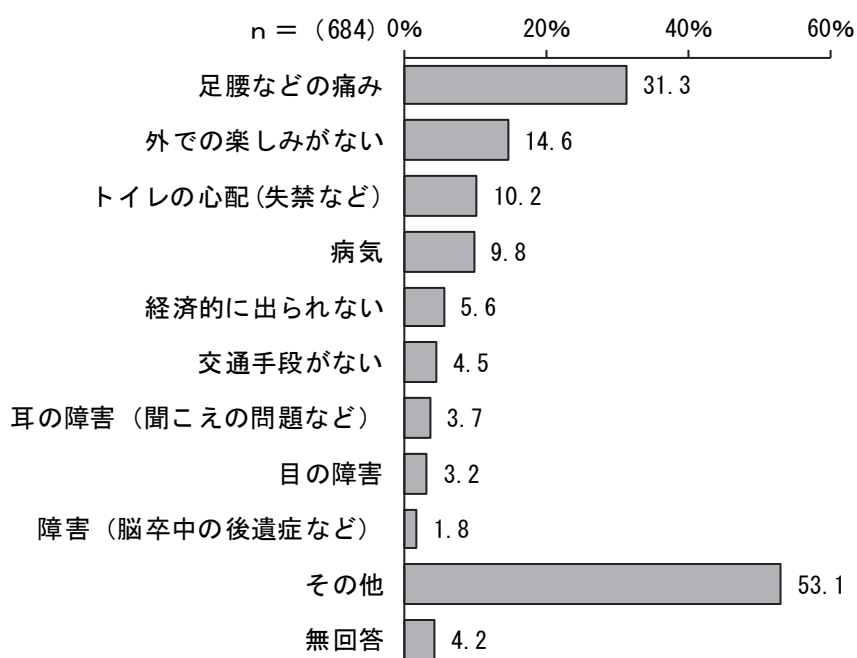
【問2(8)で「はい」を選択した方のみ】

問2(8)①外出を控えている理由を教えてください(あてはまるものすべてに○)

問2(8)で「はい」と回答した方にその理由について聞いたところ、「足腰などの痛み」が31.3%で最も多く、次いで「外での楽しみがない」(14.6%)、「トイレの心配(失禁など)」(10.2%)、「病気」(9.8%)等が続いています。

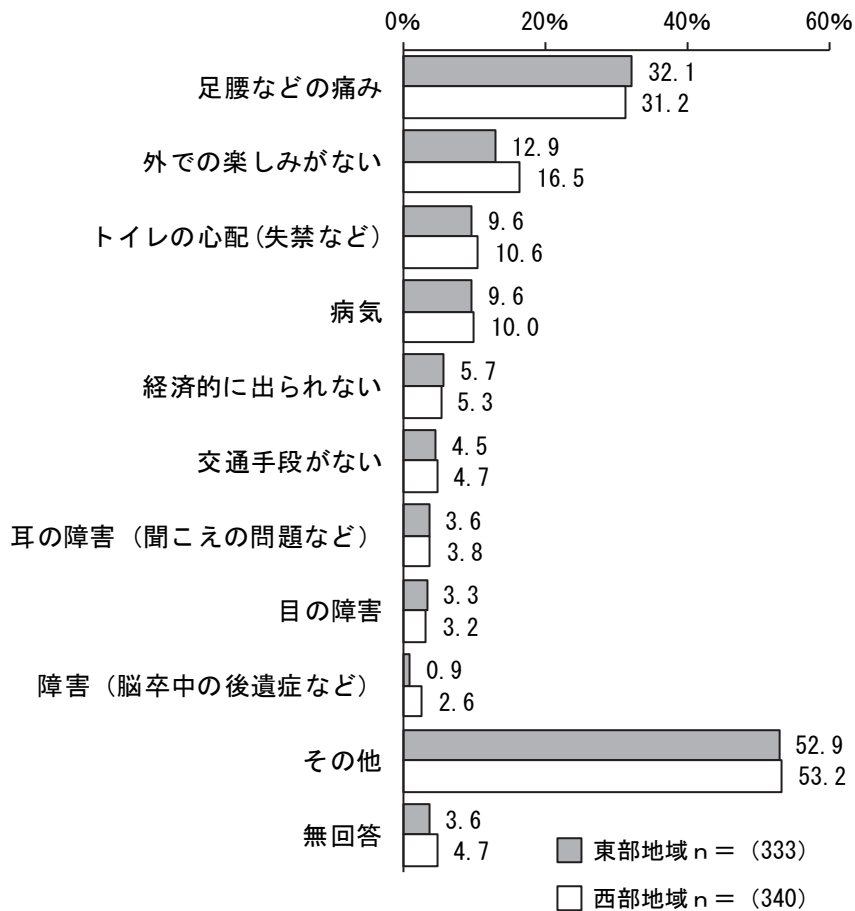
「その他」の主な回答としては、「新型コロナウイルスやインフルエンザ感染症防止のため」、「外出に対して不安がある」、「家族の介護」、「仕事が忙しい」、「人混みが怖い」等となっています。

【外出を控えている理由】(複数回答)



市の東西地域別にみると、顕著な差は見られませんが、西部地域では「外での楽しみがない」の割合が東部地域と比べて3.6ポイント多くなっています。

【外出を控えている理由：東西地域別】（複数回答）



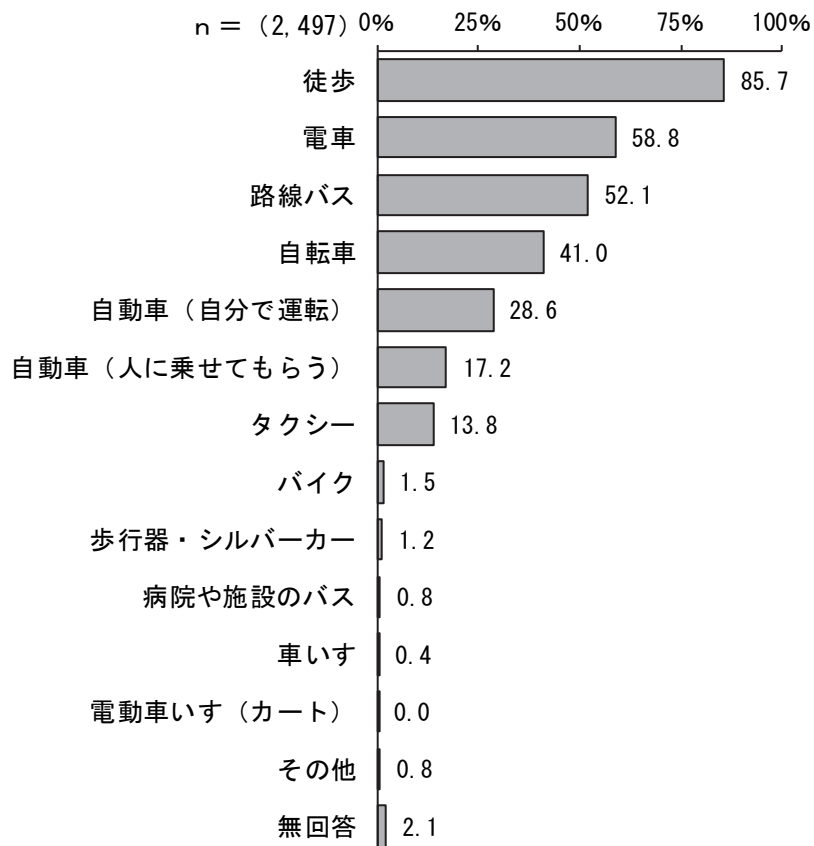
※ 東部地域：国分寺地域包括支援センターもとまち，こいがくぼ，ほんだ
 西部地域：国分寺地域包括支援センターひよし，ひかり，なみき

(13) 外出する際の移動手段

問2 (9) 外出する際の移動手段を教えてください (あてはまるものすべてに○)

外出する際の移動手段については、「徒歩」が 85.7%で最も多く、次いで「電車」(58.8%)「路線バス」(52.1%)、「自転車」(41.0%)等が続いています。

【外出する際の移動手段】(複数回答)



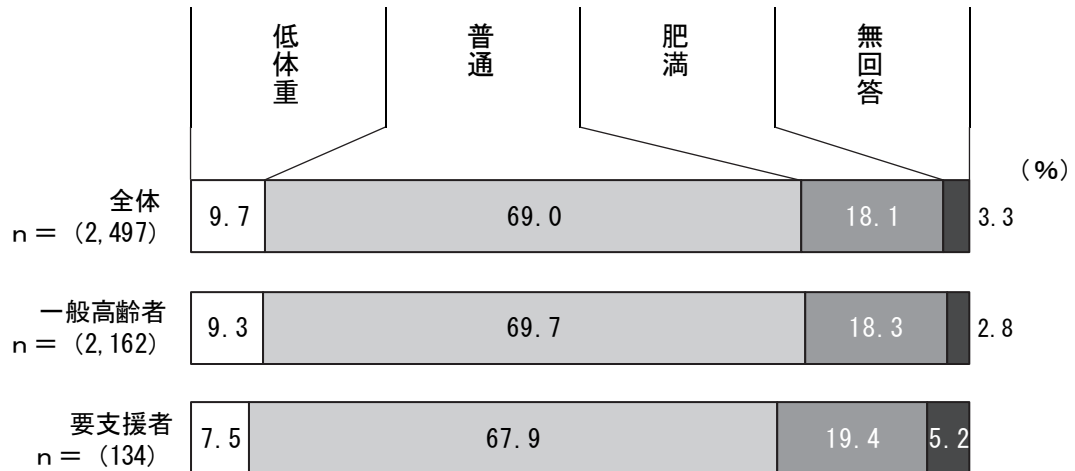
4 食べること

(1) 身長・体重から算出したBMI

問3 (1) 身長・体重

身長・体重から算出したBMIは、「低体重」(BMIが18.5未満)が9.7%、「肥満」(BMIが25以上)が18.1%となっています。

【身長・体重から算出したBMI：認定状況別】



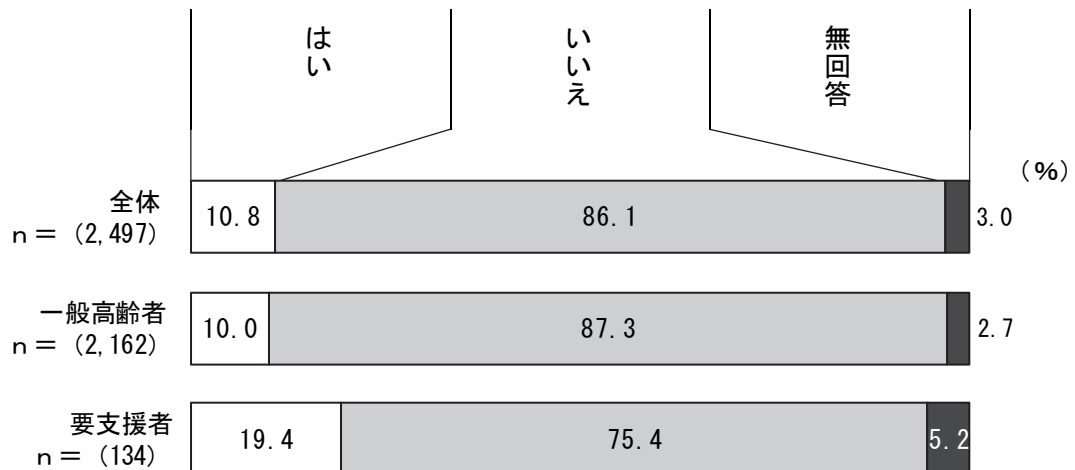
※ BMI (体格指数) : 体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m)) によって求められる値

(2) 体重減少

問3 (7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「はい」が10.8%、「いいえ」が86.1%となっています。

【体重減少：認定状況別】



(3) 低栄養状態

今回の調査票の問3(1), (7)は, 低栄養状態を確認する設問です。問3(1)から算出したBMIが18.5以下であり, かつ問3(7)で「はい」と回答した場合は, 低栄養状態にある高齢者になります。

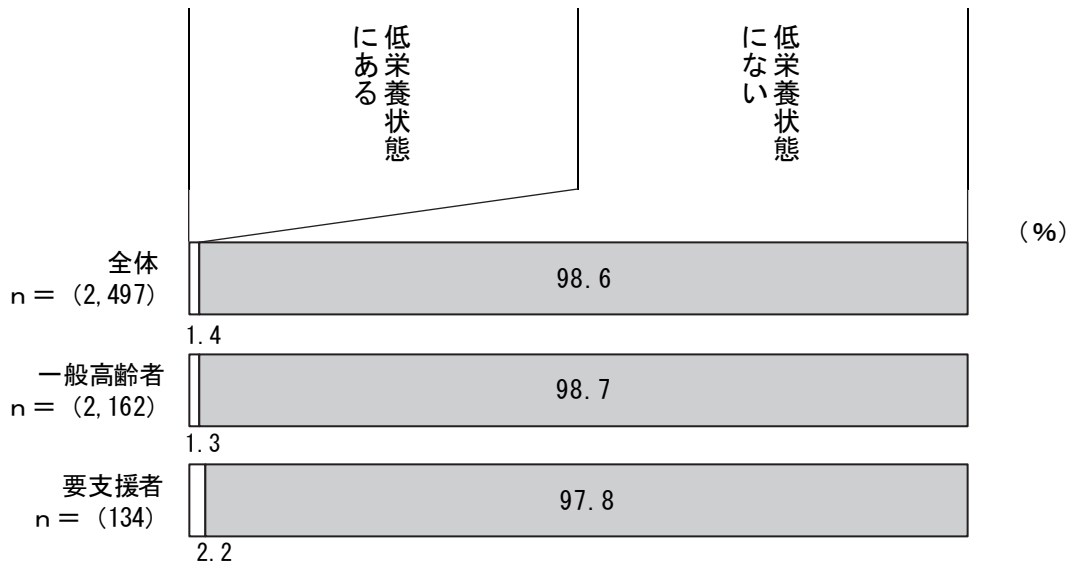
【低栄養状態に関する設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3(1)	身長・体重	算出したBMIが18.5以下
問3(7)	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	「はい」

※ BMI (体格指数) : 体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m)) によって求められる値

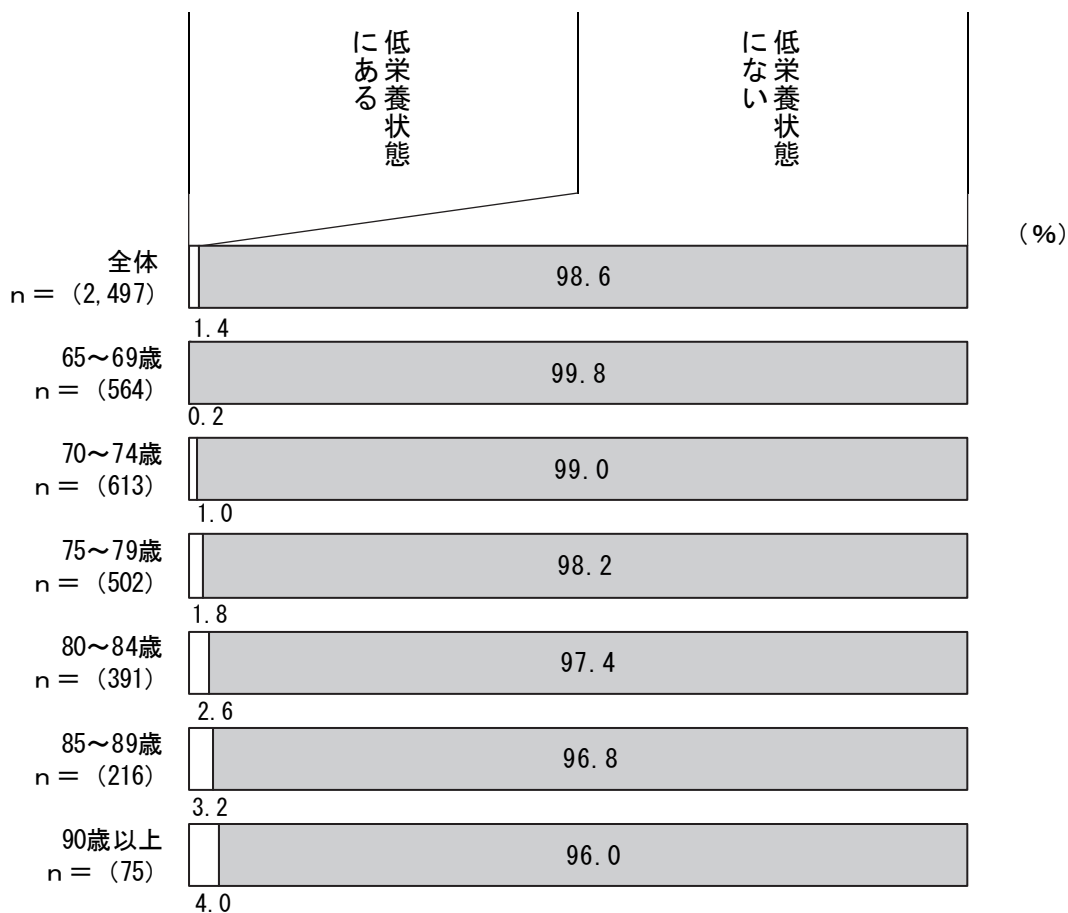
該当する選択肢の回答結果から, 低栄養状態にある高齢者は1.4%となっています。認定状況別にみると, 要支援者が2.2%, 一般高齢者が1.3%となっています。

【低栄養状態：認定状況別】



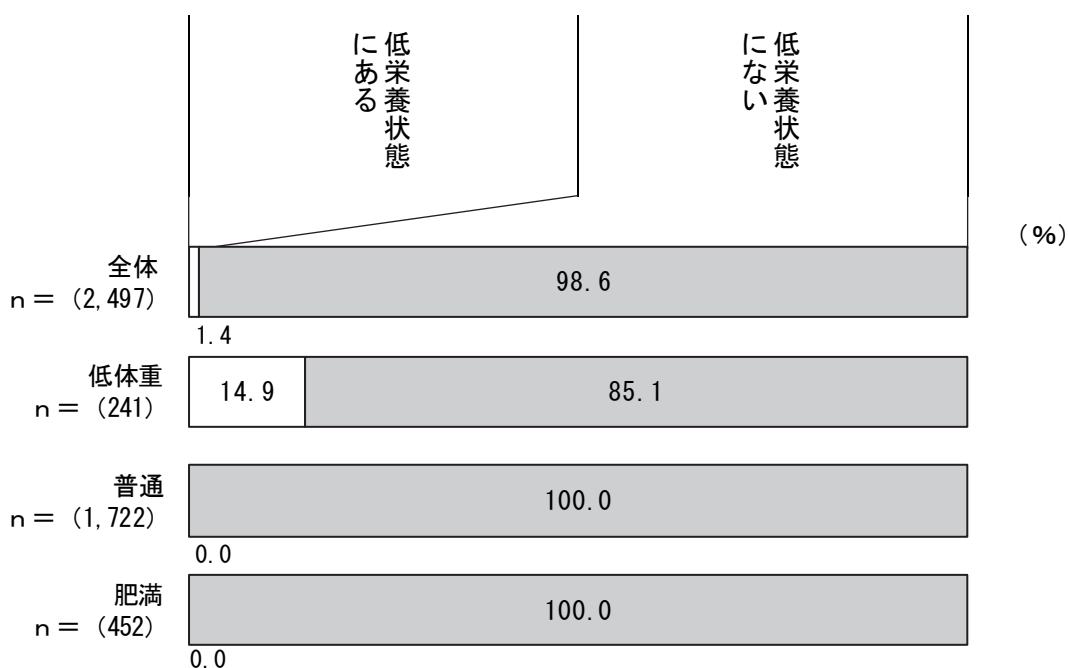
年齢別にみると、年齢が上がるとともに低栄養状態にある高齢者の割合が多くなっています。

【低栄養状態：年齢別】



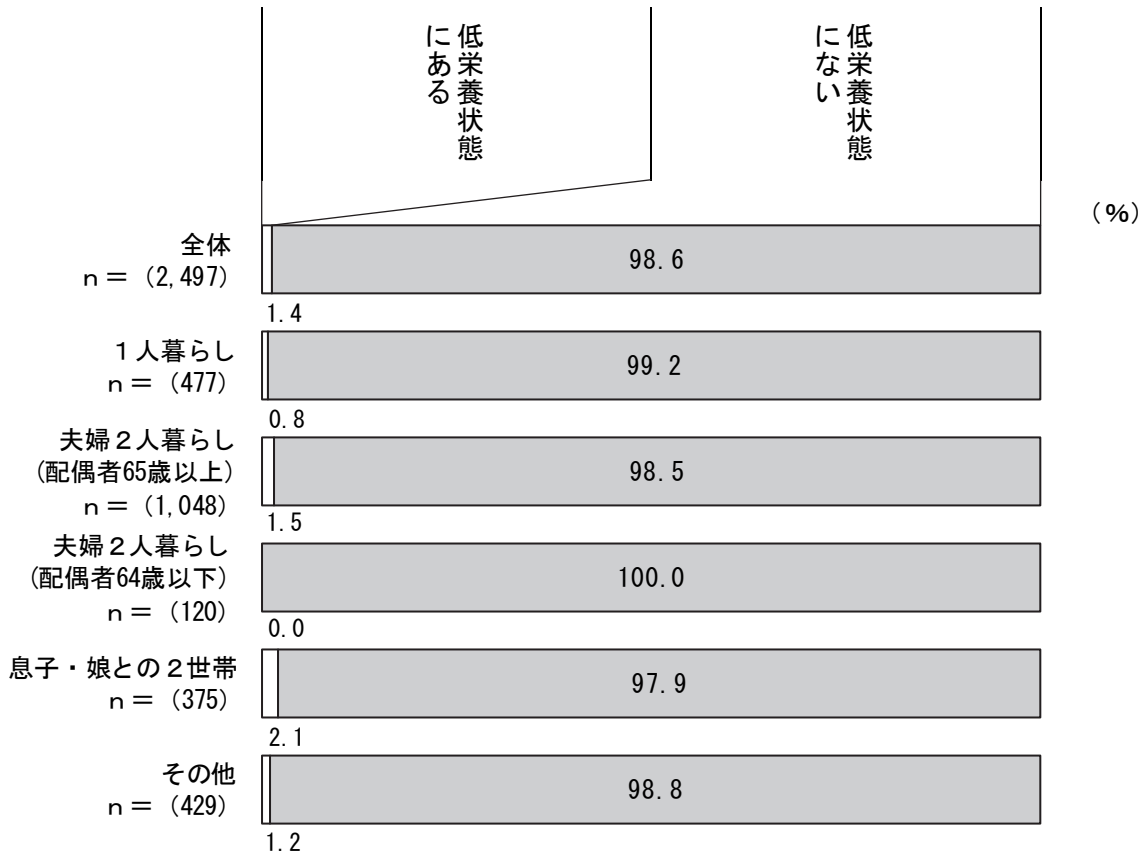
肥満度別にみると、低体重が14.9%と最も多くなっています。

【低栄養状態：肥満度別】



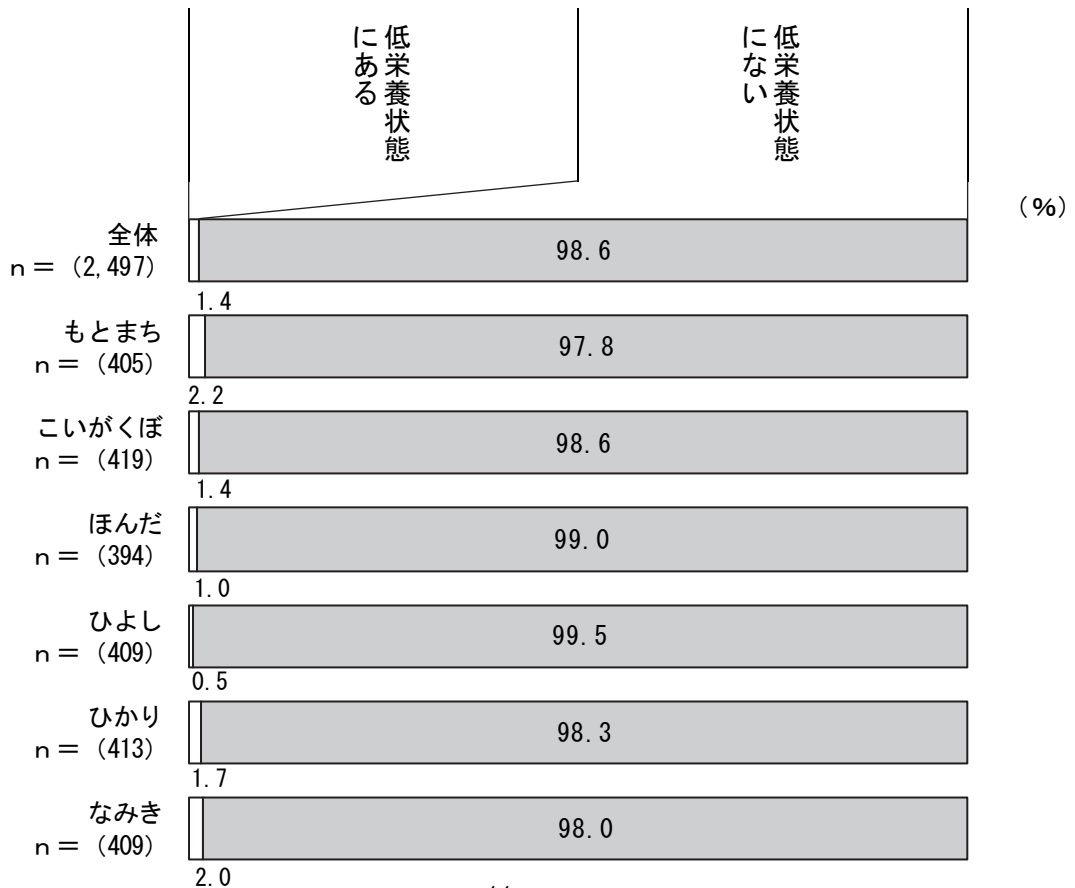
家族構成別にみると、あまり大きな差はありません。

【低栄養状態：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、あまり大きな差はありません。

【低栄養状態：地域包括支援センター別】

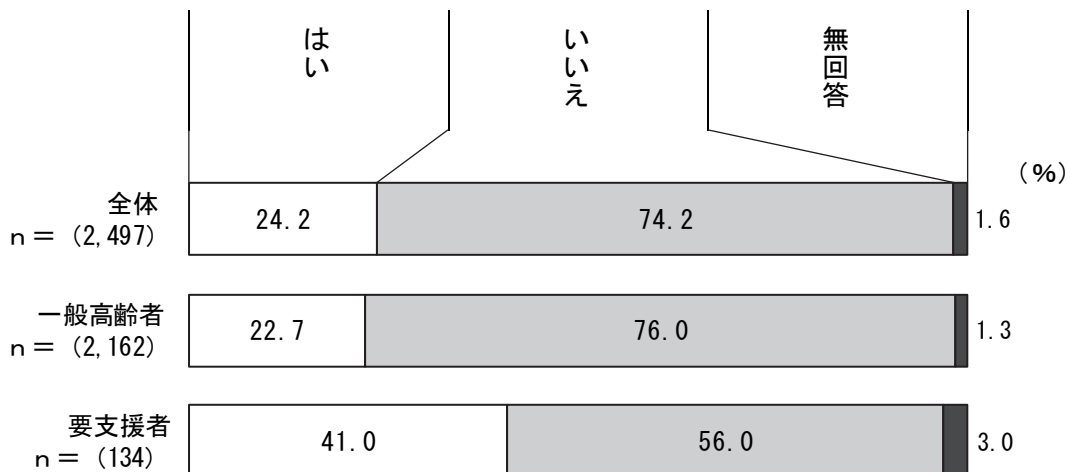


(4) 固いものの食べにくさ

問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が 24.2%、「いいえ」が 74.2%となっています。

【固いものの食べにくさ：認定状況別】

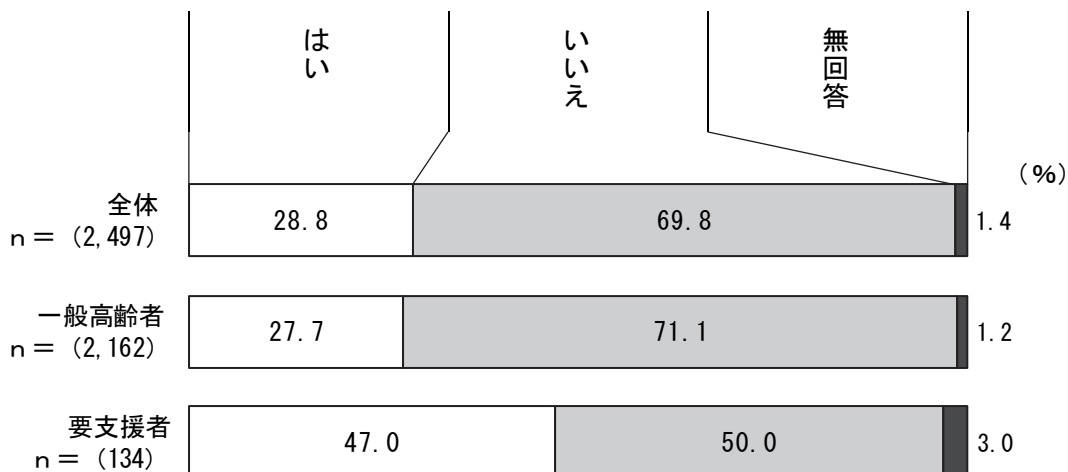


(5) お茶や汁物等でむせること

問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか

お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「はい」が 28.8%、「いいえ」が 69.8%となっています。

【お茶や汁物等でむせること：認定状況別】

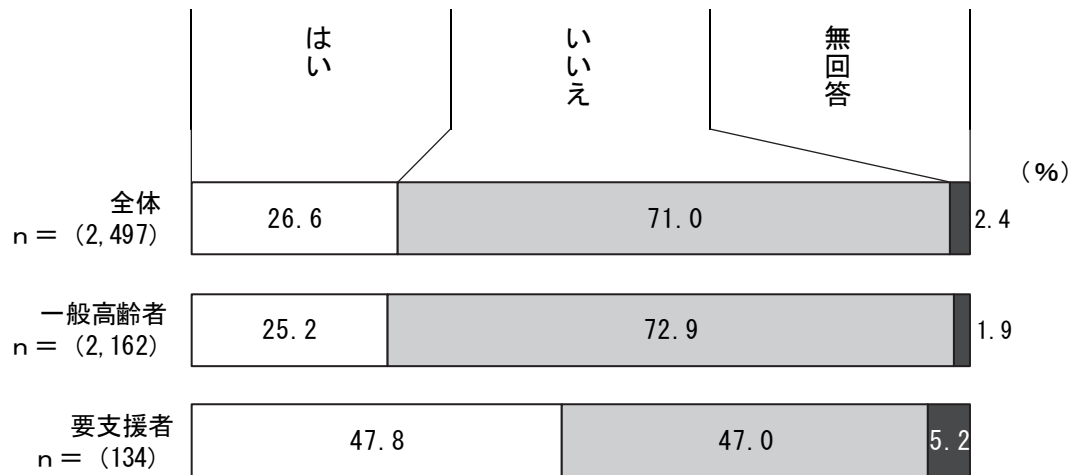


(6) 口の渇き

問3 (4) 口の渇きが気になりますか

口の渇きが気になるかについては、「はい」が26.6%、「いいえ」が71.0%となっています。

【口の渇き：認定状況別】



(7) 口腔機能の低下

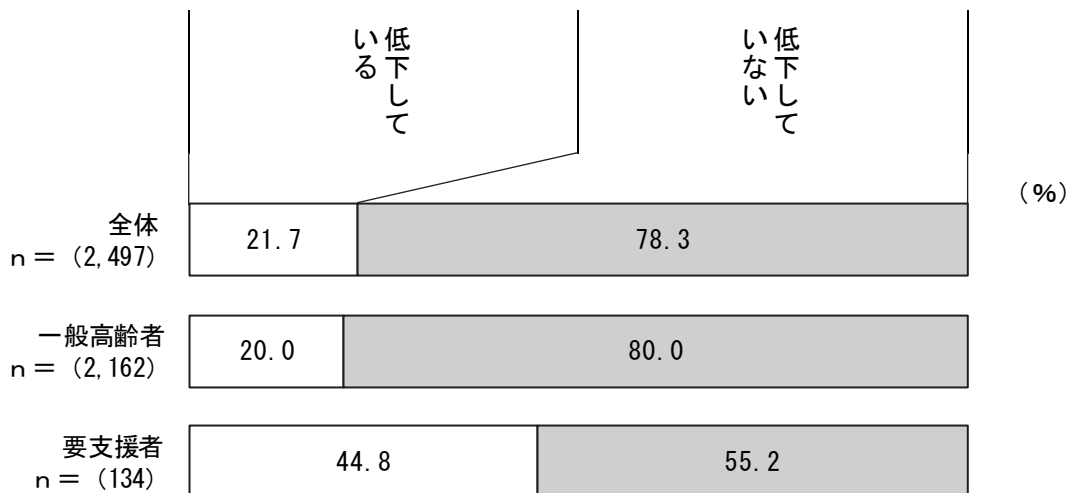
今回の調査票の問3(2)～(4)は、口腔機能の低下を問う設問です。2問以上、該当する選択肢(下表のとおり)を回答した場合は、口腔機能が低下している高齢者になります。

【口腔機能の低下に関する設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「はい」
問3(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	「はい」
問3(4)	口の渇きが気になりますか	「はい」

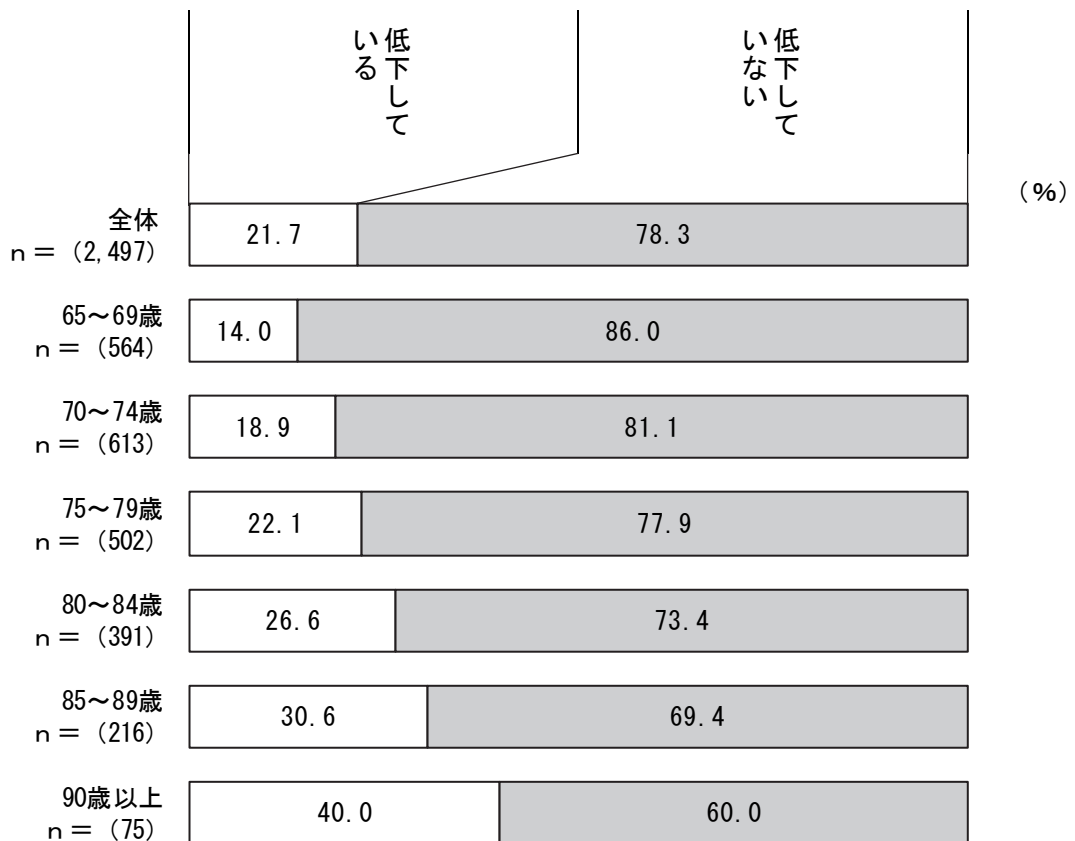
該当する選択肢の回答結果から、口腔機能が低下している高齢者は21.7%となっています。認定状況別にみると、要支援者が44.8%、一般高齢者が20.0%となっています。

【口腔機能の低下：認定状況別】



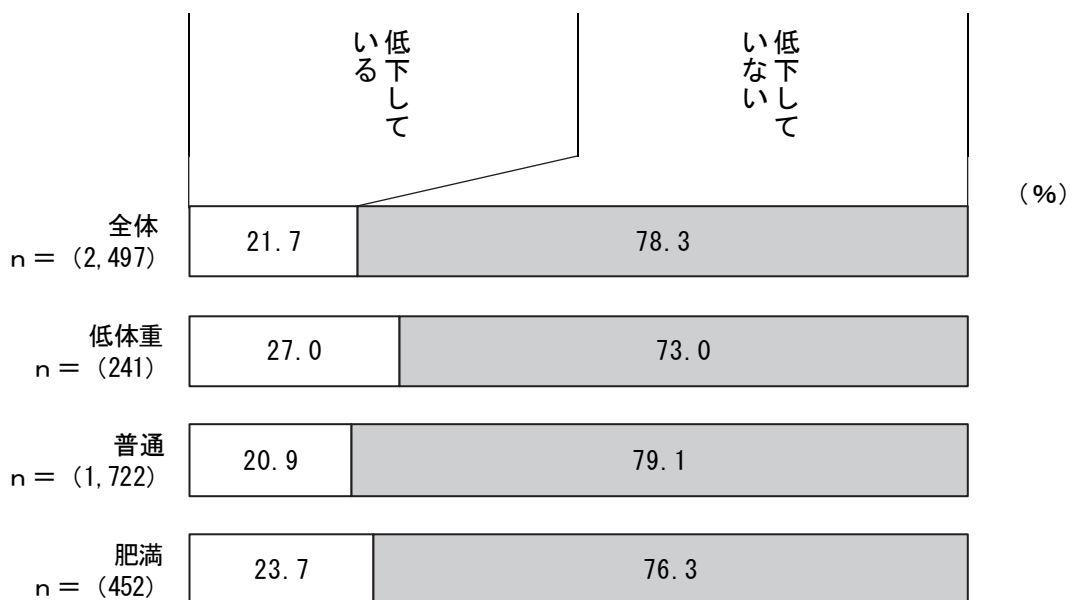
年齢別にみると、年齢が上がるとともに口腔機能の低下した高齢者の割合が多くなっています。

【口腔機能の低下：年齢別】



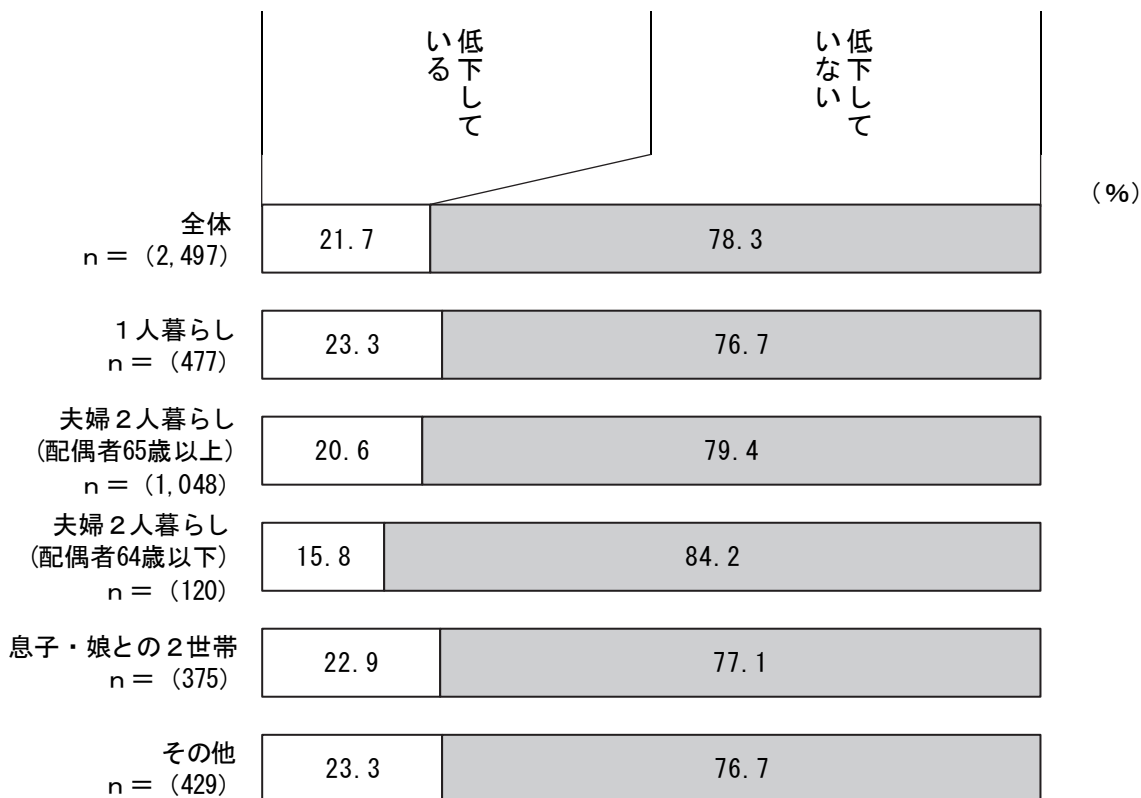
肥満度別にみると、低体重が27.0%と最も多くなっています。

【口腔機能の低下：肥満度別】



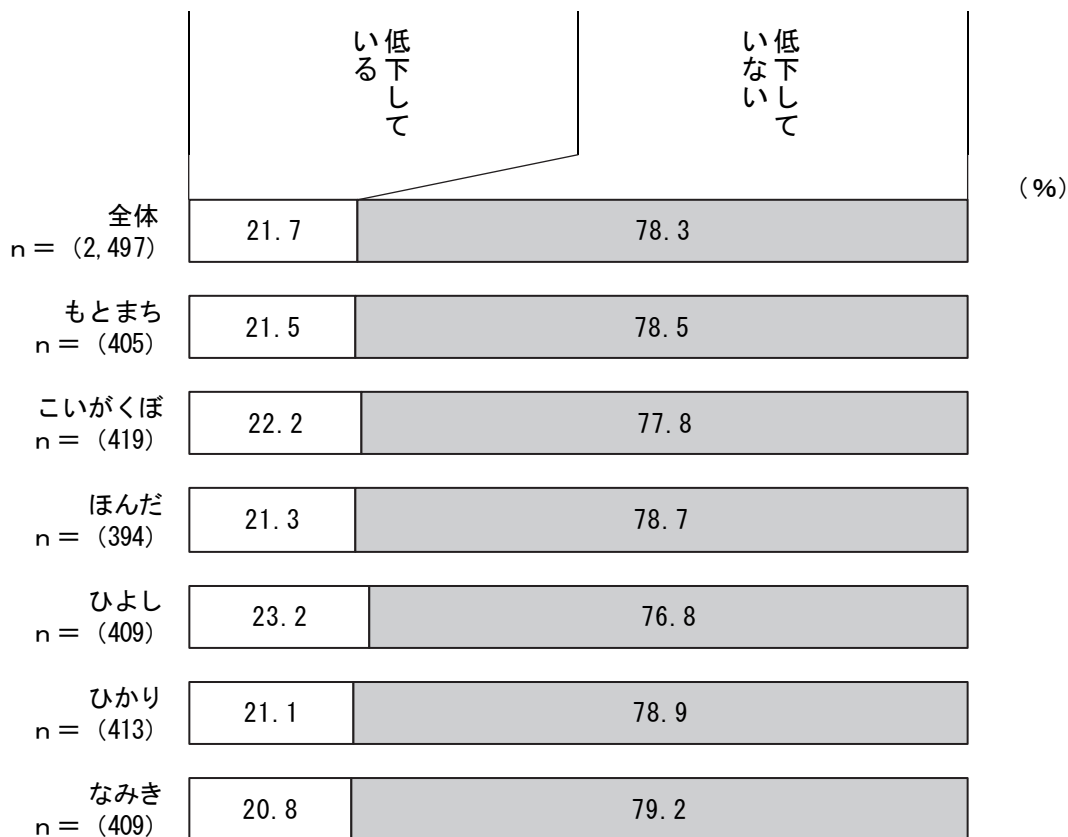
家族構成別にみると、1人暮らし、その他がそれぞれ23.3%で最も多く、次いで息子・娘との2世帯(22.9%)等が続いています。

【口腔機能の低下：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、あまり大きな差はありません。

【口腔機能の低下：地域包括支援センター別】

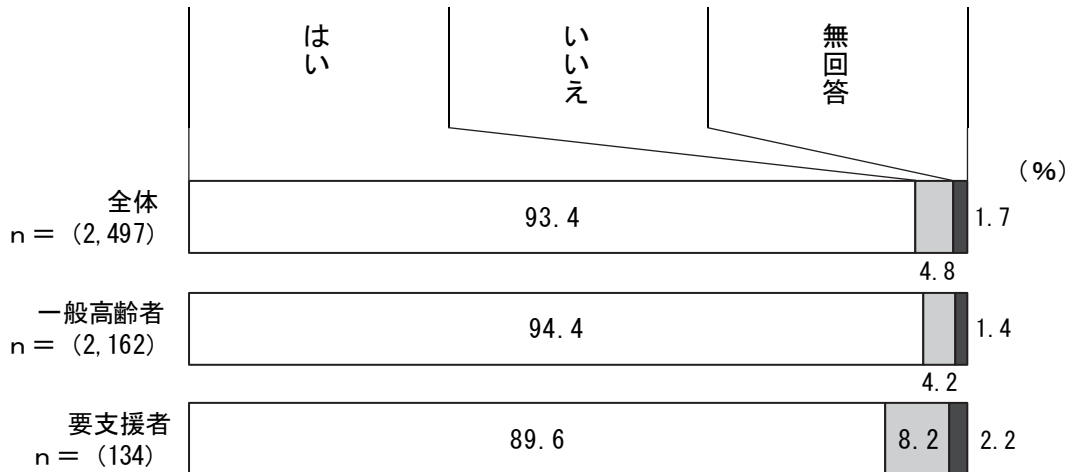


(8) 毎日の歯磨き

問3 (5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか

毎日の歯磨きをしているかについては、「はい」が93.4%、「いいえ」が4.8%となっています。

【毎日の歯磨き：認定状況別】



(9) 歯の数と入れ歯の利用状況

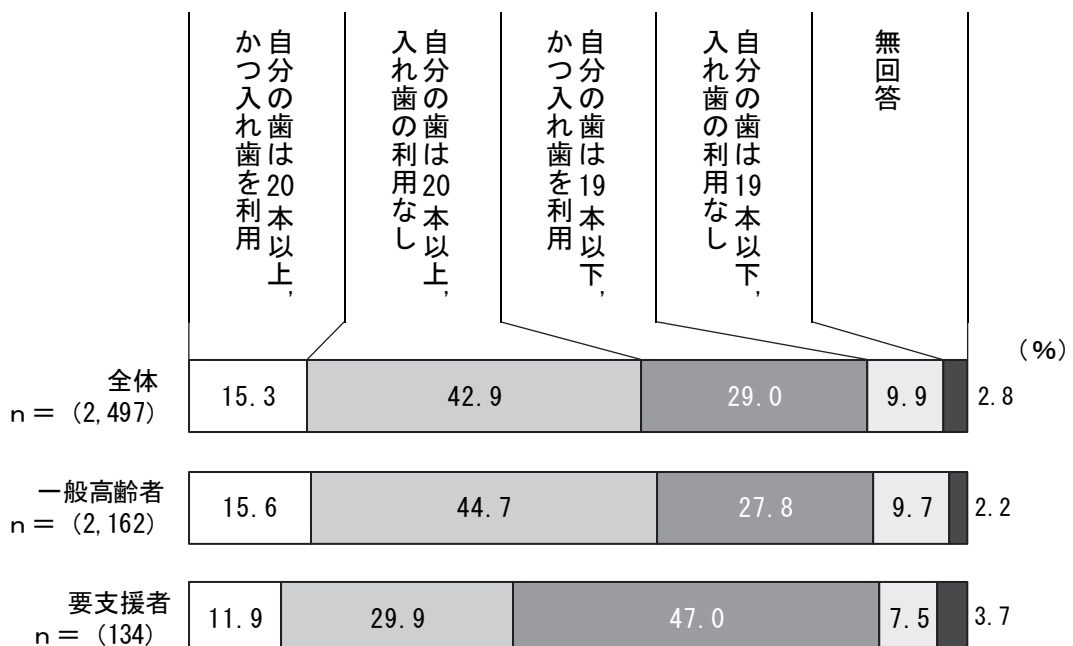
問3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が42.9%で最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(29.0%)等が続いています。

「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(15.3%)と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(29.0%)を合わせると、入れ歯を利用している方の割合は44.3%となっています。

【歯の数と入れ歯の利用状況：認定状況別】

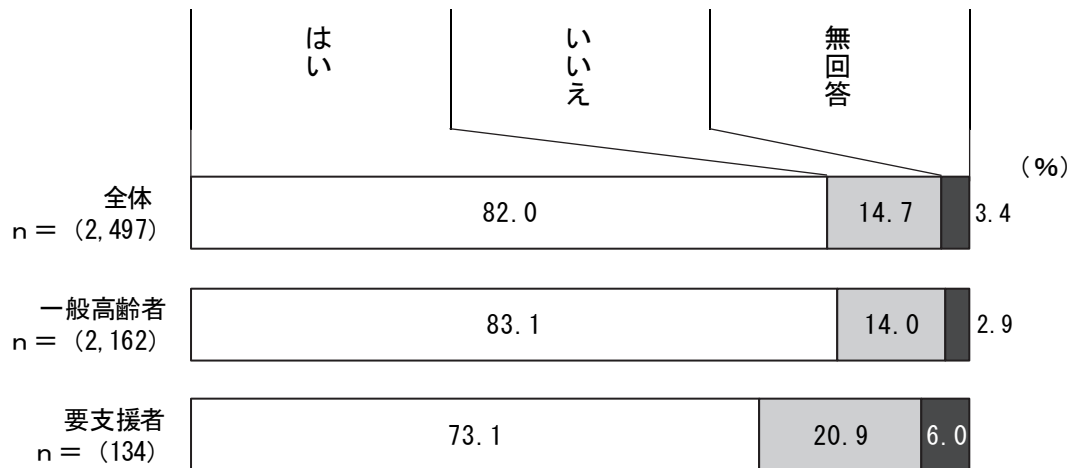


(10) 噛み合わせ

問3 (6) ①噛み合わせは良いですか

噛み合わせが良いかについては、「はい」が82.0%、「いいえ」が14.7%となっています。

【噛み合わせ：認定状況別】



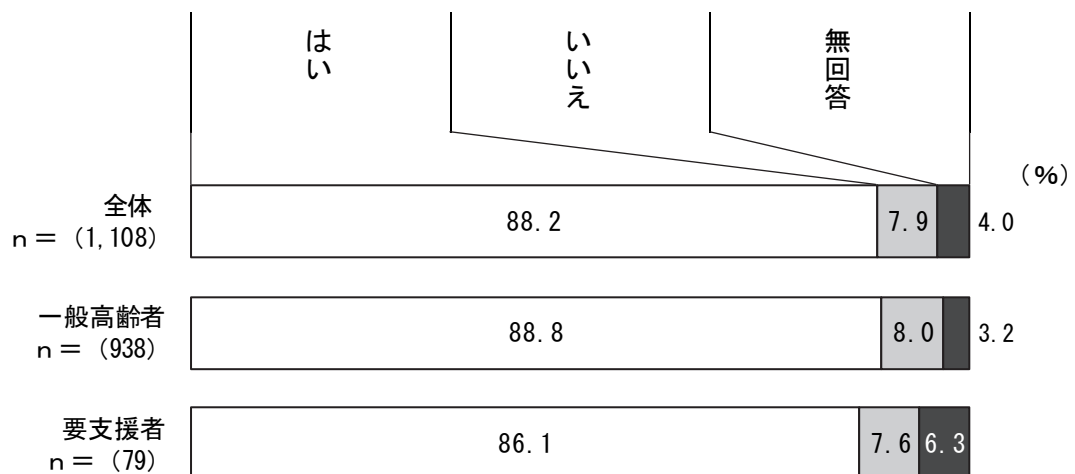
(11) 入れ歯の手入れ

【問3 (6) で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を選択した方のみ】

問3 (6) ②毎日入れ歯の手入れをしていますか

問3 (6) で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方に毎日入れ歯の手入れをしているかについて聞いたところ、「はい」が88.2%、「いいえ」が7.9%となっています。

【入れ歯の手入れ：認定状況別】



(12) 食事をとる機会

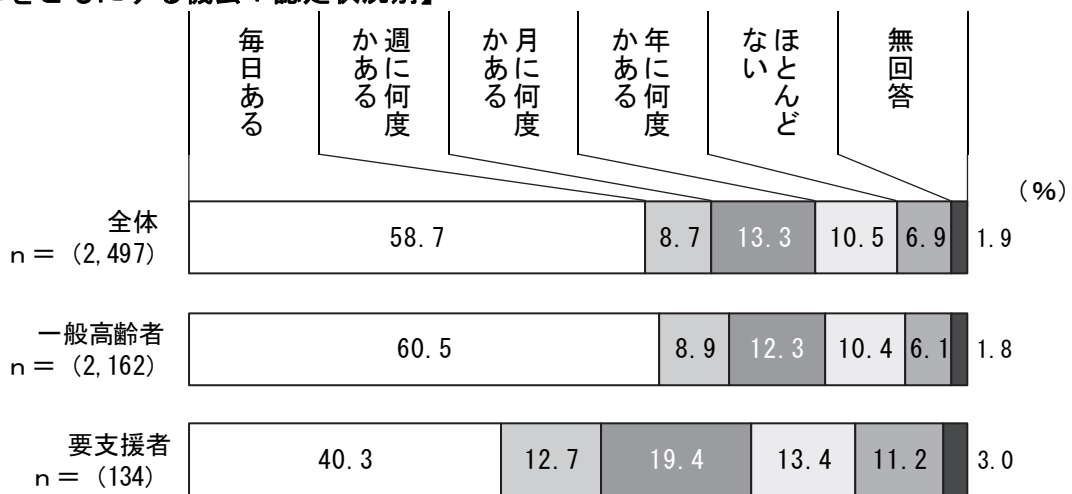
問3 (8) どなたかと食事をとる機会がありますか

食事をとる機会があるかについては、「毎日ある」が58.7%で最も多く、次いで「月に何度かある」(13.3%)、「年に何度かある」(10.5%)等が続いています。

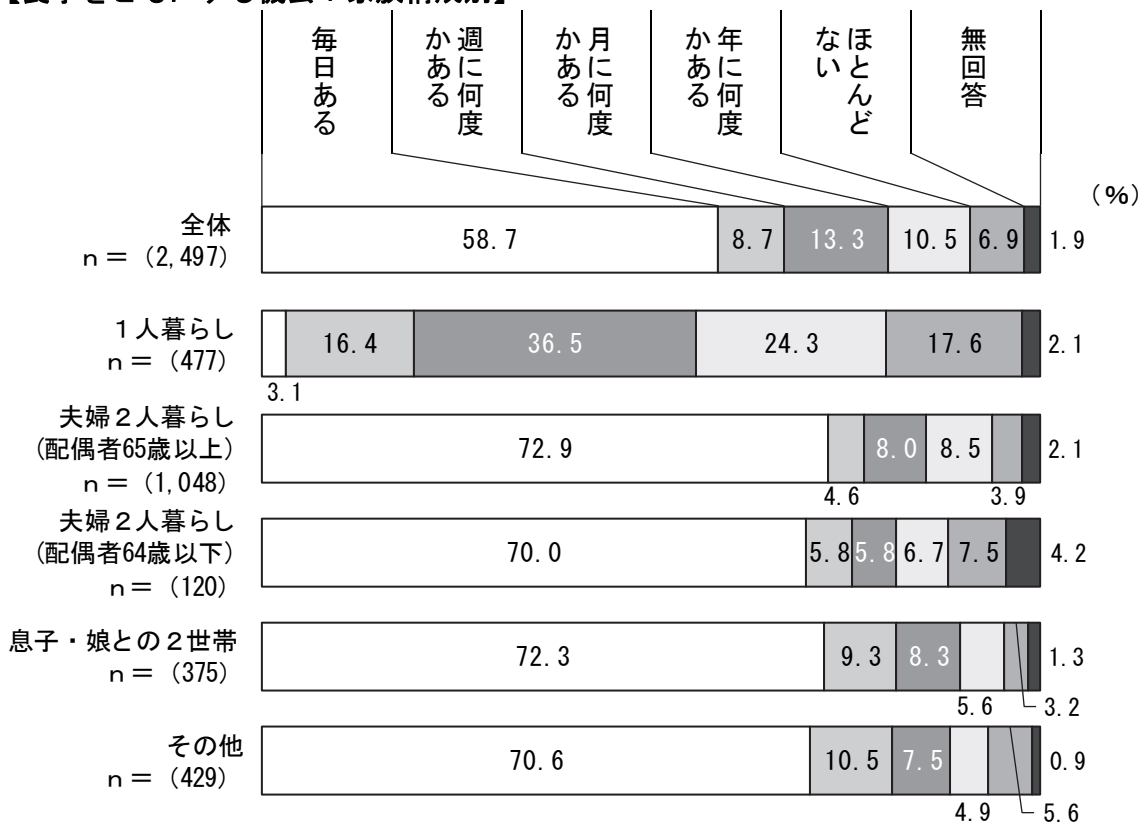
家族構成別にみると、1人暮らしでは、「月に何度かある」が36.5%で最も多く、次いで「年に何度かある」(24.3%)、「ほとんどない」(17.6%)等が続いています。

「年に何度かある」、「ほとんどない」を合わせた割合は、1人暮らしでは41.9%、夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)では12.4%、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)では14.2%、息子・娘との2世帯では8.8%となっています。

【食事をとる機会：認定状況別】



【食事をとる機会：家族構成別】



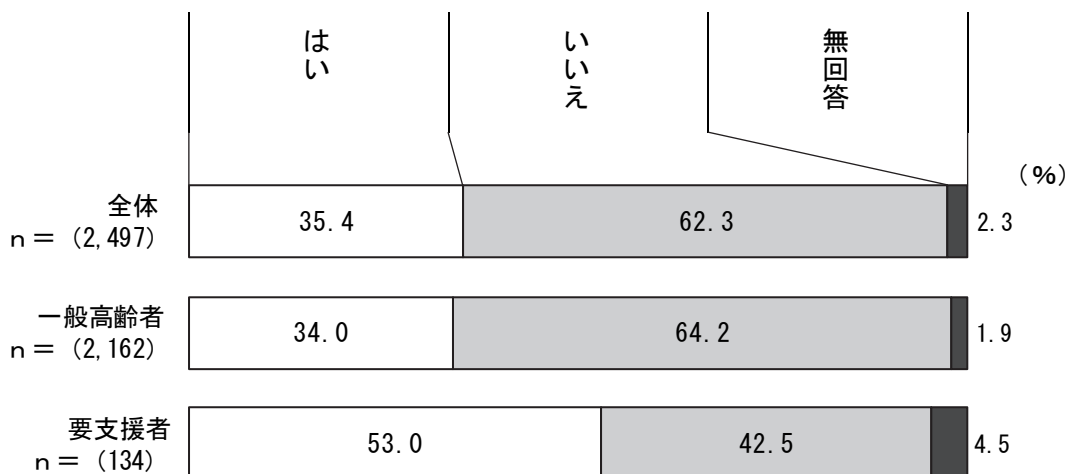
5 毎日の生活

(1) 物忘れ

問4 (1) 物忘れが多いと感じますか

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が 35.4%、「いいえ」が 62.3%となっています。

【物忘れ：認定状況別】



(2) 認知機能の低下

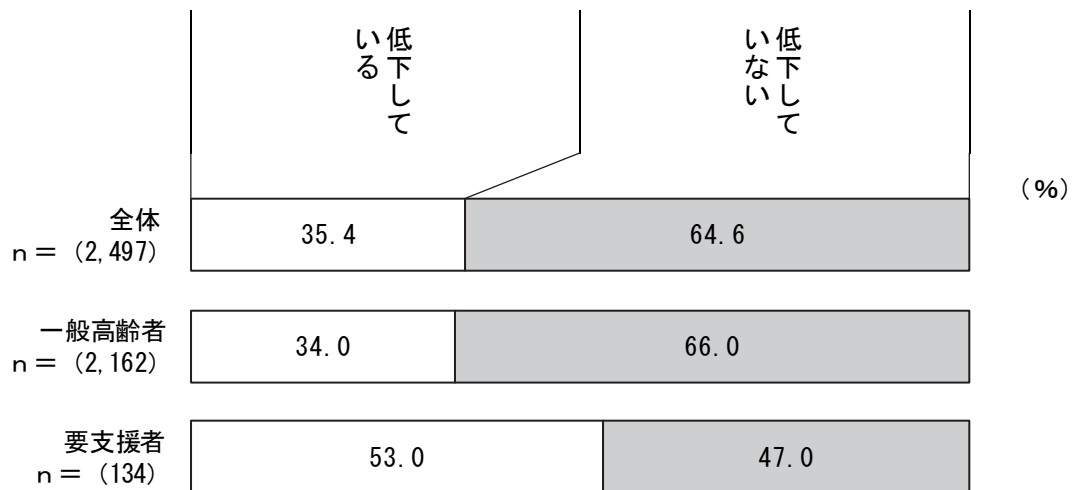
今回の調査票の問4(1)は、認知機能の低下を問う設問です。「はい」と回答した場合は、認知機能の低下がみられる高齢者になります。

【認知機能の低下に関する設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4(1)	物忘れが多いと感じますか	「はい」

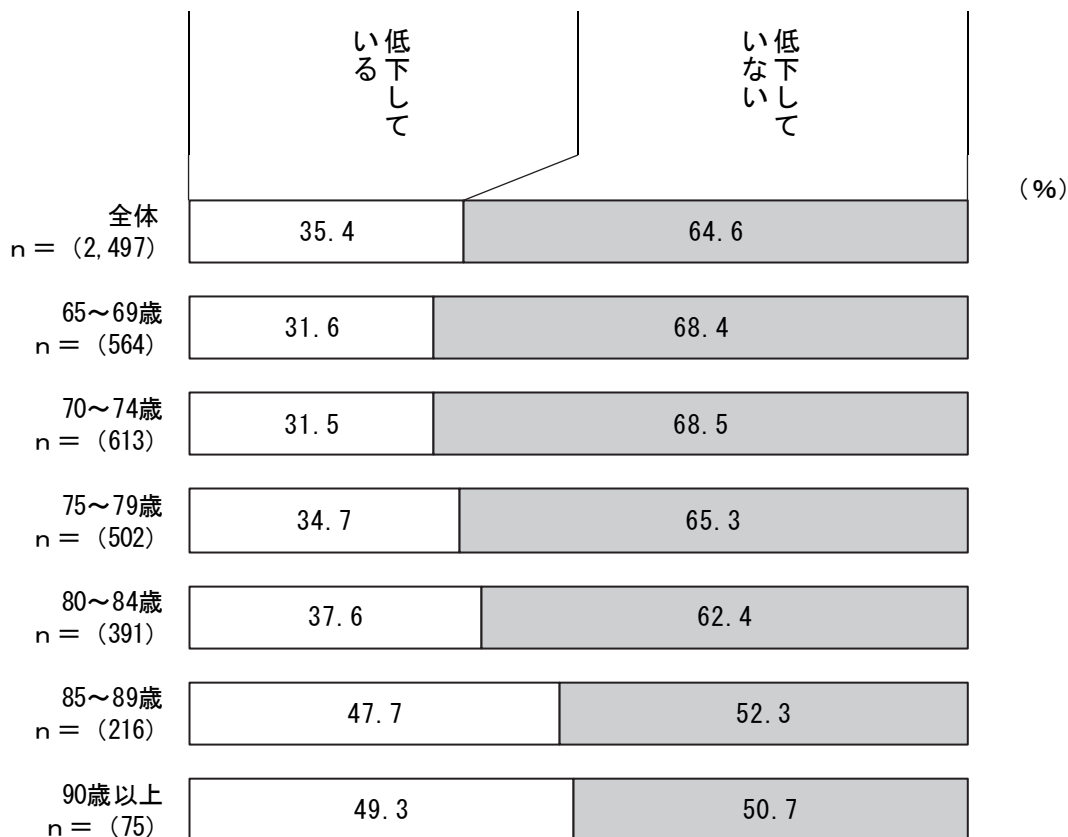
該当する選択肢の回答結果から、認知機能が低下している高齢者は35.4%となっています。認定状況別にみると、要支援者が53.0%、一般高齢者が34.0%となっています。

【認知機能の低下：認定状況別】



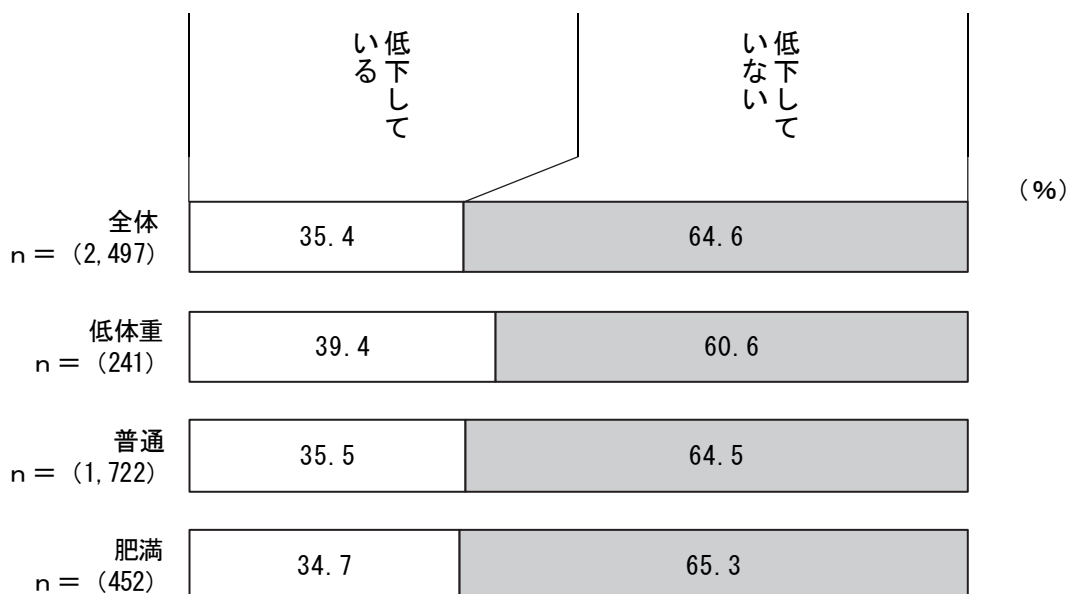
年齢別にみると、75歳以上については年齢が上がるとともに認知機能の低下がみられる高齢者の割合が多くなっています。

【認知機能の低下：年齢別】



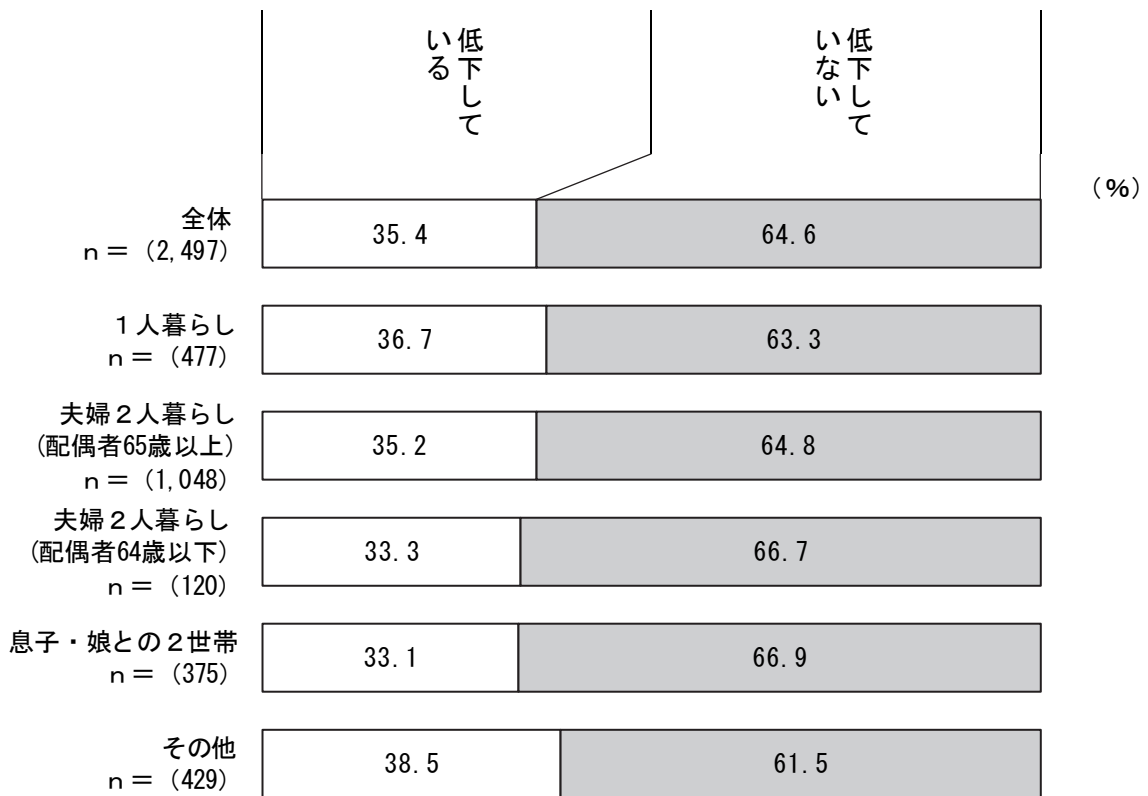
肥満度別にみると、あまり大きな差はありません。

【認知機能の低下：肥満度別】



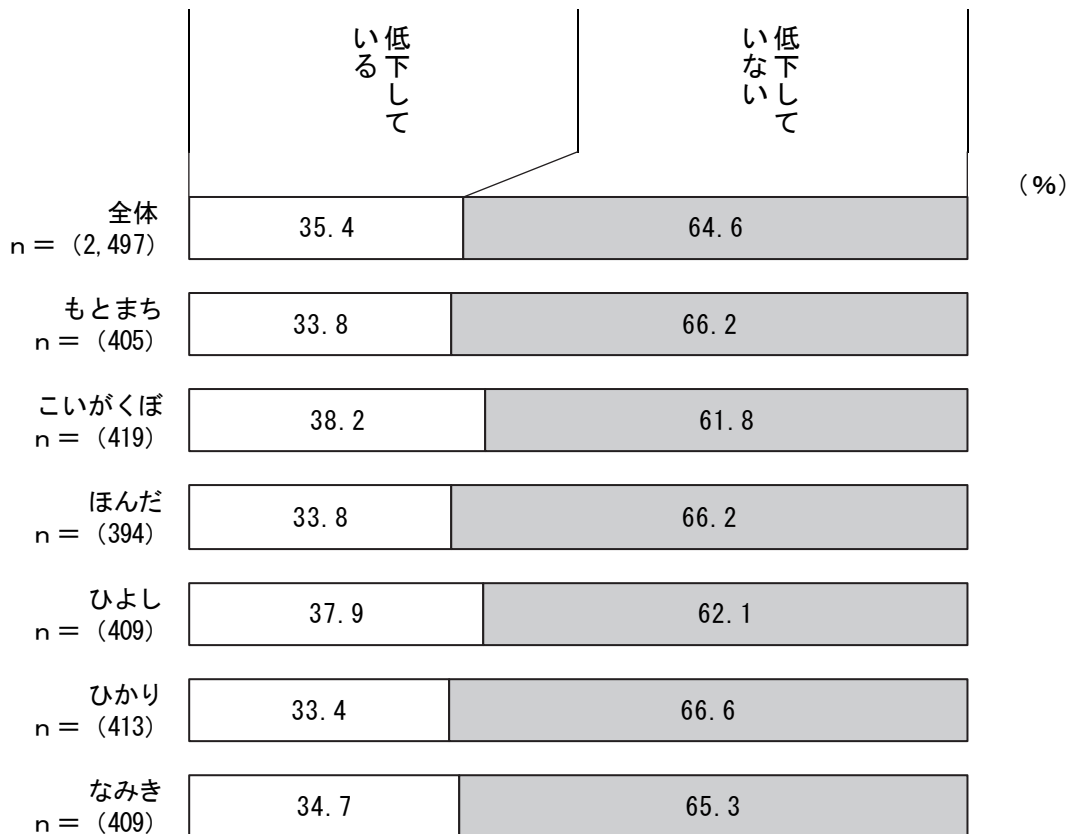
家族構成別にみると、あまり大きな差はありません。

【認知機能の低下：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、あまり大きな差はありません。

【認知機能の低下：地域包括支援センター別】

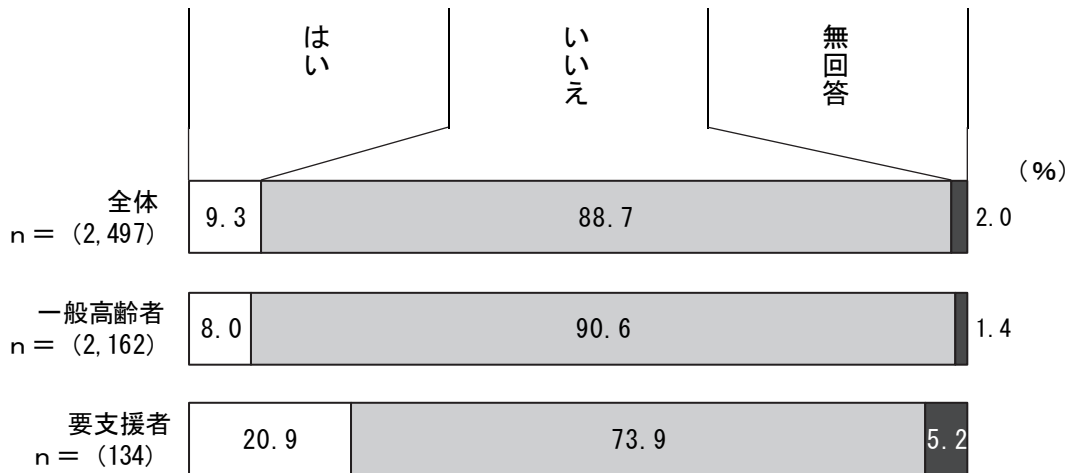


(3) 物忘れの指摘

問4 (2) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」等の物忘れがあるとされますか

周りの人から物忘れがあるとされるかについては、「はい」が9.3%、「いいえ」が88.7%となっています。

【物忘れの指摘：認定状況別】

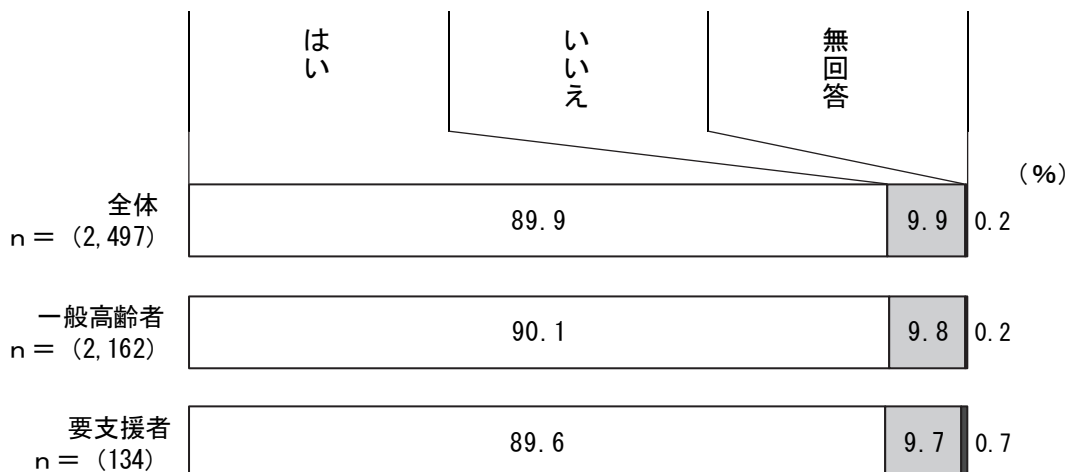


(4) 電話をかけること

問4 (3) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

自分で電話番号を調べて電話をかけているかについては、「はい」が89.9%、「いいえ」が9.9%となっています。

【電話をかけること：認定状況別】



(5) 携帯電話やスマートフォンの利用

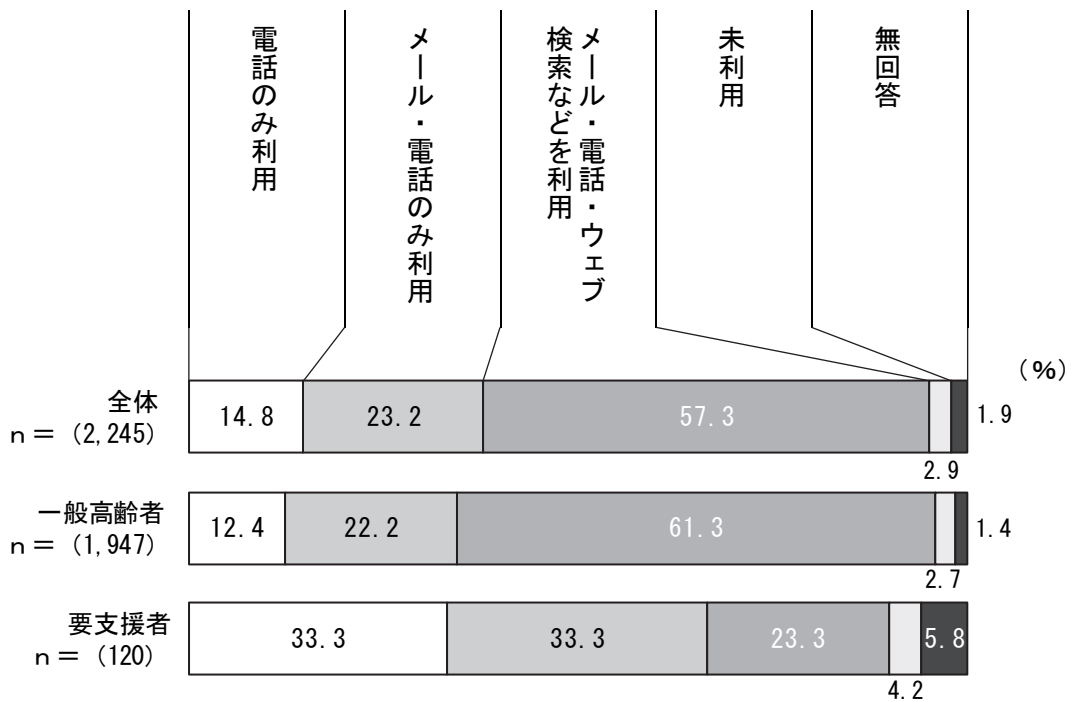
【問4(3)で「はい」を選択した方のみ】

問4(3)①携帯電話やスマートフォンを利用していますか

問4(3)で「はい」と回答した方に携帯電話やスマートフォンを利用しているかについて聞いたところ、「メール・電話・ウェブ検索などを利用」が57.3%で最も多く、「メール・電話のみ利用」(23.2%)、「電話のみ利用」(14.8%)等が続いています。

認定状況別にみると、一般高齢者は要支援者に比べて「メール・電話・ウェブ検索などを利用」の割合が多くなっています。

【携帯電話やスマートフォンの利用：認定状況別】



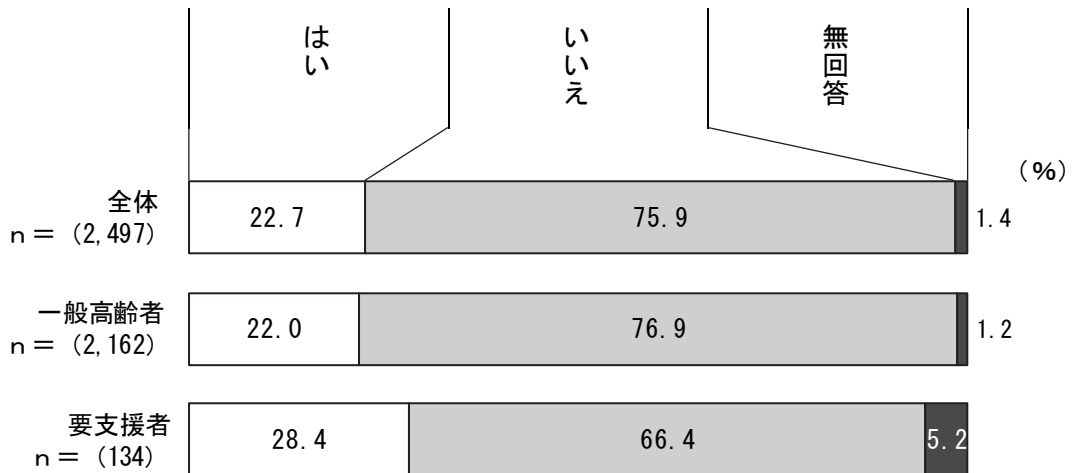
※ 「メール・電話・ウェブ検索などを利用」は前回調査では「メール・電話・ウェブ検索のみ利用」という選択肢

(6) 今日の日付

問4 (4) 今日が何月何日かわからない時がありますか

今日の日付がわからない時があるかについては、「はい」が 22.7%、「いいえ」が 75.9%となっています。

【今日の日付：認定状況別】

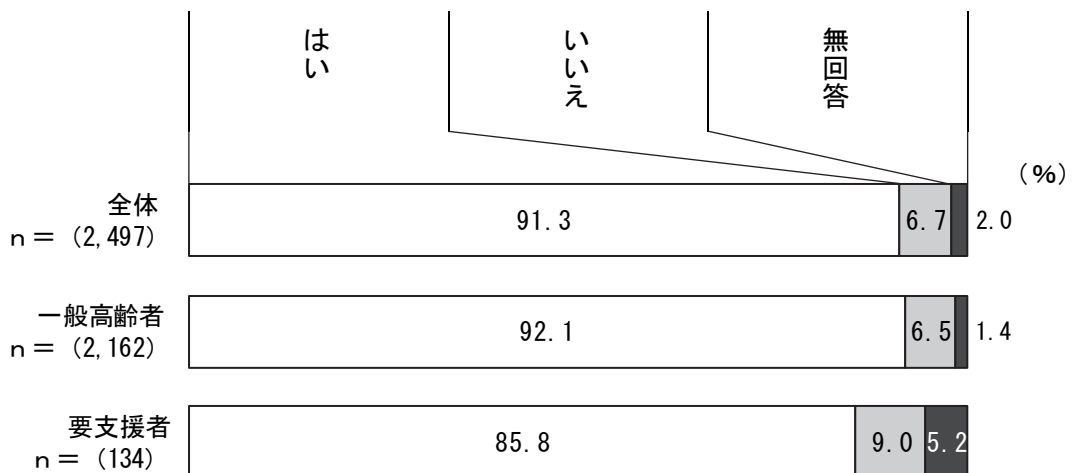


(7) 短期記憶

問4 (5) 5分前のことが思い出せますか

5分前のことが思い出せるかについては、「はい」が 91.3%、「いいえ」が 6.7%となっています。

【短期記憶：認定状況別】

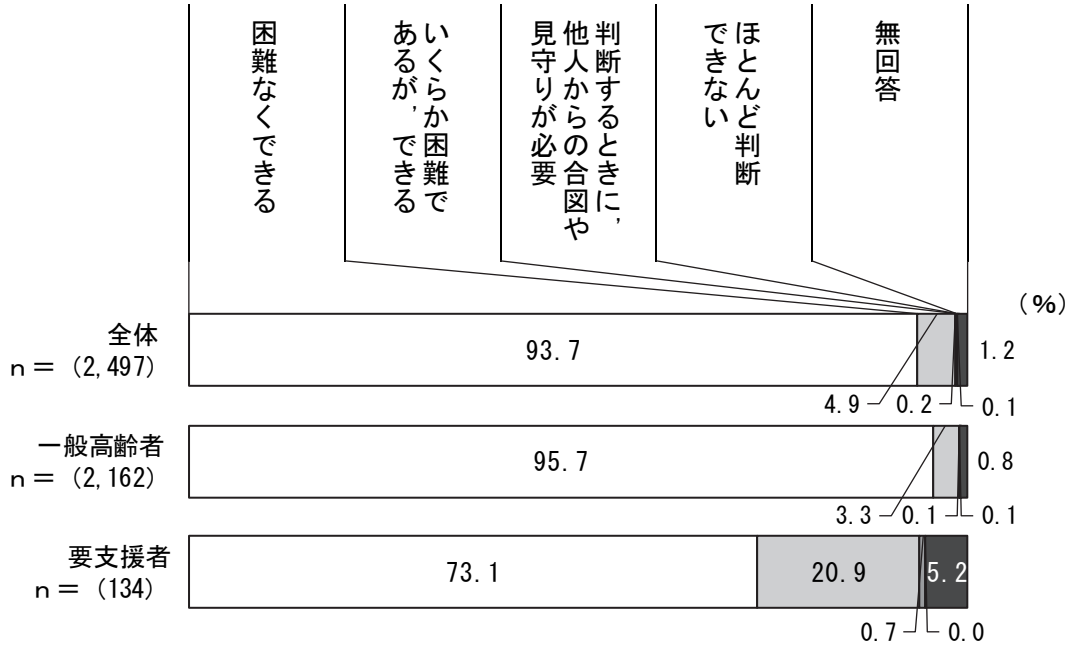


(8) その日の活動の判断

問4 (6) その日の活動(食事をする, 衣服を選ぶ等)を自分で判断できますか

その日の活動を自分で判断できるかについては、「困難なくできる」が93.7%で最も多く、次いで「いくらか困難であるが、できる」(4.9%)等が続いています。

【その日の活動の判断：認定状況別】

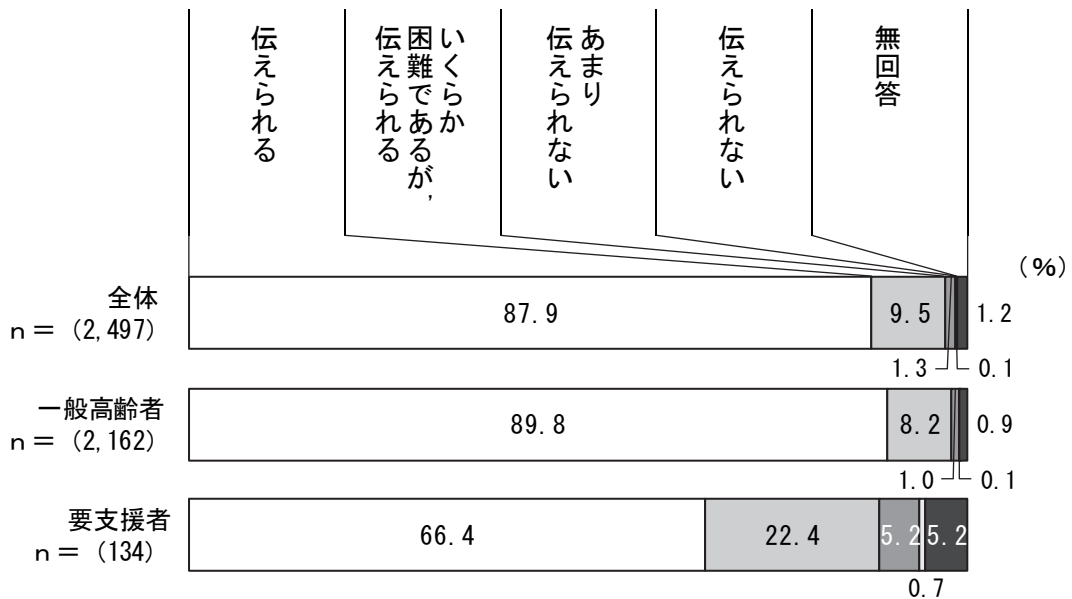


(9) 自分の考えの伝達

問4 (7) 人に自分の考えをうまく伝えられますか

人に自分の考えをうまく伝えられるかについては、「伝えられる」が87.9%で最も多く、次いで「いくらか困難であるが、伝えられる」(9.5%)等が続いています。

【自分の考えの伝達：認定状況別】

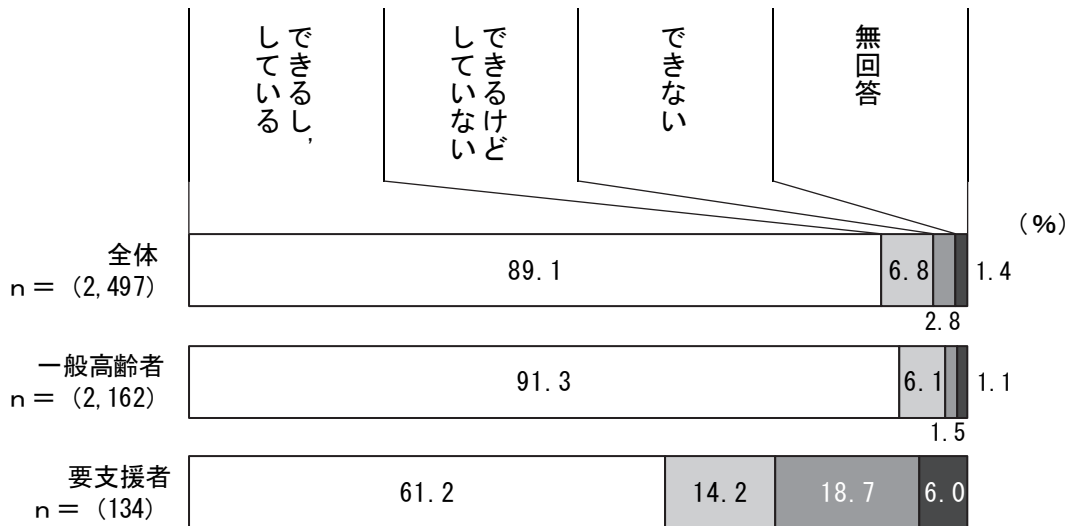


(10) 1人での外出

問4 (8) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)

バスや電車を使った1人での外出については、「できるし、している」が89.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」(6.8%)等が続いています。

【1人での外出：認定状況別】

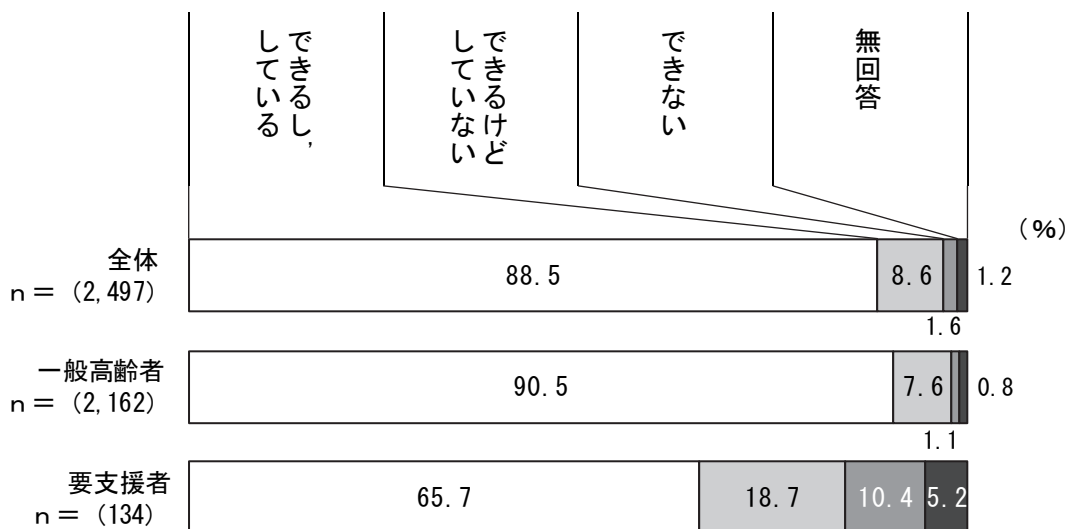


(11) 買物

問4 (9) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が88.5%で最も多く、「できるけどしていない」(8.6%)等が続いています。

【買物：認定状況別】

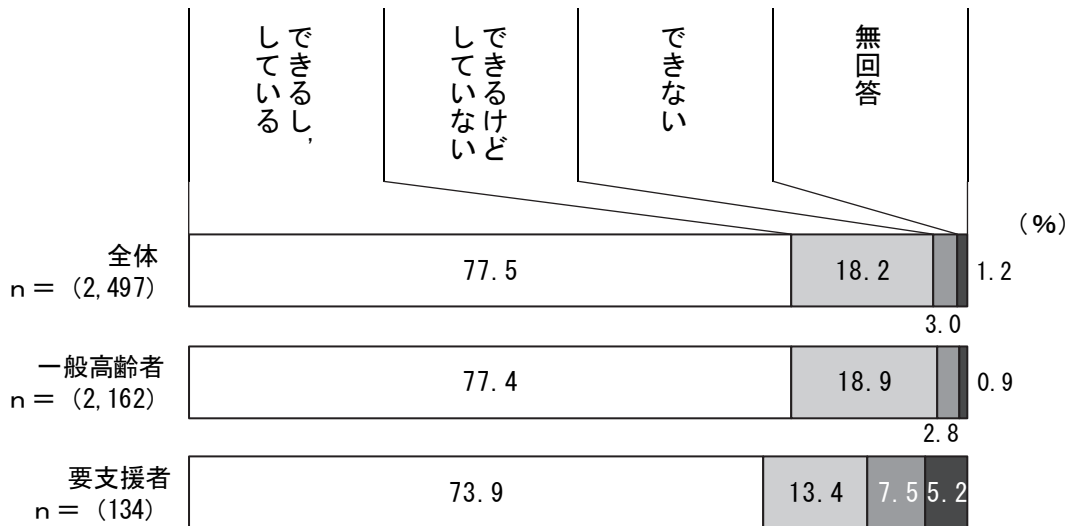


(12) 食事の用意

問4 (10) 自分で食事の用意をしていますか

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が77.5%で最も多く、「できるけどしていない」(18.2%)等が続いています。

【食事の用意：認定状況別】

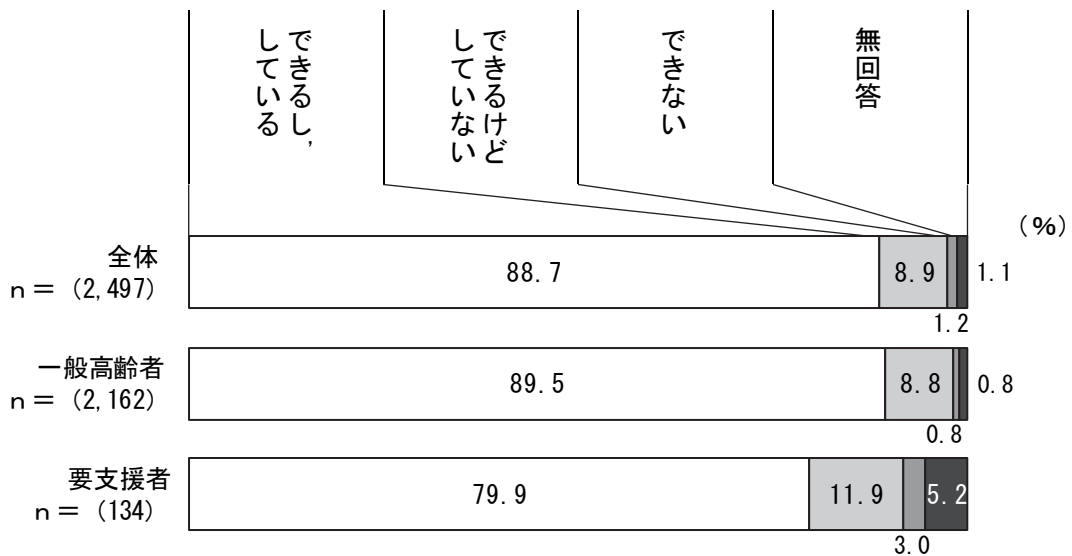


(13) 請求書の支払い

問4 (11) 自分で請求書の支払いをしていますか

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が88.7%で最も多く、「できるけどしていない」(8.9%)等が続いています。

【請求書の支払い：認定状況別】

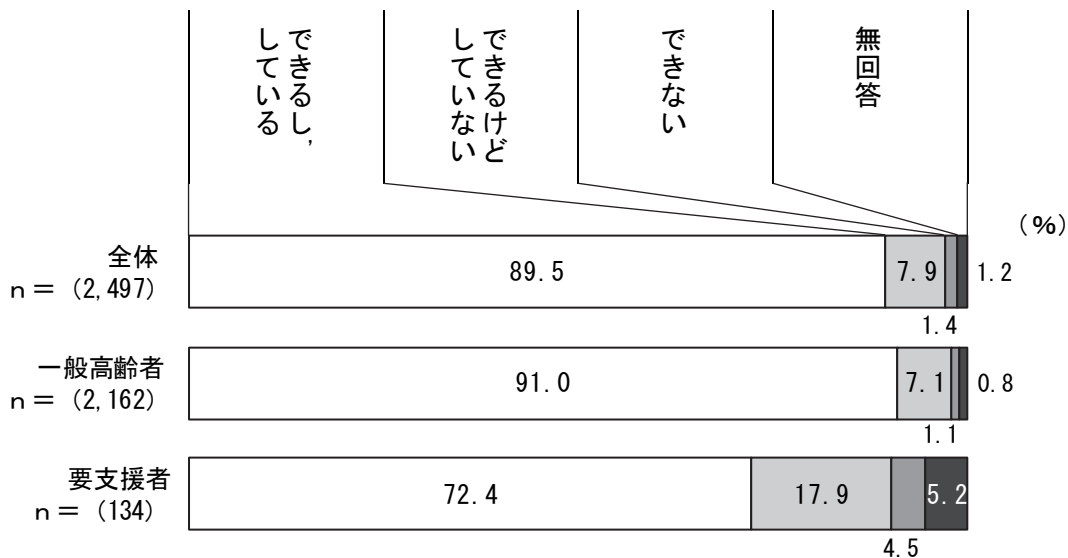


(14) 預貯金の出し入れ

問4 (12) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が89.5%で最も多く、「できるけどしていない」(7.9%)等が続いています。

【預貯金の出し入れ：認定状況別】



(15) IADL（手段的日常生活動作）の低下

今回の調査票の間4（8）～（12）は、比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問です。各設問に「できるし、している」又は「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、合計で3点以下の場合、IADL（手段的日常生活動作）が低下している高齢者になります。

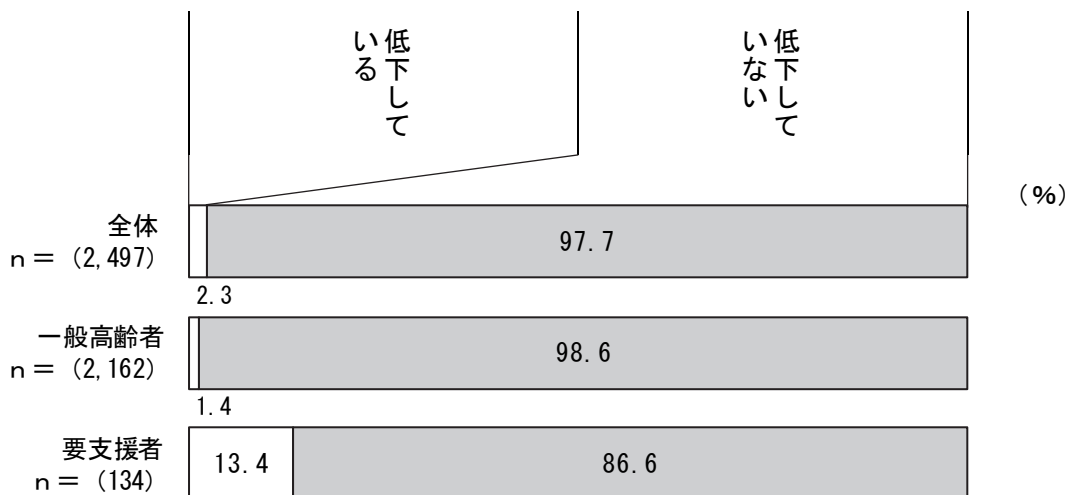
【IADL（手段的日常生活動作）の低下に関する設問（老研式活動能力指標）】

問番号	設問	該当する選択肢
問4（8）	バスや電車を使って1人で外出していますか （自家用車でも可）	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問4（9）	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問4（10）	自分で食事の用意をしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問4（11）	自分で請求書の支払いをしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」
問4（12）	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「できるし、している」 「できるけどしていない」

該当する選択肢の回答結果から、IADL（手段的日常生活動作）が低下している高齢者は2.3%となっています。

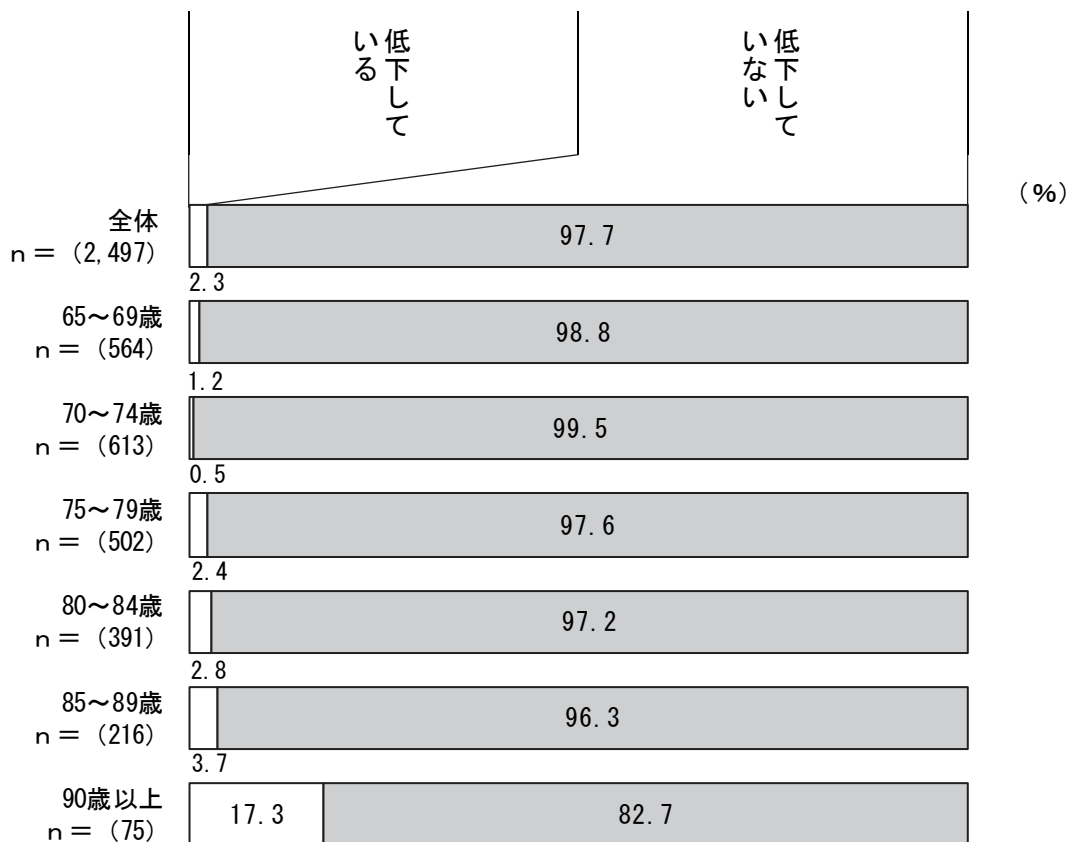
認定状況別にみると、要支援者が13.4%、一般高齢者が1.4%となっています。

【IADL（手段的日常生活動作）の低下：認定状況別】



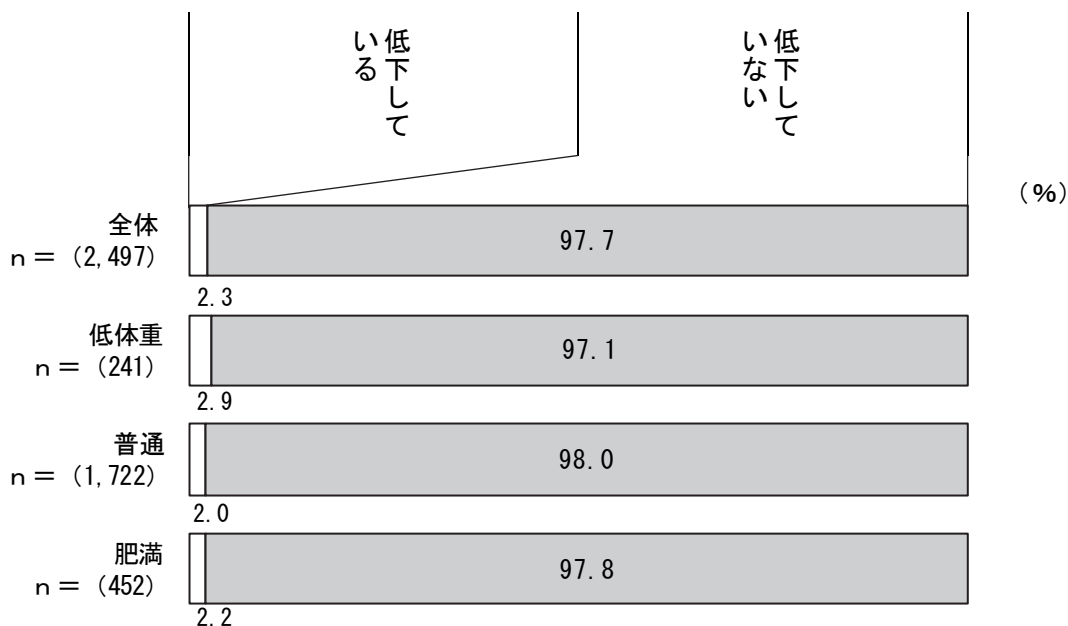
年齢別にみると、75歳以上については年齢が上がるとともにIADL（手段的日常生活動作）の低下した高齢者の割合が多くなっています。

【IADL（手段的日常生活動作）の低下：年齢別】



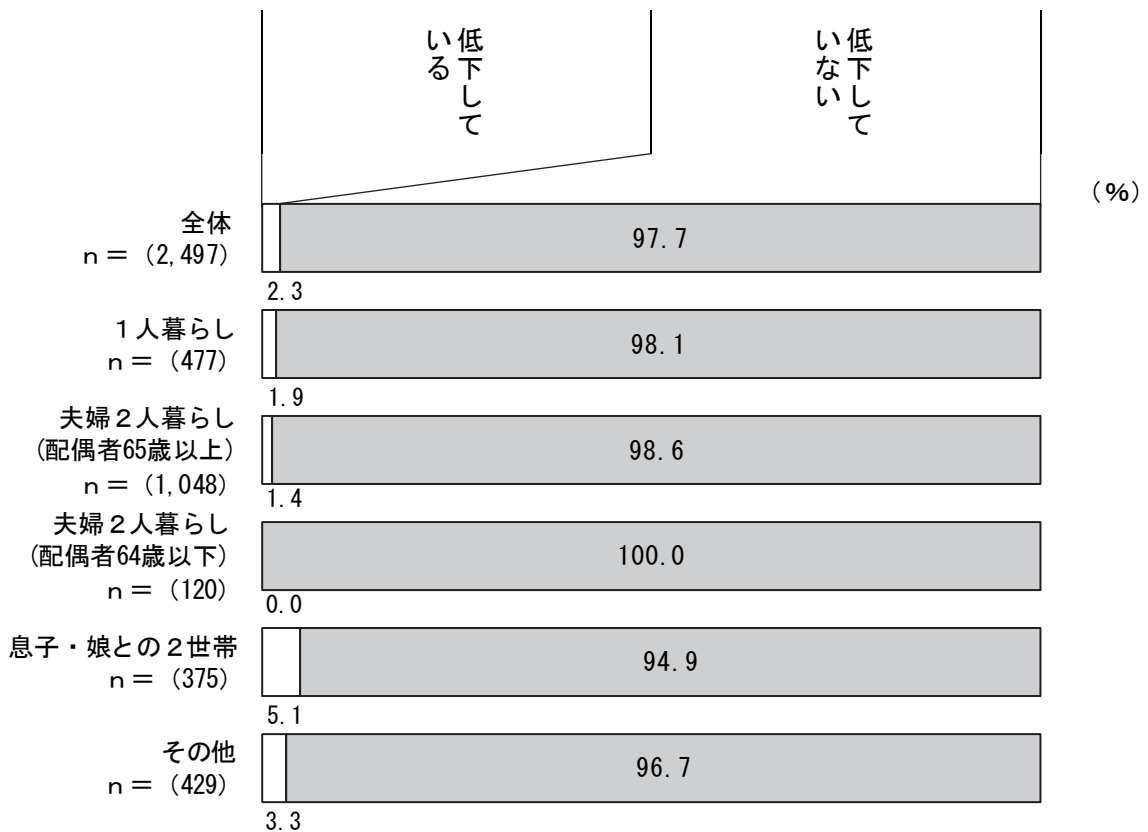
肥満度別にみると、あまり大きな差はありません。

【IADL（手段的日常生活動作）の低下：肥満度別】



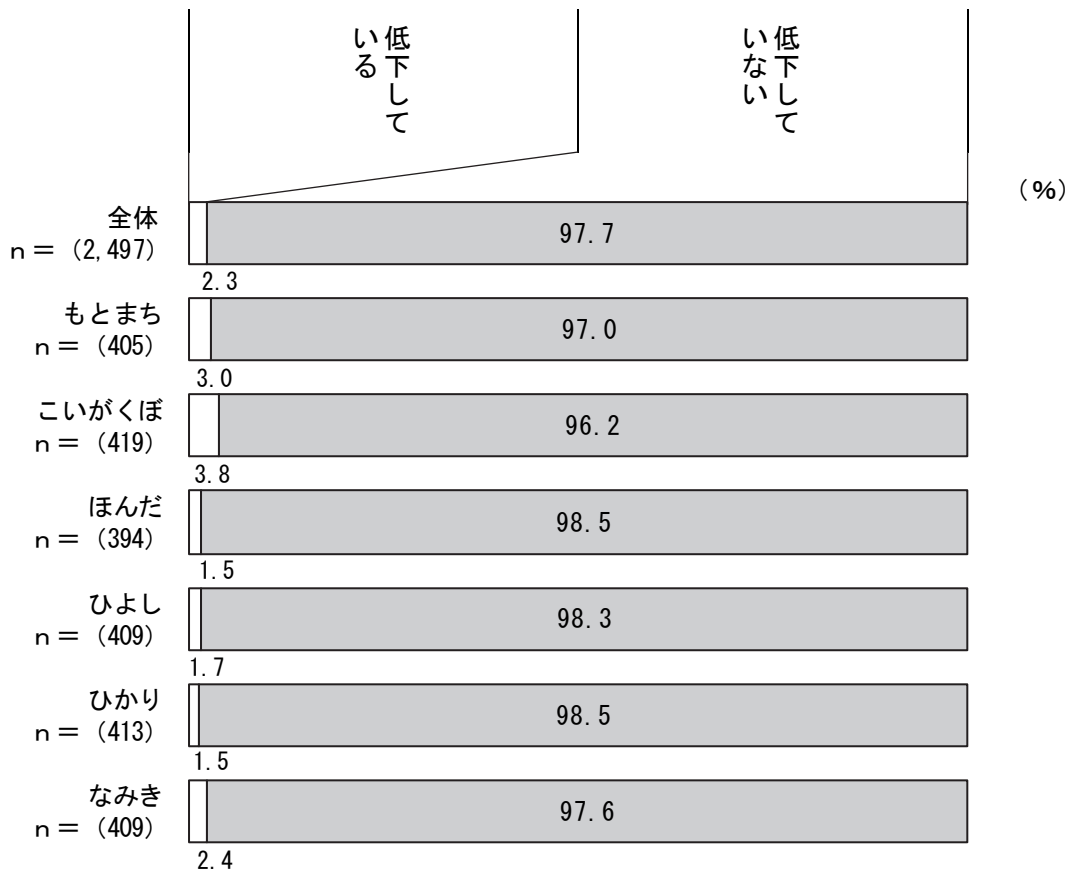
家族構成別にみると、あまり大きな差はありません。

【IADL（手段的日常生活動作）の低下：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、あまり大きな差はありません。

【IADL（手段的日常生活動作）の低下：地域包括支援センター別】

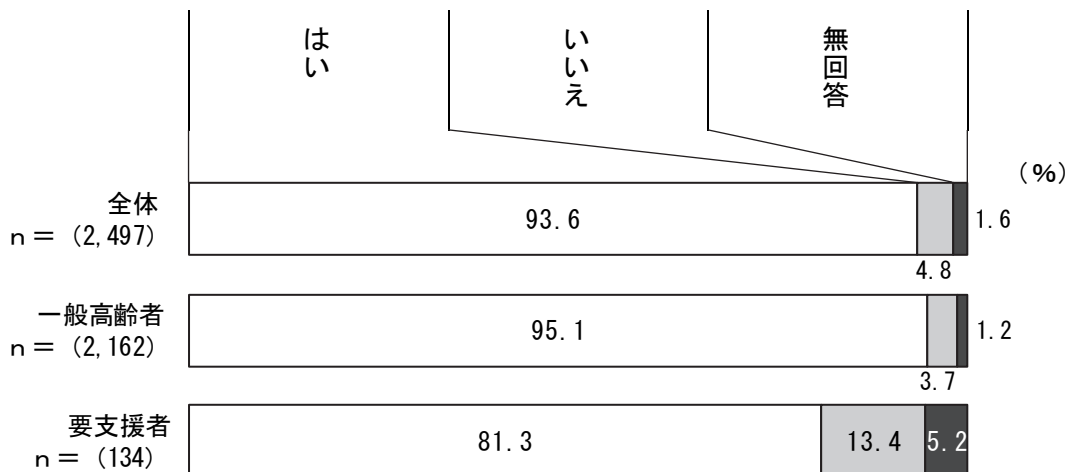


(16) 書類作成

問4 (13) 年金などの書類（役所や病院等に出す書類）が書けますか

年金などの書類が書けるかについては、「はい」が93.6%、「いいえ」が4.8%となっています。認定状況別にみると、要支援者は「はい」が81.3%となっています。

【書類作成：認定状況別】

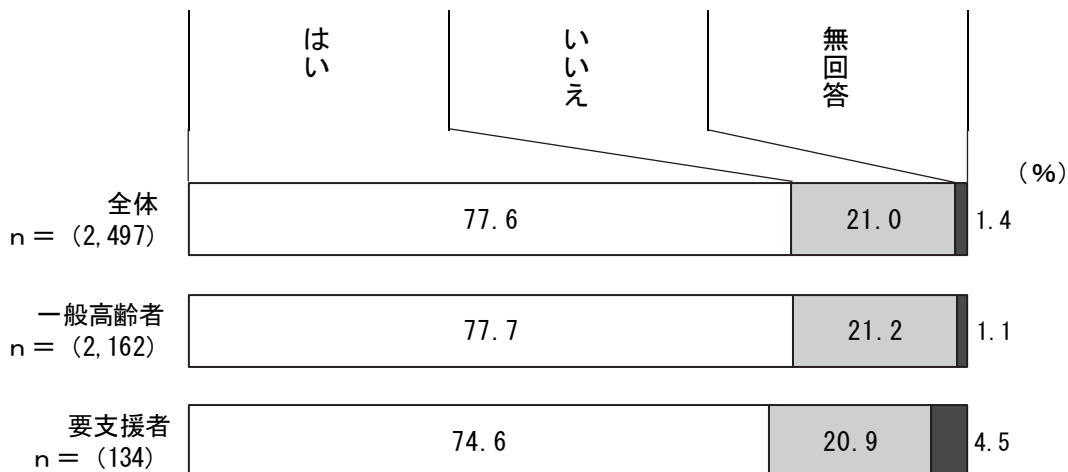


(17) 新聞を読むこと

問4 (14) 新聞を読んでいますか

新聞を読んでいるかについては、「はい」が77.6%、「いいえ」が21.0%となっています。

【新聞を読むこと：認定状況別】

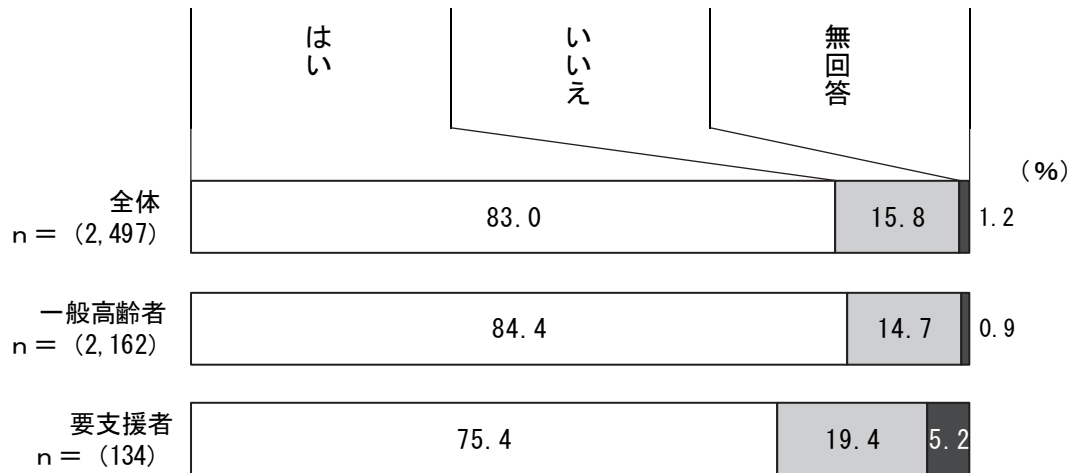


(18) 読書

問4 (15) 本や雑誌を読んでいますか

本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が83.0%、「いいえ」が15.8%となっています。認定状況別にみると、要支援者は「はい」が75.4%となっています。

【読書：認定状況別】

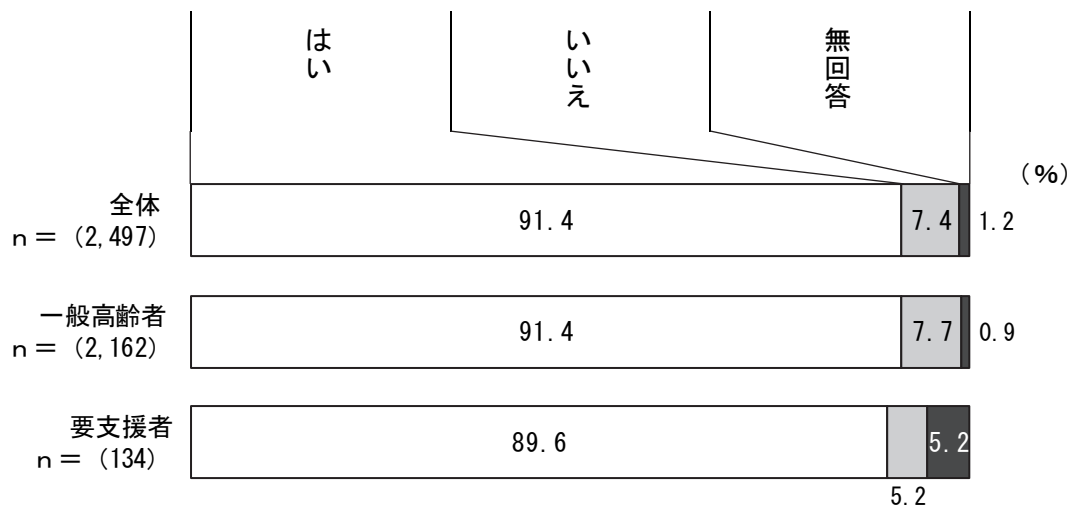


(19) 健康についての関心

問4 (16) 健康についての記事や番組に関心がありますか

健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が91.4%、「いいえ」が7.4%となっています。

【健康についての関心：認定状況別】



(20) 知的能動性の低下

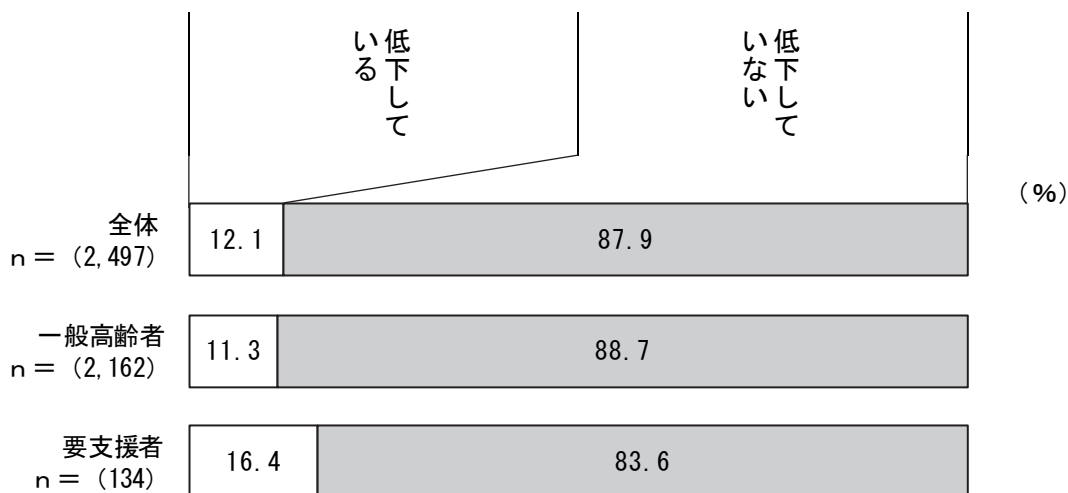
今回の調査票の問4（13）～（16）は、知的活動を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問です。各設問に「はい」と回答した場合を1点として、合計で2点以下の場合、知的能動性が低下している高齢者になります。

【知的能動性の低下に関する設問（老研式活動能力指標）】

問番号	設問	該当する選択肢
問4（13）	年金等の書類（役所や病院等に出す書類）が書けますか	「はい」
問4（14）	新聞を読んでいますか	「はい」
問4（15）	本や雑誌を読んでいますか	「はい」
問4（16）	健康についての記事や番組に関心がありますか	「はい」

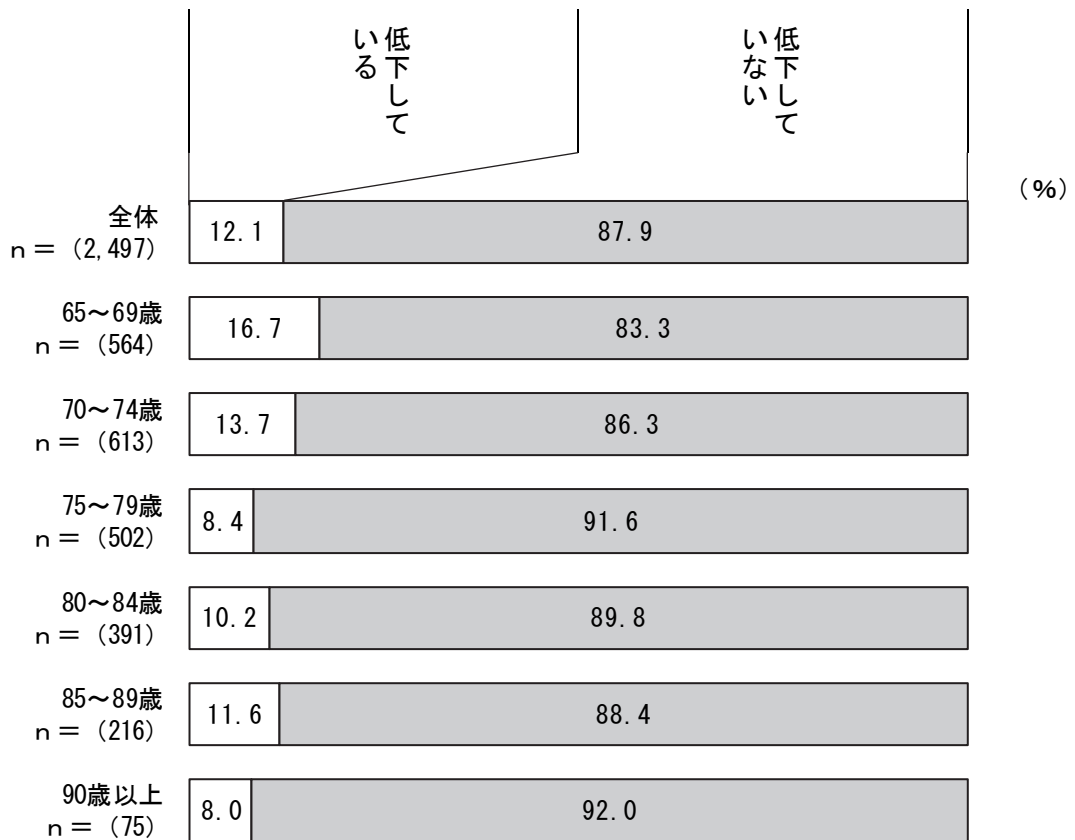
該当する選択肢の回答結果から、知的能動性が低下している高齢者は12.1%となっています。認定状況別にみると、要支援者が16.4%、一般高齢者が11.3%となっています。

【知的能動性の低下：認定状況別】



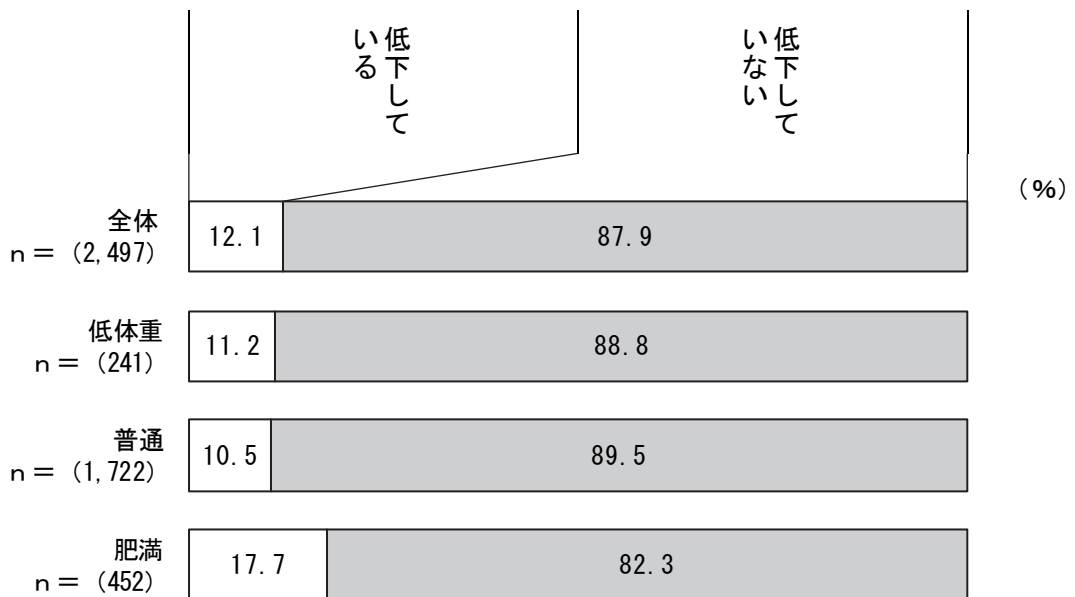
年齢別にみると、65～69歳が16.7%で最も多く、次いで70～74歳（13.7%）等が続いています。

【知的能動性の低下：年齢別】



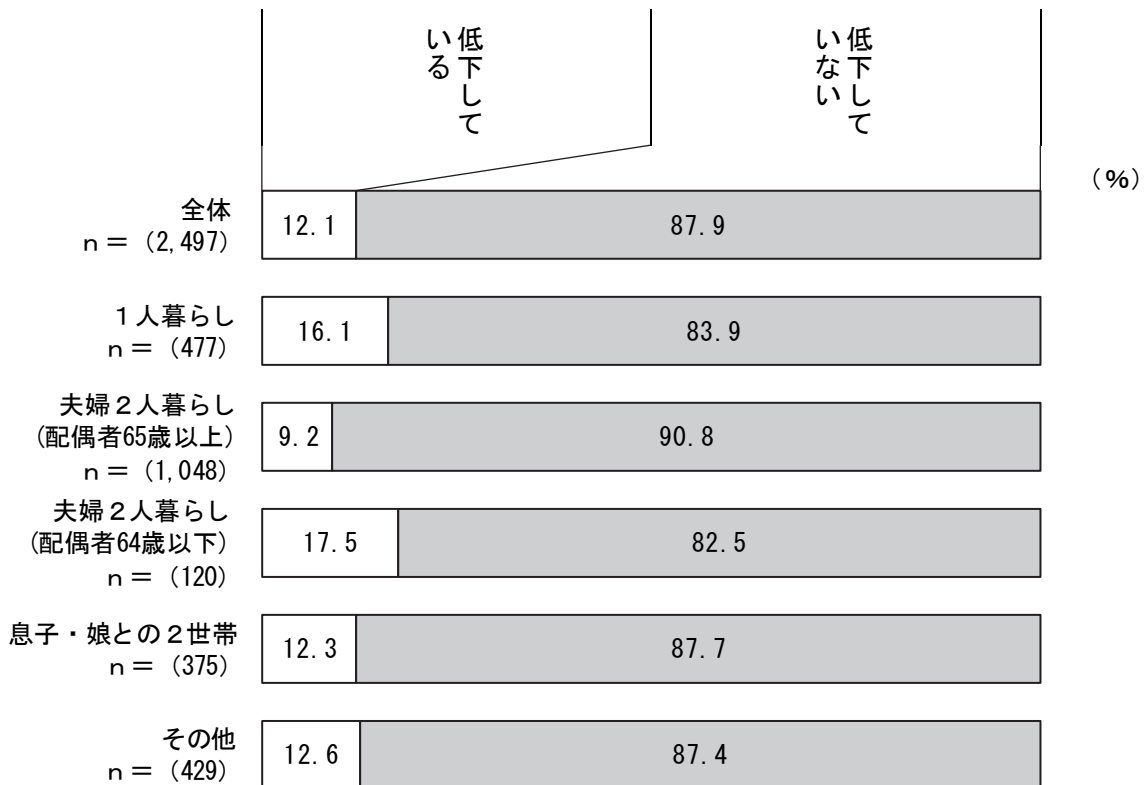
肥満度別にみると、肥満が17.7%と最も多くなっています。

【知的能動性の低下：肥満度別】



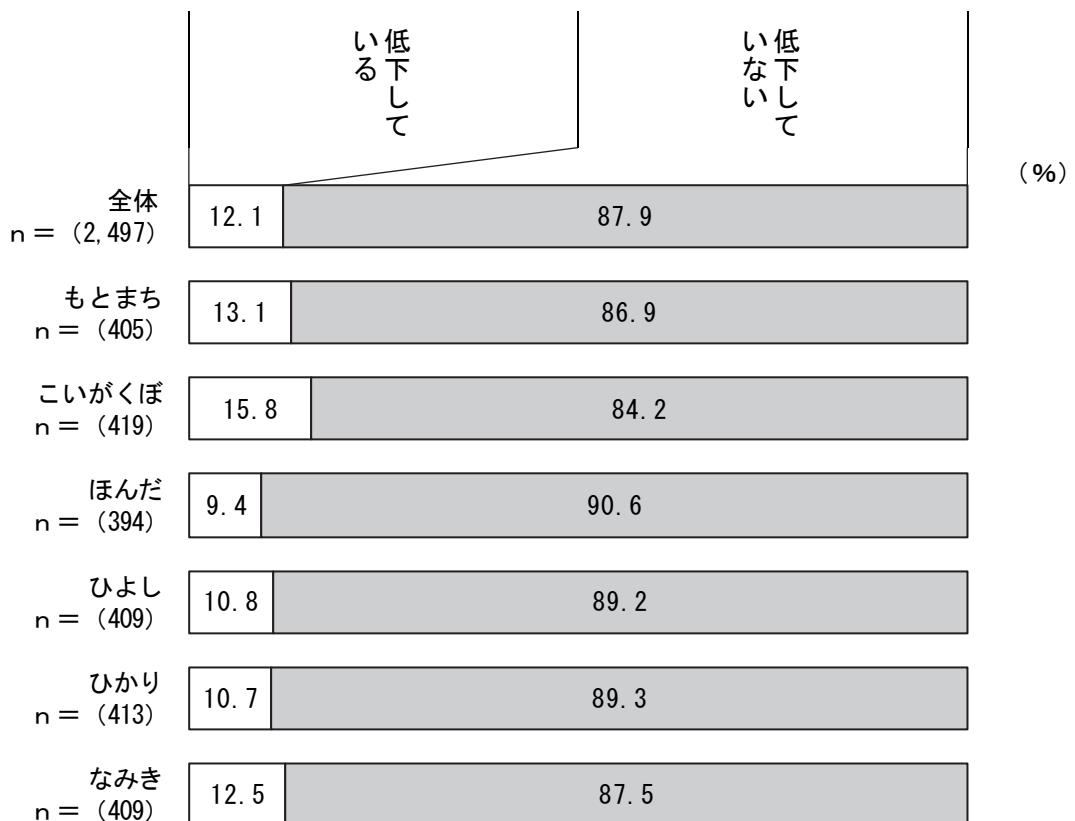
家族構成別にみると、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)が17.5%で最も多く、次いで1人暮らし(16.1%)等が続いています。

【知的能動性の低下：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、こいがくぼが15.8%で最も多く、次いでもとまち(13.1%)等が続いています。

【知的能動性の低下：地域包括支援センター別】

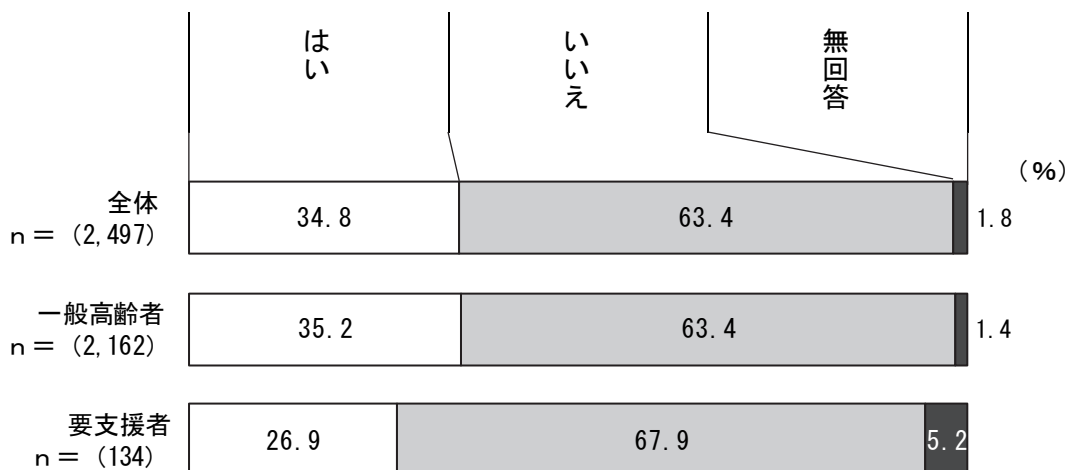


(21) 友人宅の訪問

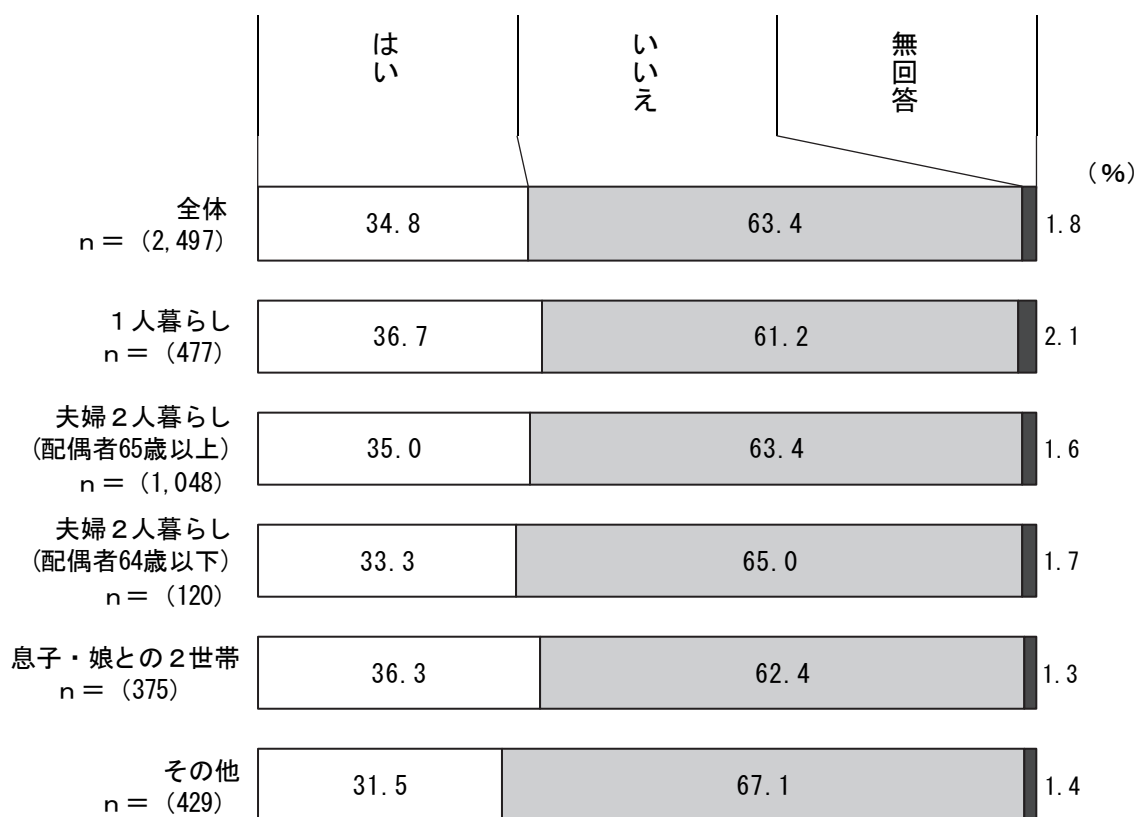
問4 (17) 友人の家を訪ねていますか

友人の家を訪ねているかについては、「はい」が34.8%、「いいえ」が63.4%となっています。家族構成別にみると、「はい」の割合に大きな差はありません。

【友人宅の訪問：認定状況別】



【友人宅の訪問：家族構成別】

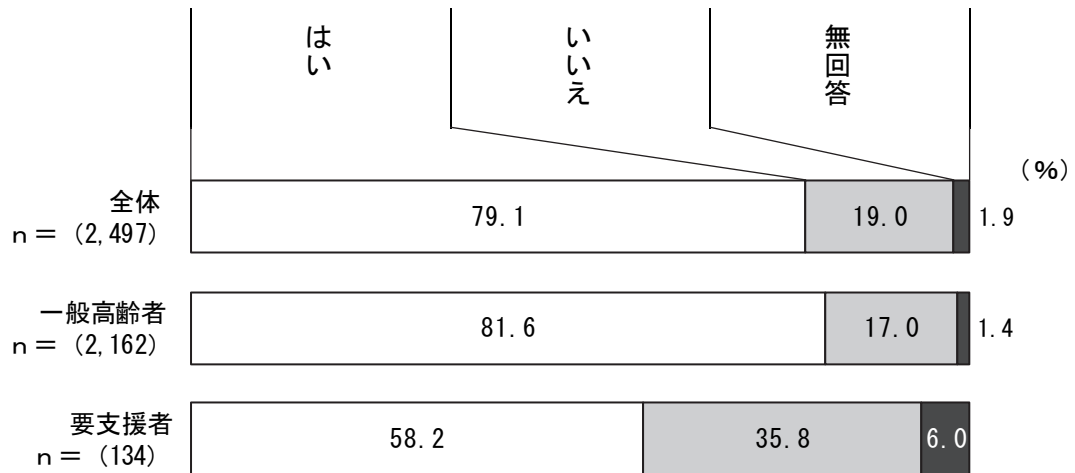


(22) 家族や友人からの相談

問4 (18) 家族や友人の相談にのっていますか

家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が79.1%、「いいえ」が19.0%となっています。

【家族や友人からの相談：認定状況別】

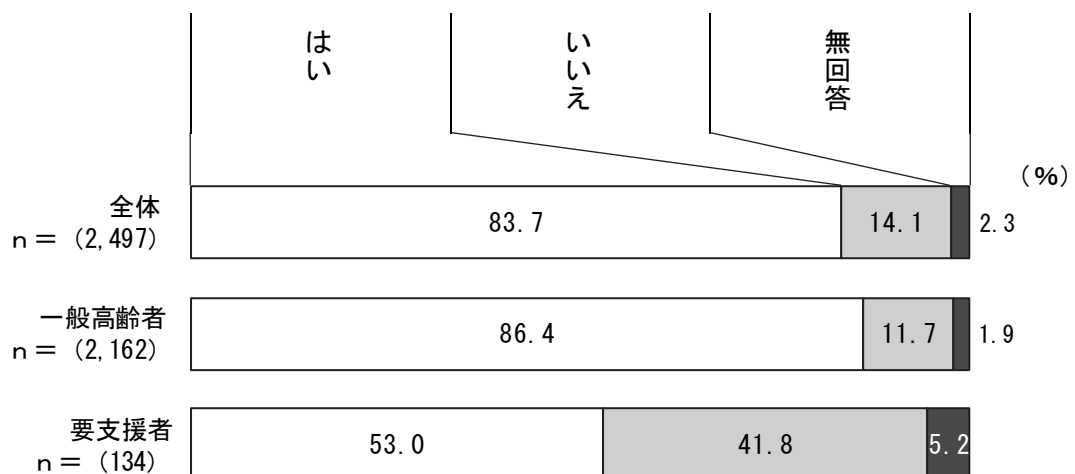


(23) 見舞い

問4 (19) 病人を見舞うことができますか

病人を見舞うことができるかについては、「はい」が83.7%、「いいえ」が14.1%となっています。

【見舞い：認定状況別】

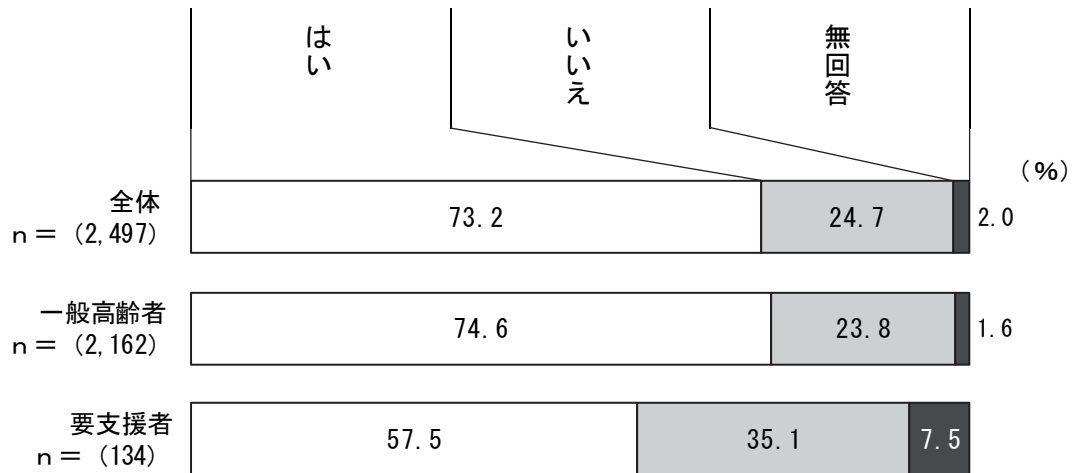


(24) 若い人への話しかけ

問4 (20) 若い人に自分から話しかけることがありますか

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、「はい」が 73.2%、「いいえ」が 24.7%となっています。

【若い人への話しかけ：認定状況別】



(25) 他者との関わり

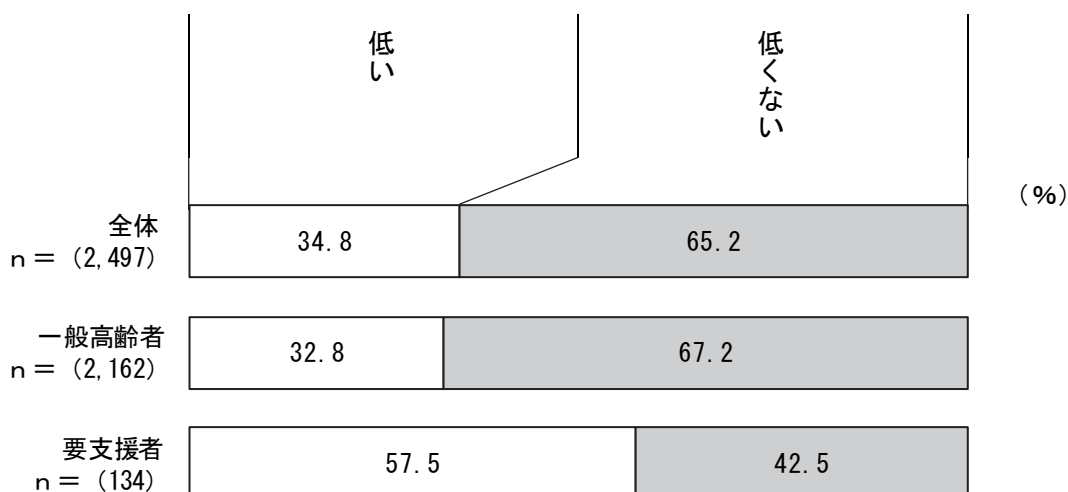
今回の調査票の問4 (17)～(20)は、他者との関わりを評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問です。各設問に「はい」と回答した場合を1点として、合計で2点以下の場合、他者との関わりが低い高齢者になります。

【他者との関わりに関する設問（老研式活動能力指標）】

問番号	設問	該当する選択肢
問4 (17)	友人の家を訪ねていますか	「はい」
問4 (18)	家族や友人の相談にのっていますか	「はい」
問4 (19)	病人を見舞うことができますか	「はい」
問4 (20)	若い人に自分から話しかけることがありますか	「はい」

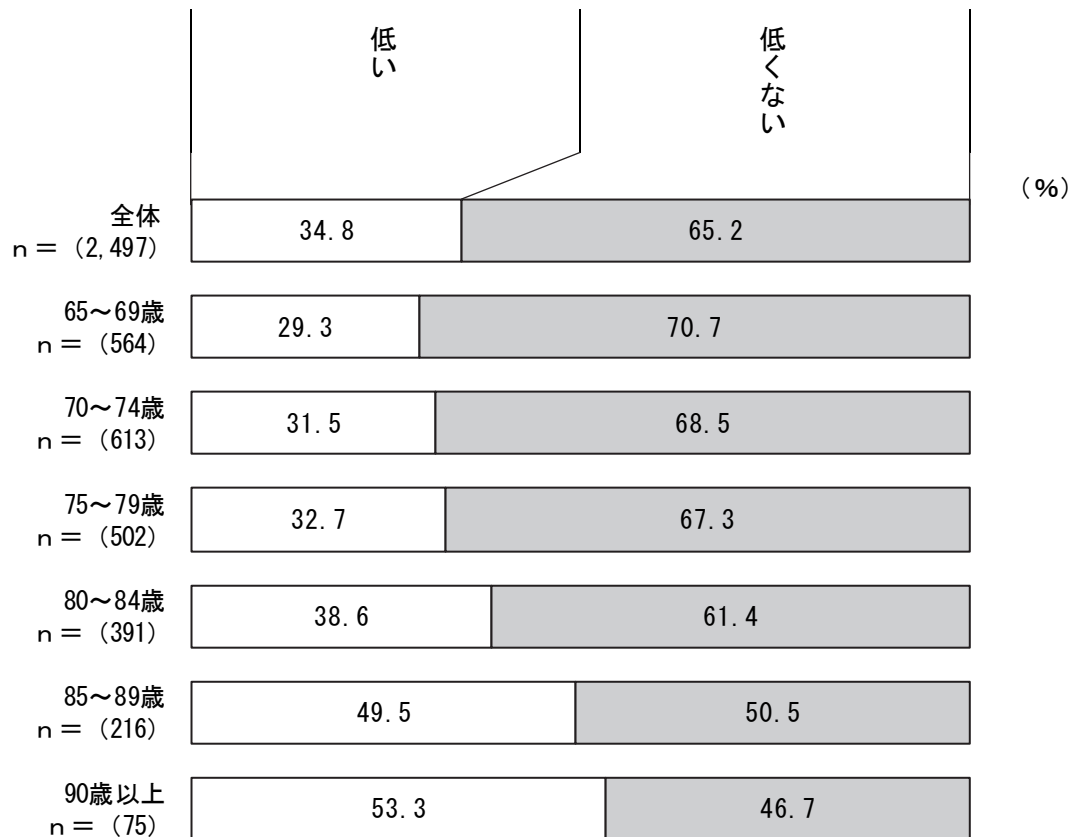
該当する選択肢の回答結果から、他者との関わりが低い高齢者は34.8%となっています。認定状況別にみると、要支援者が57.5%、一般高齢者が32.8%となっています。

【他者との関わり：認定状況別】



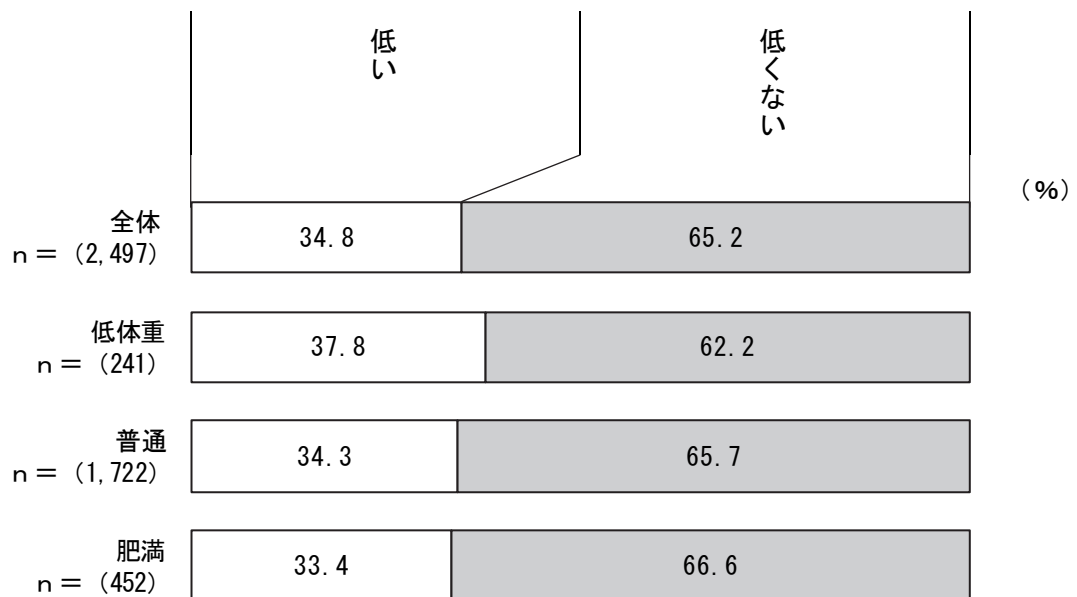
年齢別にみると、年齢が上がるとともに他者との関わりが低い高齢者の割合が多くなっており、90歳以上では53.3%となっています。

【他者との関わり：年齢別】



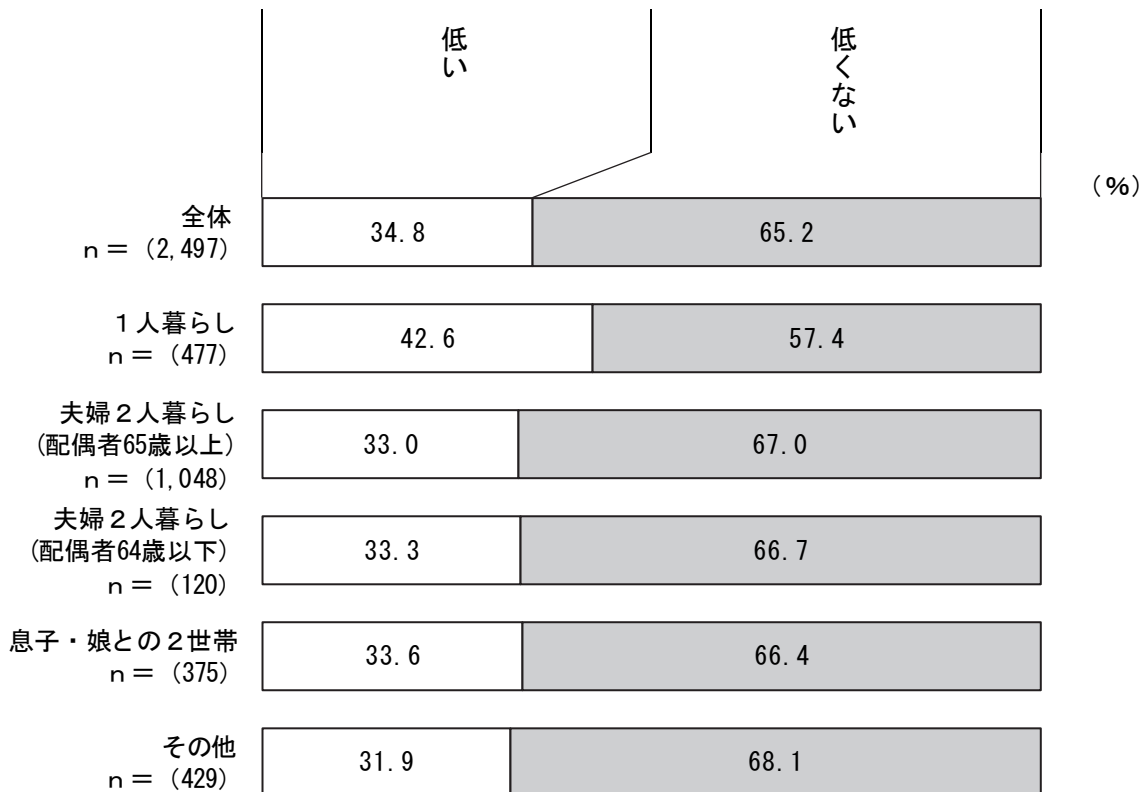
肥満度別にみると、あまり大きな差はありません。

【他者との関わり：肥満度別】



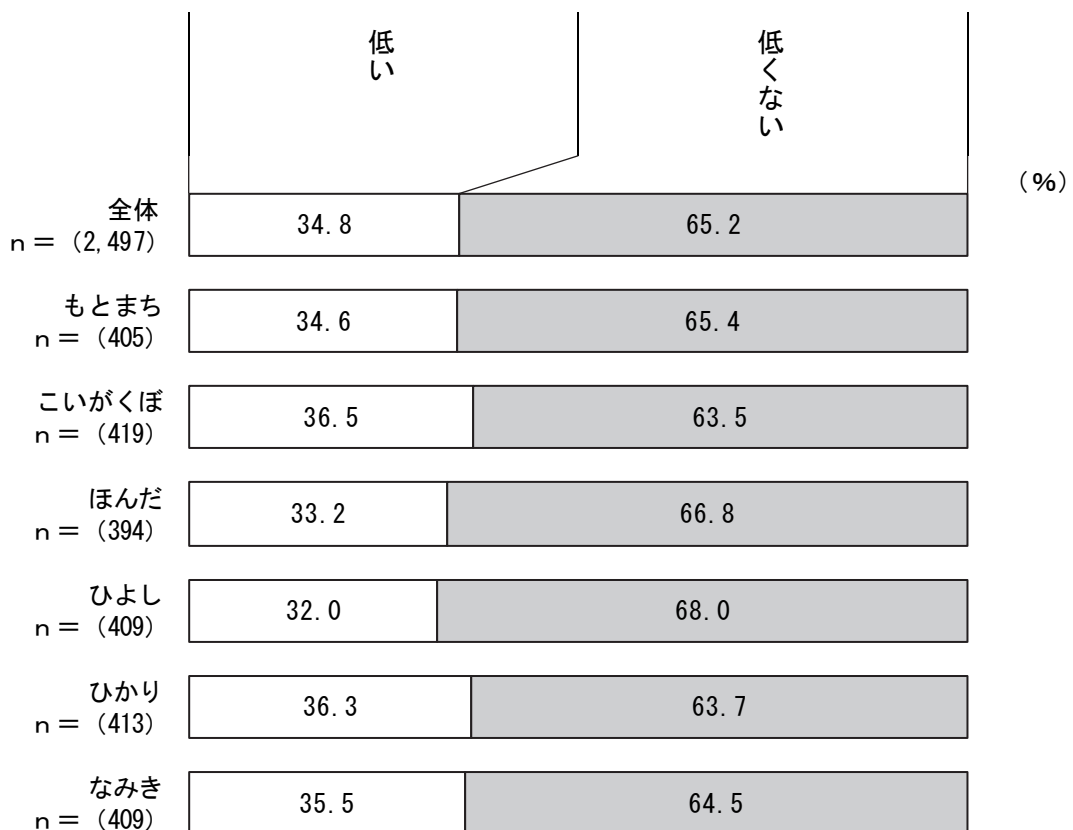
家族構成別にみると1人暮らしが42.6%で最も多く、次いで、息子・娘との2世帯(33.6%)、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(33.3%)等が続いています。

【他者との関わり：家族構成別】



地域包括支援センター別にみると、あまり大きな差はありません。

【他者との関わり：地域包括支援センター別】



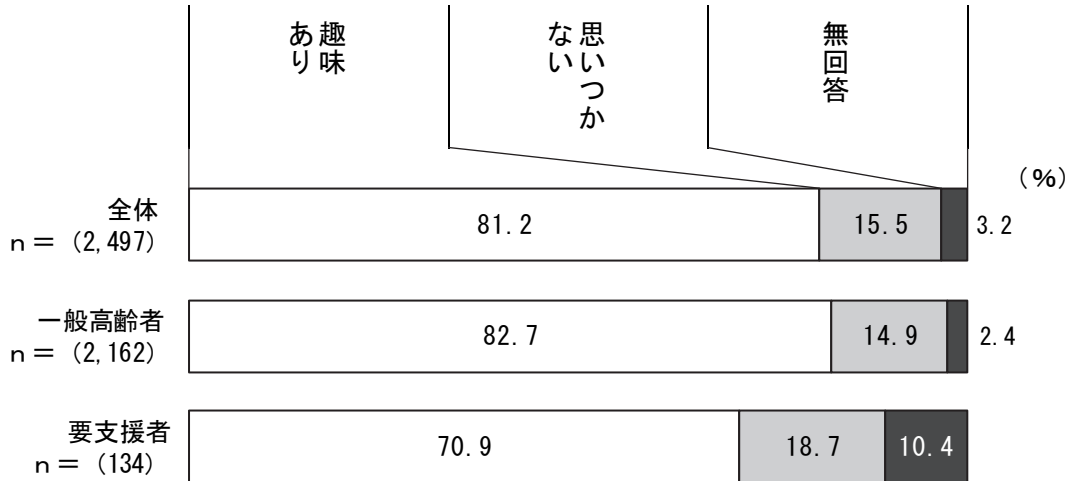
(26) 趣味

問4 (21) 趣味はありますか

趣味については、「趣味あり」が81.2%、「思いつかない」が15.5%となっています。

「趣味あり」と回答した方に趣味について聞いたところ、「音楽」、「旅行」、「園芸・ガーデニング」、「ウォーキング・散歩」、「読書」、「映画鑑賞」、「絵画」、「スポーツ」、「洋裁・手芸」等となっています。

【趣味：認定状況別】



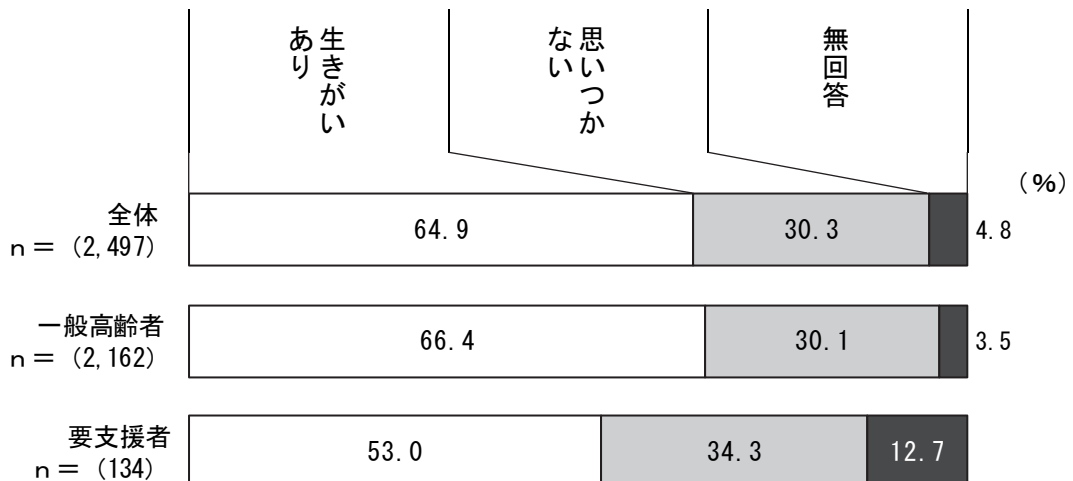
(27) 生きがい

問4 (22) 生きがいはありますか

生きがいについては、「生きがいあり」が64.9%、「思いつかない」が30.3%となっています。

「生きがいあり」と回答した方に生きがいについて聞いたところ、「子ども・孫」、「趣味」、「家族」、「健康」、「仕事」、「旅行」、「交流」、「友人」、「ペット」、「食事」、「ボランティア」等となっています。

【生きがい：認定状況別】



6 地域での活動

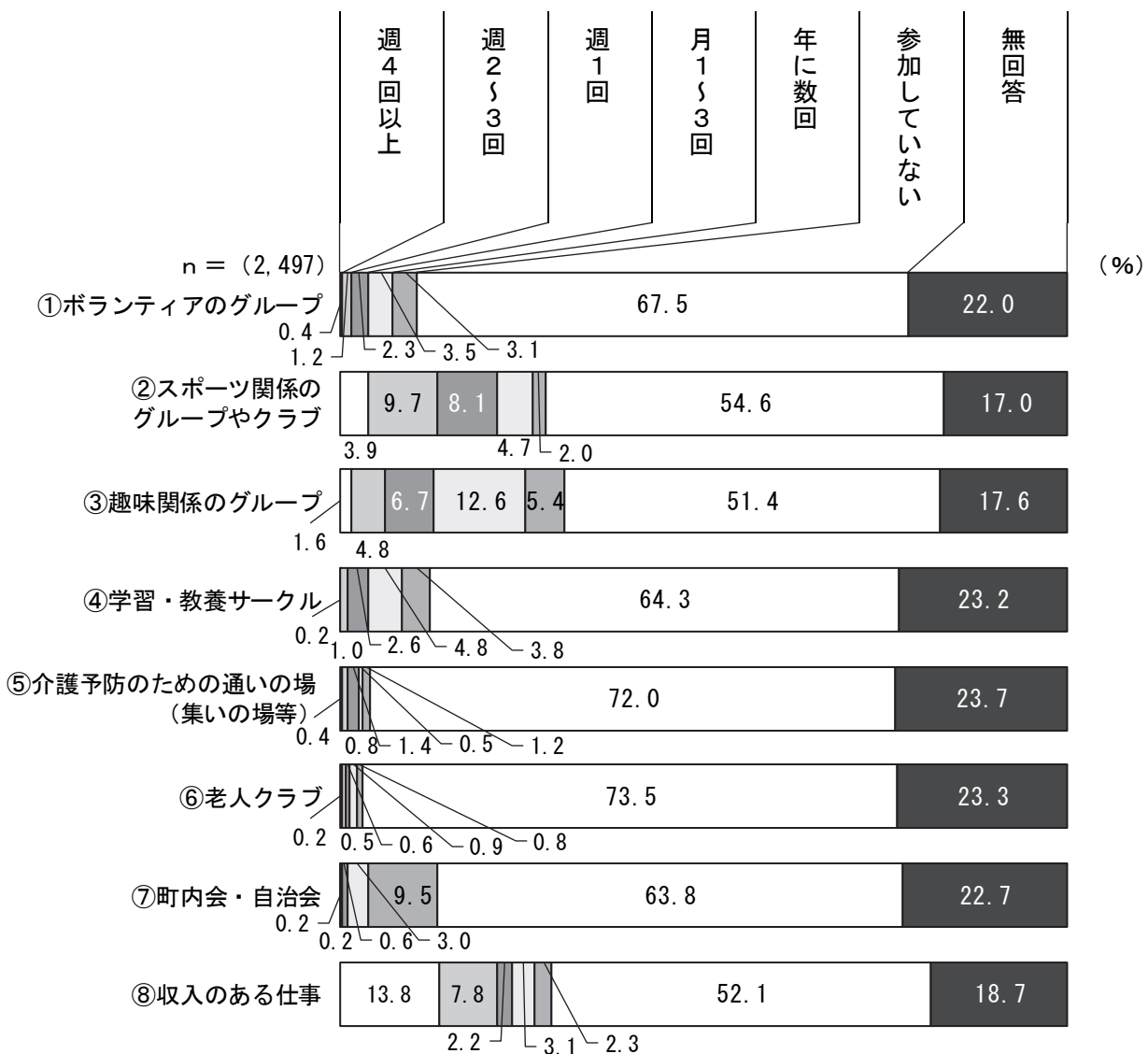
(1) 会・グループ等への参加

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

会・グループ等への参加についてみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」の合計が多いのは⑧収入のある仕事 (26.9%)、②スポーツ関係のグループやクラブ (26.4%)、③趣味関係のグループ (25.7%) となっています。

⑧収入のある仕事については、「週4回以上」が13.8%となっています。

【会・グループ等への参加】



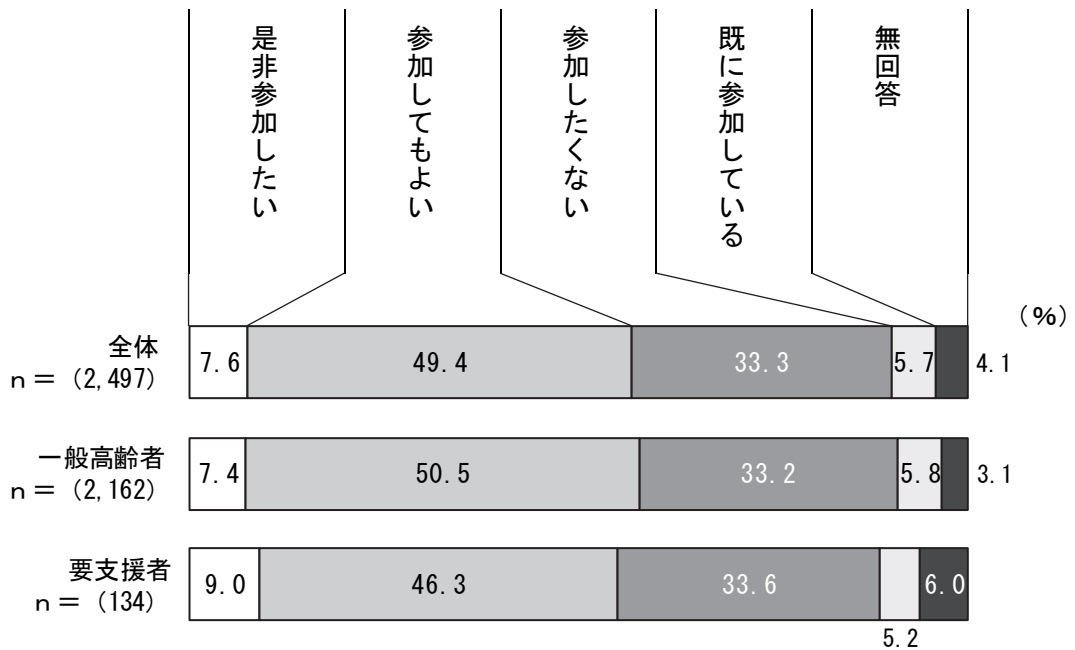
(2) 健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向

① 参加者として参加

問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

今後、健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいかについては、「参加してもよい」が49.4%で最も多く、次いで「参加したくない」(33.3%)、「是非参加したい」(7.6%)、「既に参加している」(5.7%)が続いています。

【参加者として参加：認定状況別】

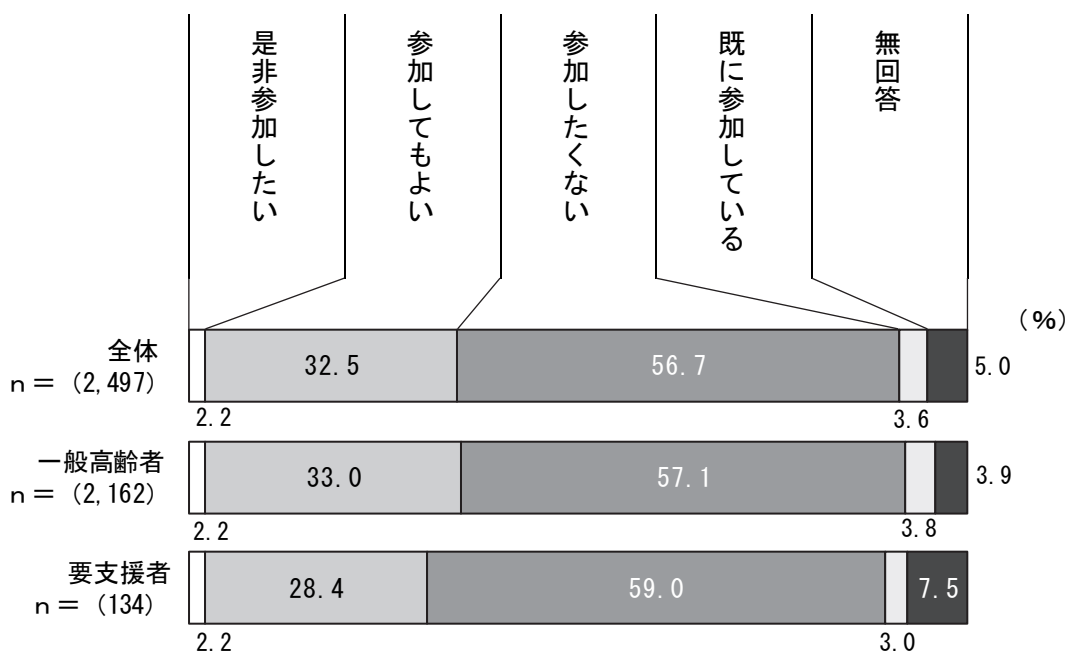


② 企画・運営として参加

問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

企画・運営として参加してみたいかについては、「是非参加したい」が 2.2%、「参加してもよい」が 32.5%となっています。「是非参加したい」、「参加してもよい」を合わせた参加に前向きな方の割合は 34.7%となっています。

【企画・運営として参加：認定状況別】



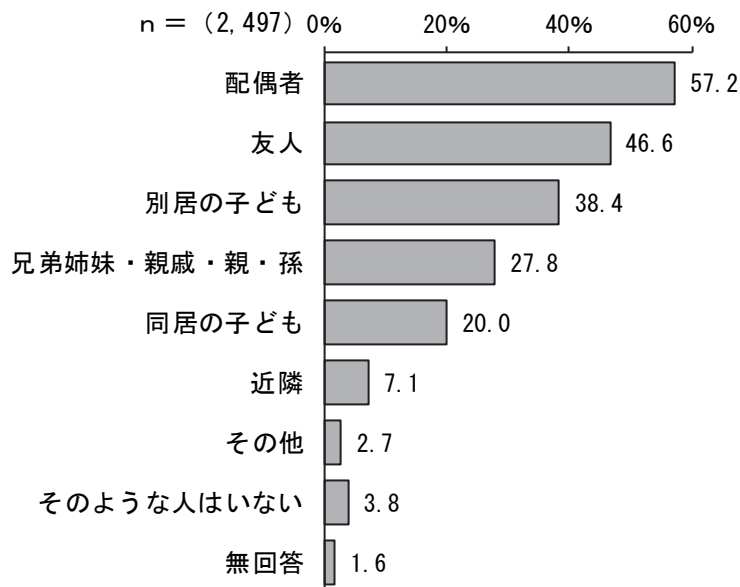
7 たすけあい

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問6 (1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はどなたですか
(あてはまるものすべてに○)

心配事や愚痴を聞いてくれる人としては、「配偶者」が 57.2%で最も多く、次いで「友人」(46.6%)、「別居の子ども」(38.4%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(27.8%)等が続いています。家族構成別にみると、1人暮らしでは「友人」が 60.0%で最も多く、次いで「別居の子ども」(45.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(38.4%)等が続いています。夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)では「配偶者」が 82.7%で最も多く、次いで「友人」(44.6%)、「別居の子ども」(43.8%)等が続いています。息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」が 61.9%で最も多く、次いで「配偶者」(53.1%)、「友人」(41.9%)等が続いています。

【心配事や愚痴を聞いてくれる人】(複数回答)



【心配事や愚痴を聞いてくれる人：家族構成別】(複数回答)

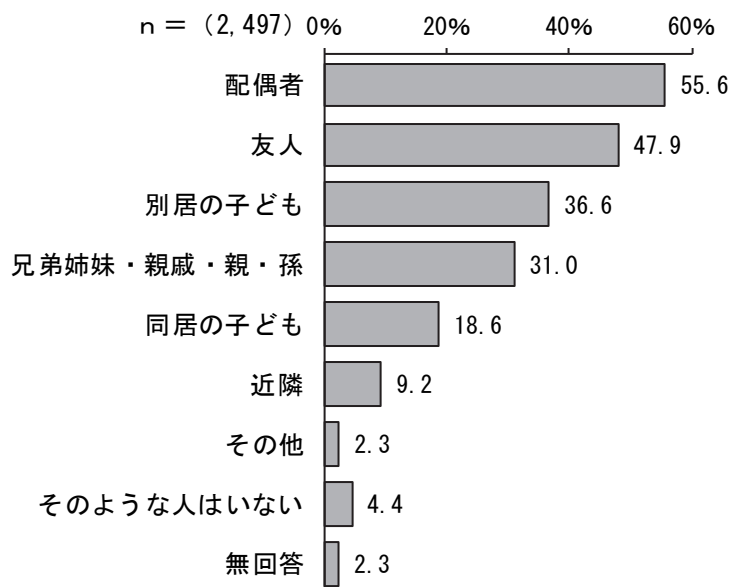
	配偶者	友人	別居の子ども	親戚・兄弟姉妹・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体 n = (2,497)	57.2%	46.6%	38.4%	27.8%	20.0%	7.1%	2.7%	3.8%	1.6%
1人暮らし n = (477)	1.9%	60.0%	45.9%	38.4%	0.8%	10.7%	3.6%	9.9%	2.1%
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) n = (1,048)	82.7%	44.6%	43.8%	23.9%	2.6%	6.5%	1.6%	2.0%	1.3%
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) n = (120)	85.8%	36.7%	26.7%	19.2%	4.2%	3.3%	2.5%	2.5%	2.5%
息子・娘との2世帯 n = (375)	53.1%	41.9%	28.5%	27.2%	61.9%	6.7%	2.7%	2.9%	1.1%
その他 n = (429)	52.0%	44.8%	29.8%	29.8%	51.5%	6.5%	4.2%	3.3%	1.2%

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はどなたですか
(あてはまるものすべてに○)

心配事や愚痴を聞いてあげる人としては、「配偶者」が55.6%で最も多く、次いで「友人」(47.9%)、「別居の子ども」(36.6%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(31.0%)等が続いています。家族構成別にみると、1人暮らしでは「友人」が59.5%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(37.7%)、「別居の子ども」(35.4%)等が続いています。夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)では「配偶者」が80.3%で最も多く、次いで「友人」(46.5%)、「別居の子ども」(43.8%)等が続いています。息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」が55.2%で最も多く、次いで「配偶者」(51.2%)、「友人」(45.1%)等が続いています。

【心配事や愚痴を聞いてあげる人】(複数回答)



【心配事や愚痴を聞いてあげる人：家族構成別】(複数回答)

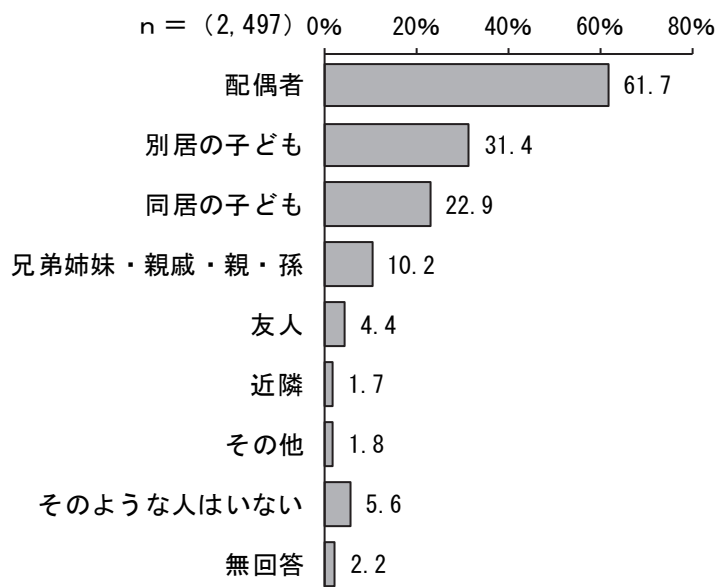
	配偶者	友人	別居の子ども	親戚・兄弟姉妹・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	そのような人はいない	無回答
全体 n = (2,497)	55.6%	47.9%	36.6%	31.0%	18.6%	9.2%	2.3%	4.4%	2.3%	
1人暮らし n = (477)	2.1%	59.5%	35.4%	37.7%	0.8%	13.4%	3.4%	11.7%	2.9%	
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) n = (1,048)	80.3%	46.5%	43.8%	26.9%	2.8%	8.2%	1.8%	2.7%	1.7%	
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) n = (120)	83.3%	37.5%	33.3%	24.2%	5.0%	5.8%	3.3%	0.8%	2.5%	
息子・娘との2世帯 n = (375)	51.2%	45.1%	27.5%	30.4%	55.2%	7.7%	1.6%	2.9%	1.9%	
その他 n = (429)	50.6%	45.2%	30.1%	36.1%	48.7%	9.6%	3.0%	3.3%	2.3%	

(3) 看病や世話をしてくれる人

問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか (あてはまるものすべてに○)

看病や世話をしてくれる人としては、「配偶者」が61.7%で最も多く、次いで「別居の子ども」(31.4%)、「同居の子ども」(22.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(10.2%)等が続いています。家族構成別にみると、1人暮らしでは「別居の子ども」が49.1%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(22.4%)等が続いています。一方で、「そのような人はいない」が21.0%になっています。夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)では「配偶者」が89.6%で最も多く、次いで「別居の子ども」(36.5%)等が続いています。息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」が73.9%で最も多く、次いで「配偶者」(57.1%)等が続いています。

【看病や世話をしてくれる人】(複数回答)



【看病や世話をしてくれる人：家族構成別】(複数回答)

	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親戚・兄弟姉妹・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体 n = (2,497)	61.7%	31.4%	22.9%	10.2%	4.4%	1.7%	1.8%	5.6%	2.2%
1人暮らし n = (477)	1.0%	49.1%	1.3%	22.4%	13.6%	4.8%	4.8%	21.0%	3.4%
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) n = (1,048)	89.6%	36.5%	2.4%	5.1%	2.5%	1.1%	0.7%	2.3%	1.6%
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) n = (120)	94.2%	15.8%	5.0%	4.2%	3.3%	1.7%	0.0%	0.0%	4.2%
息子・娘との2世帯 n = (375)	57.1%	16.3%	73.9%	6.1%	2.1%	1.1%	0.3%	1.3%	1.1%
その他 n = (429)	55.0%	18.4%	56.2%	14.7%	1.6%	0.2%	2.6%	2.1%	2.3%

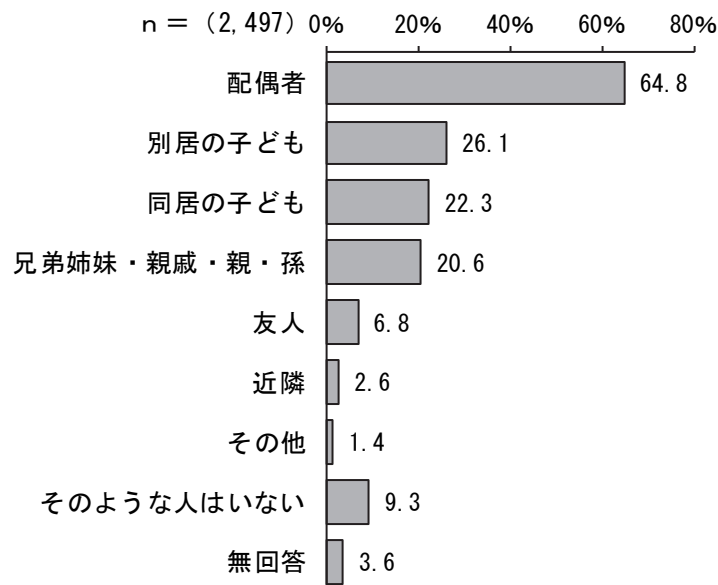
(4) 看病や世話をしてあげる人

問6 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか
(あてはまるものすべてに○)

看病や世話をしてあげる人も、「配偶者」が64.8%で最も多く、次いで「別居の子ども」(26.1%)、「同居の子ども」(22.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(20.6%)等が続いています。

家族構成別にみると、1人暮らしでは「別居の子ども」が32.9%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(30.0%)等が続いています。一方で、「そのような人はいない」が32.3%になっています。夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)では「配偶者」が94.0%で最も多く、次いで「別居の子ども」(30.7%)等が続いています。息子・娘との2世帯では、「同居の子ども」が65.9%で最も多く、次いで「配偶者」(60.0%)等が続いています。

【看病や世話をしてあげる人】(複数回答)



【看病や世話をしてあげる人：家族構成別】(複数回答)

	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親戚・兄弟姉妹・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体 n = (2,497)	64.8%	26.1%	22.3%	20.6%	6.8%	2.6%	1.4%	9.3%	3.6%
1人暮らし n = (477)	2.1%	32.9%	1.0%	30.0%	17.0%	5.9%	2.1%	32.3%	6.1%
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) n = (1,048)	94.0%	30.7%	2.3%	15.9%	5.1%	1.6%	0.6%	2.6%	1.9%
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) n = (120)	86.7%	18.3%	5.8%	18.3%	6.7%	3.3%	0.8%	4.2%	6.7%
息子・娘との2世帯 n = (375)	60.0%	15.2%	65.9%	17.1%	4.5%	1.9%	1.1%	6.4%	3.2%
その他 n = (429)	60.8%	19.3%	59.4%	25.6%	2.6%	2.1%	3.5%	4.7%	3.7%

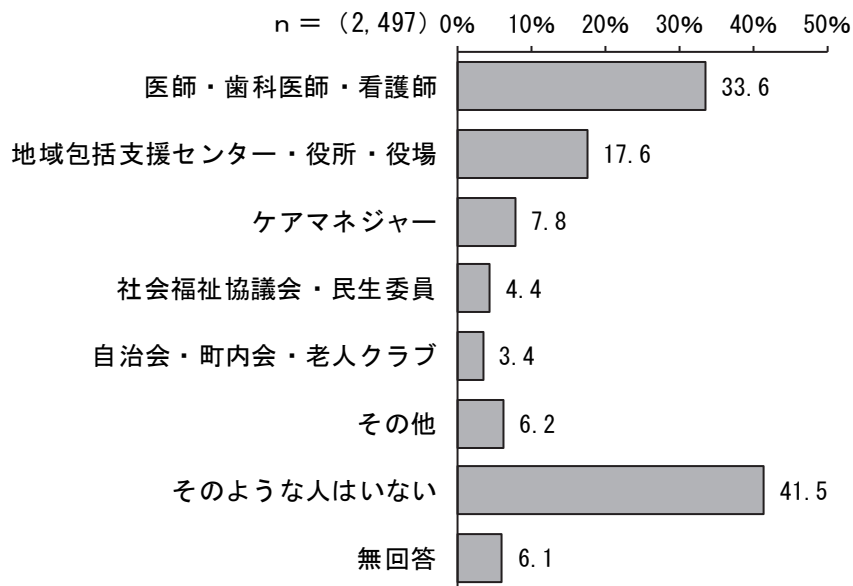
(5) 何かあったときの相談相手

問6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(あてはまるものすべてに○)

家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手としては、「医師・歯科医師・看護師」が33.6%で最も多く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」(17.6%)、「ケアマネジャー」(7.8%)等が続いています。

一方で、「そのような人はいない」が41.5%になっています。

【何かあったときの相談相手】(複数回答)

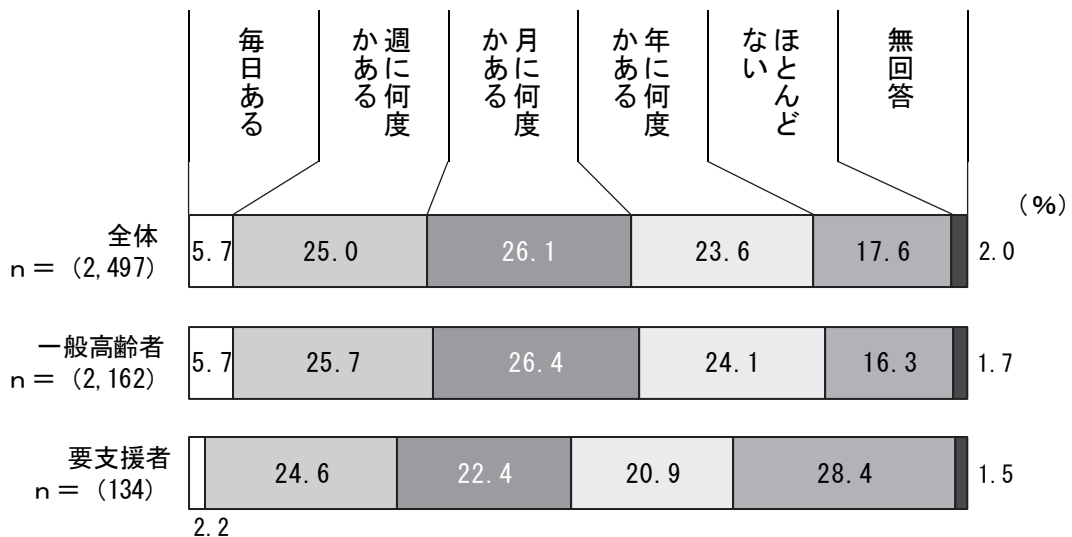


(6) 友人・知人と会う頻度

問6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

友人・知人に会う頻度については、「月に何度かある」が26.1%で最も多く、次いで「週に何度かある」(25.0%)、「年に何度かある」(23.6%)、「ほとんどない」(17.6%)等が続いています。

【友人・知人と会う頻度：認定状況別】

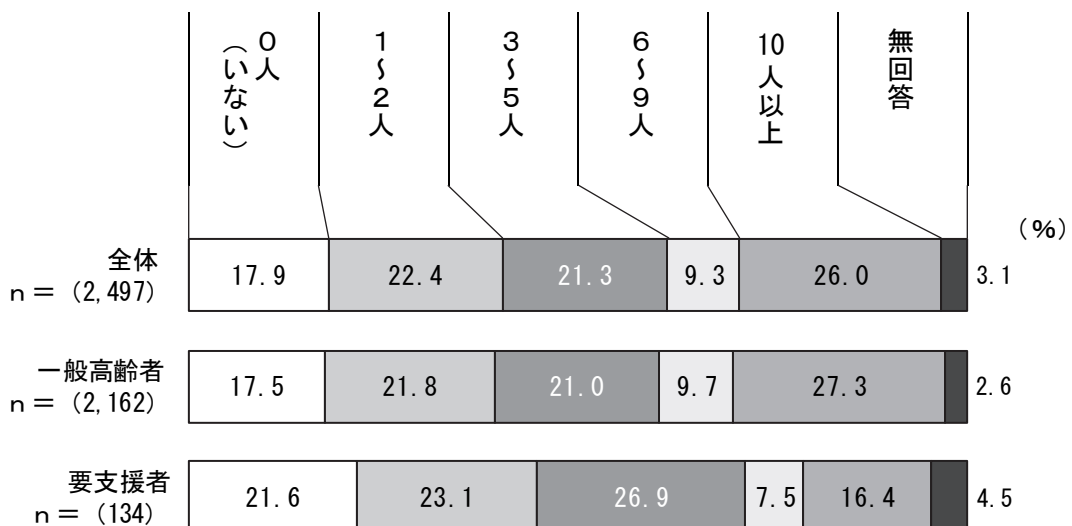


(7) 1か月に会う人数

問6 (7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
(同じ人には何度会っても1人と数えることとします)

1か月に会う友人・知人の人数については、「10人以上」が26.0%で最も多く、次いで「1~2人」(22.4%)、「3~5人」(21.3%)等が続いています。「0人(いない)」は17.9%となっています。

【1か月に会う人数：認定状況別】

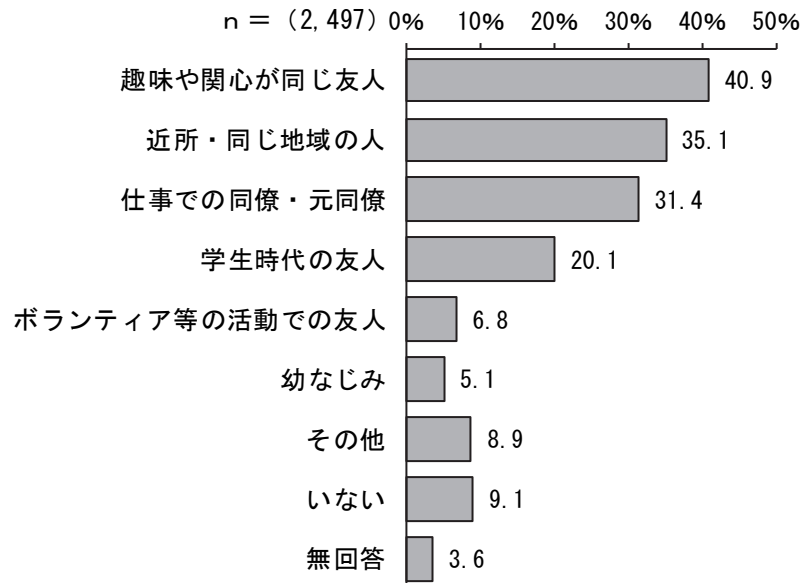


(8) 友人・知人との関係

問6 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (あてはまるものすべてに○)

よく会う友人・知人との関係は、「趣味や関心が同じ友人」が 40.9%で最も多く、次いで「近所・同じ地域の人」(35.1%)、「仕事での同僚・元同僚」(31.4%)、「学生時代の友人」(20.1%)等が続いています。

【友人・知人との関係】(複数回答)

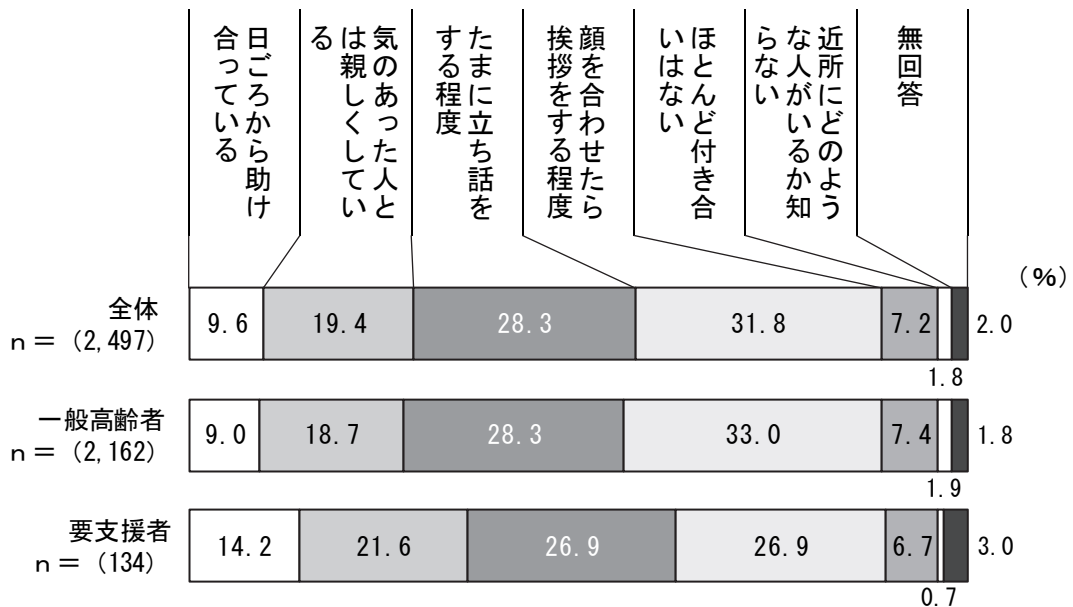


(9) 近所付き合いの状況

問6 (9) あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いがありますか

ご近所の方との付き合いについては、「顔を合わせたら挨拶をする程度」が31.8%で最も多く、次いで「たまに立ち話をする程度」(28.3%)、「気のあった人とは親しくしている」(19.4%)等が続いています。

【近所付き合いの状況：認定状況別】

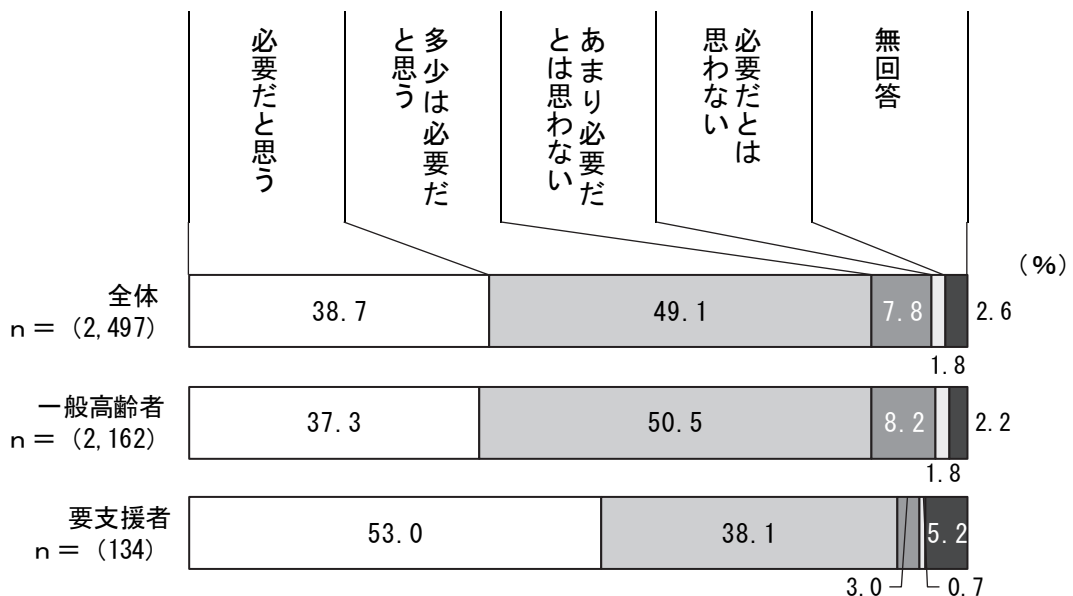


(10) 近所付き合いの必要性

問6 (10) あなたは、ご近所の方とのお付き合いは必要だと思いますか

ご近所の方との付き合いの必要性については、「多少は必要だと思う」が49.1%で最も多く、次いで「必要だと思う」(38.7%)等が続いています。

【近所付き合いの必要性：認定状況別】



8 健康等

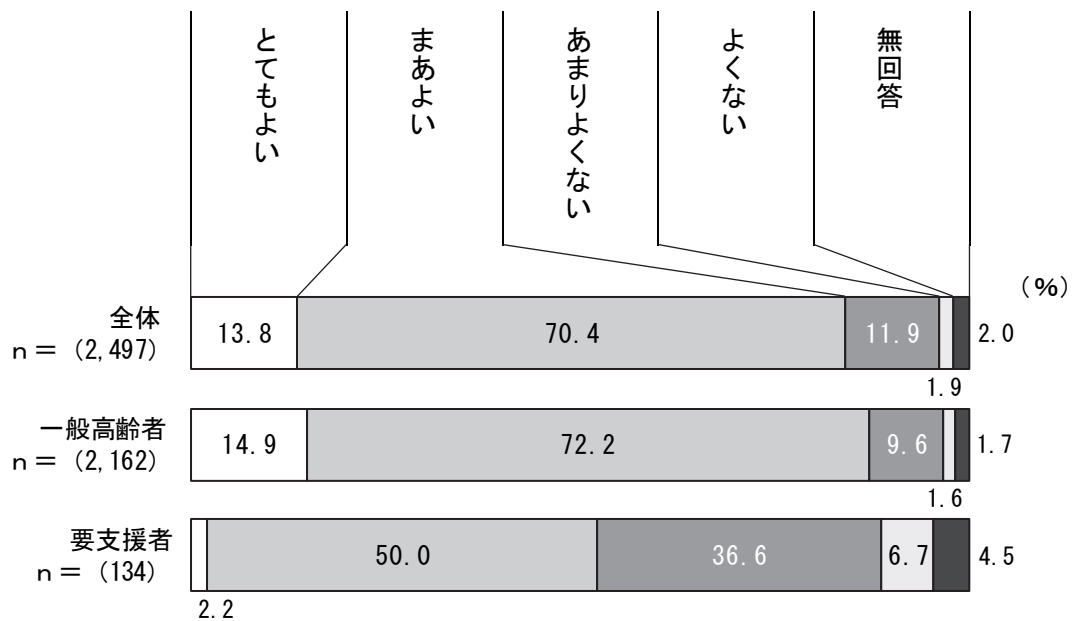
(1) 主観的健康感

問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

主観的健康感についてみると、「(とても・まあ) よい」を合わせた回答は 84.2%、「あまりよくない」、「よくない」を合わせた回答は 13.8%となっています。

認定状況別にみると、「(とても・まあ) よい」を合わせた回答は、一般高齢者が 87.1%、要支援者が 52.2%となっています。

【主観的健康感：認定状況別】



(2) 主観的幸福感

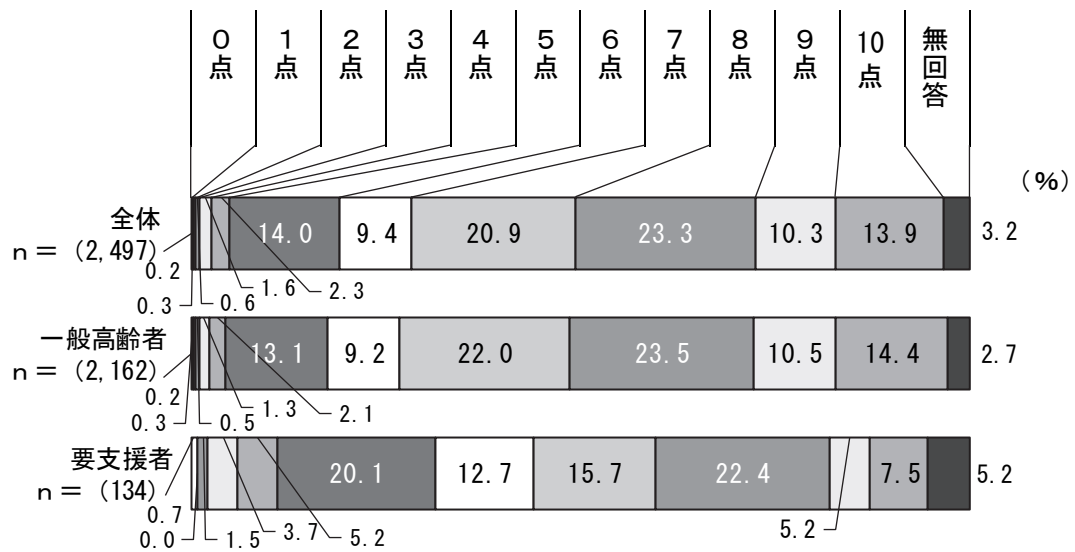
問7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数を○で囲んでください)

主観的幸福感についてみると、11段階に点数化した回答で、「8点」が23.3%で最も多く、次いで「7点」(20.9%)、「5点」(14.0%)、「10点」(13.9%)、「9点」(10.3%)等が続いています。

認定状況別に5点以下の割合を合計してみると、一般高齢者が17.5%、要支援者が31.2%と、要支援者の割合が多くなっています。

【主観的幸福感：認定状況別】



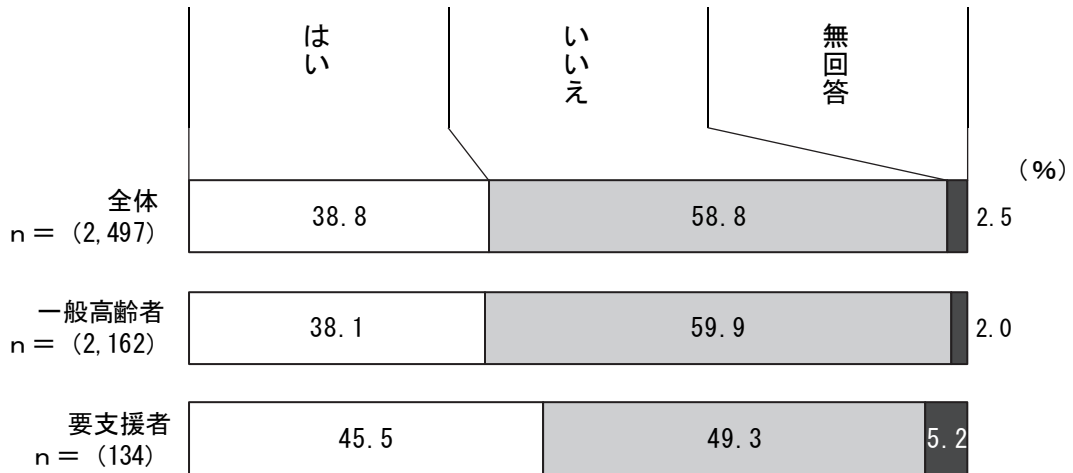
(3) うつ傾向

① ゆううつ感

問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

この設問は、「はい」と回答した場合にうつ傾向のある高齢者とされます。「はい」が38.8%、「いいえ」が58.8%となっています。

【ゆううつ感：認定状況別】



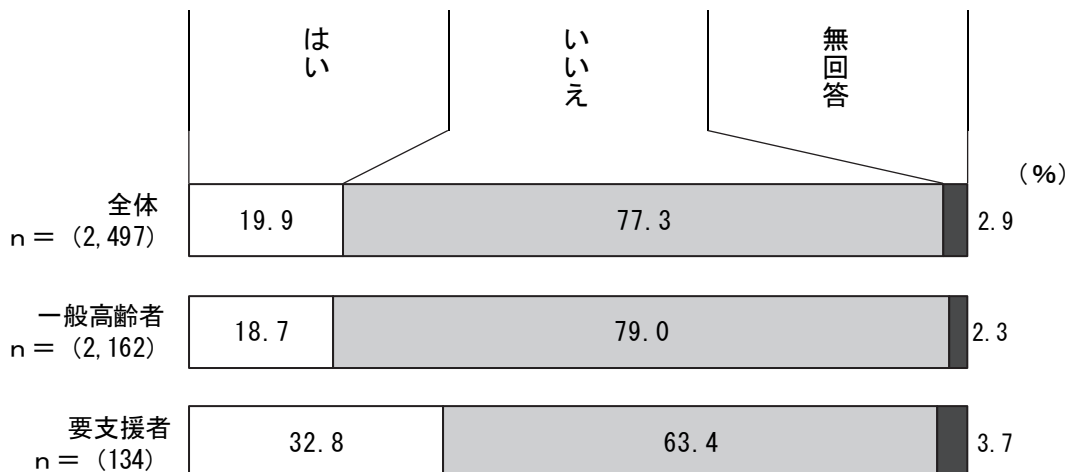
② 物事に対する興味等

問7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

①と同様にうつ傾向を問うもので、「はい」と回答した場合にうつ傾向のある高齢者とされます。

「はい」が19.9%、「いいえ」が77.3%となっています。

【物事に対する興味等：認定状況別】



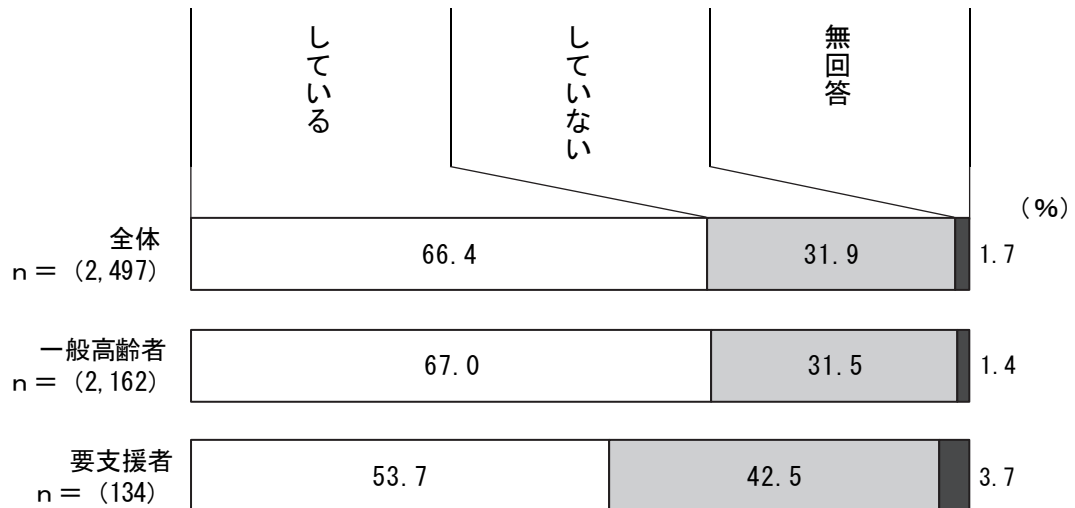
(4) 運動習慣

問7 (5) 習慣として運動（散歩，体操等を含む）をしていますか

※ 運動習慣のある人とは，「1回 30分以上の運動を週2回以上1年以上続けている人」とされています

習慣として運動をしているかについては，「している」が66.4%，「していない」が31.9%となっています。

【運動習慣：認定状況別】



(5) 運動していない主な理由

【問7(5)において「していない」を選択した方のみ】

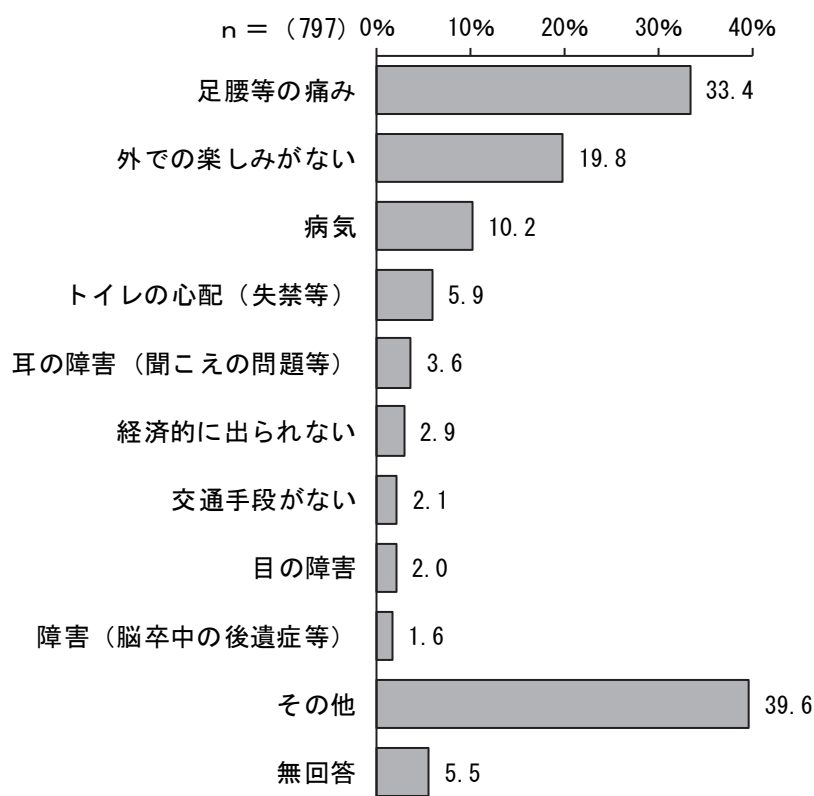
問7(5)①習慣として運動していない主な理由を教えてください

(あてはまるものすべてに○)

問7(5)において「していない」と回答した方にその理由について聞いたところ、「足腰等の痛み」が33.4%で最も多く、次いで「外での楽しみがない」(19.8%)、「病気」(10.2%)等が続いています。

「その他」の主な回答としては、「忙しい」、「運動が苦手」、「あまり興味がない」、「時間がとりにくい」、「新型コロナウイルスの感染が心配だから」等となっています。

【運動をしていない主な理由】(複数回答)



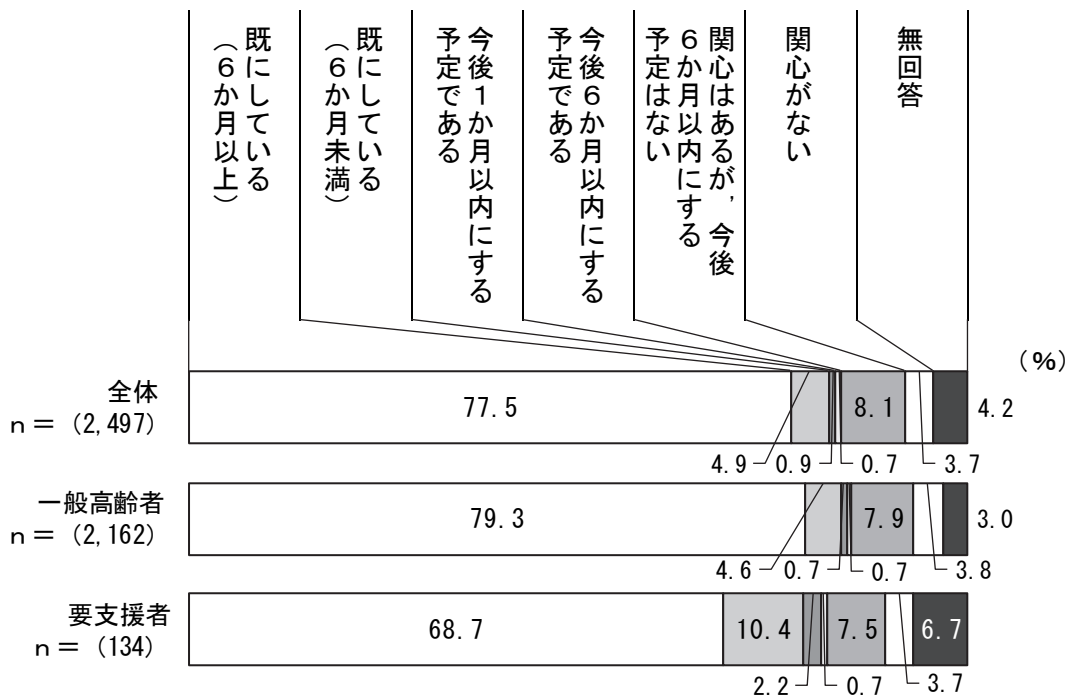
(6) 栄養バランスの取れた食事

問7 (6) あなたは、栄養バランスの取れた食事をとっていますか
(又はどのくらい関心がありますか)

栄養バランスの取れた食事をとっているか聞いたところ、「既にしてている（6か月以上）」が77.5%で最も多く、次いで「関心はあるが、今後6か月以内にする予定はない」（8.1%）、「既にしてている（6か月未満）」（4.9%）等が続いています。

「既にしてている（6か月以上）」、「既にしてている（6か月未満）」を合わせると82.4%の方が既に取り組んでいるという結果となっています。

【栄養バランスの取れた食事：認定状況別】

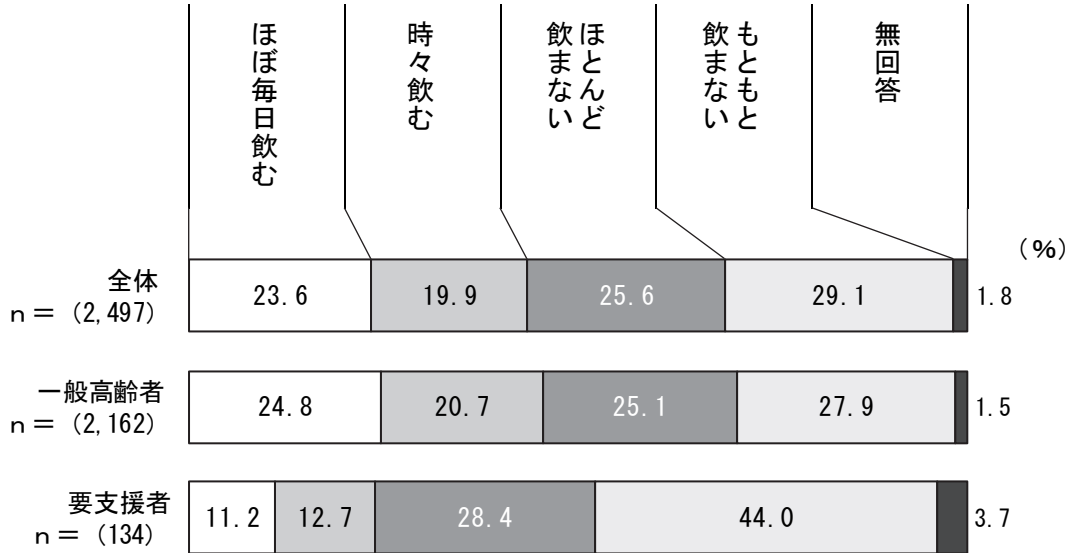


(7) 飲酒習慣

問7 (7) お酒は飲みますか

飲酒習慣については、「もともと飲まない」が29.1%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」(25.6%)、「ほぼ毎日飲む」(23.6%)、「時々飲む」(19.9%)が続いています。

【飲酒習慣：認定状況別】

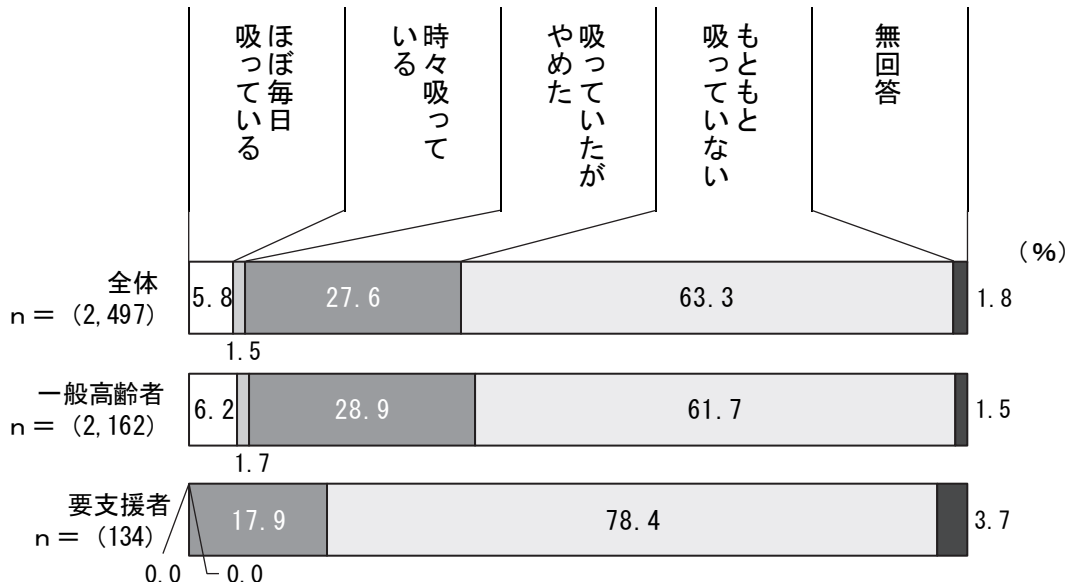


(8) 喫煙習慣

問7 (8) タバコは吸っていますか

喫煙習慣については、「もともと吸っていない」が63.3%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(27.6%)、「ほぼ毎日吸っている」(5.8%)、「時々吸っている」(1.5%)が続いています。

【喫煙習慣：認定状況別】



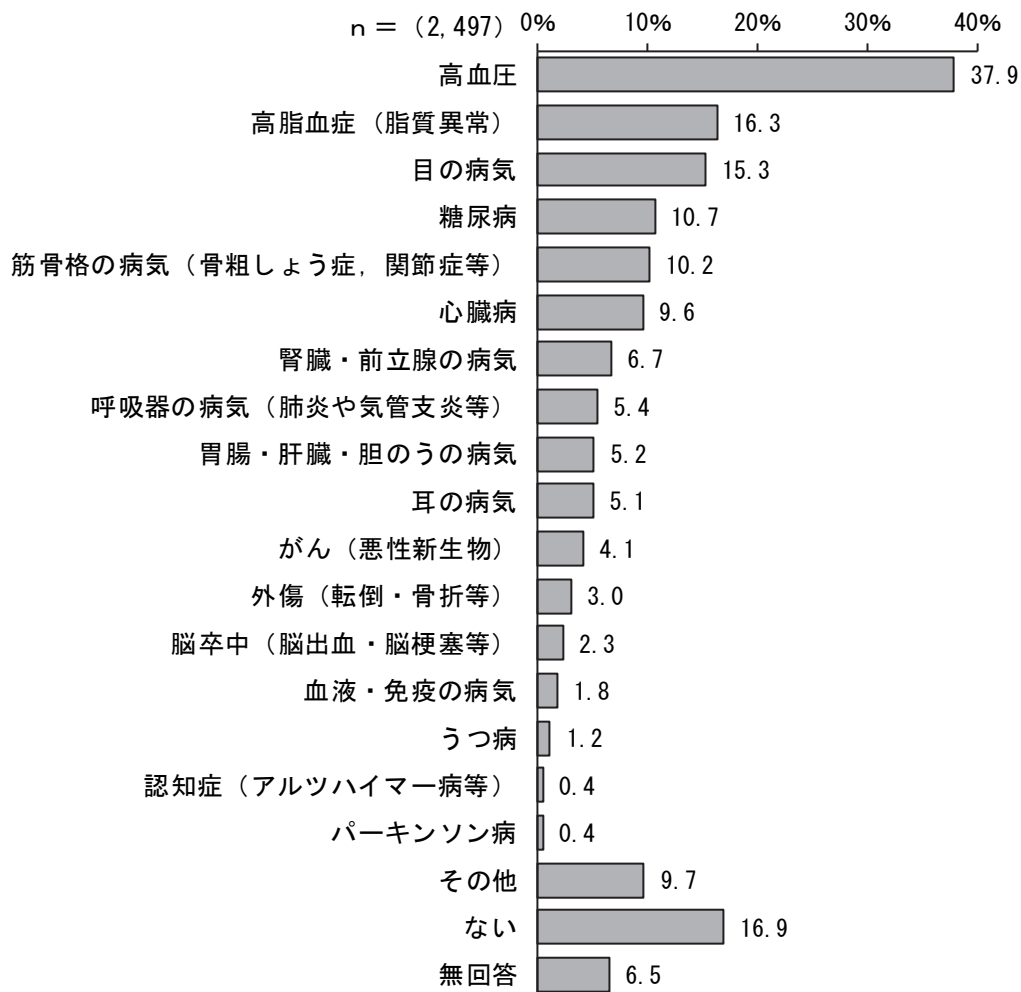
(9) 現在治療中又は後遺症のある病気

問7 (9) 現在治療中又は後遺症のある病気はありますか (あてはまるものすべてに○)

現在治療中又は後遺症のある病気としては、「高血圧」が 37.9%で最も多く、次いで「高脂血症 (脂質異常)」(16.3%)、「目の病気」(15.3%)、「糖尿病」(10.7%)、「筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等)」(10.2%) 等が続いています。

「その他」の主な回答としては、「リウマチ」、「花粉症」、「腰痛」、「脊柱管狭窄症」、「甲状腺」、「痛風」等となっています。

【現在治療中又は後遺症のある病気】(複数回答)



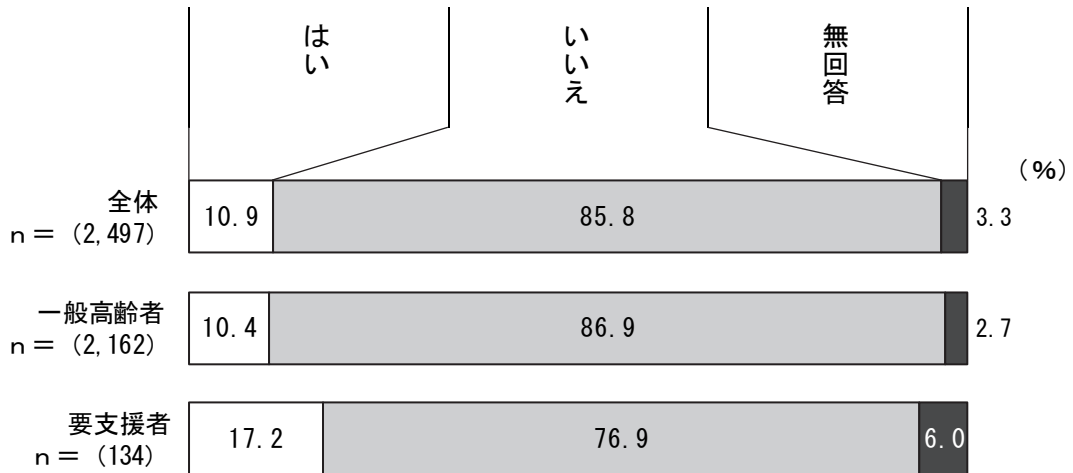
9 認知症にかかる相談窓口の把握

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無

問8 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無については、「はい」が10.9%、「いいえ」が85.8%となっています。

【認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無：認定状況別】

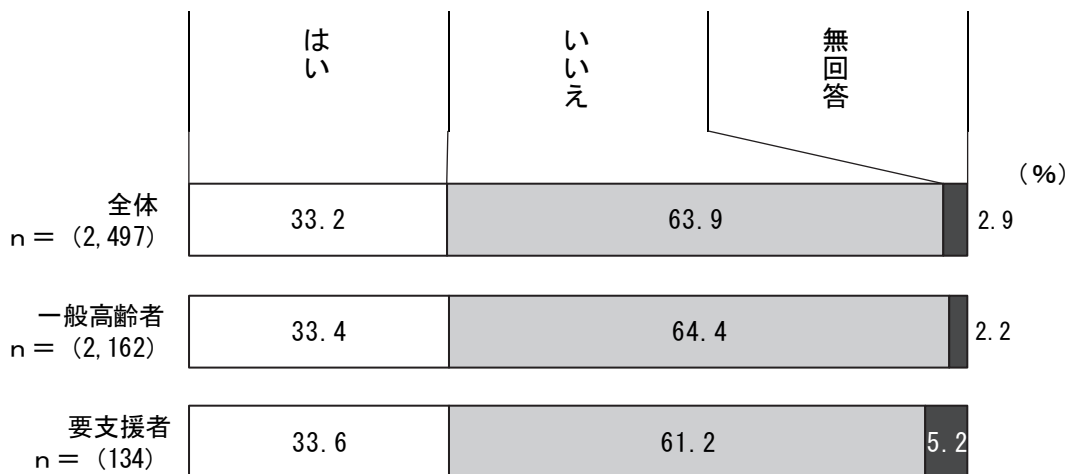


(2) 認知症に関する相談窓口の認知度

問8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が33.2%、「いいえ」が63.9%となっています。

【認知症に関する相談窓口の認知度：認定状況別】



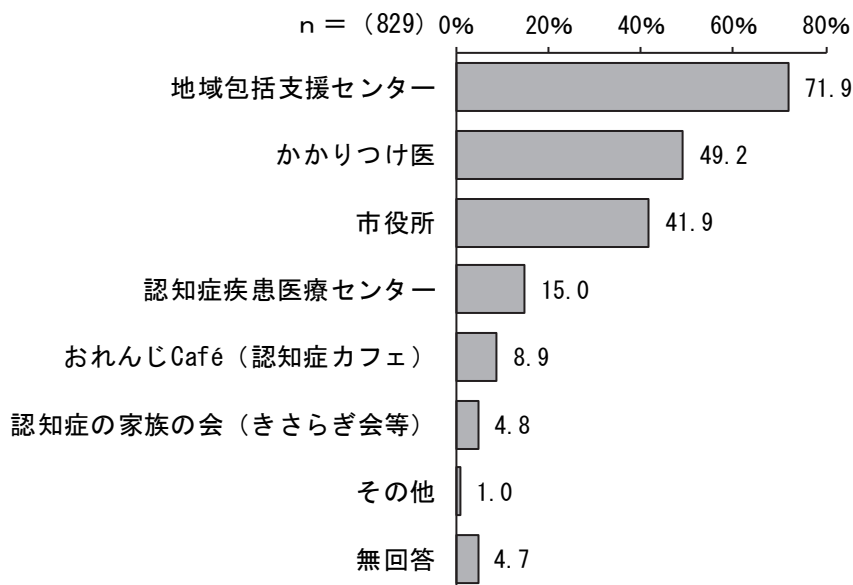
(3) 認知症に関する相談先の認知度

【問8(2)において「はい」を選択した方のみ】

問8(2)①認知症に関する次の相談先を知っていますか(あてはまるものすべてに○)

問8(2)において「はい」と回答した方が認知症に関する相談先で知っているものとしては、「地域包括支援センター」が71.9%で最も多く、次いで「かかりつけ医」(49.2%)、「市役所」(41.9%)等が続いています。

【認知症に関する相談先の認知度】(複数回答)



10 その他

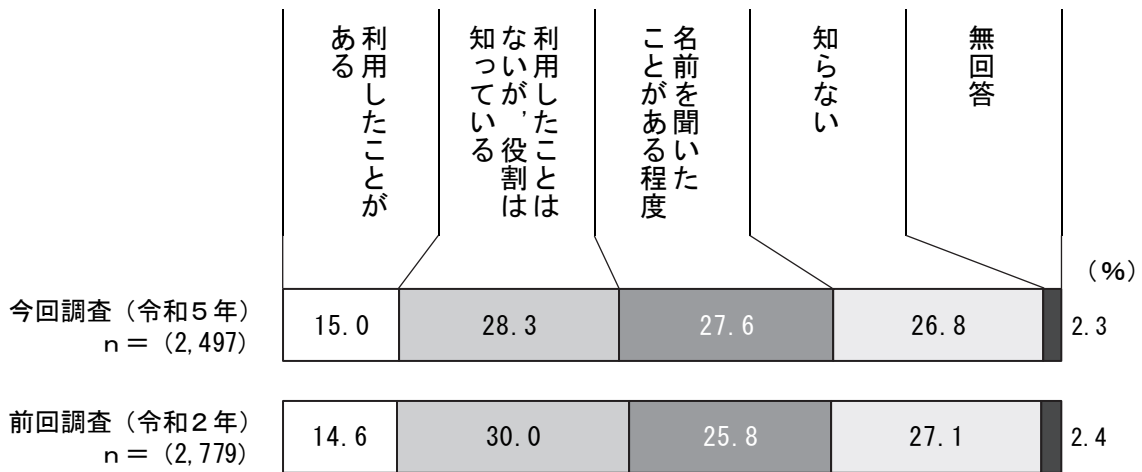
(1) 地域包括支援センターの認知度

問9 (1) あなたは、高齢者の相談窓口として、地域包括支援センターを知っていますか

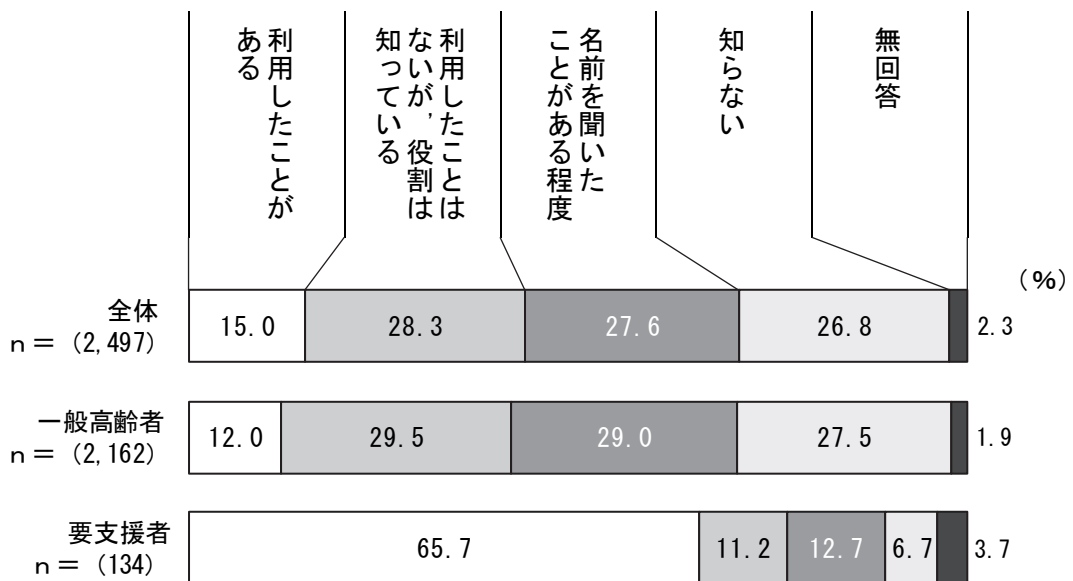
高齢者の相談窓口として地域包括支援センターを知っているかについては、「利用したことはないが、役割は知っている」が 28.3%で最も多く、次いで「名前を聞いたことがある程度」(27.6%)、「知らない」(26.8%) 等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「利用したことがある」が 0.4 ポイント、「名前を聞いたことがある程度」が 1.8 ポイント増加している一方、「利用したことはないが、役割は知っている」が 1.7 ポイント、「知らない」が 0.3 ポイント減少しています。

【地域包括支援センターの認知度：前回調査比較】

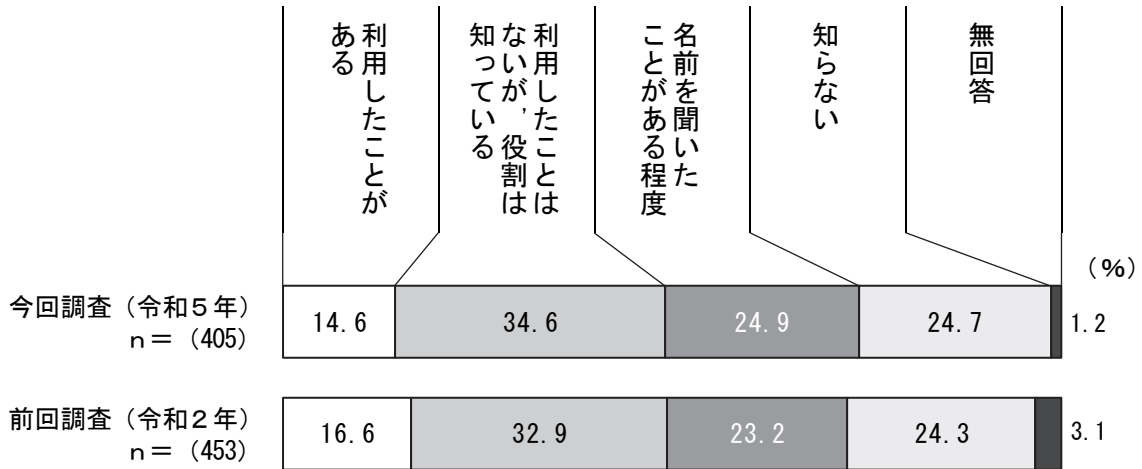


【地域包括支援センターの認知度：認定状況別】

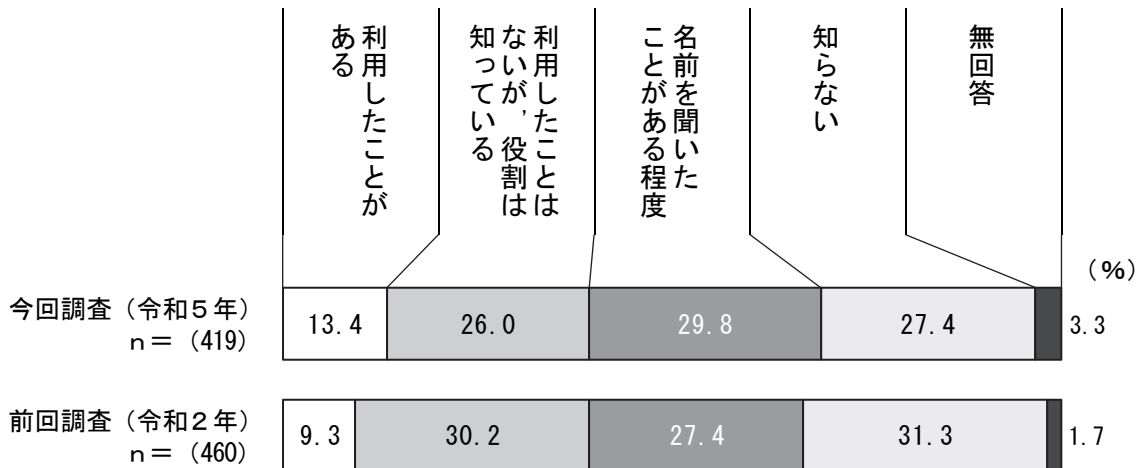


地域包括支援センター別にみると、あまり大きな差はありません。

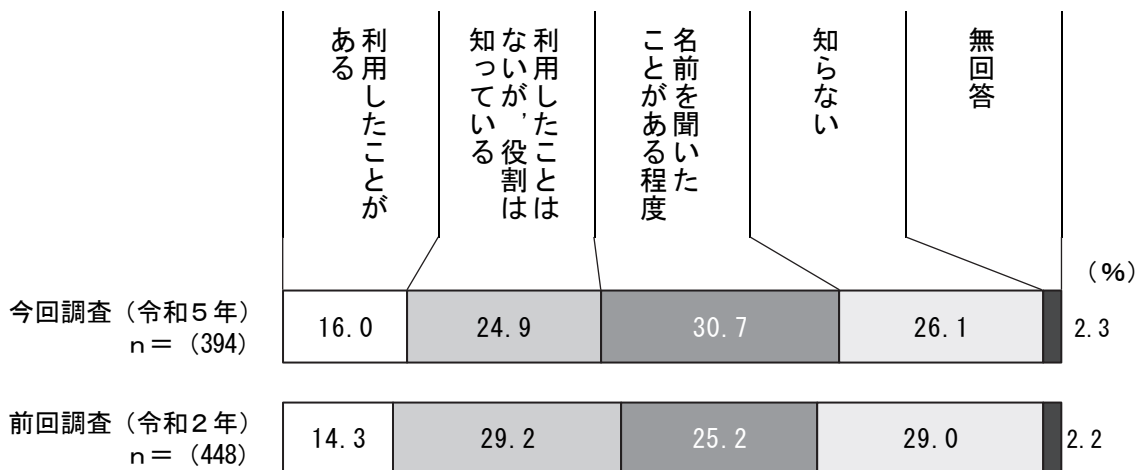
【地域包括支援センターの認知度：もとまち】



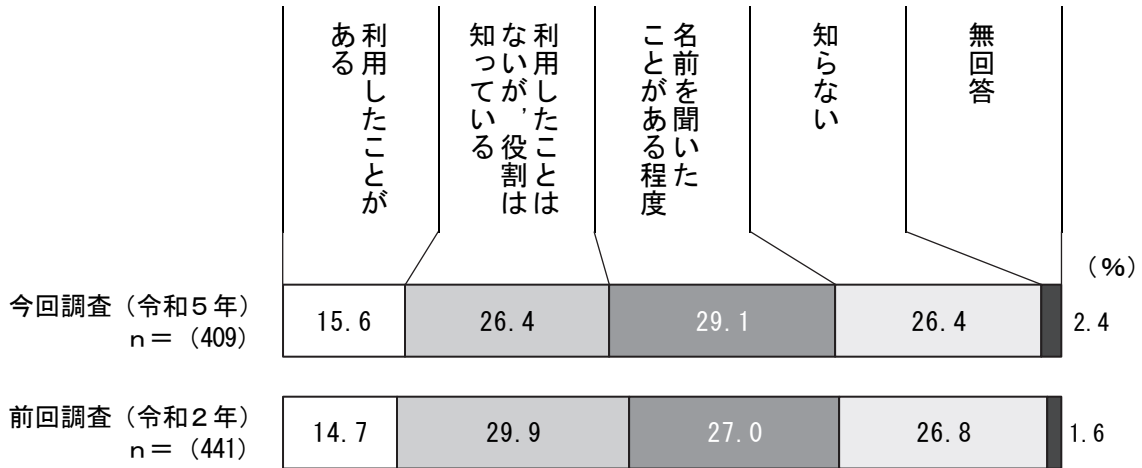
【地域包括支援センターの認知度：こいがくぼ】



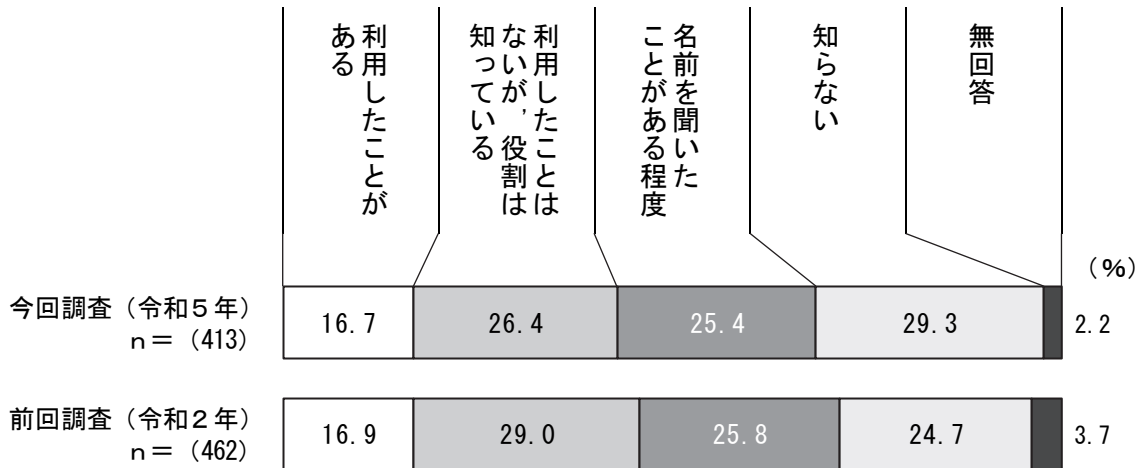
【地域包括支援センターの認知度：ほんだ】



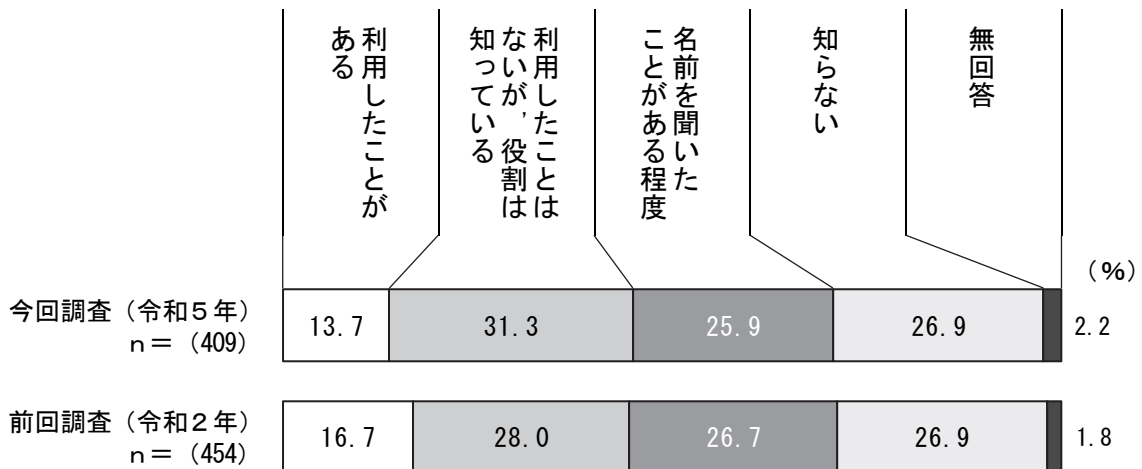
【地域包括支援センターの認知度：ひよし】



【地域包括支援センターの認知度：ひかり】



【地域包括支援センターの認知度：なみき】

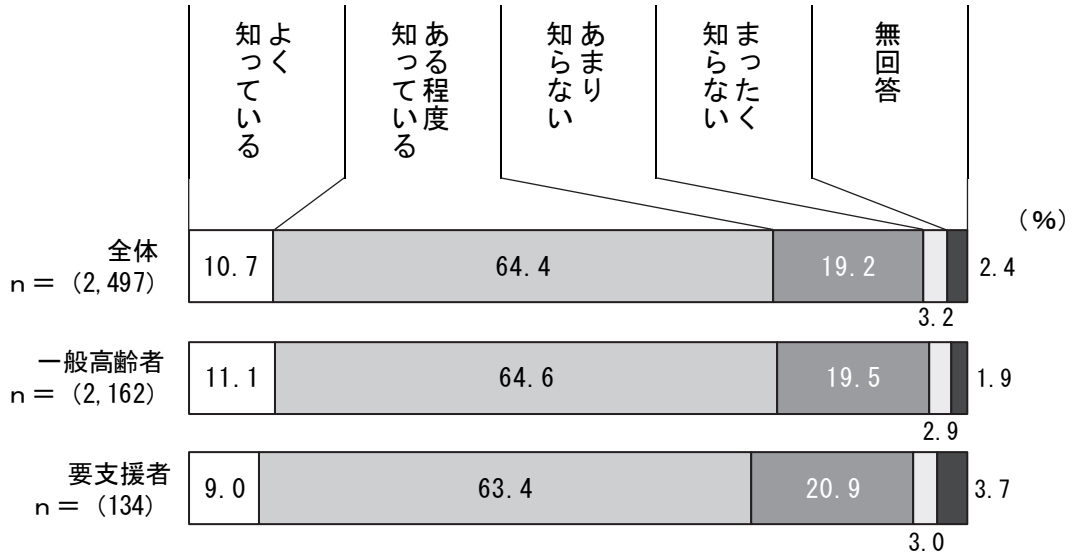


(2) 認知症の知識

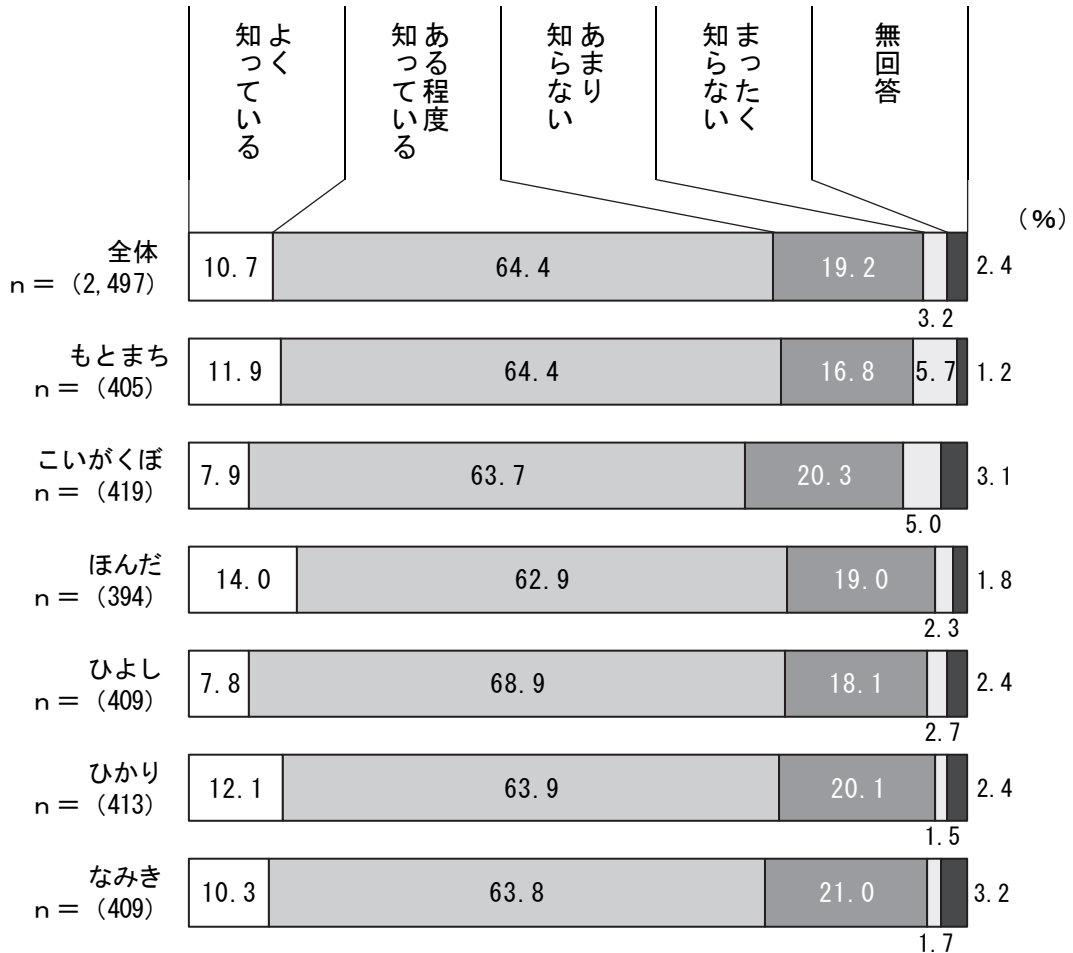
問9 (2) 認知症についてどの程度知っていますか

認知症についてどの程度知っているかについては、「ある程度知っている」が64.4%で最も多く、次いで「あまり知らない」(19.2%)、「よく知っている」(10.7%)等が続いています。

【認知症の知識：認定状況別】



【認知症の知識：地域包括支援センター別】

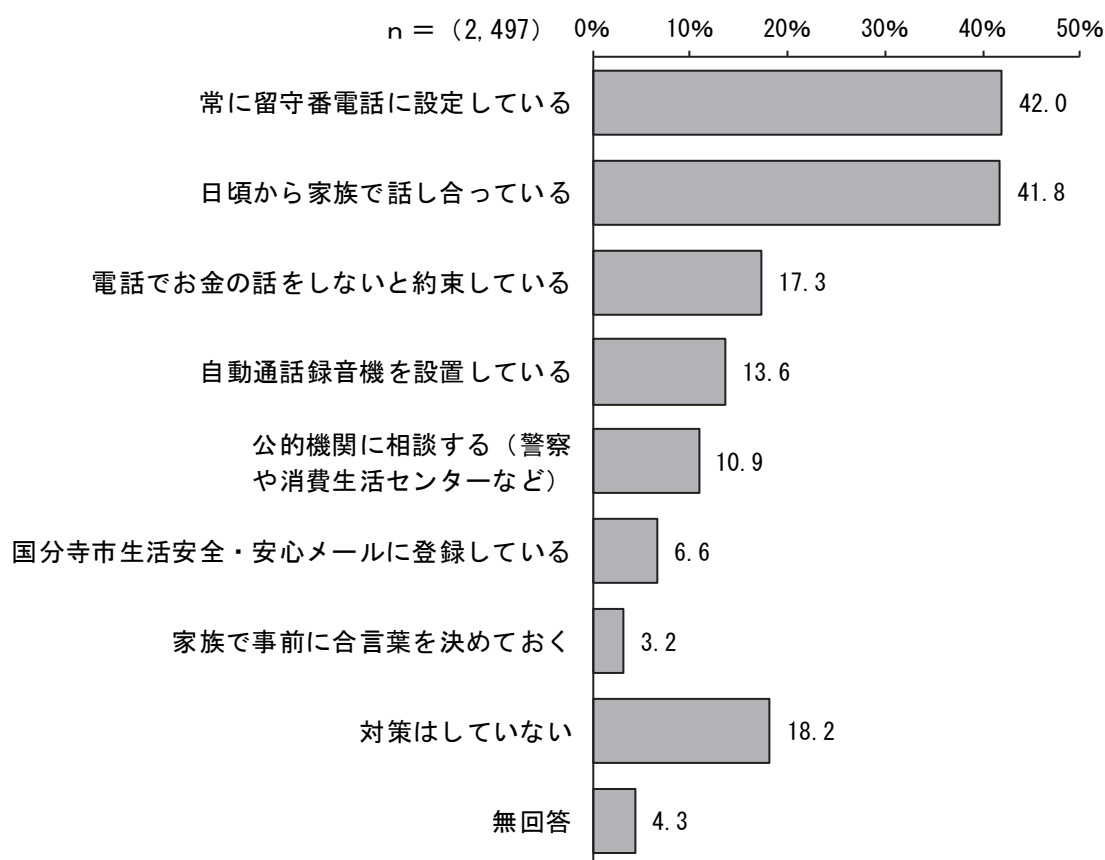


(3) 消費者被害等への対策

問9 (3) 消費者被害等に関して、次のような対策をしていますか
(あてはまるものすべてに○)

消費者被害等に関して行っている対策としては、「常に留守番電話に設定している」が42.0%で最も多く、次いで「日頃から家族で話し合っている」(41.8%)、「電話でお金の話をしないと約束している」(17.3%)等が続いています。一方、「対策はしていない」は18.2%となっています。

【消費者被害等への対策】(複数回答)



※ 「公的機関に相談する(警察や消費生活センターなど)」は今回調査から新たに追加された選択肢

(4) 成年後見制度の認知度

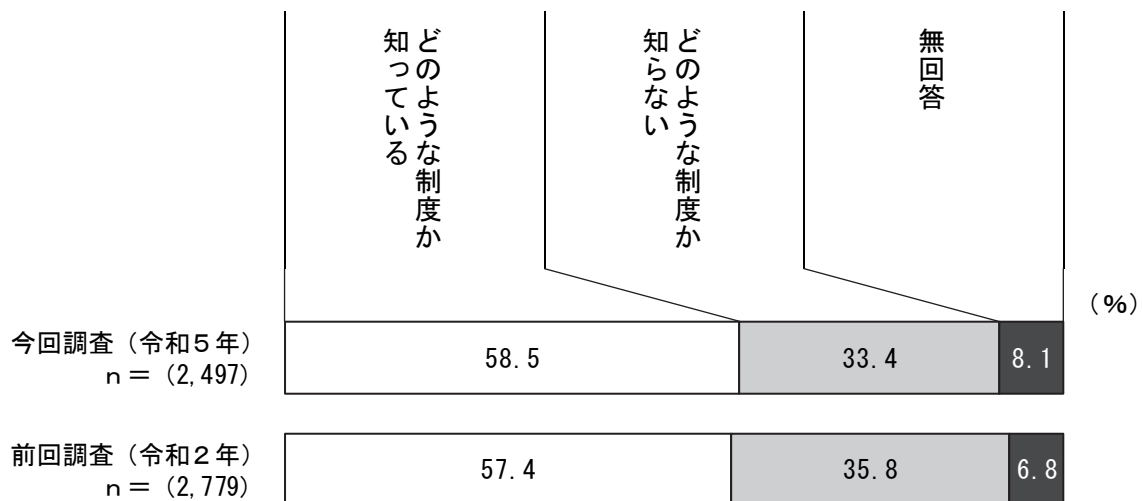
問9 (4) あなたは、成年後見制度を知っていますか

成年後見制度を知っているか聞いたところ、「どのような制度か知っている」が58.5%、「どのような制度か知らない」が33.4%となっています。

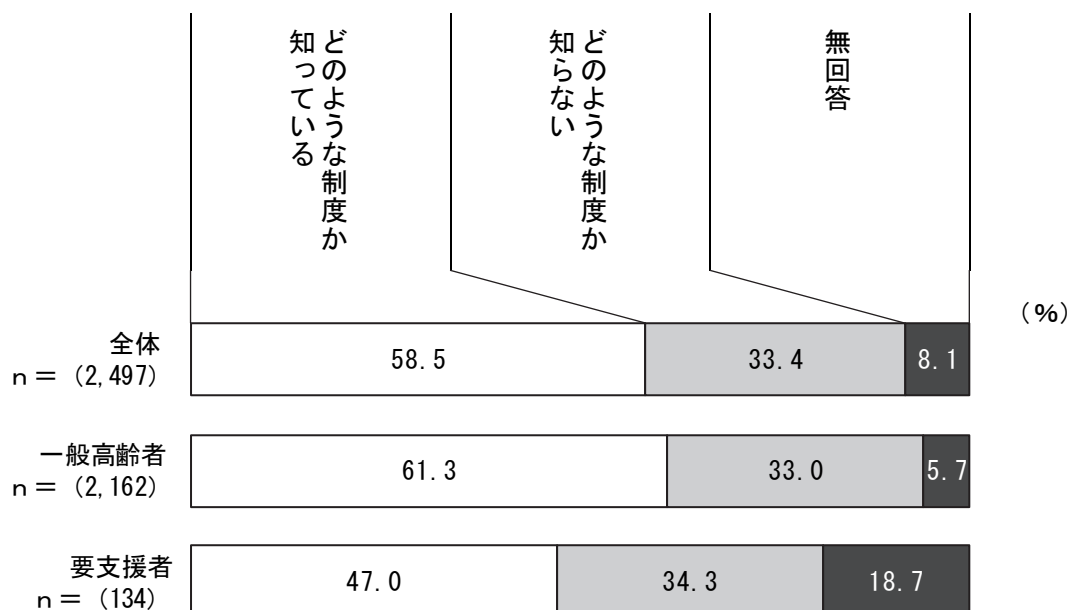
前回の調査結果と比較すると、「どのような制度か知っている」が1.1ポイント増加している一方、「どのような制度か知らない」が2.4ポイント減少しています。

認定状況別にみると、「どのような制度か知っている」の割合は要支援者が47.0%、一般高齢者が61.3%となっています。

【成年後見制度の認知度：前回調査比較】



【成年後見制度の認知度：認定状況別】



※ 成年後見制度とは、認知症等によって判断能力に不安がある方が、一方的に不利益な契約を結ぶことがないように、補助人、保佐人、後見人が、本人の判断能力を補い、保護する制度

(5) 成年後見制度の利用意向

【問9(4)において「どのような制度か知っている」を選択した方のみ】

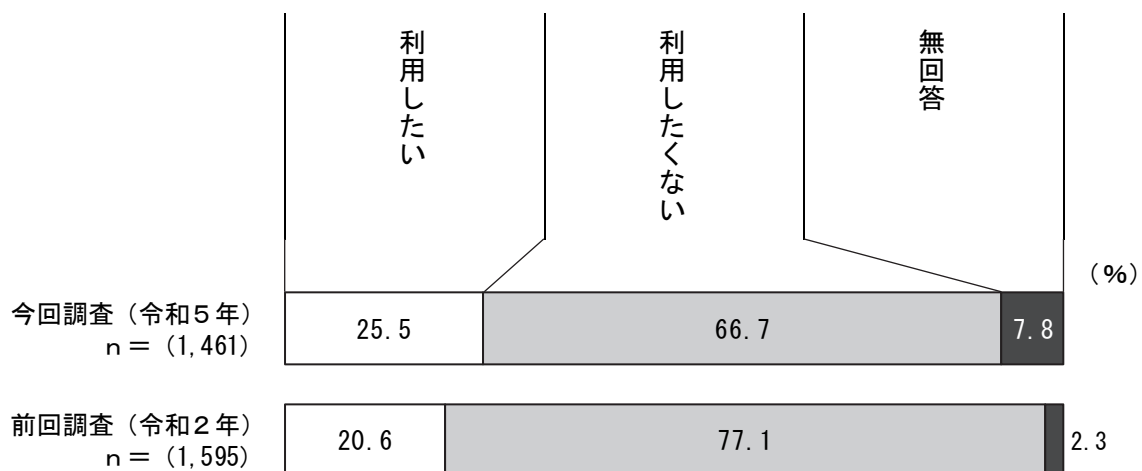
問9(5) 今後判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいですか

問9(4)において「どのような制度か知っている」と回答した方に成年後見制度の利用意向について聞いたところ、「利用したい」が25.5%、「利用したくない」が66.7%となっています。

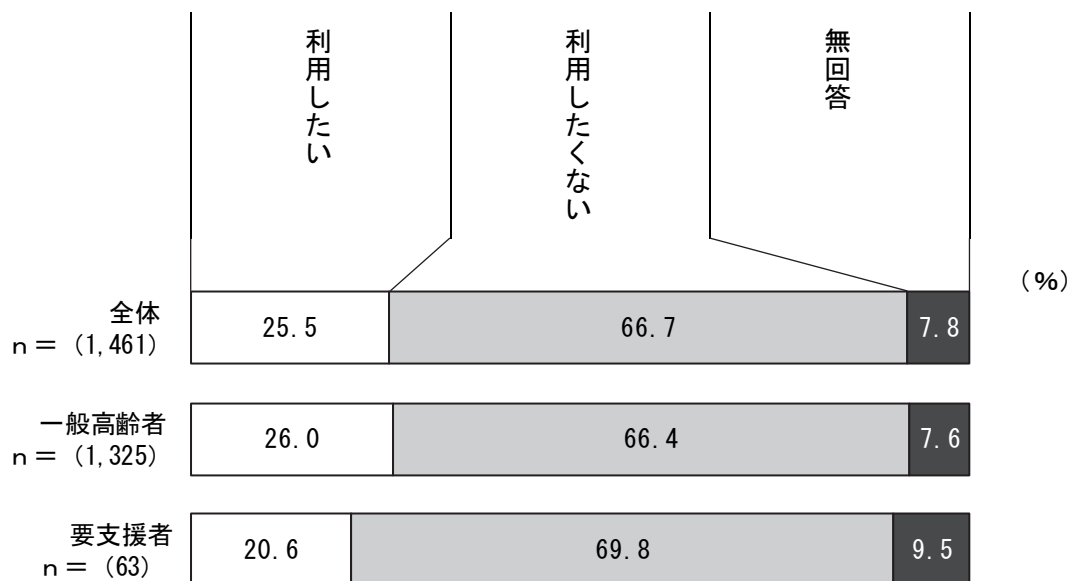
前回の調査結果と比較すると、「利用したい」が4.9ポイント増加している一方、「利用したくない」が10.4ポイント減少しています。

認定状況別にみると、「利用したい」の割合は要支援者が20.6%、一般高齢者が26.0%となっています。

【成年後見制度の利用意向：前回調査比較】



【成年後見制度の利用意向：認定状況別】



(6) 成年後見制度を利用したくない理由

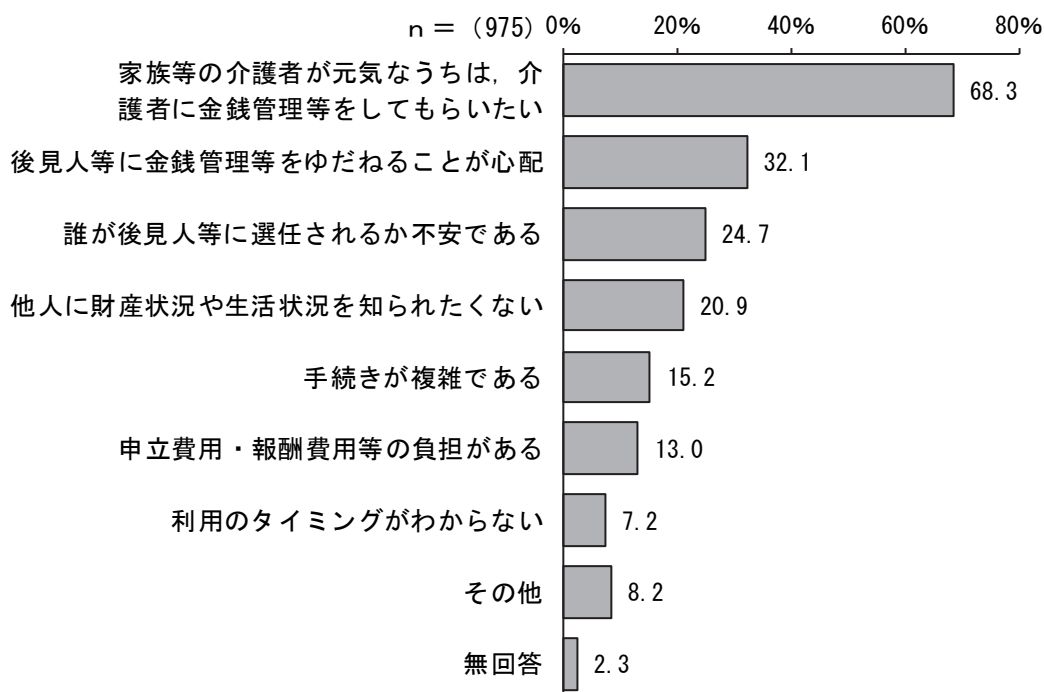
【問9(5)において「利用したくない」を選択した方のみ】

問9(6) 成年後見制度を利用したくないと考える理由を教えてください

(3つまで選択可)

問9(5)において「利用したくない」と回答した方にその理由について聞いたところ、「家族等の介護者が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい」が68.3%で最も多く、次いで「後見人等に金銭管理等をゆだねることが心配」(32.1%)、「誰が後見人等に選任されるか不安である」(24.7%)、「他人に財産状況や生活状況を知られたくない」(20.9%)等が続いています。

【成年後見制度を利用したくない理由】(複数回答)



(7) 就労希望

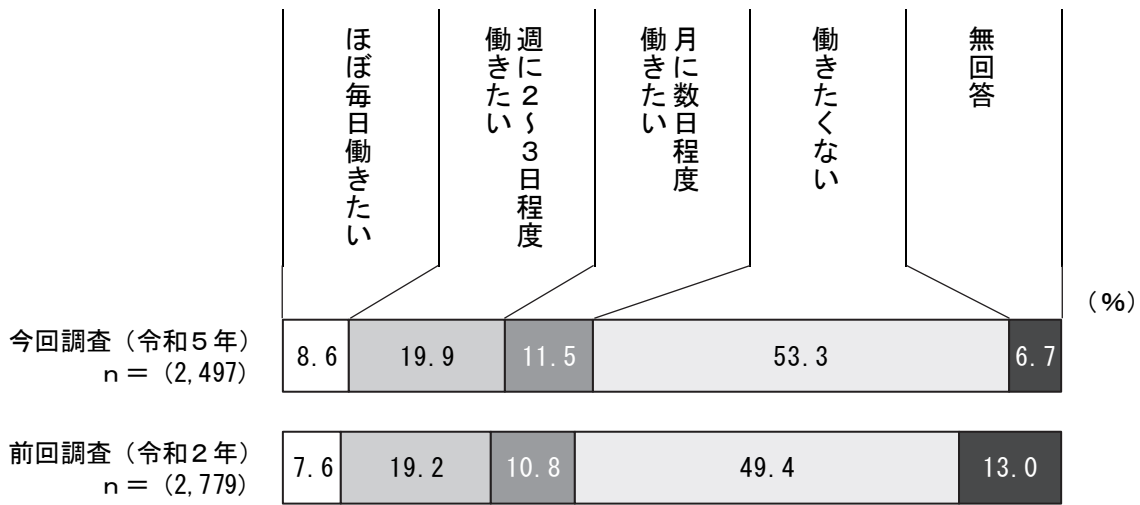
問9 (7) 今後の就労希望についておうかがいします

今後の就労希望については、「働きたくない」が53.3%で最も多く、次いで「週に2～3日程度働きたい」(19.9%)、「月に数日程度働きたい」(11.5%)、「ほぼ毎日働きたい」(8.6%)が続いています。

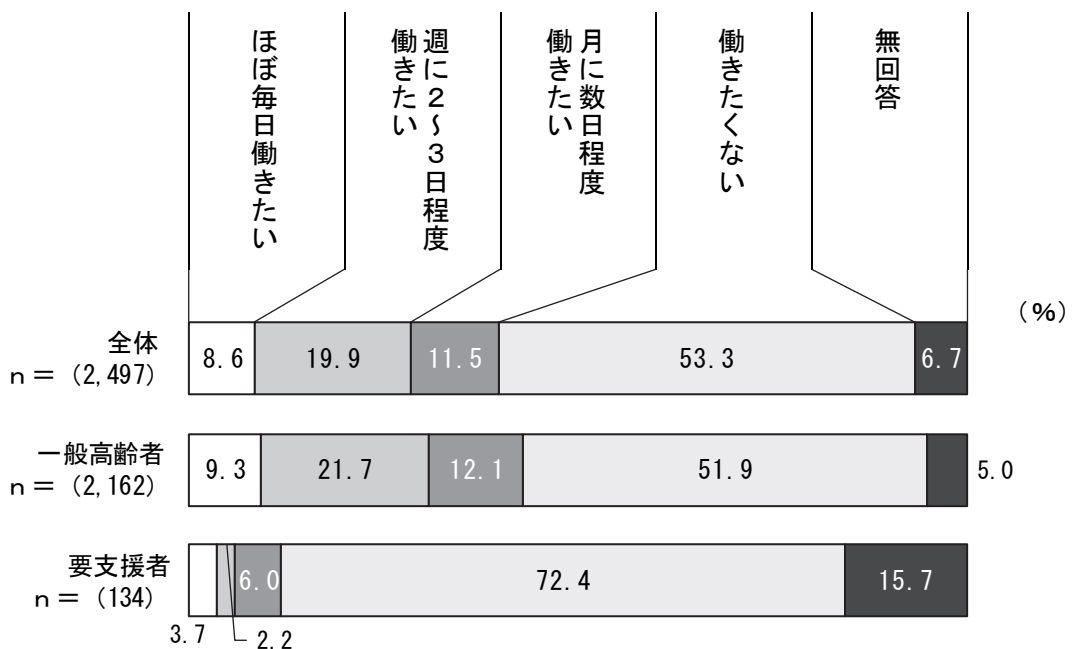
前回の調査結果と比較すると、「(ほぼ毎日・週に2～3日程度・月に数日程度)働きたい」が2.4ポイント増加しています。

認定状況別にみると、一般高齢者では「(ほぼ毎日・週に2～3日程度・月に数日程度)働きたい」は43.1%、要支援者では11.9%となっています。

【就労希望：前回調査比較】



【就労希望：認定状況別】



(8) 人生最期の場所

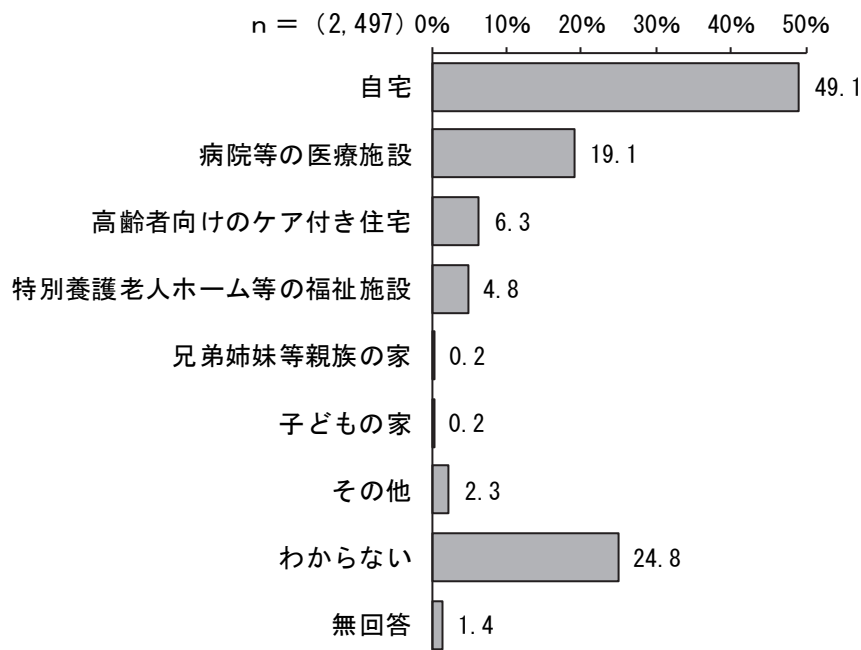
問9 (8) あなたは、人生の最期のときをどこで迎えたいですか

人生の最期のときを迎えたい場所としては、「自宅」が49.1%で最も多く、次いで「病院等の医療施設」(19.1%)、「高齢者向けのケア付き住宅」(6.3%)等が続いています。一方、「わからない」は24.8%となっています。

家族構成別にみると、「自宅」と回答した方は、1人暮らしが43.0%で、他の家族構成に比べて最も割合が少なくなっています。

※ この設問は単数回答（該当する選択肢を1つだけ選ぶ問）でしたが、選択肢を複数回答した方が多くいたため、回答の全数を集計しています。このため、数値の合計が100%を超えています。

【人生最期の場所】



【人生最期の場所：家族構成別】

	自宅	病院等の医療施設	高齢者向けのケア付き住宅	特別養護老人ホーム等の福祉施設	兄弟姉妹等親族の家	子どもの家	その他	わからない	無回答
全体 n = (2,497)	49.1%	19.1%	6.3%	4.8%	0.2%	0.2%	2.3%	24.8%	1.4%
1人暮らし n = (477)	43.0%	18.9%	6.7%	6.3%	1.0%	0.4%	2.5%	30.6%	0.8%
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） n = (1,048)	51.3%	18.2%	6.4%	5.1%	0.0%	0.1%	2.2%	23.3%	1.4%
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） n = (120)	49.2%	18.3%	10.8%	5.0%	0.0%	0.0%	0.8%	24.2%	3.3%
息子・娘との2世帯 n = (375)	52.0%	23.2%	3.5%	3.7%	0.3%	0.0%	3.5%	19.2%	1.3%
その他 n = (429)	48.0%	17.7%	6.5%	3.0%	0.0%	0.0%	1.6%	27.5%	1.4%

第3章 在宅介護実態調査

1 調査票の記入者

	回答数（人）	割合（％）
ご本人	294	54.2
主な介護者となっている家族・親族	239	44.1
主な介護者以外の家族・親族	17	3.1
ご本人のケアマネジャー	1	0.2
その他	6	1.1
無回答	29	5.4
総数	542	100.0

※ 記入者については、複数回答可のため回答数の単純合計と総数は一致しない

2 本人の状況（A票）

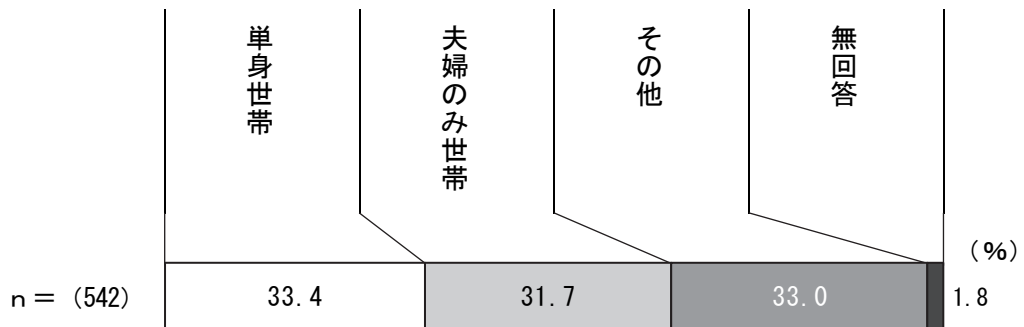
1 基本情報・サービス利用意向等

（1）世帯類型

問1 世帯類型を教えてください

本人の世帯類型は、「単身世帯」が33.4%で最も多く、次いで「その他」（33.0%）、「夫婦のみ世帯」（31.7%）が続いています。

【世帯類型】

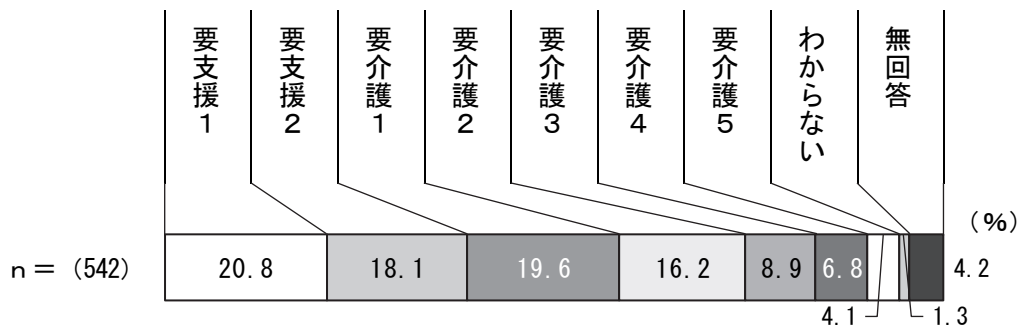


（2）要介護度

問2 要介護度を教えてください

本人の要介護度は、「要支援1」が20.8%で最も多く、次いで「要介護1」（19.6%）、「要支援2」（18.1%）等が続いています。

【要介護度】

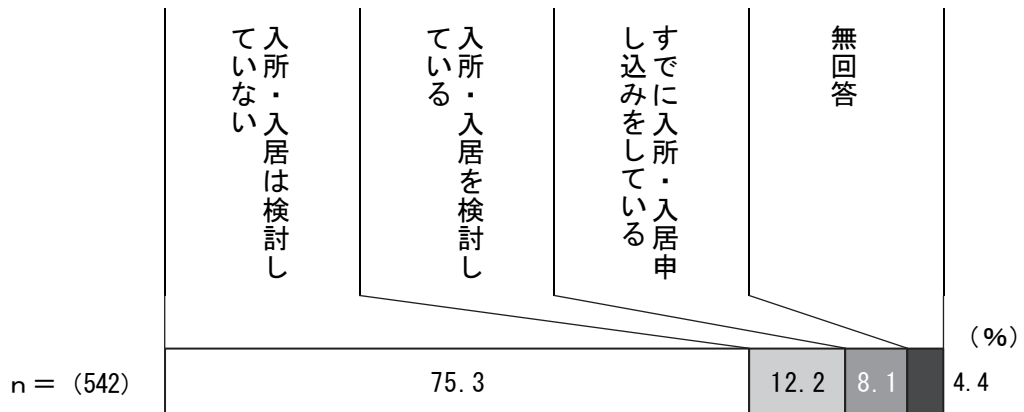


(3) 入所・入居の検討状況

問3 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況を教えてください

現時点での施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が75.3%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」(12.2%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(8.1%)が続いています。

【入所・入居の検討状況】



※ 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院（介護療養型医療施設）、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指す

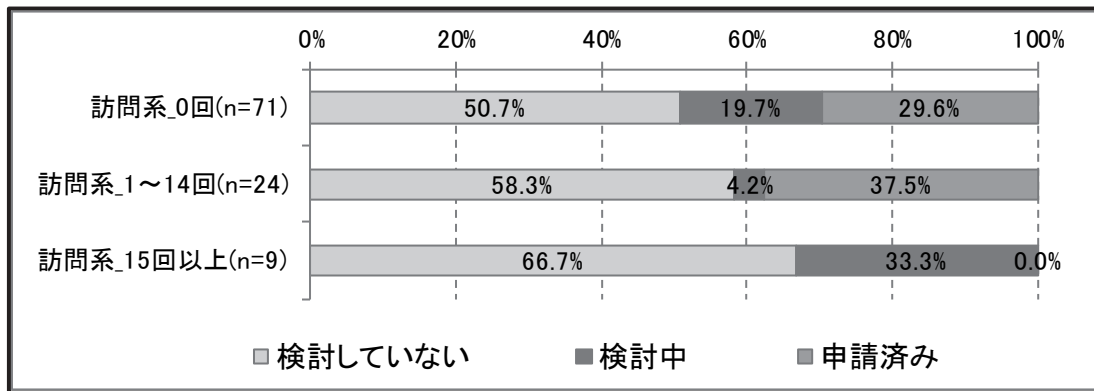
施設等への入所・入居の検討状況について、サービスの利用回数別にみると、「入所・入居は検討していない」と回答している割合は、訪問系サービスの利用回数が多いほど高くなっています。

一方、施設等への入所・入居の検討状況について、サービス利用の組み合わせでみると、「入所・入居は検討していない」と回答している割合は、あまり大きな差はありません。

なお、図表中のサービスの分類については以下の表のとおりとなっています。

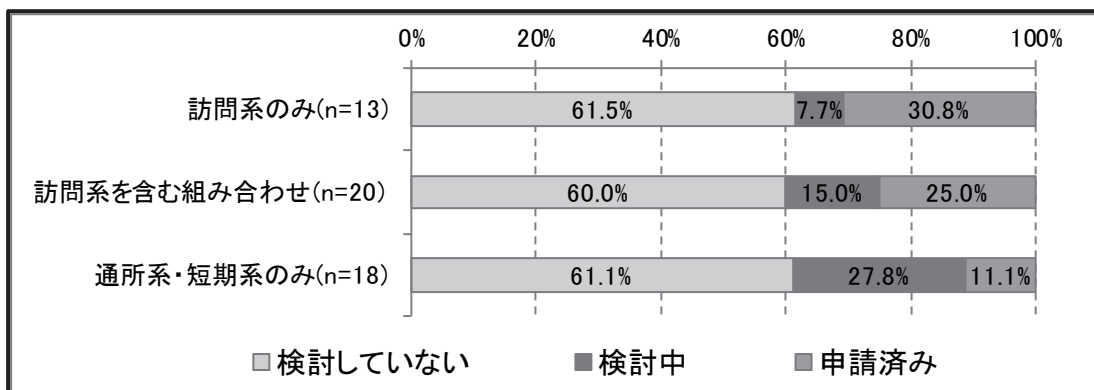
分類	サービスの内訳
訪問系	訪問介護・訪問型サービス、(介護予防)訪問入浴介護、(介護予防)訪問看護、(介護予防)訪問リハビリテーション、(介護予防)居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護
通所系	通所介護・通所型サービス、(介護予防)通所リハビリテーション、(介護予防)認知症対応型通所介護
短期系	(介護予防)短期入所生活介護、(介護予防)短期入所療養介護
訪問系のみ	「訪問系」もしくは「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」のみの利用を集計
訪問系を含む組み合わせ	「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」、「訪問系(もしくは定期巡回)」+「短期系」、「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」+「短期系」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」の利用を集計
通所系・短期系のみ	「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計

【サービス利用回数と施設等入所・入居の検討状況（訪問系、要介護3以上）】



※サービスの利用回数は、1か月あたりの回数

【サービス利用の組み合わせと施設等入所・入居の検討状況（要介護3以上）】



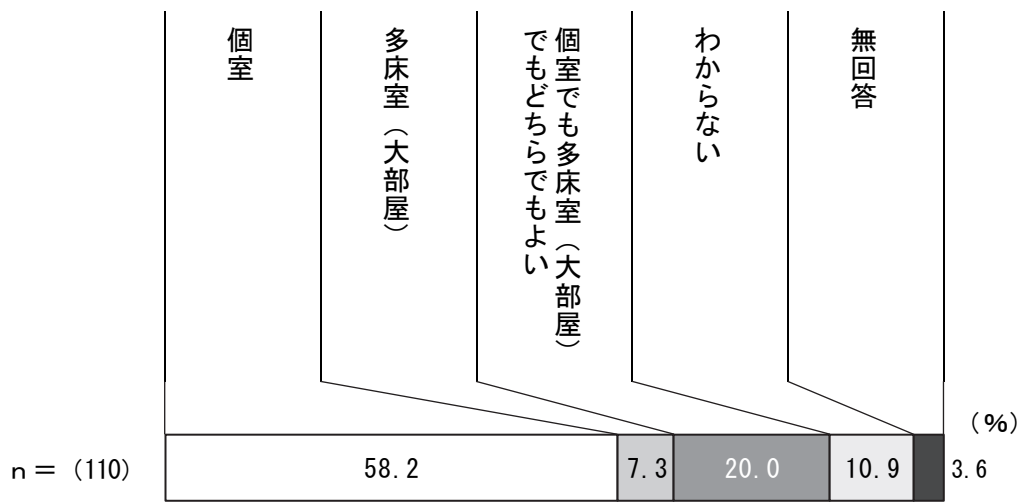
(4) 希望する部屋の種類

【問3で「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」を選択した方のみ】

問3-1 施設で生活される場合、どのような部屋を希望しますか

問3で「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した方の希望する部屋の種類については、「個室」が58.2%で最も多く、次いで「個室でも多床室（大部屋）でもどちらでもよい」（20.0%）、「わからない」（10.9%）等が続いています。

【希望する部屋の種類】



(5) 個室あるいは多床室を希望する理由

問3-2 個室あるいは多床室（大部屋）を希望される理由があれば、ご自由にご記入ください

全体で、42件の回答がありました。内容ごとに整理し、概要を掲載します。

個室を希望する理由

- ・テレビを観る際、大音量にしないと聞き取れないため。他人と一緒にはずらわしい。
- ・昼は色々な方と話をしても、夜は1人でいるほうが良いと思う。
- ・1人で静かに過ごしたい。
- ・自分自身の自由時間がほしい。
- ・大部屋ではプライバシーが保たれず、安眠できないことがわかったから。
- ・他人の目を気にせず過ごせる場所がほしいから。
- ・大部屋だと他人に迷惑がかかると思うので、個室がよい。

多床室（大部屋）を希望する理由

- ・金額が安いから。
- ・本人が認知症のため、雑音が多いほうが刺激になると思う。
- ・個室では何かあった時には1人で連絡を取ることができないから。

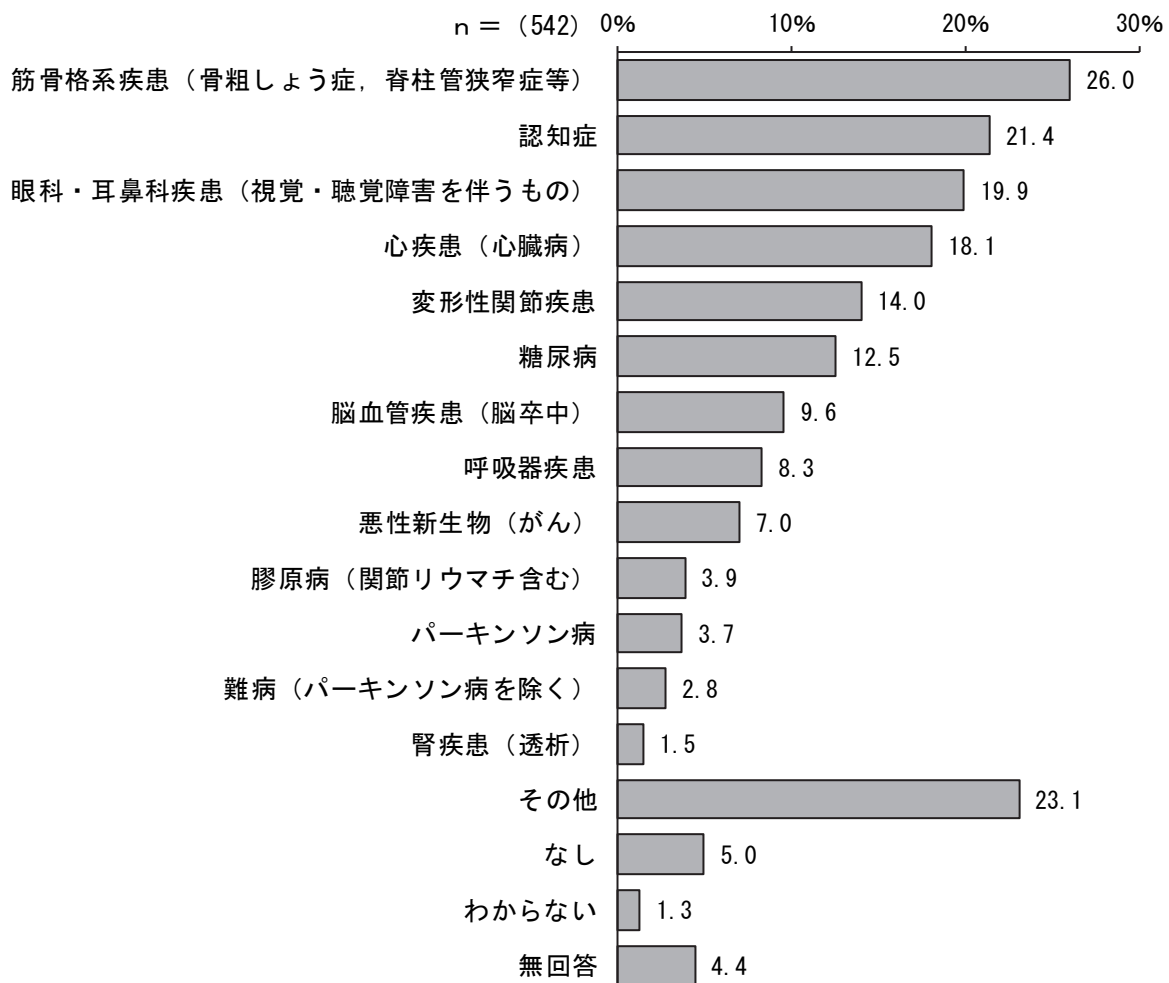
(6) 現在抱えている傷病

問4 現在抱えている傷病を教えてください（あてはまるものすべてに○）

本人が現在抱えている傷病は、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症，脊柱管狭窄症等）」が26.0%で最も多く，次いで「認知症」（21.4%），「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（19.9%），「心疾患（心臓病）」（18.1%）等が続いています。

「その他」の主な回答としては，「高血圧症」，「後縦靭帯骨化症」，「うつ病」，「帯状疱疹後神経痛」，「統合失調症」，「脳梗塞」等となっています。

【現在抱えている傷病】（複数回答）

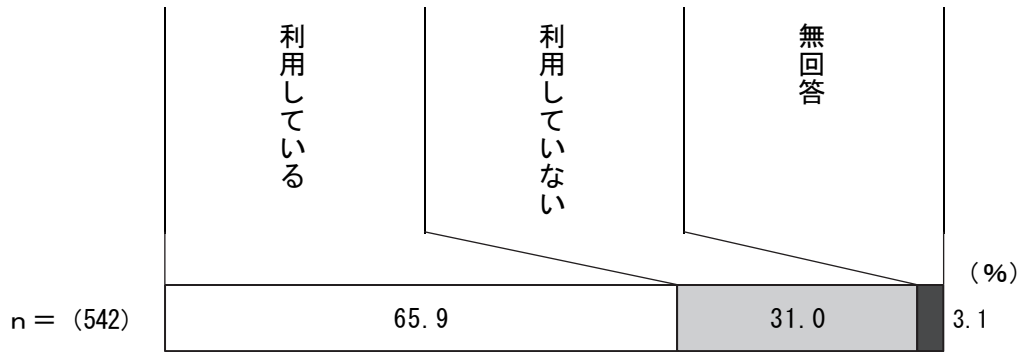


(7) 介護保険サービスの利用

問5 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか

介護保険サービスの利用については、「利用している」が65.9%、「利用していない」は31.0%となっています。

【介護保険サービスの利用】



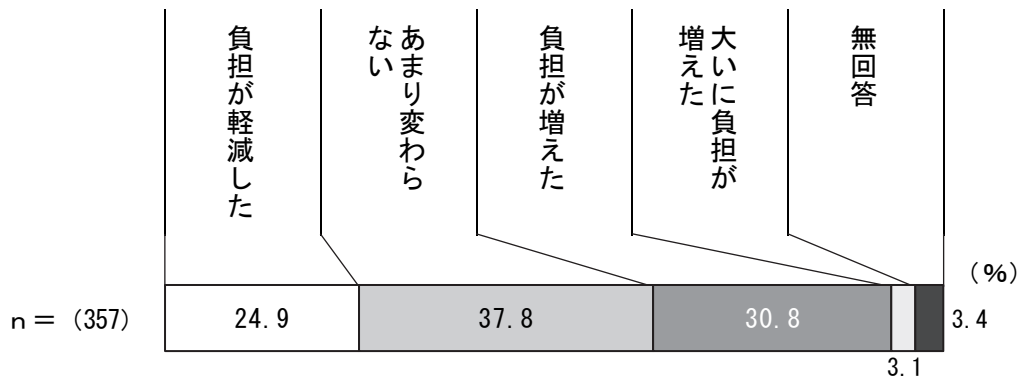
(8) 介護保険サービスを利用したことでの経済的な負担の変化

【問5で「利用している」を選択した方のみ】

問6 介護保険サービスを利用することで、経済的な負担はどうなりましたか

問5で「利用している」と回答した方の経済的な負担については、「あまり変わらない」が37.8%で最も多く、次いで「負担が増えた」(30.8%)、「負担が軽減した」(24.9%)等が続いています。

【介護保険サービスを利用したことでの経済的な負担の変化】



※ 今回調査から新たに追加された設問

(9) 介護保険サービスを利用していない理由

【問5で「利用していない」を選択した方のみ】

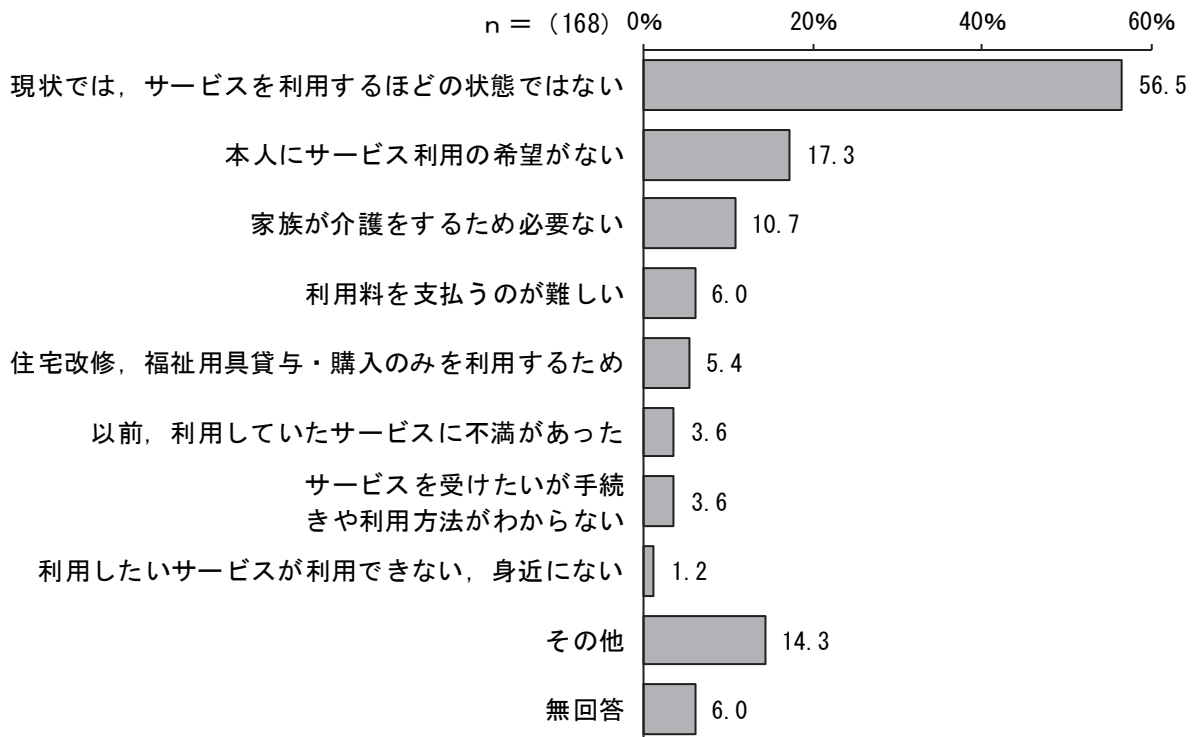
問7 介護保険サービスを利用していない理由を教えてください

(あてはまるものすべてに○)

問5で「利用していない」と回答した方にその理由を聞くと、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が56.5%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(17.3%)、「家族が介護をするため必要ない」(10.7%)等が続いています。

「その他」の主な回答としては、「これから利用予定」、「何とか現状で頑張っている」、「現在検討中」等となっています。

【介護保険サービスを利用していない理由】(複数回答)

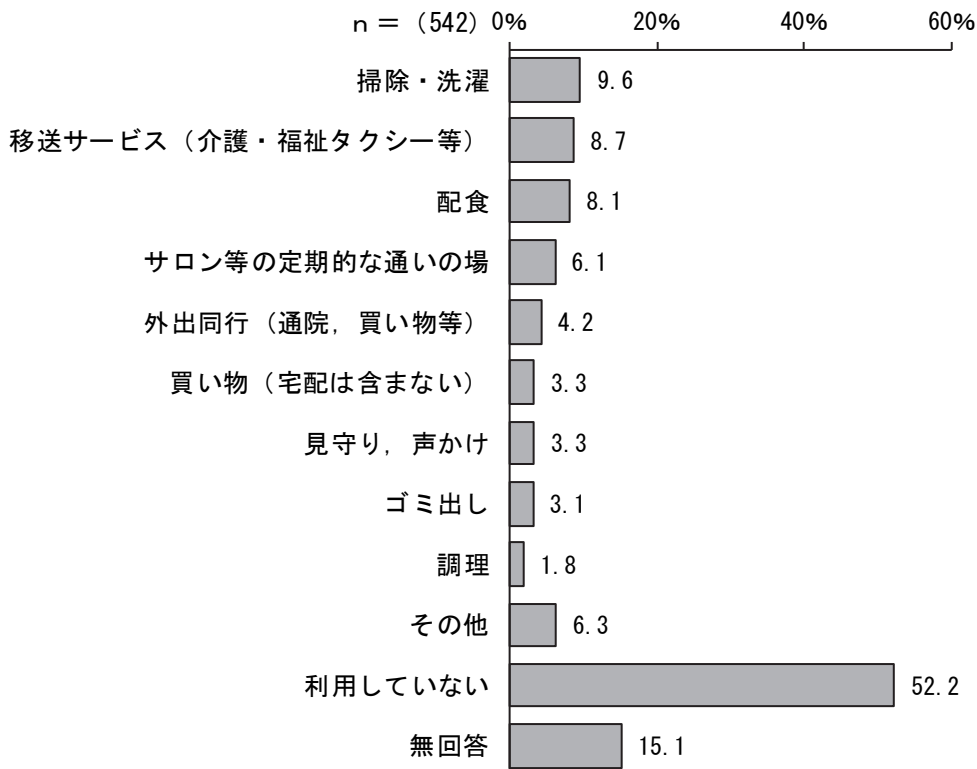


(10) 現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスを教えてください
(あてはまるものすべてに○)

現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービスとしては、「掃除・洗濯」が9.6%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」(8.7%)、「配食」(8.1%)等が続いています。一方で「利用していない」が52.2%となっています。

【現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス】(複数回答)



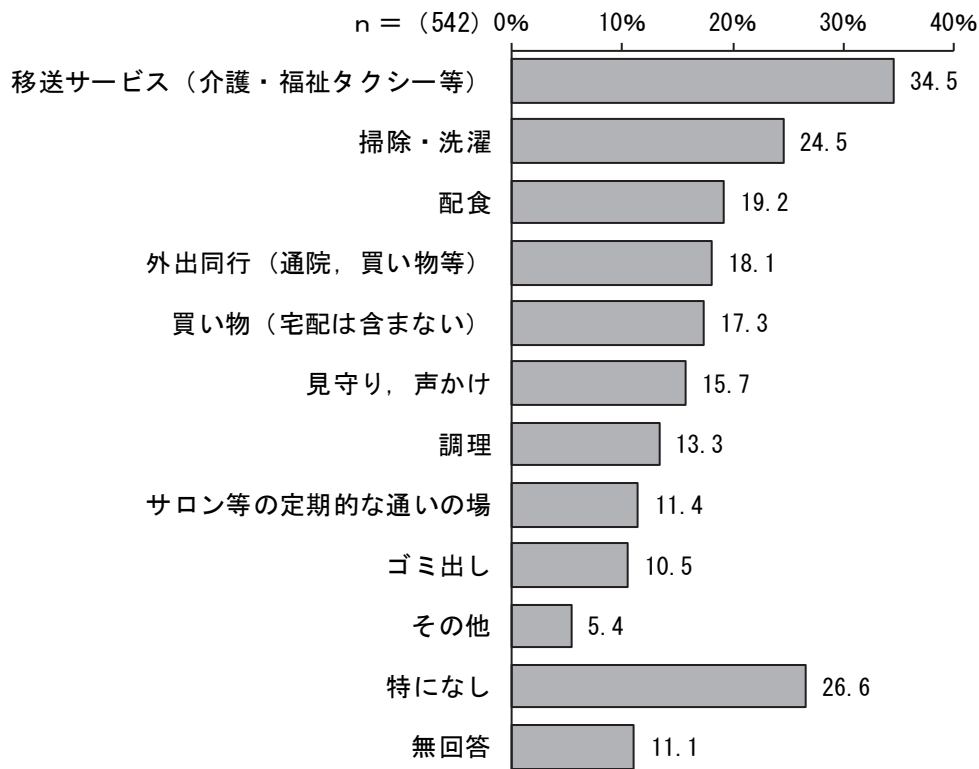
※ 総合事業に基づく支援・サービスは、介護保険サービスに含める

(11) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）を教えてください
（あてはまるものすべてに○）

在宅生活に必要と感じる支援・サービスとしては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.5%で最も多く、次いで「掃除・洗濯」（24.5%）、「配食」（19.2%）、「外出同行（通院，買い物等）」（18.1%）等が続いています。一方、「特になし」が26.6%となっています。

【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】（複数回答）



※ 介護保険サービス，介護保険サービス以外の支援・サービスともに含む

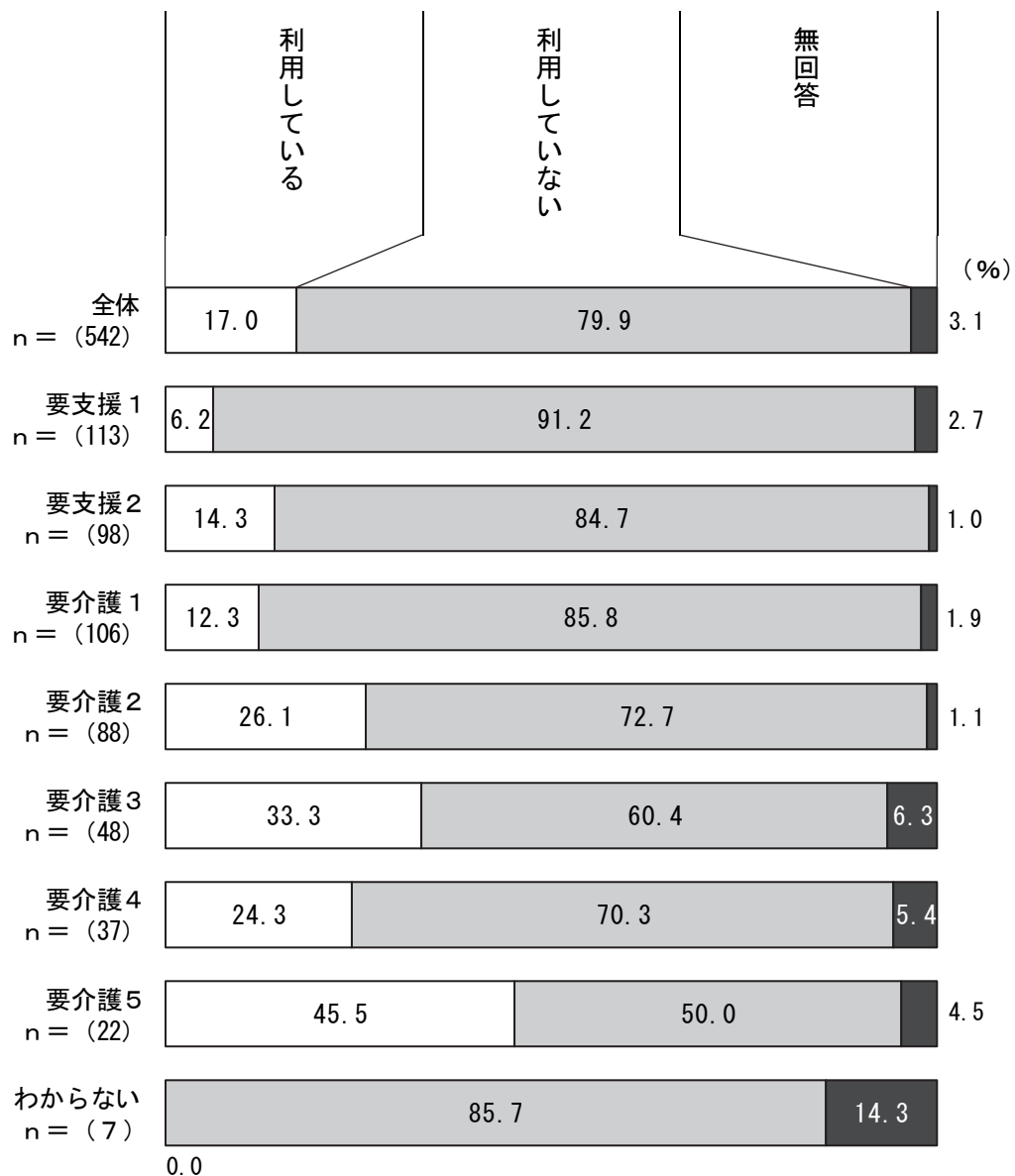
(12) 訪問診療の利用

問10 現在、訪問診療を利用していますか

訪問診療の利用については、「利用している」が17.0%となっています。

要支援・要介護度別にみると、要介護5と回答した方が「利用している」が45.5%と最も多くなっています。

【訪問診療の利用：要支援・要介護度別】



※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含まない

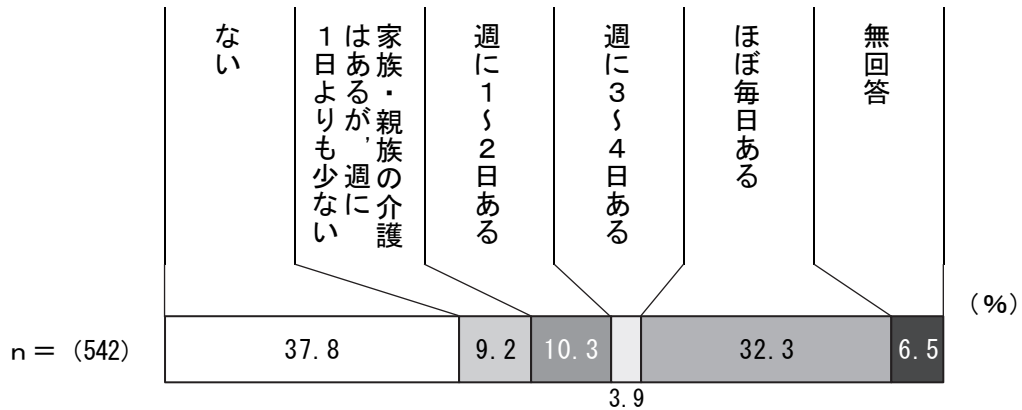
2 家族や親族からの介護

(1) 家族や親族からの介護の頻度

問 11 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

家族や親族からの介護があるかについては、「ない」が 37.8%で最も多く、次いで「ほぼ毎日ある」(32.3%)、「週に1～2日ある」(10.3%) 等が続いています。

【家族や親族からの介護の頻度】



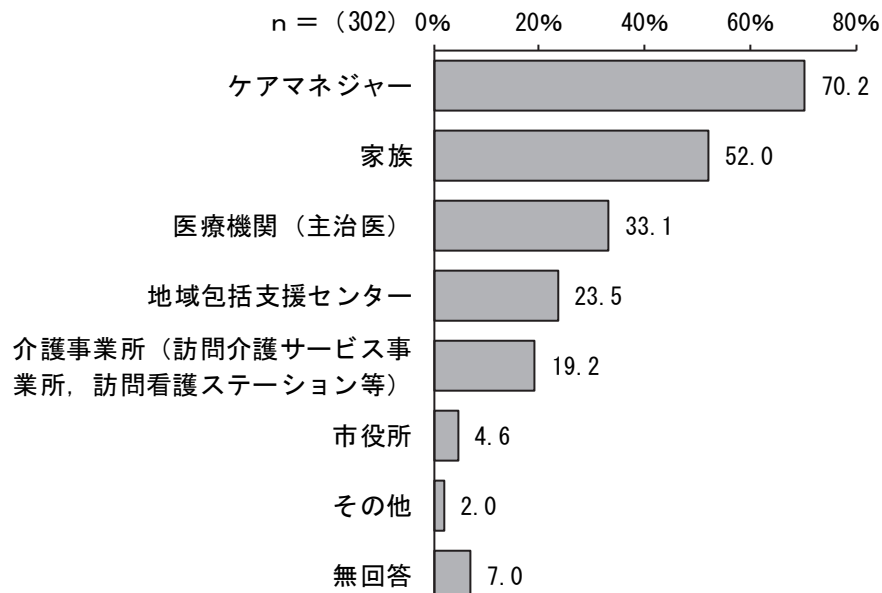
(2) 介護についての相談・連絡先

【問 11 において「ない」以外を選択した方のみ】

問 12 ご自身が受けている介護のことで、悩んでいるときに、どこに相談・連絡しますか（あてはまるものすべてに○）

問 11 において「ない」以外を選択した方に、本人が受けている介護について悩んでいるときの相談・連絡先について聞いたところ、「ケアマネジャー」が 70.2%で最も多く、次いで「家族」(52.0%)、「医療機関（主治医）」(33.1%) 等が続いています。

【介護についての相談・連絡先】（複数回答）



3 成年後見制度

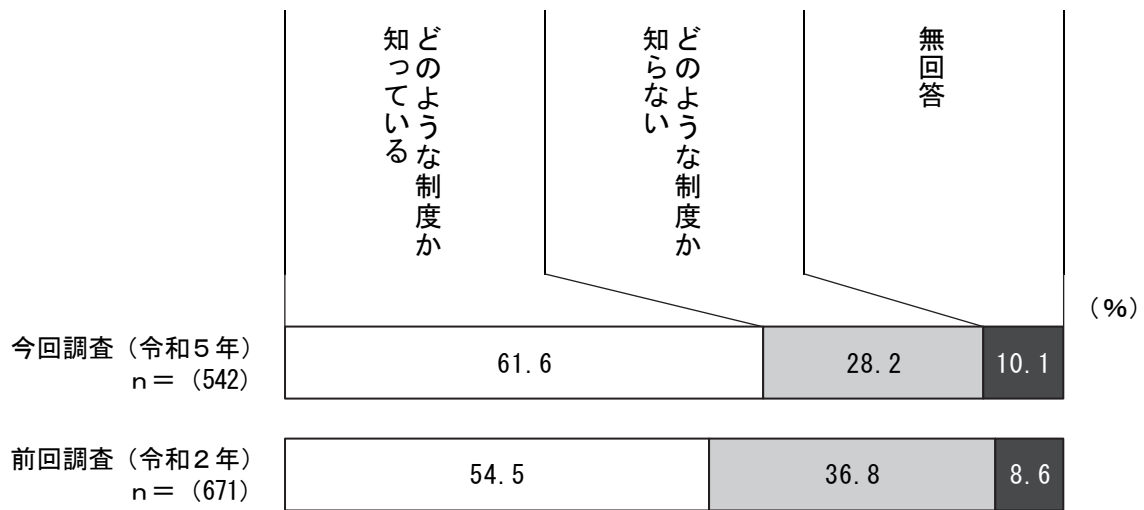
(1) 成年後見制度の認知度

問13 成年後見制度を知っていますか

成年後見制度を知っているか聞いたところ、「どのような制度か知っている」が61.6%、「どのような制度か知らない」が28.2%となっています。

前回の調査結果と比較すると、「どのような制度か知っている」が7.1ポイント増加している一方、「どのような制度か知らない」が8.6ポイント減少しています。

【成年後見制度の認知度】



※ 成年後見制度とは、認知症等によって判断能力に不安がある方が、一方的に不利益な契約を結ぶことがないように、補助人、保佐人、後見人が、本人の判断能力を補い、保護する制度

(2) 成年後見制度の利用意向

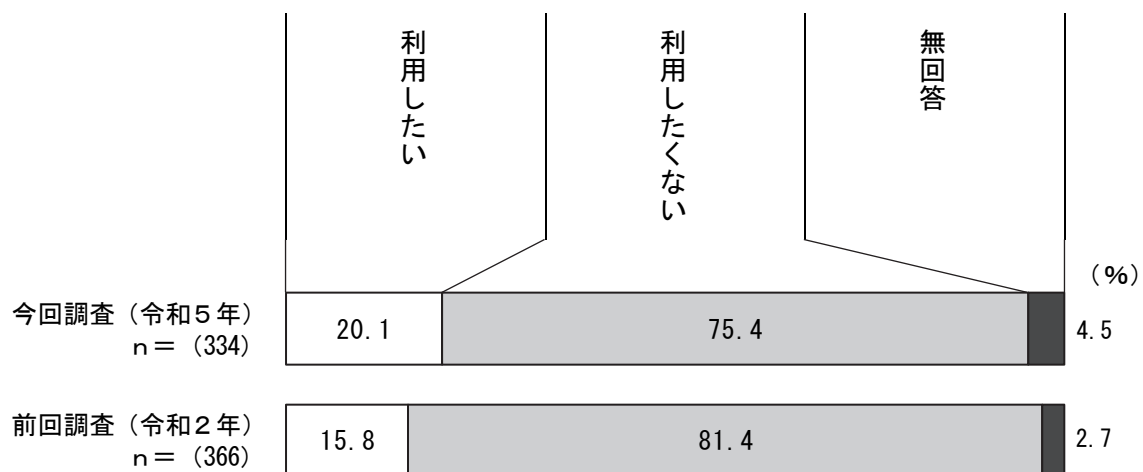
【問13において「どのような制度か知っている」を選択した方のみ】

問14 今後判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいですか

問13において「どのような制度か知っている」と回答した方に成年後見制度の利用意向について聞いたところ、「利用したい」が20.1%、「利用したくない」が75.4%となっています。

前回の調査結果と比較すると、「利用したい」が4.3ポイント増加している一方、「利用したくない」が6.0ポイント減少しています。

【成年後見制度の利用意向】



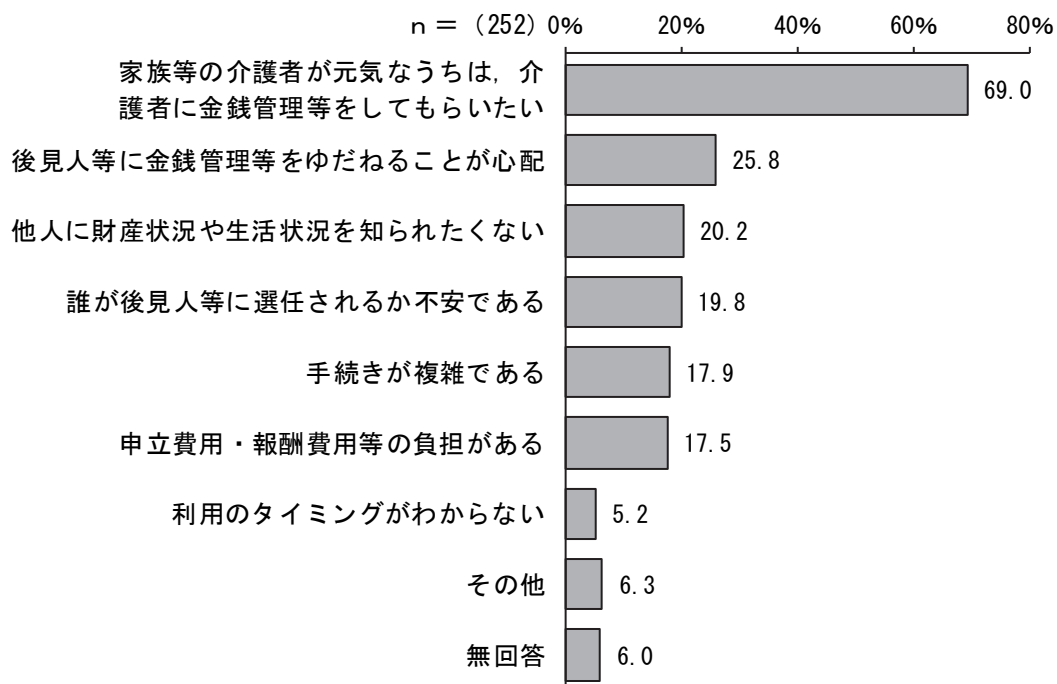
(3) 成年後見制度を利用したくない理由

【問14において「利用したくない」を選択した方のみ】

問15 成年後見制度を利用したくないと考える理由は何ですか（3つまで選択可）

問14において「利用したくない」と回答した方に、その理由について聞いたところ、「家族等の介護者が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい」が69.0%で最も多く、次いで「後見人等に金銭管理等をゆだねることが心配」(25.8%)、「他人に財産状況や生活状況を知られたくない」(20.2%)、「誰が後見人等に選任されるか不安である」(19.8%)等が続いています。

【成年後見制度を利用したくない理由】(複数回答)



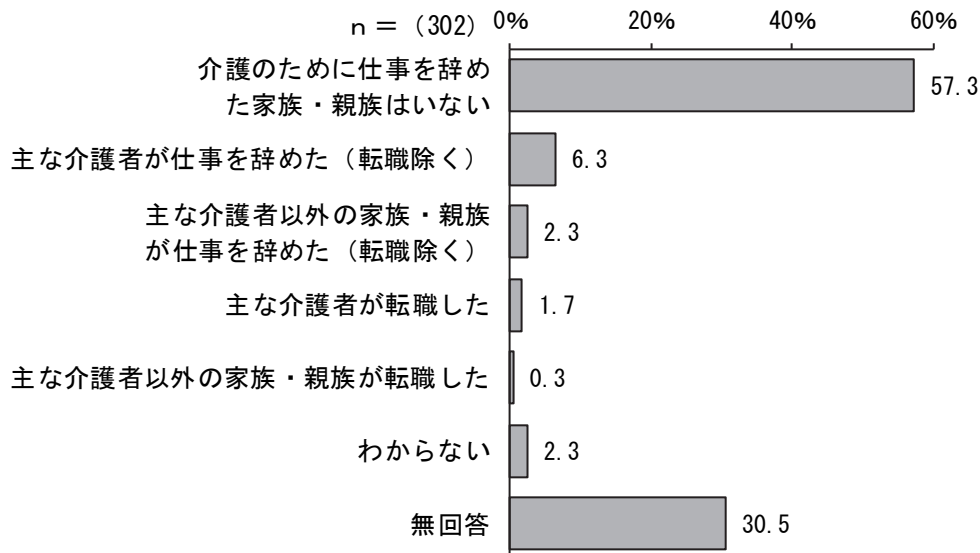
3 主な介護者の状況（B票）

（1）介護を理由とする退職

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）
（あてはまるものすべてに○）

家族や親族からの介護を受けていると回答した方の主な介護者に、本人の介護を主な理由として仕事を辞めた方がいるかについて聞いたところ、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が57.3%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（6.3%）等が続いています。

【介護を理由とする退職】（複数回答）



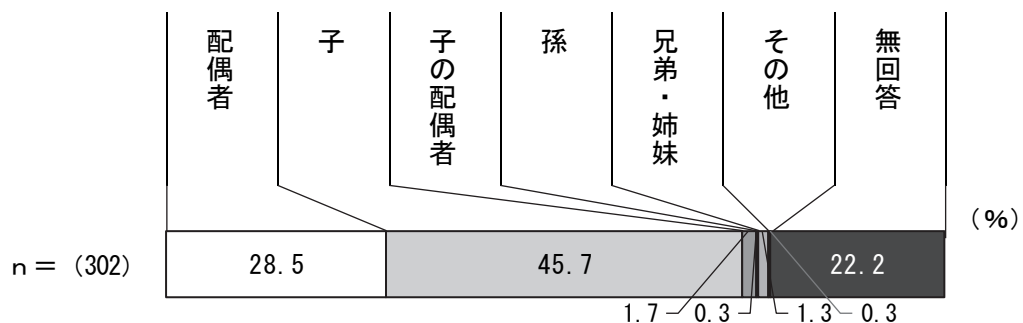
※ 自営業や農林水産業の仕事を辞めた方を含む

（2）主な介護者

問2 主な介護者の方は、どなたですか

主な介護者は、「子」が45.7%で最も多く、次いで「配偶者」（28.5%）、「子の配偶者」（1.7%）等が続いています。

【主な介護者】

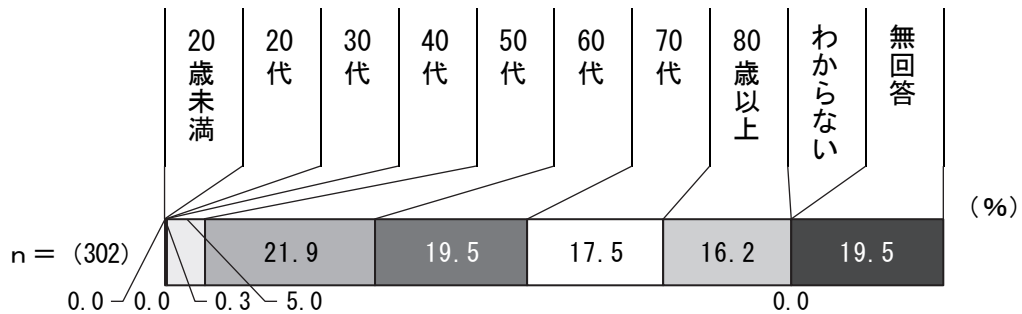


(3) 主な介護者の年齢

問3 主な介護者の方の年齢を教えてください

主な介護者の年齢は、「50代」が21.9%で最も多く、次いで「60代」(19.5%)、「70代」(17.5%)等が続いています。

【主な介護者の年齢】

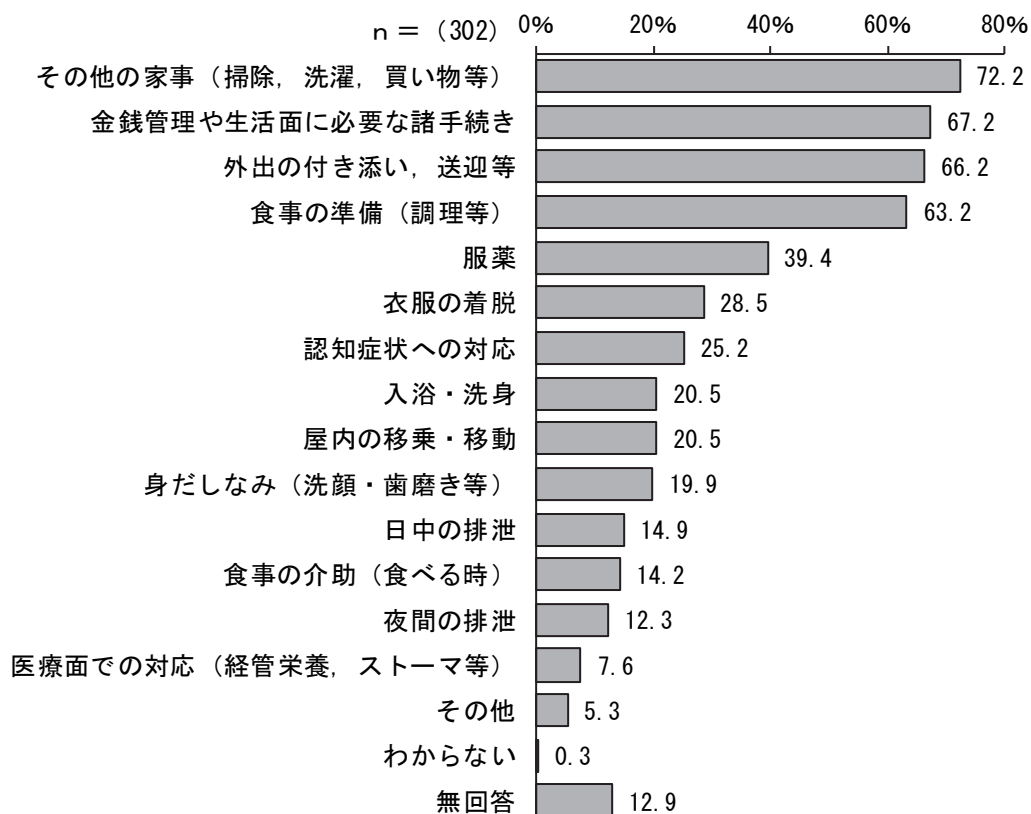


(4) 主な介護者が行っている介護等

問4 現在、主な介護者の方が行っている介護等を教えてください
(あてはまるものすべてに○)

主な介護者が行っている介護等は、「その他の家事（掃除，洗濯，買い物等）」が72.2%で最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(67.2%)，「外出の付き添い，送迎等」(66.2%)，「食事の準備（調理等）」(63.2%)等が続いています。

【主な介護者が行っている介護等】（複数回答）

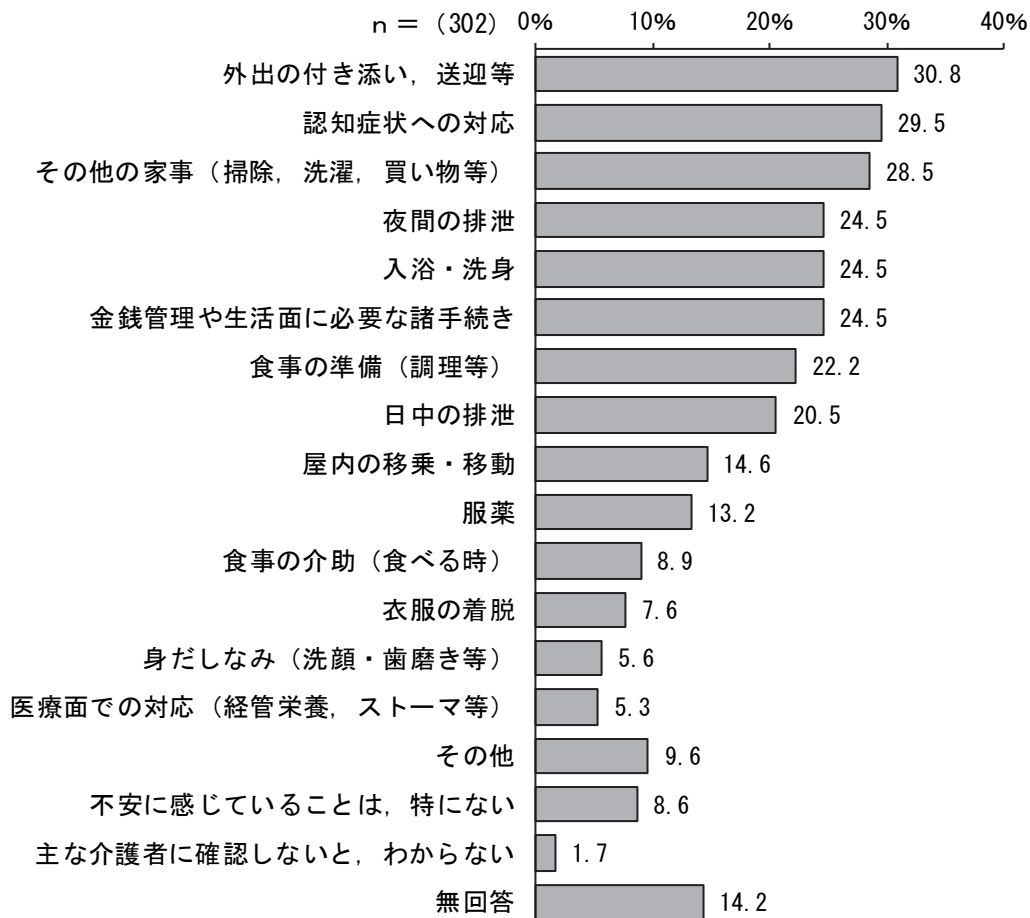


(5) 主な介護者が不安に感じる介護等

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等を教えてください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等は、「外出の付き添い、送迎等」が30.8%で最も多く、次いで「認知症状への対応」(29.5%)、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」(28.5%)、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（それぞれ24.5%）等が続いています。

【主な介護者が不安に感じる介護等】（複数回答）

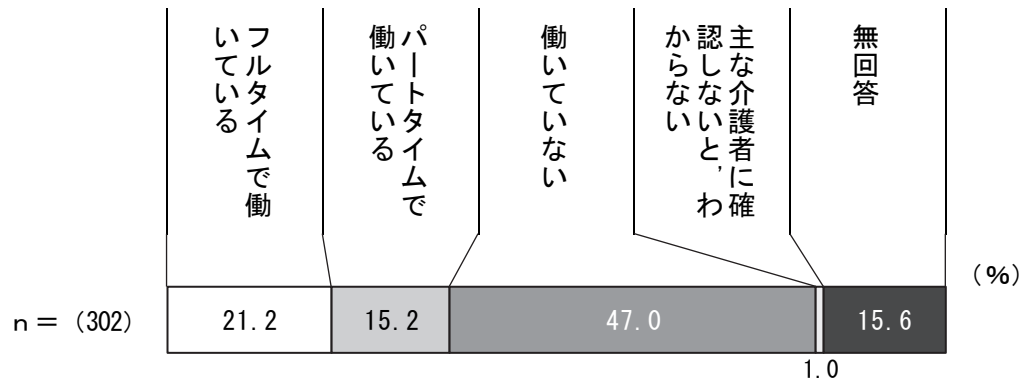


(6) 主な介護者の勤務形態

問6 主な介護者の方の現在の勤務形態を教えてください

主な介護者の勤務形態は、「働いていない」が47.0%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」(21.2%)、「パートタイムで働いている」(15.2%)等が続いています。

【主な介護者の勤務形態】



※ パートタイムとは、1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当する。いわゆるアルバイト、嘱託、契約社員等の方を含む。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等からフルタイム・パートタイムのいずれかを選択している

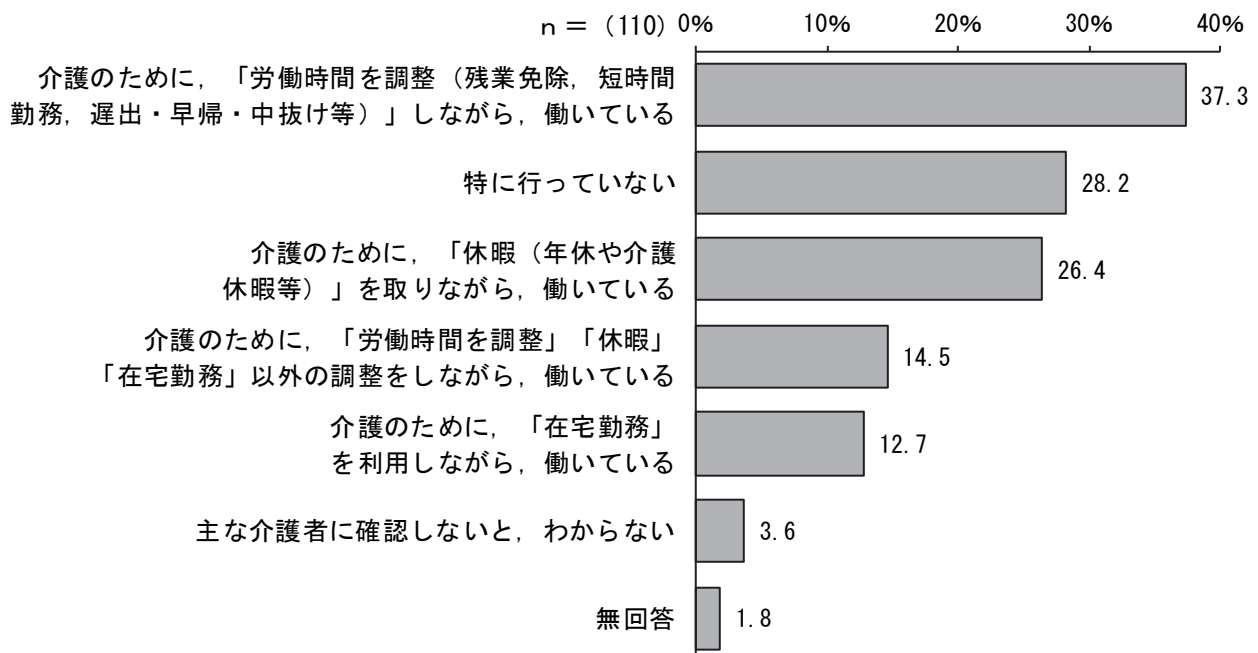
(7) 主な介護者の働き方の調整

【問6で「(フルタイム・パートタイム)で働いている」を選択した方のみ】

問7 主な介護者の方は、介護をするにあたって、働き方についての調整等をしていますか(あてはまるものすべてに○)

問6で「(フルタイム・パートタイム)で働いている」と回答した方に介護をするにあたって働き方の調整等をしているか聞いたところ、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除, 短時間勤務, 遅出・早帰・中抜け等)」しながら, 働いている」が37.3%で最も多く, 次いで「特に行っていない」(28.2%), 「介護のために, 「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら, 働いている」(26.4%)等が続いています。

【主な介護者の働き方の調整】(複数回答)



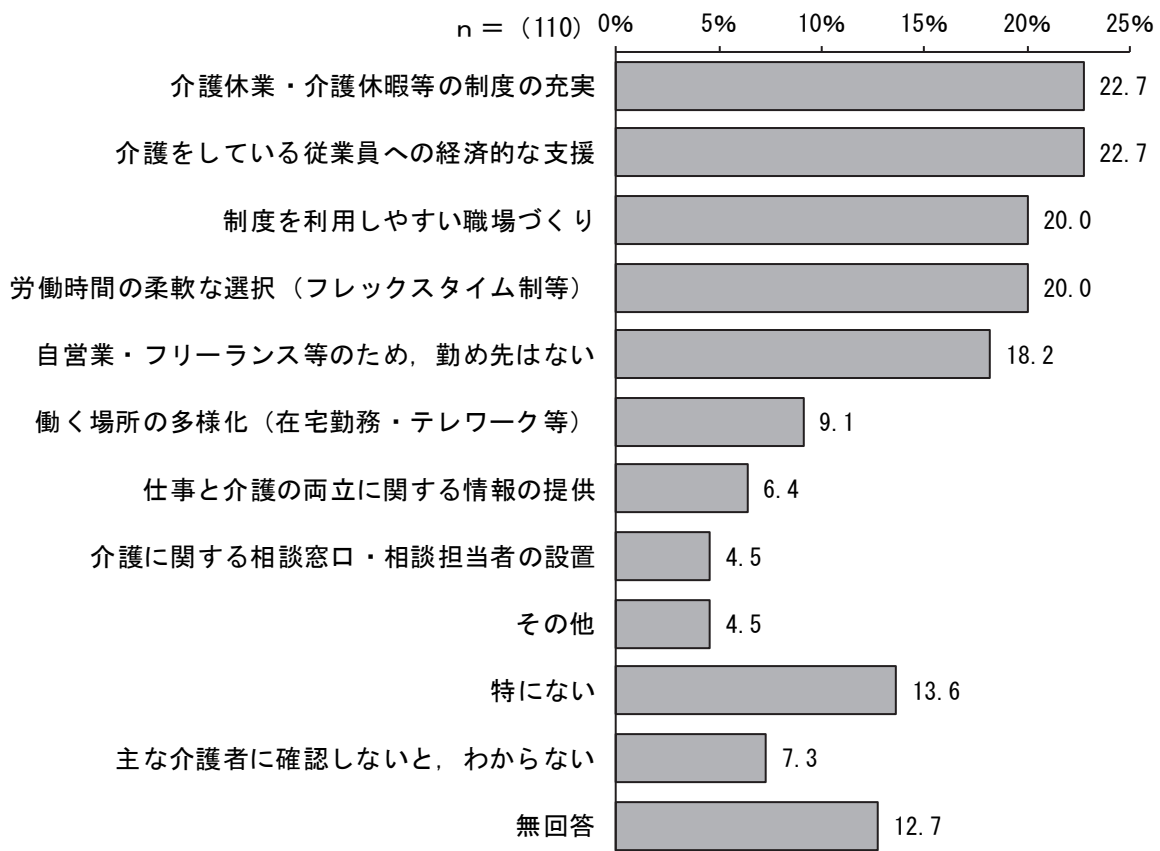
(8) 効果があると思う勤め先からの支援

【問6で「(フルタイム・パートタイム)で働いている」を選択した方のみ】

問8 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

問6で「(フルタイム・パートタイム)で働いている」と回答した方に効果があると思う勤め先からの支援を聞いたところ、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「介護をしている従業員への経済的な支援」がそれぞれ22.7%で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制等)」(それぞれ20.0%)、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」(18.2%)等が続いています。

【効果があると思う勤め先からの支援】(複数回答)



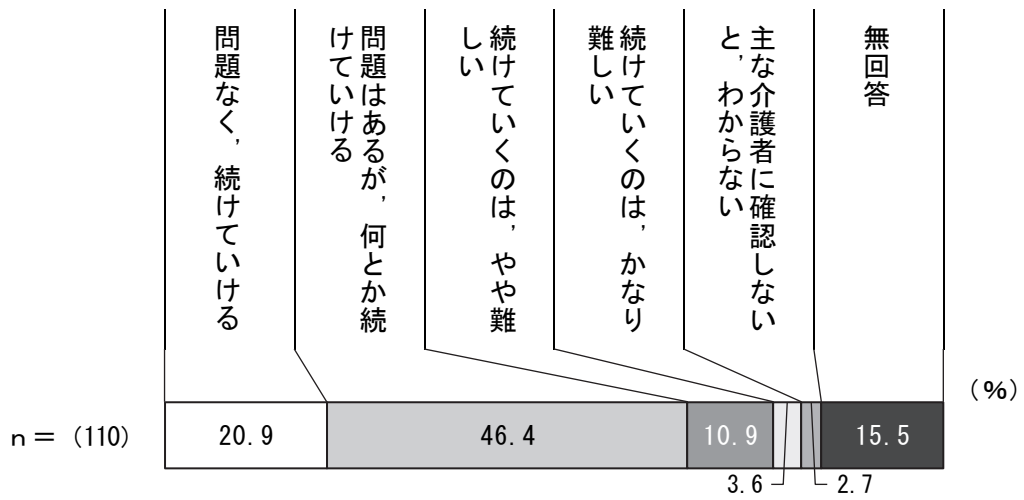
(9) 就労継続の見込み

【問6で「(フルタイム・パートタイム)で働いている」を選択した方のみ】

問9 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか

問6で「(フルタイム・パートタイム)で働いている」と回答した方に今後も働きながら介護を続けていけそうか聞いたところ、「問題はあるが、何とか続けていける」が46.4%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」(20.9%)、「続けていくのは、やや難しい」(10.9%)等が続いています。

【就労継続の見込み】



(10) 主な介護者の状態や気持ち

【主な介護者の方が記入した場合のみ回答してください】

問 10 次の項目について、主な介護者の方の状態や気持ちに最も近いものを、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

主な介護者の状態や気持ちに最も近いものについて「(よく・どちらかという)あてはまる」との回答が多いのは、③ストレスがたまっているが49.7%で最も多く、次いで⑤自分ひとりが我慢すれば済むと思うことがある(39.4%)、⑦共倒れしてしまうのではないかとと思うことがある(34.7%)、⑧ご本人についつらくあたってしまうことがある(33.8%)等が続いています。

一方、「(あまり・まったく)あてはまらない」との回答が多いのは、⑫適切な介護の方法や、その相談窓口がわからないが65.6%で最も多く、次いで⑩家族や親族等の理解・協力が得られない(56.3%)、⑩誰も自分の大変さを理解してくれない(52.0%)、⑨ご本人と意思疎通ができない(50.4%)等が続いています。

【主な介護者の状態や気持ち】

	よくあてはまる	どちらかあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
n = (302)					(%)
①睡眠時間や休息時間がとれない	9.3	23.8	24.5	15.2	27.2
②自分の健康が保てない	6.0	27.2	29.5	13.9	23.5
③ストレスがたまっている	19.2	30.5	19.2	7.6	23.5
④精神的・肉体的疲労感が限界である	7.3	22.5	30.8	15.2	24.2
⑤自分ひとりが我慢すれば済むと思うことがある	13.9	25.5	25.2	11.6	23.8
⑥介護を続けていく自信がない		22.5	36.4	11.3	24.2
⑦共倒れしてしまうのではないかとと思うことがある	5.6 9.9	24.8	26.2	14.9	24.2
⑧ご本人についつらくあたってしまうことがある	10.3	23.5	27.2	14.9	24.2
⑨ご本人と意思疎通ができない	6.3	18.9	31.5	18.9	24.5
⑩誰も自分の大変さを理解してくれない		19.5	32.8	19.2	23.5
⑪家族や親族等の理解・協力が得られない	5.0 6.0	12.6	30.8	25.5	25.2
⑫適切な介護の方法や、その相談窓口がわからない	8.6	41.4	24.2	24.5	
⑬経済的負担が大きい	1.3 7.6	21.9	29.1	17.5	23.8

第4章 施設等利用者及び家族状況調査

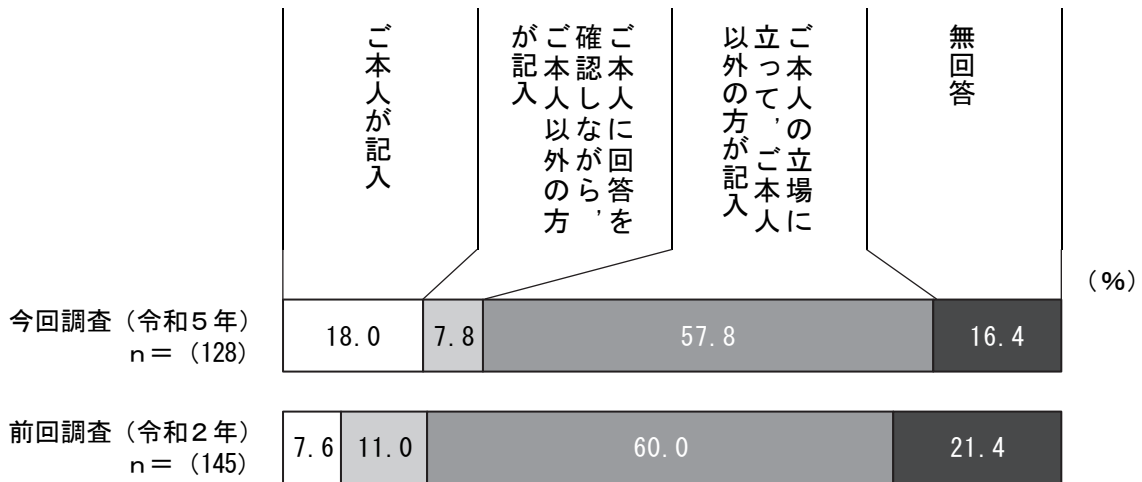
1 施設等入所者自身の状況

(1) 記入者

調査票を記入されたのはどなたですか

記入者は、「ご本人の立場に立って、ご本人以外の方が記入」が 57.8%で最も多く、次いで「ご本人が記入」(18.0%)、「ご本人に回答を確認しながら、ご本人以外の方が記入」(7.8%)となっています。

【記入者】



(2) 記入者の続柄

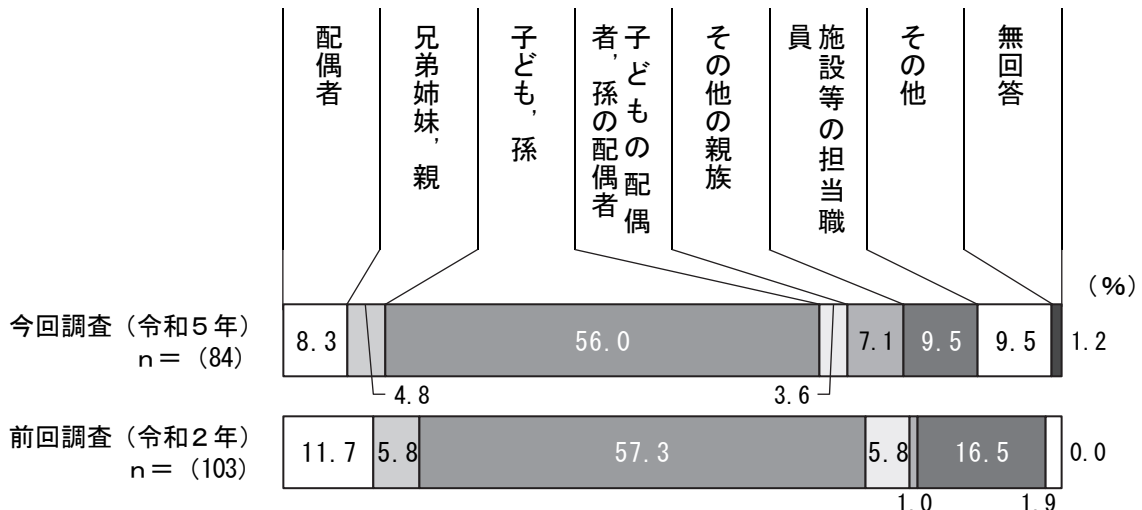
【(1)で「ご本人が記入」以外を選択した方のみ】

記入された方はどなたですか

本人以外が記入した場合の記入者の続柄は、「子ども、孫」が 56.0%で最も多く、次いで「施設等の担当職員」、「その他」(それぞれ 9.5%)、「配偶者」(8.3%)等が続いています。

また、「その他」の主な回答としては、「成年後見人」となっています。

【記入者の続柄】



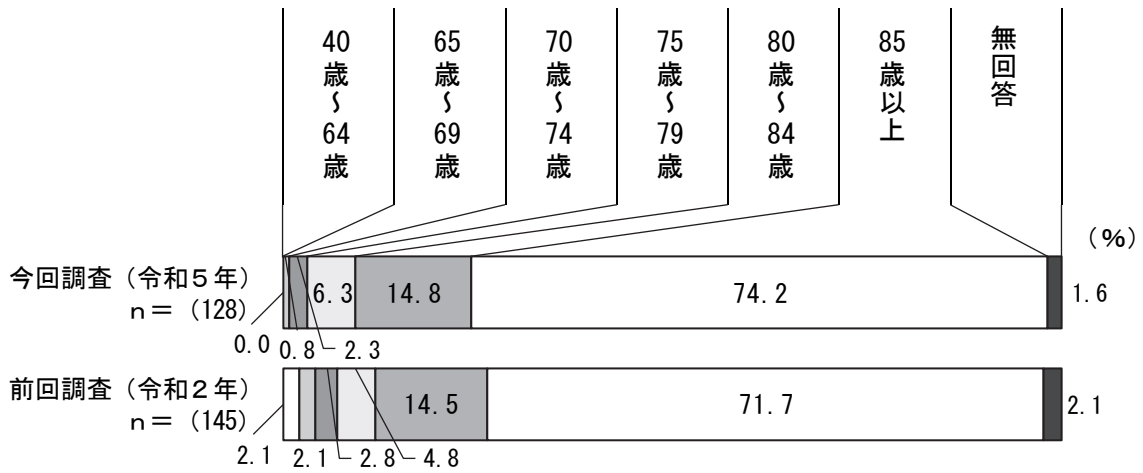
(3) 年齢

(1) 年齢

本人の年齢は、「85歳以上」が74.2%で最も多く、次いで「80歳～84歳」(14.8%)が続いています。

後期高齢者である75歳以上は全体の9割以上となっています。

【年齢】



(4) 現在入所（入居）している施設等

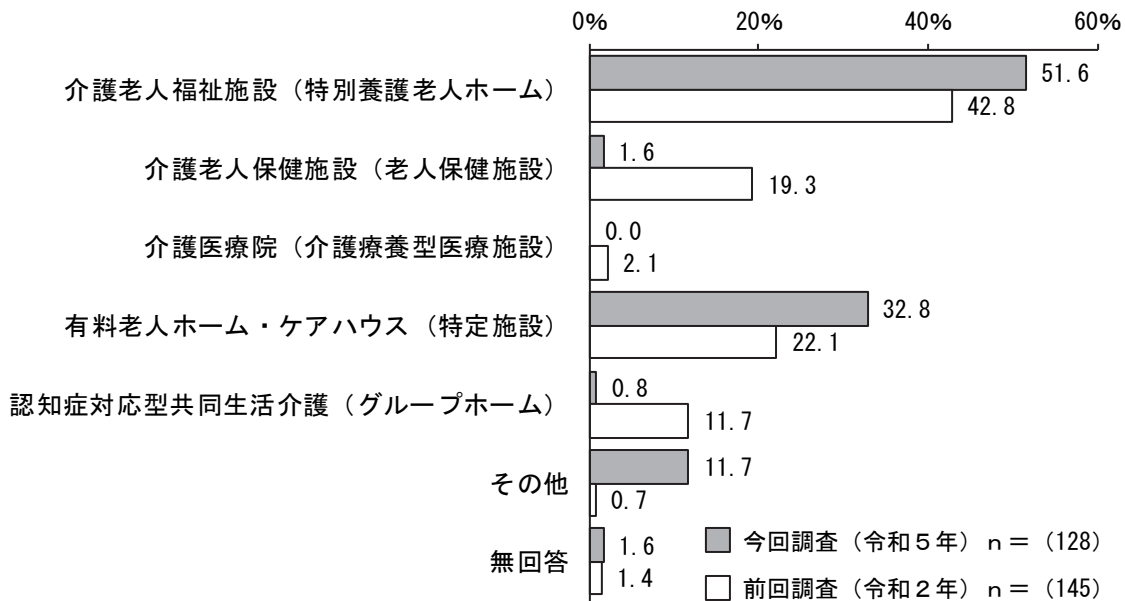
(2) 現在入所（入居）している施設等

現在入所（入居）している施設等は、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が51.6%で最も多く、次いで「有料老人ホーム・ケアハウス（特定施設）」(32.8%)等が続いています。

「その他」の主な回答としては、「サービス付き高齢者向け住宅」等となっています。

要介護度別にみると、要介護4・5の8割以上(84.6%)が「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」となっています。一方、「有料老人ホーム・ケアハウス（特定施設）」は要介護1・2で50.0%となっています。

【現在入所（入居）している施設等】



【現在入所（入居）している施設等：要介護度別】

	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設 (老人保健施設)	介護医療院 (介護療養型医療施設)	有料老人ホーム・ケアハウス (特定施設)	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	その他	無回答
全体 n = (128)	51.6%	1.6%	0.0%	32.8%	0.8%	11.7%	1.6%
要介護1・2 n = (32)	15.6%	6.3%	0.0%	50.0%	3.1%	25.0%	0.0%
要介護3 n = (27)	55.6%	0.0%	0.0%	25.9%	0.0%	18.5%	0.0%
要介護4・5 n = (52)	84.6%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%

※ 要介護度別のクロス集計に当たり、現在の要介護度が無回答の17件は集計から除いています。(以下同様)

(5) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の居室のタイプ

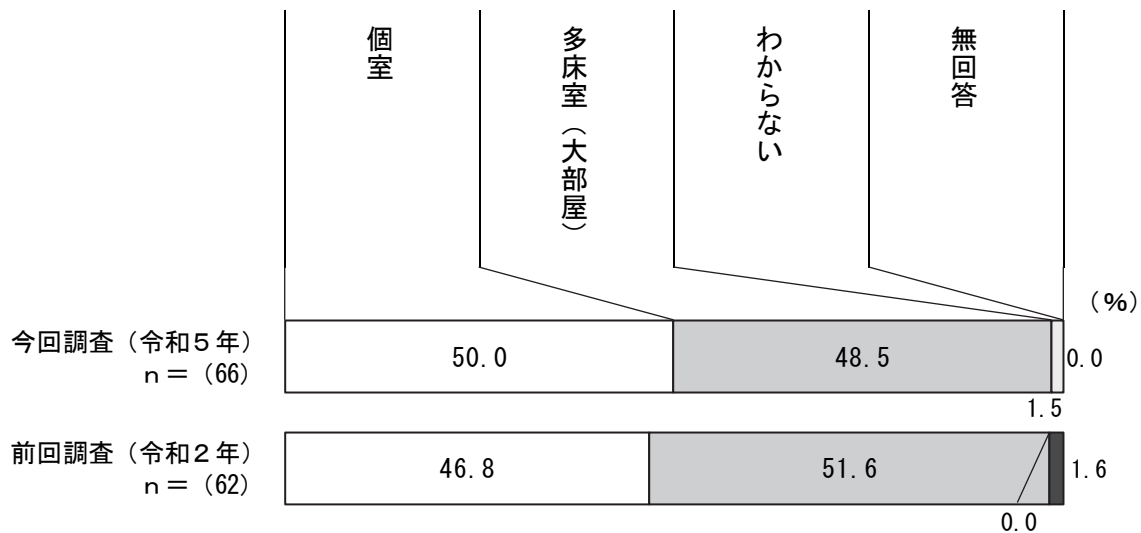
【(2)で「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」を選択した方のみ】

(2) - 1 居室のタイプ

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の居室のタイプをみると、「個室」が50.0%、「多床室（大部屋）」が48.5%となっています。

前回の調査結果と比較すると、ほぼ変わらない結果となっています。

【介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の居室のタイプ】



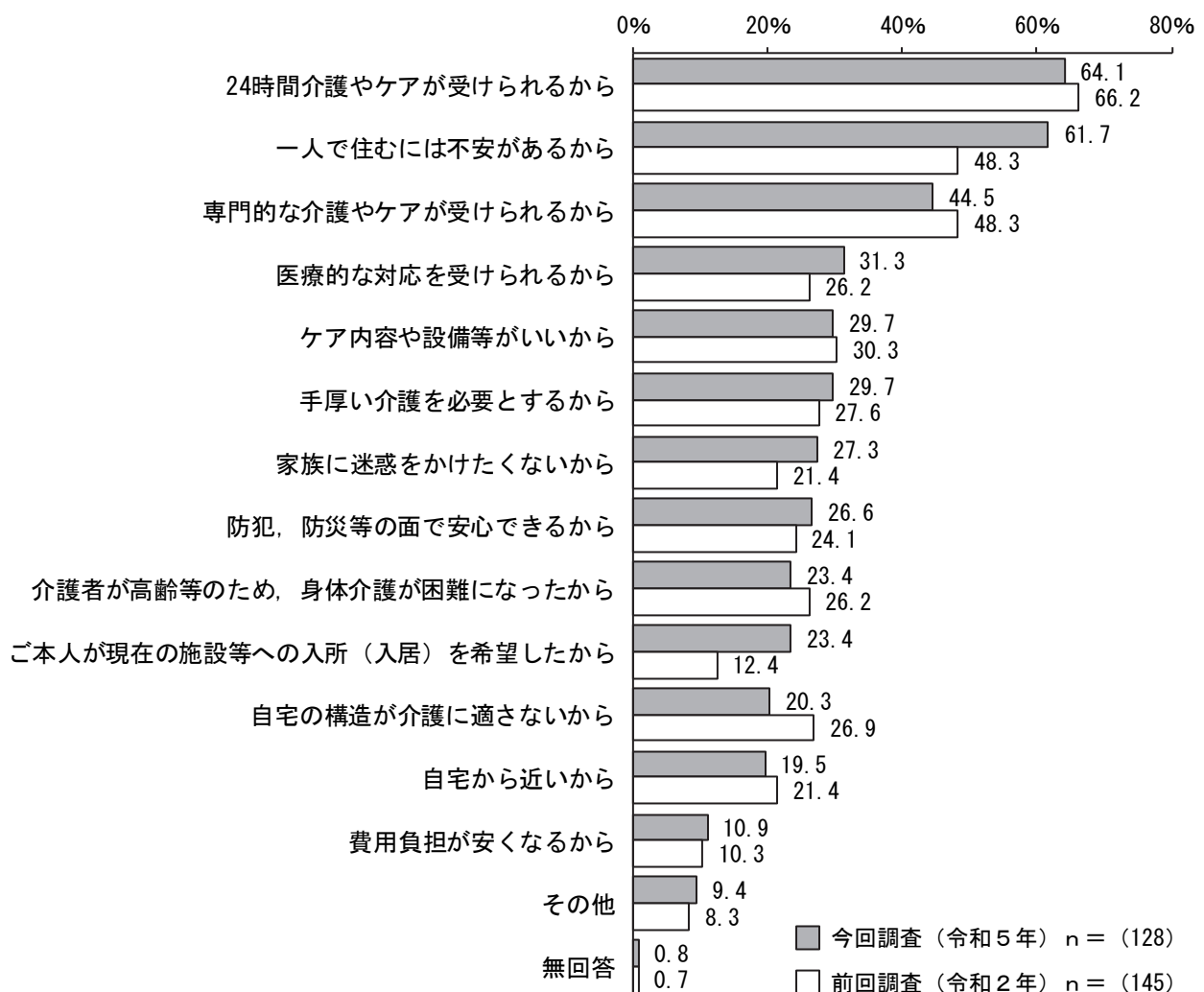
(6) 施設等に入所（入居）した主な理由

(3) 現在の施設等に入所（入居）した主な理由を教えてください
 (あてはまるものすべてに○)

施設等に入所（入居）した主な理由は、「24 時間介護やケアが受けられるから」が 64.1%で最も多く、次いで「一人で住むには不安があるから」(61.7%)、「専門的な介護やケアが受けられるから」(44.5%) 等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「一人で住むには不安があるから」が 13.4 ポイント増加している一方、「自宅の構造が介護に適さないから」は 6.6 ポイント減少しています。

【施設等に入所（入居）した主な理由】(複数回答)

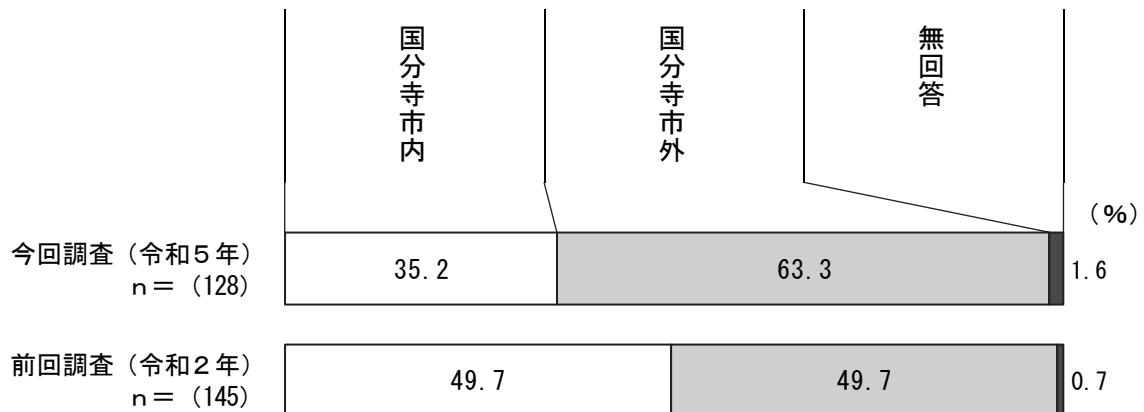


(7) 施設等の所在地

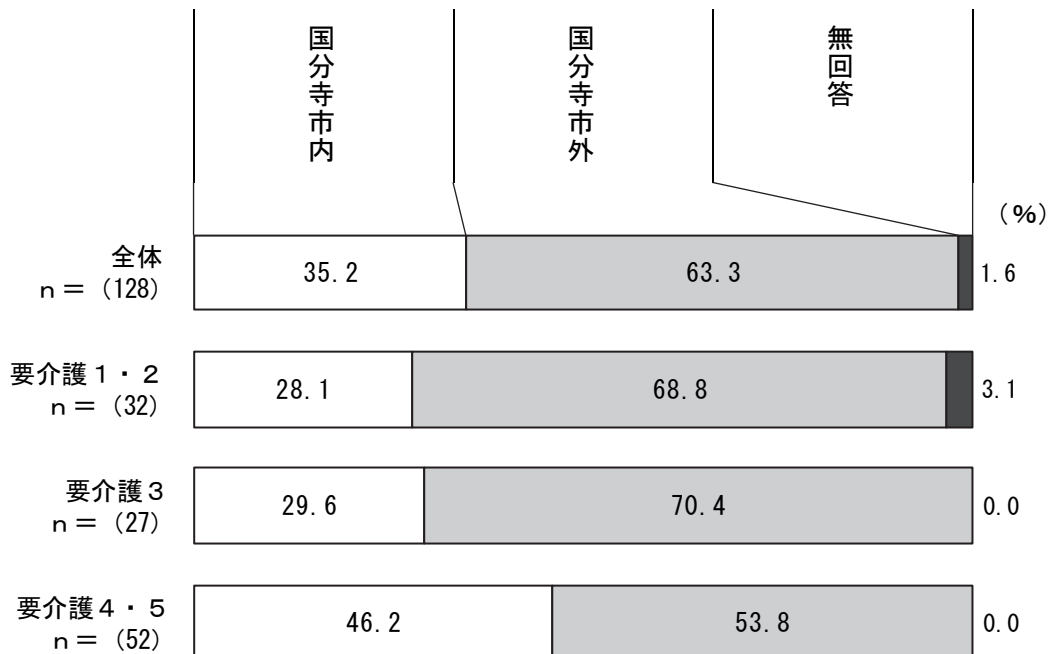
(4) 施設等の所在地

施設等の所在地をみると、「国分寺市内」が 35.2%、「国分寺市外」が 63.3%となっています。
 要介護度別にみると、「国分寺市内」は、要介護1・2 (28.1%)、要介護3 (29.6%)、要介護4・5 (46.2%) と要介護度が重くなるほど多くなっています。

【施設等の所在地】



【施設等の所在地：要介護度別】



(8) 施設等の入所（入居）期間

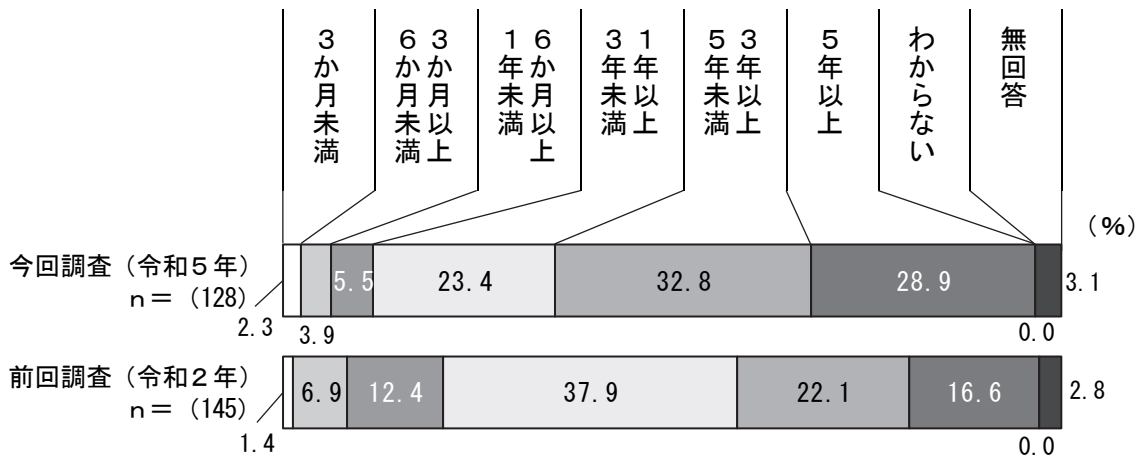
(5) 現在入所（入居）している施設等は、どのくらいの期間、利用されていますか

入所（入居）期間は、「3年以上5年未満」が32.8%で最も多く、次いで「5年以上」（28.9%）等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「1年以上3年未満」が14.5ポイント減少している一方、「5年以上」が12.3ポイント増加しています。

これを施設等の種類別にみると、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の「1年以上3年未満」が15.6ポイント減少している一方、「3年以上5年未満」、「5年以上」がそれぞれ増加しています。

【施設等の入所（入居）期間】



【施設等の入所（入居）期間：介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）】

	3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上	わからない	無回答
今回調査 (令和5年) n = (66)	3.0%	4.5%	4.5%	16.7%	40.9%	28.8%	0.0%	1.5%
前回結果 (令和2年) n = (62)	3.2%	1.6%	16.1%	32.3%	27.4%	14.5%	0.0%	4.8%

【施設等の入所（入居）期間：介護老人保健施設（老人保健施設）】

	3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上	わからない	無回答
今回調査 (令和5年) n = (2)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前回結果 (令和2年) n = (28)	0.0%	10.7%	10.7%	57.1%	3.6%	17.9%	0.0%	0.0%

【施設等の入所（入居）期間：有料老人ホーム・ケアハウス（特定施設）】

	3 か 月 未 満	6 3 か か 月 月 未 未 満 満	1 6 年 か 月 未 未 満 満	3 1 年 年 未 未 満 満	5 3 年 年 未 未 満 満	5 年 以 上	わ か ら な い	無 回 答
今回調査（令和5年）n = (42)	2.4%	4.8%	9.5%	21.4%	26.2%	31.0%	0.0%	4.8%
前回結果（令和2年）n = (32)	0.0%	12.5%	15.6%	31.3%	25.0%	15.6%	0.0%	0.0%

【施設等の入所（入居）期間：認知症対応型共同生活介護（グループホーム）】

	3 か 月 未 満	6 3 か か 月 月 未 未 満 満	1 6 年 か 月 未 未 満 満	3 1 年 年 未 未 満 満	5 3 年 年 未 未 満 満	5 年 以 上	わ か ら な い	無 回 答
今回調査（令和5年）n = (1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
前回結果（令和2年）n = (17)	0.0%	0.0%	5.9%	52.9%	23.5%	17.6%	0.0%	0.0%

【施設等の入所（入居）期間：その他】

	3 か 月 未 満	6 3 か か 月 月 未 未 満 満	1 6 年 か 月 未 未 満 満	3 1 年 年 未 未 満 満	5 3 年 年 未 未 満 満	5 年 以 上	わ か ら な い	無 回 答
今回調査（令和5年）n = (15)	0.0%	0.0%	0.0%	46.7%	26.7%	26.7%	0.0%	0.0%
前回結果（令和2年）n = (1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

※ 今回調査は介護医療院（介護療養型医療施設）の回答者数が0人のため掲載を省略（以下同様）

(9) 入所（入居）待機期間

(6) 現在の施設等に申込みをしてから入所（入居）するまで、どの程度待ちましたか

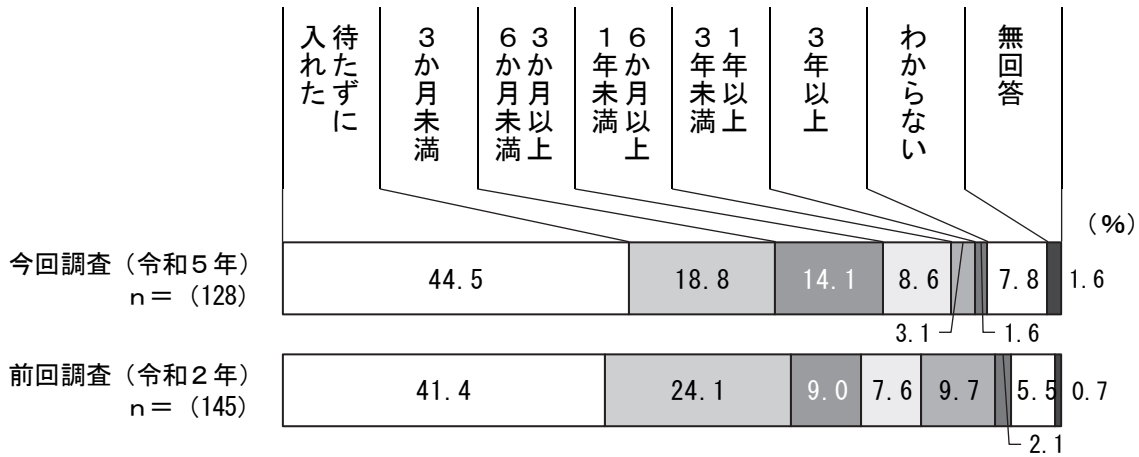
入所（入居）待機期間としては、「待たずに入れた」が44.5%で最も多く、次いで「3か月未満」(18.8%)、「3か月以上6か月未満」(14.1%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「1年以上3年未満」の割合が6.6ポイント減少しています。

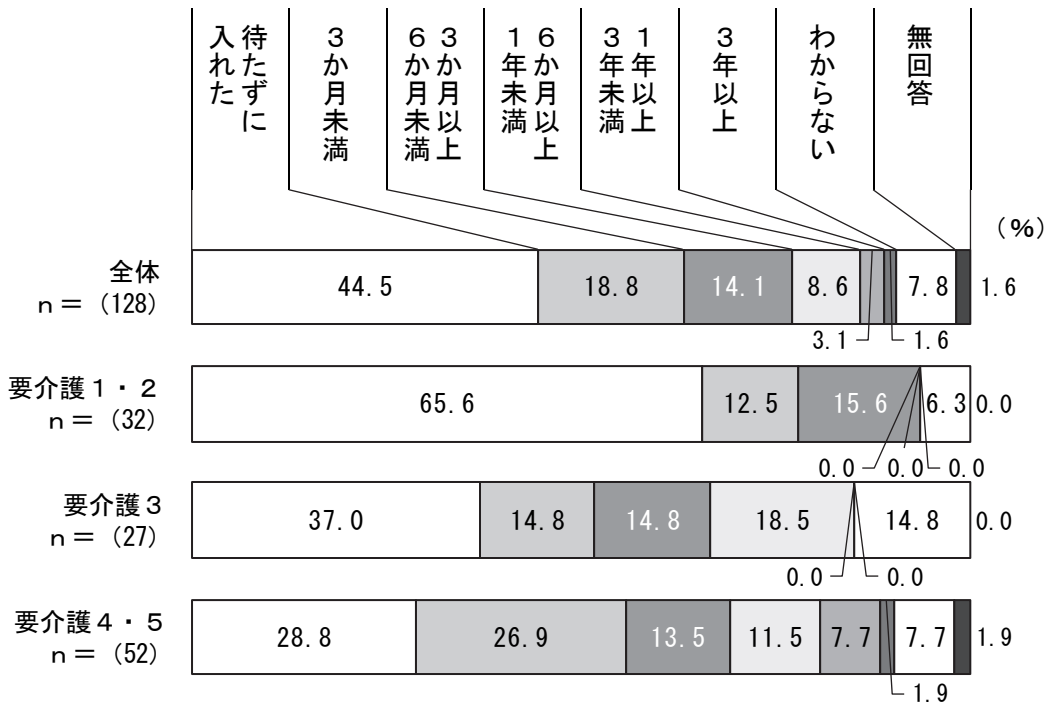
要介護度別にみると、「待たずに入れた」の割合は、要介護1・2(65.6%)、要介護3(37.0%)、要介護4・5(28.8%)と要介護度が重くなるほど少なくなっています。

これを施設等の種類別にみると、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の「待たずに入れた」、「3か月未満」、「3か月以上6か月未満」の合計は63.6%となっており、前回調査の59.7%から3.9ポイント増加しました。

【入所（入居）待機期間】



【入所（入居）待機期間：要介護度別】



【入所（入居）待機期間：介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）】

	入待 れた た ず に	3 か 月 未 満	6 3 か 月 未 満 以 上	1 6 年 未 満 以 上	3 1 年 未 満 以 上	3 年 以 上	わ か ら な い	無 回 答
今回調査（令和5年）n = (66)	22.7%	21.2%	19.7%	15.2%	6.1%	3.0%	10.6%	1.5%
前回結果（令和2年）n = (62)	19.4%	22.6%	17.7%	12.9%	16.1%	4.8%	6.5%	0.0%

【入所（入居）待機期間：介護老人保健施設（老人保健施設）】

	入待 れた た ず に	3 か 月 未 満	6 3 か 月 未 満 以 上	1 6 年 未 満 以 上	3 1 年 未 満 以 上	3 年 以 上	わ か ら な い	無 回 答
今回調査（令和5年）n = (2)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前回結果（令和2年）n = (28)	50.0%	35.7%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%

【入所（入居）待機期間：有料老人ホーム・ケアハウス（特定施設）】

	入待 れた た ず に	3 か 月 未 満	6 3 か 月 未 満 以 上	1 6 年 未 満 以 上	3 1 年 未 満 以 上	3 年 以 上	わ か ら な い	無 回 答
今回調査（令和5年）n = (42)	66.7%	16.7%	9.5%	2.4%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%
前回結果（令和2年）n = (32)	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【入所（入居）待機期間：認知症対応型共同生活介護（グループホーム）】

	入待 れた た ず に	3 か 月 未 満	6 3 か 月 未 満 以 上	1 6 年 未 満 以 上	3 1 年 未 満 以 上	3 年 以 上	わ か ら な い	無 回 答
今回調査（令和5年）n = (1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前回結果（令和2年）n = (17)	29.4%	17.6%	11.8%	5.9%	23.5%	0.0%	11.8%	0.0%

【入所（入居）待機期間：その他】

	入待 れた た ず に	3 か 月 未 満	6 3 か 月 未 満 以 上	1 6 年 未 満 以 上	3 1 年 未 満 以 上	3 年 以 上	わ か ら な い	無 回 答
今回調査（令和5年）n = (15)	80.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%
前回結果（令和2年）n = (1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(10) 入所（入居）以前の住まい

(7) 現在の施設等に入所（入居）する前に、入所（入居）していた施設等
(あるいはお住まい)

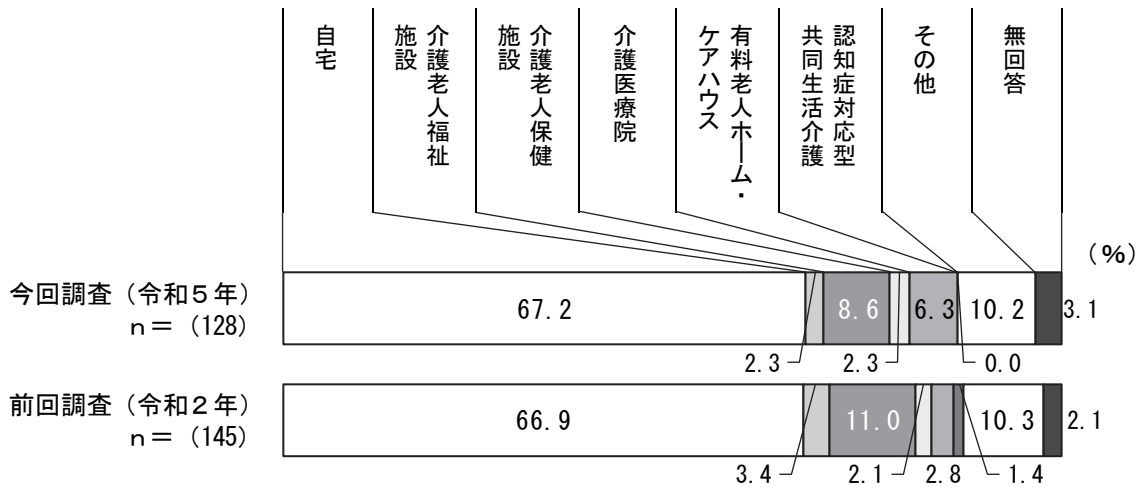
入所（入居）以前の住まいは、「自宅」が67.2%で最も多く、次いで「その他」(10.2%)、「介護老人保健施設（老人保健施設）」(8.6%)等が続いています。

「その他」の主な回答としては、「病院」、「サービス付き高齢者向け住宅」等となっています。

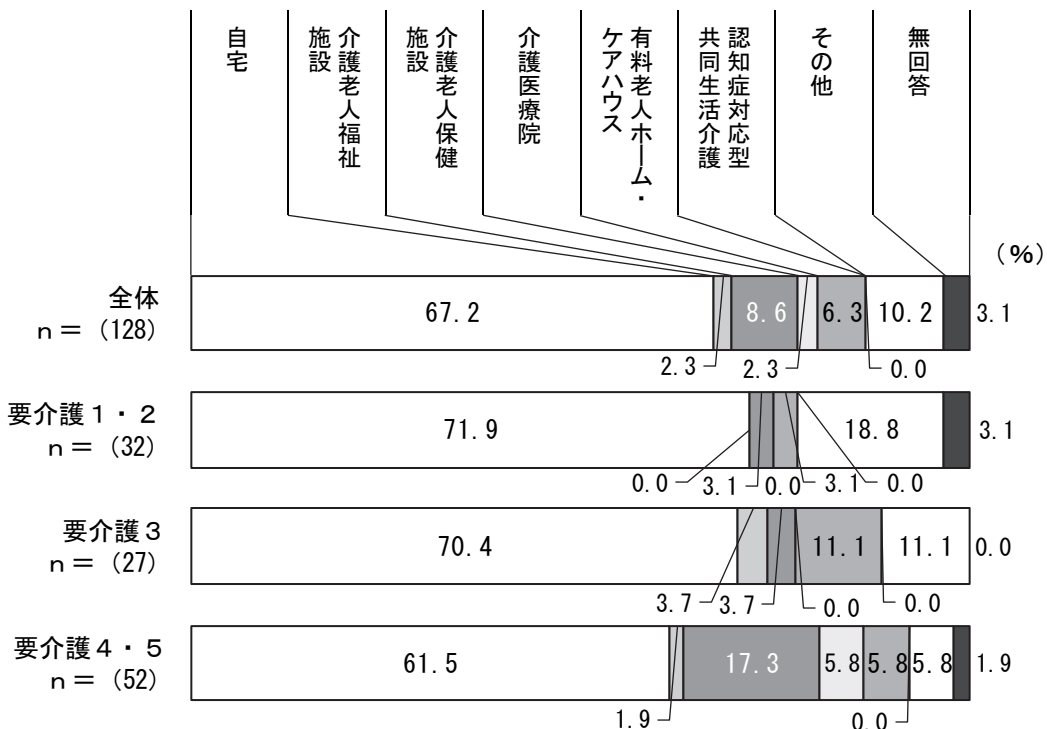
前回の調査結果と比較すると、「有料老人ホーム・ケアハウス（特定施設）」が3.5ポイント増加しています。

これを要介護度別にみると、「自宅」はどの介護度でも多く、特に要介護1・2で71.9%となっています。また、施設等の種類別にみても、どの種別も「自宅」の割合が高くなっています。

【入所（入居）以前の住まい】



【入所（入居）以前の住まい：要介護度別】



【入所（入居）以前の住まい：介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）】

	自宅	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院	有料老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護	その他	無回答
今回調査（令和5年）n = (66)	57.6%	4.5%	15.2%	4.5%	7.6%	0.0%	9.1%	1.5%
前回結果（令和2年）n = (62)	54.8%	6.5%	11.3%	3.2%	3.2%	3.2%	14.5%	3.2%

【入所（入居）以前の住まい：介護老人保健施設（老人保健施設）】

	自宅	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院	有料老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護	その他	無回答
今回調査（令和5年）n = (2)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前回結果（令和2年）n = (28)	78.6%	3.6%	7.1%	3.6%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%

【入所（入居）以前の住まい：有料老人ホーム・ケアハウス（特定施設）】

	自宅	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院	有料老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護	その他	無回答
今回調査（令和5年）n = (42)	76.2%	0.0%	2.4%	0.0%	7.1%	0.0%	11.9%	2.4%
前回結果（令和2年）n = (32)	78.1%	0.0%	9.4%	0.0%	3.1%	0.0%	9.4%	0.0%

【入所（入居）以前の住まい：認知症対応型共同生活介護（グループホーム）】

	自宅	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院	有料老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護	その他	無回答
今回調査（令和5年）n = (1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前回結果（令和2年）n = (17)	70.6%	0.0%	17.6%	0.0%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%

【入所（入居）以前の住まい：その他】

	自宅	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院	有料老人ホーム・ ケアハウス	認知症対応型 共同生活介護	その他	無回答
今回調査（令和5年） n = (15)	86.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%
前回結果（令和2年） n = (1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(11) 入所（入居）前の家族構成

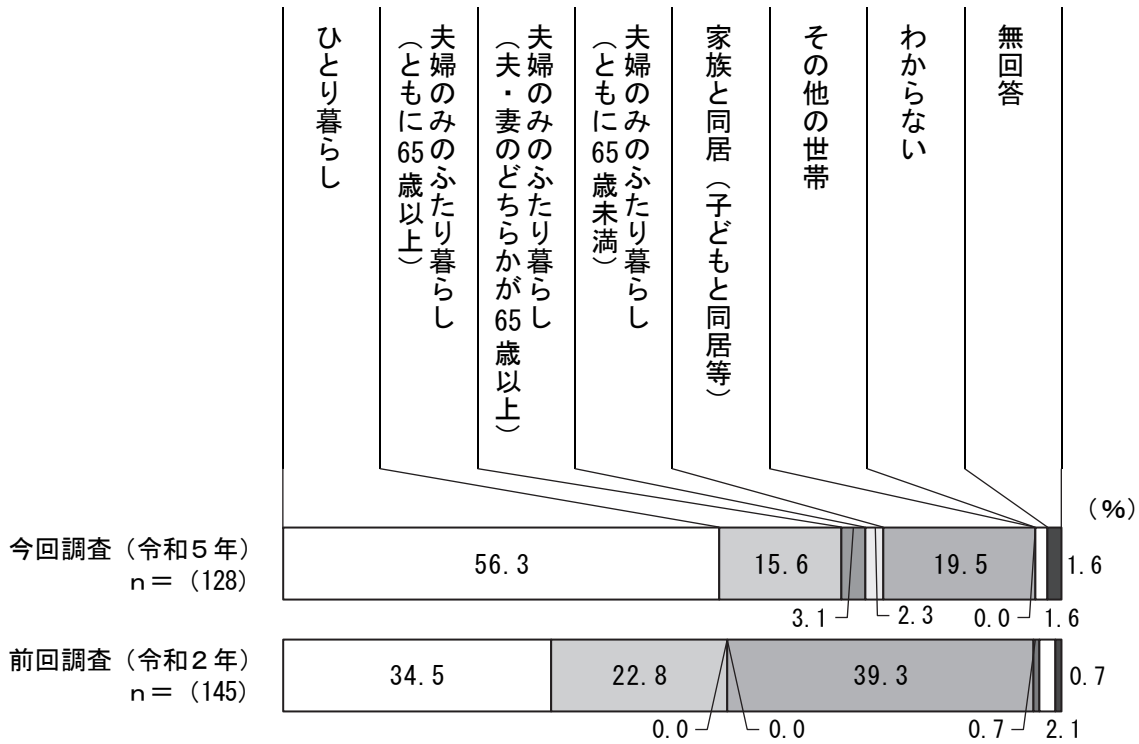
(8) 入所（入居）前の家族構成

入所（入居）前の家族構成は、「ひとり暮らし」が 56.3%で最も多く、次いで「家族と同居（子どもと同居等）」(19.5%)、「夫婦のみのふたり暮らし（ともに 65 歳以上）」(15.6%) 等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「ひとり暮らし」が 21.8 ポイント増加している一方、「家族と同居（子どもと同居等）」が 19.8 ポイント減少しています。

これを施設等の種類別にみると、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の「ひとり暮らし」が 11.6 ポイント増加している一方、「家族と同居（子どもと同居等）」が 13.1 ポイント減少しています。

【入所（入居）前の家族構成】



【入所（入居）前の家族構成：介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）】

	ひとり暮らし	夫婦のみのふたり暮らし (ともに65歳以上)	夫婦のみのふたり暮らし (夫・妻のどちらかが65歳以上)	夫婦のみのふたり暮らし (ともに65歳未満)	家族と同居(子どもと同居等)	その他の世帯	わからない	無回答
今回調査(令和5年) n = (66)	43.9%	16.7%	4.5%	3.0%	28.8%	0.0%	1.5%	1.5%
前回結果(令和2年) n = (62)	32.3%	22.6%	0.0%	0.0%	41.9%	0.0%	3.2%	0.0%

【入所（入居）前の家族構成：介護老人保健施設（老人保健施設）】

	ひとり暮らし	夫婦のみのふたり暮らし (ともに65歳以上)	夫婦のみのふたり暮らし (夫・妻のどちらかが65歳以上)	夫婦のみのふたり暮らし (ともに65歳未満)	家族と同居(子どもと同居等)	その他の世帯	わからない	無回答
今回調査(令和5年) n = (2)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前回結果(令和2年) n = (28)	32.1%	21.4%	0.0%	0.0%	42.9%	3.6%	0.0%	0.0%

【入所（入居）前の家族構成：有料老人ホーム・ケアハウス（特定施設）】

	ひとり暮らし	夫婦のみのふたり暮らし (ともに65歳以上)	夫婦のみのふたり暮らし (夫・妻のどちらかが65歳以上)	夫婦のみのふたり暮らし (ともに65歳未満)	家族と同居(子どもと同居等)	その他の世帯	わからない	無回答
今回調査(令和5年) n = (42)	69.0%	19.0%	2.4%	2.4%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
前回結果(令和2年) n = (32)	40.6%	21.9%	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%

【入所（入居）前の家族構成：認知症対応型共同生活介護（グループホーム）】

	ひとり暮らし	夫婦のみのふたり暮らし (ともに65歳以上)	夫婦のみのふたり暮らし (夫・妻のどちらかが65歳以上)	夫婦のみのふたり暮らし (ともに65歳未満)	家族と同居(子どもと同居等)	その他の世帯	わからない	無回答
今回調査(令和5年) n = (1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前回結果(令和2年) n = (17)	35.3%	29.4%	0.0%	0.0%	29.4%	0.0%	5.9%	0.0%

【入所（入居）前の家族構成：その他】

	ひとり暮らし	夫婦のみのふたり暮らし (ともに65歳以上)	夫婦のみのふたり暮らし (夫・妻のどちらかが65歳以上)	夫婦のみのふたり暮らし (ともに65歳未満)	家族と同居(子どもと同居等)	その他の世帯	わからない	無回答
今回調査(令和5年) n = (15)	73.3%	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	6.7%	0.0%
前回結果(令和2年) n = (1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(12) 現在の要介護度

(9) 現在の要介護度

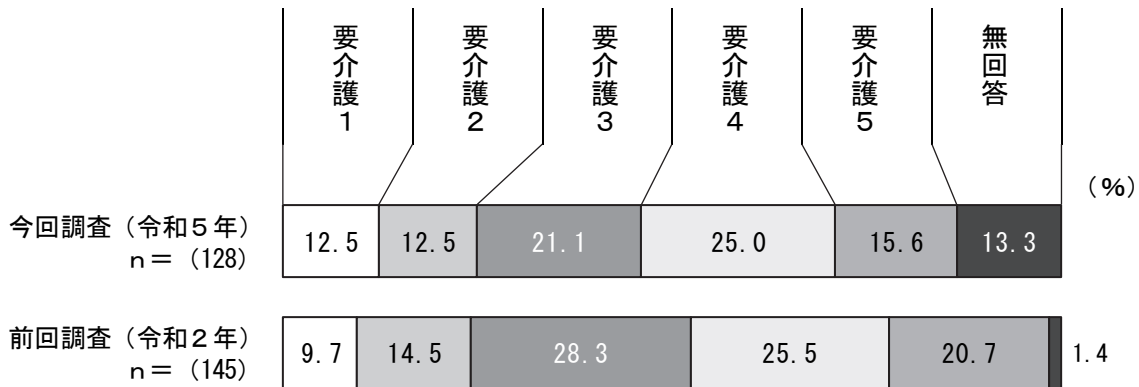
(※有効期間が満了している方で新しい結果が出ていない方は、有効期間満了時の介護度を記入)

要介護度は、「要介護4」が25.0%で最も多く、次いで「要介護3」(21.1%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「要介護3」が7.2ポイント、「要介護5」が5.1ポイント減少しています。

これを施設等の種類別にみると、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の「要介護4」が7.0ポイント増加している一方、「要介護5」が12.9ポイント減少しています。

【現在の要介護度】



【現在の要介護度：介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
今回調査 (令和5年) n = (66)	4.5%	3.0%	22.7%	40.9%	25.8%	3.0%
前回結果 (令和2年) n = (62)	0.0%	3.2%	24.2%	33.9%	38.7%	0.0%

【現在の要介護度：介護老人保健施設(老人保健施設)】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
今回調査 (令和5年) n = (2)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前回結果 (令和2年) n = (28)	7.1%	25.0%	32.1%	21.4%	14.3%	0.0%

【現在の要介護度：有料老人ホーム・ケアハウス（特定施設）】

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	無回答
今回調査（令和5年） n = (42)	16.7%	21.4%	16.7%	11.9%	7.1%	26.2%
前回結果（令和2年） n = (32)	25.0%	31.3%	25.0%	12.5%	3.1%	3.1%

【現在の要介護度：認知症対応型共同生活介護（グループホーム）】

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	無回答
今回調査（令和5年） n = (1)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前回結果（令和2年） n = (17)	23.5%	11.8%	35.3%	29.4%	0.0%	0.0%

【現在の要介護度：その他】

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	無回答
今回調査（令和5年） n = (15)	33.3%	20.0%	33.3%	0.0%	0.0%	13.3%
前回結果（令和2年） n = (1)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

2 施設等での生活

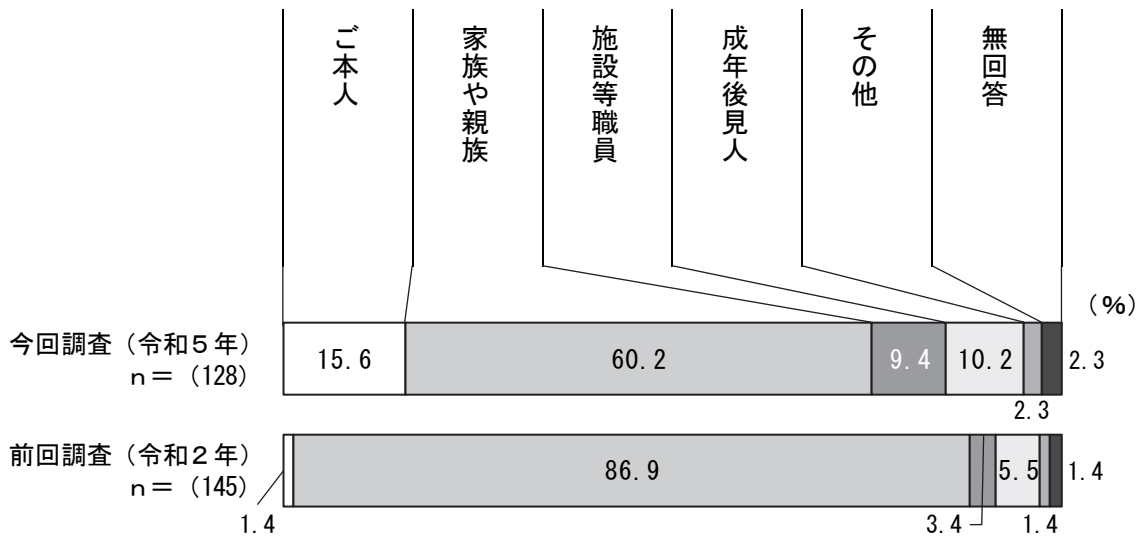
(1) 日常的な金銭管理

(1) 日常的な金銭管理・預貯金通帳等の管理は誰が行っていますか

日常的な金銭管理を行っているのは、「家族や親族」が60.2%で最も多く、次いで「ご本人」(15.6%)、「成年後見人」(10.2%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「ご本人」が14.2ポイント増加している一方、「家族や親族」は26.7ポイント減少しています。

【日常的な金銭管理】



- ※ 「ご本人」は前回調査では「自分で管理している」という選択肢
- ※ 「家族や親族」は前回調査では「家族や親族が管理している」という選択肢
- ※ 「施設等職員」は前回調査では「施設等職員が管理している」という選択肢

(2) 日頃の楽しみ

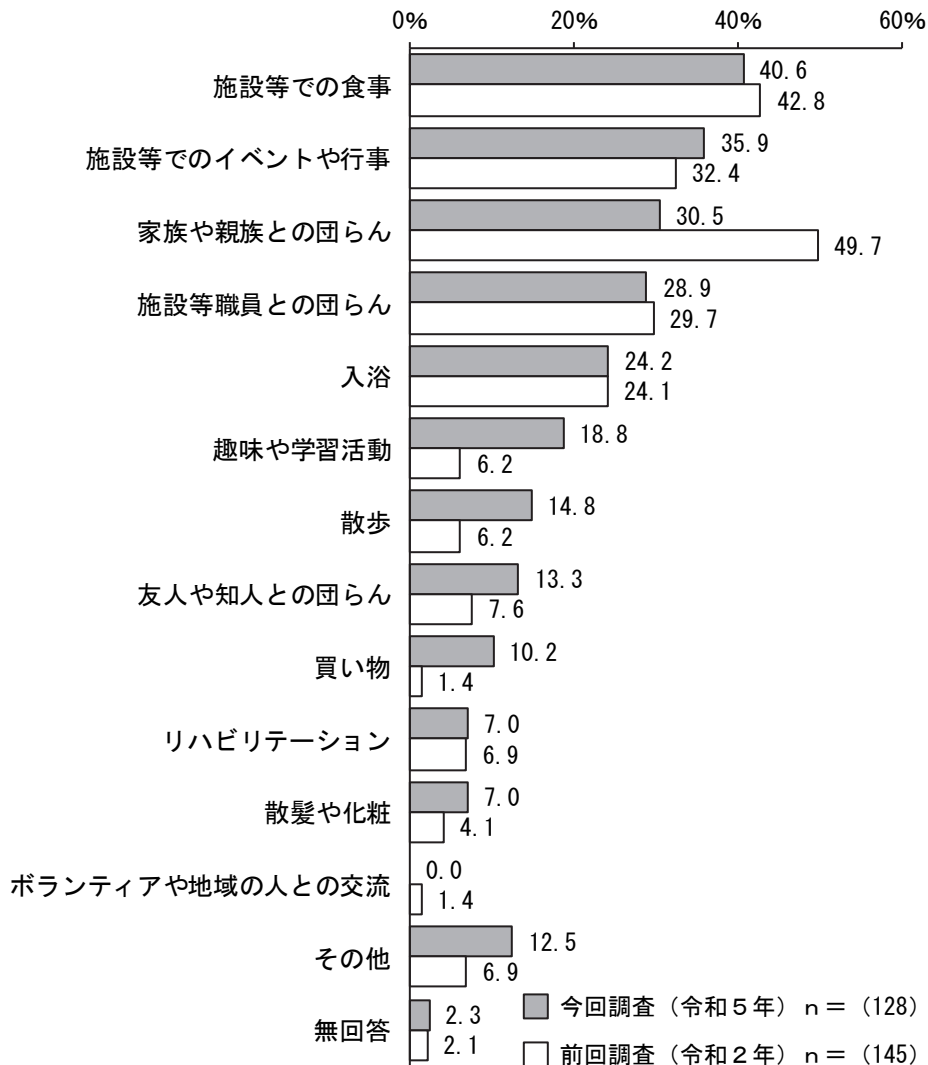
(2) 日頃楽しみにしていることを教えてください(3つまで選択可)

日頃楽しみにしていることとしては、「施設等での食事」が40.6%で最も多く、次いで「施設等でのイベントや行事」(35.9%)、「家族や親族との団らん」(30.5%)等が続いています。

また、「その他」の主な回答としては、「テレビ」、「読書」、「外食」等となっています。

前回の調査結果と比較すると、「趣味や学習活動」が12.6ポイント増加している一方、「家族や親族との団らん」は19.2ポイント減少しています。

【日頃の楽しみ】(複数回答)



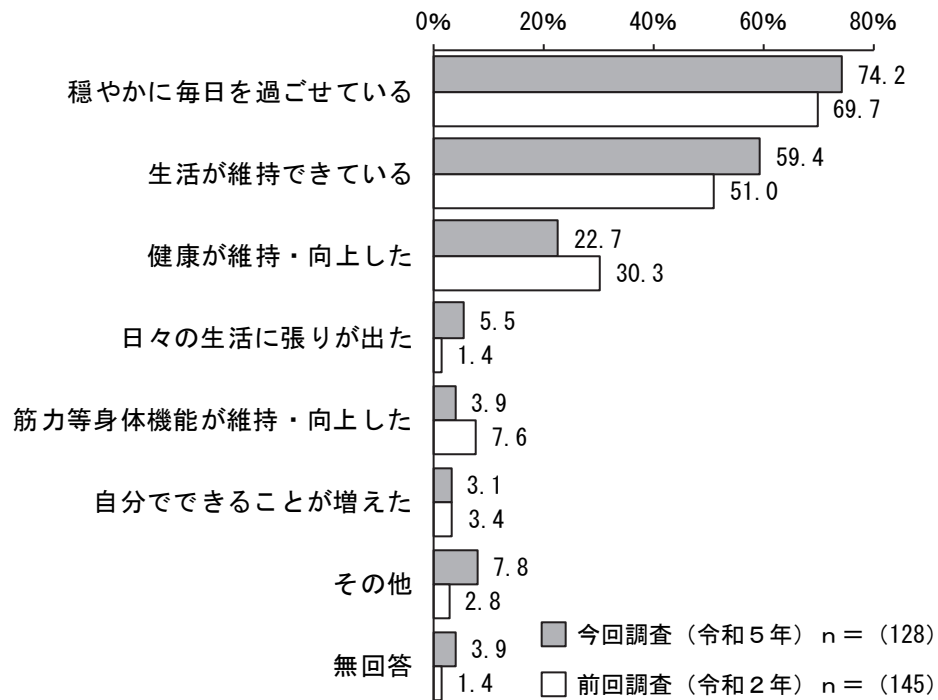
(3) 入所（入居）して良くなったと感じること

(3) 現在の施設等に入所（入居）してから、生活の中で良くなったと感じることはありますか（3つまで選択可）

施設等に入所（入居）して良くなったと感じることは、「穏やかに毎日を過ごせている」が74.2%で最も多く、次いで「生活が維持できている」（59.4%）等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「生活が維持できている」が8.4ポイント増加している一方、「健康が維持・向上した」は7.6ポイント減少しています。

【入所（入居）して良くなったと感じること】（複数回答）



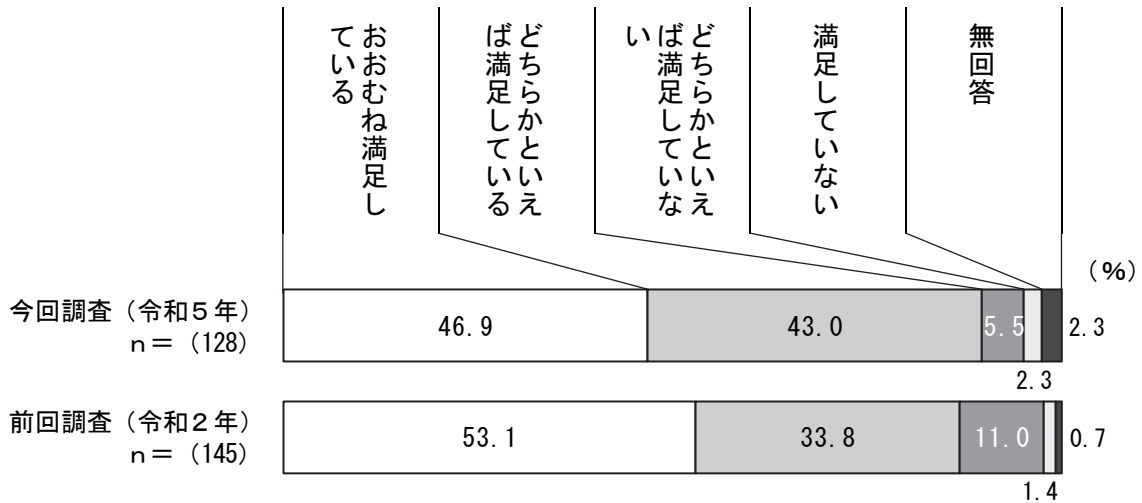
(4) 施設等での生活の満足度

(4) 現在の施設等での生活にどの程度満足していますか

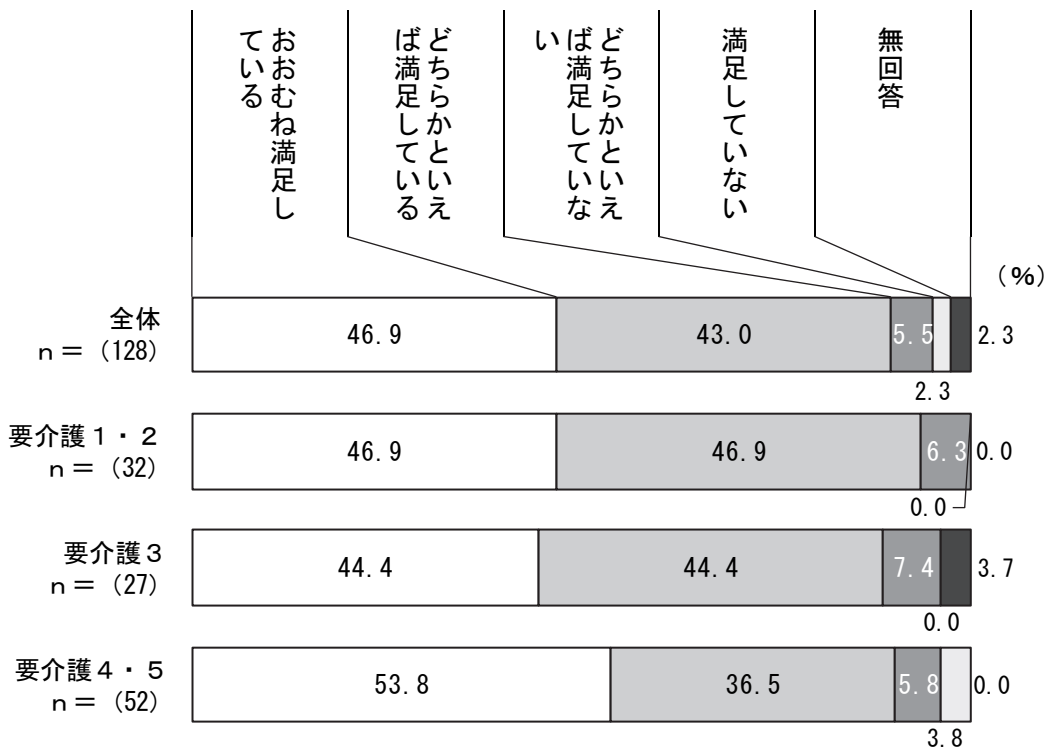
施設等での生活の満足度としては、「おおむね満足している」が46.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば満足している」(43.0%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「どちらかといえば満足している」が9.2ポイント増加しています。

【施設等での生活の満足度】



【施設等での生活の満足度：要介護度別】



(5) 最終的に暮らしたい場所

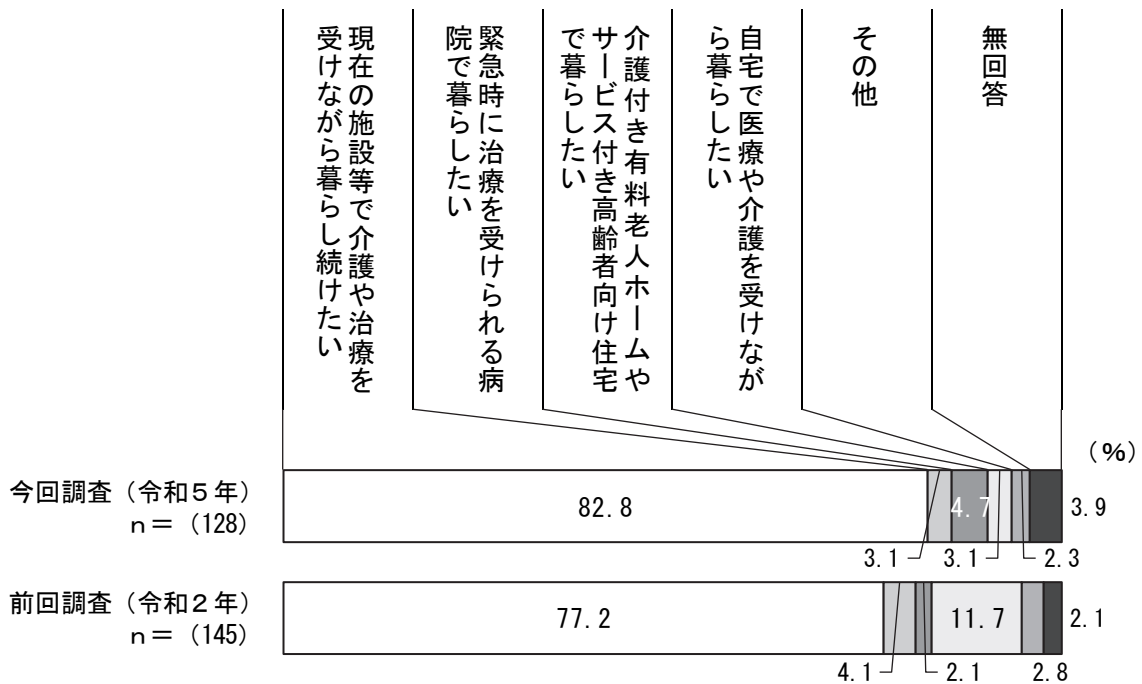
(5) 最終的に、どのような場所で暮らしたいですか

最終的に暮らしたい場所は、「現在の施設等で介護や治療を受けながら暮らし続けたい」が82.8%で最も多く、次いで「介護付き有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で暮らしたい」(4.7%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「現在の施設等で介護や治療を受けながら暮らし続けたい」が5.6ポイント増加している一方、「自宅で医療や介護を受けながら暮らしたい」は8.6ポイント減少しています。

これを施設の種類別にみると、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の「現在の施設等で介護や治療を受けながら暮らし続けたい」が3.7ポイント増加している一方、「自宅で医療や介護を受けながら暮らしたい」が6.6ポイント減少しています。

【最終的に暮らしたい場所】



【最終的に暮らしたい場所：介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）】

	現在の施設等で介護や治療を受けながら暮らし続けたい	緊急時に治療を受けられる病院で暮らしたい	介護付き有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で暮らしたい	自宅で医療や介護を受けながら暮らしたい	その他	無回答
今回調査（令和5年） n = (66)	92.4%	1.5%	0.0%	1.5%	3.0%	1.5%
前回結果（令和2年） n = (62)	88.7%	0.0%	0.0%	8.1%	3.2%	0.0%

【最終的に暮らしたい場所：介護老人保健施設（老人保健施設）】

	現在の施設等で介護や治療を受けながら暮らし続けたい	緊急時に治療を受けられる病院で暮らしたい	介護付き有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で暮らしたい	自宅で医療や介護を受けながら暮らしたい	その他	無回答
今回調査（令和5年） n = (2)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前回結果（令和2年） n = (28)	67.9%	3.6%	7.1%	14.3%	3.6%	3.6%

【最終的に暮らしたい場所：有料老人ホーム・ケアハウス（特定施設）】

	現在の施設等で介護や治療を受けながら暮らし続けたい	緊急時に治療を受けられる病院で暮らしたい	介護付き有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で暮らしたい	自宅で医療や介護を受けながら暮らしたい	その他	無回答
今回調査（令和5年） n = (42)	73.8%	4.8%	11.9%	4.8%	0.0%	4.8%
前回結果（令和2年） n = (32)	68.8%	3.1%	3.1%	18.8%	3.1%	3.1%

【最終的に暮らしたい場所：認知症対応型共同生活介護（グループホーム）】

	現在の施設等で介護や治療を受けながら暮らし続けたい	緊急時に治療を受けられる病院で暮らしたい	介護付き有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で暮らしたい	自宅で医療や介護を受けながら暮らしたい	その他	無回答
今回調査（令和5年）n = (1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
前回結果（令和2年）n = (17)	64.7%	23.5%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%

【最終的に暮らしたい場所：その他】

	現在の施設等で介護や治療を受けながら暮らし続けたい	緊急時に治療を受けられる病院で暮らしたい	介護付き有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で暮らしたい	自宅で医療や介護を受けながら暮らしたい	その他	無回答
今回調査（令和5年）n = (15)	66.7%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%
前回結果（令和2年）n = (1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

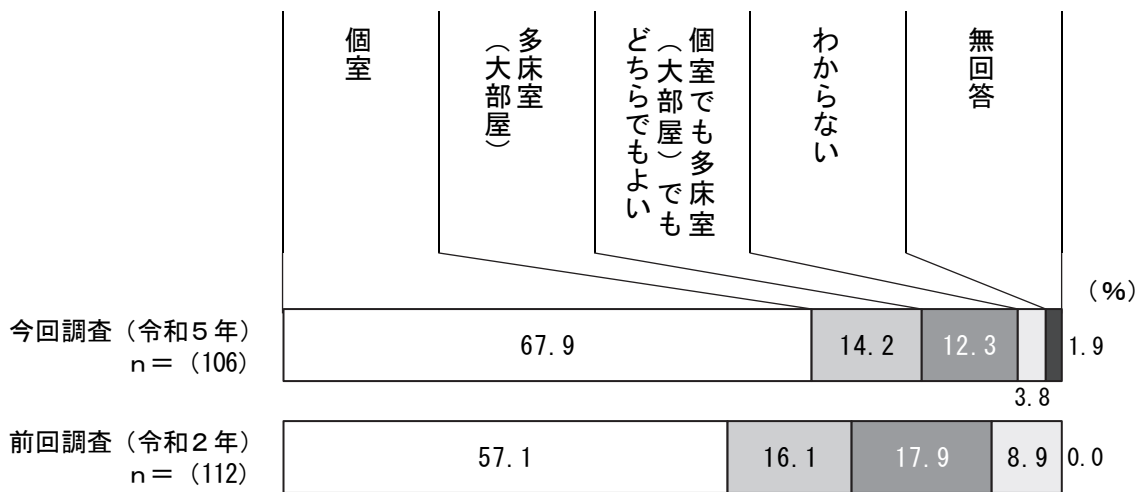
(6) 本人が希望する部屋の種類

【(5)で「現在の施設等で介護や治療を受けながら暮らし続けたい」を選択した方のみ】
 (5) - 1 今後も施設等で生活されることをご希望の場合、どのような部屋を希望しますか

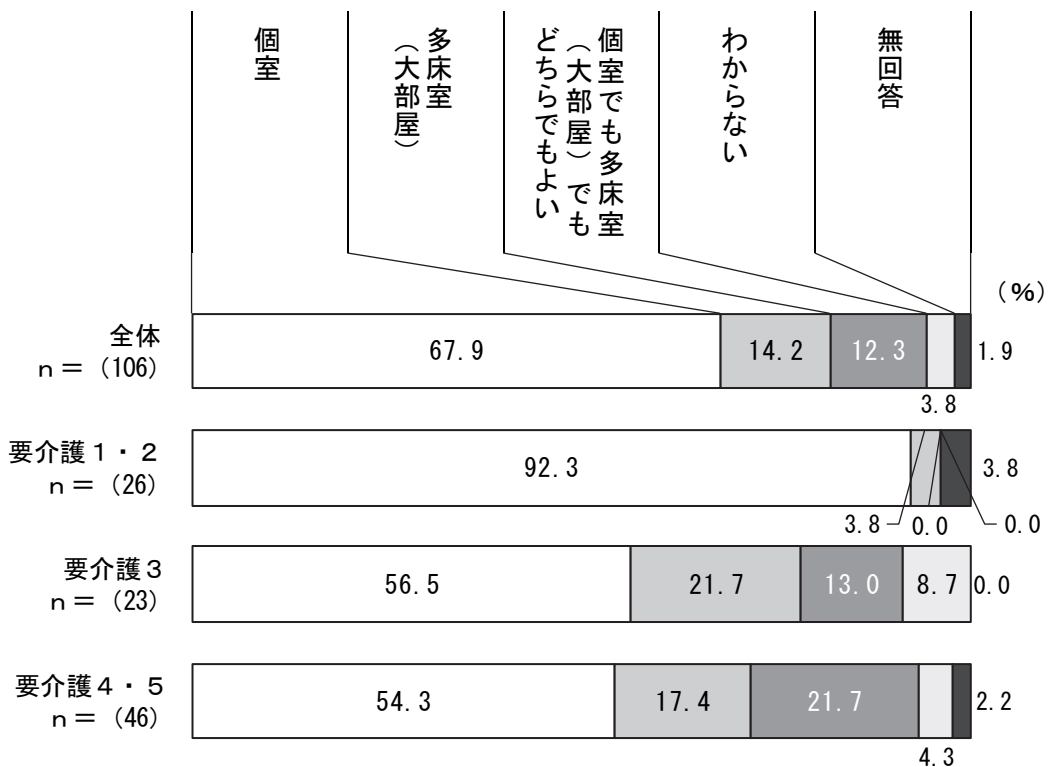
前の設問で、「現在の施設等で介護や治療を受けながら暮らし続けたい」と回答した方が希望する部屋の種類は、「個室」が67.9%で最も多く、次いで「多床室（大部屋）」(14.2%)、「個室でも多床室（大部屋）でもどちらでもよい」(12.3%)等となっています。

要介護度別にみると、要介護1・2で「個室」が92.3%と要介護3，要介護4・5より割合が高くなっています。

【本人が希望する部屋の種類】



【本人が希望する部屋の種類：要介護度別】



(7) 個室あるいは多床室（大部屋）を希望する理由

【(5) - 1で「個室」, 「多床室（大部屋）」を選択した方のみ】

(5) - 2 個室あるいは多床室（大部屋）を希望される理由があれば、ご自由にご記入ください

全体で、35件の回答がありました。内容ごとに整理し、概要を掲載します。

【個室を希望する理由】

気を遣いたくない、迷惑をかけたくないため

- ・気を遣う必要がないから。
- ・夜中に目を覚ますことが多く、個室がよいと思われる。
- ・家族間の会話が気兼ねなくできるため。

プライバシー確保のため

- ・他人の干渉を好まない。
- ・プライバシーが守られる。

現状のままだがよい

- ・完全に個室の施設なので、今後もこのままだがよい。
- ・入居時より個室であり、そのままだがよい。

自由に過ごしたい

- ・ひとりで自由に部屋を使えるため。
- ・個室は静かで、自分の自由がある。

【多床室（大部屋）を希望する理由】

経済的な理由から

- ・金額的に安くなるので。
- ・費用負担が安くなるから。
- ・経済的な理由のため。

一人になりたくない、人と話ができるから

- ・一人ではないので、寂しくないから安心。
- ・他の入居者との会話ができる。
- ・人が好きなので、誰かと一緒にいると楽しい。

3 施設等サービスで大切なこと

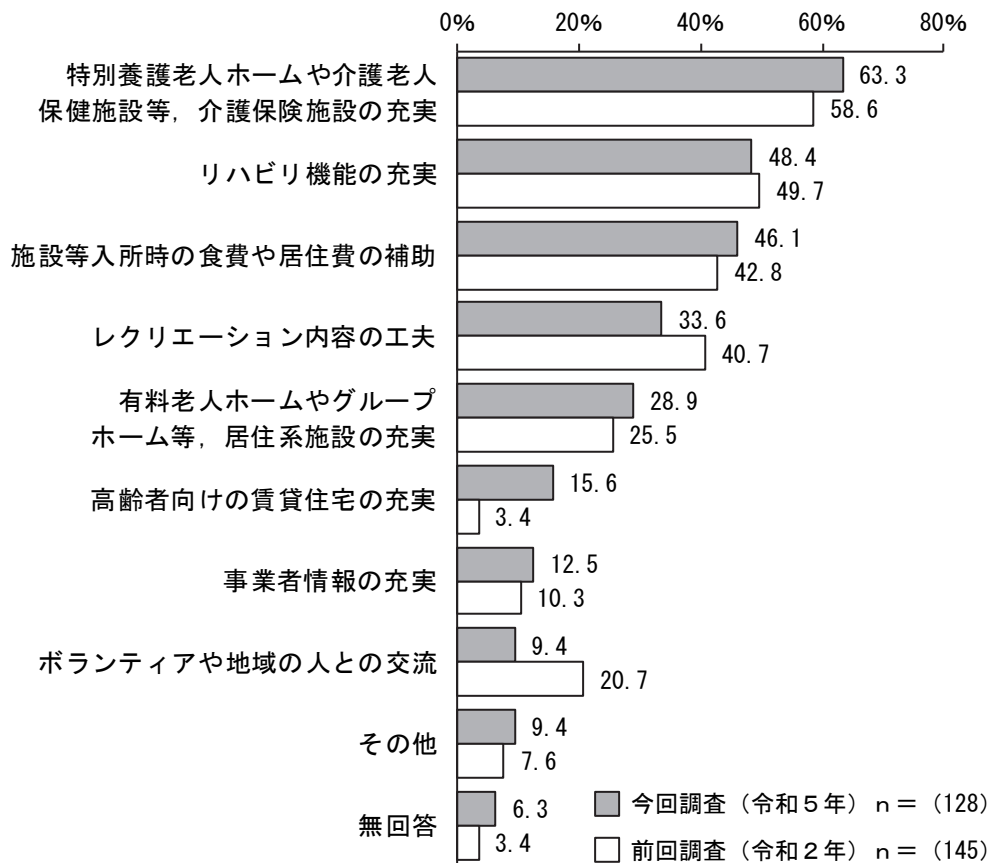
(1) 施設等サービスで大切なこと

(1) 施設等サービスで、特に大切だと思うものはどれですか（5つまで選択可）

施設等サービスで特に大切だと思うものは、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設等、介護保険施設の充実」が63.3%で最も多く、次いで「リハビリ機能の充実」(48.4%)、「施設等入所時の食費や居住費の補助」(46.1%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「高齢者向けの賃貸住宅の充実」が12.2ポイント増加している一方、「ボランティアや地域の人との交流」は11.3ポイント減少しています。

【施設等サービスで大切なこと】（複数回答）



4 意見・要望

(1) 意見・要望

(1) 施設等での生活の質を向上させるために必要なこと等、ご意見・ご要望等がありましたらご自由にご記入ください

全体で、49件の意見・要望がありました。内容ごとに整理し、概要を掲載します。

職員の配置・待遇・能力に関すること

- ・施設内で働く従業員の安定と確保が、大切である。
- ・介護従業者の雇用待遇改善。
- ・施設職員の業務知識と介護スキルの向上。夜間対応の充実、夜間の要員強化。

施設の設備・運営に関すること

- ・排泄時等におけるナースコール機能の充実（呼んでも来ない）。

生活支援に関すること

- ・お風呂が週2回は少ないと思う。
- ・外出が自由であってほしい。
- ・食事がおいしくない。

健康・医療・リハビリに関すること

- ・軽費A型で、若年性アルツハイマーに近い人などが多くなり、大変なことが多くなってきている。
- ・飲み物が飲めるようなリハビリをしてほしい。
- ・車いすから転げ落ちてケガをすることが多い。リハビリが足りない。

新型コロナウイルス感染症の影響に関すること

- ・現在のコロナ禍の状況で、面会、外出が厳しく制限されており、早くこの状況が改善されないと、施設での生活が益々さみしいものになってしまう。
- ・コロナのためにリハビリなどが、ずいぶん削られてた。再開してほしい。
- ・コロナ中は面会禁止が3年続きメンタルが心配。散歩程度はしてほしい。

レクリエーション等に関すること

- ・デイサービスのようなレクリエーションや菜園などあるとよい。
- ・本人の反応が弱くても、レクリエーションや散歩は刺激として欲しい。また、簡単な作業にも参加して、「役に立っている」という実感を得たい。
- ・施設での楽しみはレクリエーションと食事(おやつ)なので、充実していると生活の質も向上すると思う。

その他

- ・ご本人に寄り添った意思決定支援をしてほしい。
- ・集団生活の中でも、できるだけ1人1人に目を向けることが大切だと思う。
- ・障害者が高齢になった時は、優先的に入所順位づけをお願いしたい。

5 家族の状況

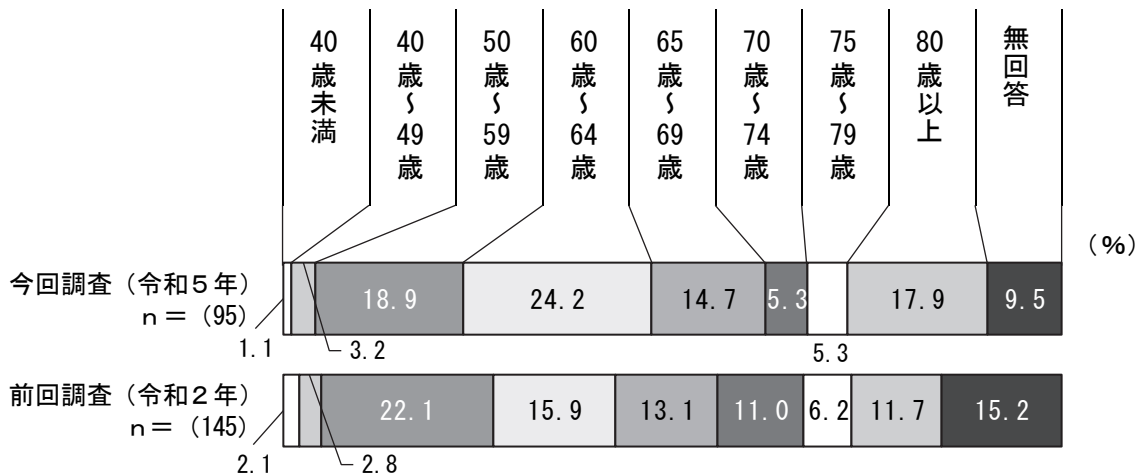
※ 「5 家族の状況」については、前回調査と今回調査では集計方法が異なります。（前回調査では、ご家族のいない方、遠方にお住まいのため回答できない方についても「無回答」として集計しています。）

（1）家族の年齢

（1）年齢

家族の年齢は、「60歳～64歳」が24.2%で最も多く、次いで「50歳～59歳」（18.9%）、「80歳以上」（17.9%）等が続いています。

【家族の年齢】

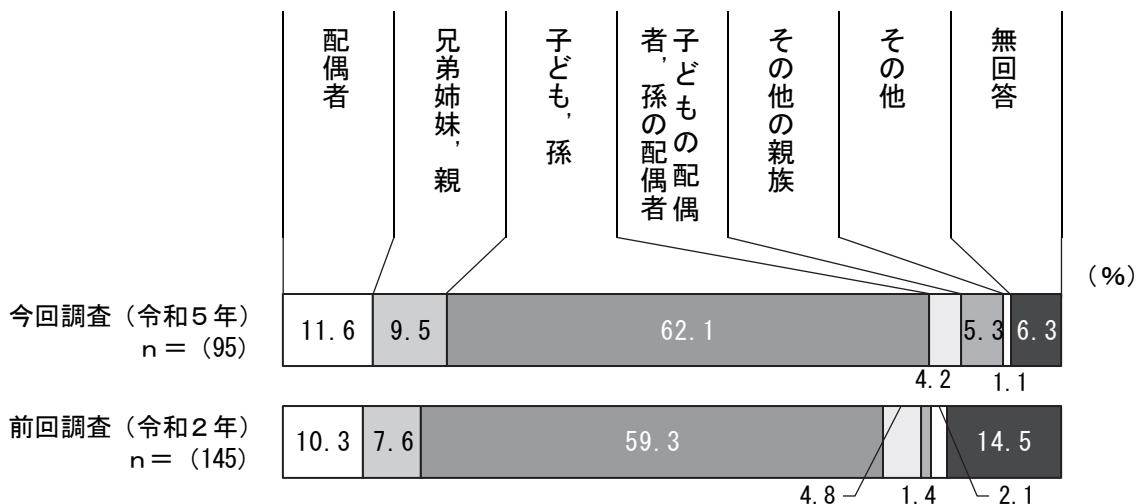


（2）本人からみた続柄

（2）ご本人からみた続柄

本人からみた続柄は、「子ども、孫」が62.1%で最も多く、次いで「配偶者」（11.6%）等が続いています。

【本人からみた続柄】

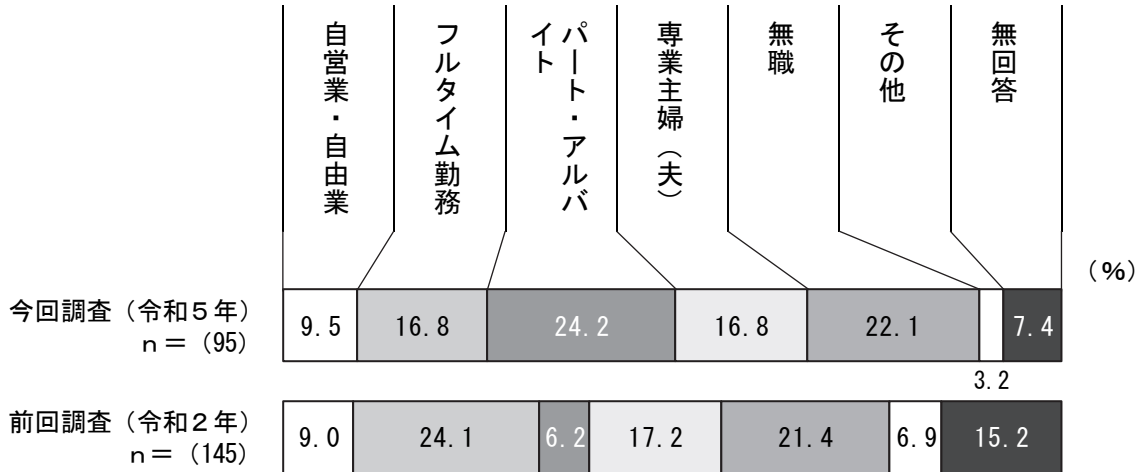


(3) 家族の職業

(3) 職業

家族の職業は、「パート・アルバイト」が24.2%で最も多く、次いで「無職」(22.1%)等が続いています。

【家族の職業】

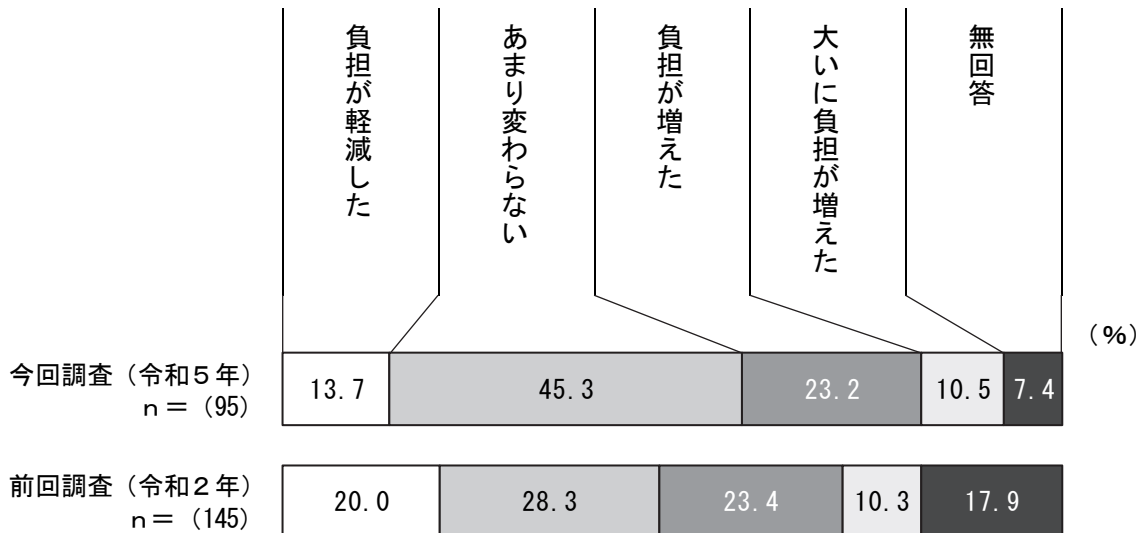


(4) 経済的な負担の変化

(4) 介護サービスを利用することで、経済的な負担は怎么样了か

介護サービスを利用することでの経済的な負担については、「あまり変わらない」が45.3%で最も多く、次いで「負担が増えた」(23.2%)等が続いています。

【経済的な負担の変化】

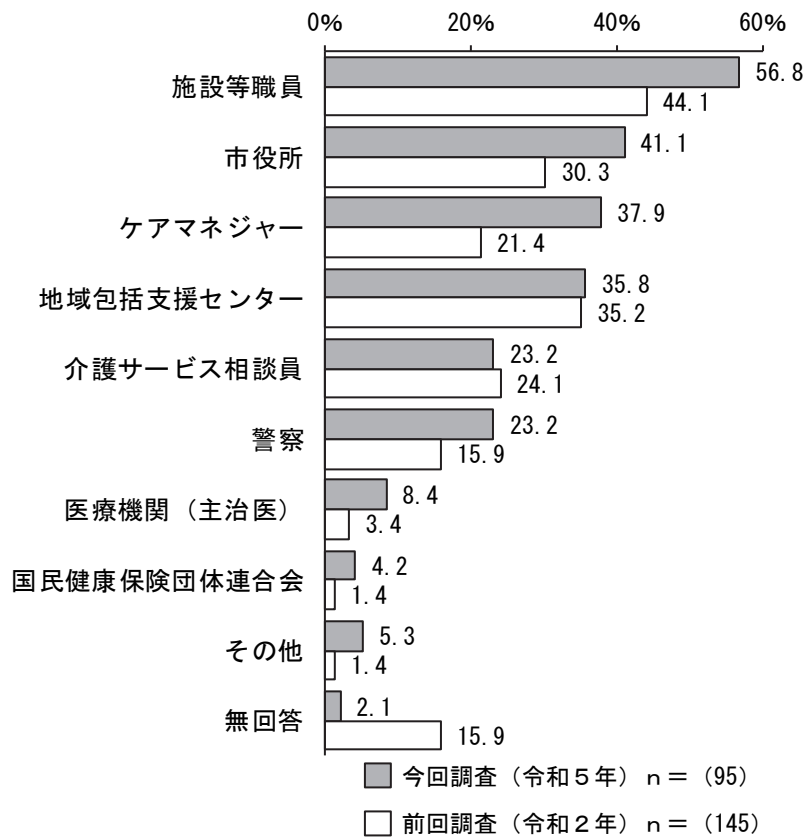


(5) 虐待を受けた場合の連絡先

(5) ご本人が施設等で不適切な介護や虐待を受けた場合、通報（相談・連絡）をしたらどこに連絡をしますか（あてはまるものすべてに○）

施設等で不適切な介護や虐待を受けた場合の連絡先は、「施設等職員」が 56.8%で最も多く、次いで「市役所」(41.1%)、「ケアマネジャー」(37.9%)、「地域包括支援センター」(35.8%)等が続いています。

【虐待を受けた場合の連絡先】（複数回答）



※ 「介護サービス相談員」は前回調査では「介護相談員」という選択肢

第5章 介護保険事業者調査

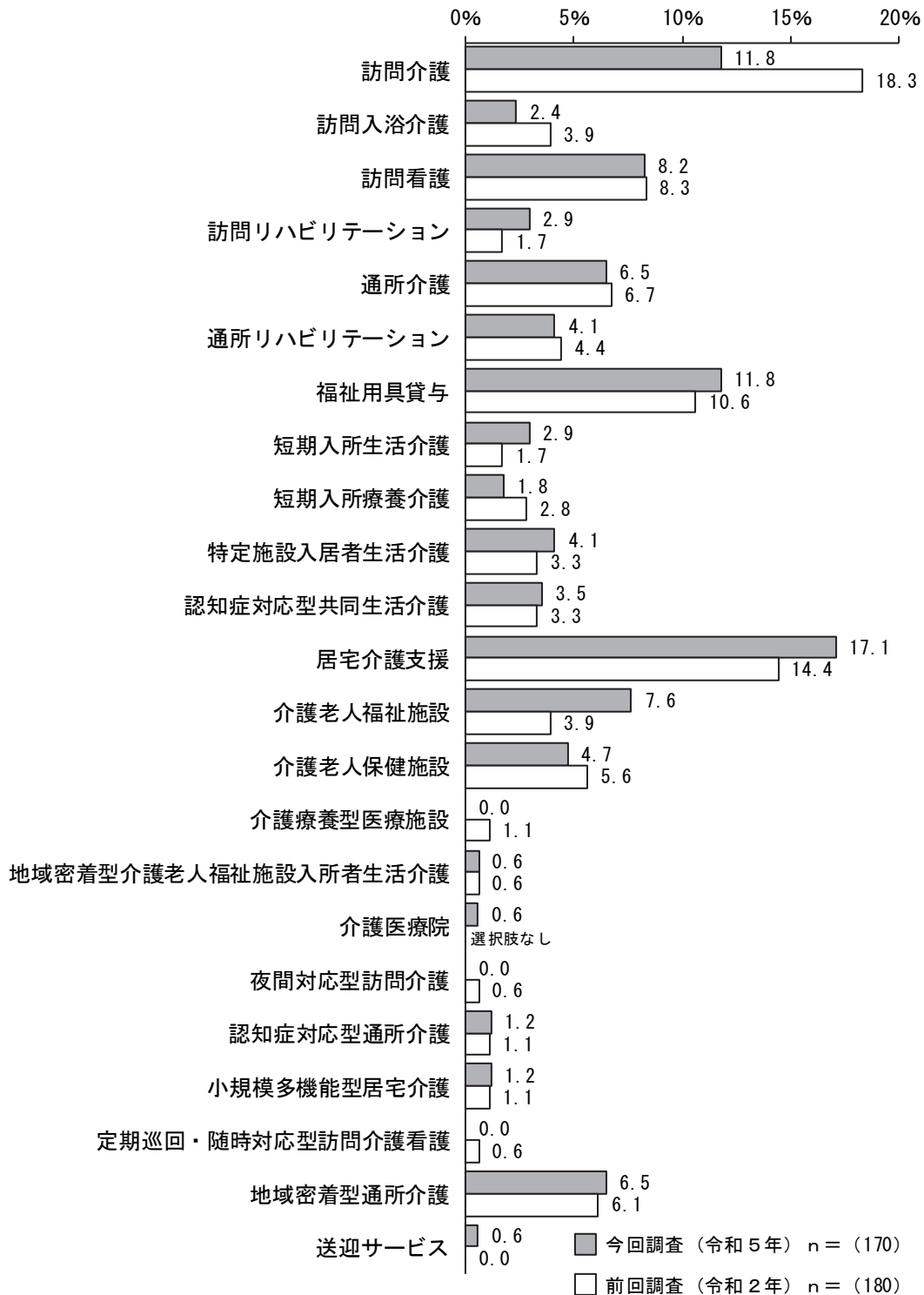
1 回答事業所の概要

(1) 事業種別

回答のあった170事業所の内訳は、「居宅介護支援」が17.1%で最も多く、次いで「訪問介護」、
「福祉用具貸与」（各11.8%）等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「訪問介護」が6.5ポイント減少している一方、「介護老人福祉施設」が3.7ポイント増加しています。

【事業種別】



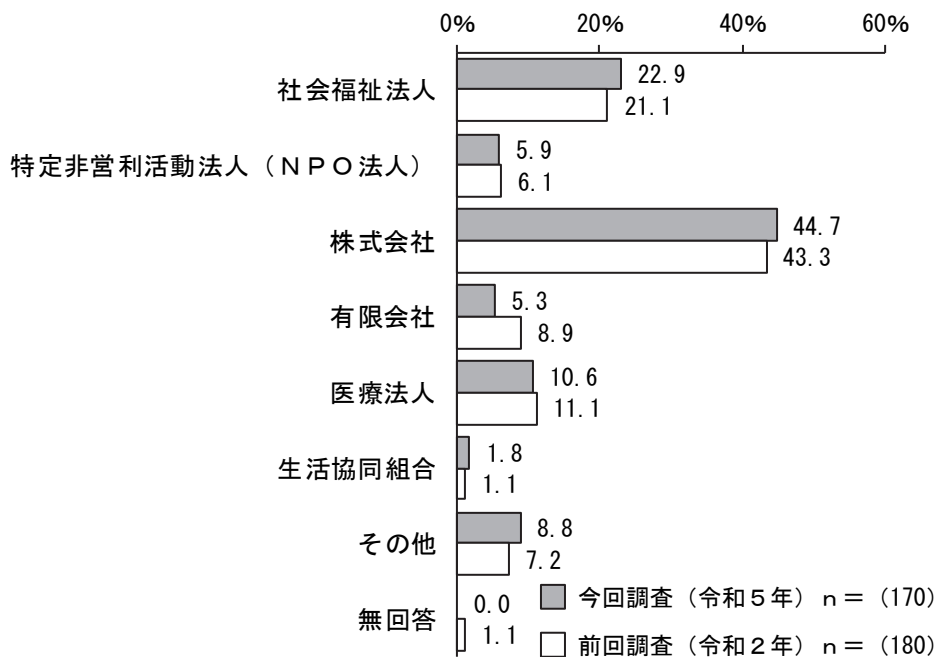
問1 事業所の概要について教えてください

(2) 法人格の種類

事業所の法人格の種類は、「株式会社」が44.7%で最も多く、次いで「社会福祉法人」(22.9%)、「医療法人」(10.6%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「社会福祉法人」、「株式会社」、「生活協同組合」がやや増加している一方、「有限会社」の割合が減少しています。

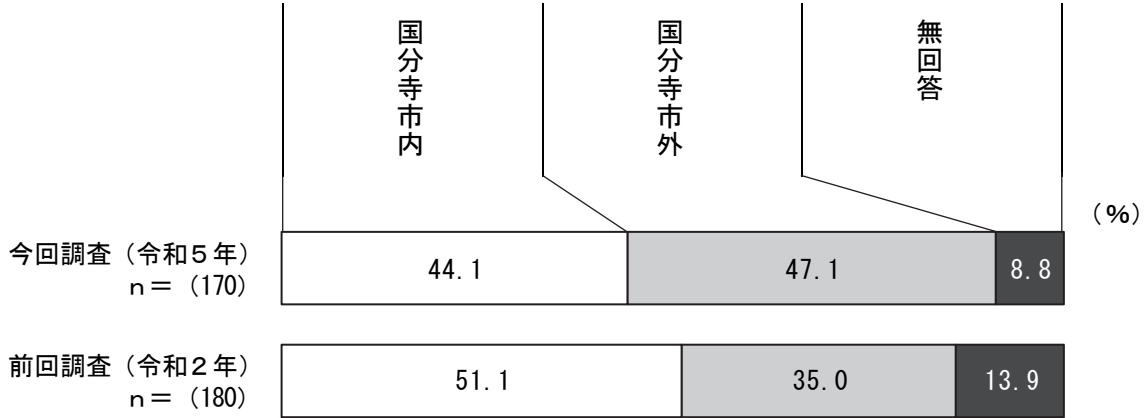
【法人格の種類】



(3) 事業所の所在地

事業所の所在地は、「国分寺市内」が44.1%、「国分寺市外」が47.1%となっています。前回の調査結果と比較すると、「国分寺市外」が12.1ポイント増加しています。

【事業所の所在地】



【事業所の所在地：事業種別】

	(件)		(%)	
	回答数	国分寺市内	国分寺市外	無回答
訪問介護	20	40.0	40.0	20.0
訪問入浴介護	4	25.0	75.0	0.0
訪問看護	14	35.7	42.9	21.4
訪問リハビリテーション	5	40.0	40.0	20.0
通所介護	11	36.4	63.6	0.0
通所リハビリテーション	7	14.3	71.4	14.3
福祉用具貸与	20	10.0	85.0	5.0
短期入所生活介護	5	60.0	40.0	0.0
短期入所療養介護	3	33.3	66.7	0.0
特定施設入居者生活介護	7	57.1	14.3	28.6
認知症対応型共同生活介護	6	100.0	0.0	0.0
居宅介護支援	29	69.0	31.0	0.0
介護老人福祉施設	13	23.1	76.9	0.0
介護老人保健施設	8	12.5	75.0	12.5
介護療養型医療施設	0	0.0	0.0	0.0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	100.0	0.0	0.0
介護医療院	1	0.0	100.0	0.0
夜間対応型訪問介護	0	0.0	0.0	0.0
認知症対応型通所介護	2	100.0	0.0	0.0
小規模多機能型居宅介護	2	50.0	50.0	0.0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0.0	0.0	0.0
地域密着型通所介護	11	81.8	0.0	18.2
送迎サービス	1	100.0	0.0	0.0
全体	170	44.1	47.1	8.8

(4) 職員体制

職員体制をみると、常勤労働者は、1事業所平均で正規職員 15.0 人、正規職員以外 3.5 人となっています。

短時間労働者は、1事業所平均で正規職員 2.3 人、正規職員以外 5.1 人となっています。

登録ヘルパーは、1事業所平均で正規職員 2.9 人、正規職員以外 9.1 人となっています。

【職員体制】

		正規職員	正規職員以外 (※4)
※1 労働者 (常勤)	人数計	2,534 人	599 人
	回答数	169 事業所	169 事業所
	平均	15.0 人	3.5 人
※2 労働者 (短時間)	人数計	385 人	858 人
	回答数	169 事業所	169 事業所
	平均	2.3 人	5.1 人
※3 ヘルパー (登録)	人数計	57 人	181 人
	回答数	20 事業所	20 事業所
	平均	2.9 人	9.1 人

※1 常勤労働者：事業所の定める所定労働時間をすべて勤務する方

※2 短時間労働者：1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が、常勤労働者より少ない方（登録ヘルパーを除く）

※3 登録ヘルパー：働くことができる時間を事業所に登録しておき、本人の都合の良い時だけ勤務する方（訪問介護事業所のみ）

※4 正規職員以外：「派遣・契約・臨時・パートタイム」職員等の方

(5) 正規職員の勤務年数

正規職員の勤務年数をみると、「3年以上」が 70.2%で最も多く、次いで「1～3年未満」(18.1%)、「1年未満」(11.7%)となっています。

前回の調査結果と比較すると、「1年未満」が 1.7 ポイント減少している一方、「3年以上」が 1.6 ポイント増加しています。

【正規職員の勤務年数】

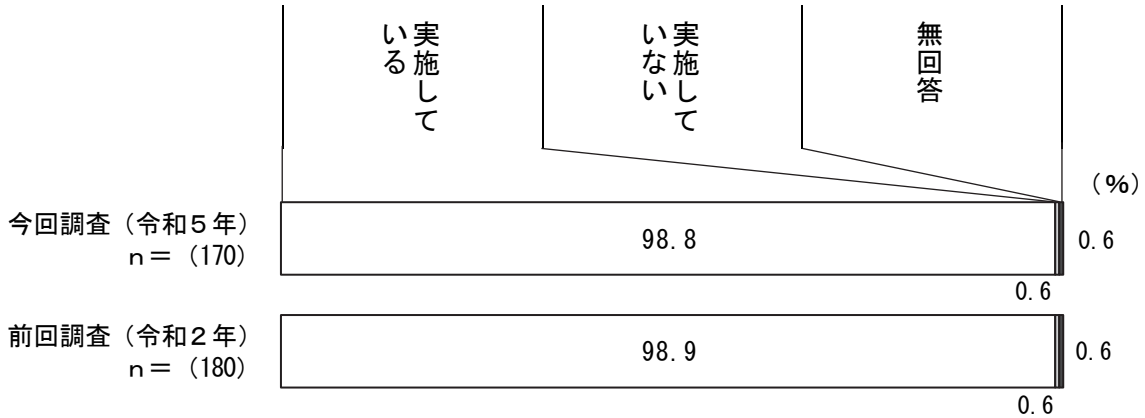
	1年未満	1～3年未満	3年以上	合計
人数計	317 人	489 人	1,902 人	2,708 人
構成比	11.7%	18.1%	70.2%	100.0%
構成比（前回）	13.4%	18.0%	68.6%	100.0%

(6) 定期健康診断の実施状況

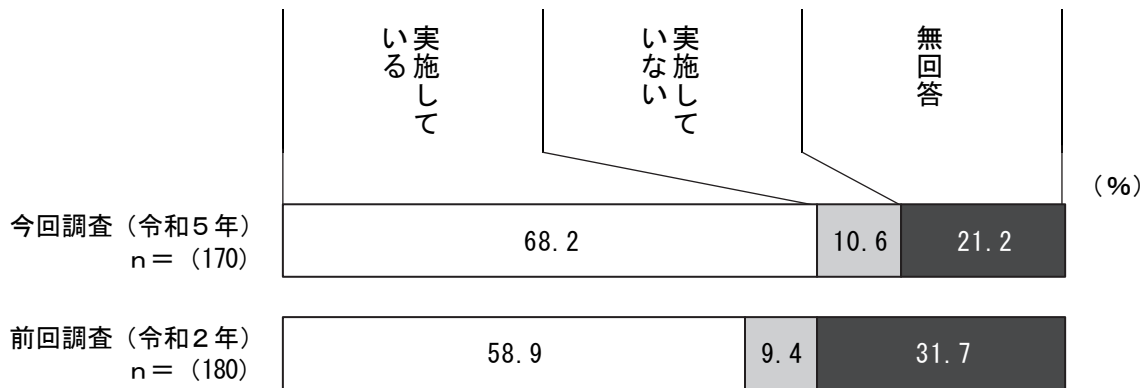
定期健康診断を「実施している」割合は、常勤労働者が 98.8%、短時間労働者が 68.2%、登録ヘルパーが 10.6%となっています。

前回の調査結果と比較すると、短時間労働者で「実施している」割合が 9.3ポイント増加しています。

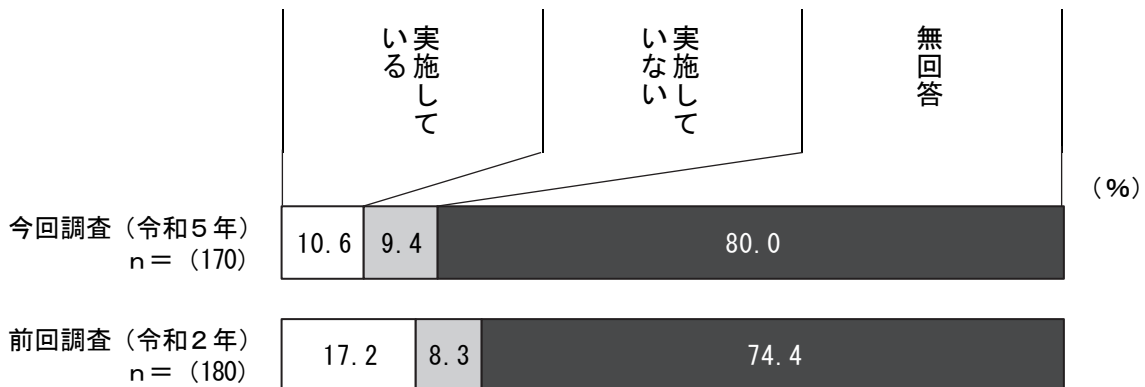
【定期健康診断の実施状況：常勤労働者】



【定期健康診断の実施状況：短時間労働者】



【定期健康診断の実施状況：登録ヘルパー（訪問介護事業所のみ）】



(7) 採用・離職人数

問2 令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）中に採用した人数，離職した人数を教えてください

令和3年度の採用人数と離職人数をみると，正規職員の合計は常勤労働者，短時間労働者ともに採用人数のほうが離職人数を上回っています。

1事業所あたりの平均採用人数は，常勤労働者の正規職員が2.0人，正規職員以外が0.7人，短時間労働者の正規職員が0.4人，正規職員以外が1.2人になっています。

また，1事業所あたりの平均離職人数は，常勤労働者の正規職員が1.7人，正規職員以外が0.5人，短時間労働者の正規職員が0.3人，正規職員以外が1.0人となっています。

【令和3年度採用人数】

		正規職員	正規職員以外
労働者 常勤	人数計	326人	109人
	回答数	164事業所	164事業所
	平均	2.0人	0.7人
労働者 短時間	人数計	62人	194人
	回答数	164事業所	164事業所
	平均	0.4人	1.2人

【令和3年度離職人数】

		正規職員	正規職員以外
労働者 常勤	人数計	278人	80人
	回答数	164事業所	164事業所
	平均	1.7人	0.5人
労働者 短時間	人数計	47人	172人
	回答数	164事業所	164事業所
	平均	0.3人	1.0人

2 利用者の人権の擁護

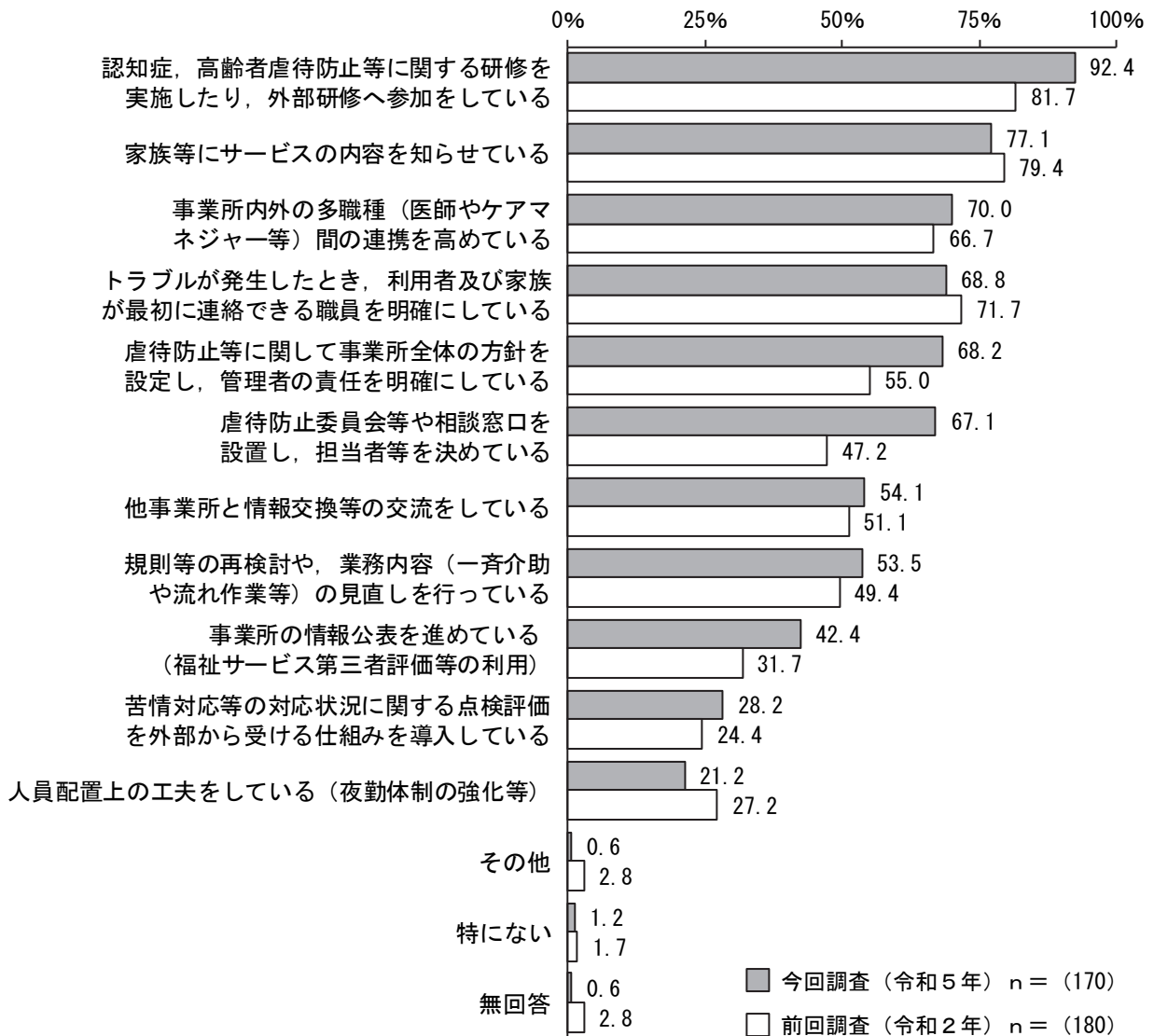
(1) 利用者の人権を擁護するために講じている取組

問3 貴事業所において、利用者の意思や尊厳の尊重、事業所内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか
(あてはまるものすべてに○)

利用者の人権擁護のために講じている取組内容は、「認知症、高齢者虐待防止等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている」が92.4%で最も多く、次いで「家族等にサービスの内容を知らせている」(77.1%)、「事業所内外の多職種(医師やケアマネジャー等)間の連携を高めている」(70.0%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、特に「虐待防止委員会等や相談窓口を設置し、担当者等を決めている」が19.9ポイント増加しています。

【利用者の人権を擁護するために講じている取組】(複数回答)



3 事故防止，感染予防の取組

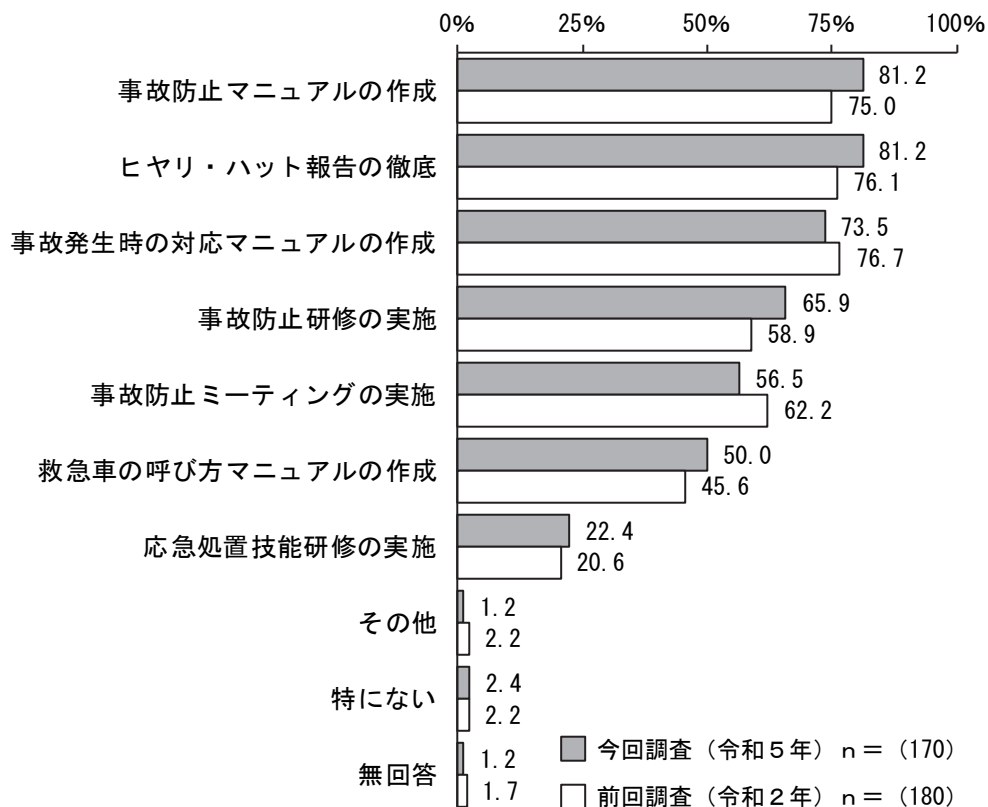
(1) 事故防止のための取組

問4 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「事故（例：転倒・誤嚥等）」について、貴事業所で事故防止や、事故を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

事故防止のための取組は、「事故防止マニュアルの作成」、「ヒヤリ・ハット報告の徹底」がそれぞれ 81.2%で最も多く、次いで「事故発生時の対応マニュアルの作成」（73.5%）、「事故防止研修の実施」（65.9%）等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「事故防止マニュアルの作成」は 6.2 ポイント増加している一方、「事故防止ミーティングの実施」は 5.7 ポイント減少しています。

【事故防止のための取組】（複数回答）



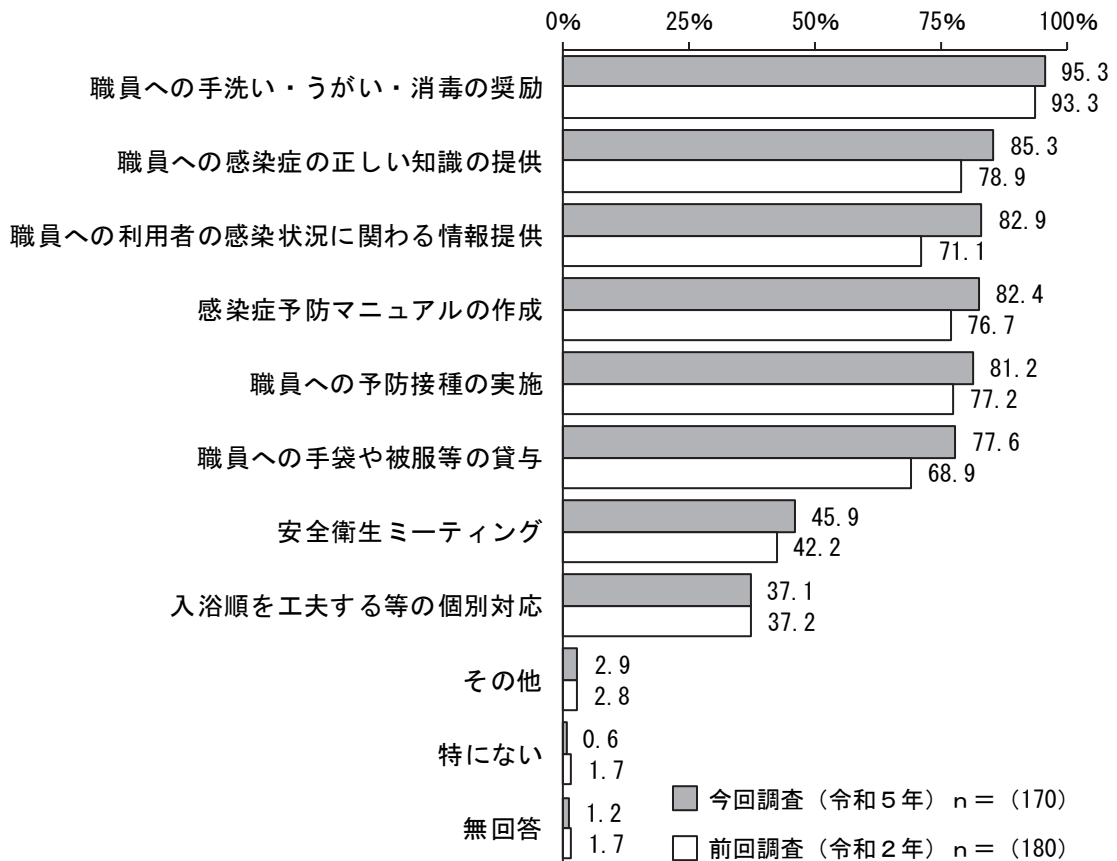
(2) 感染症の伝播に対する予防策

問5 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「感染症の伝播」(職員から利用者, 利用者から利用者, 来訪者等の部外者から利用者)について, 貴事業所で講じている予防策にはどのようなものがありますか(あてはまるものすべてに○)

感染症の伝播に対する予防策は, 「職員への手洗い・うがい・消毒の奨励」が 95.3%で最も多く, 次いで「職員への感染症の正しい知識の提供」(85.3%), 「職員への利用者の感染状況に関わる情報提供」(82.9%), 「感染症予防マニュアルの作成」(82.4%) 等が続いています。

前回の調査結果と比較すると, ほぼ全ての予防策で, 講じられている割合が増加しており, 特に「職員への利用者の感染状況に関わる情報提供」は 11.8 ポイント増加しています。

【感染症の伝播に対する予防策】(複数回答)



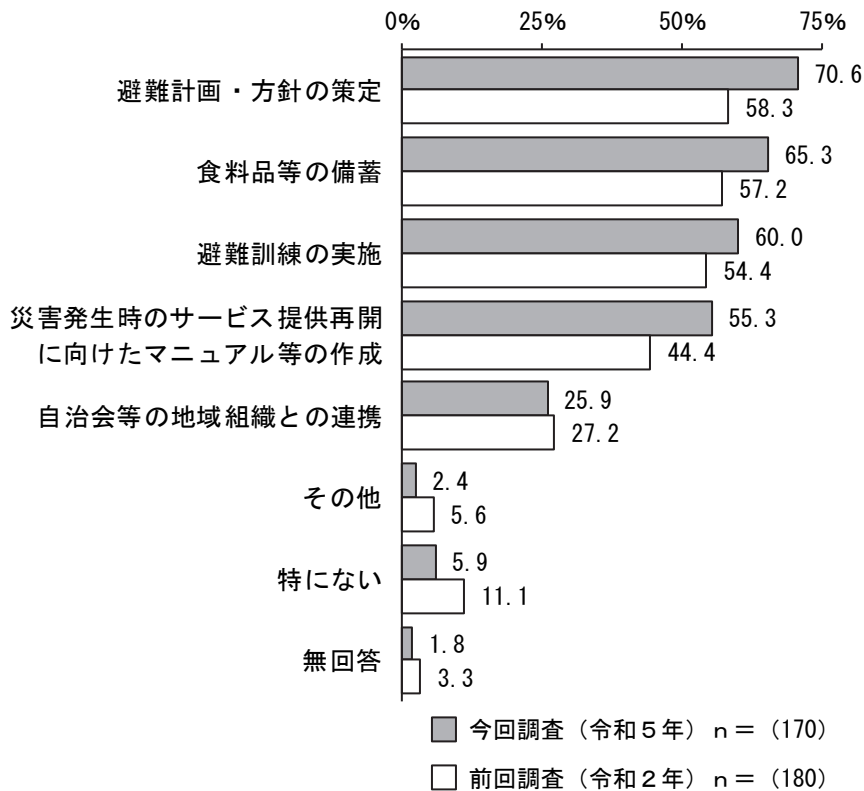
(3) 大規模災害の被害を最小限に止めるための取組

問6 今後起こり得る「大規模災害（例：地震・台風等）」について、貴事業所で被害を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか
（あてはまるものすべてに○）

大規模災害の被害を最小限に止めるための取組は、「避難計画・方針の策定」が70.6%で最も多く、次いで「食料品等の備蓄」(65.3%)、「避難訓練の実施」(60.0%)等が続いています。一方、「特にない」は5.9%となっています。

前回の調査結果と比較すると、「避難計画・方針の策定」は12.3ポイント増加している一方、「特にない」は5.2ポイント減少しています。

【大規模災害の被害を最小限に止めるための取組】（複数回答）



4 利用者からの苦情・相談内容とその対応

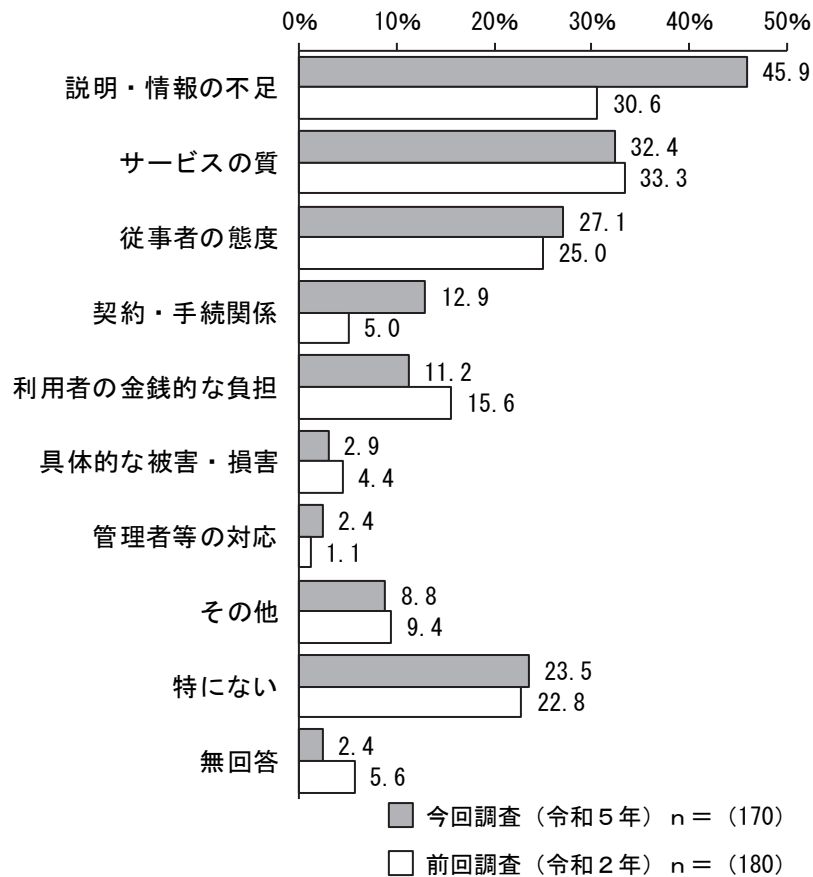
(1) 利用者やその家族からの苦情・相談内容

問7 利用者やその家族から、どのような苦情や相談が多いですか（3つまで選択可）

利用者やその家族からの苦情・相談内容は、「説明・情報の不足」が45.9%で最も多く、次いで「サービスの質」(32.4%)、「従事者の態度」(27.1%)等が続いています。一方、「特にない」は23.5%となっています。

前回の調査結果と比較すると、「説明・情報の不足」が15.3ポイント増加し、「利用者の金銭的な負担」が4.4ポイント減少しています。

【利用者やその家族からの苦情・相談内容】（複数回答）



(2) 苦情や相談の対応体制の有無

問8 苦情や相談の対応体制について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

苦情や相談の対応体制が「ある」をみると、(1) 苦情相談窓口が 96.5%で最も多く、次いで(2) 担当者の配置 (95.9%)、(5) 職員間で共通認識を持つ機会 (93.5%) 等が続いています。また、(7) 「その他」がある場合の回答は、「検討会議」、「制度の勉強会」、「発生時のワークショップ」となっています。

前回の調査結果と比較すると、(4) 苦情相談記録簿以外の項目において「ある」が増加しています。

【(1) 苦情相談窓口】

	ある	ない	無回答
今回調査 (令和5年) n = (170)	96.5%	2.9%	0.6%
前回調査 (令和2年) n = (180)	95.6%	1.7%	2.8%

【(2) 担当者の配置】

	ある	ない	無回答
今回調査 (令和5年) n = (170)	95.9%	3.5%	0.6%
前回調査 (令和2年) n = (180)	93.9%	3.9%	2.2%

【(3) 苦情相談マニュアル】

	ある	ない	無回答
今回調査 (令和5年) n = (170)	85.3%	12.4%	2.4%
前回調査 (令和2年) n = (180)	78.3%	15.6%	6.1%

【(4) 苦情相談記録簿】

	ある	ない	無回答
今回調査 (令和5年) n = (170)	89.4%	6.5%	4.1%
前回調査 (令和2年) n = (180)	92.8%	3.3%	3.9%

【(5) 職員間で共通認識を持つ機会】

	ある	ない	無回答
今回調査 (令和5年) n = (170)	93.5%	4.7%	1.8%
前回調査 (令和2年) n = (180)	93.3%	3.3%	3.3%

【(6) 職員間で具体的な対応策について検討】

	ある	ない	無回答
今回調査 (令和5年) n = (170)	88.2%	7.1%	4.7%

【(7) その他 (ある場合のみ記入)】

	ある	ない	無回答
今回調査 (令和5年) n = (170)	1.8%	98.2%	

※ (6) 職員間で具体的な対応策について検討、(7) その他は、今回調査から新たに追加された設問

5 サービスの質の向上に向けた課題

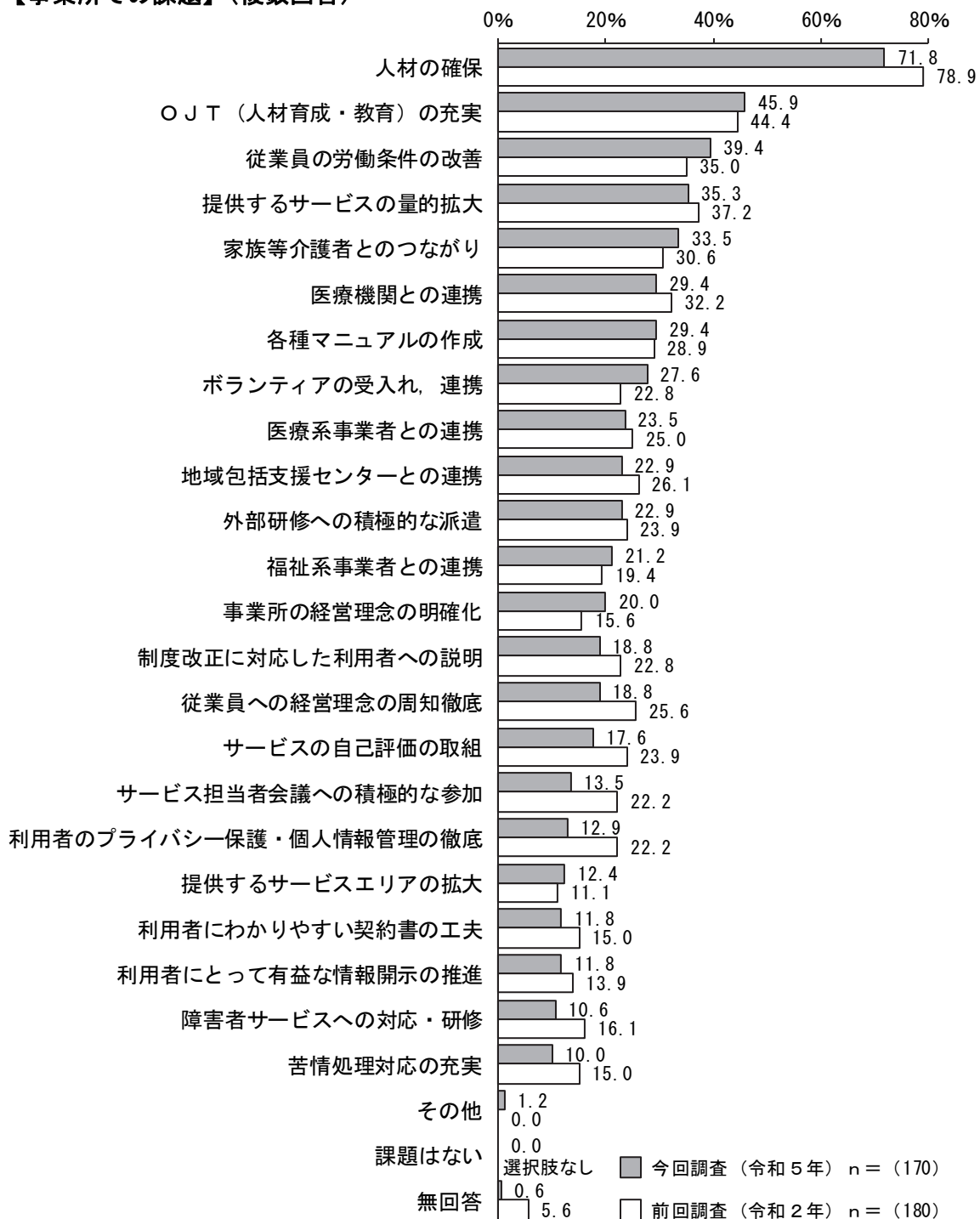
(1) 事業所での課題

問9 貴事業所で課題となっているものはどれですか（あてはまるものすべてに○）

事業所で課題となっていることは、「人材の確保」が71.8%で最も多く、次いで「OJT（人材育成・教育）の充実」（45.9%）、「従業員の労働条件の改善」（39.4%）等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底」は9.3ポイント減少しています。

【事業所での課題】（複数回答）



(2) ボランティアに担ってもらいたいこと

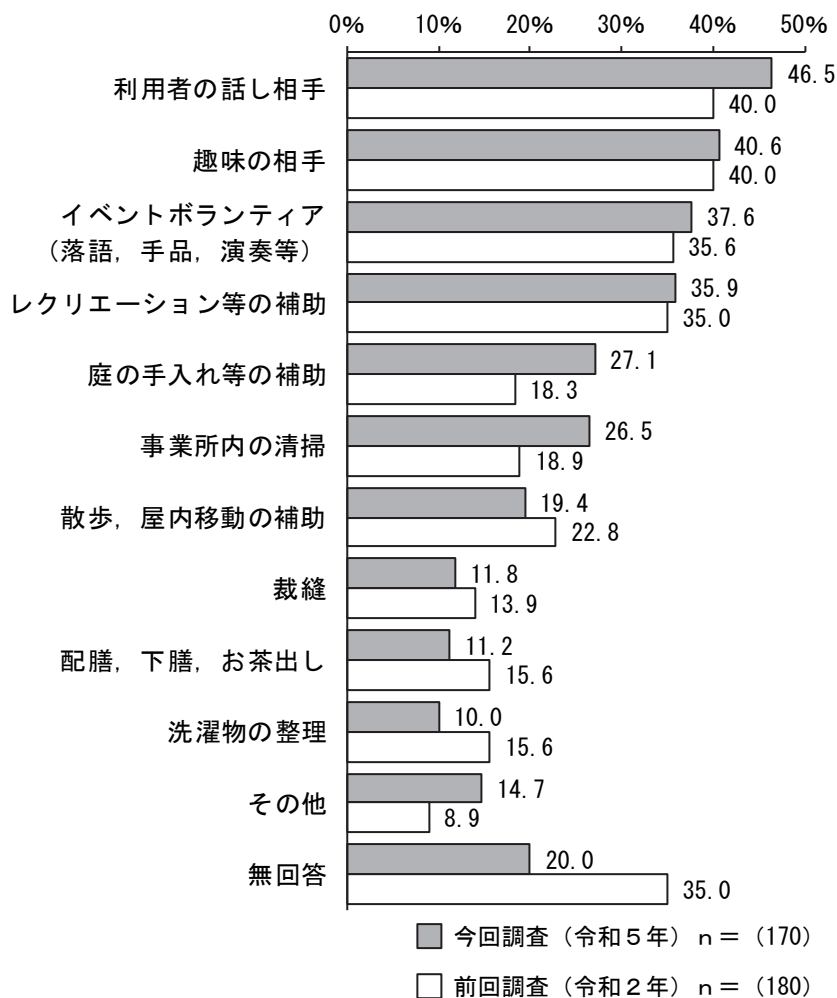
問10 ボランティアを受け入れる場合、どんなことを担ってもらいたいですか
(あてはまるものすべてに○)

ボランティアを受け入れる場合に担ってもらいたいことは、「利用者の話し相手」が46.5%で最も多く、次いで「趣味の相手」(40.6%)、「イベントボランティア(落語、手品、演奏等)」(37.6%)、「レクリエーション等の補助」(35.9%)等が続いています。

また、「その他」の主な回答としては、「季節ごとの作業・掃除」、「ごみ捨て」等となっています。

前回の調査結果と比較すると、「庭の手入れ等の補助」が8.8ポイント増加している一方、「洗濯物の整理」が5.6ポイント減少しています。

【ボランティアに担ってもらいたいこと】(複数回答)



6 報酬改定や処遇改善等の影響

(1) 処遇改善の取組状況

問 11 令和3年4月以降の介護職員の処遇改善の取組状況について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

処遇改善の取組状況の「実施済み」をみると、(1)基本給のアップが48.2%で最も多く、次いで(3)基本給以外で、資格等の手当のアップ(39.4%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「実施済み」は(2)基本給以外で、賞与のアップが5.8ポイント増加している一方、(5)教育・研修の充実が6.8ポイント減少しています。

【(1) 基本給のアップ】

	実施済み	実施予定	予定なし	無回答
今回調査(令和5年) n = (170)	48.2%	8.2%	37.1%	6.5%
前回調査(令和2年) n = (180)	51.1%	7.2%	31.1%	10.6%

【(2) 基本給以外で、賞与のアップ】

	実施済み	実施予定	予定なし	無回答
今回調査(令和5年) n = (170)	34.7%	7.1%	51.8%	6.5%
前回調査(令和2年) n = (180)	28.9%	8.9%	52.2%	10.0%

【(3) 基本給以外で、資格等の手当のアップ】

	実施済み	実施予定	予定なし	無回答
今回調査(令和5年) n = (170)	39.4%	7.6%	47.1%	5.9%
前回調査(令和2年) n = (180)	36.7%	8.3%	42.2%	12.8%

【(4) 福利厚生(保険・住宅等)の充実】

	実施済み	実施予定	予定なし	無回答
今回調査(令和5年) n = (170)	22.4%	9.4%	60.6%	7.6%
前回調査(令和2年) n = (180)	17.2%	9.4%	57.8%	15.6%

【(5) 教育・研修の充実】

	実施済み	実施予定	予定なし	無回答
今回調査(令和5年) n = (170)	38.8%	29.4%	25.9%	5.9%
前回調査(令和2年) n = (180)	45.6%	20.6%	22.8%	11.1%

【(6) 職員配置の拡充】

	実施済み	実施予定	予定なし	無回答
今回調査(令和5年) n = (170)	13.5%	38.2%	42.4%	5.9%
前回調査(令和2年) n = (180)	17.8%	28.3%	40.0%	13.9%

【(7) その他】

	実施済み	実施予定	予定なし	無回答
今回調査(令和5年) n = (170)	0.0%	1.8%		98.2%
前回調査(令和2年) n = (180)	1.1%	0.6%		98.3%

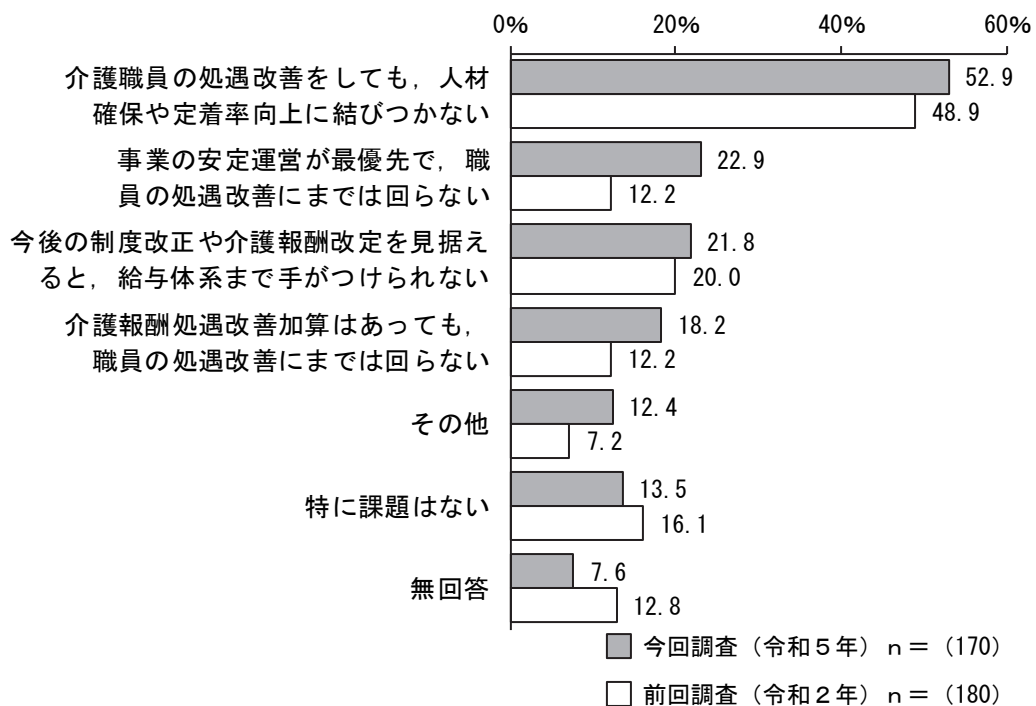
(2) 処遇改善を行う上での課題

問12 介護職員の処遇改善を行う上で、どのような課題があると考えますか
(あてはまるものすべてに○)

介護職員の処遇改善を行う上での課題は、「介護職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない」が52.9%で最も多く、次いで「事業の安定運営が最優先で、職員の処遇改善にまでは回らない」(22.9%)、「今後の制度改正や介護報酬改定を見据えると、給与体系まで手がつけられない」(21.8%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「事業の安定運営が最優先で、職員の処遇改善にまでは回らない」が10.7ポイント増加しています。

【処遇改善を行う上での課題】(複数回答)



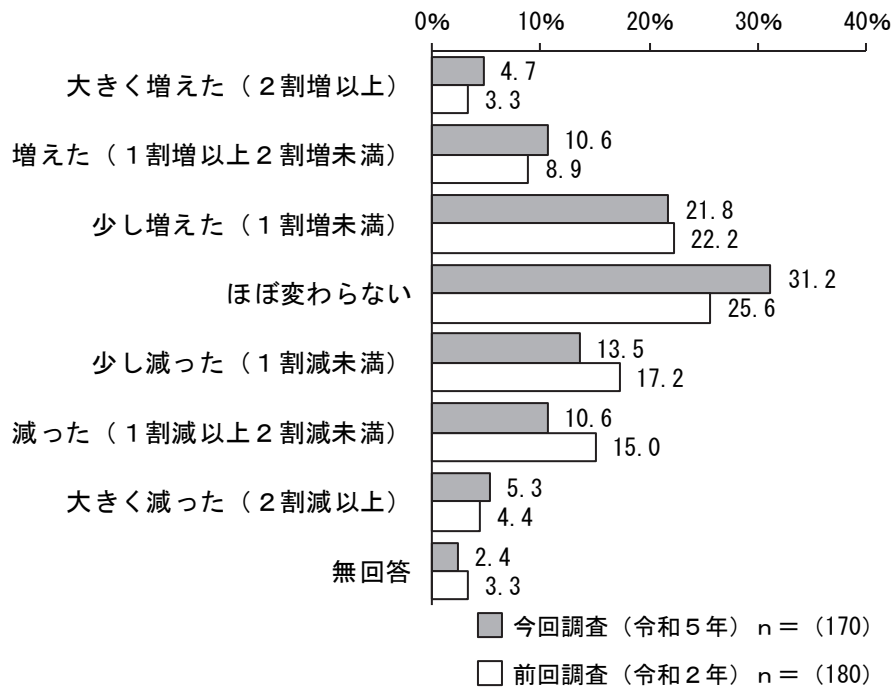
(3) 令和4年と令和3年の収入額の差

問13 令和4年中（令和4年1月～12月）の収入額は、前年に比べてどうなりましたか

前年（令和3年）との収入額の増減をみると、「ほぼ変わらない」が31.2%で最も多く、次いで「少し増えた（1割増未満）」（21.8%）等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「ほぼ変わらない」が5.6ポイント増加している一方、「減った（1割減以上2割減未満）」が4.4ポイント減少しています。

【令和4年と令和3年の収入額の差】



(4) 収入額が増減した理由

【問13で「ほぼ変わらない」以外を選択した事業所のみ】

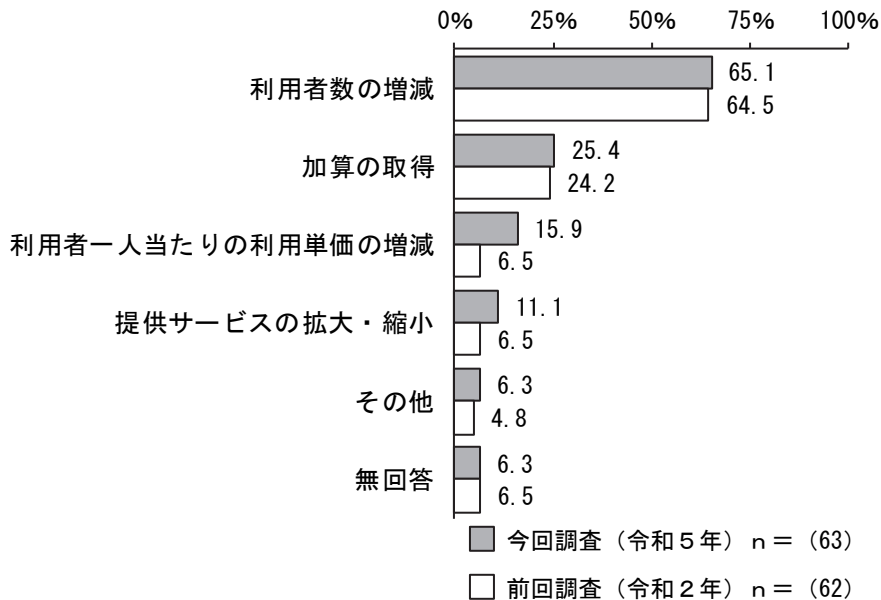
問13-1 収入額が増減した理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）

収入額が増減した事業所（問13で「ほぼ変わらない」以外を選択した事業所）にその理由を聞いたところ、増えた理由、減った理由ともに「利用者数の増減」が最も多くなっています。

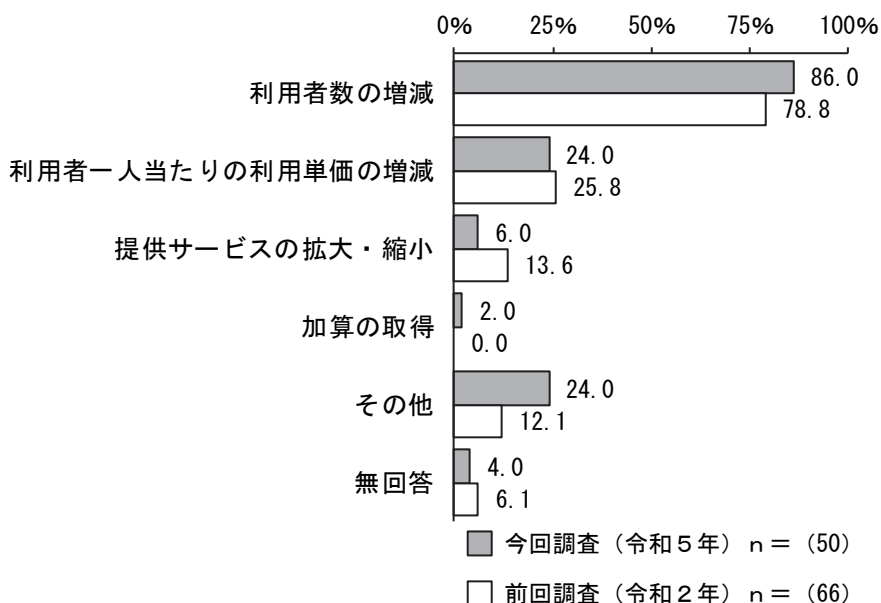
また、【収入額が減少した理由】の「その他」の主な回答としては、「新型コロナウイルス感染症による影響」等となっています。

前回の調査結果と比較すると、【収入額が増加した理由】では「利用者一人当たりの利用単価の増減」が9.4ポイント増加している一方、【収入額が減少した理由】では「提供サービスの拡大・縮小」が7.6ポイント減少しています。

【収入額が増加した理由】（複数回答）



【収入額が減少した理由】（複数回答）



7 人材の確保

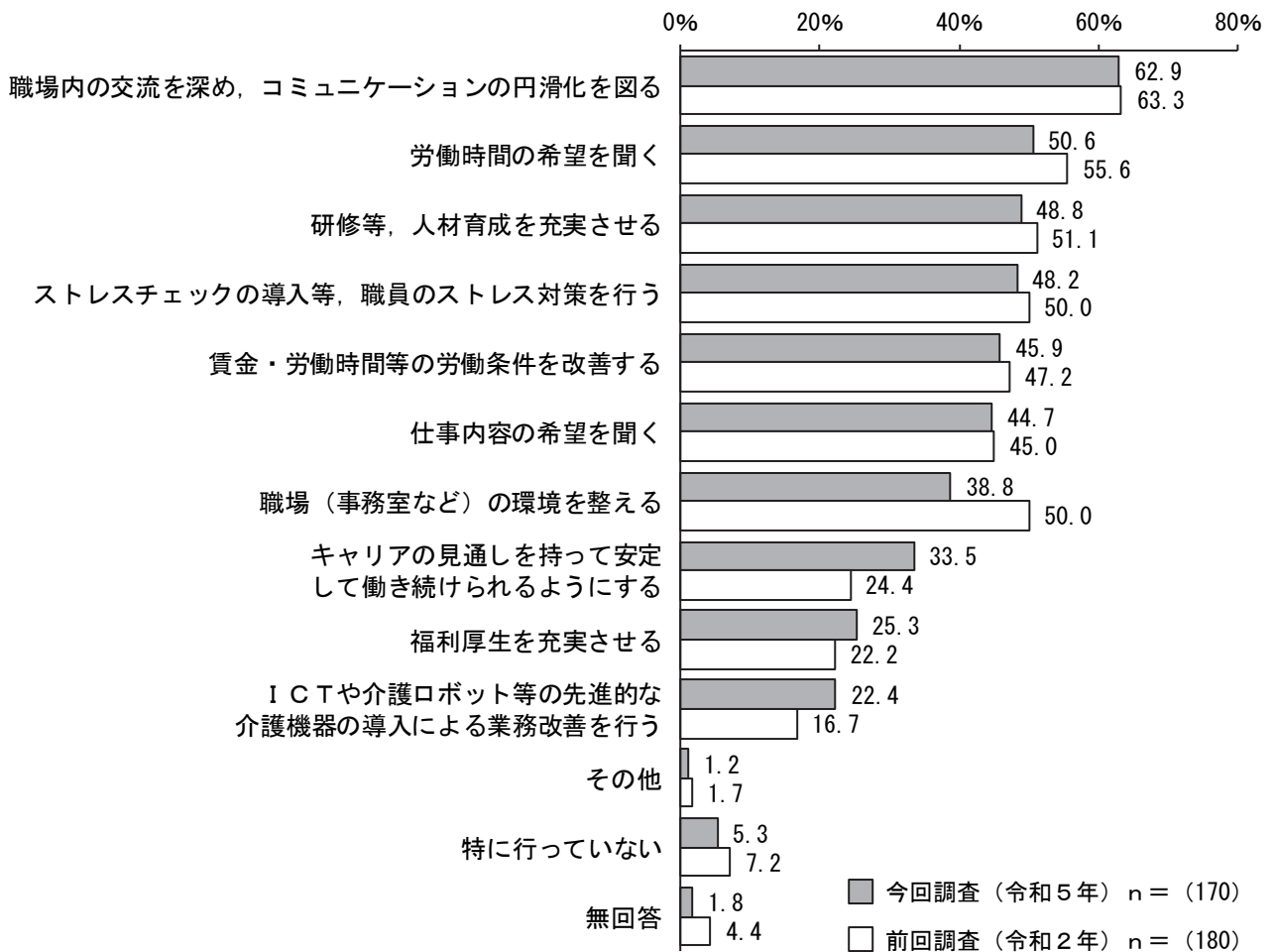
(1) 職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組

問 14 貴事業所で行っている職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組は、「職場内の交流を深め、コミュニケーションの円滑化を図る」が 62.9%で最も多く、次いで「労働時間の希望を聞く」(50.6%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「キャリアの見通しを持って安定して働き続けられるようにする」が 9.1ポイント増加している一方、「職場（事務室など）の環境を整える」は 11.2ポイント減少しています。

【職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組】（複数回答）



※ 「職場（事務室など）の環境を整える」は前回調査では「職場環境を整える」という選択肢

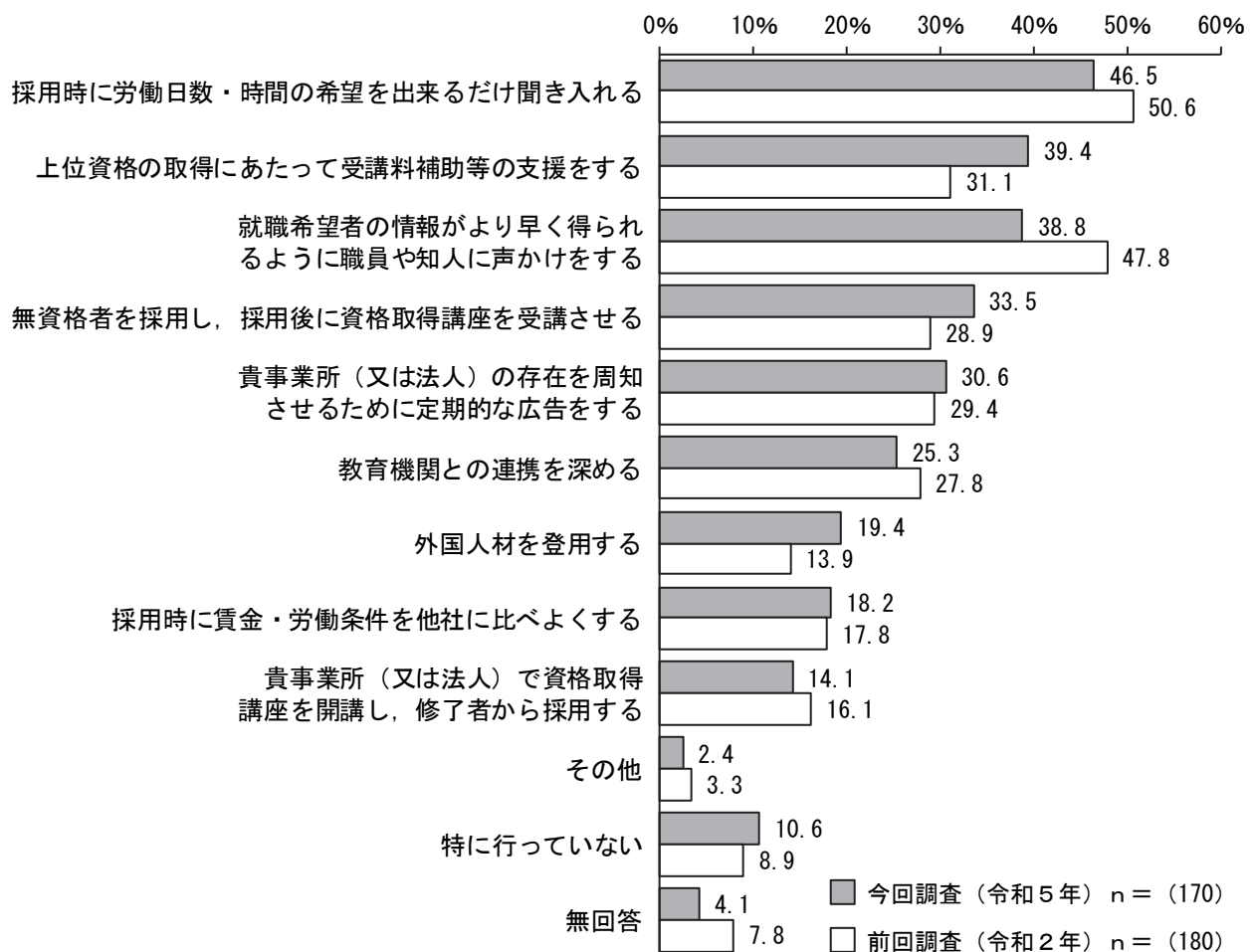
(2) 人材確保に向けた取組

問15 貴事業所で行っている人材確保に向けた取組にはどのようなものがありますか
(あてはまるものすべてに○)

人材確保に向けた取組は、「採用時に労働日数・時間の希望を出来るだけ聞き入れる」が46.5%で最も多く、次いで「上位資格の取得にあたって受講料補助等の支援をする」(39.4%)、「就職希望者の情報がより早く得られるように職員や知人に声かけをする」(38.8%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「上位資格の取得にあたって受講料補助等の支援をする」が8.3ポイント増加している一方、「就職希望者の情報がより早く得られるように職員や知人に声かけをする」は9.0ポイント減少しています。

【人材確保に向けた取組】(複数回答)



8 福祉サービス第三者評価の受審状況

(1) 受審状況

【この設問は、居宅介護支援、訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、通所介護、短期入所生活介護、特定施設入居者生活介護、福祉用具貸与、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、看護小規模多機能型居宅介護のいずれかのサービスを提供している事業者のみ対象】

問 16 「東京都福祉サービス評価推進機構」が認証した「第三者評価機関」による「福祉サービス第三者評価」を受けていますか。また、受けるお考えはありますか

福祉サービス第三者評価の受審状況は、「受審していないが、検討している」が 27.1%で最も多く、次いで「受審していないし、今後受審する予定もない」(24.1%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「年1回受審している」が 7.8 ポイント増加し、「受審していないし、今後受審する予定もない」は 9.2 ポイント減少しています。

【受審状況】

	年1回受審している	定期的受審してはいないが、検討している	受審していないし、今後受審する予定もない	無回答	(%)
今回調査 (令和5年) n = (170)	20.0	14.7	27.1	24.1	14.1
前回調査 (令和2年) n = (180)	12.2	15.6	23.9	33.3	15.0

※ 集計には対象外となる事業者が含まれている

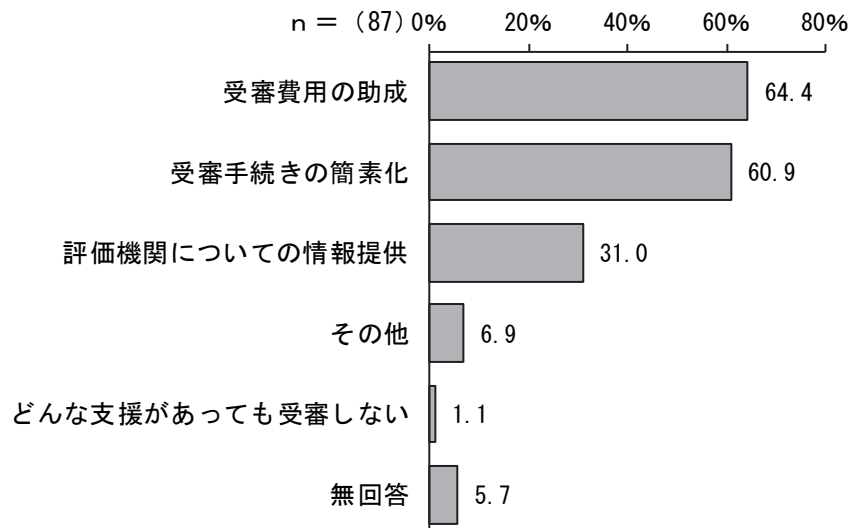
(2) 受審するための支援

【問16で「受審していないが、検討している」、「受審していないし、今後受審する予定もない」を選択した事業所のみ】

問16-1 どのような支援があれば受審できると思いますか
(あてはまるものすべてに○)

現在受審していない事業所（「受審していないが、検討している」、「受審していないし、今後受審する予定もない」を選択した事業所）が求める福祉サービス第三者評価を受審するための支援は、「受審費用の助成」が64.4%で最も多く、次いで「受審手続きの簡素化」(60.9%)、「評価機関についての情報提供」(31.0%)となっています。

【受審するための支援】(複数回答)



※ 今回調査から新たに追加された設問

9 意見・要望

(1) 意見・要望

問 17 介護保険制度や保険者（国分寺市）に対してのご意見・ご要望等，ご自由にご記入ください

全体で、20 件の意見・要望がありました。内容ごとに整理し、概要を掲載します。

制度・行政に関すること

- ・今後も福祉（特に介護）制度の改定など，必要な情報を知らせてほしい。
- ・各種申請について，電子化を推進してほしい。
- ・介護保険制度改正のたびに内容が細かくなり，事務作業が煩雑化するため，届出制度等をより簡素化してほしい。
- ・がん末期の方の介護認定を早めをお願いしたい。
- ・ごみ屋敷等の掃除は訪問介護の有償サービスでは難しいので，民間サービス（清掃サービス）を考えていただきたい。
- ・地域密着型通所介護の単価を増やしてほしい。
- ・地域密着型についても，第三者評価の補助があるとよい。
- ・各種地域課題が長年にわたり解消されていない。
- ・東部，西部で格差のない住みやすい国分寺市になるよう願う。
- ・要支援認定者に係る事務量と介護報酬が見合っていない。
- ・介護保険サービスを曖昧な基準で利用している内容がある。利用者・家族，事業所，居宅介護支援事業所，各々に助言や指導を頂ければ，介護保険制度継続が望めると思う。

事務所・人員に関すること

- ・現場を見に来ていただき日常的な課題や悩みなどを聞いてもらえると心強い。
- ・在宅生活を支えるために不可欠なサービスであるため，総合事業や生活支援も受け入れているが，その数が多くなるほど，事業所経営や職員給与の改善が難しくなる。生活援助の介護報酬をきちんと上げてほしい。担い手がいなくなると思う。
- ・人材不足が加速して，いずれ現在の介護支援者も大きな負担を抱え離職すると予測できる。低賃金のままでは若い人は確保できない。
- ・ライフラインに加え，備品類の値上げも顕著で，物価高騰に対する補助金を継続していただきたい。
- ・優秀な訪問介護員は大手事業所へ回ってしまうので訪問介護員の高齢化が進んでいる。

第6章 介護支援専門員調査

1 介護支援専門員本人の状況

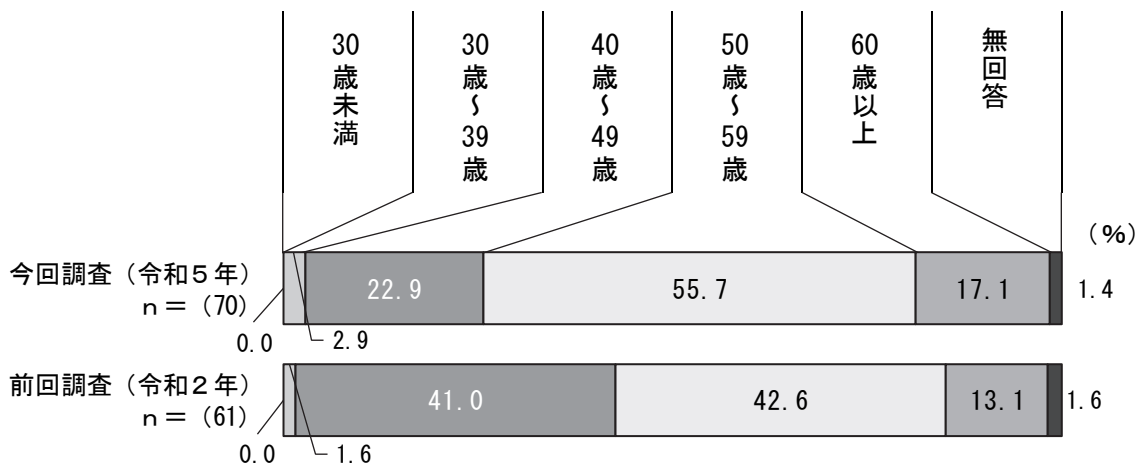
問1 本人の状況について教えてください

(1) 年齢

回答した介護支援専門員の年齢は、「50歳～59歳」が55.7%で最も多く、次いで「40歳～49歳」(22.9%)、「60歳以上」(17.1%)、「30歳～39歳」(2.9%)が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「50歳～59歳」が13.1ポイント増加している一方、「40歳～49歳」は18.1ポイント減少しています。

【年齢】

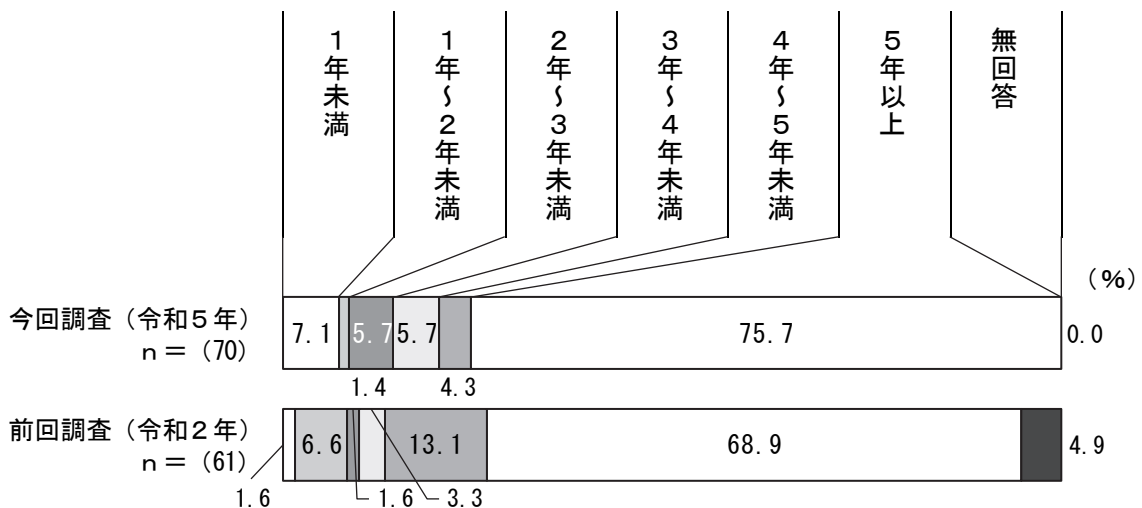


(2) 介護支援専門員としての業務経験年数

介護支援専門員としての業務経験年数は、「5年以上」が75.7%で最も多く、次いで「1年未満」(7.1%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「5年以上」が6.8ポイント、「1年未満」が5.5ポイント増加している一方、「4年～5年未満」が8.8ポイント減少しています。

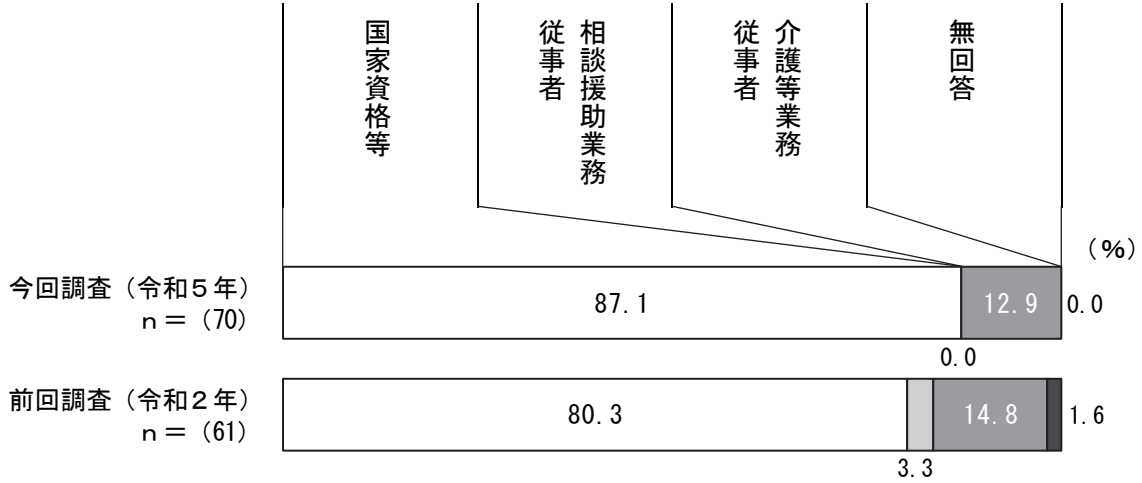
【介護支援専門員としての業務経験年数】



(3) 介護支援専門員を受験した際の基礎資格

介護支援専門員を受験した際の基礎資格は、「国家資格等」が 87.1%で最も多く、次いで「介護等業務従事者」(12.9%)が続いています。

【介護支援専門員を受験した際の基礎資格】

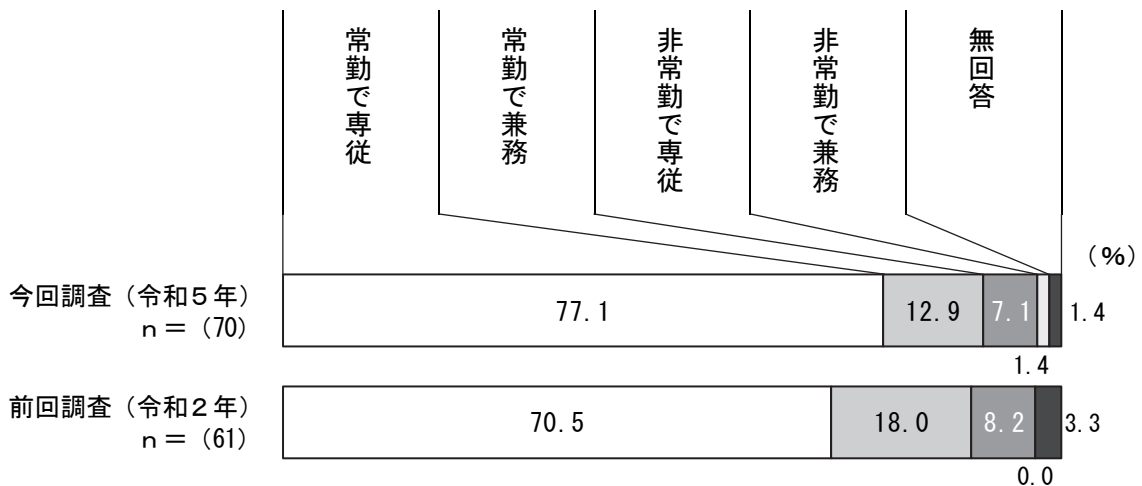


(4) 就業業務形態

就業業務形態としては、「常勤で専従」が 77.1%で最も多く、次いで「常勤で兼務」(12.9%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「常勤で専従」が 6.6 ポイント増加しています。

【就業業務形態】

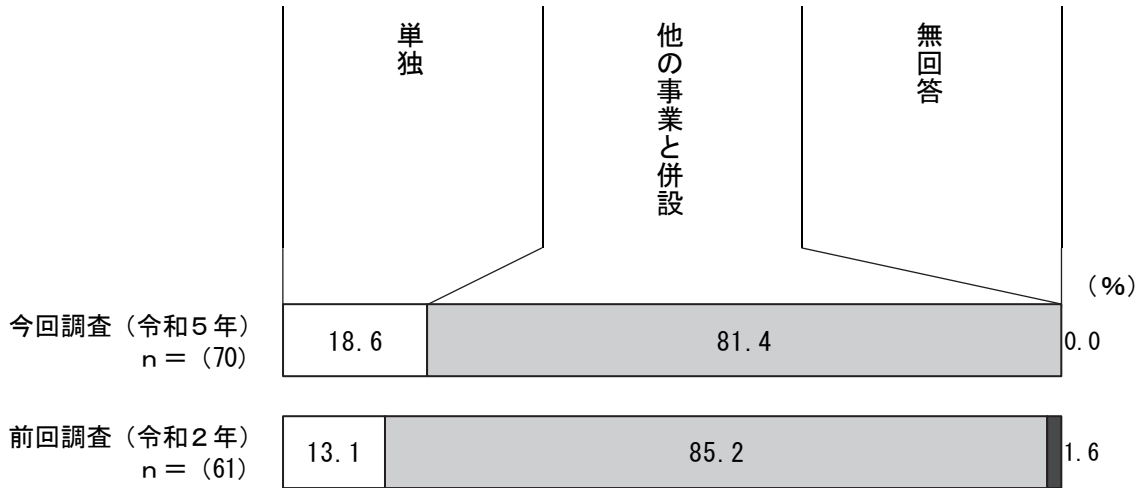


(5) 事業所の業務形態

事業所の業務形態としては、「他の事業と併設」が81.4%で最も多く、次いで「単独」(18.6%)が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「単独」が5.5ポイント増加しています。

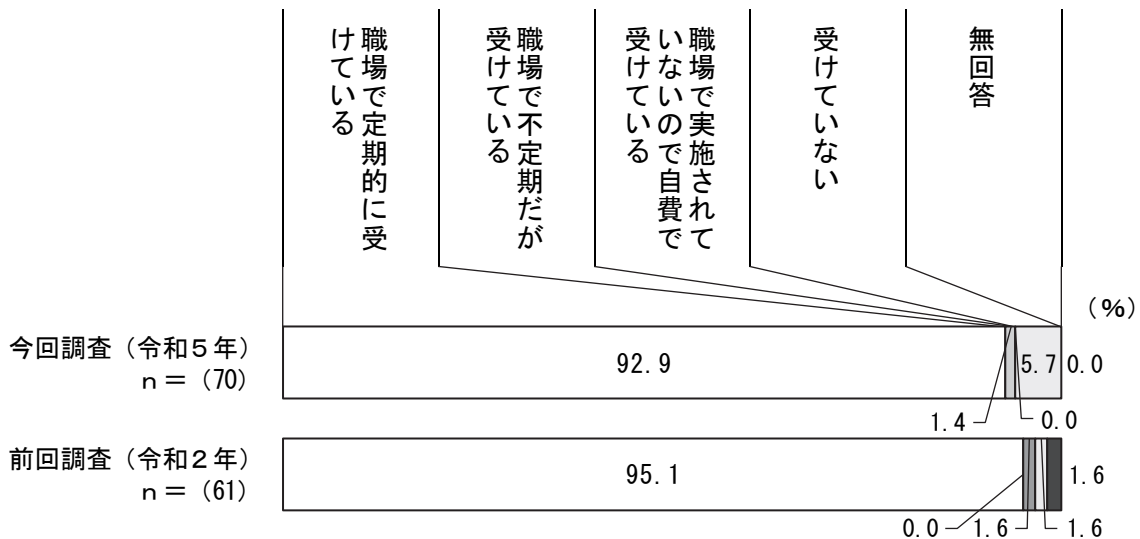
【事業所の業務形態】



(6) 健康診断受診状況

健康診断の受診状況は、「職場で定期的に受けている」が92.9%で最も多くなっています。

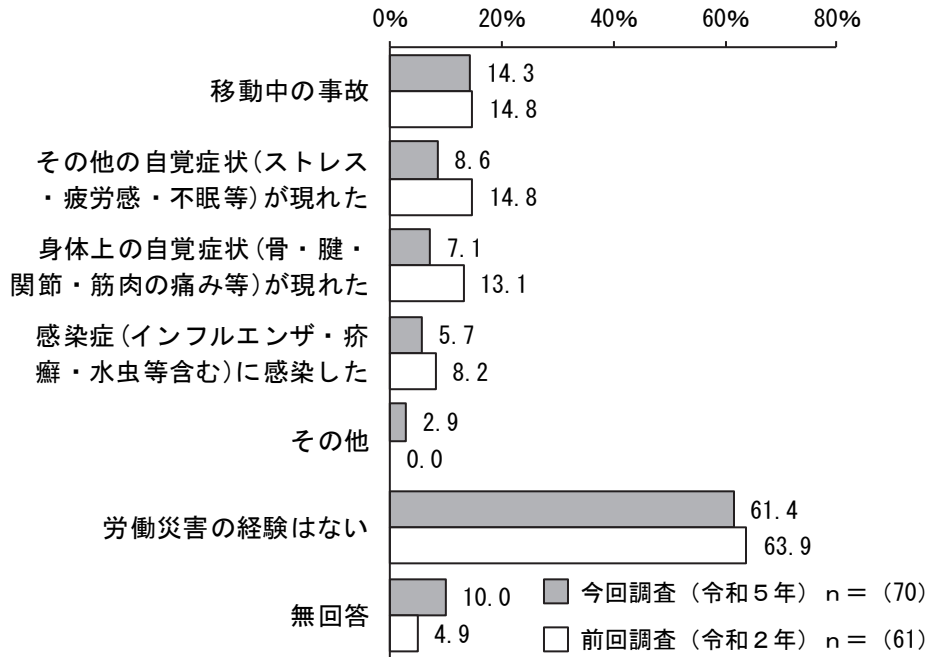
【健康診断受診状況】



(7) 労働災害の経験

労働災害の経験としては、「労働災害の経験はない」が61.4%で最も多く、次いで「移動中の事故」(14.3%)、「その他の自覚症状(ストレス・疲労感・不眠等)が現れた」(8.6%)等が続いています。

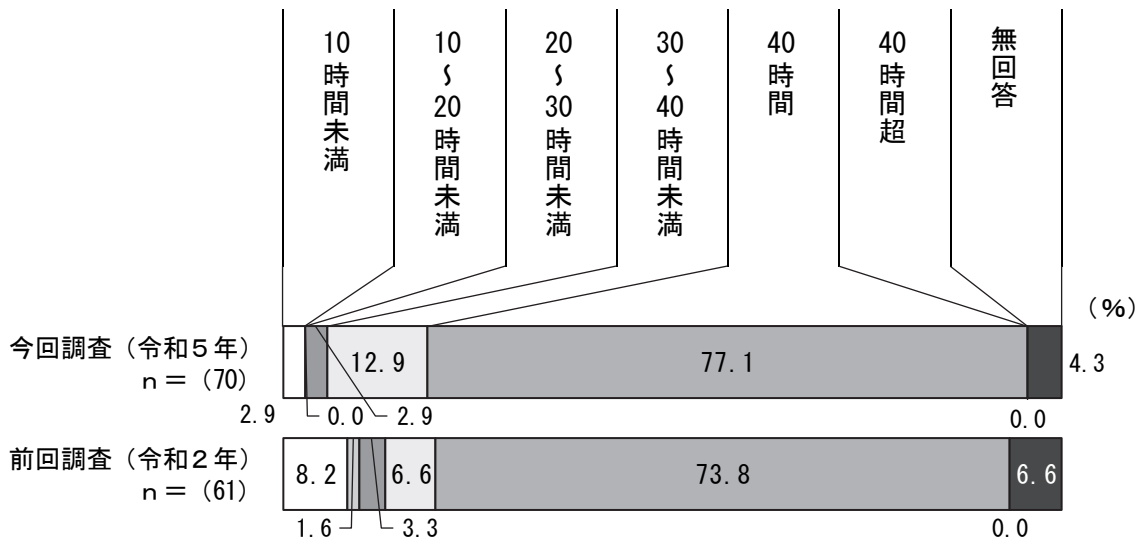
【労働災害の経験】(複数回答)



(8) 週の所定労働時間

週の所定労働時間は、「40時間」が77.1%で最も多く、次いで「30～40時間未満」(12.9%)等が続いています。

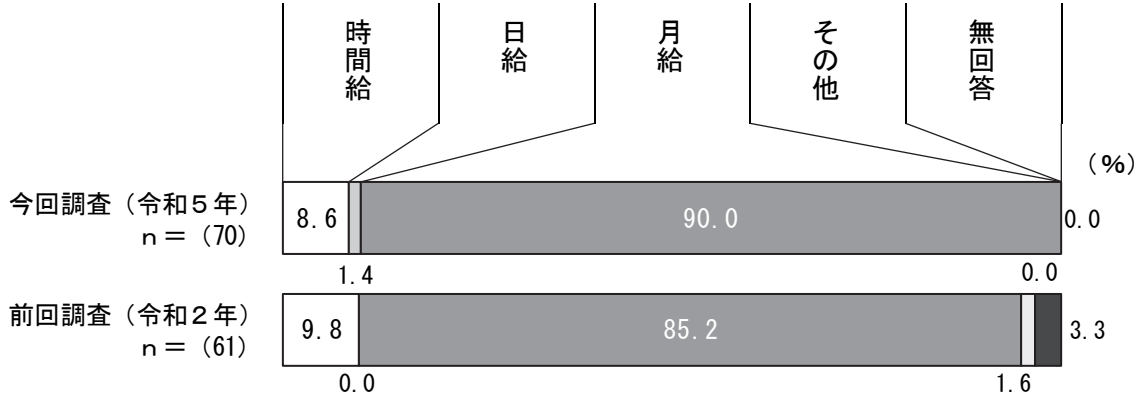
【週の所定労働時間】



(9) 賃金の支払形態

賃金の支払形態は、「月給」が90.0%で最も多く、次いで「時間給」(8.6%)等が続いています。

【賃金の支払形態】



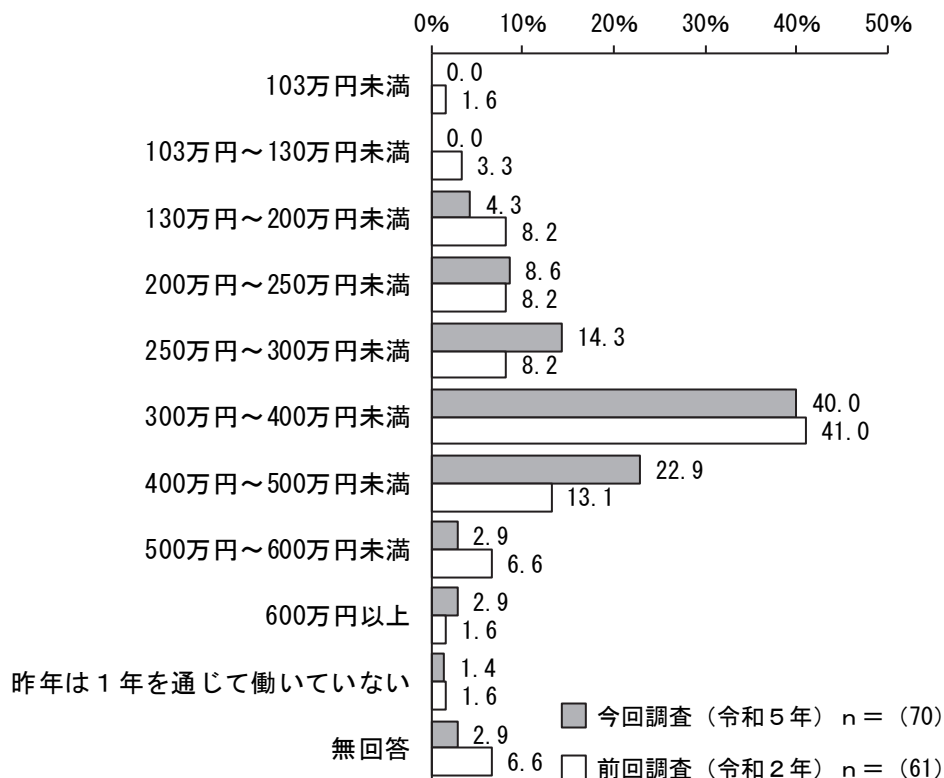
	回答者数	最大金額	最小金額	平均金額
時間給 (1時間当たり)	5人	1,500円	1,370円	1,434円

※ 「日給 (1日当たり)」は、賃金単価の回答がなかったため掲載を省略

(10) 令和4年中の収入

令和4年中の収入(賞与及び残業・諸手当等を含む)は、「300万円～400万円未満」が40.0%で最も多く、次いで「400万円～500万円未満」(22.9%)等が続いています。

【令和4年中の収入】

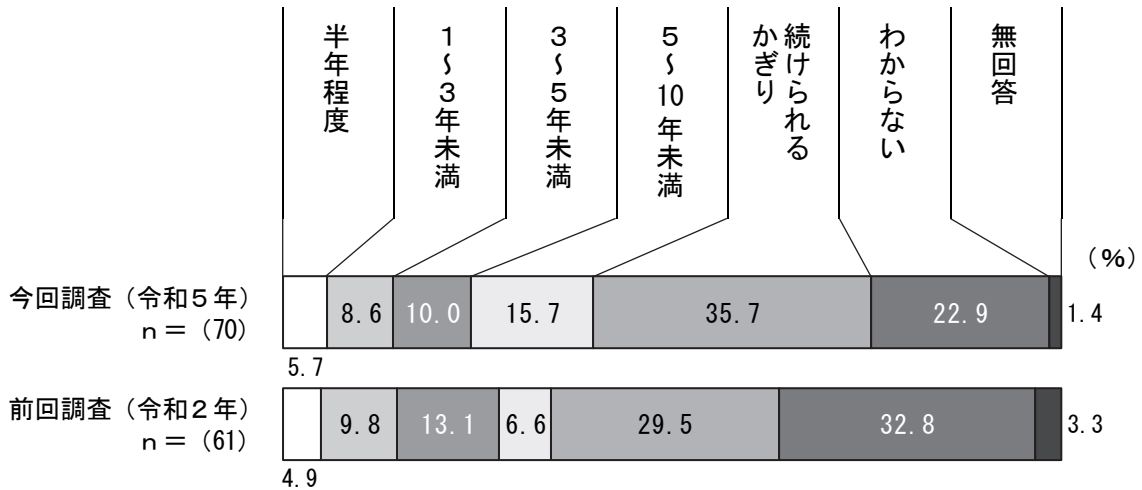


(11) 現在働いている事業所での就労意向

問2 介護支援専門員に関する仕事の就労意向について教えてください
 (1) 現在働いている事業所での仕事をいつまで続けたいですか

現在働いている事業所での就労意向は、「続けられるかぎり」が 35.7%で最も多く、次いで「わからない」(22.9%) 等が続いています。

【現在働いている事業所での就労意向】

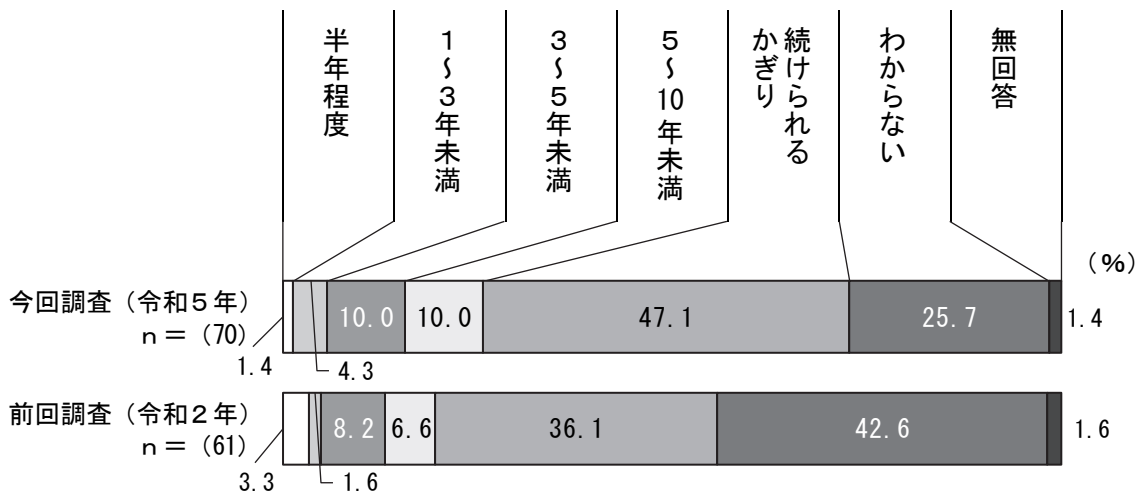


(12) 介護支援専門員としての就労意向

(2) 現在働いている事業所を問わず、介護支援専門員に関する仕事をいつまで続けたいですか

介護支援専門員としての就労意向は、「続けられるかぎり」が 47.1%で最も多く、次いで「わからない」(25.7%) 等が続いています。

【介護支援専門員としての就労意向】



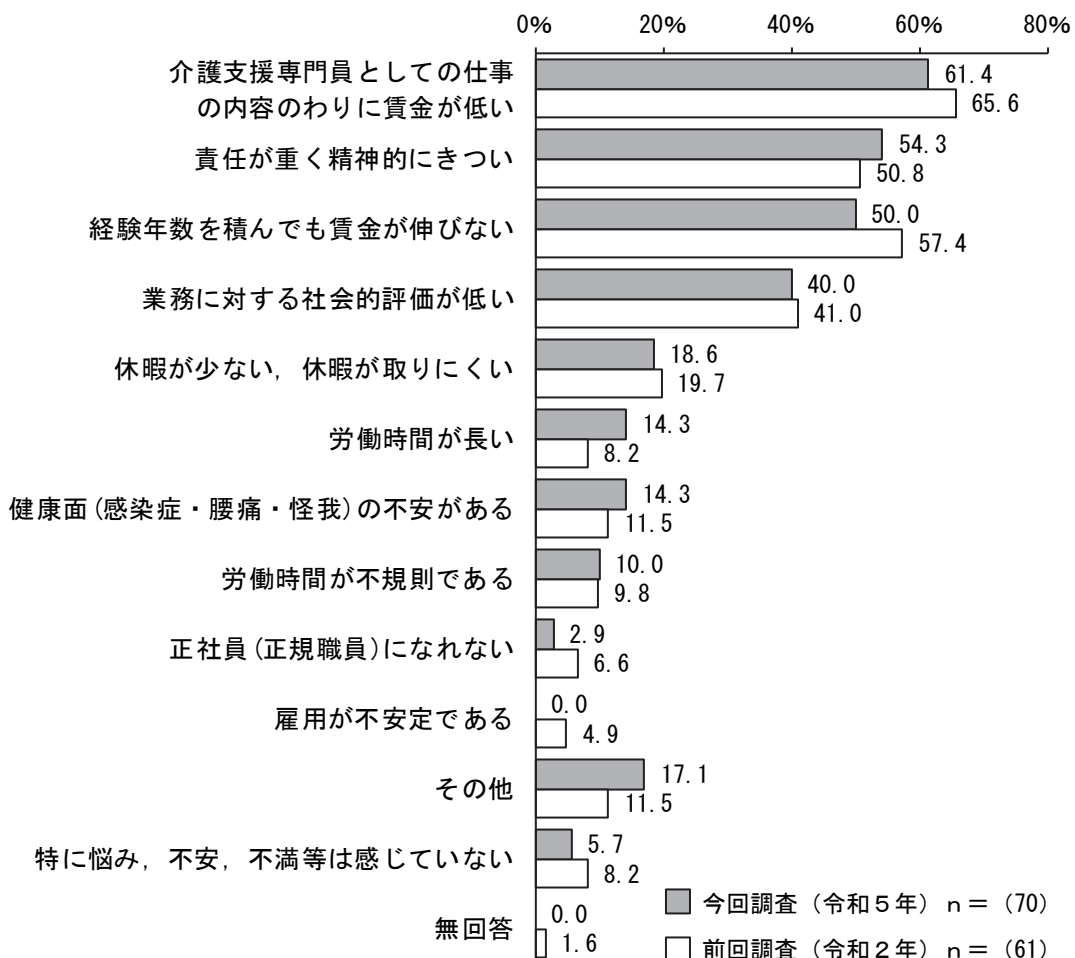
(13) 労働条件・仕事の負担についての悩み、不安、不満等

問3 あなたが介護支援専門員として働く上での労働条件・仕事の負担について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか（あてはまるものすべてに○）

介護支援専門員として働く上での労働条件・仕事の負担について、悩み、不安、不満等を感じていることとしては、「介護支援専門員としての仕事の内容のわりに賃金が低い」が61.4%で最も多く、次いで「責任が重く精神的にきつい」(54.3%)等が続いています。

また、「その他」の主な回答としては、「研修の負担が大きい」、「残業についての不満」等となっています。

【労働条件・仕事の負担についての悩み、不安、不満等】（複数回答）



(14) 働く中で満足感を得られたこと

問4 介護支援専門員として働く中で、今までに満足感を得られたことを教えてください

全体で、56件の内容がありました。内容ごとに整理し、概要を掲載します。

利用者とその家族との関係に関すること

- ・利用者，家族からの感謝の言葉等に満足感を得た。
- ・利用者・家族に感謝されたり，信頼されていると感じるとき。
- ・利用者と家族に支援を喜んでいただいたとき。

働きがいに関すること

- ・利用者，家族の思いに沿った支援が出来たとき。
- ・利用者も家族も，心安らかに暮らせている様子を感じる支援になっているとき。
- ・長年関わったり，利用者だけでなくその一家の支援を継続したこと。
- ・住み慣れた地域で最後まで在宅生活支援ができ，利用者，家族の希望に沿えられて，感謝されたこと。
- ・連携やサービス調整が円滑にスムーズにいったとき。
- ・利用者の自立につながり，お元気な姿をみられたとき。
- ・利用者や家族とともにプランを作成し，最期を迎えるまで担当でき，家族から感謝の言葉をいただけたとき。
- ・自宅での看取りを希望されている方が，希望通りおだやかに最期を迎えられたとき。

※ 今回調査から新たに追加された設問

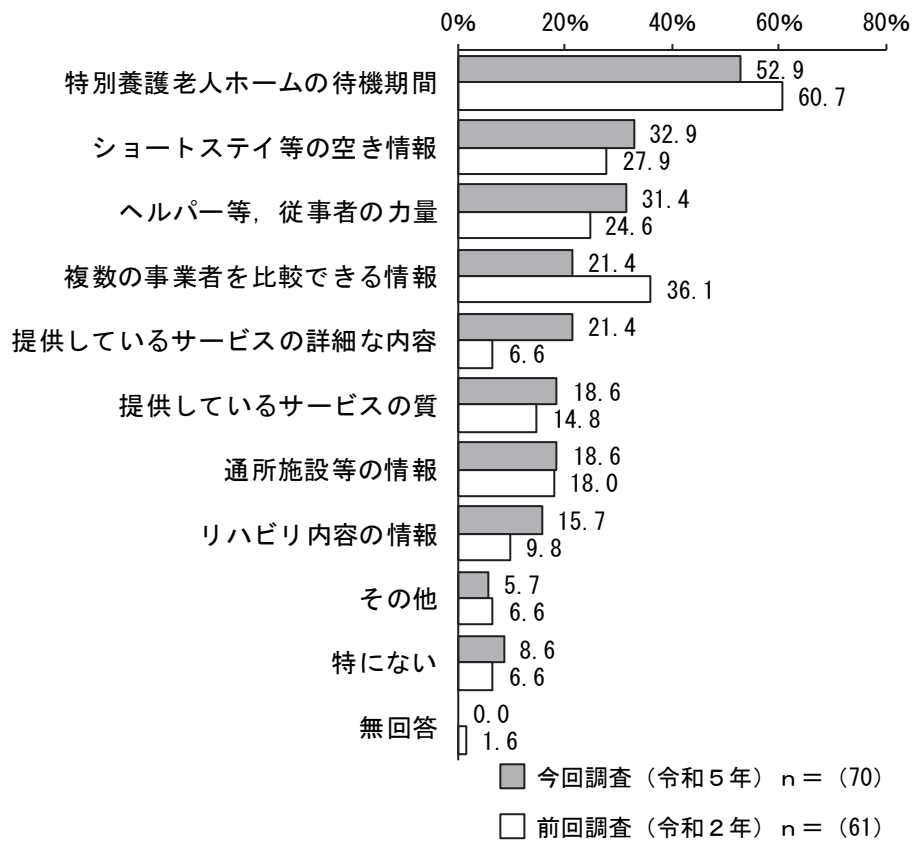
2 利用者から望まれる事業者情報

問5 利用者から「提供してほしい」又は「不足している」との声が多い事業者情報は何か（3つまで選択可）

利用者から「提供してほしい」又は「不足している」との声が多い事業者情報としては、「特別養護老人ホームの待機期間」が52.9%で最も多く、次いで「ショートステイ等の空き情報」(32.9%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「提供しているサービスの詳細な内容」が14.8ポイント増加している一方、「複数の事業者を比較できる情報」が14.7ポイント減少しています。

【利用者から望まれる事業者情報】（複数回答）



3 サービスの供給

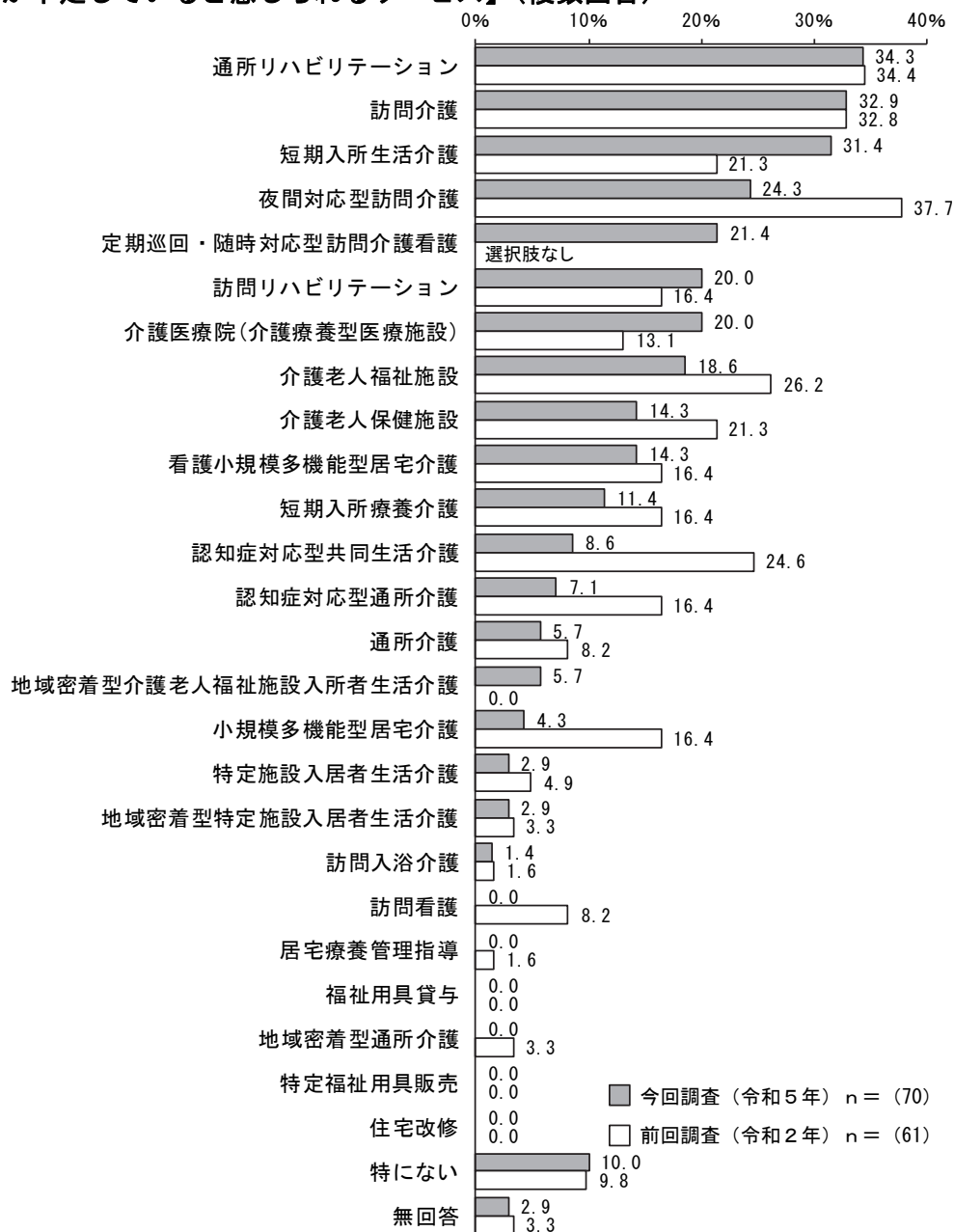
(1) 供給が不足していると感じられるサービス

問6 介護支援専門員から見て、供給が不足していると感じられるサービスはありますか
(あてはまるものすべてに○)

介護支援専門員から見て供給が不足していると感じられるサービスは、「通所リハビリテーション」が34.3%で最も多く、次いで「訪問介護」(32.9%)、「短期入所生活介護」(31.4%)等が続いています。「特にない」は10.0%となっています。

前回の調査結果と比較すると、「短期入所生活介護」が10.1ポイント増加している一方、「認知症対応型共同生活介護」が16.0ポイント、「夜間対応型訪問介護」が13.4ポイント、「小規模多機能型居宅介護」が12.1ポイント減少しています。

【供給が不足していると感じられるサービス】(複数回答)



※ 「特定福祉用具販売」は、前回調査では「福祉用具購入」という選択肢

(2) 不足しているサービスの代替方法

【問6で「特にない」以外を選択した方のみ】

問6-1 不足していると回答したサービスについて、代替方法があれば、主なサービス3つまでについてご記入ください

不足しているサービスの代替方法は、以下のとおりとなっています。

【不足しているサービスの代替方法】(複数回答)

不足しているサービス	件数	代替方法(概要)
通所リハビリテーション	10	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 通所介護。(4件) ▪ 通所介護, 機能訓練型。 ▪ 通所介護の個別機能訓練。 ▪ 自費デイ, リハ。 ▪ 半日型デイサービス。 ▪ 市内に少なく, 空きを待つ, もしくは通所介護の利用+訪問リハなどで, 対応している。 ▪ 訪問看護在籍の理学療法士, 作業療法士等。 ▪ 理学療法士の関わりの時間が少ない。
訪問介護	11	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 通所介護。 ▪ 介護保険と同等, またはわずかに高い額で, 利用できる有償生活支援サービス。 ▪ 有償ヘルパー。 ▪ 低額で利用できる自費サービス。 ▪ 自費サービス。 ▪ シルバー人材センター, 自費の訪問介護業者。 ▪ 元気な高齢者の参加。 ▪ ボランティア, 家族, 定期巡回・随時対応型訪問介護看護, 看護小規模多機能型居宅介護など。 ▪ 特に予防訪問介護を受ける事業所が少ないため, 単価や加算の工夫, 若しくは説明会等で事業所に働きかけてもらえるとよい。 ▪ ヘルパー不足の解消として, 限りある人材を効率よく活用できる仕組みがあればいいと思う。
短期入所生活介護	7	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 短期入所ができない場合は, 訪問介護やデイサービスを使用。 ▪ お泊りデイサービスを利用する。 ▪ 他市のショートステイを利用。 ▪ 訪問看護ステーション, 有料老人ホームのショートステイや遠方のショートステイ。 ▪ 多床室が不足。他市や個室で代替。 ▪ 介護度によって, 受け入れが厳しいことがあった。
夜間対応型訪問介護	3	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 訪問介護。 ▪ ショートステイ。 ▪ 家族。

不足しているサービス	件数	代替方法（概要）
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	3	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 夜間対応型訪問介護，訪問介護。 ▪ 通所介護。 ▪ 実際の稼働状況のチェックをし，他の参入を促してもらえるとよい。
訪問リハビリテーション	5	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 訪問看護在籍の理学療法士，作業療法士等。 ▪ 訪問看護による訪問リハビリ。 ▪ 訪問マッサージで，理学療法士の資格を持つ者に来てもらっている。 ▪ 訪問リハの中の言語療法士が足りない。空きがでるまで待つ。もしくは理学療法士，作業療法士で対応。 ▪ 他市からの支援。
介護医療院 （介護療養型医療施設）	1	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 短期入所療養介護（医療型ショートステイ）。
介護老人福祉施設	3	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 介護老人保健施設。 ▪ 介護老人保健施設，短期入所生活介護，介護医療院（介護療養型医療施設）。 ▪ 入所待ちの間は，使えるサービスを利用しながら待つ。
看護小規模多機能型居宅介護	3	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 看護師がいるデイやショートに通う。 ▪ 訪問看護と小規模多機能型居宅介護との連携。 ▪ 小規模多機能型居宅介護も含めて，東エリアにない。
短期入所療養介護	4	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 短期入所生活介護。 ▪ 介護度によって，受け入れが厳しいことがあった。 ▪ 不足はしているが，必要とされていない。
認知症対応型共同生活介護	1	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 入所待ちの間はデイサービス等を利用。
認知症対応型通所介護	1	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 通所介護。
通所介護	2	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 対応策なし。
訪問入浴介護	3	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 通所介護による入浴（機械浴）。
居宅療養管理指導	1	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 代替方法について記載なし。

(3) 在宅生活を送る上で必要と思われるサービスや支援内容

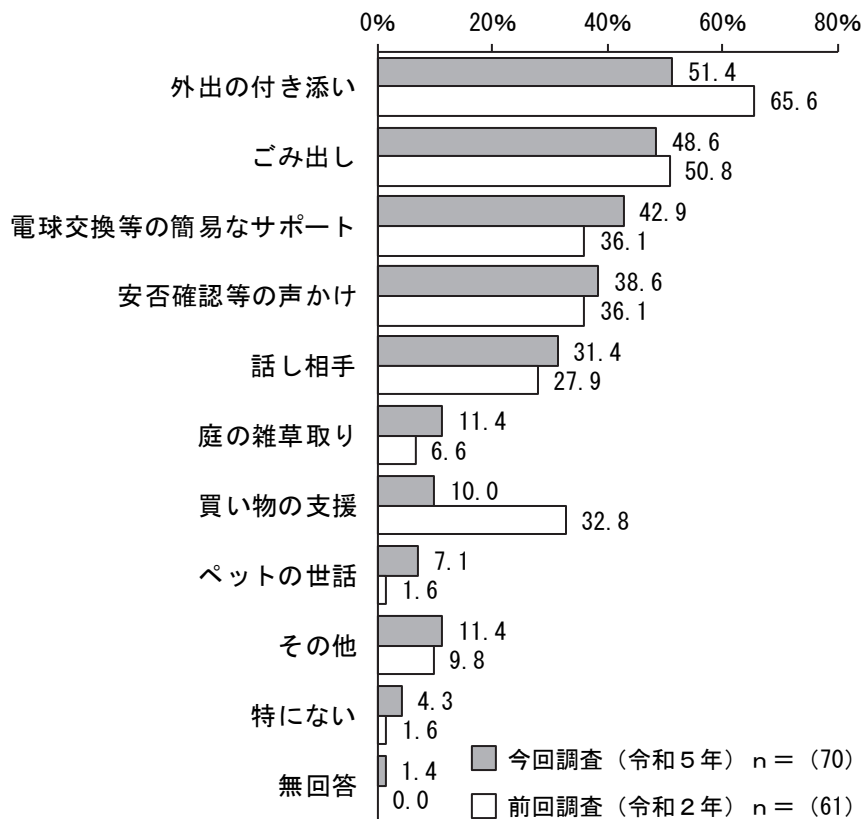
問7 介護保険サービスのメニュー以外で、在宅生活を送る上で必要と思われるサービスや支援内容がありますか（3つまで選択可）

在宅生活を送る上で必要と思われるサービスや支援内容としては、「外出の付き添い」が51.4%で最も多く、次いで「ごみ出し」（48.6%）等が続いています。

また、「その他」の主な回答としては、「通院・受診の同行」、「服薬の声掛け」等となっています。

前回の調査結果と比較すると、「電球交換等の簡易なサポート」は6.8ポイント、「ペットの世話」は5.5ポイント増加している一方、「買い物の支援」は22.8ポイント、「外出の付き添い」は14.2ポイント減少しています。

【在宅生活を送る上で必要と思われるサービスや支援内容】（複数回答）



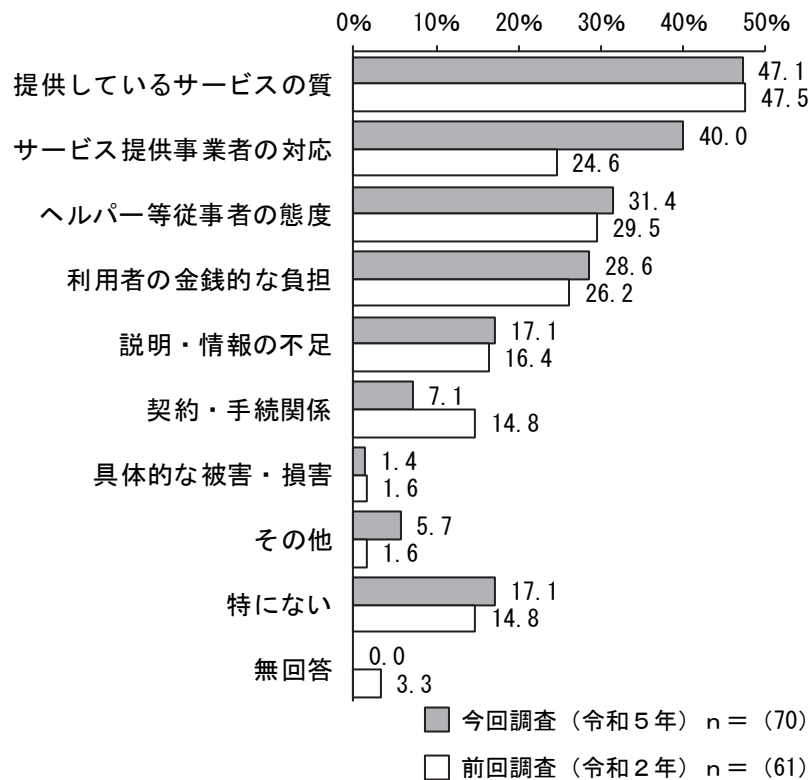
4 苦情・相談事例

(1) 苦情や相談

問8 利用者やその家族から寄せられる苦情や相談は、どのようなものが多いですか
(3つまで選択可)

利用者やその家族からの苦情・相談内容で多いものとしては、「提供しているサービスの質」が47.1%で最も多く、次いで「サービス提供事業者の対応」(40.0%)等が続いています。

【苦情や相談】(複数回答)



5 業務内容

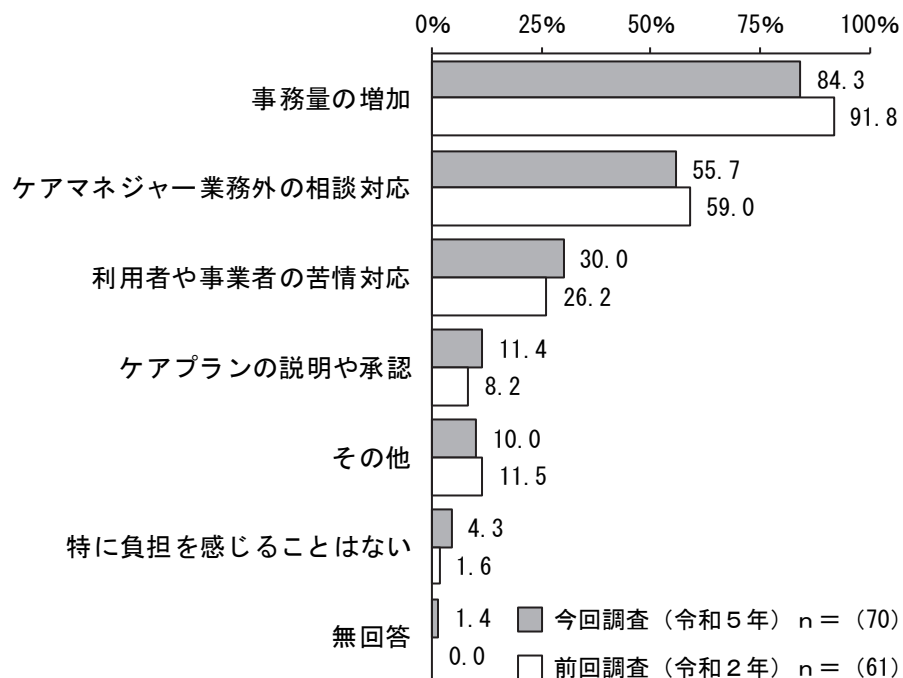
(1) 介護支援専門員の業務の負担

問9 介護支援専門員の業務について、どのようなことに負担を感じていますか
(あてはまるものすべてに○)

介護支援専門員の業務について、負担を感じていることとしては、「事務量の増加」が84.3%で最も多く、次いで「ケアマネジャー業務外の相談対応」(55.7%)等が続いています。

また、「その他」の主な回答としては、「身寄りがないケース」、「医師、病院との連絡」等となっています。

【介護支援専門員の業務の負担】(複数回答)



(2) 仕事量の評価

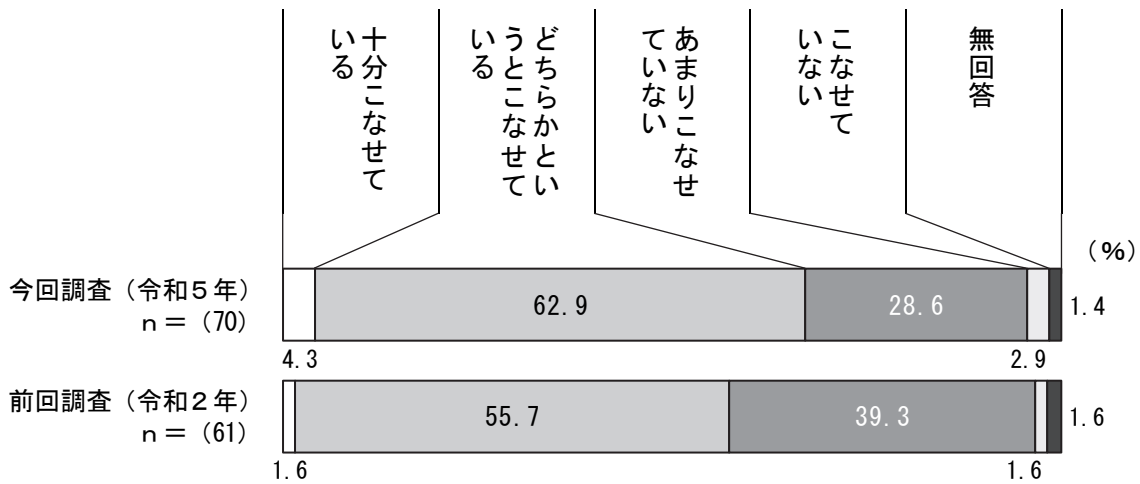
問10 あなた自身が受け持つ仕事量について、どのように評価しますか

受け持つ仕事量の評価としては、「どちらかというとならせている」が62.9%で最も多く、次いで「あまりこなせていない」(28.6%)、「十分こなせている」(4.3%)と続いています。半数以上が「(十分・どちらかというとならせている」と回答しています。

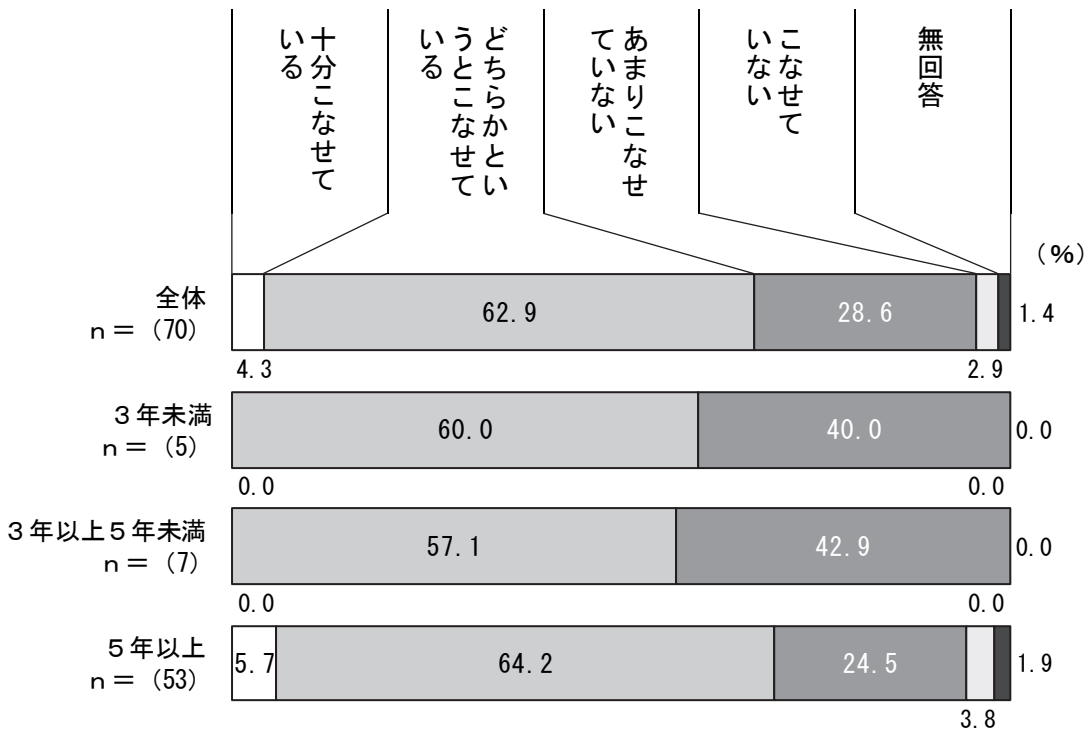
前回の調査結果と比較すると、「どちらかというとならせている」が7.2ポイント増加している一方、「あまりこなせていない」は10.7ポイント減少しています。

これを経験年数別にみると、5年以上で「(十分・どちらかというとならせている」が69.9%となっています。

【仕事量の評価】



【仕事量の評価：経験年数別】



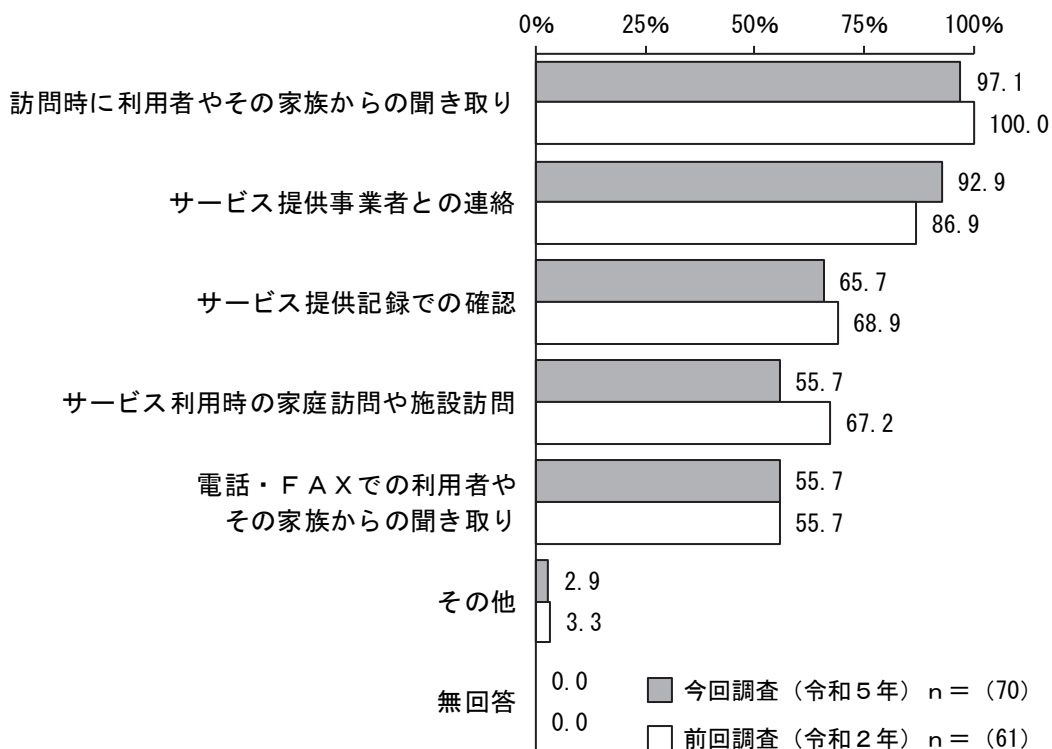
(3) サービスの質に関する履行確認の方法

問 11 ケアプランに基づいたサービスが提供されているか、また、契約事項が守られているかの確認は、ケアマネジメント業務の一部です。サービスの質（中身）についての履行確認はどのような方法で行っていますか（あてはまるものすべてに○）

サービスの質に関する履行確認の方法は、「訪問時に利用者やその家族からの聞き取り」が97.1%で最も多く、次いで「サービス提供事業者との連絡」(92.9%)、「サービス提供記録での確認」(65.7%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「サービス利用時の家庭訪問や施設訪問」が11.5ポイント減少しています。

【サービスの質に関する履行確認の方法】（複数回答）

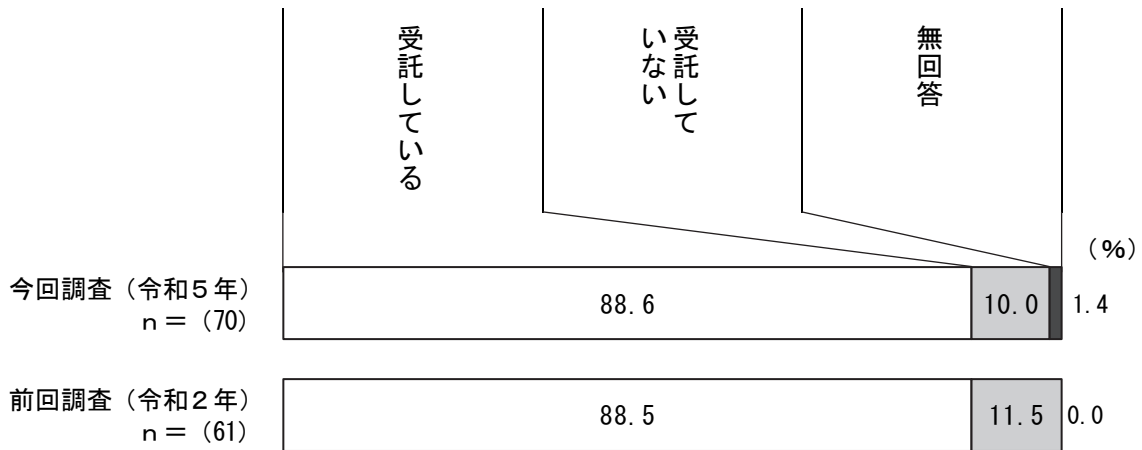


(4) 介護予防プランの作成の受託

問 12 介護予防プランの作成を受託していますか

介護予防プランの作成の受託については、「受託している」が88.6%となっています。

【介護予防プランの作成の受託】



(5) 介護予防プランの作成受託上の問題点

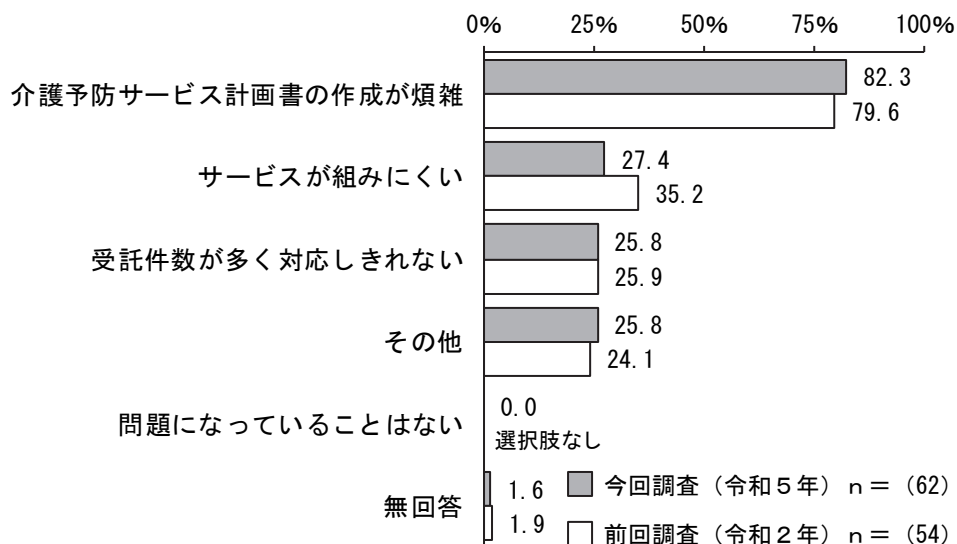
【問 12 で「受託している」を選択した方のみ】

問 12-1 介護予防プランの作成を受託する上で問題になっていることは何ですか
(あてはまるものすべてに○)

問 12 で「受託している」と回答した方に介護予防プランの作成を受託する上で問題点を聞いたところ、「介護予防サービス計画書の作成が煩雑」が82.3%で最も多く、次いで「サービスが組みにくい」(27.4%)、「受託件数が多く対応しきれない」(25.8%)等が続いています。

「その他」の主な回答としては、「報酬が見合わない」、「事業所の受け手(ヘルパー等)が少ない」等となっています。

【介護予防プランの作成受託上の問題点】(複数回答)



6 業務上の悩みや問題点

(1) 業務上の悩みや問題点の相談相手

問13 あなたは、業務上の悩みや問題点を誰に相談していますか

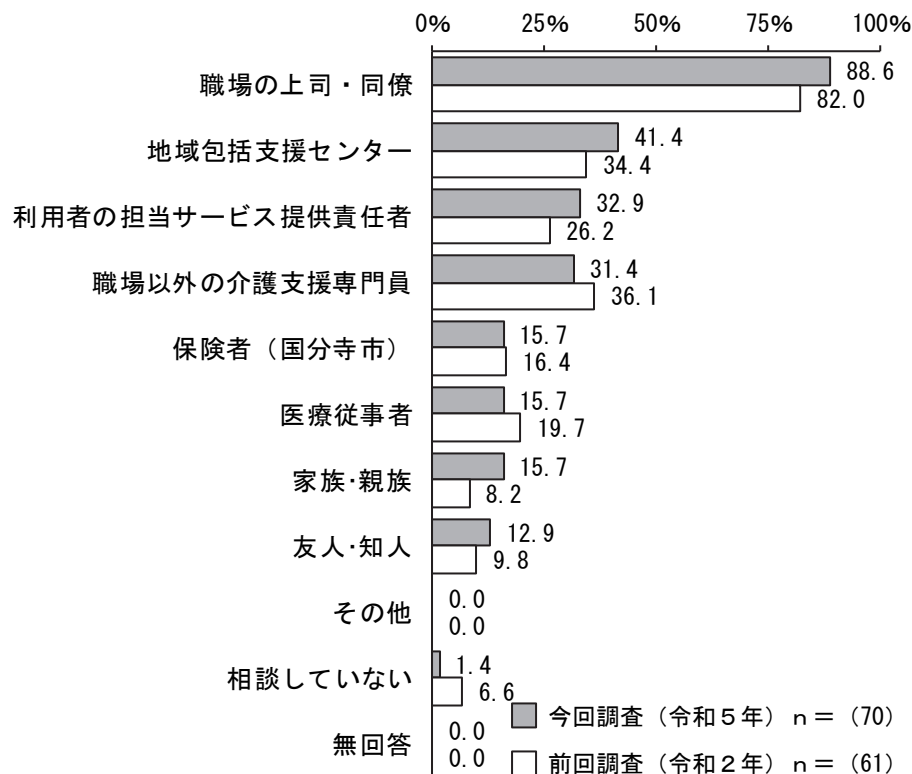
(あてはまるものすべてに○)

(※選択肢「家族・親族」、「友人・知人」については守秘義務を伴うものを除く)

業務上の悩みや問題点の相談相手としては、「職場の上司・同僚」が88.6%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」(41.4%)、「利用者の担当サービス提供責任者」(32.9%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「家族・親族」は7.5ポイント、「地域包括支援センター」は7.0ポイント増加している一方、「職場以外の介護支援専門員」は4.7ポイント、「医療従事者」は4.0ポイント減少しています。

【業務上の悩みや問題点の相談相手】(複数回答)



(2) 相談していない理由

【問13で「相談していない」を選択した方のみ】

問13-1 相談していない理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）

「相談していない」と回答した方の、相談していない理由は「忙しくて相談する時間がとれないから」となっています。

【相談していない理由】（複数回答）

	忙しくて相談する時間がとれないから	職場内外とも相談体制が整っていないから	信頼できる相談相手がないから	相談先がわからないから	相談しても無駄だから	自分で解決しているから	その他	無回答
今回調査（令和5年）n = (1)	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
前回調査（令和2年）n = (4)	1件	1件	1件	1件	3件	2件	0件	0件

7 ケアマネジメントの質の向上

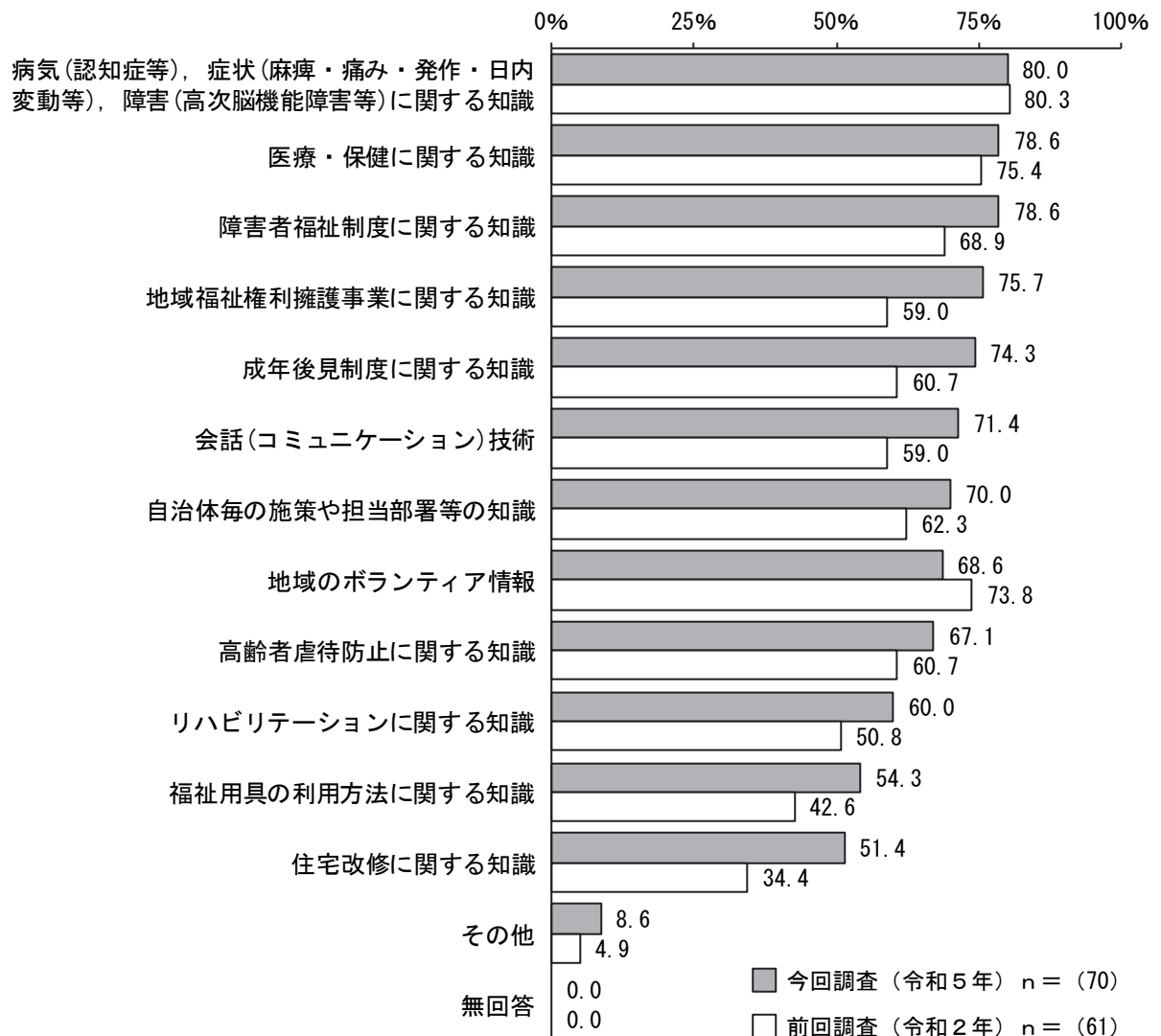
(1) 質の向上に向けて、必要な知識

問14 ケアマネジメントの質の向上に向けて、必要な知識は何だと思えますか
(あてはまるものすべてに○)

ケアマネジメントの質の向上に向けて必要だと思う知識としては、「病気（認知症等）、症状（麻痺・痛み・発作・日内変動等）、障害（高次脳機能障害等）に関する知識」が80.0%で最も多く、次いで「医療・保健に関する知識」、「障害者福祉制度に関する知識」（それぞれ78.6%）等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「住宅改修に関する知識」は17.0ポイント、「福祉用具の利用方法に関する知識」は11.7ポイント増加しています。

【質の向上に向けて、必要な知識】（複数回答）



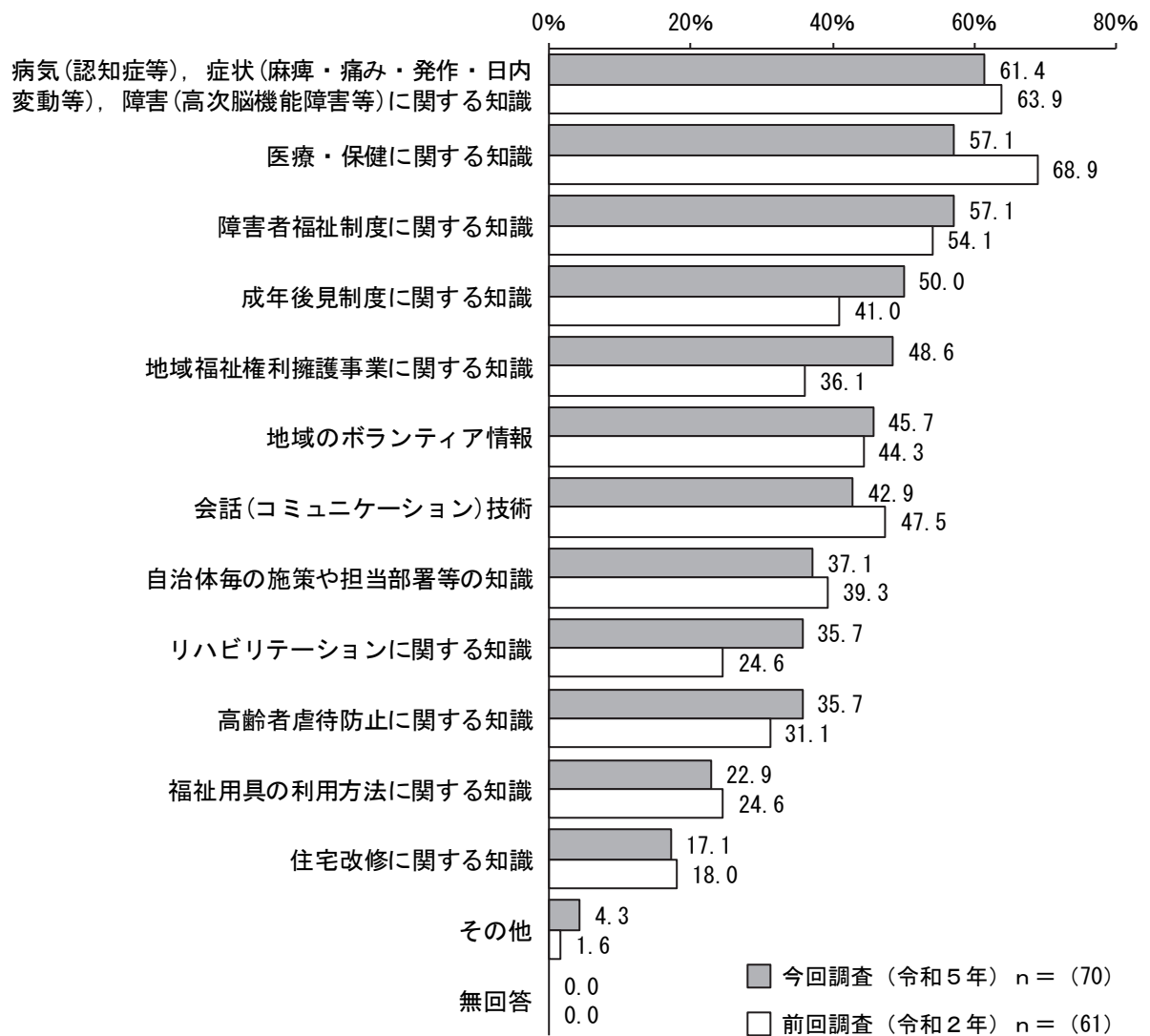
(2) 質の向上に向けて、さらに向上させたい知識

問15 ケアマネジメントの質の向上に向けて、さらに向上させたい知識は何ですか
(あてはまるものすべてに○)

ケアマネジメントの質の向上に向けてさらに向上させたい知識としては、「病気（認知症等）、症状（麻痺・痛み・発作・日内変動等）、障害（高次脳機能障害等）に関する知識」が61.4%で最も多く、次いで「医療・保健に関する知識」、「障害者福祉制度に関する知識」（それぞれ57.1%）等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「地域福祉権利擁護事業に関する知識」は12.5ポイント、「リハビリテーションに関する知識」は11.1ポイント増加している一方、「医療・保健に関する知識」は11.8ポイント減少しています。

【質の向上に向けて、さらに向上させたい知識】（複数回答）



8 サービス担当者会議の開催状況

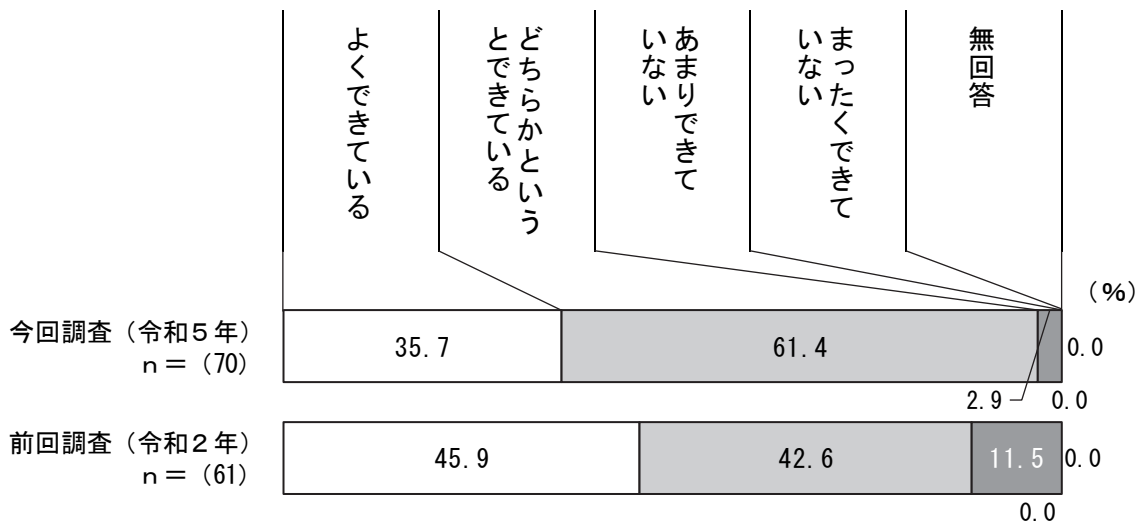
(1) サービス担当者会議の適切な開催

問 16 利用者の心身の状態や環境の変化，保健・福祉・医療サービスの利用状況及び経過等から，サービス担当者会議を開催する機会を的確に捉えて，適切に開催していますか

サービス担当者会議を適切に開催しているかについては、「どちらかというとできている」が61.4%で最も多く，次いで「よくできている」(35.7%)，「あまりできていない」(2.9%)が続いています。

前回の調査結果と比較すると，「(よく・どちらかというと)できている」との回答が8.6ポイント増加しています。

【サービス担当者会議の適切な開催】



(2) サービス担当者会議の適切な開催ができない理由

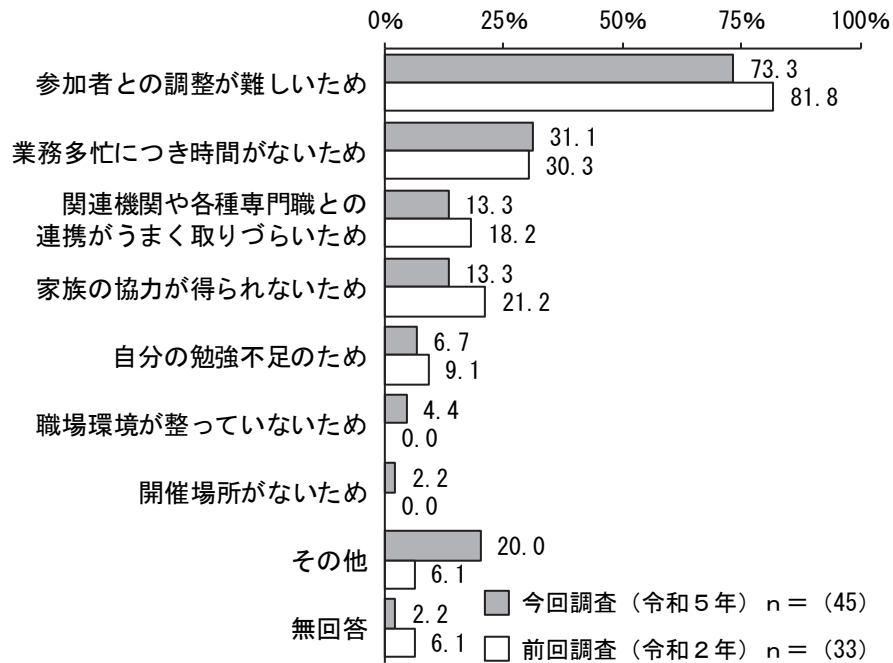
【問16で「よくできている」以外を選択した方のみ】

問16-1 どのようなことが原因ですか（あてはまるものすべてに○）

問16で「どちらかというときできている」、「あまりできていない」、「まったくできていない」と回答した方にその理由を聞くと、「参加者との調整が難しいため」が73.3%で最も多く、次いで「業務多忙につき時間がないため」(31.1%)、「関連機関や各種専門職との連携がうまく取りづらいため」、「家族の協力が得られないため」(それぞれ13.3%)等が続いています。

「その他」の主な回答としては、「新型コロナウイルス感染拡大予防のため」等となっています。

【サービス担当者会議の適切な開催ができない理由】（複数回答）



9 保険者に対する評価

(1) 保険者（国分寺市）に対する不満

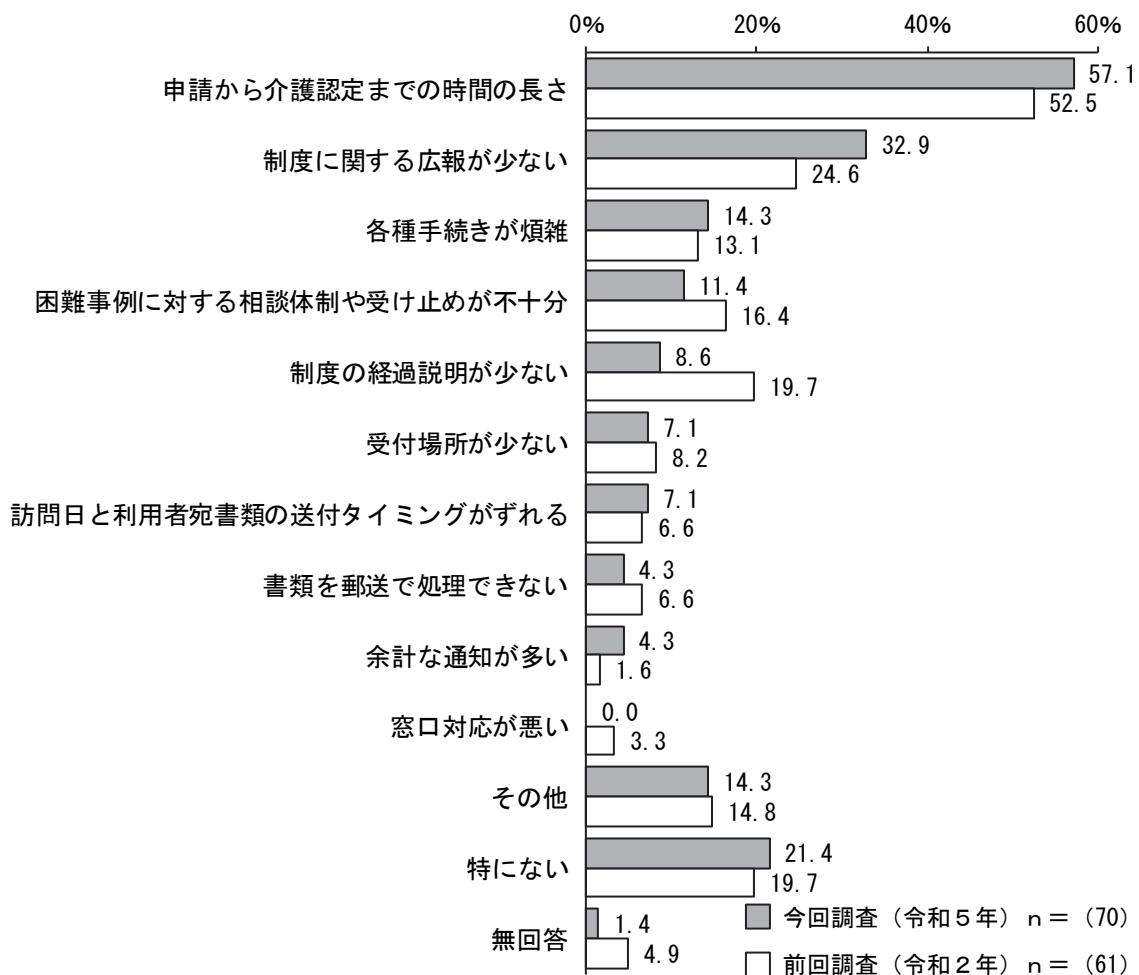
問 17 保険者（国分寺市）に対して不満に感じることは、どのようなことですか
（あてはまるものすべてに○）

保険者（国分寺市）に対して不満に感じることとしては、「申請から介護認定までの時間の長さ」が57.1%で最も多く、次いで「制度に関する広報が少ない」（32.9%）等が続いています。

「その他」の主な回答としては、「介護認定時の医師の意見書は、閲覧請求と同時に発行してほしい」、「制度に関して、国分寺市としてどのようにしていきたいかが不明」、「暫定サービスの使いづらさ」、「他課連携に積極的でない」、「介護認定審査会によって、認定結果に偏りがある気がする」、「IT化・ICT導入の遅れ」等となっています。

前回の調査結果と比較すると、「制度に関する広報が少ない」が8.3ポイント増加しています。

【保険者（国分寺市）に対する不満】（複数回答）



10 介護支援専門員への支援

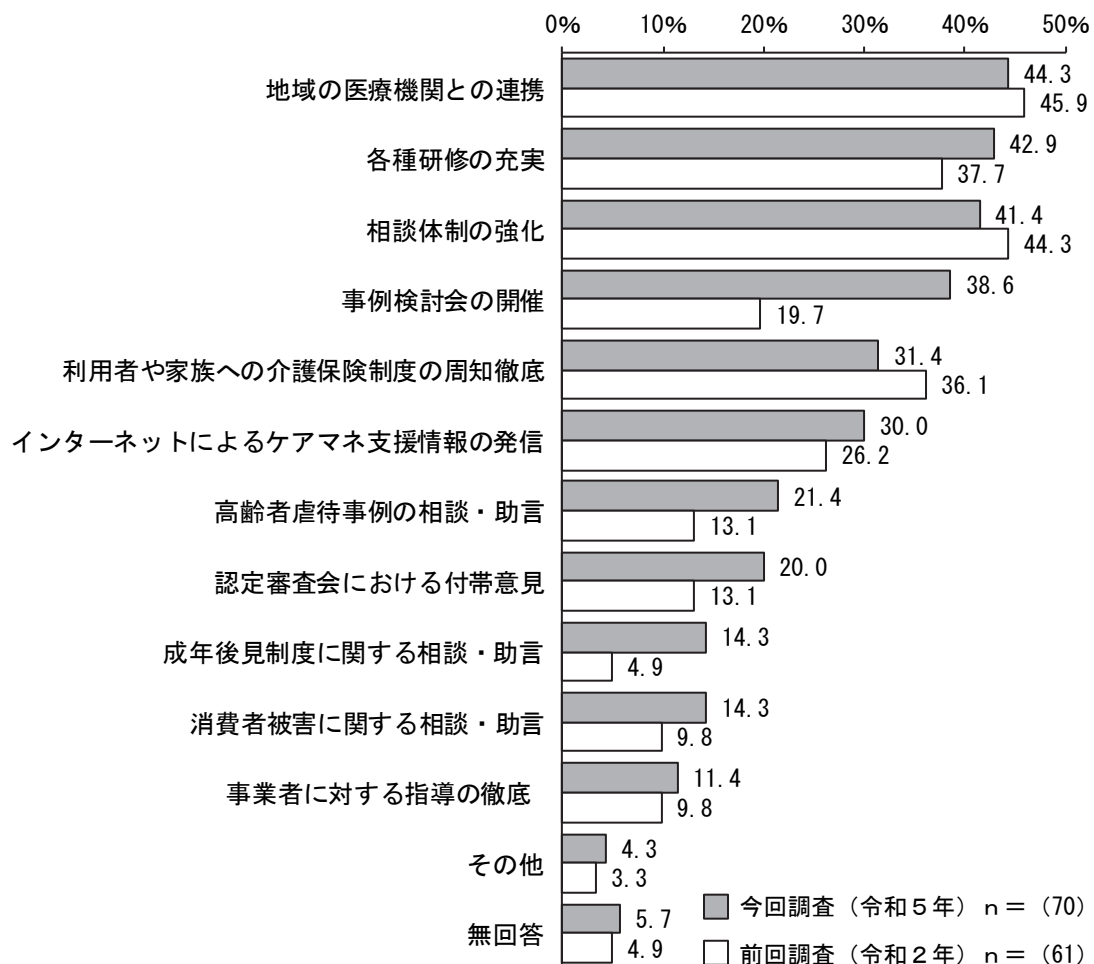
(1) 希望する支援

問18 保険者（国分寺市）が行う介護支援専門員への支援として、どのようなことを望みますか（あてはまるものすべてに○）

保険者（国分寺市）が行う介護支援専門員への支援として望まれることは、「地域の医療機関との連携」が44.3%で最も多く、次いで「各種研修の充実」(42.9%)、「相談体制の強化」(41.4%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「事例検討会の開催」が18.9ポイント、「成年後見制度に関する相談・助言」が9.4ポイント増加しています。

【希望する支援】（複数回答）



(2) 保険者（国分寺市）に相談したい内容

問 19 保険者（国分寺市）に相談したいことがありましたら、ご自由にご記入ください

全体で、14件の内容がありました。内容ごとに整理し、概要を掲載します。

制度・行政に関すること

- ・より多くの支援のプラン作成を可能にするために、要支援のプランを介護と同じ書式にして、要支援の受託金額をアップしてほしい。
- ・以前のように、月1回更新のケアマネ事業所一覧には受入可能件数を掲載してほしい。
- ・介護保険以外の相談を受けるケースが増えているので、市の相談窓口もまとまってほしい。
- ・予防の給付を1か月単位にしてほしい。
- ・身体介護に入れるようにデイサービス、支援への週1回の制限をなしにしてほしい。
- ・医師会の顔が全くみえない。
- ・主任介護支援専門員の活躍の機会・場について、一緒に考えてほしい。

介護認定に関すること

- ・暫定プランが多いので、期間内の更新結果（ギリギリも不可）、本人の生活状況や病状に則した審査、調査員によるサービスのすすめは止めてほしい。
- ・認定調査員によっては、サービスをすすめたり、〇〇ができると紹介されるので、担当ケアマネジャー等（地域包括支援センター）へ相談して下さい、としてほしい。
- ・認定結果に日数がかかる。
- ・認定の結果がでるのが遅いため、暫定プランを作ったり、担当者会議を2回開催することは大変である。書類の事業所間のやりとりはFAXやメールも可としてほしい。
- ・介護保険申請後、認定調査を受ける前に亡くなられた場合、未調査であっても一定の認定を出してほしい。

11 関係機関との連携

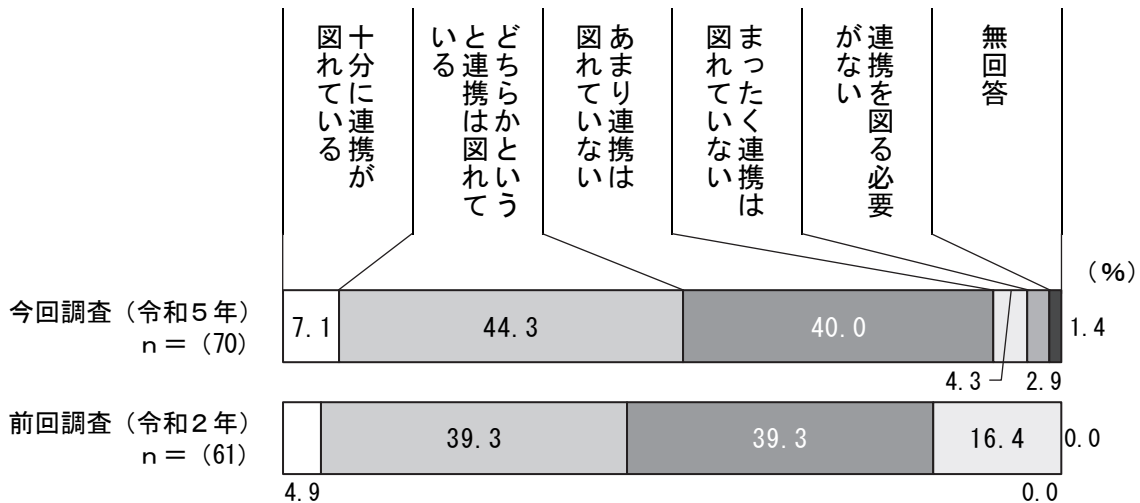
(1) 関係機関との連携状況

問 20 次に挙げる人たちとの連携状況について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

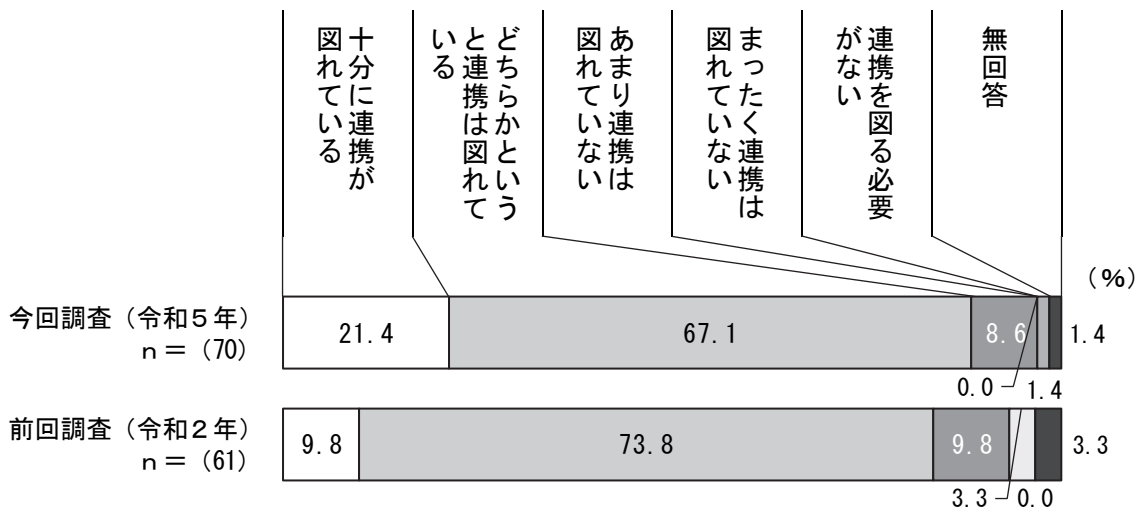
関係機関との連携状況をみると、「(十分に連携が・どちらかという連携は) 図れている」との回答が半数を上回っているのは(1)他の居宅介護支援事業所、(2)他の介護保険事業所、(3)地域包括支援センター、(5)行政機関の4つになっています。「(あまり・まったく)連携は図れていない」との回答が半数を上回っているのは(4)ボランティア・NPO、(6)社会福祉協議会、(7)民生委員、(8)障害者基幹相談支援センターの4つになっています。

前回の調査結果と比較すると全ての機関において「(十分に連携が・どちらかという連携は) 図れている」が増加しています。

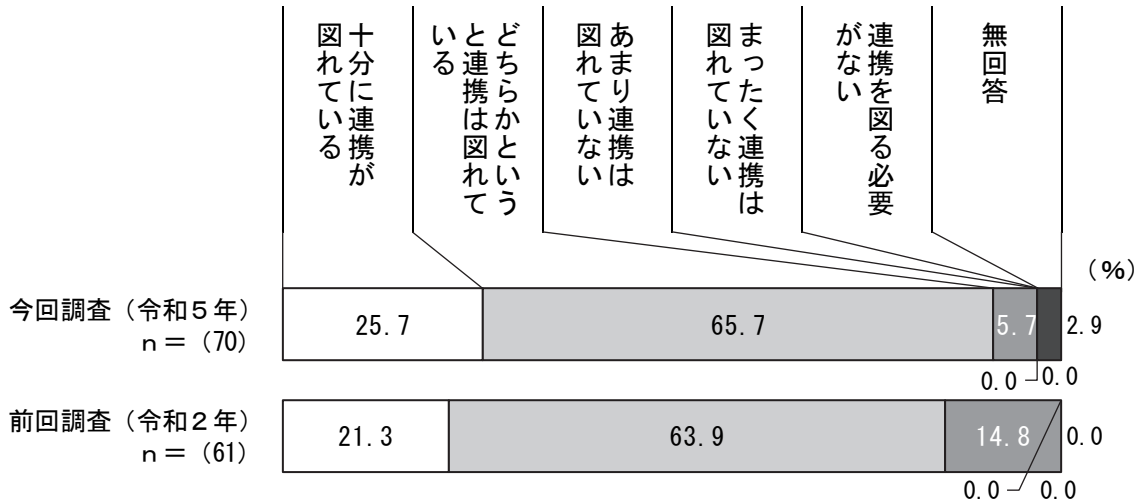
【(1) 他の居宅介護支援事業所】



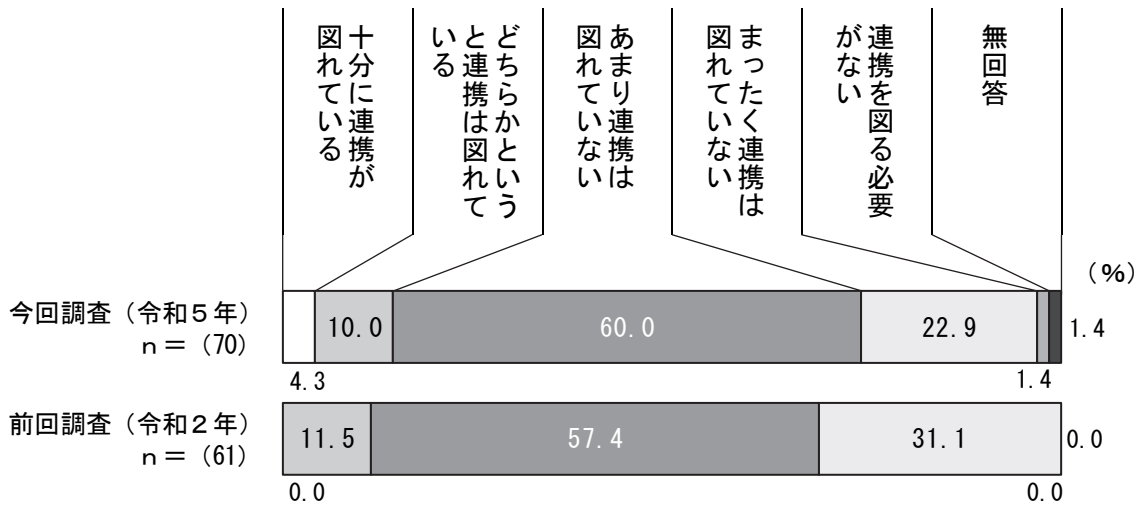
【(2) 他の介護保険事業所】



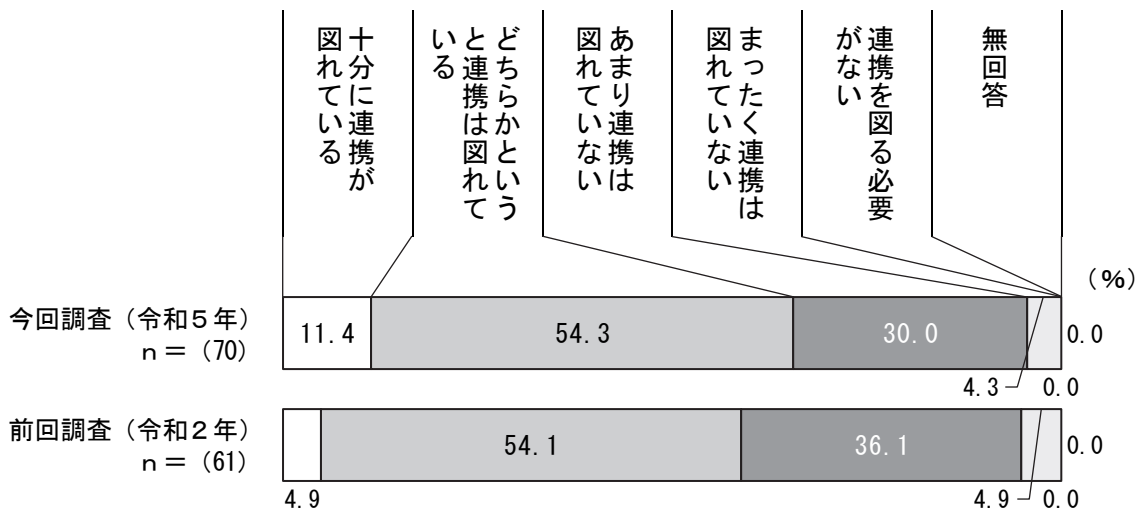
【(3) 地域包括支援センター】



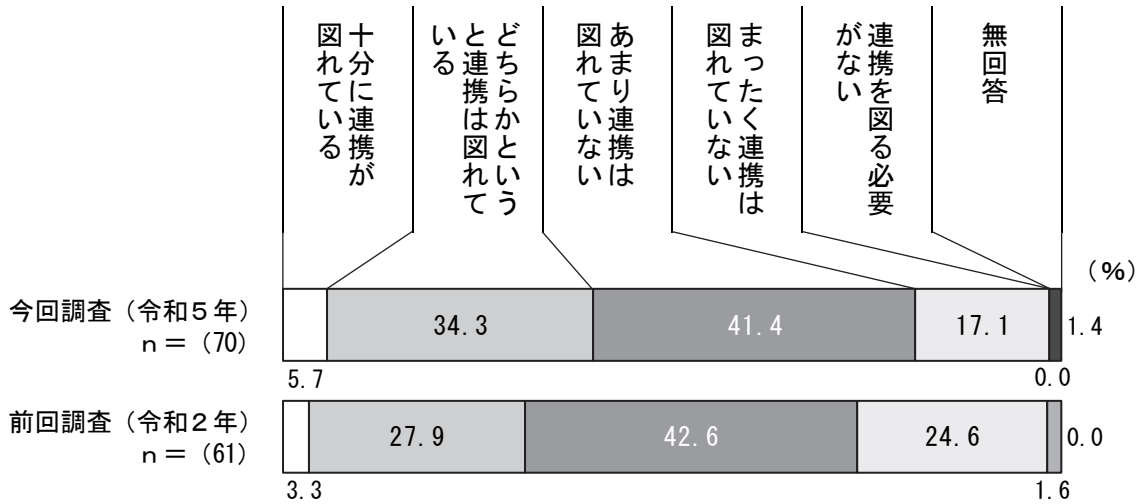
【(4) ボランティア・NPO】



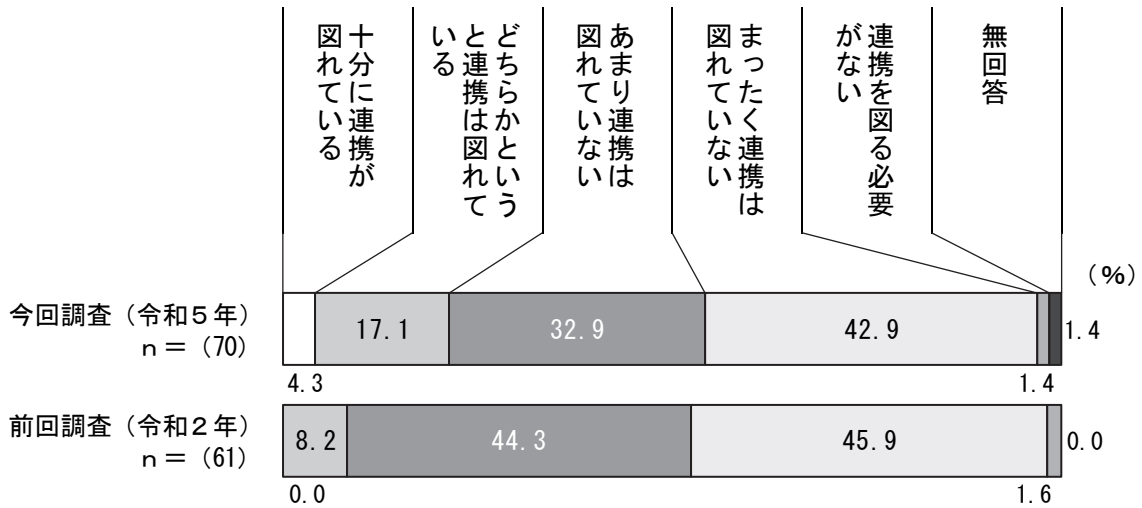
【(5) 行政機関】



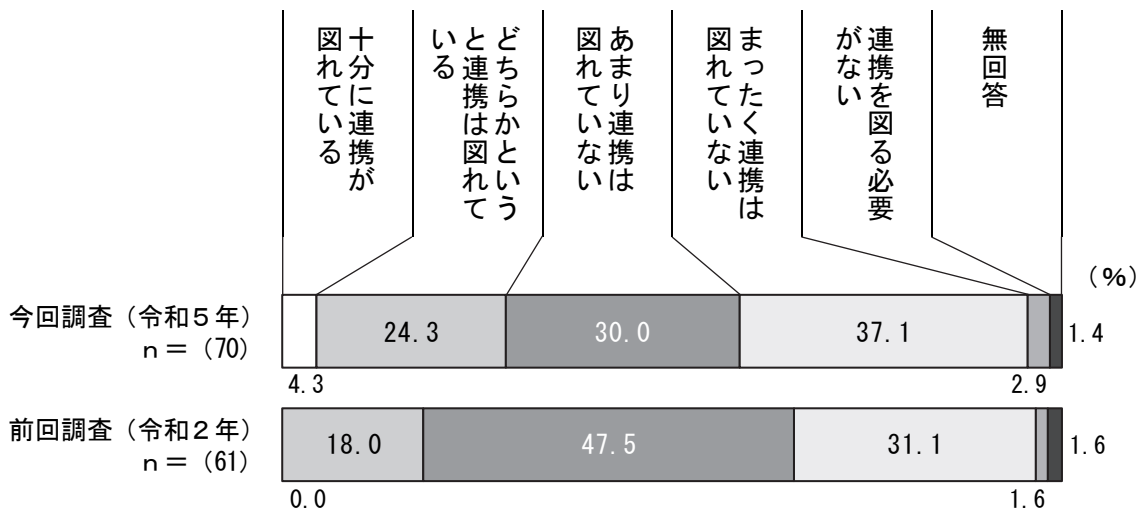
【(6) 社会福祉協議会】



【(7) 民生委員】



【(8) 障害者基幹相談支援センター】



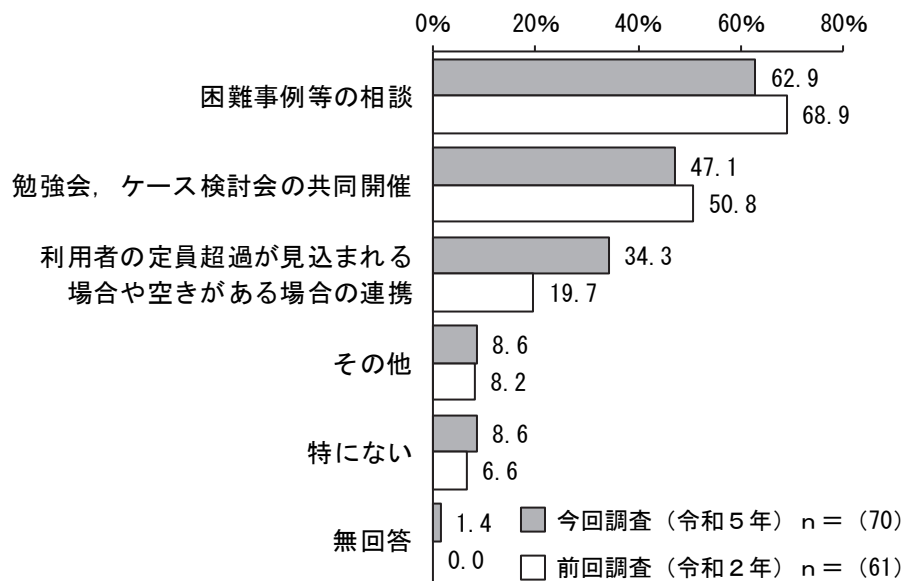
(2) 関係機関との連携内容

問21 問20の人たちとどのような連携を取っていますか（あてはまるものすべてに○）

関係機関との連携内容としては、「困難事例等の相談」が62.9%で最も多く、次いで「勉強会、ケース検討会の共同開催」(47.1%)、「利用者の定員超過が見込まれる場合や空きがある場合の連携」(34.3%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「利用者の定員超過が見込まれる場合や空きがある場合の連携」が14.6ポイント増加しています。一方、「困難事例等の相談」は6.0ポイント、「勉強会、ケース検討会の共同開催」は3.7ポイント減少しています。

【関係機関との連携内容】（複数回答）



12 医療との連携

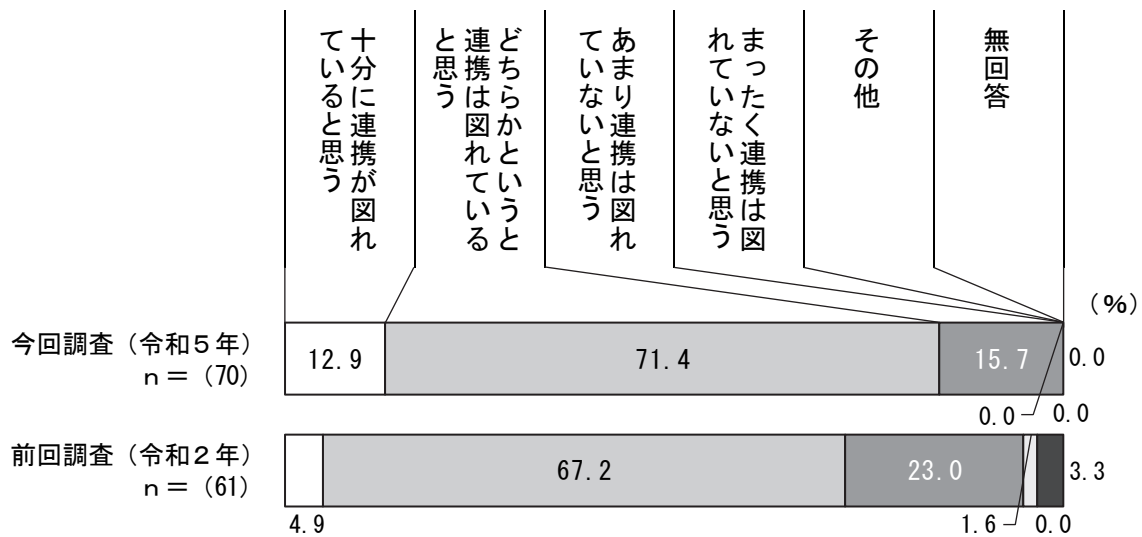
(1) かかりつけ医や歯科医との連携状況

問 22 あなたの事業所において、かかりつけ医や歯科医との連携が必要だと思うケースでは、実際に連携が図れていると思いますか

かかりつけ医や歯科医との連携が図れているかについては、「どちらかという連携は図れていると思う」が71.4%で最も多く、次いで「あまり連携は図れていないと思う」(15.7%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「(十分に連携が・どちらかという連携は) 図れていると思う」が12.2ポイント増加しています。

【かかりつけ医や歯科医との連携状況】



(2) かかりつけ医や歯科医との連携方法

【問22で「十分に連携が図れていると思う」、「どちらかという連携は図れていると思う」を選択した方のみ】

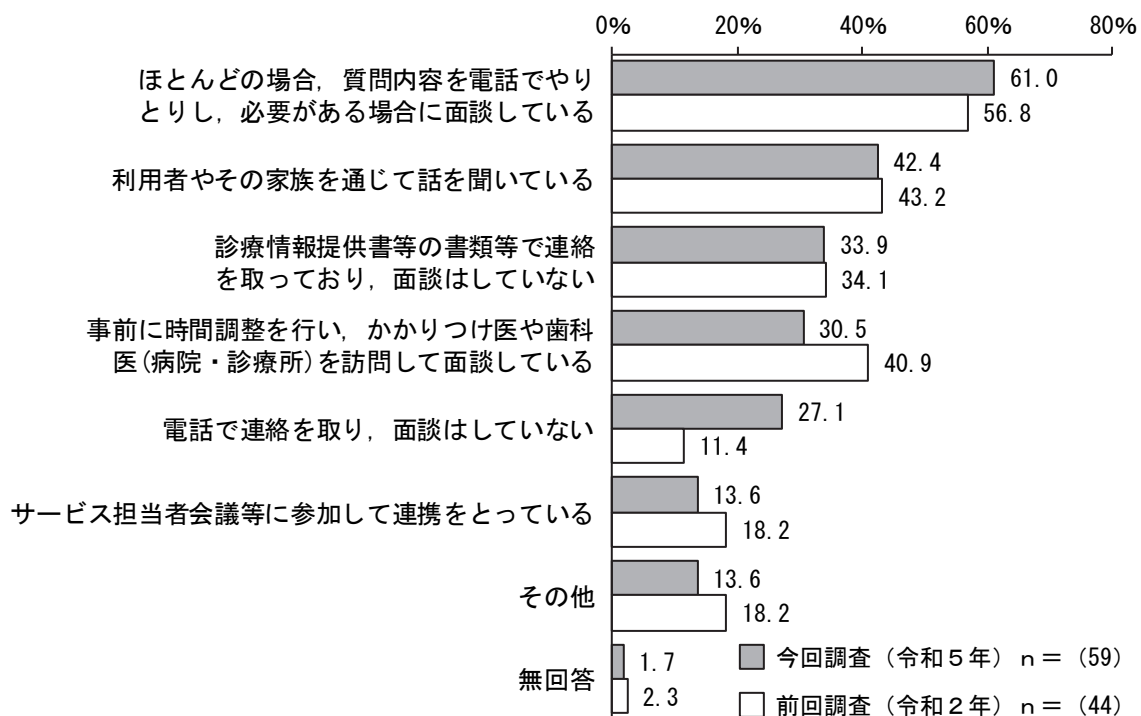
問22-1 かかりつけ医や歯科医との連携はどのような方法で行っていますか
(3つまで選択可)

問22で「(十分に連携が・どちらかという連携は) 図れていると思う」と回答した方に、連携方法について聞いたところ、「ほとんどの場合、質問内容を電話でやりとりし、必要がある場合に面談している」が61.0%で最も多く、次いで「利用者やその家族を通じて話を聞いている」(42.4%)、「診療情報提供書等の書類等で連絡を取っており、面談はしていない」(33.9%)等が続いています。

「その他」の主な回答としては、「通院や往診の際に面談」、「利用者宅での訪問に合わせて面談」、「意見照会書を郵送し返送していただく」、「電話の上FAXなど」、「MCS(メディカルケアステーション)の利用」等となっています。

前回の調査結果と比較すると、「電話で連絡を取り、面談はしていない」が15.7ポイント増加している一方、「事前に時間調整を行い、かかりつけ医や歯科医(病院・診療所)を訪問して面談している」は10.4ポイント減少しています。

【かかりつけ医や歯科医との連携方法】(複数回答)



(3) 医療との連携が図れていない理由

【問22で「あまり連携は図れていないと思う」、「まったく連携は図れていないと思う」を選択した方のみ】

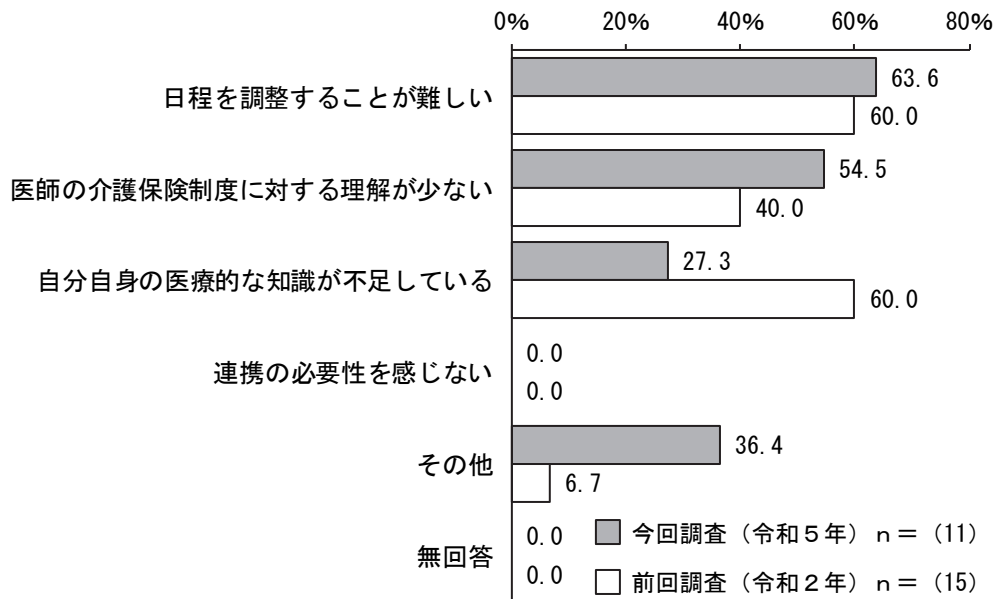
問22-2 医療との連携が図れていない理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）

問22で「(あまり・まったく)連携は図れていないと思う」と回答した方に、その理由を聞いたところ、「日程を調整することが難しい」が63.6%で最も多く、次いで「医師の介護保険制度に対する理解が少ない」(54.5%)、「自分自身の医療的な知識が不足している」(27.3%)が続いています。

「その他」の主な回答としては、「連絡しても、忙しいと言われ断られ、連絡票、FAXでのやりとりになってしまう」、「コロナで病院に行っていない」、「連携が取りづらい病院がある」等となっています。

前回の調査結果と比較すると、「自分自身の医療的な知識が不足している」が32.7ポイント減少し、「医師の介護保険制度に対する理解が少ない」は14.5ポイント増加しています。

【医療との連携が図れていない理由】(複数回答)



13 意見・要望

(1) 意見・要望

問 23 介護保険制度や保険者（国分寺市）に対してのご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください

全体で、15件の意見・要望がありました。内容ごとに整理し、概要を掲載します。

市独自のサービスに関すること

- ・サービス付き高齢者向け住宅入居者に紙おむつ助成がないので改善してほしい。
- ・市独自のサービスの拡充（デマンド型交通サービス，乗り合い送迎サービスなど）。
- ・支援サービス時間について，1回の入れる時間の延長ができれば，本人の望みを叶えることができる場合がある。

制度・行政に関すること

- ・高齢福祉課の各担当係の名称や業務内容が分かりづらい。
- ・介護予防ケアプランをもう少し簡素化してほしい。居宅介護サービス計画書と同じようにしていただければやすい。
- ・介護保険制度改正の際は，オンラインでの説明を継続してほしい。
- ・市役所まで行かなくても地域包括支援センターで，必要書類の受け渡しができるようにしてほしい。
- ・医師との連携のため無料で問い合わせができる書式がほしい。
- ・法改正の度に新たな必須事項が加わり仕事量が増加している。例えばBCP（事業継続計画）については，市の方針・ひな形の提供や介護予防の書式を簡素化していただければ，負担が減ると思う。
- ・国分寺市周辺の大学生たちにボランティアとして関わってもらえるようなシステムづくりをしてほしい。
- ・メディカルケアステーションのような仕組みがあるとよいと思う。

介護認定に関すること

- ・更新申請，区分変更申請の結果判定まで，時間がかかるが増えているので，改善してほしい。
- ・認定結果が軽く出てしまい，区分変更申請をするケースがかなり増えている。区分変更で介護度が変わることが多く，それについては検討してほしいと感じる。
- ・認定が期間内で決まらない場合，猶予期間を設けていただけるような取り組みがほしい。
- ・認定申請中の方が，暫定期間に支援していただける方法があると，その後の介護サービスにつなげやすくなると思う。

第7章 介護職員等調査

1 介護職員本人の状況

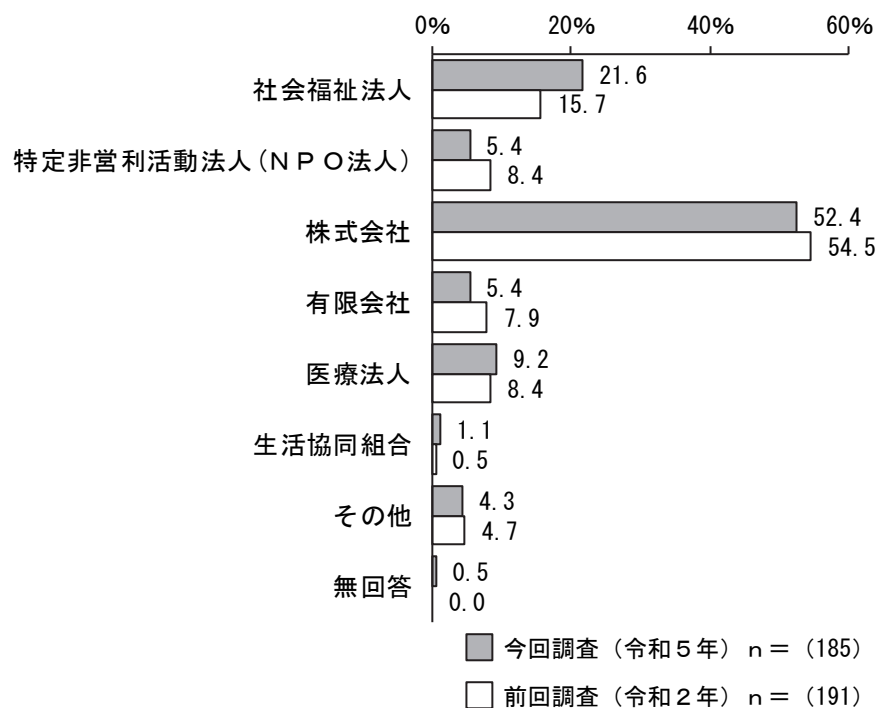
問1 あなたの現在働いている事業所について教えてください。

(1) 事業所の経営主体

回答した介護職員の所属する事業所の経営主体は、「株式会社」が52.4%で最も多く、次いで「社会福祉法人」(21.6%)、「医療法人」(9.2%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「社会福祉法人」、「医療法人」が増加している一方、「特定非営利活動法人(NPO法人)」、「株式会社」、「有限会社」は減少しています。

【事業所の経営主体】

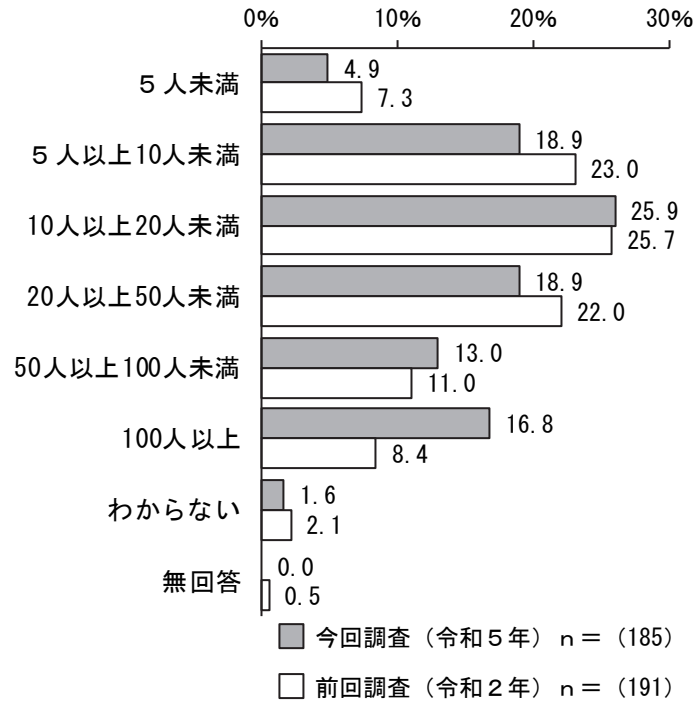


(2) 事業所の従業員規模

事業所の従業員規模（パート含む）は、「10人以上20人未満」が25.9%で最も多く、次いで「5人以上10人未満」、「20人以上50人未満」（それぞれ18.9%）等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「10人以上20人未満」と50人以上の規模の事業所が増加している一方、「20人以上50人未満」と10人未満の事業所は減少しています。

【事業所の従業員規模】

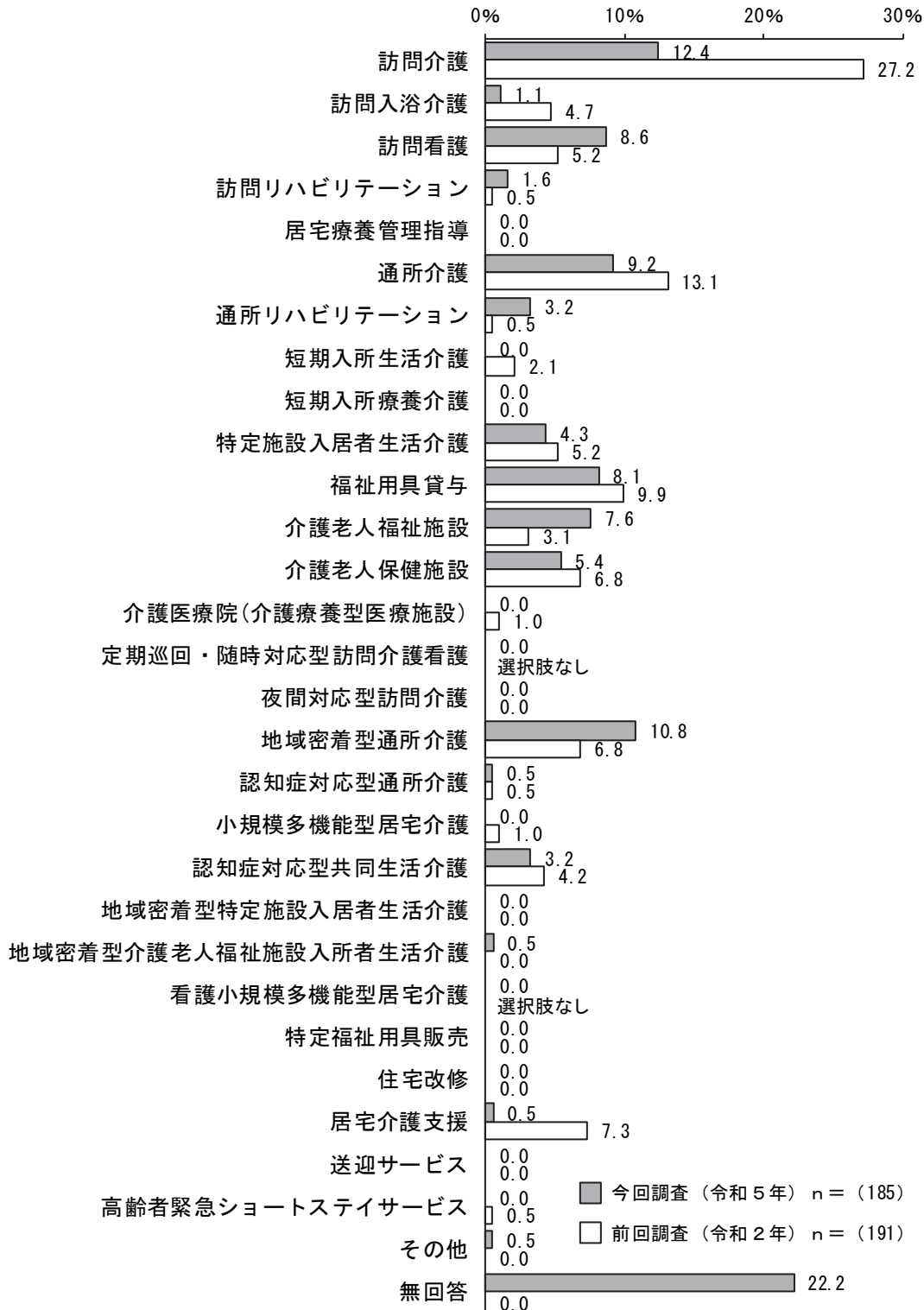


(3) 事業所の主な介護サービス種類

事業所の主な介護サービスとしては、「訪問介護」が12.4%で最も多く、次いで「地域密着型通所介護」(10.8%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「訪問介護」が14.8ポイント、「居宅介護支援」が6.8ポイント減少している一方、「介護老人福祉施設」が4.5ポイント、「地域密着型通所介護」が4.0ポイント増加しています。

【事業所の主な介護サービス種類】



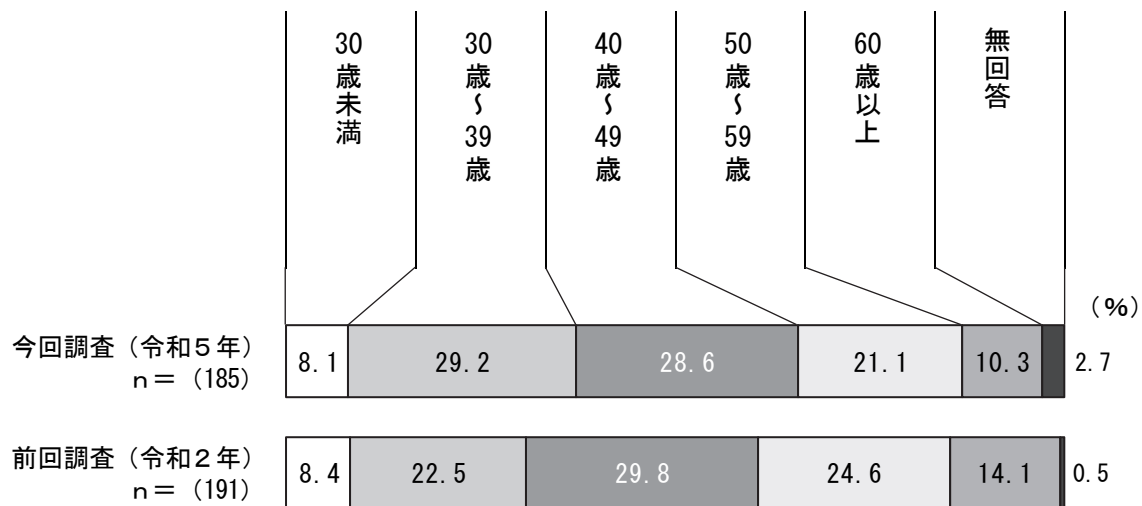
問2 あなたご自身について教えてください

(4) 年齢

回答者の年齢は、「30歳～39歳」が29.2%で最も多くなっています。

前回の調査結果と比較すると、「30歳～39歳」は増加している一方、「30歳未満」と40歳以上が減少しています。

【年齢】

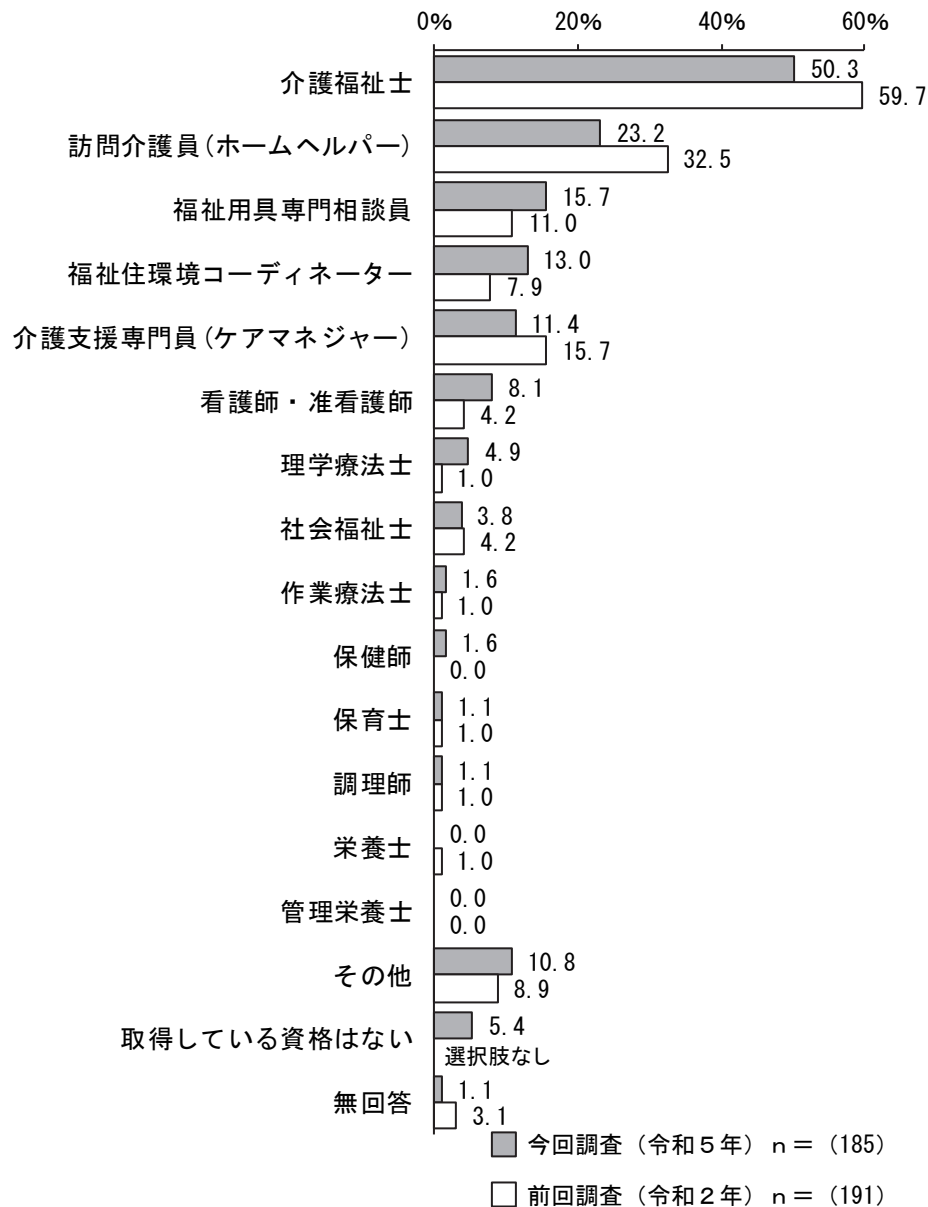


(5) 介護に関する資格

現在取得している介護に関する資格は、「介護福祉士」が 50.3%で最も多く、次いで「訪問介護員（ホームヘルパー）」(23.2%)、「福祉用具専門相談員」(15.7%)等が続いています。

また、「その他」の主な回答としては、「実務者研修修了」、「初任者研修修了」、「柔道整復師」、「歯科衛生士」、「社会福祉主事」、「認知症ケア専門士」、「介護予防運動指導員」、「義肢装具士」、「視覚障害者ガイドヘルパー」等となっています。

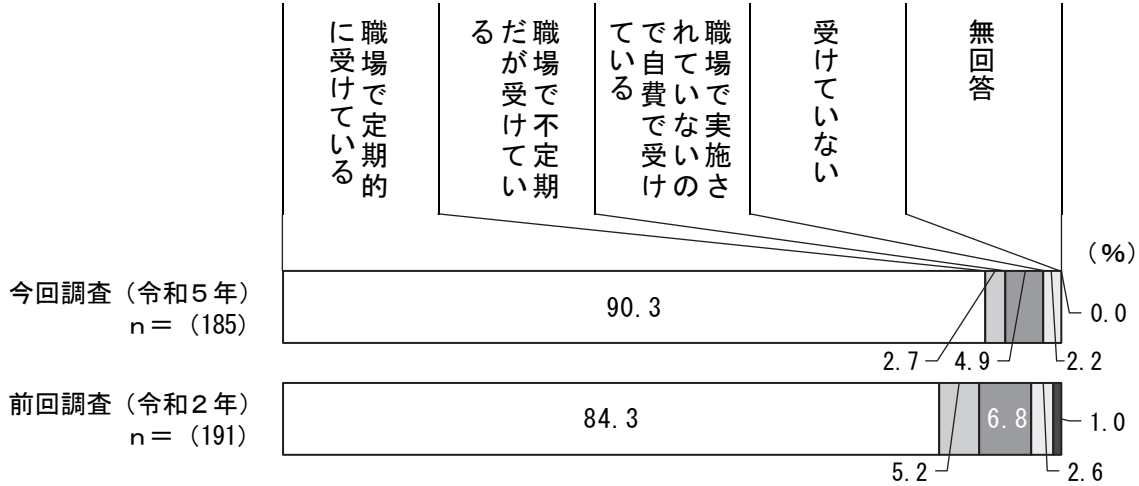
【介護に関する資格】（複数回答）



(6) 健康診断の受診状況

健康診断の受診状況は、「職場で定期的を受けている」が 90.3%で最も多く、次いで「職場で実施されていないので自費で受けている」(4.9%) 等が続いています。

【健康診断の受診状況】

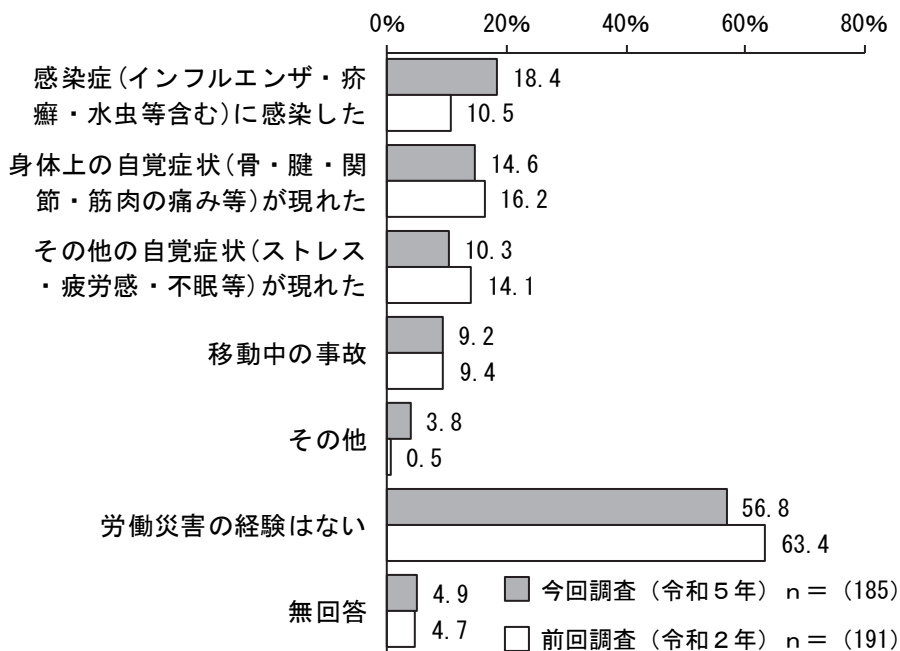


(7) 労働災害の経験

労働災害の経験としては、「労働災害の経験はない」が 56.8%で最も多く、「感染症（インフルエンザ・疥癬・水虫等含む）に感染した」(18.4%) や「身体上の自覚症状（骨・腱・関節・筋肉の痛み等）が現れた」(14.6%)、「その他の自覚症状（ストレス・疲労感・不眠等）が現れた」(10.3%) 等が続いています。

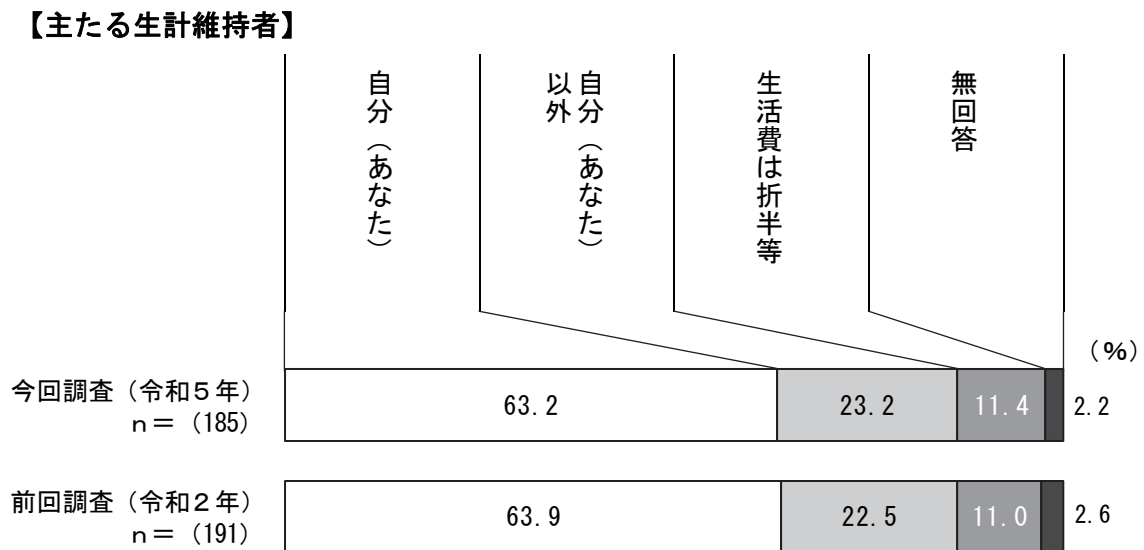
前回の調査結果と比較すると、「感染症（インフルエンザ・疥癬・水虫等含む）に感染した」が 7.9 ポイント増加しています。

【労働災害の経験】（複数回答）



(8) 主たる生計維持者

主たる生計維持者（世帯で最も生活費を負担している方）は、「自分（あなた）」が63.2%で最も多く、次いで「自分（あなた）以外」（23.2%）、「生活費は折半等」（11.4%）が続いています。



2 現在の職場の状況

(1) 事業所を知ったきっかけ

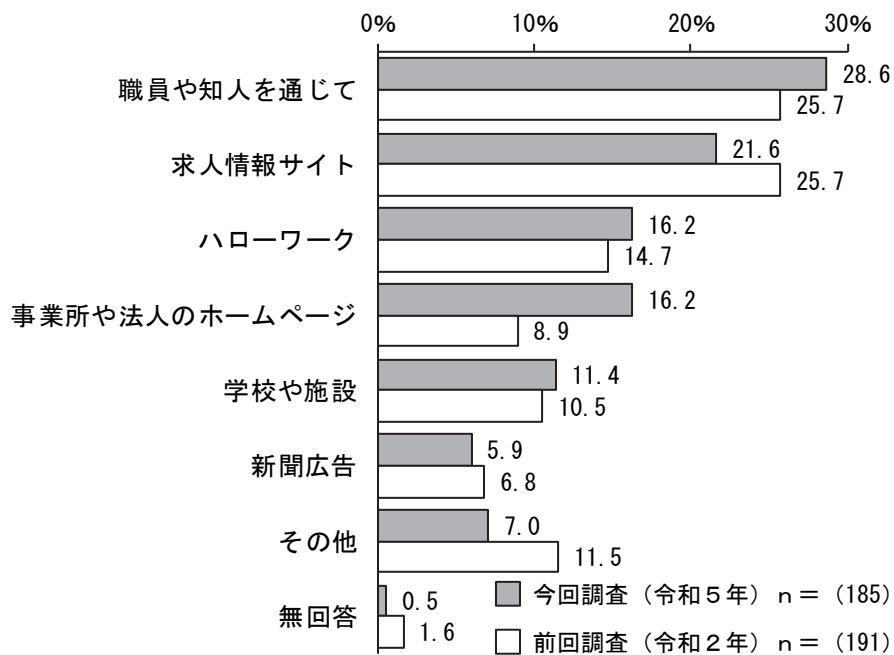
問3 あなたが現在働いている事業所を知ったきっかけを教えてください
(あてはまるものすべてに○)

現在働いている事業所を知ったきっかけとしては、「職員や知人を通じて」が28.6%で最も多く、次いで、「求人情報サイト」(21.6%)、「ハローワーク」、「事業所や法人のホームページ」(それぞれ16.2%)等が続いています。

「その他」の主な回答としては、「ナースバンク(看護職の職業紹介所)」、「フリーペーパー」、「ヘルパー講習」、「就職イベント」等となっています。

前回の調査結果と比較すると、「事業所や法人のホームページ」が7.3ポイント、「職員や知人を通じて」が2.9ポイント、「ハローワーク」が1.5ポイント、「学校や施設」が0.9ポイント増加している一方、「求人情報サイト」が4.1ポイント、「新聞広告」が0.9ポイント減少しています。

【事業所を知ったきっかけ】(複数回答)



問4 現在働いている事業所でのあなたの就労状況について教えてください

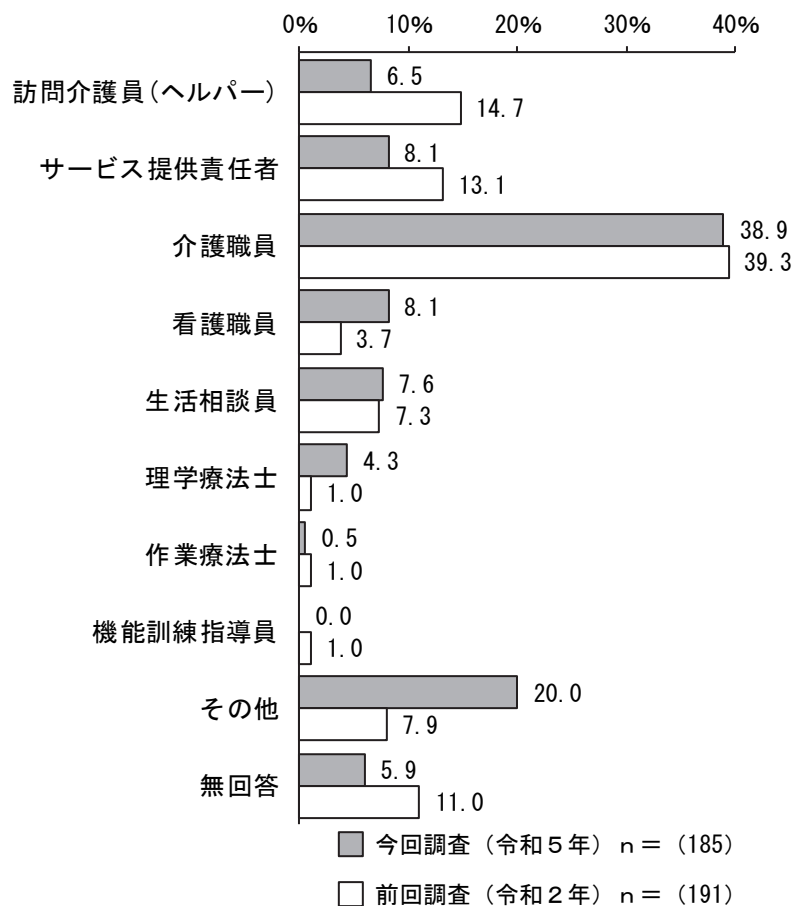
(2) 現在の主な仕事

現在働いている事業所での主な仕事をみると、「介護職員」が38.9%で最も多く、次いで「サービス提供責任者」、「看護職員」（それぞれ8.1%）等が続いています。

「その他」の主な回答としては、「福祉用具専門相談員」等となっています。

前回の調査結果と比較すると、「その他」が12.1ポイント、「看護職員」が4.4ポイント、「理学療法士」が3.3ポイント増加している一方、「訪問介護員（ヘルパー）」が8.2ポイント減少しています。

【現在の主な仕事】

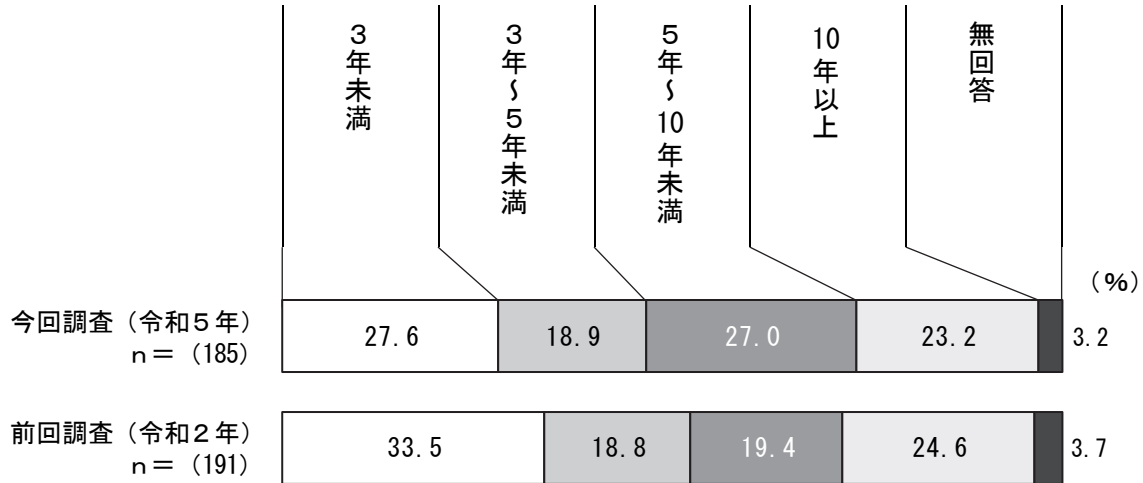


(3) 介護に関する仕事の経験年数

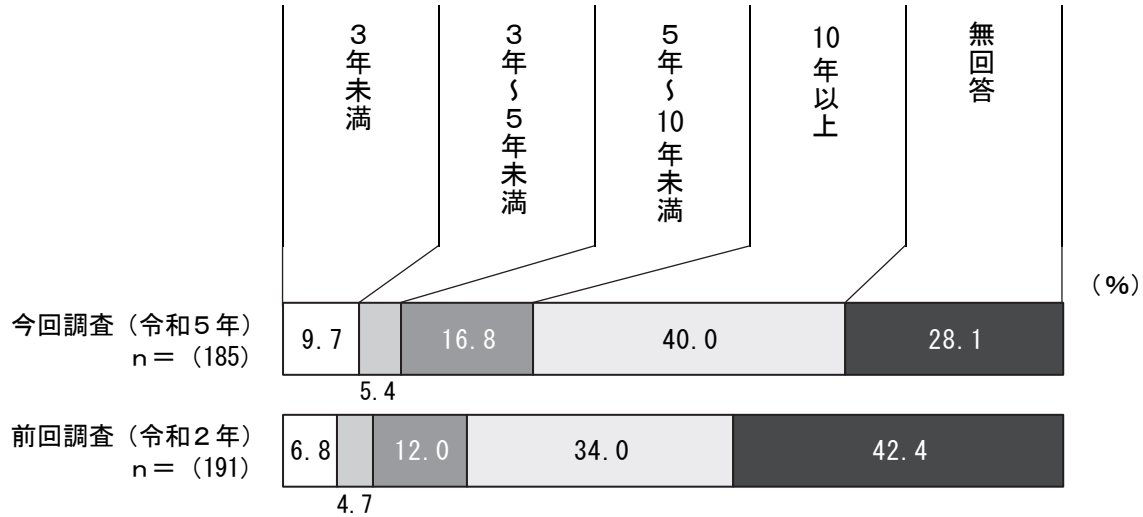
介護に関する仕事の経験年数をみると、現在働いている事業所での経験年数の場合は「3年未満」が27.6%で最も多く、次いで「5年～10年未満」(27.0%)等が続いています。

他事業所での経験年数も含めた場合は、「10年以上」が40.0%で最も多く、次いで「5年～10年未満」(16.8%)等が続いています。

【介護に関する仕事の経験年数：現在働いている事業所での経験年数】



【介護に関する仕事の経験年数：他事業所を含めた総経験年数】

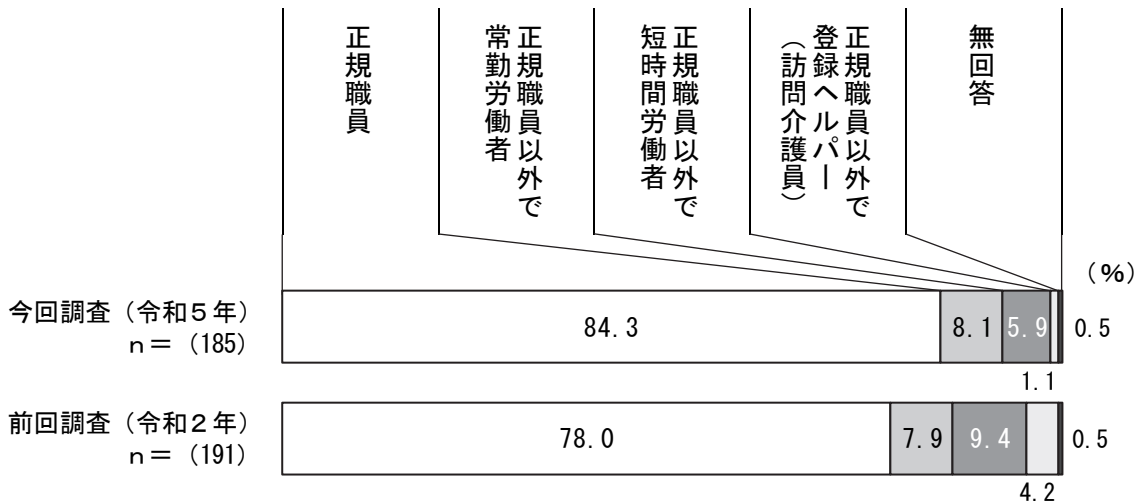


(4) 就業形態

就業形態は、「正規職員」が 84.3%で最も多く、次いで「正規職員以外で常勤労働者」(8.1%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「正規職員」が 6.3 ポイント増加している一方、「正規職員以外で短時間労働者」が 3.5 ポイント、「正規職員以外で登録ヘルパー（訪問介護員）」が 3.1 ポイントの減少となっています。

【就業形態】

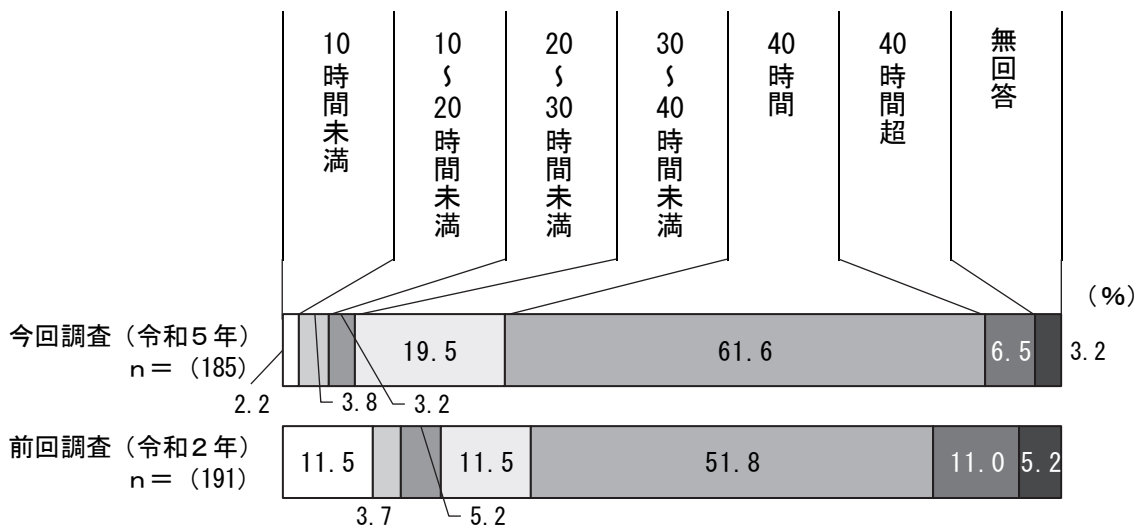


- ※ 正規職員以外：「派遣・契約・臨時・パートタイム」職員等の方
- ※ 常勤労働者：事業所の定める所定労働時間をすべて勤務する方
- ※ 短時間労働者：1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が、常勤労働者より少ない方(登録ヘルパーを除く)
- ※ 登録ヘルパー：働くことができる時間を事業所に登録しておき、本人の都合の良い時だけ勤務する方(訪問介護事業所のみ)

(5) 週の所定労働時間

週の所定労働時間は、「40時間」が 61.6%で最も多く、次いで「30～40時間未満」(19.5%)等が続いています。「40時間超」は 6.5%となっています。

【週の所定労働時間】

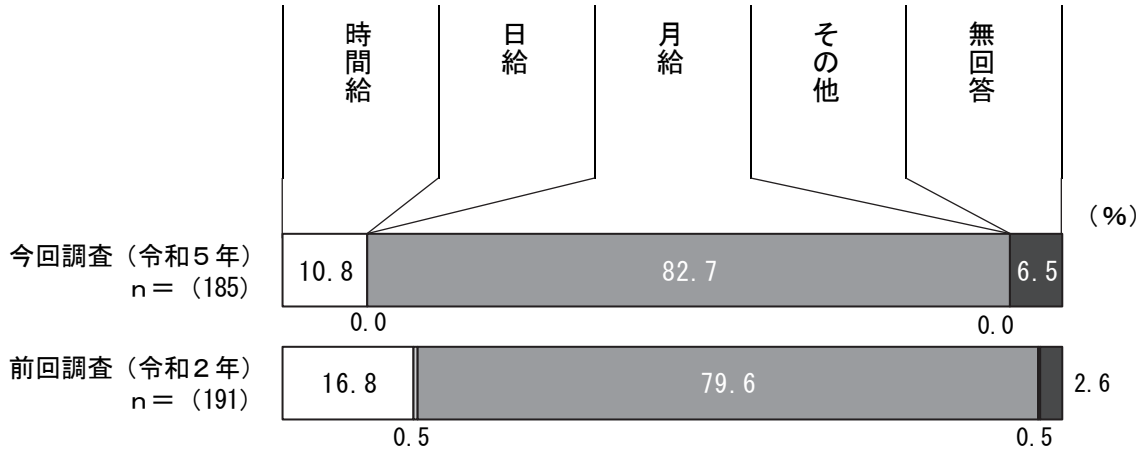


- ※ 登録ヘルパーについては、週の平均労働時間を回答

(6) 賃金の支払形態

賃金の支払形態をみると、「月給」が82.7%で最も多くなっています。次いで「時間給」(10.8%)が続いています。

【賃金の支払形態】



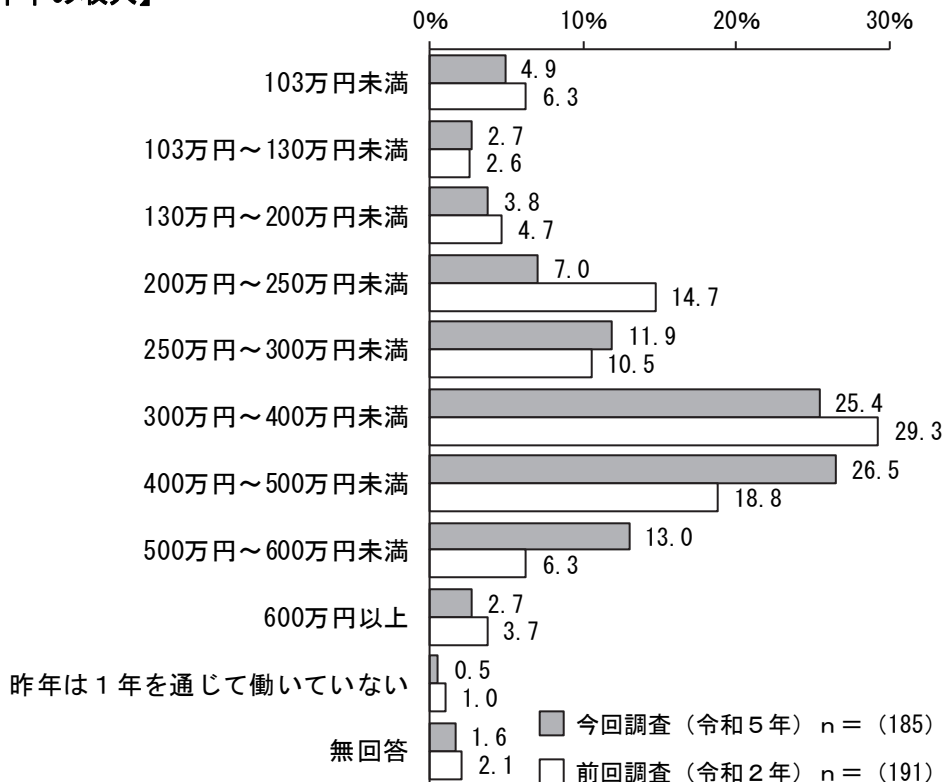
	回答者数	最大金額	最小金額	平均金額
時間給 (1時間当たり)	20人	2,100円	1,050円	1,391円

※ 「日給 (1日当たり)」は、回答者数が0人のため掲載を省略

(7) 令和4年中の収入

令和4年中の収入 (賞与及び残業・諸手当等を含む) は、「400万円～500万円未満」が26.5%で最も多く、次いで、「300万円～400万円未満」(25.4%)、「500万円～600万円未満」(13.0%)等が続いています。

【令和4年中の収入】



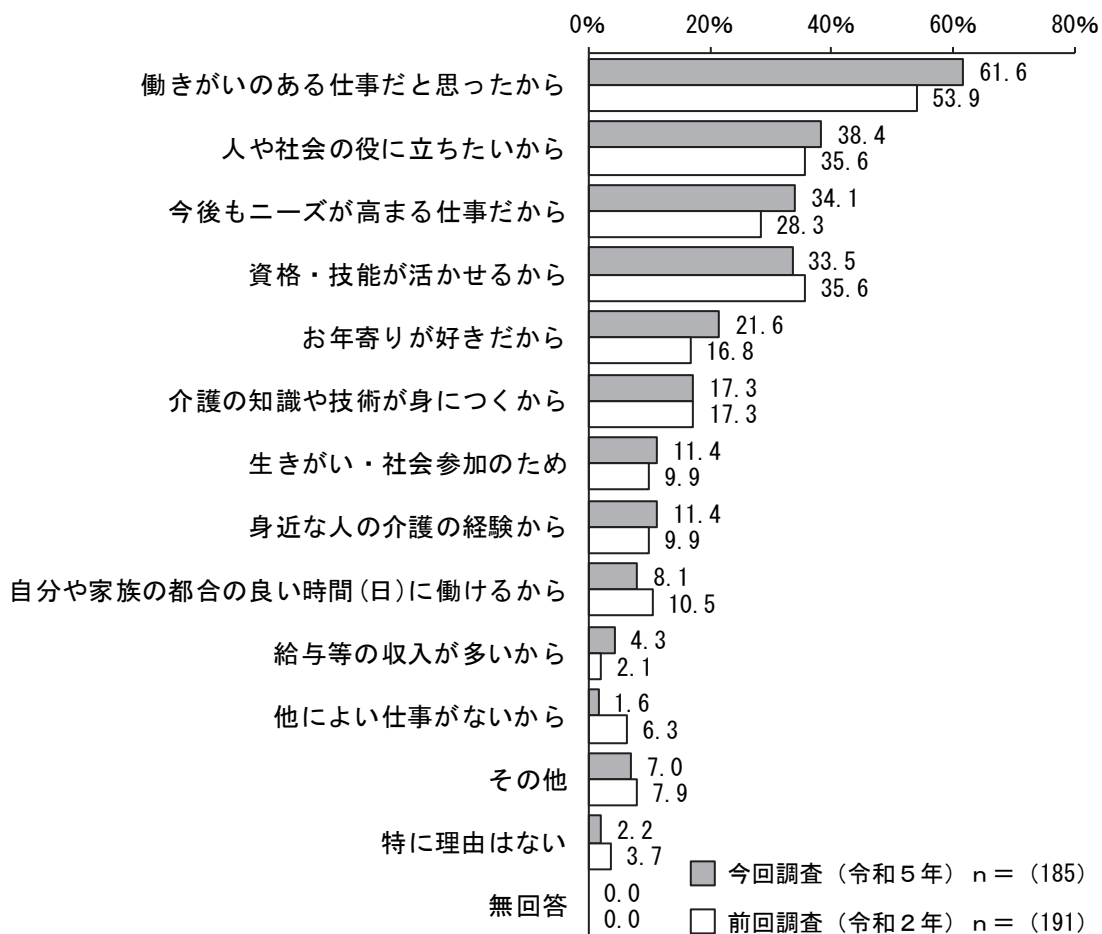
(8) 現在の仕事を選んだ理由

問5 現在の仕事を選んだ理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）

現在の仕事を選んだ理由としては、「働きがいのある仕事だと思ったから」が61.6%で最も多く、次いで「人や社会の役に立ちたいから」(38.4%)、「今後もニーズが高まる仕事だから」(34.1%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「働きがいのある仕事だと思ったから」が7.7ポイント増加している一方、「他によい仕事がないから」が4.7ポイント減少しています。

【現在の仕事を選んだ理由】（複数回答）



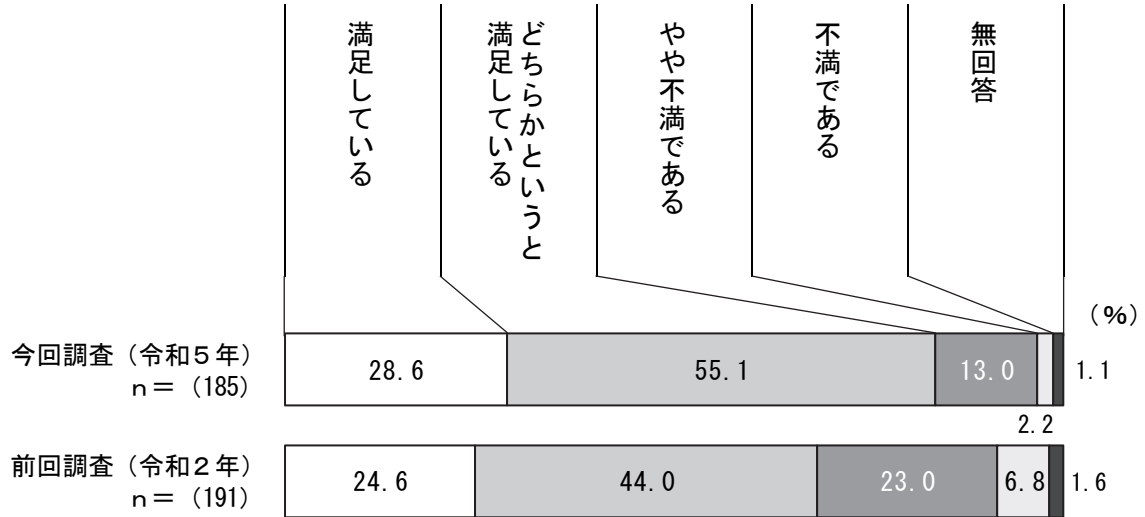
(9) 現在の仕事の満足度

問6 現在の仕事について満足していますか

現在の仕事の満足度は、「どちらかという満足している」が55.1%で最も多く、次いで「満足している」(28.6%)、「やや不満である」(13.0%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「満足している」、「どちらかという満足している」の合計は15.1ポイント増加しています。

【現在の仕事の満足度】



(10) 現在の仕事で満足感を得られたこと

問6-1 現在の仕事で今までに満足感を得られたことを教えてください

全体で、144件の回答がありました。内容ごとに整理し、概要を掲載します。

利用者とその家族との関係に関すること

- ・利用者とのコミュニケーションがスムーズに行えた。
- ・利用者のご要望に対応できて、喜んでいただけたこと。
- ・利用者の笑顔が見られたときや感謝の言葉を頂けたとき。
- ・利用者や家族の支えになれたとき。

働きがいに関すること

- ・今までの技術が認められ、多くの利用者に喜んで頂けたこと。
- ・利用者にとって良い住環境を整えることで、喜んで下さったときに、人の役に立てている喜びがある。
- ・自分の知識、経験で、利用者の生活の満足度が上がったとき。
- ・利用者のADL（日常生活動作）が向上したこと。
- ・介護技術の向上が感じられたとき。
- ・利用者のかねえたい生活の実現に寄与できたとき。
- ・自分の考える理想の福祉、ケアが体現できたとき。
- ・利用者のQOL（生活の質）の向上に貢献できた。
- ・看取りケアを実施し、利用者・家族と一緒に最期までケアに携われたこと。

職場環境に関すること

- ・在職中にケアマネ試験に合格し、ケアマネのスキルも勤務内でレベルアップすることができた。
- ・成長していける仕組みがある。
- ・人間関係が良く、皆で助け合えるので、仕事がしやすい。上司に意見や相談がしやすい。
- ・ユニット職員全員がしっかり同じ方向性を持って仕事できたとき。
- ・施設で多くの利用者や介護職員に囲まれて、良い経験ができています。

社会貢献に関すること

- ・地域へ貢献できる。
- ・世の中のニーズに応える仕事に携われている。

(11) 現在の仕事での不満

問6-2 現在の仕事で今までに不満に思ったことを教えてください

全体で、122件の回答がありました。内容ごとに整理し、概要を掲載します。

職員の処遇に関すること

- ・一般産業と比べて、給与ベースが低い。有休を使いきれず、捨てられてしまう。
- ・仕事量が増えても、収入が変わらない。処遇改善加算が全く反映されない。
- ・給料が安かったり、昇給しないこと。

人員体制に関すること

- ・人手が足りず休みたいときに休めないことがある。
- ・人手不足。職員による個人差があり、業務が回らなかつたり、負担が大きい。

業務に対する負担感に関すること

- ・書類が多く、事務処理が膨大であること。
- ・認知症対応が大変。
- ・精神的、肉体的負担が大きい。

人間関係に関すること

- ・職員の間関係。
- ・職員間の連携が連絡ミス等で上手くできなかったこと。

利用者や家族に関すること

- ・介護拒否や、伝えたことをすぐ忘れ同じことを繰り返し尋ねたりされること。
- ・家族と利用者のリハビリ意欲に差があるとき。
- ・利用者、家族との関係性に困難を感じたとき。
- ・家族の理解が得られず、一方的に責められたとき。

仕事に関すること

- ・他職種とのコミュニケーションが難しいこと。
- ・もっと良い、ベストな対応ができたのではないかと思うとき。
- ・介護という仕事の良さが、社会に伝わっていないこと。
- ・退職者が多い。社会的地位が低い。

(12) 業務上の悩みや問題点の相談相手

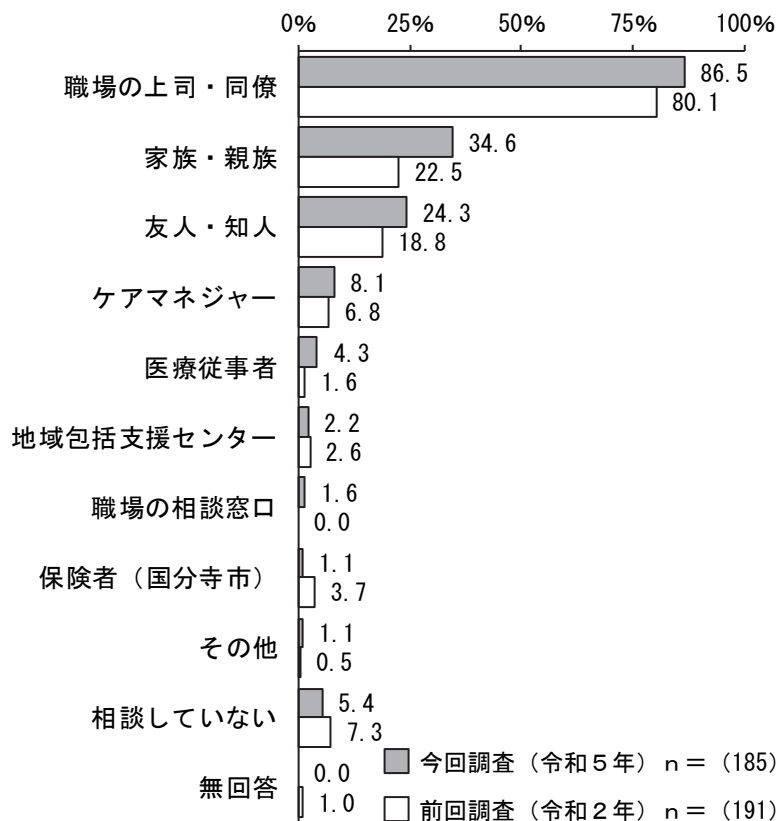
問7 あなたは、業務上の悩みや問題点を誰に相談していますか

(あてはまるものすべてに○)

(※選択肢「友人・知人」、「家族・親族」については守秘義務を伴うものを除く)

業務上の悩みや問題点の相談相手としては、「職場の上司・同僚」が86.5%で最も多く、次いで「家族・親族」(34.6%)、「友人・知人」(24.3%)等が続いています。

【業務上の悩みや問題点の相談相手】(複数回答)



(13) 相談していない理由

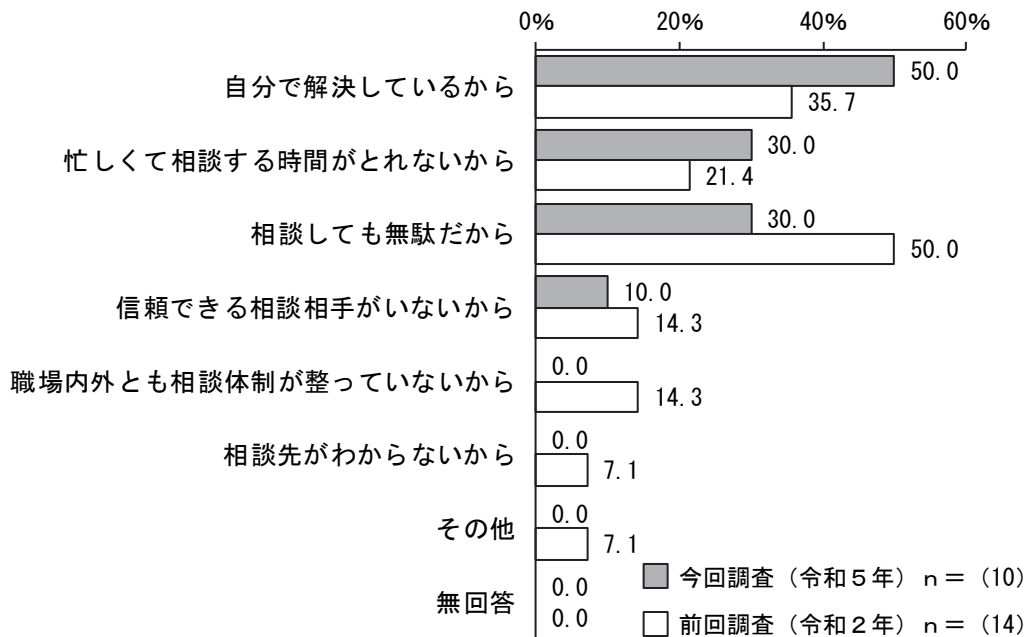
【問7で「相談していない」を選択した方のみ】

問7-1 相談していない理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）

「相談していない」と回答した方にその理由を聞くと、「自分で解決しているから」が50.0%で最も多く、次いで「忙しくて相談する時間がとれないから」、「相談しても無駄だから」（それぞれ30.0%）等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「自分で解決しているから」が14.3ポイント増加している一方、「相談しても無駄だから」が20.0ポイント減少しています。

【相談していない理由】（複数回答）



(14) 現在の事業所での就労意向

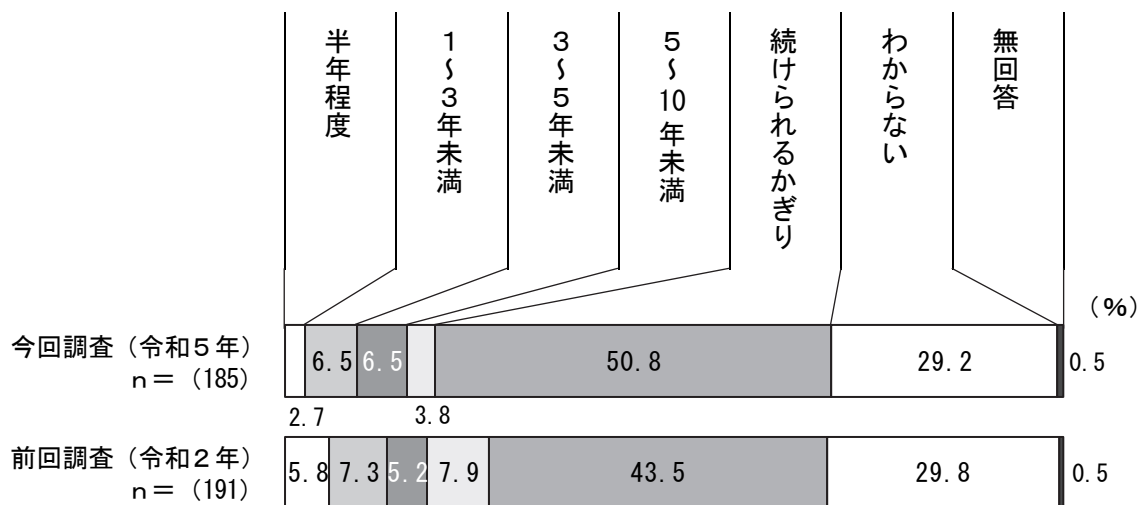
問8 介護に関する仕事の就労意向について教えてください

(1) 現在働いている事業所での仕事をいつまで続けたいですか

現在の事業所での就労継続意向としては、「続けられるかぎり」が50.8%で最も多く、次いで「わからない」(29.2%)、「1～3年未満」,「3～5年未満」(それぞれ6.5%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「続けられるかぎり」が7.3ポイント増加している一方、「5～10年未満」が4.1ポイント減少しています。

【現在の事業所での就労意向】



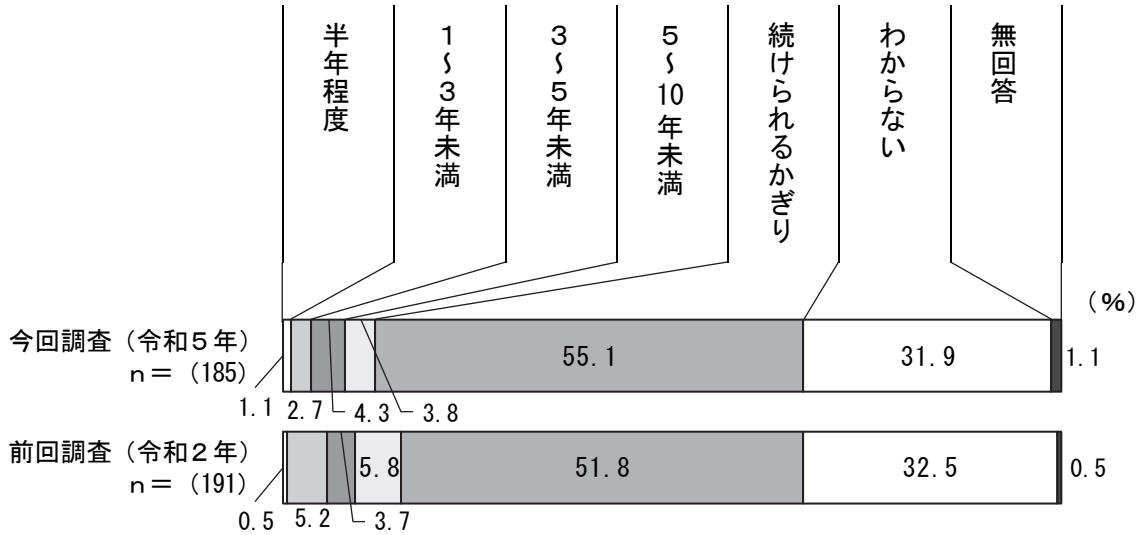
(15) 介護に関する仕事の就労意向

(2) 現在働いている事業所を問わず、介護に関する仕事をいつまで続けたいですか

現在働いている事業所を問わず、介護の仕事に関する就労意向をみると、「続けられるかぎり」が55.1%で最も多く、次いで「わからない」(31.9%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「続けられるかぎり」が3.3ポイント増加しています。

【介護に関する仕事の就労意向】



(16) 働く上での不安や悩み

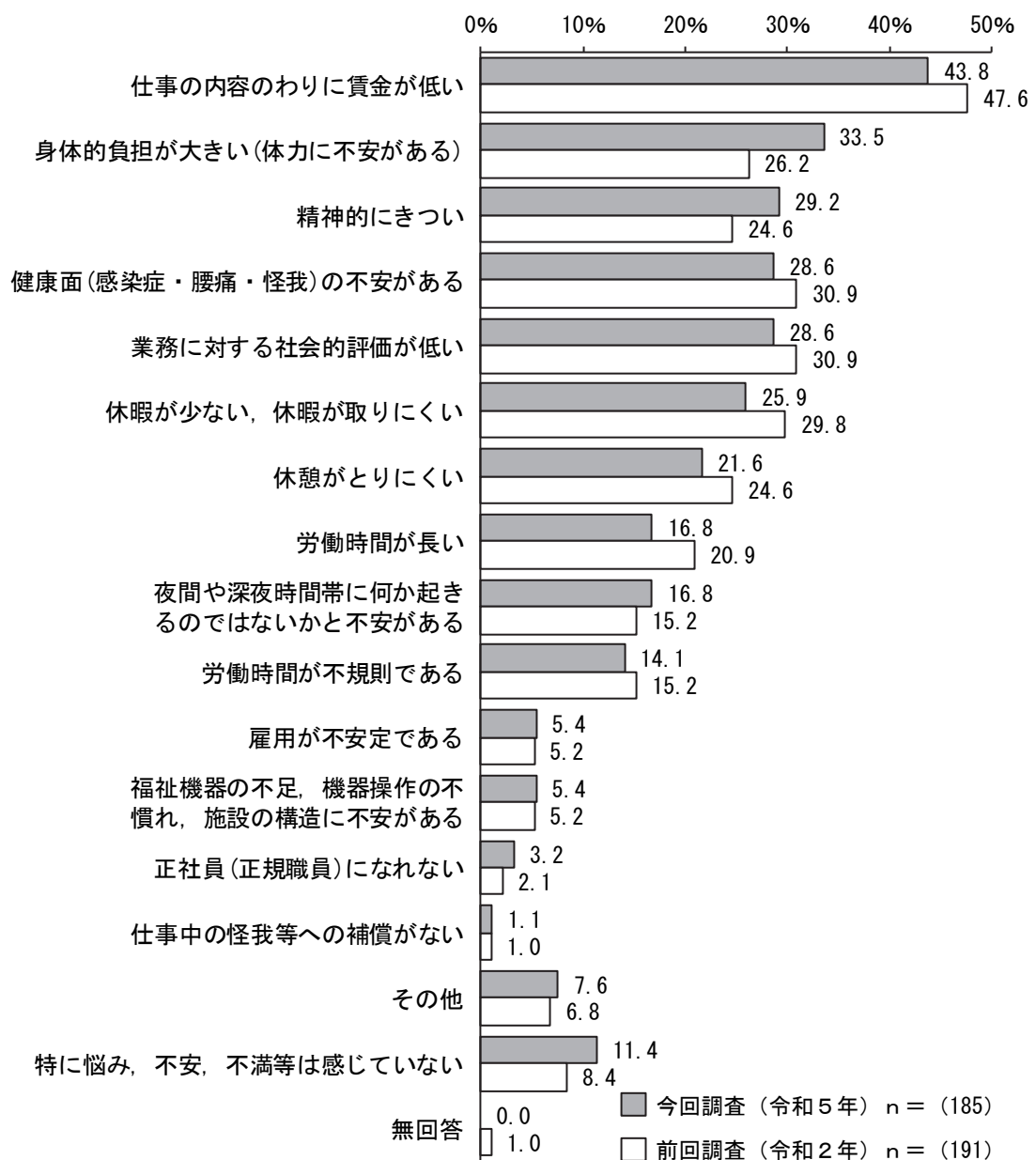
問9 あなたが現在働く上での不安や悩みについて教えてください

(1) 労働条件・仕事の負担について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか（あてはまるものすべてに○）

労働条件・仕事の負担に関する不安や悩みとしては、「仕事の内容のわりに賃金が低い」が43.8%で最も多く、次いで「身体的負担が大きい（体力に不安がある）」(33.5%)、「精神的にきつい」(29.2%)等が続いています。

前回の調査結果と比較すると、「身体的負担が大きい（体力に不安がある）」が7.3ポイント増加しています。

【働く上での不安や悩み】（複数回答）



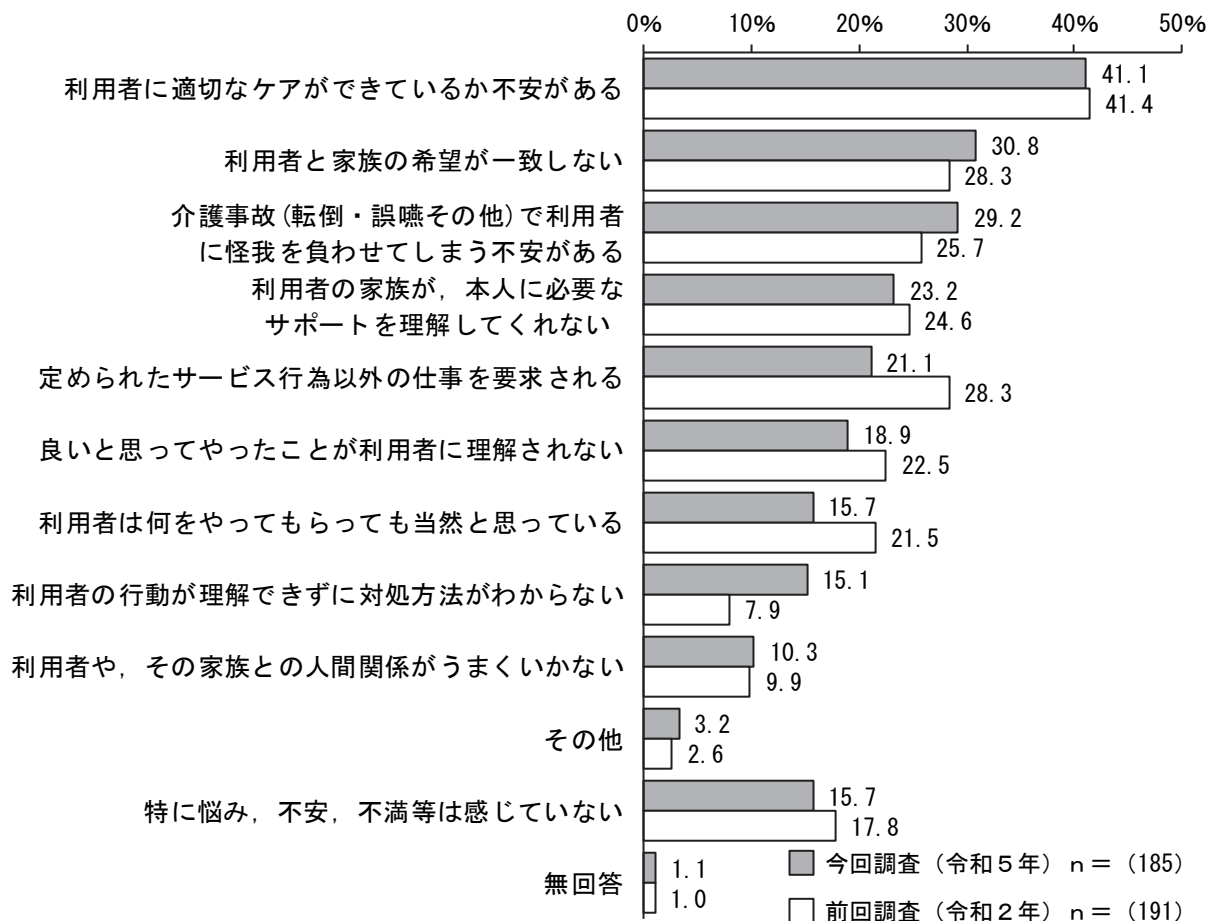
(17) 利用者及び利用者の家族に関する不安や悩み

(2) 利用者及び利用者の家族について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか（あてはまるものすべてに○）

利用者及び利用者の家族についての不安や悩みとしては、「利用者に適切なケアができているか不安がある」が41.1%で最も多く、次いで「利用者と家族の希望が一致しない」(30.8%)、「介護事故（転倒・誤嚥その他）で利用者に怪我を負わせてしまう不安がある」(29.2%)等が続いています。「特に悩み、不安、不満等を感じていない」は15.7%となっています。

前回の調査結果と比較すると、「利用者の行動が理解できずに対処方法がわからない」が7.2ポイント、「介護事故（転倒・誤嚥その他）で利用者に怪我を負わせてしまう不安がある」が3.5ポイント増加しています。

【利用者及び利用者の家族に関する不安や悩み】（複数回答）

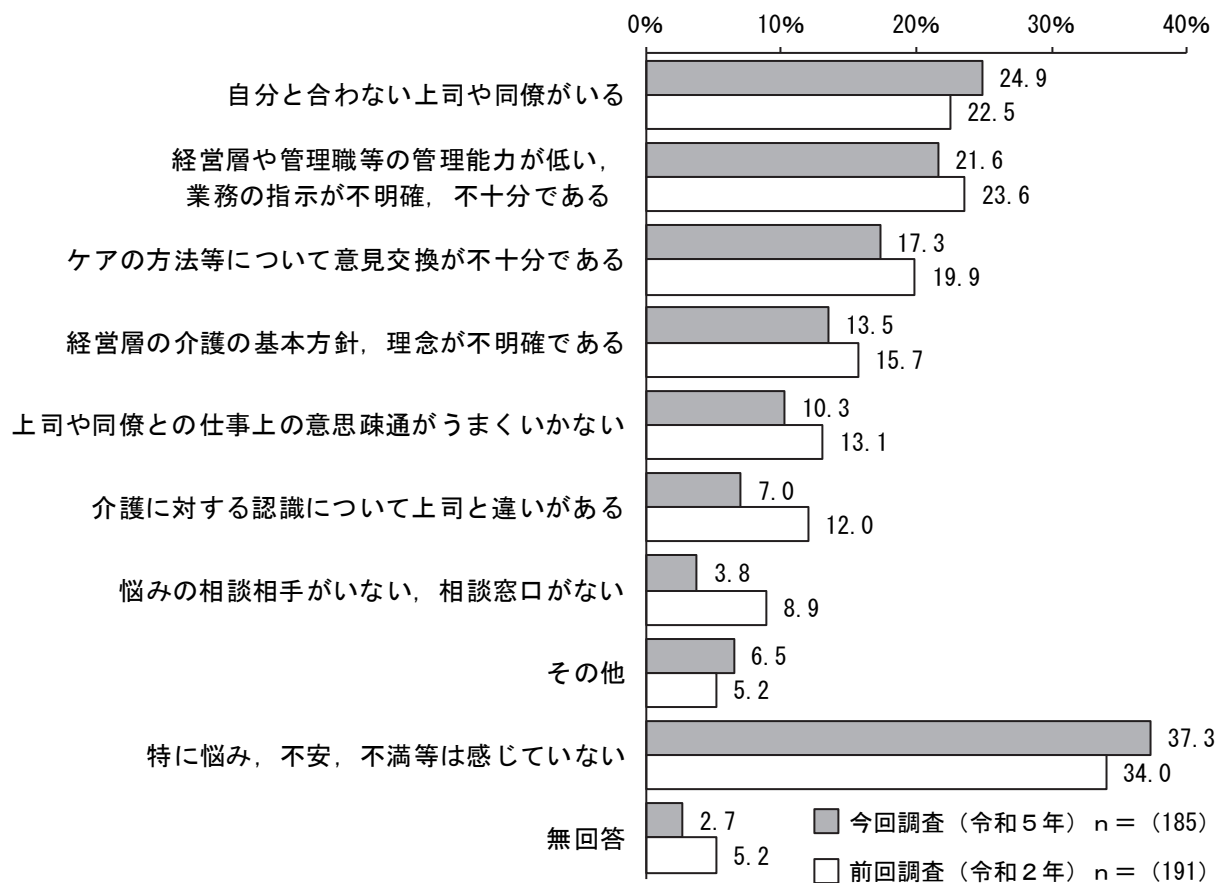


(18) 職場での人間関係等に関する不安や悩み

(3) 職場での人間関係等について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか
(あてはまるものすべてに○)

職場での人間関係等についての不安や悩みとしては、「自分と合わない上司や同僚がいる」が24.9%で最も多く、次いで「経営層や管理職等の管理能力が低い、業務の指示が不明確、不十分である」(21.6%)、「ケアの方法等について意見交換が不十分である」(17.3%)等が続いています。「特に悩み、不安、不満等を感じていない」は37.3%となっています。

【職場での人間関係等に関する不安や悩み】(複数回答)



(19) 働く上で感じる不安や悩みに対するサポートについての意見・要望

(4) あなたが働く上で感じる不安や悩みに対して、どのようなサポートがあればといったご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください

全体で、39件の意見・要望がありました。内容ごとに整理し、概要を掲載します。

職場内において必要なサポートに関すること

- ・定期的に事業所内でアンケートなどを実施し、問題があった時に、早めに対処してほしい。

意見交換の場や研修等に関すること

- ・アンガーマネジメントについて、皆に周知して頂けるような勉強会や研修をしてほしい。
- ・自施設のみでの交流だけになりがちな点。
- ・法改正等、制度変更時の注意点の説明会等。

職員の待遇や人員体制に関すること

- ・時間が足りない。ただただ時間が足りない。認知症の方々と向き合っている間は、雑務など片手間にできない。でも時間はなく、給料も労働内容から比べると、本当にいつまで続けられるか不安である。
- ・人員が少なく、交代がきかないため、もっと人員が増えることが、最大のサポートになると思う。
- ・報酬が上がらないので、給与も上がらない。将来に不安を感じて当たり前だと思う。
- ・社会貢献できる仕事として、取り組んできたが、給与や生活面など、将来への不安は常にある。今後も安心してやっていける確かな保障がほしい。

相談体制に関すること

- ・不安や悩みを社内で相談するより、外部の人が来てくれた方が話しやすいのではと感じる。
- ・行政や苦情相談等の専門（秘密厳守）窓口が必要。
- ・一人一人の話を聞いてくれる仕組み。

その他

- ・時代の変化とともに、家族との関係性も変化してきている。信頼関係が築きにくいケースも多く、トラブルも起きやすい。

(20) 介護保険以外のサービスについての意見・要望

問 10 利用者やそのご家族の方から、介護保険以外のサービスでこんなサービスがあればといったご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください

全体で、33件の意見・要望がありました。内容ごとに整理し、概要を掲載します。

外出支援（送迎・付添い）に関すること

- ・自由に外出する時に、いつでも付き添ってくれるサービスがほしい。
- ・使いたいときに柔軟に対応してくれる移動サービス。
- ・買い物に行きたい（デパートなど）。
- ・通院介助が全面的に介護保険でまかなえないので、自己負担がなく、もっと気軽に利用できるとうい。

生活支援に関すること

- ・ヘルパーさんの業務以外で、ちょっとした身の周りのことを、安い価格でサポートするサービス（電球替え等）。
- ・同居家族がいても生活援助を受けられるようにすることや入院時のみペットの世話をしてくれるサービス。

相談に関すること

- ・小さな悩み事を解決してくれること。
- ・不穏時などの早急なフォローアップ。
- ・家族間におけるトラブルの相談先があれば助かる。

その他

- ・オンライン診療や問診等が、もっとできるような仕組み作りがあればよいと思う。

3 報酬改定や処遇改善の状況

(1) 処遇改善の状況

問11 現在働いている事業所における令和3年4月以降のあなた自身の処遇改善の状況について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

現在の事業所での処遇改善の状況として「実施済み」と回答した項目は、「基本給のアップ」(41.6%)が最も多く、次いで「教育・研修の充実」(37.8%)等が続いています。

(7)「その他」がある場合の回答は、「残業時間給のアップがある予定」等となっています。前回の調査結果と比較すると、全ての項目で「実施済み」の割合が増加しています。

【(1) 基本給のアップ】

	実施済み	実施予定	予定なし	無回答
今回調査(令和5年) n = (185)	41.6%	8.6%	45.9%	3.8%
前回調査(令和2年) n = (191)	41.4%	5.2%	45.5%	7.9%

【(2) 基本給以外で、賞与のアップ】

	実施済み	実施予定	予定なし	無回答
今回調査(令和5年) n = (185)	27.0%	6.5%	61.6%	4.9%
前回調査(令和2年) n = (191)	18.3%	6.3%	64.9%	10.5%

【(3) 基本給以外で、資格等の手当のアップ】

	実施済み	実施予定	予定なし	無回答
今回調査(令和5年) n = (185)	21.6%	6.5%	66.5%	5.4%
前回調査(令和2年) n = (191)	21.5%	5.2%	61.8%	11.5%

【(4) 福利厚生(保険・住宅等)の充実】

	実施済み	実施予定	予定なし	無回答
今回調査(令和5年) n = (185)	24.3%	5.4%	64.3%	5.9%
前回調査(令和2年) n = (191)	12.6%	4.7%	72.3%	10.5%

【(5) 教育・研修の充実】

	実施済み	実施予定	予定なし	無回答
今回調査(令和5年) n = (185)	37.8%	18.9%	36.8%	6.5%
前回調査(令和2年) n = (191)	28.3%	16.8%	43.5%	11.5%

【(6) 職員配置の拡充】

	実施済み	実施予定	予定なし	無回答
今回調査(令和5年) n = (185)	17.3%	27.0%	48.6%	7.0%
前回調査(令和2年) n = (191)	8.9%	25.1%	55.5%	10.5%

【(7) その他】

	実施済み	実施予定	予定なし	無回答
今回調査(令和5年) n = (185)	1.1%	1.1%		97.8%
前回調査(令和2年) n = (191)	2.1%	0.5%		97.4%

(2) 仕事内容や職場環境の変化

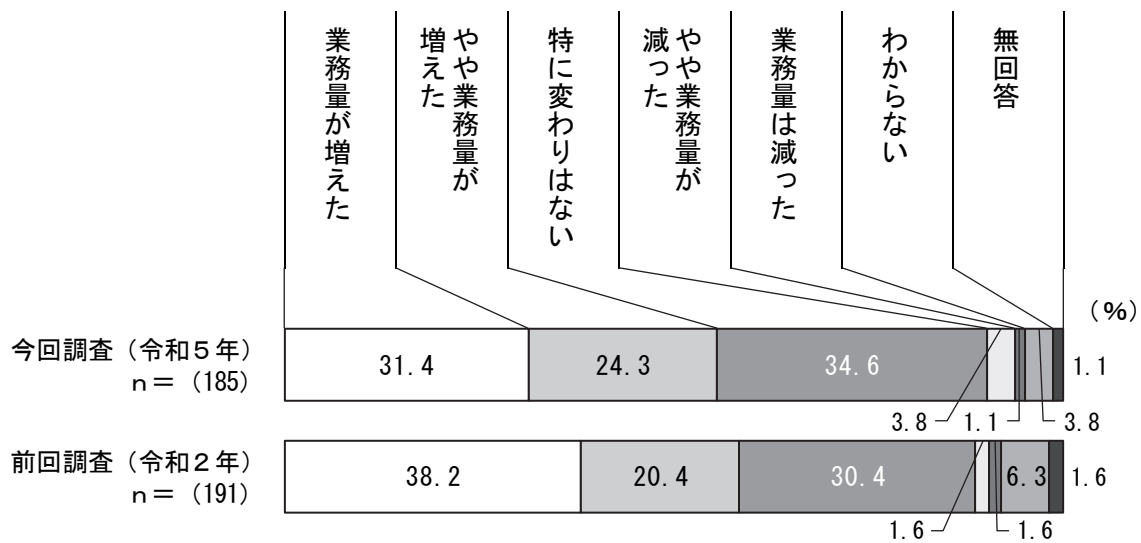
問12 現在働いている事業所で、令和3年4月以降のあなたの仕事内容や職場環境への影響について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

令和3年4月以降の業務量の変化としては、「特に変わりはない」が34.6%で最も多く、次いで「業務量が増えた」(31.4%)、「やや業務量が増えた」(24.3%)等が続いています。

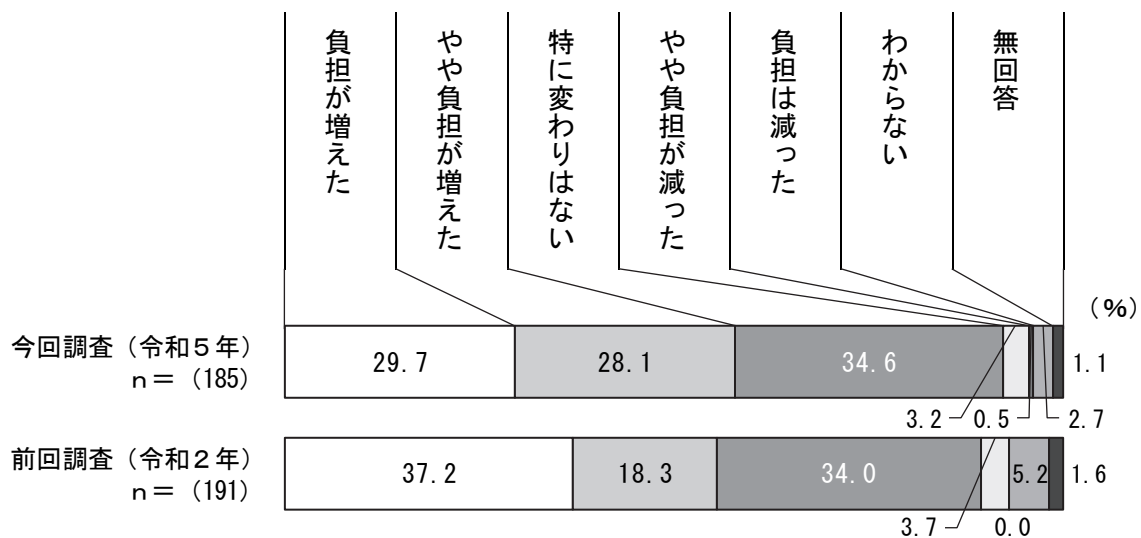
業務負担の変化をみると、「特に変わりはない」が(34.6%)で最も多く、次いで「負担が増えた」(29.7%)、「やや負担が増えた」(28.1%)等が続いています。

労働条件の変化では、「特に変わりはない」が(56.8%)で最も多く、次いで「ややよくなった」(13.5%)、「よくなった」(8.6%)等が続いています。

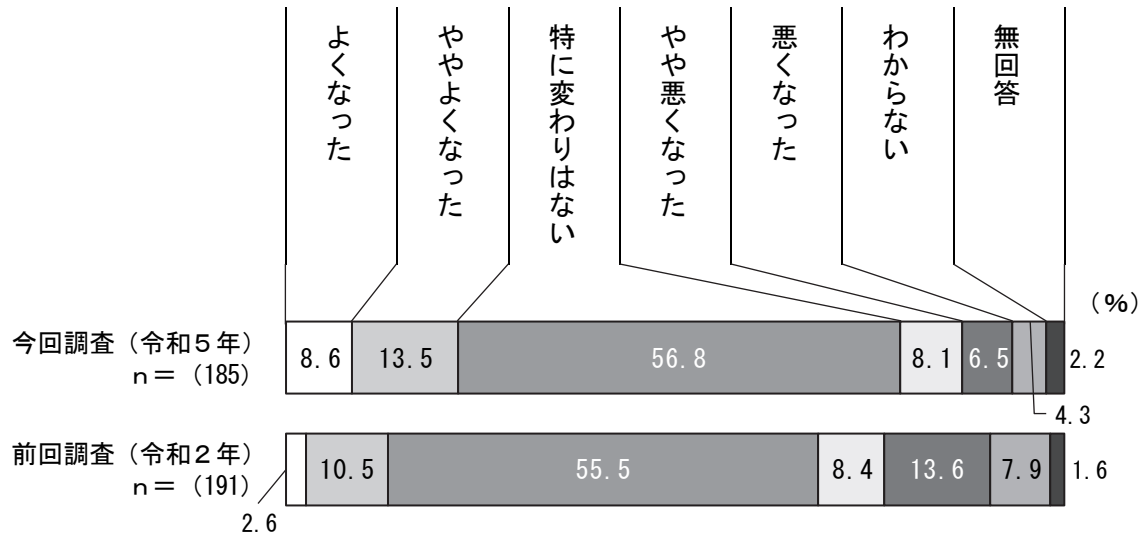
【(1) 業務量の変化】



【(2) 業務負担の変化】



【(3) 労働条件の変化】



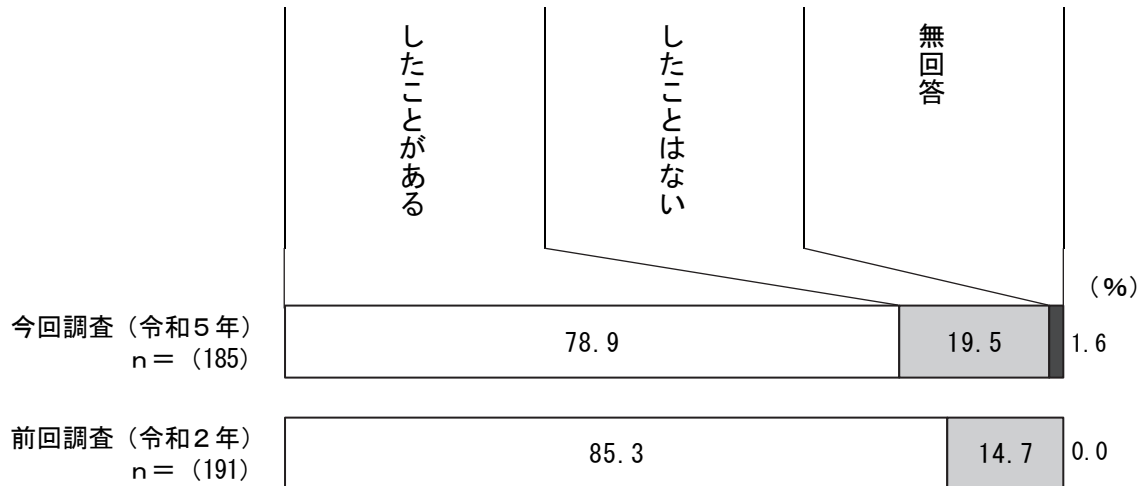
4 以前に働いていた職場の状況

(1) 収入の伴う仕事の経験

問 13 現在の仕事に就く前に、収入の伴う仕事をしたことがありますか

現在の仕事に就く前の収入の伴う仕事の経験としては、「したことがある」が78.9%、「したことはない」が19.5%となっています。

【収入の伴う仕事の経験】



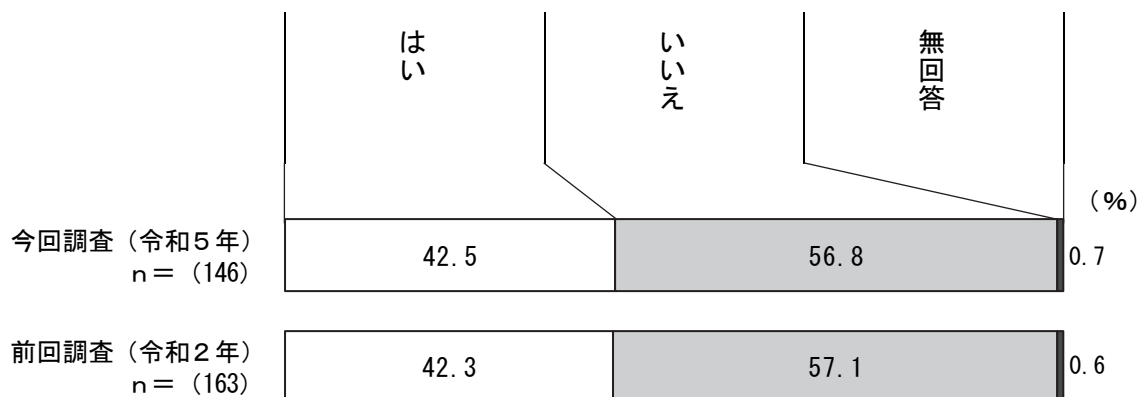
(2) 以前の仕事での介護サービスとの関わり

【問 13で「したことがある」を選択した方のみ】

問 13-1 現在の仕事に就く以前の仕事では、介護サービスに関わっていましたか

現在の仕事に就く以前の仕事での介護サービスとの関わりとしては、「はい」が42.5%となっています。

【以前の仕事での介護サービスとの関わり】



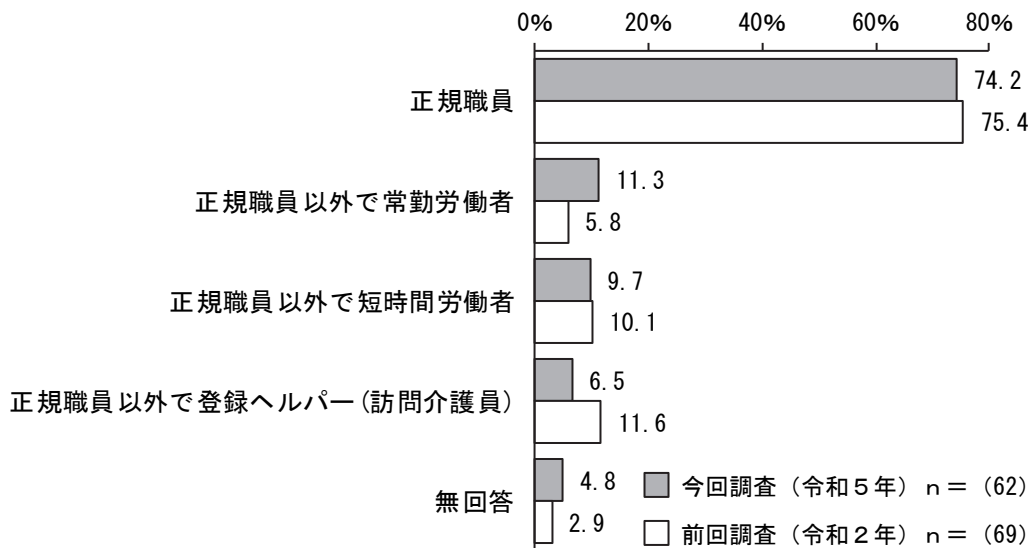
(3) 以前の仕事の就業形態

【問13-1で「はい」を選択した方のみ】

問13-2 その職場（以前働いていた介護サービスに関わる職場）での就業形態はどれですか（あてはまるものすべてに○）

以前の仕事で介護サービスに関わっていた方の就業形態としては、「正規職員」が74.2%で最も多くなっています。

【以前の仕事の就業形態】（複数回答）



(4) 以前の仕事をやめた理由

【問13-1で「はい」を選択した方のみ】

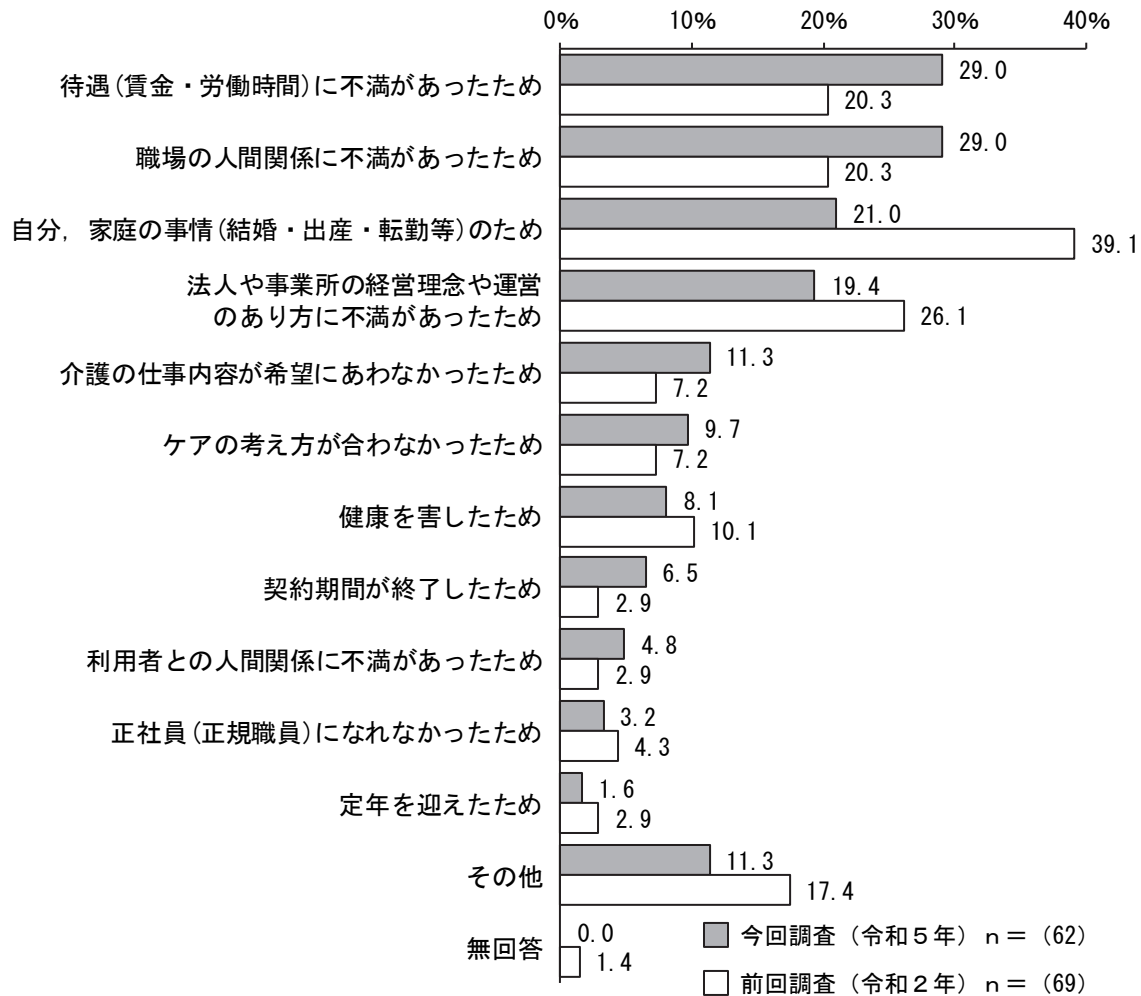
問13-3 その仕事をやめた理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）

以前の仕事で介護サービスに関わっていた方の仕事をやめた理由としては、「待遇（賃金・労働時間）に不満があったため」、「職場の人間関係に不満があったため」がそれぞれ29.0%で最も多く、次いで「自分、家庭の事情（結婚・出産・転勤等）のため」（21.0%）、「法人や事業所の経営理念や運営のあり方に不満があったため」（19.4%）、「介護の仕事内容が希望にあわなかったため」（11.3%）等が続いています。

「その他」の主な回答としては、「施設介護の経験をしたかった」、「開業した上司からの誘いがあった」、「グループでの転籍」等となっています。

前回の調査結果と比較すると、「自分、家庭の事情（結婚・出産・転勤等）のため」が18.1ポイント減少しています。

【以前の仕事をやめた理由】（複数回答）



5 意見・要望

(1) 意見・要望

問 14 介護保険制度や保険者（国分寺市）に対してのご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください

全体で、35 件の意見・要望がありました。内容ごとに整理し、概要を掲載します。

介護職員の処遇に関すること

- ・介護職の給与が上がらない限り、人材の確保は難しいが、介護保険は大幅に値上げすることも難しいと考える。賃金について国が、補償する制度を考えてほしい。
- ・職員のベースアップについては加算ではなく、基本報酬の改定で行ってほしい。事務量が増えて、業務負担が増してしまう。

保険者に対する要望

- ・職種を問わない、介護事業所間の交流イベントが活発にあるとよいと思う。多職種の人とつながると事業所の閉塞感が緩和され、より多くの価値観を知ることは、介護の質の底上げになると思う。
- ・医療従事者が受けるセクシャルハラスメント、パワーハラスメント、暴力について可視化し、対策を考えてほしい。
- ・介護現場で働く職員が、安心して生き生きと働けるように、常に目を向けていただき、環境改善に一層ご尽力いただきたい。
- ・国分寺市のホームページが、もう少し見やすく、分かりやすいとありがたい。

介護保険制度に関すること

- ・書類の整備やシステムの入力作業など、とにかく業務が煩雑で、処理に追われることが多い。介護保険の制度そのものの有り方に、限度が有るように思う。
- ・介護度を考慮に入れる等して、人員配置基準を見直してほしい。
- ・物価高騰や光熱費等の値上げが生活費を圧迫しているため、単価水準を介護保険スタート時の水準に戻す必要があると考える。

介護認定に関すること

- ・介護保険の申請や区分変更時の調査員の質を向上してほしい。
- ・利用者のADL（日常生活動作）に合っていない介護度が出ることが多く感じている。病気のことや今後のことも含めて、考えて出してもらいたい。

第8章 住宅型有料老人ホーム・サービス 付き高齢者向け住宅調査

1 施設・住宅の概要

問1 施設・住宅の概要について教えてください。

(1) 施設・住宅の種別

回答した施設・住宅の種別は、「住宅型有料老人ホーム」が1件、「サービス付き高齢者向け住宅」が3件となっています。

【施設・住宅の種別】

	住宅型 有料老人 ホーム	サー ビス付 き高 齢者 向け 住宅	無 回 答
n = (4)			
件数	1件	3件	0件

(2) 法人格の種類

回答した施設・住宅の法人格の種類は、「株式会社」が3件で最も多く、次いで「社会福祉法人」が1件となっています。

【法人格の種類】

	社会 福祉 法人	特 定 非 営 利 活 動 法 人 (N P O 法 人)	株 式 会 社	有 限 会 社	医 療 法 人	生 活 協 同 組 合	そ の 他	無 回 答
n = (4)								
件数	1件	0件	3件	0件	0件	0件	0件	0件

(3) 職員体制

職員体制について、常勤労働者は、平均で正規職員 9.0 人、正規職員以外 2.3 人となっています。

短時間労働者は、平均で正規職員 0.5 人、正規職員以外 7.3 人となっています。

【職員体制】

		正規職員	正規職員以外 (※3)
常勤労働者 (※1)	人数計	36 人	9 人
	回答数	4 施設・住宅	4 施設・住宅
	平均	9.0 人	2.3 人
短時間労働者 (※2)	人数計	2 人	29 人
	回答数	4 施設・住宅	4 施設・住宅
	平均	0.5 人	7.3 人

※1 常勤労働者：事業所の定める所定労働時間をすべて勤務する方

※2 短時間労働者：1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が、常勤労働者より少ない方

※3 正規職員以外：「派遣・契約・臨時・パートタイム」職員等の方

(4) 正規職員の勤務年数

正規職員の勤務年数をみると、「3年以上」が 46.3%で最も多く、次いで「1～3年未満」(39.0%)等が続いています。

【正規職員の勤務年数】

	1年未満	1～3年未満	3年以上	合計
人数計	6 人	16 人	19 人	41 人
構成比	14.6%	39.0%	46.3%	100.0%

(5) 定期健康診断の実施状況

定期健康診断を「実施している」施設・住宅は、常勤労働者、短時間労働者ともに4件となっています。

【定期健康診断の実施状況】

n = (4)	実施している	実施していない	無回答
常勤労働者	4件	0件	0件
短時間労働者	4件	0件	0件

(6) 居室形態

問2 居室形態を教えてください。

居室形態について、単身者向けは平均で 35.8 戸/室、世帯・夫婦向けは平均で 4.0 戸/室、定員は平均 11.0 人となっています。

単身者向けの1戸/室あたりの平均の広さは平均 20.3 m²、世帯・夫婦向けの居室の広さは平均 27.0 m²となっています。

【居室形態】

		戸数/室数	1戸/室あたりの平均の広さ	定員
単身者向け	合計	143 戸/室		
	回答数	4 施設・住宅	3 施設・住宅	
	平均	35.8 戸/室	20.3 m ²	
世帯・夫婦向け	合計	12 戸/室		22 人
	回答数	3 施設・住宅	1 施設・住宅	2 施設・住宅
	平均	4.0 戸/室	27.0 m ²	11.0 人
合計	合計	155 戸/室		
	回答数	4 施設・住宅		
	平均	38.8 戸/室		

(7) 併設している介護保険サービス

問3 貴施設・住宅において併設している介護保険サービスについて、それぞれ1つずつ選んで○をしてください（地域密着型サービス含む）

併設又は敷地内にある介護保険サービスについて、「同一建物内に併設」しているサービスは、(1) 訪問介護が2件で最も多く、(5) 通所介護、(7) 小規模多機能型居宅介護、(8) 認知症対応型共同生活介護、(10) その他がそれぞれ1件となっています。

(10) 「その他」がある場合の回答は、「地域密着型特養」、「地域包括支援センター」となっています。

【併設している介護保険サービス】

n = (4)	同一建物内に併設	同一敷地内に併設	併設していない	無回答
(1) 訪問介護	2件	0件	1件	1件
(2) 訪問入浴介護	0件	1件	1件	2件
(3) 訪問看護	0件	1件	1件	2件
(4) 居宅療養管理指導	0件	1件	1件	2件
(5) 通所介護	1件	1件	1件	1件
(6) 通所リハビリテーション	0件	1件	1件	2件
(7) 小規模多機能型居宅介護	1件	1件	1件	1件
(8) 認知症対応型共同生活介護	1件	1件	1件	1件
(9) 居宅介護支援	0件	1件	1件	2件
(10) その他	1件	0件	0件	3件

※ 「併設していない」は今回調査から新たに追加された選択肢

(8) 提供可能なサービス

問4 貴施設・住宅において提供可能なサービスについて、該当するものをすべて選んで○をしてください

施設・住宅において提供可能なサービスとしては、「自施設・住宅」では、(1) 安否確認、(3) 緊急対応、(4) 食事提供がそれぞれ4件で最も多く、次いで(2) 生活相談、(7) 買い物代行、(8) 外出支援、(9) 病院付き添い(それぞれ3件)等が続いています。

【提供可能なサービス】

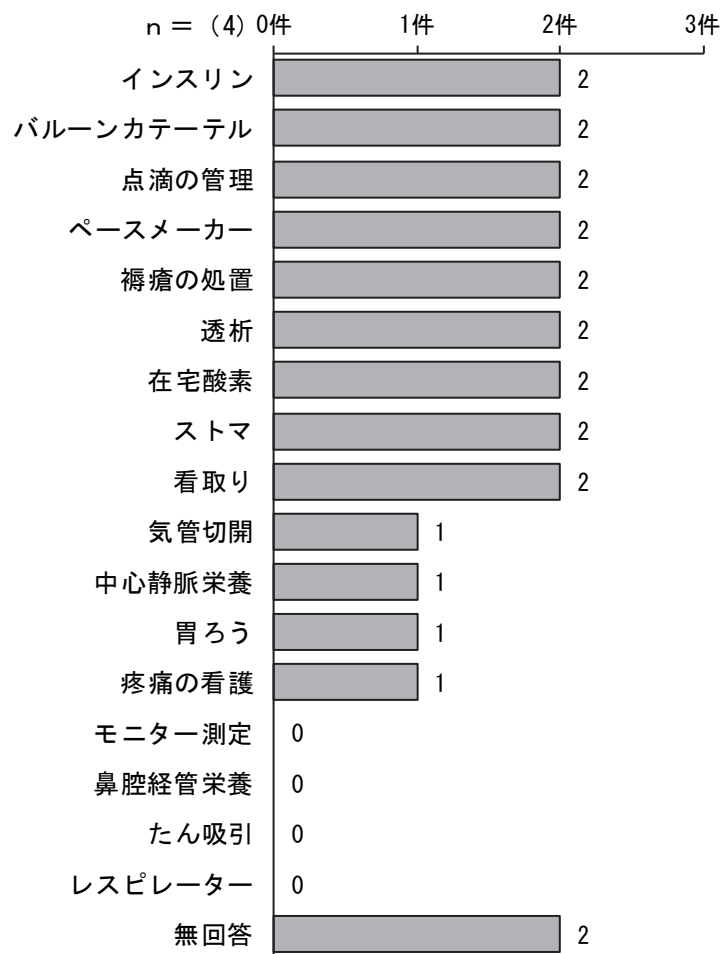
n = (4)	自施設・住宅	外部サービス (併設)	外部サービス (併設以外)	提供できない	無回答
(1) 安否確認	4件	0件	0件	0件	0件
(2) 生活相談	3件	0件	0件	1件	0件
(3) 緊急対応	4件	0件	0件	0件	0件
(4) 食事提供	4件	0件	0件	0件	0件
(5) ショートステイ	2件	0件	0件	0件	2件
(6) 入浴サービス	2件	1件	1件	0件	1件
(7) 買い物代行	3件	0件	0件	0件	1件
(8) 外出支援	3件	0件	0件	0件	1件
(9) 通院付き添い	3件	0件	0件	0件	1件
(10) 書類管理	2件	0件	0件	0件	2件

(9) 受入れ可能な医療行為

問5 以下の医療ニーズのうち、貴施設・住宅で受入れ可能なものをすべて選んで○をしてください。併せて、令和5年1月1日現在の利用人数をご記入ください

施設・住宅の受入れ可能な医療行為は、「インスリン」、「バルーンカテーテル」、「点滴の管理」、「ペースメーカー」、「褥瘡の処置」、「透析」、「在宅酸素」、「ストマ」、「看取り」がそれぞれ2件で最も多く、「気管切開」、「中心静脈栄養」、「胃ろう」、「疼痛の看護」（それぞれ1件）が続いています。

【受入れ可能な医療行為】（複数回答）



令和5年1月1日現在の利用人数の平均は、「ペースメーカー」が3.0人で最も多く、次いで「褥瘡の処置」、「在宅酸素」（それぞれ1.5人）等が続いています。

【令和5年1月1日現在の利用人数】

	インスリン	カテーテル	点滴の管理	ペースメーカー	褥瘡の処置	透析	在宅酸素	ストマ	看取り
合計	0人	2人	0人	6人	3人	1人	3人	0人	0人
回答数	2施設・住宅	2施設・住宅	2施設・住宅	2施設・住宅	2施設・住宅	2施設・住宅	2施設・住宅	2施設・住宅	2施設・住宅
平均	0人	1.0人	0人	3.0人	1.5人	0.5人	1.5人	0人	0人

	気管切開	中心静脈栄養	胃ろう	疼痛の看護	モニター測定	鼻腔経管栄養	たん吸引	レスピレーター
合計	1人	0人	0人	0人	—	—	—	—
回答数	1施設・住宅	1施設・住宅	1施設・住宅	1施設・住宅	0施設・住宅	0施設・住宅	0施設・住宅	0施設・住宅
平均	1.0人	0人	0人	0人	—	—	—	—

2 現在の利用者状況

(1) 入居状況や待機状況

※問6～問9は、令和5年1月1日現在の利用者状況についてご記入ください

問6 入居状況や待機状況

回答のあった3施設・住宅の入居状況や待機状況は、入居者の合計人数が126人で、入居者数のうち、特別養護老人ホームの待機者数（申込者数）は3人となっています。

待機者数の合計は5人、平均待機期間は2.3か月となっています。

【入居状況や待機状況】

	合計	回答数	平均
入居者数	126人	3施設・住宅	42.0人
入居者数のうち、特別養護老人ホームの待機者数（申込者数）	3人	3施設・住宅	1.0人
待機者数	5人	3施設・住宅	1.7人
待機期間	—	3施設・住宅	2.3か月

(2) 入居者の年齢

問7 入居者の年齢

入居者の年齢別の人数の平均は、「85歳～89歳」が22.3人で最も多く、次いで「90歳～94歳」（6.3人）、「80歳～84歳」（4.0人）等が続いています。

【入居者の年齢】

	40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	不明
合計	1人	0人	2人	10人	12人	67人	19人	3人	2人	10人
回答数	3施設・住宅	3施設・住宅	3施設・住宅	3施設・住宅	3施設・住宅	3施設・住宅	3施設・住宅	3施設・住宅	3施設・住宅	3施設・住宅
平均	0.3人	0人	0.7人	3.3人	4.0人	22.3人	6.3人	1.0人	0.7人	3.3人

(3) 入居者の介護度等

問8 入居者の介護度等

介護度別の入居者人数の平均は、「要介護1」が11.0人で最も多く、次いで「要介護2」(9.3人)等が続いています。

うち国分寺市民の入居者人数の平均は、「要介護2」が11人で最も多く、次いで「要介護1」(8.5人)等が続いています。

【入居者の介護度等】

		自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明
人数	合計	4人	10人	5人	33人	28人	15人	19人	9人	3人
	回答数	3施設・住宅	3施設・住宅	3施設・住宅	3施設・住宅	3施設・住宅	3施設・住宅	3施設・住宅	3施設・住宅	3施設・住宅
	平均	1.3人	3.3人	1.7人	11.0人	9.3人	5.0人	6.3人	3.0人	1.0人
国分寺市民 上記のうち 人数	合計	1人	2人	1人	17人	11人	6人	11人	4人	0人
	回答数	1施設・住宅	2施設・住宅	1施設・住宅	2施設・住宅	1施設・住宅	1施設・住宅	2施設・住宅	1施設・住宅	1施設・住宅
	平均	1人	1人	1人	8.5人	11人	6人	5.5人	4人	0人

※ 国分寺市民とは国分寺市の介護保険被保険者であり、他市の住所地特例者は含まない(以下同様)

(4) 生活保護受給者の有無

問9 生活保護受給者

(1) 貴施設・住宅の入居者の中に生活保護受給者はいますか。

(問9(1)で「はい」を選択した方のみ)

(2) 生活保護受給者数をご記入ください。

生活保護受給者の有無は、「いいえ」が4件で、今回の回答施設・住宅では、生活保護受給者はいない結果となっています。

【生活保護受給者の有無】

	はい	いいえ	わからない	無回答
n = (4)				
件数	0件	4件	0件	0件

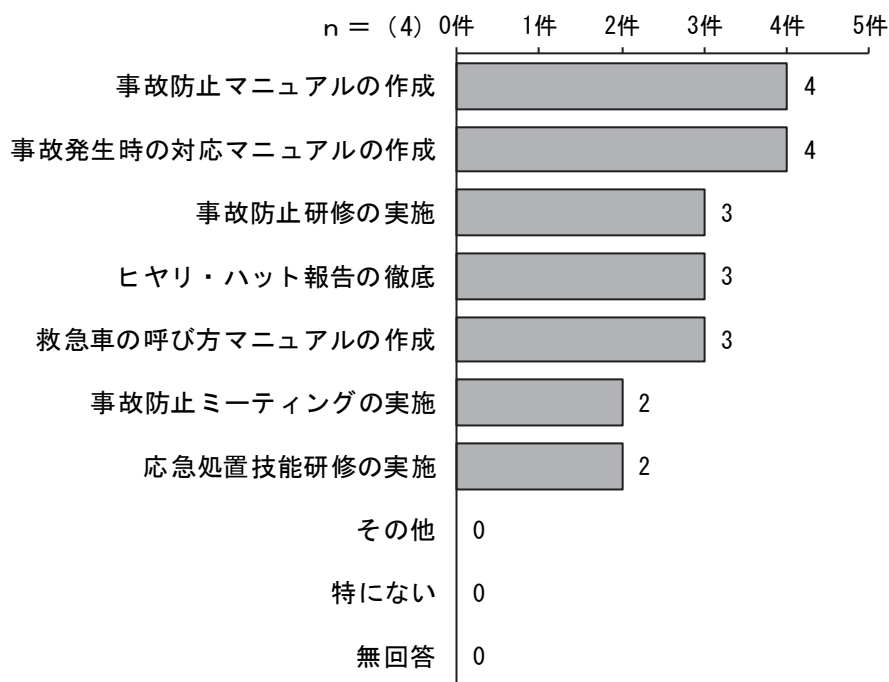
3 事故防止，感染予防，虐待予防等の取組

(1) 事故防止のための取組

問 10 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「事故（例：転倒・誤嚥等）」について，貴施設・住宅で事故防止や，事故を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

事故防止のための取組は，「事故防止マニュアルの作成」，「事故発生時の対応マニュアルの作成」がそれぞれ4件で最も多く，次いで「事故防止研修の実施」，「ヒヤリ・ハット報告の徹底」，「救急車の呼び方マニュアルの作成」（それぞれ3件）等が続いています。

【事故防止のための取組】（複数回答）

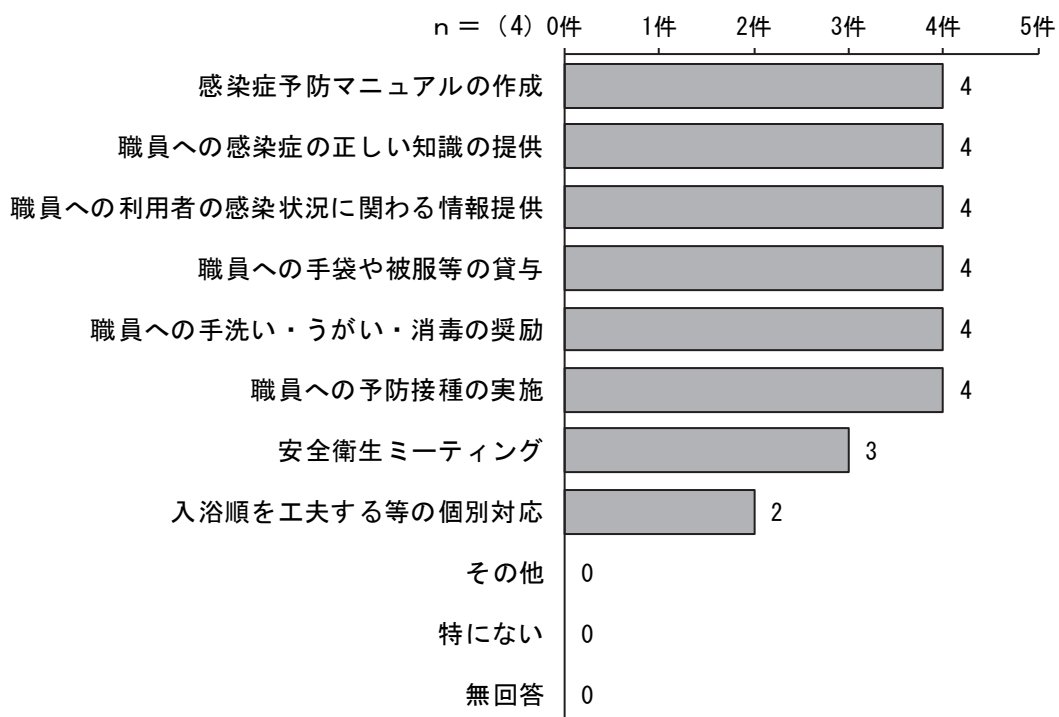


(2) 感染症の伝播に対する予防策

問11 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「感染症の伝播」(職員から利用者, 利用者から利用者, 来訪者等の部外者から利用者)について, 貴施設・住宅で講じている予防策にはどのようなものがありますか(あてはまるものすべてに○)

感染症の伝播に対する予防策としては、「感染症予防マニュアルの作成」, 「職員への感染症の正しい知識の提供」, 「職員への利用者の感染状況に関わる情報提供」, 「職員への手袋や被服等の貸与」, 「職員への手洗い・うがい・消毒の奨励」, 「職員への予防接種の実施」がそれぞれ4件で最も多く, 次いで「安全衛生ミーティング」(3件)等が続いています。

【感染症の伝播に対する予防策】(複数回答)

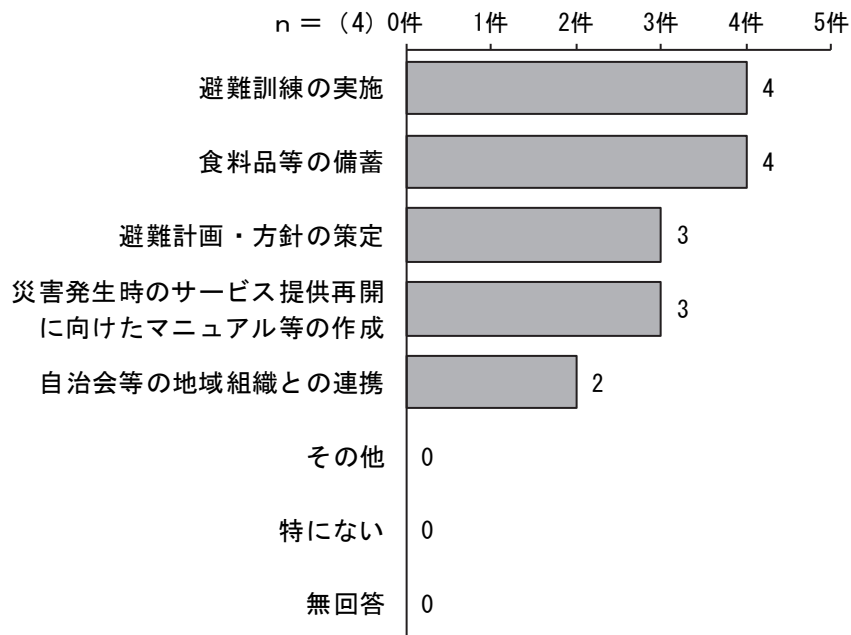


(3) 大規模災害の被害を最小限に止めるための取組

問12 今後起こり得る「大規模災害（例：地震・台風等）」について、貴施設・住宅で被害を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか
 （あてはまるものすべてに○）

大規模災害の被害を最小限に止めるための取組としては、「避難訓練の実施」，「食料品等の備蓄」がそれぞれ4件で最も多く，次いで「避難計画・方針の策定」，「災害発生時のサービス提供再開に向けたマニュアル等の作成」（それぞれ3件）等が続いています。

【大規模災害の被害を最小限に止めるための取組】（複数回答）

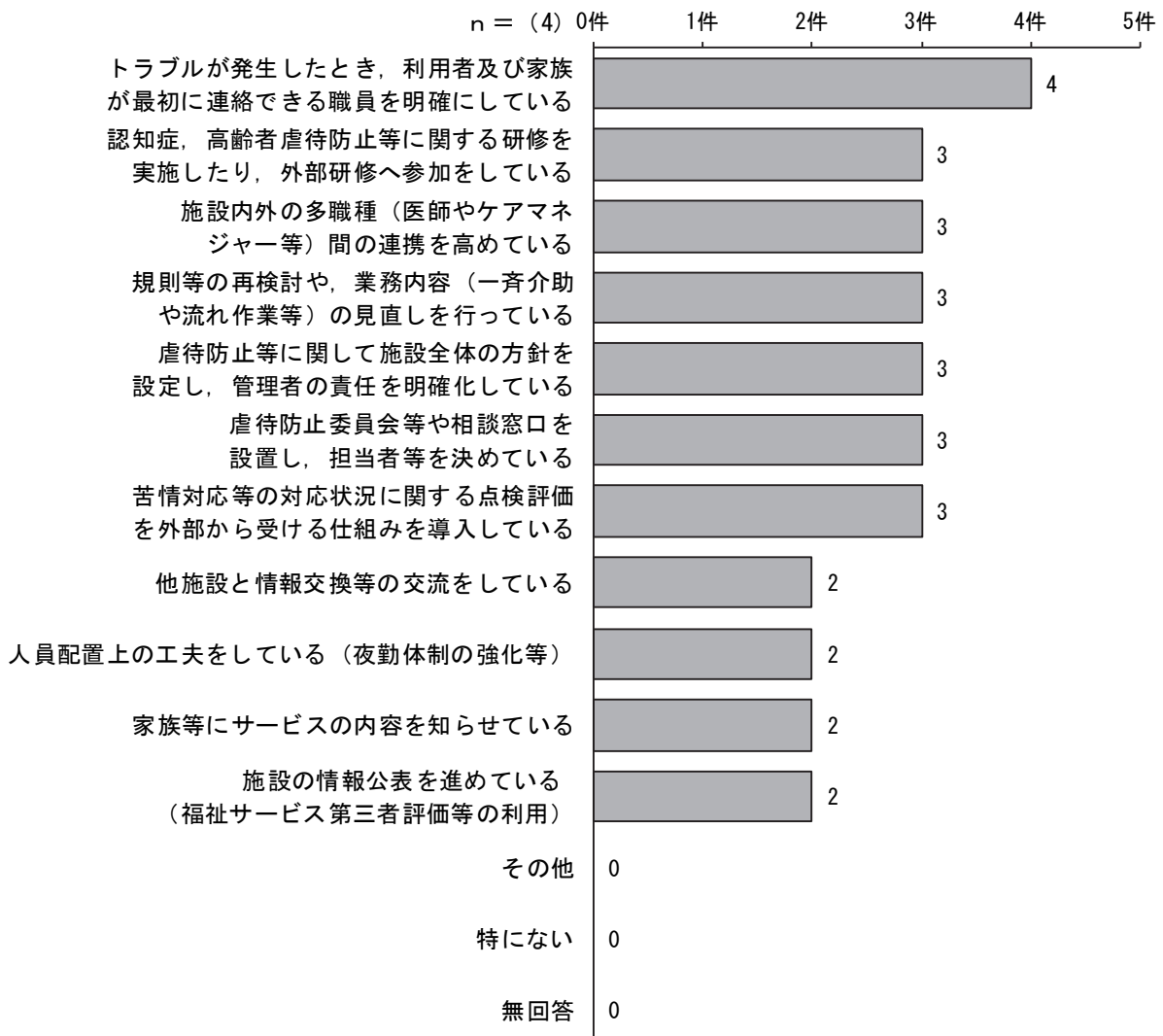


(4) 利用者の人権を擁護するために講じている取組

問13 貴施設・住宅において、利用者の意思や尊厳の尊重、施設内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか
(あてはまるものすべてに○)

利用者の人権を擁護するために講じている取組としては、「トラブルが発生したとき、利用者及び家族が最初に連絡できる職員を明確にしている」が4件で最も多く、次いで「認知症、高齢者虐待防止等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている」、「施設内外の多職種（医師やケアマネジャー等）間の連携を高めている」、「規則等の再検討や、業務内容（一斉介助や流れ作業等）の見直しを行っている」、「虐待防止等に関して施設全体の方針を設定し、管理者の責任を明確化している」、「虐待防止委員会等や相談窓口を設置し、担当者等を決めている」、「苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みを導入している」（それぞれ3件）等が続いています。

【利用者の人権を擁護するために講じている取組】（複数回答）



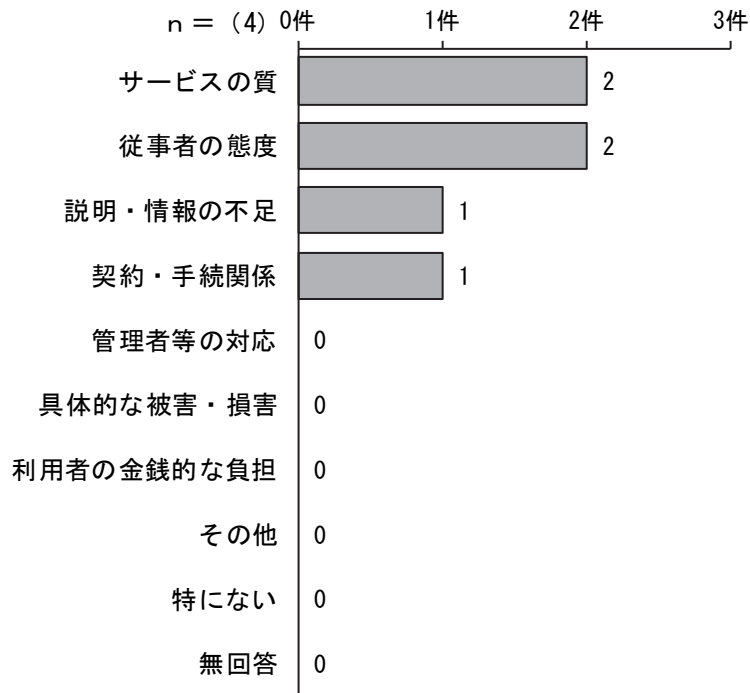
4 利用者からの苦情・相談内容とその対応

(1) 利用者やその家族からの苦情・相談

問14 利用者やそのご家族から、どのような苦情や相談が多いですか（3つまで選択可）

利用者やその家族からの苦情や相談としては、「サービスの質」、「従事者の態度」がそれぞれ2件で最も多く、次いで「説明・情報の不足」、「契約・手続関係」（それぞれ1件）となっています。

【利用者やその家族からの苦情・相談】（複数回答）



(2) 苦情・相談の対応体制

問 15 苦情や相談の対応体制について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

苦情や相談の対応体制は、どの対応も「ある」が最も多くなっていますが、その中で(4) 苦情相談記録簿は「ある」が3件と他の対応よりも少なくなっています。

【苦情・相談の対応体制】

	ある	ない	無回答
n = (4)			
(1) 苦情相談窓口	4件	0件	0件
(2) 担当者の配置	4件	0件	0件
(3) 苦情相談マニュアル	4件	0件	0件
(4) 苦情相談記録簿	3件	1件	0件
(5) 職員間で共通認識を持つ機会	4件	0件	0件
(6) 職員間で具体的な対応策について検討	4件	0件	0件
(7) その他(ある場合のみ)	0件	4件	0件

※ 「職員間で具体的な対応策について検討」は今回調査から新たに追加された設問

※ 「その他(ある場合のみ)」は今回調査から新たに追加された設問

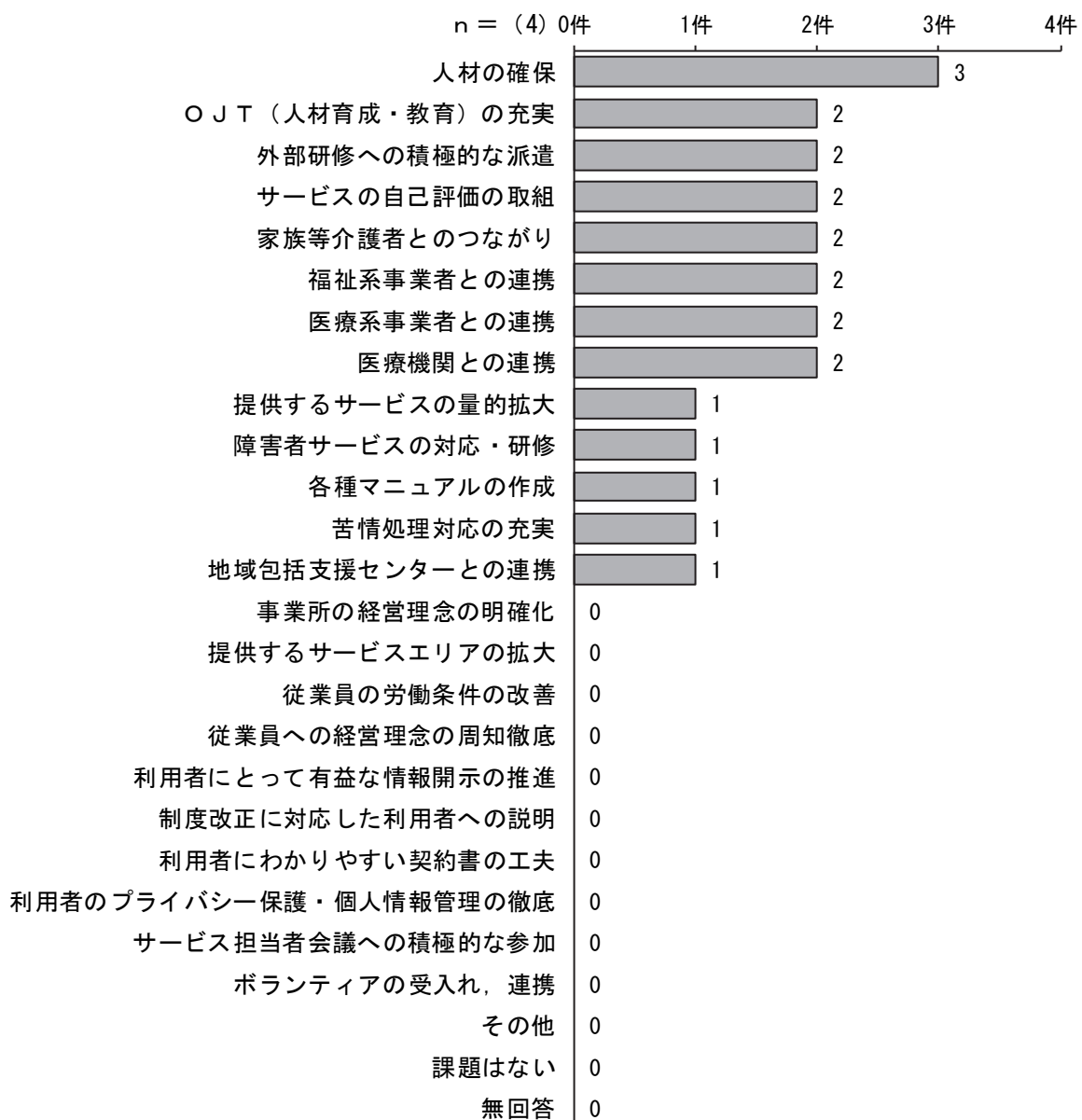
5 サービスの質の向上に向けた課題

(1) 施設・住宅での課題

問16 貴施設・住宅で課題となっているものはどれですか（あてはまるものすべてに○）

施設・住宅で課題となっていることは、「人材の確保」が3件で最も多く、次いで「OJT（人材育成・教育）の充実」、「外部研修への積極的な派遣」、「サービスの自己評価の取組」、「家族等介護者とのつながり」、「福祉系事業者との連携」、「医療系事業者との連携」、「医療機関との連携」（それぞれ2件）等が続いています。

【施設・住宅での課題】（複数回答）



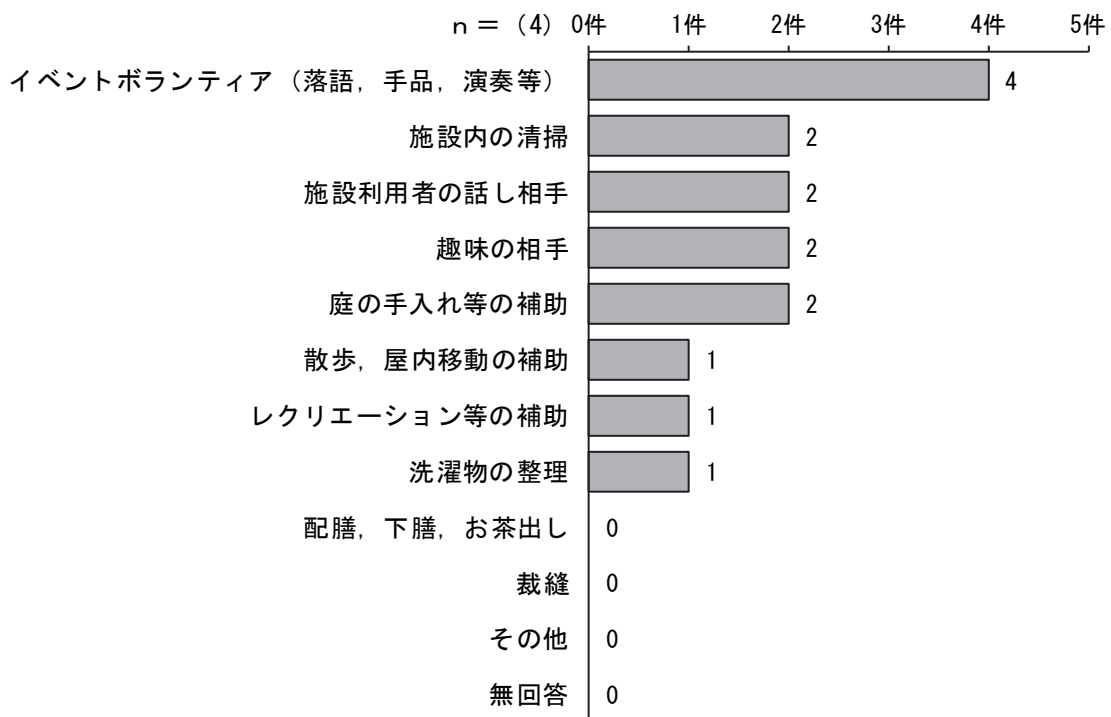
※ 「課題はない」は今回調査から新たに追加された選択肢

(2) ボランティアに担ってもらいたいこと

問17 ボランティアを受け入れる場合、どんなことを担ってもらいたいですか
(あてはまるものすべてに○)

ボランティアに担ってもらいたいこととしては、「イベントボランティア（落語、手品、演奏等）」が4件で最も多く、次いで「施設内の清掃」、「施設利用者の話し相手」、「趣味の相手」、「庭の手入れ等の補助」（それぞれ2件）等が続いています。

【ボランティアに担ってもらいたいこと】（複数回答）



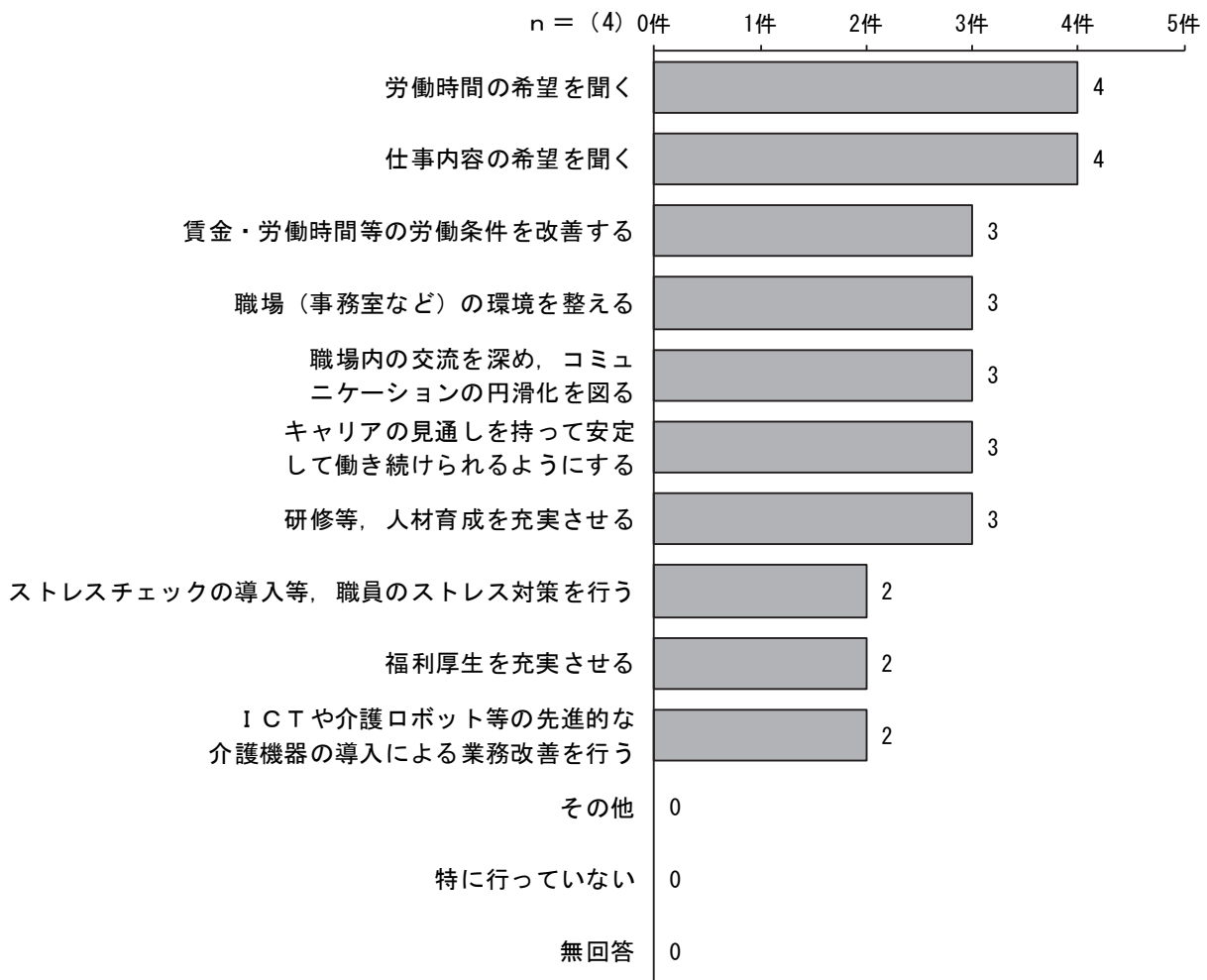
6 人材の確保

(1) 職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組

問 18 貴施設・住宅で行っている職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組としては、「労働時間の希望を聞く」、「仕事内容の希望を聞く」がそれぞれ4件で最も多く、次いで「賃金・労働時間等の労働条件を改善する」、「職場（事務室など）の環境を整える」、「職場内の交流を深め、コミュニケーションの円滑化を図る」、「キャリアの見通しを持って安定して働き続けられるようにする」、「研修等、人材育成を充実させる」（それぞれ3件）等が続いています。

【職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組】（複数回答）



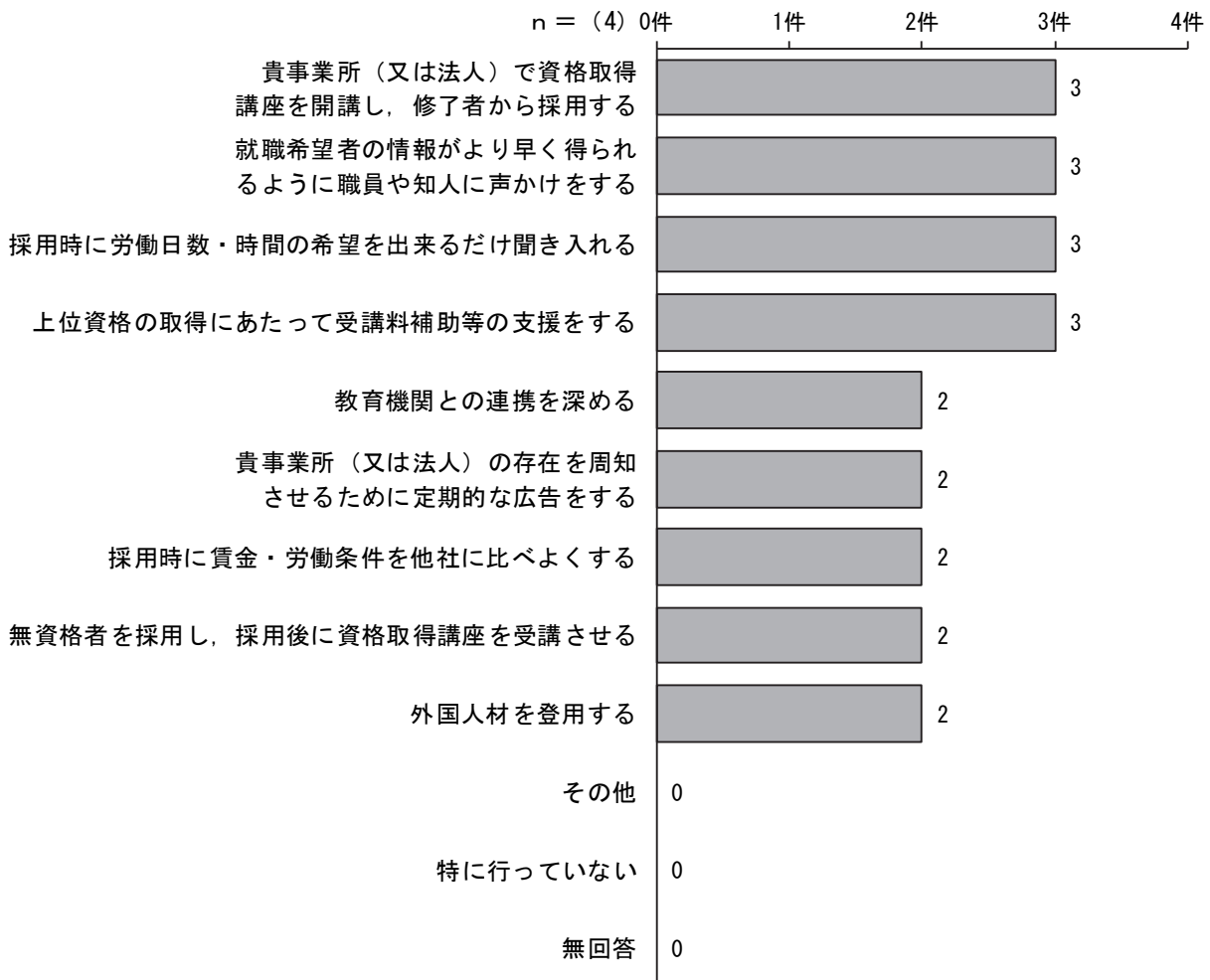
※ 「職場（事務室など）の環境を整える」は前回調査では「職場環境を整える」という選択肢

(2) 人材確保に向けた取組

問19 貴施設・住宅で行っている人材確保に向けた取組にはどのようなものがありますか
(あてはまるものすべてに○)

人材確保に向けた取組としては、「貴事業所（又は法人）で資格取得講座を開講し、修了者から採用する」、「就職希望者の情報がより早く得られるように職員や知人に声かけをする」、「採用時に労働日数・時間の希望を出来るだけ聞き入れる」、「上位資格の取得にあたって受講料補助等の支援をする」がそれぞれ3件で最も多く、次いで「教育機関との連携を深める」、「貴事業所（又は法人）の存在を周知させるために定期的な広告をする」、「採用時に賃金・労働条件を他社に比べよくする」、「無資格者を採用し、採用後に資格取得講座を受講させる」、「外国人材を登用する」（それぞれ2件）となっています。

【人材確保に向けた取組】（複数回答）



7 意見・要望

問 20 介護保険制度や保険者（国分寺市）に対してのご意見・ご要望等がありましたら、
ご自由にご記入ください

意見・要望の記載はありませんでした。

第 9 章 資料編

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票

インターネット回答用	
申請者ID	
パスワード	

国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画

高齢者福祉に関するアンケート

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

ごあいさつ

日頃より国分寺市の高齢者保健福祉事業及び介護保険事業にご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、国分寺市では、令和5年度末に策定する「国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画」に活用するため、アンケート調査を実施することといたしました。本調査は、厚生労働省が作成した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の項目に、国分寺市独自のニーズを把握するための質問項目を加えて実施するものです。

調査結果は、地域の課題に対応したサービスの提供や事業の目標設定に活用させていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

なお、調査結果はすべて無記名で統計処理するため、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

国分寺市長 **井澤 邦夫**

令和5年2月28日（火）までに回答をお願いします。


ご記入に際してのお願い

- 1 この調査の対象者は、令和4年12月1日現在、国分寺市内に住所を持つ65歳以上の方です。ただし、要介護認定を受けている方及び施設に入所している方等は除きます。対象者から無作為に抽出した3,600人の方に送付しています。
- 2 調査結果はすべて無記名で統計処理するため、個人が特定されることはありません。
- 3 ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
- 4 「あなたの～」と尋ねている質問項目がいくつかあります。この場合「あなた」とは、宛名のご本人を指しますので、ご本人以外のご家族が回答された場合でも、宛名のご本人に関して回答してください。
- 5 郵送又はインターネットで回答してください。郵送の場合は、記入した調査票を同封の返信用封筒に入れて令和5年2月28日（火）までにポストに投函してください。インターネットでの回答については下段をご覧ください。
- 6 回答にあたっては質問をよくお読みいただき、あてはまる番号を選んで○印をつけてください。数字を記入する欄は右詰め（例

0	6	2
---	---	---

 kg）でご記入ください。
- 7 「その他（ ）」を選んだ方は、（ ）内にその内容を具体的に記入してください。

インターネットでの回答について

- 1 パソコン、スマートフォン等から右の2次元コードを読み取るか、以下のURLを入力してください。※携帯電話については、機種により回答できない場合がありますのでご了承ください。
[URL] <https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?id=1630995080379>
 - 2 1ページの右上に印刷されている、「インターネット回答用 申請者ID・パスワード」をそれぞれ半角で入力し、回答ページに進んでください。
 - 3 回答を入力し、令和5年2月28日（火）までに送信してください。
- ※通信料はご負担いただきますようお願いいたします。

【問合せ先】

国分寺市 福祉部 高齢福祉課 計画・事業推進係

電話：042-321-1301 F A X：042-320-1180

※（土）（日）（祝）を除く午前8時30分から午後5時まで

記入日	令和5年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか	
1 宛名のご本人が記入	
2 ご家族が記入（宛名のご本人からみた続柄： ）	
3 その他（ ）	

あなたの現在の状態	1 非該当 2 事業対象者 3 要支援1 4 要支援2	※「あなたの現在の状態」の「事業対象者」とは、総合事業の対象者のことです。 「事業対象者」の場合は、介護保険の被保険者証に記載がありますのでご確認ください。 ※要支援1・2に該当せず、事業対象者でもない方はすべて「非該当」となります。
	あなたの年齢	() 歳
あなたの住所	町名	1 東元町 6 本多 11 日吉町 16 北町 2 西元町 7 東恋ヶ窪 12 内藤 17 光町 3 南町 8 西恋ヶ窪 13 富士本 18 高木町 4 泉町 9 東戸倉 14 新町 19 西町 5 本町 10 戸倉 15 並木町
	丁目	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 丁目

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成を教えてください

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 1人暮らし | 2 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 4 息子・娘との2世帯 |
| 5 その他 | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

- 1 介護・介助は必要ない ⇒ (3)に進んでください
- 2 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒①に進んでください
- 3 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) ⇒①, ②, ③に進んでください

【(2)において「2」「3」を選択した方のみ】

① 介護・介助が必要になった主な原因を教えてください(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---|--|-----------------------------------|
| 1 <small>のうそっちゅう のうしゅっけつ・のうこうそく</small> 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 2 心臓病 | 3 がん(悪性新生物) |
| 4 <small>はいきしゅ</small> 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) | 5 関節の病気(リウマチ等) | |
| 6 <small>にんちしょう</small> 認知症(アルツハイマー病等) | 7 パーキンソン病 | 8 <small>とうようびょう</small> 糖尿病 |
| 9 <small>じんしゃかん</small> 腎疾患(透析) | 10 <small>しかく ちょうかくしょうがい</small> 視覚・聴覚障害 | 11 <small>こっせつ てんとう</small> 骨折・転倒 |
| 12 <small>せきついそんしょう</small> 脊椎損傷 | 13 <small>すいじゃく</small> 高齢による衰弱 | 14 その他() |
| 15 不明 | | |

【(2)において「3」を選択した方のみ】

② 主にどなたの介護、介助を受けていますか(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|----------|---------|
| 1 配偶者(夫・妻) | 2 息子 | 3 娘 |
| 4 子の配偶者 | 5 孫 | 6 兄弟・姉妹 |
| 7 介護サービスのヘルパー | 8 その他() | |

【(2)において「3」を選択した方のみ】

③ ②の方の年齢を教えてください(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 20歳未満 | 2 20代 | 3 30代 |
| 4 40代 | 5 50代 | 6 60代 |
| 7 70代 | 8 80歳以上 | 9 わからない |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

- 1 大変苦しい 2 やや苦しい 3 ふつう
4 ややゆとりがある 5 大変ゆとりがある

(4) お住まいの種類を教えてください

- 1 持家（一戸建て） 2 持家（集合住宅）
3 こうえいちんたいじゅうたく
公営賃貸住宅 4 みんかんちんたいじゅうたく
民間賃貸住宅（一戸建て）
5 みんかんちんたいじゅうたく
民間賃貸住宅（集合住宅） 6 借家
7 その他

【(4)において「2」「3」「5」を選択した方で、2階以上の階にお住まいの方のみ】

① お住まいの集合住宅に、エレベーター又はエスカレーターは設置されていますか

- 1 設置されている 2 設置されていない

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

(3) 15分位続けて歩いていますか

- 1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

- 1 何度もある 2 1度ある 3 ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか

- 1 とても不安である 2 やや不安である 3 あまり不安でない 4 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか

- 1 ほとんど外出しない 2 週1回 3 週2～4回 4 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか		
1 とても減っている	2 減っている	
3 あまり減っていない	4 減っていない	
(8) 外出を控えていますか		
1 はい	2 いいえ	
【(8)で「1」を選択した方のみ】		
① 外出を控えている理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）		
1 病気	2 障害 <small>しょうがい のうそっちゅう こういしょう</small> （脳卒中の後遺症など）	
3 足腰などの痛み	4 トイレの心配（失禁など）	
5 耳の障害（聞こえの問題など）	6 目の障害	
7 外での楽しみがない	8 経済的に出られない	
9 交通手段がない	10 その他（ ）	
(9) 外出する際の移動手段を教えてください（あてはまるものすべてに○）		
1 徒歩	2 自転車	3 バイク
4 自動車（自分で運転）	5 自動車（人に乗せてもらう）	6 電車
7 路線バス	8 病院や施設のバス	9 車いす
10 電動車いす（カート）	11 歩行器・シルバーカー	
12 タクシー	13 その他（ ）	

問3 食べることについて

(1) 身長・体重	
身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm	体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	
1 はい	2 いいえ
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	
1 はい	2 いいえ

(4) 口の渇きが気になりますか		
1 はい	2 いいえ	
(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか		
1 はい	2 いいえ	
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)		
1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	2 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	
3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	4 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	
① 噛み合わせは良いですか		
1 はい	2 いいえ	
【(6)で「1」「3」を選択した方のみ】		
② 毎日入れ歯の手入れをしていますか		
1 はい	2 いいえ	
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか		
1 はい	2 いいえ	
(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか		
1 毎日ある	2 週に何度かある	3 月に何度かある
4 年に何度かある	5 ほとんどない	

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか		
1 はい	2 いいえ	
(2) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」等の物忘れがあるとされますか		
1 はい	2 いいえ	
(3) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか		
1 はい	2 いいえ	

【(3)で「1」を選択した方のみ】		
① 携帯電話やスマートフォンを利用していますか		
1 電話のみ利用	2 メール・電話のみ利用	
3 メール・電話・ウェブ検索などを利用	4 未利用	
(4) 今日が何月何日かわからない時がありますか		
1 はい	2 いいえ	
(5) 5分前のことが思い出せますか		
1 はい	2 いいえ	
(6) その日の活動（食事をする、衣服を選ぶ等）を自分で判断できますか		
1 困難なくできる	2 いくらか困難であるが、できる	
3 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要	4 ほとんど判断できない	
(7) 人に自分の考えをうまく伝えられますか		
1 伝えられる	2 いくらか困難であるが、伝えられる	
3 あまり伝えられない	4 伝えられない	
(8) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）		
1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
(9) 自分で食品・日用品の買物をしていますか		
1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
(10) 自分で食事の用意をしていますか		
1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
(11) 自分で請求書の支払いをしていますか		
1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
(12) 自分で預貯金の出し入れをしていますか		
1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない

(13) 年金などの書類（役所や病院等に出す書類）が書けますか	
1 はい	2 いいえ
(14) 新聞を読んでいますか	
1 はい	2 いいえ
(15) 本や雑誌を読んでいますか	
1 はい	2 いいえ
(16) 健康についての記事や番組に関心がありますか	
1 はい	2 いいえ
(17) 友人の家を訪ねていますか	
1 はい	2 いいえ
(18) 家族や友人の相談にのっていますか	
1 はい	2 いいえ
(19) 病人を見舞うことができますか	
1 はい	2 いいえ
(20) 若い人に自分から話しかけることがありますか	
1 はい	2 いいえ
(21) 趣味はありますか	
1 趣味あり	→ 趣味を教えてください
2 思いつかない	
(22) 生きがいがありますか	
1 生きがいあり	→ 生きがいを教えてください
2 思いつかない	

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループ やクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための 通いの場（集いの場等）	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1 是非参加したい 2 参加してもよい 3 参加したくない 4 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

1 是非参加したい 2 参加してもよい 3 参加したくない 4 既に参加している

問6 たすけあいについて
あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴ぐちを聞いてくれる人はどなたですか（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-------------------------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他（ ） | 8 そのような人はいない | |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴ぐちを聞いてあげる人はどなたですか
（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-------------------------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他（ ） | 8 そのような人はいない | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか
（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-------------------------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他（ ） | 8 そのような人はいない | |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-------------------------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他（ ） | 8 そのような人はいない | |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|---|
| 1 自治会・町内会・老人クラブ | 2 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3 ケアマネジャー | 4 医師・歯科医師・看護師 |
| 5 地域包括支援センター・役所・役場 | 6 その他（ ） |
| 7 そのような人はいない | |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 毎日ある | 2 週に何度かある | 3 月に何度かある |
| 4 年に何度かある | 5 ほとんどない | |

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (同じ人には何度会っても1人と数えることとします)		
1 0人 (いない)	2 1~2人	3 3~5人
4 6~9人	5 10人以上	
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (あてはまるものすべてに○)		
1 近所・同じ地域の人	2 幼なじみ	3 学生時代の友人
4 仕事での同僚・元同僚	5 趣味や関心が同じ友人	
6 ボランティア等の活動での友人	7 その他	
8 いない		
(9) あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いがありますか		
1 日ごろから助け合っている	2 気のあった人とは親しくしている	
3 たまに立ち話をする程度	4 顔を合わせたら挨拶をする程度	
5 ほとんど付き合いはない	6 近所にどのような人がいるか知らない	
(10) あなたは、ご近所の方とのお付き合いは必要だと思いますか		
1 必要だと思う	2 多少は必要だと思う	
3 あまり必要だとは思わない	4 必要だとは思わない	

問7 健康等について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか										
1 とてもよい	2 まあよい	3 あまりよくない	4 よくない							
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数を○で囲んでください)										
とても不幸	←—————→									とても幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

(9) 現在治療中又は後遺症のある病気はありますか (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1 ない | 2 高血圧 |
| 3 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
<small>のうそっちゅう のうしゅっけつ・のうこうそく</small> | 4 心臓病 |
| 5 糖尿病
<small>とうりょうびょう</small> | 6 高脂血症 (脂質異常)
<small>こうしけっしょう ししつじょう</small> |
| 7 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9 腎臓・前立腺の病気
<small>じんそう ぜんりつせん</small> | 10 筋骨格の病気 (骨粗しょう症, 関節症等)
<small>きんこっかく びょうき こつそ しょう</small> |
| 11 外傷 (転倒・骨折等)
<small>がいしょう てんとう こっせつ</small> | 12 がん (悪性新生物) |
| 13 血液・免疫の病気
<small>めんえき</small> | 14 うつ病 |
| 15 認知症 (アルツハイマー病等)
<small>にんちしょう</small> | 16 パーキンソン病 |
| 17 目の病気 | 18 耳の病気 |
| 19 その他 () | |

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

【(2) において「1」を選択した方のみ】

① 認知症に関する次の相談先を知っていますか (あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------------|---------------------|---------------|
| 1 地域包括支援センター | 2 市役所 | 3 認知症疾患医療センター |
| 4 かかりつけ医 | 5 おれんじCafé (認知症カフェ) | |
| 6 認知症の家族の会 (きさらぎ会等) | 7 その他 () | |

問9 その他

(1) あなたは、高齢者の相談窓口として、地域包括支援センターを知っていますか

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1 利用したことがある | 2 利用したことはないが、役割は知っている |
| 3 名前を聞いたことがある程度 | 4 知らない |

(2) 認知症についてどの程度知っていますか

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 よく知っている | 2 ある程度知っている |
| 3 あまり知らない | 4 まったく知らない |

(3) 消費者被害等に関して、次のような対策をしていますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1 日頃から家族で話し合っている | 2 電話でお金の話をしないと約束している |
| 3 家族で事前に合言葉を決めておく | 4 常に留守番電話に設定している |
| 5 自動通話録音機を設置している | 6 国分寺市生活安全・安心メールに登録している |
| 7 公的機関に相談する
（警察や消費生活センターなど） | 8 対策はしていない |

(4) あなたは、成年後見制度を知っていますか

- | |
|--------------------------------|
| 1 どのような制度か知っている ⇒ (5) に進んでください |
| 2 どのような制度か知らない ⇒ (7) に進んでください |

※「成年後見制度」とは、認知症等によって判断能力に不安がある方が、一方的に不利益な契約を結ぶことがないように、補助人、保佐人、後見人が、本人の判断能力を補い、保護する制度です。

【(4) において「1」を選択した方のみ】

(5) 今後判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいですか

- | |
|--------------------------|
| 1 利用したい ⇒ (7) に進んでください |
| 2 利用したくない ⇒ (6) に進んでください |

【(5) において「2」を選択した方のみ】

(6) 成年後見制度を利用したくないと考える理由を教えてください（3つまで選択可）

- | |
|---|
| 1 手続きが複雑である |
| 2 申立費用・報酬費用等の負担がある |
| 3 後見人等に金銭管理等をゆだねることが心配 |
| 4 他人に財産状況や生活状況を知られたくない |
| 5 家族等の介護者が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい |
| 6 利用のタイミングがわからない |
| 7 誰が後見人等に選任されるか不安である |
| 8 その他（ ） |

(7) 今後の就労希望についておうかがいします

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 ほぼ毎日働きたい | 2 週に2～3日程度働きたい |
| 3 月に数日程度働きたい | 4 働きたくない |

(8) あなたは、人生の最期のときをどこで迎えたいですか

- | | | | |
|----------------|-------------------|---------|-------------|
| 1 自宅 | 2 病院等の医療施設 | 3 子どもの家 | 4 兄弟姉妹等親族の家 |
| 5 高齢者向けのケア付き住宅 | 6 特別養護老人ホーム等の福祉施設 | | |
| 7 その他 () | 8 わからない | | |

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて2月28日（火）までにポストに投函してください。（切手は不要です）

2 在宅介護実態調査 調査票

インターネット回答用	
申請者ID	
パスワード	

国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画

高齢者福祉に関するアンケート

(在宅介護実態調査)

ごあいさつ

日頃より国分寺市の高齢者保健福祉事業及び介護保険事業にご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、国分寺市では、令和5年度末に策定する「国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画」に活用するため、アンケート調査を実施することといたしました。本調査は、厚生労働省が作成した「在宅介護実態調査」の項目に、国分寺市独自の実態の把握のため質問項目を加えて実施するものです。

調査結果は、地域の課題に対応したサービスの提供や事業の目標設定に活用させていただくと同時に、要支援者・要介護者の在宅生活の継続や、介護者の就労継続に有効な介護サービスのあり方を検討するために利用させていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

なお、ご回答いただきました内容は、個人情報の保護に関する法律及び国分寺市個人情報保護条例を遵守し、適正に取り扱わせていただきます。

国分寺市長 **井澤 邦夫**

令和5年2月28日(火)までに回答をお願いします。

ご記入に際してのお願い

- 1 この調査の対象者は、令和4年12月1日現在、国分寺市内に住所を持つ要支援1～2・要介護1～5の認定を受けた方及びその介護者の方です。ただし、施設入所している方等は除きます。対象者から無作為に抽出した1,200人の方に送付しています。
- 2 ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
- 3 アンケートの本文中の「ご本人」とは、宛名のご本人を指します。
A票（7ページまで）は、ご本人以外のご家族等が回答された場合でも、宛名のご本人に関して回答してください。
B票（8ページ以降）は、ご本人を介護されている介護者の方についてお聞きしていますので、介護者の方に関して回答してください。
- 4 郵送又はインターネットで回答してください。
郵送の場合は、記入した調査票を同封の返信用封筒に入れて**令和5年2月28日（火）**までにポストに投函してください。
インターネットでの回答については下段をご覧ください。
- 5 回答にあたっては質問をよくお読みいただき、あてはまる番号を選んで○印をつけてください。
- 6 「その他（ ）」を選んだ方は、（ ）内にその内容を具体的に記入してください。

インターネットでの回答について

- 1 パソコン、スマートフォン等から右の2次元コードを読み取るか、以下のURLを入力してください。※携帯電話については、機種により回答できない場合がありますのでご了承ください。



[URL] <https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?id=1631839541939>

- 2 1ページの右上に印刷されている、「インターネット回答用 申請者ID・パスワード」をそれぞれ半角で入力し、回答ページに進んでください。

- 3 回答を入力し、**令和5年2月28日（火）**までに送信してください。

※通信料はご負担いただきますようお願いいたします。

【問合せ先】

国分寺市 福祉部 高齢福祉課 計画・事業推進係

電話：042-321-1301 FAX：042-320-1180

※（土）（日）（祝）を除く午前8時30分から午後5時まで

個人情報の取扱いについて

この調査は、在宅介護に関する調査・分析を目的とするもので、国分寺市が下記業者に委託し、実施するものです。回答用紙は、個人情報の取扱いについての同意書を兼ねております。

下記処理委託先は、個人情報の取扱いにつきまして、厳重な保護管理体制を構築し、業務を推進しております。配送業務等を外部に委託する場合にも、委託先の選定に関する厳格な基準を設け、これに合致した委託先にのみ業務を委託しております。

処理委託先 株式会社コモン計画研究所
所在地：〒166-0015 東京都杉並区成田東5-35-15 THE PLAZA-F 2階
電話：03-3220-5415

同意書

国分寺市長 殿

国分寺市が実施する本調査内容及び要支援・要介護認定情報を、「国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画」策定及び介護保険事業に使用することについて同意いたします。

令和 年 月 日

ご本人氏名 _____

主な介護者氏名 _____

調査票を記入されたのはどなたですか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 ご本人 | 2 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3 主な介護者以外の家族・親族 | 4 ご本人のケアマネジャー |
| 5 その他（ ） | |

A票 ご本人について、お伺いします

1 基本情報・サービス利用意向等について

問1 世帯類型を教えてください

- | | | |
|--------|----------|-------|
| 1 単身世帯 | 2 夫婦のみ世帯 | 3 その他 |
|--------|----------|-------|

問2 要介護度を教えてください

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1 要支援1 | 2 要支援2 | |
| 3 要介護1 | 4 要介護2 | 5 要介護3 |
| 6 要介護4 | 7 要介護5 | 8 わからない |

問3 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況を教えてください

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 入所・入居は検討していない ⇒ 問4へ | |
| 2 入所・入居を検討している | 3 すでに入所・入居申し込みをしている |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院（介護療養型医療施設）、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

【問3で「2」「3」を選択した方のみ】

問3-1 施設で生活される場合、どのような部屋を希望しますか

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1 個室 | 2 多床室（大部屋） |
| 3 個室でも多床室（大部屋）でもどちらでもよい | 4 わからない |

問3-2 個室あるいは多床室（大部屋）を希望される理由があれば、ご自由にご記入ください

.....

.....

.....

問4 現在抱えている傷病を教えてください（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|--|
| 1 <small>のうけっかんしゅっかん</small> 脳血管疾患（ <small>のうそちゅう</small> 脳卒中） | 2 <small>しんしゅっかん</small> 心疾患（ <small>しんそうびょう</small> 心臓病） |
| 3 <small>あくせいしんせいぶつ</small> 悪性新生物（ <small>がん</small> がん） | 4 <small>こきゅうきしゅっかん</small> 呼吸器疾患 |
| 5 <small>じんしゅっかん</small> 腎疾患（ <small>とうせき</small> 透析） | 6 <small>きんこつかくけいしゅっかん</small> 筋骨格系疾患（ <small>こつ そ</small> 骨粗しょう症、 <small>しゅう</small> 脊柱管狭窄症等） |
| 7 <small>こうげんびょう</small> 膠原病（ <small>かんせつ</small> 関節リウマチ含む） | 8 <small>へんけいせいかんせつしゅっかん</small> 変形性関節疾患 |
| 9 <small>にんちしゅう</small> 認知症 | 10 <small>ひょう</small> パーキンソン病 |
| 11 <small>なんびょう</small> 難病（ <small>ひょう</small> パーキンソン病を除く） | 12 <small>とうりょうびょう</small> 糖尿病 |
| 13 <small>がんか し び かしゅっかん</small> 眼科・耳鼻科疾患 | 14 その他（ ） |
| 15 なし | 16 わからない |

問5 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）介護保険サービスを利用していますか

- 1 利用している ⇒ 問6へ
2 利用していない ⇒ 問7へ

【問5で「1」を選択した方のみ】

問6 介護保険サービスを利用することで、経済的な負担はどうなりましたか

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 負担が軽減した | 2 あまり変わらない |
| 3 負担が増えた | 4 大いに負担が増えた |

【問5で「2」を選択した方のみ】

問7 介護保険サービスを利用していない理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない | 2 本人にサービス利用の希望がない |
| 3 家族が介護をするため必要ない | 4 以前、利用していたサービスに不満があった |
| 5 利用料を支払うのが難しい | 6 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため | |
| 8 サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない | |
| 9 その他（ ） | |

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスを教えてください（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|----------------------|--------|-----------------|
| 1 配食 | 2 調理 | 3 掃除・洗濯 |
| 4 買い物（宅配は含まない） | 5 ゴミ出し | 6 外出同行（通院、買い物等） |
| 7 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | | 8 見守り、声かけ |
| 9 サロン等の定期的な通いの場 | | 10 その他（ ） |
| 11 利用していない | | |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）を教えてください（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|----------------------|--------|--------------------------------|
| 1 配食 | 2 調理 | 3 掃除・洗濯 |
| 4 買い物（宅配は含まない） | 5 ゴミ出し | 6 外出同行（通院、買い物等） |
| 7 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | | 8 見守り、声かけ |
| 9 サロン等の定期的な通いの場 | | 10 その他（ ） |
| 11 特になし | | |

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現在、訪問診療を利用していますか

- | | |
|----------|-----------|
| 1 利用している | 2 利用していない |
|----------|-----------|

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

2 ご家族やご親族からの介護について

問11 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1 ない ⇒ 問13へ | |
| 2 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない | 3 週に1～2日ある |
| 4 週に3～4日ある | 5 ほぼ毎日ある |

【問11において「1」以外を選択した方のみ】

問12 ご自身が受けている介護のことで、悩んでいるときに、どこに相談・連絡しますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 1 地域包括支援センター | 2 市役所 |
| 3 家族 | 4 ケアマネジャー |
| 5 医療機関（主治医） | 6 介護事業所（訪問介護サービス事業所、訪問看護ステーション等） |
| 7 その他（ ） | |

3 成年後見制度について

問 13 成年後見制度を知っていますか

- 1 どのような制度か知っている
- 2 どのような制度か知らない ⇒ A票の設問は以上です。B票に進んでください。

※「成年後見制度」とは、認知症等によって判断能力に不安がある方が、一方的に不利益な契約を結ぶことがないように、補助人、保佐人、後見人が、本人の判断能力を補い、保護する制度です。

【問 13 において「1」を選択した方のみ】

問 14 今後判断能力に不安が生じた場合、成年後見制度を利用したいですか

- 1 利用したい ⇒ A票の設問は以上です。B票に進んでください。
- 2 利用したくない

【問 14 において「2」を選択した方のみ】

問 15 成年後見制度を利用したくないと考える理由は何ですか（3つまで選択可）

- 1 手続きが複雑である
- 2 申立費用・報酬費用等の負担がある
- 3 後見人等に金銭管理等をゆだねることが心配
- 4 他人に財産状況や生活状況を知られたくない
- 5 家族等の介護者が元気なうちは、介護者に金銭管理等をしてもらいたい
- 6 利用のタイミングがわからない
- 7 誰が後見人等に選任されるか不安である
- 8 その他()

ご本人が、ご家族やご親族（同居していない子どもや親族を含む）からの介護を受けていない場合は、アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて **2月28日（火）までに**ポストに投函してください。（切手は不要です）

ご本人が、ご家族やご親族（同居していない子どもや親族を含む）からの介護を受けている場合は、以下のB票への記入をお願いします。

B票は、「主な介護者」の方が記入してください。「主な介護者」の方のご記入が難しい場合は、ご本人が記入してください。（ご本人の記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

B票 **主な介護者の方について、お伺いします**
 （ご家族やご親族の方からの介護を受けている方）

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）
 （あてはまるものすべてに○）

- 1 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
- 2 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
- 3 主な介護者が転職した
- 4 主な介護者以外の家族・親族が転職した
- 5 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
- 6 わからない

※ 自営業や農林水産業の仕事を辞めた方を含みます。

問2 主な介護者の方は、どなたですか

- | | | |
|-------|---------|---------------------|
| 1 配偶者 | 2 子 | 3 子の配偶者 |
| 4 孫 | 5 兄弟・姉妹 | 6 その他（ ） |

問3 主な介護者の方の年齢を教えてください

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 20歳未満 | 2 20代 | 3 30代 |
| 4 40代 | 5 50代 | 6 60代 |
| 7 70代 | 8 80歳以上 | 9 わからない |

問4 現在、主な介護者の方が行っている介護等を教えてください
(あてはまるものすべてに○)

【身体介護】

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1 日中の排泄 | 2 夜間の排泄 |
| 3 食事の介助（食べる時） | 4 入浴・洗身 |
| 5 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6 衣服の着脱 |
| 7 屋内の移乗・移動 | 8 外出の付き添い、送迎等 |
| 9 服薬 | 10 認知症状への対応 |
| 11 医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等） | |

【生活援助】

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 12 食事の準備（調理等） | 13 その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等） |
| 14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

【その他】

- | | |
|---------------|----------|
| 15 その他
() | 16 わからない |
|---------------|----------|

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等を教えてください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

【身体介護】

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1 日中の排泄 | 2 夜間の排泄 |
| 3 食事の介助（食べる時） | 4 入浴・洗身 |
| 5 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6 衣服の着脱 |
| 7 屋内の移乗・移動 | 8 外出の付き添い、送迎等 |
| 9 服薬 | 10 認知症状への対応 |
| 11 医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等） | |

【生活援助】

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 12 食事の準備（調理等） | 13 その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等） |
| 14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

【その他】

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 15 その他
() | 16 不安に感じていることは、特にない |
| 17 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問6 主な介護者の方の現在の勤務形態を教えてください

- 1 フルタイムで働いている ⇒ 問7～問10へ
- 2 パートタイムで働いている ⇒ 問7～問10へ
- 3 働いていない ⇒ 問10へ
- 4 主な介護者に確認しないと、わからない ⇒ 問10へ

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【問6で「1」「2」を選択した方のみ】

問7 主な介護者の方は、介護をするにあたって、働き方についての調整等をしていきますか（あてはまるものすべてに○）

- 1 特に行っていない
- 2 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
- 3 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
- 4 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 5 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
- 6 主な介護者に確認しないと、わからない

【問6で「1」「2」を選択した方のみ】

問8 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

- 1 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 2 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 3 制度を利用しやすい職場づくり
- 4 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制等）
- 5 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワーク等）
- 6 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 7 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 8 介護をしている従業員への経済的な支援
- 9 その他（）
- 10 特になし
- 11 主な介護者に確認しないと、わからない

【問6で「1」「2」を選択した方のみ】

問9 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 問題なく、続けていける | 2 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3 続けていくのは、やや難しい | 4 続けていくのは、かなり難しい |
| 5 主な介護者に確認しないと、わからない | |

【主な介護者の方が記入した場合のみ回答してください】

問10 次の項目について、主な介護者の方の状態や気持ちに最も近いものを、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

	よく あてはまる	どちらか というと あてはまる	あまり あてはまら ない	まったく あてはまら ない
1 睡眠時間や休息時間がとれない	1	2	3	4
2 自分の健康が保てない	1	2	3	4
3 ストレスがたまっている	1	2	3	4
4 精神的・肉体的疲労感が限界である	1	2	3	4
5 自分ひとりが我慢すれば済むと思うことがある	1	2	3	4
6 介護を続けていく自信がない	1	2	3	4
7 共倒れしてしまうのではないかとと思うことがある	1	2	3	4
8 ご本人についつらくあたってしまうことがある	1	2	3	4
9 ご本人と意思疎通ができない	1	2	3	4
10 誰も自分の大変さを理解してくれない	1	2	3	4
11 家族や親族等の理解・協力が得られない	1	2	3	4
12 適切な介護の方法や、その相談窓口がわからない	1	2	3	4
13 経済的負担が大きい	1	2	3	4

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて**2月28日（火）**までにポストに投函してください。（切手は不要です）

3 施設等利用者及び家族状況調査 調査票

インターネット回答用	
申請者 I D	
パスワード	

国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画

高齢者福祉に関するアンケート

(施設等利用者及び家族状況調査)

ご あ い さ つ

日頃より国分寺市の高齢者保健福祉事業及び介護保険事業にご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、国分寺市では、令和5年度末に策定する「国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画」に活用するため、アンケート調査を実施することといたしました。

調査結果は、地域の課題に対応したサービスの提供や事業の目標設定に活用させていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

なお、調査結果はすべて無記名で統計処理するため、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

国分寺市長 **井澤 邦夫**

令和5年2月28日（火）までに回答をお願いします。

ご記入に際してのお願い

- この調査の対象者は、令和4年12月1日現在、要介護認定を受けている施設等の入所（入居）者（以下、「ご本人」と言います。）及びそのご家族の方です。対象者から無作為に抽出した300人の方に送付しています。
現在、施設等を退所されている場合は、本調査票への回答は不要です。恐れ入りますが、送付物すべてを返信用封筒に封入の上、ご返送いただきますようお願い申し上げます。
- 調査結果はすべて無記名で統計処理するため、個人が特定されることはありません。
- 問1から問4までの回答は、施設等に入所されているご本人が記入してください。
ご本人の記入が難しい場合は、ご本人以外の方（ご家族や担当職員等）が、代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
問5の回答は、ご本人のご家族の方が記入してください。ただし、該当する方がいらっしゃらない場合は回答は不要です。
- 郵送又はインターネットで回答してください。
郵送の場合は、記入した調査票を同封の返信用封筒に入れて令和5年2月28日（火）までにポストに投函してください。
インターネットでの回答については下段をご覧ください。
- 回答にあたっては質問をよくお読みいただき、あてはまる番号を選んで○印をつけてください。
- 「その他（ ）」を選んだ方は、（ ）内にその内容を具体的に記入してください。

インターネットでの回答について

- パソコン、スマートフォン等から右の2次元コードを読み取るか、以下のURLを入力してください。※携帯電話については、機種により回答できない場合がありますのでご了承ください。



[URL] <https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?id=1633080535857>

- 1ページの右上に印刷されている、「インターネット回答用 申請者ID・パスワード」をそれぞれ半角で入力し、回答ページに進んでください。
- 回答を入力し、令和5年2月28日（火）までに送信してください。

※通信料はご負担いただきますようお願いいたします。

【問合せ先】

国分寺市 福祉部 高齢福祉課 計画・事業推進係
電話：042-321-1301 F A X：042-320-1180
※（土）（日）（祝）を除く午前8時30分から午後5時まで

★調査票を記入されたのはどなたですか

- 1 ご本人が記入
- 2 ご本人に回答を確認しながら、ご本人以外の方が記入
- 3 ご本人の立場に立って、ご本人以外の方が記入

▶ ★記入された方はどなたですか

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 配偶者 | 5 その他の親族 |
| 2 兄弟姉妹、親 | 6 施設等の担当職員 |
| 3 子ども、孫 | 7 その他 () |
| 4 子どもの配偶者、孫の配偶者 | |

問1 施設等入所者ご本人（以下、「ご本人」）の状況について

(1) 年齢

- 1 40歳～64歳
- 2 65歳～69歳
- 3 70歳～74歳
- 4 75歳～79歳
- 5 80歳～84歳
- 6 85歳以上

(2) 現在入所（入居）している施設等

- 1 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
- 2 介護老人保健施設（老人保健施設）
- 3 介護医療院（介護療養型医療施設）
- 4 有料老人ホーム・ケアハウス（特定施設）
- 5 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
- 6 その他 ()

▶ (2) - 1 居室のタイプ

- 1 個室
- 2 多床室（大部屋）
- 3 わからない

(7) 現在の施設等に入所（入居）する前に、入所（入居）していた施設等（あるいはお住まい）

- | |
|---|
| 1 自宅 |
| 2 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） |
| 3 介護老人保健施設（老人保健施設） |
| 4 介護医療院（介護療養型医療施設） |
| 5 有料老人ホーム・ケアハウス（特定施設） |
| 6 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） |
| 7 その他（ ） |

(8) 入所（入居）前の家族構成

- | |
|-------------------------------|
| 1 ひとり暮らし |
| 2 夫婦のみのふたり暮らし（ともに65歳以上） |
| 3 夫婦のみのふたり暮らし（夫・妻のどちらかが65歳以上） |
| 4 夫婦のみのふたり暮らし（ともに65歳未満） |
| 5 家族と同居（子どもと同居等） |
| 6 その他の世帯 |
| 7 わからない |

(9) 現在の要介護度

（※有効期間が満了している方で新しい結果が出ていない方は、有効期間満了時の介護度を記入）

- | | |
|---------|---------|
| 1 要介護 1 | 4 要介護 4 |
| 2 要介護 2 | 5 要介護 5 |
| 3 要介護 3 | |

問2 施設等での生活について

(1) 日常的な金銭管理・預貯金通帳等の管理は誰が行っていますか

- | | |
|---------|---|
| 1 ご本人 | 4 成年後見人 |
| 2 家族や親族 | 5 その他（ ） |
| 3 施設等職員 | |

(2) 日頃楽しみにしていることを教えてください（3つまで選択可）

- | | |
|-------------------|--|
| 1 家族や親族との団らん | 8 散歩 |
| 2 友人や知人との団らん | 9 趣味や学習活動 |
| 3 施設等職員との団らん | 10 リハビリテーション |
| 4 ボランティアや地域の人との交流 | 11 買い物 |
| 5 施設等でのイベントや行事 | 12 散髪や化粧 |
| 6 施設等での食事 | 13 その他 |
| 7 入浴 | （ ） |

問3 施設等サービスで大切なことについて

(1) 施設等サービスで、特に大切だと思うものはどれですか(5つまで選択可)

- 1 特別養護老人ホームや介護老人保健施設等, 介護保険施設の充実
- 2 有料老人ホームやグループホーム等, 居住系施設の充実
- 3 高齢者向けの賃貸住宅の充実
- 4 リハビリ機能の充実
- 5 レクリエーション内容の工夫
- 6 事業者情報の充実
- 7 ボランティアや地域の人との交流
- 8 施設等入所時の食費や居住費の補助
- 9 その他 ()

問4 ご意見・ご要望について

(1) 施設等での生活の質を向上させるために必要なこと等, ご意見・ご要望等がありましたらご自由にご記入ください

.....

次のページからはご本人のご家族の方がお答えください。

ご家族のいない方, ご家族が遠方にお住まいのため回答できない場合は, これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

回答の終わったアンケート調査票は, 同封の返信用封筒に入れて **2月28日(火)までに** ポストに投函してください。(切手は不要です)

問5 ご本人のご家族の状況について

(1) 年齢

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 40歳未満 | 4 60歳～64歳 | 7 75歳～79歳 |
| 2 40歳～49歳 | 5 65歳～69歳 | 8 80歳以上 |
| 3 50歳～59歳 | 6 70歳～74歳 | |

(2) ご本人からみた続柄

- | | |
|----------|-----------------|
| 1 配偶者 | 4 子どもの配偶者，孫の配偶者 |
| 2 兄弟姉妹，親 | 5 その他の親族 |
| 3 子ども，孫 | 6 その他（ ） |

(3) 職業

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 自営業・自由業 | 4 専業主婦（夫） |
| 2 フルタイム勤務 | 5 無職 |
| 3 パート・アルバイト | 6 その他（ ） |

(4) 介護サービスを利用することで，経済的な負担は怎么样了か

- | | |
|------------|-------------|
| 1 負担が軽減した | 3 負担が増えた |
| 2 あまり変わらない | 4 大いに負担が増えた |

(5) ご本人が施設等で不適切な介護や虐待を受けた場合，通報（相談・連絡）をするとしたらどこに連絡をしますか（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---------------|
| 1 施設等職員 |
| 2 介護サービス相談員 |
| 3 国民健康保険団体連合会 |
| 4 地域包括支援センター |
| 5 市役所 |
| 6 警察 |
| 7 ケアマネジャー |
| 8 医療機関（主治医） |
| 9 その他（ ） |

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

回答の終わったアンケート調査票は，同封の返信用封筒に入れて **2月28日（火）までに** ポストに投函してください。（切手は不要です）

4 介護保険事業者調査 調査票

インターネット回答用	
申請者 I D	
パスワード	

●本調査票は、次の事業についてご記入ください

事業種別	
------	--

国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画

高齢者福祉に関するアンケート

(介護保険事業者調査)

ご あ い さ つ

日頃より国分寺市の高齢者保健福祉事業及び介護保険事業にご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、国分寺市では、令和5年度末に策定する「国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画」に活用するため、アンケート調査を実施することといたしました。

調査結果は、地域の課題に対応したサービスの提供や事業の目標設定に活用させていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

なお、調査結果はすべて無記名で統計処理するため、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

国分寺市長 **井澤 邦夫**

別紙「ご記入に際してのお願い」をご確認いただき、
令和5年2月28日（火）までに回答をお願いします。

1 貴事業所の概要

問1 次の(1)～(5)について教えてください

(1)法人格の種類	1 社会福祉法人 2 特定非営利活動法人（NPO法人） 3 株式会社 4 有限会社	5 医療法人 6 生活協同組合 7 その他 ()	
(2)貴事業所の所在地	1 国分寺市内	2 国分寺市外	
(3)職員体制		正 規 職 員	正 規 職 員 以 外
	常勤労働者	人	人
	短時間労働者	人	人
	登録ヘルパー (訪問介護事業所のみ)	人	人
	ここでは、以下のとおり分類します ・常勤労働者：事業所の定める所定労働時間をすべて勤務する方 ・短時間労働者：1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が、常勤労働者より少ない方（登録ヘルパーを除く） ・登録ヘルパー：働くことができる時間を事業所に登録しておき、本人の都合の良い時だけ勤務する方（訪問介護事業所のみ） ・正規職員以外：「派遣・契約・臨時・パートタイム」職員等の方		
(4)正規職員の勤務年数	1年未満 ()人 1～3年未満 ()人 3年以上 ()人 ※()の数字の合計が(3)の正規職員の合計となるようにご記入ください		
(5)定期健康診断の実施状況 (労働安全衛生法規定)	常勤労働者	1 実施している	2 実施していない
	短時間労働者	1 実施している	2 実施していない
	登録ヘルパー (訪問介護事業所のみ)	1 実施している	2 実施していない

問2 令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）中に採用した人数，離職した人数を教えてください

	正 規 職 員		正 規 職 員 以 外	
	採用	離職	採用	離職
常勤労働者	人	人	人	人
短時間労働者	人	人	人	人

2 利用者の人権の尊重について

問3 貴事業所において、利用者の意思や尊厳の尊重、事業所内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1 認知症、高齢者虐待防止等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている |
| 2 他事業所と情報交換等の交流をしている |
| 3 人員配置上の工夫をしている（夜勤体制の強化等） |
| 4 事業所内外の多職種（医師やケアマネジャー等）間の連携を高めている |
| 5 規則等の再検討や、業務内容（一斉介助や流れ作業等）の見直しを行っている |
| 6 トラブルが発生したとき、利用者及び家族が最初に連絡できる職員を明確にしている |
| 7 虐待防止等に関して事業所全体の方針を設定し、管理者の責任を明確にしている |
| 8 虐待防止委員会等や相談窓口を設置し、担当者等を決めている |
| 9 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みを導入している |
| 10 家族等にサービスの内容を知らせている |
| 11 事業所の情報公表を進めている（福祉サービス第三者評価等の利用） |
| 12 その他（ ） |
| 13 特にない |

3 事故防止、感染予防の取組について

問4 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「事故（例：転倒・誤嚥等）」について、貴事業所で事故防止や、事故を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|---|
| 1 事故防止マニュアルの作成 | 6 救急車の呼び方マニュアルの作成 |
| 2 事故防止研修の実施 | 7 応急処置技能研修の実施 |
| 3 事故防止ミーティングの実施 | 8 その他（ ） |
| 4 ヒヤリ・ハット報告の徹底 | 9 特にない |
| 5 事故発生時の対応マニュアルの作成 | |

問5 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「感染症の伝播」（職員から利用者、利用者から利用者、来訪者等の部外者から利用者）について、貴事業所で講じている予防策にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|---|
| 1 感染症予防マニュアルの作成 | 6 職員への手洗い・うがい・消毒の奨励 |
| 2 職員への感染症の正しい知識の提供 | 7 職員への予防接種の実施 |
| 3 職員への利用者の感染状況に関わる情報提供 | 8 入浴順を工夫する等の個別対応 |
| 4 職員への手袋や被服等の貸与 | 9 その他（ ） |
| 5 安全衛生ミーティング | 10 特にない |

問6 今後起こり得る「大規模災害（例：地震・台風等）」について、貴事業所で被害を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1 避難計画・方針の策定 | |
| 2 避難訓練の実施 | |
| 3 食料品等の備蓄 | |
| 4 災害発生時のサービス提供再開に向けたマニュアル等の作成 | |
| 5 自治会等の地域組織との連携 | |
| 6 その他（ | ） |
| 7 特にない | |

4 利用者からの苦情・相談内容とその対応について

問7 利用者やその家族から、どのような苦情や相談が多いですか（3つまで選択可）

- | | |
|--------------|---|
| 1 サービスの質 | |
| 2 従事者の態度 | |
| 3 管理者等の対応 | |
| 4 説明・情報の不足 | |
| 5 契約・手続関係 | |
| 6 具体的な被害・損害 | |
| 7 利用者の金銭的な負担 | |
| 8 その他（ | ） |
| 9 特にない | |

問8 苦情や相談の対応体制について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

(1) 苦情相談窓口	1 ある	2 ない
(2) 担当者の配置	1 ある	2 ない
(3) 苦情相談マニュアル	1 ある	2 ない
(4) 苦情相談記録簿	1 ある	2 ない
(5) 職員間で共通認識を持つ機会	1 ある	2 ない
(6) 職員間で具体的な対応策について検討	1 ある	2 ない
(7) その他（ある場合のみ記入）	〔 〕	

5 サービスの質の向上に向けた課題について

問9 貴事業所で課題となっているものはどれですか（あてはまるものすべてに○）

【経営面】		13 制度改正に対応した利用者への説明
1 事業所の経営理念の明確化		14 利用者にわかりやすい契約書の工夫
2 提供するサービスの量的拡大		15 利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底
3 提供するサービスエリアの拡大		16 サービス担当者会議への積極的な参加
【人材面】		17 苦情処理対応の充実
4 人材の確保		【連携】
5 従業員の労働条件の改善		18 家族等介護者とのつながり
6 従業員への経営理念の周知徹底		19 福祉系事業者との連携
7 OJT（人材育成・教育）の充実		20 医療系事業者との連携
8 外部研修への積極的な派遣		21 医療機関との連携
9 障害者サービスへの対応・研修		22 地域包括支援センターとの連携
【サービスの質】		23 ボランティアの受入れ、連携
10 各種マニュアルの作成		24 その他（
11 サービスの自己評価の取組		25 課題はない
12 利用者にとって有益な情報開示の推進		

問10 ボランティアを受け入れる場合、どんなことを担ってみたいですか（あてはまるものすべてに○）

1 配膳，下膳，お茶出し	
2 散歩，屋内移動の補助	
3 事業所内の清掃	
4 利用者の話し相手	
5 趣味の相手	
6 レクリエーション等の補助	
7 裁縫	
8 洗濯物の整理	
9 庭の手入れ等の補助	
10 イベントボランティア（落語，手品，演奏等）	
11 その他（	）

6 報酬改定や処遇改善等の影響について

※職員に対する処遇全般の設問になりますので、訪問看護等、人員配置基準上、介護職員のいないサービスを提供されている事業所もご回答ください

問11 令和3年4月以降の介護職員の処遇改善の取組状況について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

(1) 基本給のアップ	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(2) 基本給以外で、賞与のアップ	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(3) 基本給以外で、資格等の手当のアップ	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(4) 福利厚生（保険・住宅等）の充実	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(5) 教育・研修の充実	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(6) 職員配置の拡充	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(7) その他（ ）	1 実施済み	2 実施予定	

問12 介護職員の処遇改善を行う上で、どのような課題があると考えますか
（あてはまるものすべてに○）

- 1 介護報酬処遇改善加算はあっても、職員の処遇改善にまでは回らない
- 2 事業の安定運営が最優先で、職員の処遇改善にまでは回らない
- 3 介護職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない
- 4 今後の制度改正や介護報酬改定を見据えると、給与体系まで手がつけられない
- 5 その他（ ）
- 6 特に課題はない

問13 令和4年中（令和4年1月～12月）の収入額は、前年に比べてどうなりましたか

1 大きく増えた（2割増以上）	}
2 増えた（1割増以上2割増未満）	
3 少し増えた（1割増未満）	
4 ほぼ変わらない	}
5 少し減った（1割減未満）	
6 減った（1割減以上2割減未満）	
7 大きく減った（2割減以上）	

----->問13-1 収入額が増減した理由を教えてください（あてはまるものすべてに○）

- 1 利用者数の増減
- 2 利用者一人当たりの利用単価の増減
- 3 提供サービスの拡大・縮小
- 4 加算の取得
- 5 その他（ ）

7 人材の確保について

問14 貴事業所で行っている職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- 1 賃金・労働時間等の労働条件を改善する
- 2 労働時間の希望を聞く
- 3 仕事内容の希望を聞く
- 4 職場（事務室など）の環境を整える
- 5 職場内の交流を深め、コミュニケーションの円滑化を図る
- 6 ストレスチェックの導入等、職員のストレス対策を行う
- 7 キャリアの見通しを持って安定して働き続けられるようにする
- 8 研修等、人材育成を充実させる
- 9 福利厚生を充実させる
- 10 ICTや介護ロボット等の先進的な介護機器の導入による業務改善を行う
- 11 その他（ ）
- 12 特に行っていない

問15 貴事業所で行っている人材確保に向けた取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- 1 教育機関との連携を深める
- 2 貴事業所（又は法人）で資格取得講座を開講し、修了者から採用する
- 3 就職希望者の情報がより早く得られるように職員や知人に声かけをする
- 4 貴事業所（又は法人）の存在を周知させるために定期的な広告をする
- 5 採用時に賃金・労働条件を他社に比べよくする
- 6 採用時に労働日数・時間の希望を出来るだけ聞き入れる
- 7 無資格者を採用し、採用後に資格取得講座を受講させる
- 8 上位資格の取得にあたって受講料補助等の支援をする
- 9 外国人材を登用する
- 10 その他（ ）
- 11 特に行っていない

8 第三者評価の受審状況について

この設問については、以下のいずれかのサービスを提供している事業者のみ回答してください

- | | | |
|------------|--------------------|-----------------|
| ・ 居宅介護支援 | ・ 特定施設入居者生活介護 | ・ 地域密着型通所介護 |
| ・ 訪問介護 | ・ 福祉用具貸与 | ・ 認知症対応型通所介護 |
| ・ 訪問入浴介護 | ・ 介護老人福祉施設 | ・ 小規模多機能型居宅介護 |
| ・ 訪問看護 | ・ 介護老人保健施設 | ・ 認知症対応型共同生活介護 |
| ・ 通所介護 | ・ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | ・ 看護小規模多機能型居宅介護 |
| ・ 短期入所生活介護 | | |

上記以外の事業者は、「9 ご意見・ご要望について」へお進みください

問16 「東京都福祉サービス評価推進機構」が認証した「第三者評価機関」による「福祉サービス第三者評価」を受けていますか。また、受けるお考えはありますか

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 年1回受審している | 3 受審していないが、検討している |
| 2 定期的ではないが、受審している | 4 受審していないし、今後受審する予定もない |

問16-1 どのような支援があれば受審できると思いますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 受審費用の助成 | 4 その他（ ） |
| 2 評価機関についての情報提供 | 5 どんな支援があっても受審しない |
| 3 受審手続きの簡素化 | （理由： ） |

9 ご意見・ご要望について

問17 介護保険制度や保険者（国分寺市）に対してのご意見・ご要望等、ご自由にご記入ください

.....

.....

.....

.....

.....

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて2月28日（火）までにポストに投函してください。（切手は不要です）

5 介護支援専門員調査 調査票

インターネット回答用	
申請者 I D	
パスワード	

国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画

高齢者福祉に関するアンケート

(介護支援専門員調査)

ご あ い さ つ

日頃より国分寺市の高齢者保健福祉事業及び介護保険事業にご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、国分寺市では、令和5年度末に策定する「国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画」に活用するため、アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、介護支援専門員の皆様から、業務の状況や当市の高齢者福祉施策に対するご意見等をできるだけ多くお聞きすることが大変重要と考え、介護支援専門員の方へのアンケートを実施することといたしました。このアンケート調査は、国分寺市介護保険ケアマネジャー連絡会に所属されている居宅介護支援事業所の介護支援専門員を対象にご協力をお願いするものです。

調査結果は、地域の課題に対応したサービスの提供や事業の目標設定に活用させていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

なお、調査結果はすべて無記名で統計処理するため、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

国分寺市長 **井澤 邦夫**

別紙「ご記入に際してのお願い」をご確認いただき、
令和5年2月28日（火）までに回答をお願いします。

1 ご自身の状況について

問1 次の(1)～(10)について教えてください

(1)年齢	1 30歳未満 2 30～39歳 3 40～49歳	4 50～59歳 5 60歳以上
(2)介護支援専門員としての業務経験年数	□年 □か月	
(3)介護支援専門員を受験した際の基礎資格 ()には、国家資格等の種類をご記入ください	1 国家資格等 (国家資格等の種類：) 2 相談援助業務従事者 3 介護等業務従事者	
(4)就業業務形態 ()には、兼務している業務をご記入ください	1 常勤で専従 2 常勤で兼務 (兼務業務：) 3 非常勤で専従 4 非常勤で兼務(兼務業務：)	
(5)事業所の業務形態	1 単独 2 他の事業と併設	
(6)健康診断受診状況	1 職場で定期的に受けている 2 職場で不定期だが受けている 3 職場で実施されていないので自費で受けている 4 受けていない(理由：)	
(7)労働災害の経験 (あてはまるものすべてに○)	1 感染症(インフルエンザ・疥癬・水虫等含む)に感染した 2 移動中の事故 3 身体上の自覚症状(骨・腱・関節・筋肉の痛み等)が現れた 4 その他の自覚症状(ストレス・疲労感・不眠等)が現れた 5 その他() 6 労働災害の経験はない	
(8)労働時間	週の所定労働時間 ()時間	
(9)賃金の支払形態	1 時間給(1時間当たり) ()円 2 日給(1日当たり) ()円 3 月給 4 その他(支払形態：) ※「月給」「その他」を選んだ方は、金額を記入しなくて結構です。	
(10)令和4年中の収入 (賞与及び残業・諸手当等を含む)	1 103万円未満 2 103万円～130万円未満 3 130万円～200万円未満 4 200万円～250万円未満 5 250万円～300万円未満	6 300万円～400万円未満 7 400万円～500万円未満 8 500万円～600万円未満 9 600万円以上 10 去年は1年を通じて働いていない

問2 介護支援専門員に関する仕事の就労意向について教えてください

(1)現在働いている事業所での仕事をいつまで続けたいですか

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| 1 半年程度 | 3 3～5年未満 | 5 続けられるかぎり |
| 2 1～3年未満 | 4 5～10年未満 | 6 わからない |

(2)現在働いている事業所を問わず、介護支援専門員に関する仕事をいつまで続けたいですか

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| 1 半年程度 | 3 3～5年未満 | 5 続けられるかぎり |
| 2 1～3年未満 | 4 5～10年未満 | 6 わからない |

問3 あなたが介護支援専門員として働く上での労働条件・仕事の負担について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1 雇用が不安定である | 7 休暇が少ない、休暇が取りにくい |
| 2 正社員(正規職員)になれない | 8 責任が重く精神的にきつい |
| 3 介護支援専門員としての仕事の内容のわりに賃金が低い | 9 健康面(感染症・腰痛・怪我)の不安がある |
| 4 経験年数を積んでも賃金が伸びない | 10 業務に対する社会的評価が低い |
| 5 労働時間が不規則である | 11 その他() |
| 6 労働時間が長い | 12 特に悩み、不安、不満等は感じていない |

問4 介護支援専門員として働く中で、今までに満足感を得られたことを教えてください

.....

2 利用者から望まれる事業者情報について

問5 利用者から「提供してほしい」又は「不足している」との声が多い事業者情報は何ですか(3つまで選択可)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 ショートステイ等の空き情報 | 6 通所施設等の情報 |
| 2 ヘルパー等、従事者の力量 | 7 特別養護老人ホームの待機期間 |
| 3 複数の事業者を比較できる情報 | 8 リハビリ内容の情報 |
| 4 提供しているサービスの質 | 9 その他() |
| 5 提供しているサービスの詳細な内容 | 10 特にない |

3 サービスの供給について

問6 介護支援専門員から見て、供給が不足していると感じられるサービスはありますか(あてはまるものすべてに○)

1 訪問介護	14 介護医療院(介護療養型医療施設)
2 訪問入浴介護	15 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
3 訪問看護	16 夜間対応型訪問介護
4 訪問リハビリテーション	17 地域密着型通所介護
5 居宅療養管理指導	18 認知症対応型通所介護
6 通所介護	19 小規模多機能型居宅介護
7 通所リハビリテーション	20 認知症対応型共同生活介護
8 短期入所生活介護	21 地域密着型特定施設入居者生活介護
9 短期入所療養介護	22 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
10 特定施設入居者生活介護	23 看護小規模多機能型居宅介護
11 福祉用具貸与	24 特定福祉用具販売
12 介護老人福祉施設	25 住宅改修
13 介護老人保健施設	

問6-1へ進んでください 26 特にない → 問7へ進んでください

問6-1 不足していると回答したサービスについて、代替方法があれば、主なサービス3つまでについてご記入ください
(サービス番号欄には、問6の選択肢の番号をご記入ください)

サービス番号	代替方法

問7 介護保険サービスのメニュー以外で、在宅生活を送る上で必要と思われるサービスや支援内容はありますか(3つまで選択可)

1 ごみ出し	5 話し相手	8 ペットの世話
2 外出の付き添い	6 電球交換等の簡易なサポート	9 その他
3 買い物の支援	7 庭の雑草取り	()
4 安否確認等の声かけ		10 特にない

4 苦情・相談事例について

問8 利用者やその家族から寄せられる苦情や相談は、どのようなものが多いですか(3つまで選択可)

1 提供しているサービスの質	6 具体的な被害・損害
2 ヘルパー等従事者の態度	7 利用者の金銭的な負担
3 サービス提供事業者の対応	8 その他()
4 説明・情報の不足	9 特にない
5 契約・手続関係	

5 業務内容について

問9 介護支援専門員の業務について、どのようなことに負担を感じていますか(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 ケアプランの説明や承認 | 4 ケアマネジャー業務外の相談対応 |
| 2 事務量の増加 | 5 その他() |
| 3 利用者や事業者の苦情対応 | 6 特に負担を感じることはない |

問10 あなた自身が受け持つ仕事量について、どのように評価しますか

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 十分こなせている | 3 あまりこなせていない |
| 2 どちらかというこなせている | 4 こなせていない |

問11 ケアプランに基づいたサービスが提供されているか、また、契約事項が守られているかの確認は、ケアマネジメント業務の一部です。サービスの質(中身)についての履行確認はどのような方法で行っていますか(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1 訪問時に利用者やその家族からの聞き取り | 4 サービス提供記録での確認 |
| 2 サービス提供事業者との連絡 | 5 電話・FAXでの利用者やその家族からの聞き取り |
| 3 サービス利用時の家庭訪問や施設訪問 | 6 その他() |

問12 介護予防プランの作成を受託していますか

- | | |
|----------|-----------|
| 1 受託している | 2 受託していない |
|----------|-----------|

問12-1 介護予防プランの作成を受託する上で問題になっていることは何ですか(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 介護予防サービス計画書の作成が煩雑 | 4 その他 |
| 2 サービスが組みにくい | () |
| 3 受託件数が多く対応しきれない | 5 問題になっていることはない |

6 業務上の悩みや問題点について

問13 あなたは、業務上の悩みや問題点を誰に相談していますか(あてはまるものすべてに○)
(※選択肢「7」、「8」については守秘義務を伴うものを除く)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1 職場の上司・同僚 | 6 医療従事者 |
| 2 職場以外の介護支援専門員 | 7 友人・知人 |
| 3 利用者の担当サービス提供責任者 | 8 家族・親族 |
| 4 保険者(国分寺市) | 9 その他() |
| 5 地域包括支援センター | 10 相談していない |

問13-1 相談していない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 忙しくて相談する時間がとれないから | 5 相談しても無駄だから |
| 2 職場内外とも相談体制が整っていないから | 6 自分で解決しているから |
| 3 信頼できる相談相手がいないから | 7 その他 |
| 4 相談先がわからないから | () |

7 ケアマネジメントの質の向上について

問14 ケアマネジメントの質の向上に向けて、必要な知識は何だと思いますか(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---|
| 1 自治体毎の施策や担当部署等の知識 | 8 福祉用具の利用方法に関する知識 |
| 2 成年後見制度に関する知識 | 9 高齢者虐待防止に関する知識 |
| 3 地域福祉権利擁護事業に関する知識 | 10 病気(認知症等)、症状(麻痺・痛み・発作・日内変動等)、障害(高次脳機能障害等)に関する知識 |
| 4 住宅改修に関する知識 | 11 会話(コミュニケーション)技術 |
| 5 医療・保健に関する知識 | 12 地域のボランティア情報 |
| 6 障害者福祉制度に関する知識 | 13 その他 () |
| 7 リハビリテーションに関する知識 | |

問15 ケアマネジメントの質の向上に向けて、さらに向上させたい知識は何ですか(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---|
| 1 自治体毎の施策や担当部署等の知識 | 8 福祉用具の利用方法に関する知識 |
| 2 成年後見制度に関する知識 | 9 高齢者虐待防止に関する知識 |
| 3 地域福祉権利擁護事業に関する知識 | 10 病気(認知症等)、症状(麻痺・痛み・発作・日内変動等)、障害(高次脳機能障害等)に関する知識 |
| 4 住宅改修に関する知識 | 11 会話(コミュニケーション)技術 |
| 5 医療・保健に関する知識 | 12 地域のボランティア情報 |
| 6 障害者福祉制度に関する知識 | 13 その他 () |
| 7 リハビリテーションに関する知識 | |

8 サービス担当者会議の開催について

問16 利用者の心身の状態や環境の変化、保健・福祉・医療サービスの利用状況及び経過等から、サービス担当者会議を開催する機会を的確に捉えて、適切に開催していますか

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 よくできている | 3 あまりできていない |
| 2 どちらかというときできている | 4 まったくできていない |

↓
問16-1 どのようなことが原因ですか(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1 業務多忙につき時間がないため | 5 職場環境が整っていないため |
| 2 参加者との調整が難しいため | 6 関連機関や各種専門職との連携がうまく取りづらいため |
| 3 開催場所がないため | 7 家族の協力が得られないため |
| 4 自分の勉強不足のため | 8 その他 () |

9 保険者に対する評価について

問17 保険者(国分寺市)に対して不満に感じることは、どのようなことですか(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 受付場所が少ない | 7 制度に関する広報が少ない |
| 2 窓口対応が悪い | 8 制度の経過説明が少ない |
| 3 書類を郵送で処理できない | 9 訪問日と利用者宛書類の送付タイミングがずれる |
| 4 各種手続きが煩雑 | 10 余計な通知が多い |
| 5 申請から介護認定までの時間の長さ | 11 その他 () |
| 6 困難事例に対する相談体制や受け止めが不十分 | 12 特にない |

10 介護支援専門員への支援について

問18 保険者(国分寺市)が行う介護支援専門員への支援として、どのようなことを望みますか(あてはまるものすべてに○)

1 各種研修の充実	7 事業者に対する指導の徹底
2 事例検討会の開催	8 インターネットによるケアマネ支援情報の発信
3 相談体制の強化	9 高齢者虐待事例の相談・助言
4 地域の医療機関との連携	10 成年後見制度に関する相談・助言
5 認定審査会における付帯意見	11 消費者被害に関する相談・助言
6 利用者や家族への介護保険制度の周知徹底	12 その他 ()

問19 保険者(国分寺市)に相談したいことがありましたら、ご自由にご記入ください

11 関係機関との連携について

問20 次に挙げる人たちとの連携状況について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

	十分に連携が図れている	どちらかというと連携は図れている	あまり連携は図れていない	まったく連携は図れていない	連携を図る必要がない
(1)他の居宅介護支援事業所	1	2	3	4	5
(2)他の介護保険事業所	1	2	3	4	5
(3)地域包括支援センター	1	2	3	4	5
(4)ボランティア・NPO	1	2	3	4	5
(5)行政機関	1	2	3	4	5
(6)社会福祉協議会	1	2	3	4	5
(7)民生委員	1	2	3	4	5
(8)障害者基幹相談支援センター	1	2	3	4	5

問21 問20の人たちとどのような連携を取っていますか(あてはまるものすべてに○)

1 勉強会、ケース検討会の共同開催
2 利用者の定員超過が見込まれる場合や空きがある場合の連携
3 困難事例等の相談
4 その他()
5 特になし

12 医療との連携について

問22 あなたの事業所において、かかりつけ医や歯科医との連携が必要だと思えるケースでは、実際に連携が図れていると思いますか

- 1 十分に連携が図れていると思う
- 2 どちらかという連携は図れていると思う
- 3 あまり連携は図れていないと思う
- 4 まったく連携は図れていないと思う
- 5 その他()

▶問22-1 かかりつけ医や歯科医との連携はどのような方法で行っていますか(3つまで選択可)

- 1 事前に時間調整を行い、かかりつけ医や歯科医(病院・診療所)を訪問して面談している
- 2 ほとんどの場合、質問内容を電話でやりとりし、必要がある場合に面談している
- 3 電話で連絡を取り、面談はしていない
- 4 診療情報提供書等の書類等で連絡を取っており、面談はしていない
- 5 サービス担当者会議等に参加して連携をとっている
- 6 利用者やその家族を通じて話を聞いている
- 7 その他()

▶問22-2 医療との連携が図れていない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)

- 1 日程を調整することが難しい
- 2 自分自身の医療的な知識が不足している
- 3 医師の介護保険制度に対する理解が少ない
- 4 連携の必要性を感じない
- 5 その他()

13 ご意見・ご要望について

問23 介護保険制度や保険者(国分寺市)に対してのご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください

.....

.....

.....

.....

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
 回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて2月28日(火)までにポストに投函してください。(切手は不要です)

6 介護職員等調査 調査票

インターネット回答用	
申請者 I D	
パスワード	

国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画

高齢者福祉に関するアンケート

(介護職員等調査)

ご あ い さ つ

日頃より国分寺市の高齢者保健福祉事業及び介護保険事業にご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、国分寺市では、令和5年度末に策定する「国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画」に活用するため、アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、介護保険事業所で従事される介護職員等の皆様から、業務の状況や当市の高齢者福祉施策に対するご意見等をできるだけ多くお聞きすることが大変重要と考え、介護職員等の方へのアンケートを実施することといたしました。このアンケート調査は、国分寺市とその周辺地域に所在し、国分寺市民にサービス提供されている事業者の介護職員等を対象にご協力をお願いするものです。

調査結果は、地域の課題に対応したサービスの提供や事業の目標設定に活用させていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

なお、調査結果はすべて無記名で統計処理するため、率直なご意見をお聞かせくださいようお願い申し上げます。

国分寺市長 **井澤 邦夫**

別紙「ご記入に際してのお願い」をご確認いただき、
令和5年2月28日（火）までに回答をお願いします。

1 介護職員(以下、「あなた」)の状況について

問1 あなたの現在働いている事業所について教えてください

(1)経営主体	1 社会福祉法人 2 特定非営利活動法人 (NPO法人) 3 株式会社 4 有限会社	5 医療法人 6 生活協同組合 7 その他 ()
(2)従業員規模 (パート含む)	1 5人未満 2 5人以上10人未満 3 10人以上20人未満 4 20人以上50人未満	5 50人以上100人未満 6 100人以上 7 わからない
(3)主な介護サービス種類	1 訪問介護 2 訪問入浴介護 3 訪問看護 4 訪問リハビリテーション 5 居宅療養管理指導 6 通所介護 7 通所リハビリテーション 8 短期入所生活介護 9 短期入所療養介護 10 特定施設入居者生活介護 11 福祉用具貸与 12 介護老人福祉施設 13 介護老人保健施設 14 介護医療院 (介護療養型医療施設) 15 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	16 夜間対応型訪問介護 17 地域密着型通所介護 18 認知症対応型通所介護 19 小規模多機能型居宅介護 20 認知症対応型共同生活介護 21 地域密着型特定施設入居者生活介護 22 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 23 看護小規模多機能型居宅介護 24 特定福祉用具販売 25 住宅改修 26 居宅介護支援 27 送迎サービス 28 高齢者緊急ショートステイサービス 29 その他 ()

問2 あなたご自身について教えてください

(1)年齢	1 30歳未満 2 30～39歳	3 40～49歳 4 50～59歳	5 60歳以上
(2)現在取得している介護に関する資格(あてはまるものすべてに○)	1 訪問介護員(ホームヘルパー) 2 社会福祉士 3 介護福祉士 4 作業療法士 5 理学療法士 6 看護師・准看護師 7 介護支援専門員 (ケアマネジャー) 8 福祉住環境コーディネーター	9 栄養士 10 管理栄養士 11 福祉用具専門相談員 12 保健師 13 保育士 14 調理師 15 その他 ()	16 取得している資格はない

(3)健康診断受診状況	1 職場で定期的に受けている 2 職場で不定期だが受けている 3 職場で実施されていないので自費で受けている 4 受けていない(理由：)
(4)労働災害の経験(あてはまるものすべてに○)	1 感染症(インフルエンザ・疥癬・水虫等含む)に感染した 2 移動中の事故 3 身体上の自覚症状(骨・腱・関節・筋肉の痛み等)が現れた 4 その他の自覚症状(ストレス・疲労感・不眠等)が現れた 5 その他() 6 労働災害の経験はない
(5)主たる生計維持者(世帯で最も生活費を負担している方)	1 自分(あなた) 2 自分(あなた)以外 3 生活費は折半等

2 現在の職場の状況について

問3 あなたが現在働いている事業所を知ったきっかけを教えてください
(あてはまるものすべてに○)

1 職員や知人を通じて 2 ハローワーク 3 新聞広告 4 求人情報サイト	5 事業所や法人のホームページ 6 学校や施設 7 その他()
--	--

問4 現在働いている事業所でのあなたの就労状況について教えてください

(1)現在の主な仕事	1 訪問介護員(ヘルパー) 6 理学療法士 2 サービス提供責任者 7 作業療法士 3 介護職員 8 機能訓練指導員 4 看護職員 9 その他 5 生活相談員 ()
(2)介護に関する仕事の経験年数	①現在働いている事業所での経験年数 ()年()か月 ②他事業所での経験も含めた総経験年数 ()年()か月
(3)就業形態	1 正規職員 2 正規職員以外で常勤労働者 3 正規職員以外で短時間労働者 4 正規職員以外で登録ヘルパー(訪問介護員)
	ここでは、以下のとおり分類します ・正規職員以外：「派遣・契約・臨時・パートタイム」職員等の方 ・常勤労働者：事業所の定める所定労働時間をすべて勤務する方 ・短時間労働者：1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が、常勤労働者より少ない方(登録ヘルパーを除く) ・登録ヘルパー：働くことができる時間を事業所に登録しておき、本人の都合の良い時だけ勤務する方(訪問介護事業所のみ)

(4) 労働時間	週の所定労働時間 () 時間 ※登録ヘルパーの方は、週の平均労働時間をご記入ください
(5) 賃金の支払形態	1 時間給(1時間あたり) () 円 2 日給(1日あたり) () 円 3 月給 4 その他(支払形態:) ※「月給」「その他」を選んだ方は、金額を記入しなくて結構です
(6) 令和4年中の収入(賞与及び残業・諸手当等を含む)	1 103万円未満 2 103万円～130万円未満 3 130万円～200万円未満 4 200万円～250万円未満 5 250万円～300万円未満 6 300万円～400万円未満 7 400万円～500万円未満 8 500万円～600万円未満 9 600万円以上 10 昨年は1年を通じて働いていない

問5 現在の仕事を選んだ理由を教えてください(あてはまるものすべてに○)

1 働きがいのある仕事だと思ったから	8 介護の知識や技術が身につくから
2 今後もニーズが高まる仕事だから	9 給与等の収入が多いから
3 人や社会の役に立ちたいから	10 自分や家族の都合の良い時間(日)に働けるから
4 生きがい・社会参加のため	11 他によい仕事がないから
5 お年寄りが好きだから	12 その他()
6 身近な人の介護の経験から	13 特に理由はない
7 資格・技能が活かせるから	

問6 現在の仕事について満足していますか

1 満足している	3 やや不満である
2 どちらかというと満足している	4 不満である

問6-1 現在の仕事で今までに満足感を得られたことを教えてください

.....

問6-2 現在の仕事で今までに不満に思ったことを教えてください

.....

問7 あなたは、業務上の悩みや問題点を誰に相談していますか(あてはまるものすべてに○)
(※選択肢「7」、「8」については守秘義務を伴うものを除く)

- | | |
|--------------|------------|
| 1 職場の上司・同僚 | 6 医療従事者 |
| 2 職場の相談窓口 | 7 友人・知人 |
| 3 ケアマネジャー | 8 家族・親族 |
| 4 保険者(国分寺市) | 9 その他() |
| 5 地域包括支援センター | 10 相談していない |

【問7で10を選択した方のみ】

問7-1 相談していない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 忙しくて相談する時間がとれないから | 5 相談しても無駄だから |
| 2 職場内外とも相談体制が整っていないから | 6 自分で解決しているから |
| 3 信頼できる相談相手がないから | 7 その他 |
| 4 相談先がわからないから | () |

問8 介護に関する仕事の就労意向について教えてください

(1)現在働いている事業所での仕事をいつまで続けたいですか

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| 1 半年程度 | 3 3～5年未満 | 5 続けられるかぎり |
| 2 1～3年未満 | 4 5～10年未満 | 6 わからない |

(2)現在働いている事業所を問わず、介護に関する仕事をいつまで続けたいですか

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| 1 半年程度 | 3 3～5年未満 | 5 続けられるかぎり |
| 2 1～3年未満 | 4 5～10年未満 | 6 わからない |

問9 あなたが現在働く上での不安や悩みについて教えてください

(1)労働条件・仕事の負担について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1 雇用が不安定である |
| 2 正社員(正規職員)になれない |
| 3 仕事の内容のわりに賃金が低い |
| 4 労働時間が不規則である |
| 5 労働時間が長い |
| 6 休憩がとりにくい |
| 7 夜間や深夜時間帯に何か起きるのではないかと不安がある |
| 8 休暇が少ない、休暇が取りにくい |
| 9 身体的負担が大きい(体力に不安がある) |
| 10 精神的にきつい |
| 11 健康面(感染症・腰痛・怪我)の不安がある |
| 12 業務に対する社会的評価が低い |
| 13 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある |
| 14 工作中的怪我等への補償がない |
| 15 その他 () |
| 16 特に悩み、不安、不満等は感じていない |

(2)利用者及び利用者の家族について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 利用者に適切なケアができていないか不安がある 2 良いと思ってやったことが利用者に理解されない 3 利用者の行動が理解できずに対処方法がわからない 4 利用者は何をやってももらっても当然と思っている 5 定められたサービス行為以外の仕事を要求される 6 利用者と家族の希望が一致しない 7 利用者や、その家族との人間関係がうまくいかない 8 利用者の家族が、本人に必要なサポートを理解してくれない 9 介護事故(転倒・誤嚥その他)で利用者に怪我を負わせてしまう不安がある 10 その他 () 11 特に悩み、不安、不満等は感じていない |
|--|

(3)職場での人間関係等について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 経営層の介護の基本方針、理念が不明確である 2 経営層や管理職等の管理能力が低い、業務の指示が不明確、不十分である 3 上司や同僚との仕事上の意思疎通がうまくいかない 4 介護に対する認識について上司と違いがある 5 自分と合わない上司や同僚がいる 6 ケアの方法等について意見交換が不十分である 7 悩みの相談相手がない、相談窓口がない 8 その他 () 9 特に悩み、不安、不満等は感じていない |
|--|

(4)あなたが働く上で感じる不安や悩みに対して、どのようなサポートがあればといったご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください

<p>.....</p>

問10 利用者やそのご家族の方から、介護保険以外のサービスでこんなサービスがあればといったご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください

<p>.....</p>

3 報酬改定や処遇改善の状況について

問11 現在働いている事業所における令和3年4月以降のあなた自身の処遇改善の状況について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

(1)基本給のアップ	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(2)基本給以外で、賞与のアップ	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(3)基本給以外で、資格等の手当のアップ	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(4)福利厚生(保険・住宅等)の充実	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(5)教育・研修の充実	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(6)職員配置の拡充	1 実施済み	2 実施予定	3 予定なし
(7)その他 ()	1 実施済み	2 実施予定	

問12 現在働いている事業所で、令和3年4月以降のあなたの仕事内容や職場環境への影響について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

(1)業務量の変化	1 業務量が増えた 2 やや業務量が増えた 3 特に変わりはない	4 やや業務量が減った 5 業務量は減った 6 わからない
(2)業務負担の変化	1 負担が増えた 2 やや負担が増えた 3 特に変わりはない	4 やや負担が減った 5 負担は減った 6 わからない
(3)労働条件の変化	1 よくなった 2 ややよくなった 3 特に変わりはない	4 やや悪くなった 5 悪くなった 6 わからない

4 以前に働いていた職場の状況について

問13 現在の仕事に就く前に、収入の伴う仕事をしたことがありますか

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1 したことがある | → 問13-1に進んでください |
| 2 したことはない | → 問14に進んでください |

【問13で1を選択した方のみ】

問13-1 現在の仕事に就く以前の仕事では、介護サービスに関わっていましたか

- | | |
|-------|--------------------------|
| 1 はい | → 問13-2 及び 問13-3に進んでください |
| 2 いいえ | → 問14に進んでください |

【問13-1で1を選択した方のみ】

問13-2 その職場(以前働いていた介護サービスに関わる職場)での就業形態はどれですか
(あてはまるものすべてに○)

- 1 正規職員
- 2 正規職員以外で常勤労働者
- 3 正規職員以外で短時間労働者
- 4 正規職員以外で登録ヘルパー(訪問介護員)

【問13-1で1を選択した方のみ】

問13-3 その仕事をやめた理由を教えてください(あてはまるものすべてに○)

- 1 自分、家庭の事情(結婚・出産・転勤等)のため
- 2 待遇(賃金・労働時間)に不満があったため
- 3 職場の人間関係に不満があったため
- 4 利用者との人間関係に不満があったため
- 5 ケアの考え方が合わなかったため
- 6 法人や事業所の経営理念や運営のあり方に不満があったため
- 7 正社員(正規職員)になれなかったため
- 8 介護の仕事内容が希望にあわなかったため
- 9 契約期間が終了したため
- 10 定年を迎えたため
- 11 健康を害したため
- 12 その他()

5 ご意見・ご要望について

問14 介護保険制度や保険者(国分寺市)に対してのご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください

.....

.....

.....

.....

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて**2月28日(火)までに**
ポストに投函してください。(切手は不要です)

7 住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅調査 調査票

インターネット回答用	
申請者 I D	
パスワード	

国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画

高齢者福祉に関するアンケート

(住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅調査)

ご あ い さ つ

日頃より国分寺市の高齢者保健福祉事業及び介護保険事業にご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、国分寺市では、令和5年度末に策定する「国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期国分寺市介護保険事業計画」に活用するため、アンケート調査を実施することといたしました。

調査結果は、地域の課題に対応したサービスの提供や事業の目標設定に活用させていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

なお、調査結果はすべて無記名で統計処理するため、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

国分寺市長 **井澤 邦夫**

別紙「ご記入に際してのお願い」をご確認いただき、
令和5年2月28日(火)までに回答をお願いします。

1 貴施設・住宅の概要について

問1 次の(1)～(5)について教えてください

(1)種別	1 住宅型有料老人ホーム 2 サービス付き高齢者向け住宅		
(2)法人格の種類	1 社会福祉法人 2 特定非営利活動法人 (NPO法人) 3 株式会社 4 有限会社	5 医療法人 6 生活協同組合 7 その他 ()	
(3)職員体制		正 規 職 員	正 規 職 員 以 外
	常勤労働者	人	人
	短時間労働者	人	人
	ここでは、以下のとおり分類します ・常勤労働者：事業所の定める所定労働時間をすべて勤務する方 ・短時間労働者：1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が、常勤労働者より少ない方 ・正規職員以外：「派遣・契約・臨時・パートタイム」職員等の方		
(4)正規職員の勤務年数	1年未満 (人) 1～3年未満 (人) 3年以上 (人) ※(人)の数字の合計が(3)の正規職員の合計となるようにご記入ください		
(5)定期健康診断の実施状況(労働安全衛生法規定)	常勤労働者	1 実施している	2 実施していない
	短時間労働者	1 実施している	2 実施していない

問2 居室形態を教えてください

	戸数/室数	1戸/室あたりの平均の広さ	定員※
(1) 単身者向け	戸/室	m ²	
(2) 世帯・夫婦向け	戸/室	m ²	人

※世帯・夫婦向けの定員の合計を記載してください

問3 貴施設・住宅において併設している介護保険サービスについて、それぞれ1つずつ選んで○をしてください（地域密着型サービス含む）

	同一建物内に併設	同一敷地内に併設	併設していない
(1) 訪問介護			
(2) 訪問入浴介護			
(3) 訪問看護			
(4) 居宅療養管理指導			
(5) 通所介護			
(6) 通所リハビリテーション			
(7) 小規模多機能型居宅介護			
(8) 認知症対応型共同介護			
(9) 居宅介護支援			
(10) その他 ()			

問4 貴施設・住宅において提供可能なサービスについて、該当するものをすべて選んで○をしてください

	自施設・住宅	外部サービス (併設)	外部サービス (併設以外)	提供できない
(1) 安否確認				
(2) 生活相談				
(3) 緊急対応				
(4) 食事提供				
(5) ショートステイ				
(6) 入浴サービス				
(7) 買い物代行				
(8) 外出支援				
(9) 通院付き添い				
(10) 書類管理				

問5 以下の医療ニーズのうち、貴施設・住宅で受入れ可能なものをすべて選んで○をしてください。併せて、令和5年1月1日現在の利用人数をご記入ください

医療ニーズ	受入れ可	人数	医療ニーズ	受入れ可	人数
(1) インスリン		人	(10) ペースメーカー		人
(2) 気管切開		人	(11) レスピレーター		人
(3) 中心静脈栄養		人	(12) 褥瘡の処置		人
(4) バルーンカテーテル		人	(13) 透析		人
(5) 点滴の管理		人	(14) 在宅酸素		人
(6) モニター測定		人	(15) ストマ		人
(7) 胃ろう		人	(16) 看取り		人
(8) 鼻腔経管栄養		人	(17) 疼痛の看護		人
(9) たん吸引		人			

2 現在の利用者状況について

※問6～問9は、令和5年1月1日現在の利用者状況についてご記入ください

問6 入居状況や待機状況

(1) 入居者数	人
(2) 入居者数の内、特別養護老人ホームの待機者数（申込者数）	人
(3) 待機者数	人
(4) 待機期間	か月

問7 入居者の年齢

40～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	不明
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

問8 入居者の介護度等

	自立	要支援		要介護					不明
		1	2	1	2	3	4	5	
人数（※1）	人	人	人	人	人	人	人	人	人
上記のうち国分寺市民の人数（※2）	人	人	人	人	人	人	人	人	人

（※1）「人数」の合計が問6「（1）入居者数」となるようにご記入ください

（※2）国分寺市民とは国分寺市の介護保険被保険者であり、他市の住所地特例者は含みません

問9 生活保護受給者

(1) 貴施設・住宅の入居者の中に生活保護受給者はいますか

1 はい	2 いいえ	3 わからない
→ (2) へお進みください	→ 問10へお進みください	→ 問10へお進みください

(問9 (1) で「1」を選択した方のみ)

(2) 生活保護受給者数をご記入ください

生活保護受給者数	人
上記のうち国分寺市民の人数 (※2)	人

(※2) 国分寺市民とは国分寺市の介護保険被保険者であり、他市の住所地特例者は含みません

3 事故防止, 感染予防, 虐待予防等の取組について

問10 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「事故 (例: 転倒・誤嚥等)」について、貴施設・住宅で事故防止や、事故を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか (あてはまるものすべてに○)

1 事故防止マニュアルの作成	6 救急車の呼び方マニュアルの作成
2 事故防止研修の実施	7 応急処置技能研修の実施
3 事故防止ミーティングの実施	8 その他
4 ヒヤリ・ハット報告の徹底	()
5 事故発生時の対応マニュアルの作成	9 特にない

問11 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「感染症の伝播」(職員から利用者、利用者から利用者、来訪者等の部外者から利用者) について、貴施設・住宅で講じている予防策にはどのようなものがありますか (あてはまるものすべてに○)

1 感染症予防マニュアルの作成	6 職員への手洗い・うがい・消毒の奨励
2 職員への感染症の正しい知識の提供	7 職員への予防接種の実施
3 職員への利用者の感染状況に関わる情報提供	8 入浴順を工夫する等の個別対応
4 職員への手袋や被服等の貸与	9 その他
5 安全衛生ミーティング	10 特にない
	()

問12 今後起こり得る「大規模災害（例：地震・台風等）」について、貴施設・住宅で被害を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1 避難計画・方針の策定 | 5 自治会等の地域組織との連携 |
| 2 避難訓練の実施 | 6 その他 |
| 3 食料品等の備蓄 | () |
| 4 災害発生時のサービス提供再開に向けたマニュアル等の作成 | 7 特にない |

問13 貴施設・住宅において、利用者の意思や尊厳の尊重、施設内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか
（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1 認知症、高齢者虐待防止等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている |
| 2 他施設と情報交換等の交流をしている |
| 3 人員配置上の工夫をしている（夜勤体制の強化等） |
| 4 施設内外の多職種（医師やケアマネジャー等）間の連携を高めている |
| 5 規則等の再検討や、業務内容（一斉介助や流れ作業等）の見直しを行っている |
| 6 トラブルが発生したとき、利用者及び家族が最初に連絡できる職員を明確にしている |
| 7 虐待防止等に関して施設全体の方針を設定し、管理者の責任を明確化している |
| 8 虐待防止委員会等や相談窓口を設置し、担当者等を決めている |
| 9 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みを導入している |
| 10 家族等にサービスの内容を知らせている |
| 11 施設の情報公表を進めている（福祉サービス第三者評価等の利用） |
| 12 その他 () |
| 13 特にない |

4 利用者からの苦情・相談内容とその対応について

問14 利用者やそのご家族から、どのような苦情や相談が多いですか（3つまで選択可）

- | | |
|------------|--------------|
| 1 サービスの質 | 6 具体的な被害・損害 |
| 2 従事者の態度 | 7 利用者の金銭的な負担 |
| 3 管理者等の対応 | 8 その他 () |
| 4 説明・情報の不足 | 9 特にない |
| 5 契約・手続関係 | |

問15 苦情や相談の対応体制について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください

(1) 苦情相談窓口	1 ある	2 ない
(2) 担当者の配置	1 ある	2 ない
(3) 苦情相談マニュアル	1 ある	2 ない
(4) 苦情相談記録簿	1 ある	2 ない
(5) 職員間で共通認識を持つ機会	1 ある	2 ない
(6) 職員間で具体的な対応策について検討	1 ある	2 ない
(7) その他（ある場合のみ記入）	〔 〕	

5 サービスの質の向上に向けた課題について

問16 貴施設・住宅で課題となっているものはどれですか（あてはまるものすべてに○）

【経営面】	13 制度改正に対応した利用者への説明
1 事業所の経営理念の明確化	14 利用者にわかりやすい契約書の工夫
2 提供するサービスの量的拡大	15 利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底
3 提供するサービスエリアの拡大	16 サービス担当者会議への積極的な参加
【人材面】	17 苦情処理対応の充実
4 人材の確保	【連携】
5 従業員の労働条件の改善	18 家族等介護者とのつながり
6 従業員への経営理念の周知徹底	19 福祉系事業者との連携
7 OJT（人材育成・教育）の充実	20 医療系事業者との連携
8 外部研修への積極的な派遣	21 医療機関との連携
9 障害者サービスの対応・研修	22 地域包括支援センターとの連携
【サービスの質】	23 ボランティアの受入れ、連携
10 各種マニュアルの作成	24 その他（ ）
11 サービスの自己評価の取組	25 課題はない
12 利用者にとって有益な情報開示の推進	

問17 ボランティアを受け入れる場合、どんなことを担ってみたいですか（あてはまるものすべてに○）

1 配膳、下膳、お茶出し	7 裁縫
2 散歩、屋内移動の補助	8 洗濯物の整理
3 施設内の清掃	9 庭の手入れ等の補助
4 施設利用者の話し相手	10 イベントボランティア（落語、手品、演奏等）
5 趣味の相手	11 その他（ ）
6 レクリエーション等の補助	

6 人材の確保について

問18 貴施設・住宅で行っている職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| 1 賃金・労働時間等の労働条件を改善する | 7 キャリアの見通しを持って安定して働き続けられるようにする |
| 2 労働時間の希望を聞く | 8 研修等，人材育成を充実させる |
| 3 仕事内容の希望を聞く | 9 福利厚生を充実させる |
| 4 職場（事務室など）の環境を整える | 10 ICTや介護ロボット等の先進的な介護機器の導入による業務改善を行う |
| 5 職場内の交流を深め，コミュニケーションの円滑化を図る | 11 その他（ ） |
| 6 ストレスチェックの導入等，職員のストレス対策を行う | 12 特に行っていない |

問19 貴施設・住宅で行っている人材確保に向けた取組にはどのようなものがありますか（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 1 教育機関との連携を深める | 6 採用時に労働日数・時間の希望を出来るだけ聞き入れる |
| 2 貴事業所（又は法人）で資格取得講座を開講し，修了者から採用する | 7 無資格者を採用し，採用後に資格取得講座を受講させる |
| 3 就職希望者の情報がより早く得られるように職員や知人に声かけをする | 8 上位資格の取得にあたって受講料補助等の支援をする |
| 4 貴事業所（又は法人）の存在を周知させるために定期的な広告をする | 9 外国人材を登用する |
| 5 採用時に賃金・労働条件を他社に比べよくする | 10 その他（ ） |
| | 11 特に行っていない |

7 ご意見・ご要望について

問20 介護保険制度や保険者（国分寺市）に対してのご意見・ご要望等がありましたら，ご自由にご記入ください

.....

.....

.....

.....

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
 回答の終わったアンケート調査票は，同封の返信用封筒に入れて2月28日(火)までにポストに投函してください。（切手は不要です）

**国分寺市高齢者保健福祉計画・
第9期国分寺市介護保険事業計画策定のための
高齢者福祉に関するアンケート
結果報告書**

発行日：令和5年8月

編集・発行：国分寺市福祉部高齢福祉課

〒185-0024

国分寺市泉町2丁目3番8号 いずみプラザ1階

TEL 042-321-1301（直通）

FAX 042-320-1180